

昭和二十年十二月三日(月)
第二二六號

時事通信

海外電報

(26)

歐洲各國では今秋來總選舉がしきりに行はれてゐる、そして各國でキリスト教社會主義の政黨が著しい進出を示してゐる、フランスの人民共和運動、オーストリアのキリスト教人民黨、ノルウェーのキリスト教民主黨、ベルギーのカトリック民主黨、イタリアのカトリック社會黨等々みなこれに屬する、主として舊敎國に勢力を伸長してゐるが、ノルウェーの如きはルーテル派の新敎政黨である、彼等は何れも共產主義、社會主義の唯物思想を非として、キリスト敎の愛による精神運動をば、廣義社會主義の理想に合致せしめることにより、物心兩面よりなる政治社會經濟の改革を企てようとするものであるが、かかる政治運動が戦後歐洲に國際的規模をもつて展開されるに至つた原因は、勿論、各國における共產主義、社會主義が戦後の疲弊と相俟つて燎原の火の如く勢威を逞う



せんとしてゐるのに對する一つの反動であることは明らかだ、キリスト敎々義が社會主義と媾合するのは極めて自然であると同時に、それが似て非なる木に竹をつぐ類であることもまた事實といつてよい、キリスト教社會主義黨の多くが、共產黨とはもとより、第二インター系社會黨、労働黨と相容れずして對立しつゝあることはそれを證明する、人はパンのみによりて生きるものでない眞理と、パンなくして生き得ない眞理との相剋である、今後世界政治の上に演すべきキリスト教社會主義の役割はどうなるかいま豫斷を許さないが、現状のままの條件がそのまま推移發展するものとすれば、歐洲各國におけるキリスト教社會主義運動は共產黨に對する共同防衛戦線として、右翼の間接直接の支持を受けつつ反動化する惧れを多分に有する、現にフランスの人民共和運動には敎會側よりする積極支援が與へられてゐるとみて差支へない、われわれは近き將來、神が地上に劍を振ふ國際政治劇をば期待してよいだらう

オリンピックは歐洲か

(フイラデルフィア三十日) 米國オリンピック委員ガスタヴァス・T・カービーは次回オリンピックに關し次の通り言明した
次回のオリンピック・ゲームは一九四八年にロンドンかスイスのローザンヌで開かれることにならう、歐洲諸國は財政上の理由から米國に選手團を送ることは出来ないと思ふ

【目次】

ユーゴ共和國を宣言……………二五四

伊政局打開されず……………

米バルカン特使急遽歸國……………

佛、銀行國營業を上程……………

天皇問題東京で決定……………

イランの要請を拒否か……………二五五

國王、米大統領に親書……………

ハーレー問題依然低迷……………

【米 國】

對華政策は變らず……………二五六

鐵鋼労働組合罷業支持……………

GM政府の調停を拒否……………

ギルダースリープ女史退職……………

【特 輯】

米國科學界から……………二五七

【資 料】

米國の對外食料救済……………二六〇

原子情報交換委員會提唱

(ロンドン三十日) 英國、フランス、ベルギー、ノルウェー四ヶ國の原子學専門家を初め科學者、大學敎授、政治家等の知名人多數は原子科學情報の交換に關する委員會の即時設置を要求する共同聲明を發表した、同聲明の提唱する委員會は國際聯合の機構内で活動し、化學者、物理學者、技師等を網羅して安全保障理事會に助言と指導を與へるものである

ユーゴ、共和國を宣言

(ベオグラード三十日)ベオグラード・ラジオは二十九日ユーゴスラヴィア憲法議會が同夜、ユーゴ共和國を宣言、ベタール二世の廢位と全王族の特權剝奪を決定した、同夜テト政府の發表によれば、ユーゴは聯邦共和制を採用する、共和制宣言は十一月十一日新たに選舉された新憲法制定議會によつて決定されたもので、同夜ベオグラードの街頭では各所に民衆デモが終夜に亘つて行はれた、共和制宣言の結果直ちに大統領の選舉が必要となるが、これは三十日に延期された、ベタール二世廢位、王族の特權剝奪は王家の出身地セルビア選出の代議士によつて提案されたものである

ベタール二世聲明

(ロンドン三十日)ユーゴ議會が王政廢棄共和制を宣言したに對して、目下ロンドンに亡命中のユーゴ國王ベタール二世は直ちに聲明書を發表し、ユーゴ議會の今回の決定はテト將軍が全體主義國家を實現せんとする陰謀に基くものであり、全くの暴政で、聯合國の勝利と理想に泥を塗るものであると述べた

滿場一致で共和制採決

(ベオグラード三十日)ユーゴの共和國宣言によつてベオグラード市中は二十九日夜より三十日朝にかけて各所に群集が集まり、歌ひ且つ踊りつつ新共和國の誕生を祝福してゐる、憲法議會の共和制宣言は出席議員三四四名(缺席五名)の全會一致でなされ、同時に人民聯邦會議も一七五票の滿場一致で共和制を採決、兩院の批准は終り正式手續が完了した人民聯邦會議は共和制宣言と共に機能を停止することになつてゐる、同夜議會外交官傍聽席にはソ聯及びポーランドの代表が姿を見せたのみで、米、英、佛の代表は臨席しなかつたのも注目を惹いた

伊政局 打開されず

(ローマ三十日)パリー内閣瓦壞以來五日を経た

二十九日イタリア政變はなほ解決の曙光だになく國民解放運動聯合の前内閣を構成してゐた六大政黨代表間の協議は二十九日も引續き繼續されてゐる、目下首相候補として挙げられてゐるものは五名に達するが、何人が選任されるか全く眼先不明である

米バルカン特使急遽歸米

(ブカレスト二十九日)米大統領特派使節としてルーマニア、ブルガリア兩國に派遣されてゐたマーク・エサリツヂは、ルーマニア訪問を取止めて二十九日急遽歸米することになった、理由は不明であるが同氏は「緊急やむを得ない」事情によるものだといつてゐる

佛、銀行國營案を上程

(パリ三十日)フランス金融界の劃期的改革であるフランス銀行及び他の四大銀行の國營化を含む銀行改革案は、二十九日パリ取引所が週末休業に入つて正確に一時間後議會に提案されたが、政府當局はあらゆる議會審議の記録を破つて月曜、取引所再開前までに審議を終了せしめる決意で、議會側も政府の要望に應へ直ちに委員會に廻附審議に入つた、委員會は二十九日夜中に終了、日曜日本會議に上程する勉強振りであるが、多少の修正はまぬかれぬ模様である

天皇問題東京で決定

(ワシントン三十日)日本戦争犯罪裁判米國首席檢事ジョゼフ・B・キーナンは二十九日次の通り發表した

天皇を戦争犯罪人として東條と共に拘置所に收容するかどうかは東京についてから決定しよう余は補助檢事と共に一日出發する、「主要戦争犯罪人」を「占領問題で比較的重い罪を犯しわが俘虜を虐待せる者」と區別するためにはあらゆる努力をするつもりだ、後者はマニラ裁判と同様の軍法會議にかけられる筈である

時事通信

海外電報

イランの要請を拒否か

イラン政府の兵力増強要請に對し、ソヴェト政府は十一月二十九日正式に回答したが、テヘランからのロイター電報は消息筋の情報として回答の内容について次の通り報道してゐる

一、イラン政府がテヘラン地區からアゼルバイジャン地方に對し兵力を増強することを特別には禁止してゐない

一、しかしイラン政府が北部地區に兵力を増強する場合には、赤軍もこれに呼應して兵力を移駐するであらう

回答の正文が發表されぬため、回答の趣旨について適確な判断を下すことは出来ないが、ロンドン駐劄イラン大使館當局では三十日記者團に對し「ソヴェト政府の回答はイラン政府の要請を拒否したに等しい」と述べてをり、ロイター通信社の外交記者も

正文が手に入らぬため、イラン軍の動きに關するソヴェト政府の政策について一切の疑念を除くことは出来ない、英國大使サー・アーチボルド・クラークルカーが先週末モロトフ外務人民委員に手交した通牒に對しソヴェト政府が回答すれば、事態は多少明かになるだらうと觀測してゐる

一方ワシントンからのロイター電報によれば、イラン大使は重ねてバーンズ國務長官を訪問し、イラン政府が次の二通牒をソヴェト政府に提出した旨通告したと傳へられる

一、赤軍の分子が依然テヘランに滞在してゐるため、首都の情勢は極度に緊迫してゐる

一、アゼルバイジャン地方の治安は目を逐ふて亂れ、ゼンジャン地區もまた不穩の形勢を示してゐるので、ソヴェト大使館がイラン軍の増強に對する障除きの措置を講ずるやう要請する

米國政府の撤兵案に對しては、三十日にいたるも英ソ兩國政府ともに回答してゐないが、國務省當局は

テヘラン駐劄米國大使館の使節團がイラン叛亂の中心たるタブリーズ地區に派遣された他に情報はないが、使節團派遣についてはソヴェト政

府との間に取極めが出来たことと思ふと言明した

國王、米大統領に親書

(ワシントン三十日) 新任ワシントン駐劄イラン大使フセイン・アランは二十九日ホワイ・ハウスを訪問、トルーマン大統領に對し信任狀を捧呈したが、同時にイラン國王モハメド・レザ・ハレヴィイから大統領宛の次の親書を傳達した

今回の世界紛争に際し、イラン國は決定と全力を上げて聯合國を支援し、苦難と窮乏とに堪え忍んだ、今回勝利を収めるとともにイラン國民は自國の國境線内において煩はされるところなく生活し、繁榮と平和とに導くやうな生活の基礎を据える機會を待望してゐる、イラン國民の努力が無駄に終らず、右目的に要する援助が聯合各大國殊に合衆國から到來することを希ふ

ハレー問題依然低迷

(ワシントン二十九日) 前駐華米國大使ハレーが國務省の職業外交官の派閥的策動を理由にして辭職したことは依然ワシントン政界の主なる話題になつてゐるが、上院外交委員長コナリーは四日ハレーを委員會に喚問、事情を聴取することになつたと發表した、當のハレー大使は「議會の査問には回答する用意があるが、秘密會での發言は拒絶するほかない」と語り

今や戦争も終つた以上は米國民は、自國の外交政策について賢明なる判断を下し得るためにあらゆる基本的情報入手する權利がある、余は如何なる公聴會にも出席する用意がある

と述べた、コナリー委員長は右につきハレー大使は恐らく公開委員會で發言を許されることにならうが、その點はまだ決定してゐない

と語つた、なほハレー大使は二十八日ナショナル・プレス・クラブの新聞記者會見で中國共產黨について次の通り語つた

中國共產黨は大體オクラホマの共和黨程度に共產主義的である、中國共產黨は一種の革新黨で目下政權から離れてゐるのが政權を獲得したいといふのである、中國共產黨とオクラホマの共和黨との違ひは片方は武装してゐるのに片方は武装してゐないといふことだけだ

【米 國】

對華政策は變らず

(ワシントン二十九日) トルーマン大統領は二十九日新聞記者團と會見して米國の直面する内外諸問題について次の通り述べた

「今回任命されたマーシャル特使は三、四日中に中國に向つて出發することとならう、マーシャルに與へらるべき指令は目下作成中であり、その内容は近く一般に發表されようが、かれは結局米國が今まで中國において進めてきた政策をそのまま踏襲することとならう

國際聯合は今後九十日以内に國際關係において戰爭の種となつてゐる問題を取上げることとなるべく、從つてアトレー、スターリン及び余の三頭會談を新たに開く必要はあるまい、國際問題について解決すべき事柄があればそれは國際聯合の任務であり、三頭會談の決定に待つべきでない、しかしして米國はあくまで國際聯合がその機能を發揮するやう努力するだらう、歐洲の視察旅行から歸還したブライス特使は米國の對獨政策を根本から變更するやう勸告したが、米國政府は現在ボツダム會談で決定された四國によるドイツ統治方式の一部を變更すべく努力してゐる、特にいかなる提案でも四國のうち一國が反對すれば成立しないといふ方式を變更せんとしてゐるが、これは勿論四國全部によつてなさるべきことだ、米國の一部ではソ聯が國際問題に協力せず、このソ聯の態度によつて再び新しい戰爭が招來されるかも知れないと心配してゐるやうだが、これは全くの杞憂に過ぎない、余は最近のうちにソ聯をはじめ國際問題で詳細な意見を述べる豫定である

日本の降伏以後、米國內で勞働罷業が激増したがこの原因の一つは勞資双方共に戰爭中その不満を鬱積させてゐた結果、これが一時に爆發したことによると思ふ」

鐵鋼勞働組合、罷業支持

(ニューヨーク二十九日) CIO系の合同鐵鋼勞働組合は二十八日、賃金一日二弗引上げ要求をめぐる組合員に對し罷業決行可否かを決定する投票

を行つたが、その結果は五對一の割合をもつて組合員の罷業支持となつた、今度の投票に参加した組合員の数は約六十五萬に上り、勞働關係局の手で行はれた罷業投票の最大のものが、組合當局としては十二月中旬開かれることとなつてゐる賃金政策委員會の決定を待つて總罷業に出る豫定である、一方デネタル・モータース社の罷業は、勞資双方の強硬な態度によつて依然解決の曙光見えず、シユウエレンバック勞働長官の斡旋による勞資代表者會議も會社側が出席を拒否したので、二十八日聯邦調停官エドガー・ウオレンは組合側の代表者と非公式に會談した、勞働省は二十九日十月中の罷業による勞働喪失日數を發表したが、最近の罷業の激化を反映して七百八十萬勞働日と一九一九年以來の最高記録を示した

G M、政府の調停を拒否

(ワシントン二十八日) ジェネラル・モータース社の勞働罷業に對し米國政府はさきに調停に乗出し、二十八日ワシントンに罷業勞働者並びに會社側代表の會議を開くこととなつてゐたが、ジェネラル・モータース社のウイilson社長は二十七日に至り會社側代表は政府招請の右會議には出席しない旨聲明した、罷業勞働者側は既に出席する旨の意向を表明してゐるので、シユウエレンバック勞働長官は會社側代表の不參加にも拘らず右會議開催の方針で進んでゐる、一方ジェネラル・モータース社のオハイオ州デイトン所在のゴム工場においてもCIO系の合同ゴム勞働組合所屬勞働者約二千五百名が二十八日から罷業を開始、同社をめぐる勞働罷業は益々その規模を擴大、かつ深刻化するに至つた

ギルダースリーウ女史退職

(ニューヨーク二十九日) 桑港會議に米國代表として出席し女性のため氣をはいたヴァージニア・C・ギルダースリーウ女史は二十七日、今後國際問題に専念するためバーナード・カレッツデ學長の職を退く旨發表した、同女史は過去三十四年間同校學長の職にあつた



米國科學界から

武井 武夫

米國科學界といはず、いま全世界の科學界は來るべき原子時代への恐怖と希望が話題の中心となつてゐるが、問題はあまりにも政治的になりすぎて、純粹に科學の話とはいへない、そこでさうした怖い話題から少し離れて最近の外電が傳へる平和時代の科學ニュースを御紹介しよう

△進歩した輸血術

戰爭中に醫術の進歩は目覺ましいものがあり、藥學方面でもベニシリン初め種々の新藥が出現してゐるが、外科醫術の進歩は戰爭があるたびのことで特に指摘するまでもあるまい、日本のやうにみじめな敗け方をしては、最初の頃の軍陣醫學の發達も滅茶滅茶になつて、醫療を施したいにも藥はなく、何よりも營養失調といふ大敵が現はれて醫者まで一家心中をする有様だ、しかしこれから日本の醫學が演ずる役割の大きいことを考へれば、米國の醫學界の話も傳へることも無駄ではあるまい、以下は米國の「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙に掲載された輸血の話だ

輸血は四年間の戰爭を経て、特殊療法の範疇から日常の手當に變つて了つた、學校卒業後の實地教育を戰場で受けた數千人の醫師は今では手術前後の輸血を當り前のことと考へるやうになつてゐる、そして戰爭中新らしい各種血液製品の發明において大きな進歩が遂げられたとはいへ、それによつて本物の血液の用途がちよつとでも減じたとは科學者たちは考へてゐない

最近血漿から製造した纖維素泡がはじめて民需用として市場に現れた、纖維素は外科切開や切り傷において血液を吸収し傷口を塞ぎ、結局はまた體內に採り込まれて血流に溶け込む、纖維素は脳とか肝臓のやうな難かしい外科手術に今後大いに使用されるだらうし、齒醫者などは齒を抜いた後の穴埋めに使つてもいいわけだ

今一つの戰爭の産んだ血液製品で民需用に廻され

たのは人間の血液から作つた血清グロブリン(蛋白質類似物質)で、癩疹に對する副作用のない免疫血清としては最初のもので、癩疹菌に接してからでも血清グロブリンを注射すれば發病を免かれ或ひは輕症ですむ

血清グロブリン研究の結果は百日咳の最初の濃液血清としてハイパータウシス(強力咳止劑といつた意味)の發見を齎した、ハイパータウシスは子供時代百日咳を患つたことのある血液供給者の血液から精製されたものだ、血液供給者は十二週間毎に百日咳病原體の注射を受ける、かうして出來た抗毒素は子供の百日咳に對して豫防效果または緩和效果を有するわけだ

次は完全な血液形成血清として最初のイソヒマグルチニンだ、血液型が合はなければならぬ輸血において、この血清は從來の完全血液から作つたどんな血清よりも早く確實に血液形成の效果を示す、但しイソヒマグルチニンは今のところ海軍だけで使用されてゐる

また血清を作る時に完全血液から除かれた赤血球も使用されてゐる、「血球塊」と呼ばれてゐるが、これを右旋糖液中に懸濁して重症貧血患者に注射する、更に血球塊の乾燥したものを傷口とか潰瘍面に撒布すると治癒が早くなる

既に震盪や火傷のやうな場合の輸血以外血漿に對する戰時用途もなくなつてゐる現在新しい血漿供給の大部分は纖維泡や血清の製造とか研究のために營利會社研究所に流れ込むものと考へられる戰爭に協力して血液を供給してゐた多數の人々はこれからいよいよその代償として多くの人命を救ふことが出来るわけだ、陸軍は最近「國民の供出したものだから國民に返すのが本當だ」と言つて百萬バイントの血液を赤十字社に引き渡した、乾燥血液なら少くとも五年間は腐敗しないから、百萬バイントの貯藏はあらゆる需要に對して十分だといへよう

しかし大抵の醫者は普通の輸血には血漿より完全血液を喜ぶので、民間の「血液貯藏銀行」は今後ますます社會に重要な役割を演ずることになる戰前に出來たが戰爭中赤十字に優先權を讓つてゐた「民間血液銀行」はいまや從來より遙かに大規模な活動を示してゐる

△移動空氣試驗所

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙の二十五日付紙上に空氣の安全性を試験する移動研究所の話が出てゐる、ニューヨーク市消防部のことだ、迅速な試験を行ひ多くの消防夫の生命を救ふことの期待されてゐる装置は、既にニューヨーク市の地下鐵トンネル中で空氣試験を行つて威力が證明されてゐる、この時は短時間に空氣をとつてみただけでガソリン蒸氣が危険な程度にまで含まれてゐることが明かになり、爆発を防止する措置がとられた、トンネル中に滲み出す液體を分析してみたところ、これは水と曲軸油とガソリンの混合物なることが判明した、これを手掛りに調査を進めた結果、その源は聖ニコラス街のガレージに發してゐることが明かにされた

研究車が正式に活動したのはこの時が最初だ、五人の青年消防手から成る研究班員にいはせるとかうした成功が何度も繰返されて多くの消防夫の生命を救ふことは絶対に確實だといふ、ニューヨーク市で任務に殉ずる消防手の大多數は火傷や打撲傷よりガスのために死ぬのださうだ

消防官補ミルトン・ブローディの下に四人の消防夫が働いてゐるが、研究班員はすべて三十を越したばかりで、皆學校時代に化學を學んだ者が選ばれてゐる、消防署の階上には消防部の研究本部があり、ブローディ官補は研究の経験五年、他の者も最短二年の経験を有する、着想の多く及び移動研究施設の大部分は研究本部で計畫され作られたものだ、ウイニング消防夫はかういふ

ブローディ官補は五年間の研究の結晶を悉く移動研究所の設計に注ぎ込んだといつても言ひ過ぎではない、世界中にこんなものは他にないのだから、いはば自分の切符を自分で書いたといふところだ

移動研究所は二噸半インターナショナル型トラックの上に設けられ、例の如く赤く塗られてゐることを別にすれば百貨店の配達車をつくりだ、但し内側を見れば全然ちがふ

設備は殆んどが化學試験や物理試験の装置ばかりで、その他に數種の防毒面、若干の通路破壊用

具、携帯ガソリン發動機、電力自給用發電機等が積載されてゐる、ウイニングはまた次のやうに説明する

實際にはわれわれの仕事は二つある、空氣が有毒かどうか、爆発しやすいかどうかを兩方共調べるのだ、時には有毒な上に爆発性を有する場合もある、またわれわれの取り組む問題は軍用ガスの場合と全然ちがふ、致命的な毒性をもつてゐても技術的な理由のために軍事的見地から役に立たないやうな種々のガスにぶつかるからだ、従つて防毒面も全くちがつてゐる、たとへば軍用マスクは一酸化炭素に對して無力だが、われわれは一酸化炭素には始終出會ふ、更に空中に生命を保つだけの酸素がないやうな場合もめづらしくない

試験装置の多くは市販用として製造されてをり、たとへば聖ニコラス街トンネルで使用された爆発性ガス表示器のごときも商業製品だし、普通火災に際してよく發生するガスに對する装置も大概は商品として作られてゐる

しかしながら消防夫はガスが普通のものだらうがさうでなからうが問題にはしない、ブローディ以下の班員はあらゆるガスに備へるべく、比較的例の少ないやうなガスの表示器を何週間もかかつて自分で作つた、勿論使はないで濟めばその方がいいのだが、使はなければならぬ場合には立派に僚友の生命を救ひ得ると信じてゐるのだ

△新電子裝置アンラック

いくら原子爆彈の話をしてないといつても、今日の科學を語つて原子や電子にふれないわけにはゆかない、二十日付の「ニューヨーク・ワールド・テレグラム」紙に載つてゐるアンラックといふ電子學的裝置のことを述べよう

これは軍用として發明されたが、今度民間用として利用されることになるといふ、アンラックは人のゐない燈臺、浮燈臺、霧笛、電鈴等を中央局から送る暗號ラジオの組合せで點じたり消したりする裝置だ、全體系の施設は眞珠灣、ミドウェー南太平洋諸島嶼、或ひは米洲の東西兩岸に沿岸警備隊の手で設けられ、味方の船なら航行の手引をするし、敵の船なら全然目標を與へないやうにして、國防上大きな役割を演ずるといふ、これを

時事通信

海外電報

第三編 郵便便報

平時に利用すると、電燈の點滅や霧笛の吹鳴を自由に調整し得るから大いに經濟上の利益にならうとみられてゐる

ここいらは眞空管を使ふから電子學的なのだが次に控へてゐるのは電子そのものに關する大発見の物語だ

△陰性陽子の発見

INS通信のコペンハーゲン電報はソヴェト聯邦、デンマーク、スエーデン三國の科學者が陰電氣を帶びた陽子の発見を發表した旨報じてゐる、発見はソヴェト聯邦のビヨトルカピツアで、コペンハーゲンのボーア研究所で一應の研究を完了した後既にモスクワに出發したといはれる、発見の場所はソ聯領内アルメダ山脈の最高峰であつて、山頂に据ゑられた巨大な電磁裝置を使用した、陰性陽子理論は現在米國にゐるソ聯の科學者ジョージ・ガーモフ教授によつて早くから唱へられてゐたが、全然實證されてゐなかつたのだ、これについて原子爆彈研究の權威カリフォルニア大學教授E・O・ローレンス博士は次の通り述べてゐる

陰性陽子発見の可能性はわれわれ全部の考へてゐたことだ、しかし発見の報が眞實だとすれば正に驚嘆すべきであり、その後の研究からみて彼らが基本的な発見をなし科學に絶大な貢獻を齎したことは本當だと思はれる、かうした発見は重要な研究への道を拓くもので、それがどんな意味を持つかなど勝手な臆測は謹しみたいが錯綜した自然の世界における新たな重大要素たることは確かだ、この種の基本的発見は實用においても極めて重要な場合が少くない

ところが二十七日のワシントン電報によると、ガーモフ教授はこの発見について「新発見は極めて興味深い、現在實用的な價值があるとは考へられない」と批評して次の通り述べたといはれる

陰性陽子はカピツアによつて宇宙線から檢出されたが、何らかの變化を齎らすに足る量を集めるまでには尙數世紀を要するだらう、假に陰性陽子と等量の金が宇宙線から抽出され、一年に一千弗程度の金粉が米大陸全土に落ちたと考へれば、私の家の裏庭に落ちる量は恐く一仙にも

足りまい、しかしながらカピツアが陰性陽子を人工的に作り出すことが出來るとすれば、発見は大變な意義を持つことになる、自分のみた所では、ウラニウムが地中から掘り出されるのに反しカピツアの発見は自然に放出されるものだけだといふ點で原子エネルギー源としてはウラニウムの発見より劣ると思はれる

△研究の限界

原子爆彈の製作は禁物でも、原子エネルギーに關する研究は純學術的な問題として米英加三國の頭首が世界に宣言した大方針である、しかし何處までが學術的研究でどこからが原子兵器製作の祕密に關係してゐるかといふことになる話が面倒だ、その具體的な例として最近マツカーサー司令部は日本に存在するサイクロトロンを破壊を命じ原子研究裝置を一掃しつつあるが、日本としてはマツカーサー元帥の命するところに何の異議を申し立てる筈もなく、ごく當然のこととして受け入れられてゐたところ、意外にもお膝元の米國デネシー州オークリツヂの科學者達、つまり原子爆彈製作關係者からこれに對して反對を表明する聲明が發せられた、即ちオークリツヂ科學者協會は二十五日夜の聲明において次の通り述べてゐるのである

サイクロトロンは自然の基本的諸事實を發見する爲に使用される機械であつて、かかる諸事實は最近、トルーマン大統領並びにアトレー、マツケンジー、キング兩首相が現在も今後も世界の資産たるべきものと宣言したものに外ならない、去る九月日本に赴いた米國科學調査團はサイクロトロン四臺並びに製作中のもの二臺を發見した、ウラニウムも米國には何處となくあるが日本には二十五封度しかなかつた、仕事をしようにもこのやうに原料が少なく施設が不足してゐるので、日本人は敗戦よりほど前から原子エネルギーの研究を放棄してゐた位である、日本占領以後日本が原子爆彈を製作する危険の全くないことは明らかに示された、従つて何故に世界の知識の倉庫に寄與すべき原子核研究をやめなければならぬかといふ理由は、何人にも理解し得ないといはなければならぬ

聲明の全文は手に這入らないから、紹介すること

が出来ないが、二十五日付の「スターズ・アンド・ストライプス」紙の記事によると科学者達はサイクロトロン破壊を稱して「氣まぐれ且つ愚かなること正に人類に對する犯罪とも稱すべし」とまで言つてゐるといふ、そしてマツカーサー司令部の命令は「日本の圖書を焼き日本の印刷機械を焼くのと變らない位醜態且つ無思慮」な命令だと評してゐる、そしてかう結論してゐるのである。

日本最大のサイクロトロンにより數ヶ月間續けて作業しても精々が眼に見える程度の原子爆彈物質を生産し得るに過ぎない、爆彈一發を作るにはその物質數封度が必要なのだ、かかる氣まぐれな破壊行為は全世界の全知性人によつて非難されるに違ひない。

資 料

米國の對外食糧救済

—ワシントン十九日—

アンダーソン農務長官は十八日NBCを通じて世界の食糧事情を説明、米國が食糧救済に重大な役割を演じなければならぬことを強調したが、右放送の要旨左の通り

「現在全世界の各國間に「公分母」があるとすれば、それは食糧問題に對する極めて深い關心である、多くの國々の國民は充分な食糧を一體何處で如何にしたら得ることができたらうかと憂慮してゐる、解放諸國の數百萬にも上る人々は、彼等が戰爭で荒らされた農業を再建し、家畜を補充し、再び平和時の收穫を初め得る時まで、その間を凌ぎ得る食糧を何處からか得ることができなければ、今年には悲惨な饑饉に瀕した冬を迎へなければならぬまい、世界各國のうち國內の消費にも十分な食糧を持ち、しかも他の聯合國のために若干の食糧を輸出し得るやうな餘裕を持つた國は寥々たるものだが、米國もこれ等數少ない國の一國である、農民の努力によつて米國は戰爭中奇蹟にも近い農業生産をあげ、又例外的なよい收穫にも恵まれて、本年度の米國食糧生産高は戰前の平均年度の三分の一高といふ成績を収めた、この大きな食糧生産を處理するに當つてわれわれは極めて慎重でなければならぬ、何故なればこの處理のうちには多くの非常に大きな問題が含まれてゐるからである、先づ第一に米國は米國民自身に食糧を與へなければならぬといふ仕事を持つてゐる、次でわれわれは大きな陸海軍兵力をも養はなければならぬ、第三には米國は解放諸國に對する食糧救済といふ事業を持つてゐる、これに加へて、種類によつては餘り充分でない食糧を公平に配分しなければならぬといふ困難な問題をも持つてゐる。たとへば、一九四五年の米國の生産食糧額は次のやうに配分された

△盟邦諸國の救済を誓約

米國民	一億六百萬トン	約八〇%
米陸海軍	一千二百八十萬トン	約九%
輸出額	一千五百九十萬トン	約一一%

一方米國は砂糖に不足してをり、この砂糖不足は今後も相當期間續くだらう、またバタの供給状態は一時よりは改善されたが、なほ十分といふことはできない、余はこの際食糧事情に關し四つの重大な問題をはつきりさせておきたい

(一) 米國は自國民を十分に養へるだけの食糧を有し、さらに飢饉に瀕してゐる解放諸國を救済するだけの餘裕もある

(二) 聯合國諸國の食糧補給に最大の貢獻をなしてゐるのは勿論米國であるが、しかし米國だけが食糧補給を一手に引受けてゐるわけではない、食糧補給を必要とする諸國も、國內消費の大部分は自國內で生産してゐるが、なだ國民の生存を維持する爲には多量の食糧輸入を行はなければならぬのである、一方米國の他にもカナダ、濠洲、ニュージーランド、多くの南米諸國或ひはカリブ海諸國は解放諸國に對して多くの食糧補給を行つてゐる

(三) 米國が輸出してゐる食糧の大部分は各國によつてそれぞれ支拂ひが行はれてゐる、アンラの救済事業により無償で供給されてゐるのは全體の三分の一に過ぎない

(四) 米國及び聯合國諸國はその自由確保のため並びに永續性ある平和樹立のため、史上最大の犠牲を拂つた、米國の食糧は世界における饑饉と不安とを除去することによつて、今次の偉大なる勝利をそのまま永續性ある平和とするに最も大きな力を發揮しよう、米國がその全力を盡してその盟邦諸國を救済すべく誓約したのはこれがためである。そしてわれわれはこの誓約を堅持してゐる」

昭和二十年十二月 四日(火)
第 二 七 號

時事通信 海外電報

(27)

ユダヤ流民の移住を繞るパレスチナの騷擾は燃えて燐ぶり、燐つてはまた燃えていつ果てるともなく、解決の曙光も見えない、そもそもユダヤ人對アラビヤ人の問題はユダヤ人のシオニスト國家精神、その資本、新しい國家社會建設の目的による植民文化と、アラビヤ人の歴史的傳統による消極的文化の樹立、或は回教文化とユダヤ教文化の接觸現象である



その原因は、一九二〇年以來ユダヤ植民がアラビヤ人の居住地内に著しく行はれたため、アラビヤ人は非常な生活苦、負債の増加、土地の資本家集中、農民の加速度的貧困に悩まされたこと、アラビヤ人々口の自然増加による經濟的困窮、並びにアラビヤ人の舊態依然たる地方的都市が過剰人口の收容力を缺くこと、アラビヤ人の非能率的生産がユダヤ人の生産能率水準に達しないこと、傳統的生活様式による進取的態度の缺乏等々による經濟的窮乏が、彼等をして入植ユダヤ人の文化水準に達することを不可能ならしめたこと等が主なるものである、對立のこの本質的要素を究めずしてパレスチナ問題の永久的解決は不可能であらう、もともと英國が大戦中に受けた財的援助の代償としてユダヤ人に自治を許し、厄介視するユダヤ人の入植を勧誘したものであつて見れば、土着アラビヤ人との衝突は當然すぎる程當然なのだが、その孤立的生活の故に強大な政治的勢力を持たなかつたユダヤ人が人種的、宗教的結束の下にユダヤ民族主義に精神的統合をおいて、聖地パレスチナの復興、ユダヤ國家建設の大運動を展開してゐる今日において、彼等の入國を禁止する事は至難であらう、しかし一方アラビヤ人にとつてもパレスチナは回教徒の聖地である、ユダヤ人の人口増加によつて彼等が没落の運命に陥ることを許す筈がない解決の曙光は同國の政治的側面よりも、むしろ經濟的、人口的、文化的側面に着目しこれを根本的に調整することにみられるのではあるまいか いづれにせよ、兩民族の反目が激化して一九二九年の「懺悔の壁」のごとき悲劇が再び起るのをみたくはないものだ

デヴィス死去

(ワシントン三十日) 國際デニス試合の最高峰とされるデヴィス盃の寄贈者ドワイト・F・デヴィスは二十八日夜心臓病のため逝去した、政治家としては前國務長官、比島總督等の閑歷を有する、享年六十七

【目次】

赤軍テヘランから撤收	二六二
首相更迭か	二六二
ソ聯回答の内容	二六二
支援説を否定	二六二
特別區設定を提案	二六二
伊外相ガスベリ組閣か	二六二
チトー元帥留任決定	二六二
ハレー旋風その後	二六三
大使、議會で證言	二六三
【米 洲】	
共同干渉案に反對を聲明	二六四
代表權制限案否決	二六四
【西 亞】	
シリア、英軍撤収を交渉	二六四
パレスチナ、信託統治に反對	二六四
【國際機關】	
準備委員會最初の暗礁へ	二六五
總會常任委員會設置案	二六五
【戦後處理】	
米生糸調査團日本へ	二六六
日本紡績の復興を警告	二六六
【資 料】	
制服の天使	二六六
米海軍のコレラ治療法	二六八

A 26 世界一週飛行

(ワシントン三十日) A 26「インヴェイダー」双發攻撃爆撃機は飛行時間九十六時間五十二分をもつて全長二萬四千八百五十九哩の世界一周飛行を完成した、機長ジョーゼフ・R・ホルツァブル大佐は「この成功によりA 26は米國から世界のどこにでも即座派遣し得ることが示された」と語つた、一周飛行のコースはマリアナから西へ向ひ沖縄、比島、印度、北阿、アゾレス、バミューダと廻つたのだつた

赤軍テヘランから撤収

(テヘラン二日) 赤軍は十一月二十九日以来、突如イランの首都テヘランからの撤収を開始し、停車場、電信電話局、赤軍司令部その他の宿舎は十二月二日までにがらあきとなつた

首相更迭か

赤軍突然の首都撤収に關聯し、テヘランからのロイター電報は二日次の通り報道してゐる
イラン政府筋の噂によれば、首相マーマド・ハキミは一週間以内に桂冠し、親ソ派と目されてゐるガヴァム・サルタネ元首相が後繼内閣を組織するのではないかといはれる

ソ聯回答の内容

(テヘラン二日) イラン外務省は二日次の通り言明した

ソヴェト政府は十一月二十九日付の通牒においてイラン軍の西北地區に對する増強を拒否し、若しイラン軍が同地方に入れば必ず戦闘と流血の慘事を惹き起す結果とならうから、ソヴェト政府は更に同地方に對し兵力を増強する外はない事とならう、ソヴェト政府がイラン國內の政治經濟に干渉してゐるといふ報道は全く事實に反し、西北地區のクルト族を支援してゐるとの報道も事實無根である

支援説を否定

(モスクワ二日) モスクワ放送局は二日次の通り述べてゐる

イラン國內の反動分子はソヴェト政府の友好態度を誤解し、ソヴェト聯邦と米英兩國との間に騒擾を醸さうと陰謀をたくらんでゐる、ソヴェト代表はイラン北部地區における所謂國家民主主義運動とは全然關係なく、ソヴェト政府は右運動を専らイランの内政問題と解してゐる

特別區設定を提案

(ロンドン二日) 國際聯合準備委員會英國代表フイリツプ・ノエル・ペーカーは二十九日の委員會

で、國際聯合常設本部をコロンビア區(ワシントン市所在地)のごとき地區に設置することを提案し、「他のいかなる國からも干渉せられざる」場所とすることを主張した、但し米國で首府を選ぶことが出来ない場合には、英國は従來通り歐洲の都市を常設地とするために闘ふだらうとみられてゐる

一方委員會各國代表は、トルーマン大統領の今後三大國會談は必要ないと思ふ、國際聯合は現在聯合諸國の當面する諸問題を引繼ぐことが出来なければならぬ
との聲明に熱狂的歡迎を示し、この聲明は各國間に十分な信頼感をかちうるだらうと豫言してゐる
またベヴィン英國外相は委員會でかう言明した
人類議會並びに世界聯邦の樹立は自分の生きてゐる間に實現し得ると思ふ、國境などといふものが馬鹿らしくみえる位に科學は發達してつたのだ

伊外相ガスペリ組閣か

(ローマ二日) イタリア國監ウンベルト殿下はバリー内閣辭職後紛糾を續けてゐたイタリア政局拾收のため、一日バリー内閣外相アルシデ・デ・ガスペリに新内閣組織を委嘱した、ガスペリはウンベルト殿下に對して六大政黨及び「他の要素」を基礎とする新内閣組織に成功する自信がある旨を回答したといはれる

チトー元帥留任と決定

(ベオグラード二日) ユーゴスラヴィア憲法議會は王政廢止、共和制宣言と共に一日、目下ロンドンに在る元國王ペータル二世の本國歸國を禁止する法律案を採決した、同時に總選舉の結果一應辭職を申出たユーゴ臨時政府首班チドー元帥を満場一致信用投票を行ひ、現職に止まることを要請、元帥もまたこれを受諾した、ユーゴ大統領選舉は引續いて行はれる筈であるが、クロアチアの國民詩人として有名な八十歳の現クロアチア臨時政府首班ウラジミール・ナゾールがユーゴ初代大統領に選舉されるものと解される、ナゾールは本日の議會にチトー留任の提案者として發言した

時事通信

海外電報

ハーレー旋風その後

大統領の特使バイロン・ブライスがドイツ管理政策の修正を進言した直後、ハーレー少将が爆弾聲明を叩きつけて重慶駐劄大使を辭任して以來、國務省の改組、外交政策再檢討の要求が米國政界に有力に擡頭するに至つたが、「アーミー・エンド・ネーヴィー・ジャーナル」誌は十二月一日の紙上で

マーシャル元帥は重慶に赴く際か、乃至重慶からの歸途モスクワ並びにロンドンに立ち寄り、米英ソ三國の關係を攪亂してゐる幾多の懸案について、英ソ兩國政府と意見を交換することとならう、マーシャル元帥はトルーマン大統領の政策を充分承知してゐるし、長い間參謀總長を勤めて來たといふ經歷を持つてゐるから、三國間の意見を纏める上に大いに貢獻しよう、重慶大使に任命される前元帥がロンドン大使に任命される見込みであつたと解すべき理由がある一方、週刊の「アーミー・タイムズ」誌は、マーシャル元帥が重慶から歸任するとともに、ジェームズ・バーンズの後を襲ふて國務長官に任命されるだらうとの觀測を傳へてゐる、またワシントンからのUP電報によれば、現在國務長官は副大統領の地位にあるのでバーンズ長官は動かさず、リリー提督に代つてマーシャル元帥がトルーマン大統領の最高顧問に任命されるだらうとの觀測も流布されてゐるといふ

ベルリンにおけるドイツ管理々事會の行詰りについては、トルーマン大統領は十一月三十日の記者團會見で、拒否權の修正を考慮してゐる旨を仄めかしたが、ワシントンからのUP電報によれば二日に至り國務省當局は

管理々事會の行詰り打開のために英ソ兩國政府に具體案を出してはゐない

と述べたと傳へられる、但しバイロン・ブライスの報告に鑑み、ドイツ管理政策の修正は必至と解されるが、國務省當局は極めて慎重で、近くフラ

ンス代表ジャン・モネが借款交渉でワシントンに到着するので、國務省としては長期借款を代償にルール、ライン兩地方の國際化に關するフランス政府の主張を緩和させることが出來ると考へてゐるらしい

大使、議會で證言

(ワシントン二日) 元駐華米國大使ハーレーが辭職に當つて投じた國務省一部職業外交官に對する攻撃の一投石は次第に波紋を擴大、ワシントン政界の重大問題と化しつつあるが、下院調査委員會は三日ハーレー大使を召喚、大使が國務省内に共產主義的要素が策動してゐると非難してゐる點について證言を聴取するに決した、調査委員長ジョーン・S・ウツド(ジョージア民主黨)は右査問會は非公開であるが、もしハーレー大使の反對がない場合は後公開されるだらうといつてゐる、上院方面ではレイモンド・ウィリス議員(インディアナ共和黨)が

ハーレー大使の極東問題に關しての職業外交官攻撃は、米國の外交機關の能率についてわれわれが抱いてゐる疑問を解消するしないには何等の關係もない、國務省は近い將來大掃除しなくてはならないことについて十分われわれに説明すべき義務を有する

と語つてゐる、上院外交委員會はまたハーレー大使の證言を求めてゐるが、大使は先づ第一に上院に於て證言することを希望してゐる、大使は議會に提出すべきあまたの證據書類を既に用意してゐるが、その中には多くの重慶大使館と國務省間の往復文書があり、證言は一日では済まないものと期待されてゐる、トルーマン大統領は三十日前在支米軍司令官スチルウェル大將、ハーレーの前任者ガウス大使と會見したが、右會見後、新任重慶大使マーシャル元帥に與ふべき訓令は元帥の赴任に先立ち公表する豫定であると語つたが、同上會見でハーレー問題も協議されたものと解される、

【米 洲】

共同干渉案に反対を聲明

(ブエノスアイレス三十日) アルゼンチン外相ホアン・クツクは二十九日、同國はウルグアイ外相の提案せる共同干渉案に反対する旨聲明した。

(ブエノスアイレス三十日) 「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙特派員ジョゼフ・ニューマンは二十九日次の通り報じてゐる。

「アルゼンチン政府當局は、國際協定と西半球における民主主義的原則を保持するために、米洲は共同干渉をなすべしとするウルグアイの提案を敵意をもつて受取つた模様で、政府當局は同提案排撃の聲明書を起草中と傳へられる、クツク外相はウルグアイ提案がこれまでの多數の汎米協定に盛られた不干渉の原則に違反するものであることを指摘すると同時に、アルゼンチン政府が國際公約を完遂して來てゐる事實を再強調するものと見られる、ペロン大佐を支持する「ラ・エボカ」紙は報復措置としてウルグアイとの國交斷絶を主張してゐる、一方ペロン反對の民主主義戰線派ではウルグアイ提案に賛成の模様だが、同派の新聞は老獪な批評振りをみせてゐる、ウルグアイ提案は二十三日アルゼンチン政府と同様各國政府に正式に通達されたが、各國政府は目下これを考慮中の模様だ」

代表權制限案否決

(ワシントン二十九日) 米國上院は二十九日國際聯合參加修正案を否決、安全保障理事會における米國代表の行動を制限せんとする提案を葬り去つた、同修正案は共和黨ロバート・タフト議員の提出したもので、反對者の先頭は共に桑港會議米國代表だつた外交委員長民主黨トム・コナリー並びに共和黨アーサー・ヴァンデンバーグの兩議員だつた、國際聯合參加法案では、理事會米國代表及び副代表の職を設け、理事會の制定せるいかなる侵略脅威をも抑壓するために米國武裝兵力の使用を認める權限を大統領に賦與し、理事會によつて戰爭の脅威をなすと宣言されたる國家に對する制裁に協力する權能を大統領に與へることになつて

ゐるが、タフトの修正案によれば、安全保障理事會米國代表は國際平和及び安全のみならず國際正義にも一致する結果を齎らす如き投票態度をとらなければならぬといふ事になつてゐたのである

【西 亞】

シリア、英軍撤收を交渉

(ダマスカス三十日) シリア首相は二十九日國會において同國から英軍を全部撤收することに關し同國政府が目下英當局と交渉中なる旨發表した

パレスチナ信託統治に反対

(ワシントン二十九日) パーシズ國務長官は二十九日の記者會見において次の通り發表した

米英兩國政府は近く任命される合同委員會に對し、最も迅速にパレスチナに關する調査を實施し、調査開始後百二十日間に兩國政府に報告を提出するやう要請することに意見の一致を見たトルーマン大統領はまだ同委員會の委員發表の段取になつてゐないが、構成委員の發表は恐らくロンドンとワシントンで同時に行はれるであらう

一方大統領秘書チャールス・ロスは二十七日の新聞會見で一特派員が

諸情報綜合するに英國政府は委員を既に選擇済の模様だが米國は何時委員の選衡をやるのかと質問したのに對して、近く選衡に着手する豫定なる旨言明したと傳へられる、兩者の言明を綜合すれば米英合同パレスチナ委員會の成立もさう遠いことではあるまいと推定される、一方パレスチナ現地においては不法移住者の逮捕に端を發したシヤロン溪谷の騷擾は、英軍當局が逮捕者二十名を釋放し、同溪谷地帯から軍隊を撤收したため一應平靜に復した模様だが、イエルサレム電報によれば、パレスチナのユダヤ人機關は二十九日イエルサレムにおいて臨時總會を開催、同機關執行委員長ベン・グリオンがベヴィン外相の下院聲明は曖昧と諷刺だらけで明瞭を缺く旨の演説した後、パレスチナを信權統治制の下に置かんとする英國の提案に反對する旨の決議案を満場一致採擇したと傳へられる

【國際機關】

準備委員會最初の暗礁へ

(ロンドン二十九日) 國際聯合準備委員會はソヴェト聯邦代表が委任統治領及び保護領を處理する爲の臨時信託統治委員會の設置に反對した事によつて、早くも委員會最大の難關の一つに遭遇した。この日ウクライナ代表マヌイルスキ外務人民委員は、準備委員會信託統治理事會委員會がまづ執行委員會報告書に含まれる異論多き諸問題を審議することを提案した、ソヴェト代表グロムイコ駐米大使は同報告書中の難題の一つを取り上げて、總會が常設的な信託統治理事會を選ぶまでその任務を代行する臨時信託統治委員會を設置するとの案は世界憲章に準據したものとはいへず、従つてソヴェト聯邦はこれに反對の立場を取るを宣言し、ユーゴスラヴィア代表は直ちにこれに賛成したが、米英濠及び南阿の四國代表は委員會設置案を支持して、正規の信託統治制度の樹立を促進する最善の手段なりと主張した。

問題の難點は國際憲章が統治國及び非統治國から同數の理事國を出して信託統治理事會を構成すると規定したところにある、そして制度が運営されるまではどこが信託統治國が決められやうもなく、しかも制度を運営するには理事會が必要だといふ矛盾がある、以上の議論は準備委員會が一月の總會までに解決しようとする問題の複雑性を明かに示すものであり、これら難路の處理に關係者双方の理解と善意を必要とすることはいふまでもない。

總會常任委員會設置

(ロンドン二十九日) 國際聯合準備委員會總會委員會は二十九日開催され、總會の機能に關する諸問題を研究するために少くとも六つの小委員會を設置する件を審議した。

總會の休會時にその機能を果すものとして平和及び安全保障のための常任委員會を設置するといふ提案については小國側と大國側の間に論争が豫想されてゐる、オランダ代表から提出される豫定のこの案は、安全保障理事會と總會の間の圓滑且

つ效果的な調整を意圖したものだ、見方によればこの提案は世界平和機構における權威を増さうとする小國側の企圖であり、オランダ代表はかかる委員會により總會はその討議を表面的に慌てて行ふといふ危険を免れるだらうと述べてゐる。

【戰後處理】

米生糸調査團日本へ

(ニューヨーク二十九日) 「ジャナナル・オヴ・コマース」紙二十六日の報道によれば、米國の生糸専門家ダニエル・ドーティはマツカーサー元帥の要請により生糸調査團々長として東京に向け出發した、ドーティは既に三回にわたり日本及び中國を訪問したことがある生糸の權威だが、かれは出發に際し次の通り述べた。

日本には現在直ちに輸出し得る生糸四萬六千捆があるが、さらに手持の繭によつて六萬捆の生糸を生産し得ると推定されてゐる、余の手許にある情報はいづれも斷片的なものだが、これ等の情報を綜合すれば、輸送問題さへ適當に解決できれば、米國は毎月約一萬捆の生糸を輸入し得ることにならう、調査團は日本ばかりでなく中國をも訪問していろいろ世界の生糸市場の狀態を調査することとならう。

日本紡績の復興を警告

(ニューヨーク三十日) 米國織物輸出協會々長ウィリアム・ブランツは二十九日、ニューヨークで開かれた綿織物協會年次大會で次の通り演説した。日獨兩國の紡績業は決して完全には破壊されてをらず、再びその觸手を全世界にのびし得る能力を持つてゐる、日本の紡績を中國に送る場合には、中國の紡績業は大陸奥地の人口稠密な地域に建設さるべく、現在主として海港附近にある中國の紡績業を輸出産業として發展させるために中國の低廉な勞働力が動員されるやうな事態を招来してはならない、日本が現在持つてゐる錘数がたとへば三百萬錘としても、もし日本が戰前の能力の一部を恢復することを許されるならば、最も新式な機械をもつて最高の能率を持つて恐るべき有力な紡績業が再建されるだらう。



制服の天使

横濱の波止場にある穴だらけの倉庫——解放された聯合軍俘虜の旅行狀交付所——に先週、米國陸軍看護婦の活潑な足音が響き渡つた、當座の間に合はせにモスリンの布を張り廻らして仕切つた部屋の中で、彼女達は醫師を助けてかつての俘虜達を故國へ旅立たせるための手當を加へてゐるのだ、集つた男子の大部分は、さうした手當などよりこの清楚な制服姿の女性達の方に心惹かれた、その一人は感に堪えかねて一人の看護婦を捕へおすおすこんな質問さへ發した

じろじろ眺めても構ひませんか、随分長い間米國の婦人を見なかつた、まさか二度と再び故國の婦人なんかみられるとは思つてゐませんか、たよ

☆口笛、歡聲

かうした讃辭を洩れ聞いた看護婦達の面には微笑が漂つた、丁度他の戦線で、他の種々な場合に他の看護婦達が兵隊の讃辭や口笛や呼び聲に迎へられて微笑したと同様に——彼女等はさうした讃辭を、このやうな前線まで自ら進んでやつて來た女性の援助に對する兵隊の感謝の表現として素直に受け入れた

前大戦中陸軍看護婦は負傷兵の第三收容所である占領地の病院までしか進出を許されなかつた、今次戦争では、一律に第二次收容所である野戦病院に割當てられた、フランス、ドイツ、あるひはイタリアでは必要止むを得ず、第一線の前線網帯所で活躍した、但し太平洋戦線では、日本軍捕虜になる惧れがあるといふマツカーサー元帥の配慮からあまり前線には送られなかつた、陸軍看護婦の場合と同様、海軍看護婦の配置も全く各戦域司令官の採量に任せられてゐた、勤務分野には拘りなく、従軍看護婦は真珠灣攻撃から東京灣上陸に至るまで、その間になされた大ていの決戦地點バ

タイン、コレヒドール、北阿、イタリア、ノルマンディ、ドイツ等で戦争の危険に身を曝し積極的に活躍した、彼女等は砲彈の降り注ぐなか、泥濘をついての強行軍を體驗しK口糧を食べ天幕に寝起きし、女らしい装飾はすべて棄てて前進した、航空方面では戦争の新現象として落下傘降下と空中醫療の特別訓練を受けた飛行看護婦の出現がみられた、しかし、これらの従軍看護婦に與へられた最高の讃辭は軍醫總監ノーマン・カーク將軍の前大戦においては、戦傷者八%が死亡したが、今次大戦の死亡率は僅か三・三%に過ぎない、このやうに死亡率を減少することが出來たのは看護の力によるところ極めて大である

との言明であらう、従軍看護婦の功績の一端はまた看護婦自身の死亡十九名(そのうち一ヶ所で最も多くの死者を出したのはイタリア戦線のアンチオ上陸における八名)負傷六十名といふ損害數によつても伺ふことが出來よう

☆義務以上

陸海軍看護婦の勇氣はまた彼女等に授與された勳章感狀が夥しい數に上つてゐる事實にもみることが出來よう、陸軍看護婦隊では一千百九十件、(最高は婦人部隊長フローレンス・ブランシュフイールド大佐に贈られた殊勳章)——海軍部隊では七十九件(うち四十二件は部隊感狀)の多きに上つてゐるのだ

勇敢な行爲の數々——あまりにも數多く彼女等自身は當然のことと思つてゐるのだが——のうちに特に顯著な例を二、三挙げよう

一、日本軍が真珠灣を攻撃した際同灣に投錨中だった病院船「ソレイリス」號の十四名の看護婦には海軍部隊感狀が授與された、日本爆撃機の第一波が通過し終らないうちに、「ソレイリス」號は救命艇を下し、負傷者を船上に收容して傷の手當を始めた外科用具の殺菌消毒、麻酔施術に忙殺されてゐた彼女等は、隣に碇泊中の戦艦「ネヴァダ」及び「オクラホマ」に爆彈が命中した時にも眼を上げる暇さへなかつた、長年の海上生活の故に「曳船のア

時事通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ニイと呼ばれるグラシー・ラリイ婦長指揮の下に彼女らは同船に收容された三百名の負傷者の手當の終るまで働き續けた後、危険の去るまでは四時間交代で起きてゐたのだつた

一、南フランスで十四名の負傷者を乗せて飛行中墜落戦死した飛行看護婦アレダ・ルツツ嬢は殊勲空軍十字章を授與された、飛行回数百九十七回、飛行時間七百二十七時間といふ看護婦隊中での最高記録保持者だつた、その後この記録を破つたのは彼女の屬してゐた航空活動の活潑な同じ八百二十中隊の隊員だつた

一、もう一人この殊勲空軍十字章を贈られたのは二十四名の負傷兵の一隊を護送してパオオからガダルカナルに向ふ途中墜落した飛行機に搭乗してゐたメリー・ルイス・ホウキンス中尉だ、墜落した利那プロペラの一本の翅が胴體の横腹をぶちぬき一人の患者の氣管を斷ち切つた、ホウキンス中尉はあはせた醫者の手をかり、持ち合はせの用具で吸上げ管をつくつてその患者の咽喉に差込んだ、この應急處置のお蔭で患者は救援隊が来るまで十九時間生命を保ち得たのである

一、海軍看護婦中での最高褒賞は、マニラ灣、バタイン、コレヒドールと轉戦した海軍衛生隊のアン・バーナタイタス中尉に贈られた殊勲章だ、同中尉は敵軍が病院を占領する直前、潜水艦に乗り込み濠洲に脱出、更に勤務を願ひ出で、現在西太平洋にある病院船の婦長となつてゐる

一、マニラ灣に残留、日本軍の俘虜となつた看護婦十一名は海軍から青銅二等星章の代りに、金星章を贈られた、ロス・パノスに抑留中は、飢餓状態と醫藥不足にも拘はらず、百五十餘件に上る大外科手術を手傳つてゐる

☆ 應 召

日本軍が眞珠灣を攻撃した際、陸軍の擁した看護婦は定員一杯の九百四十九名、海軍は八百二十八名だつた、陸軍は一九四四年十一月一日から一九四五年三月十五日までの期間は別として海外派遣部隊兵一千名に看護婦六名の割合でどうかやつて來た(一九四四年十二月には十一隻の全科病院船が一人の看護婦も乗せずに渡航した位だ)海

軍は兵一千名に看護婦三名の割合で困難ではあつたがとにかく海外勤務の間に合はせた

看護婦徴募の隘路となつたのは次の諸要素だつた
一、階級 看護婦が軍籍に入るや直ちに與へられる階級の規程は、老功看護婦には不公平とみられてゐる、即ち誰れでも海軍に入れば直ちに海軍少尉に、陸軍に入れば直ちに陸軍少尉となる仕組みで、經歷には全然考慮が拂はれてゐない
一、給與 一九四二年六月まで陸海軍共新入隊看護婦には月九十弗が支給されてゐた、次いで臨時法令が議會を通過し、海軍看護婦は本俸百五十弗の他に諸手當を支給されることになつた
陸海軍看護婦數が最高に達したのは一九四五年春のこと、二月のルーズヴェルト大統領の看護婦徵用勧告に續く全國的な看護婦總動員運動の結果、陸軍五萬七千、海軍一萬一千五百といふ最高數に達したのである

☆ 平服に還る日

日本占領が開始されても従軍看護婦の活動は依然活潑だつた、降伏調印の三日前に陸軍看護婦九十名が陸軍病院船メアリゴールド號に乗つて先遣隊として日本に繰り込み、つづいてレスキュー、ベネヴォランス、トランキリテイの三隻の海軍病院船は第三艦隊と共に解放された俘虜の手當と後送のために八十九名の看護婦を乗せて東京灣に入港した、看護婦達は野戦班編成で俘虜收容所に派遣されたが、うち三名は死に損なつた東條元首相に附添ふこととなつた、(メアリーランド州ロング・グリーン出身のレベツカ・シュミット中尉は「こんなことにならうとは思つてもみなかつた」と冗談のやうにいつてゐた)

然し彼女等の間でも先週の話題の中心となつたのはどこでも同じ復員問題だつた、海軍婦人補助部隊の士官の爲に他部隊と同様點數制度を設け、年齢、勤務年限、海外勤務、扶養家族等に基き三

十五點を除隊數とし更に歐洲或ひは太平洋戰線かの夫の歸還等も考慮に入れ、海軍は九月十五日看護婦の復員を開始した、既婚婦人の復員を十一月十日に開始する旨の聲明によれば明年二月までには二千名の復員が完了する筈である。

陸軍が最近發表した看護婦復員計畫によれば、三十五歳以上の者、既婚者、十四歳未満の扶養家族を持つ者等で三十五點を有する者はすべて除隊させることになつてゐる、九月以降除隊した陸軍看護婦は約二千名、當局側の目標では本年末までに二萬五千名の復員が行はれる見込である。

米海軍のコレラ治療法

人類にとつて最古最大の死敵コレラの「完全治療法」といはれるものが、最近のカルカッタにおける流行に際して行はれた統制實驗の結果、米國海軍によつて發見された。

この研究は年々コレラが猖獗する印度、中國、ビルマ、セイロン、比島各地に駐屯する多數米軍將兵を守るために行はれたのであつた、この疾病に對してはワクチンがあるにすぎず、それさへ確實な防疫手段とはいへなかつたのだ、今や血清、ズルフアデアツイン及び鹽溶液を正しく用ひればコレラのために死ぬ必要はないことが試験済みの事實として知られるに至つた。

△血漿療法

現在ワシントンに在る實驗部隊責任者ジュリアス・M・アムバーソン中佐の言によれば、從來コレラ罹病者の三割乃至八割が死亡したのに對し、新療法を使用すると百パーセントの全治が確實だといはれる。

防疫第五〇部隊が本年六月カルカッタに到着した當時には、火葬場はコレラ死亡者の屍體が山と積まれてゐた。

海軍防疫部隊がカルカッタで實驗のために選んだ四百名の患者のうち、一群はズルフアデアツイン、一群はズルフアグアナデン、一群はベニシリン、他の一群はズルフアデアツインとベニシリンの綜合療法といふやうに、四群に分けて實驗が行はれた。

研究室内の實驗では以上三種の藥品はコレラ病原體に對して効果を有することが實驗されてゐたが、人體の場合には發病が極めて急激で、しかも水分喪失と血漿不足のために血行が遲滯するので藥劑は十分病原と對抗し得る速度で體内に廻ることが出来ない、そして循環し得ない赤血球が一ヶ所に溜る結果、患者の手足には壞疽が出来る。

アムバーソン中佐が思ひついたのは、コレラに胃された血液のドロドロした膠のやうな粘性を血漿によつて薄め、ズルフアデアツインが作用する間患者の身體が正常な機能を果すやうにしてやることだつた。

コレラで死にかかつてゐる或る住民患者の血管にポンプで血漿を送り込んでみると、忽ち脈搏強くなり、八日か九日の後にはそのコレラ患者はすつかり治つて徒歩で退院したのである。

△重慶を救済

カルカッタの流行が頂點に達した頃、今度は重慶にコレラが發生した、アムバーソン中佐は麾下の實驗部隊が發見した療法を海軍々醫總監ロス・T・マツキンタイア中將に打電し、それが中將から在重慶米軍衛生隊及び中國衛生當局に傳達された、血漿とズルフアデアツインと鹽溶液を積んだ航空機は數百の人命を救ふべくヒマラヤの山嶺を越えて飛んだ。

アムバーソン中佐は「海軍醫學報」十二月號に發表される豫定の報告の中で實驗成績を要約してかう述べてゐる。

わが防疫第五〇部隊の實驗成績に基き、次の方法を推薦する。

一、コレラの單純輕症患者の療法としては、ズルフアデアツインに適當量の金屬鹽類を加へたものを用ひ、營養療法を併用する。

二、中程度の患者、特に肺炎を併發せる者に對しては右の療法にベニシリンを併用する。

三、震盪症狀を有しまたは血行不良なる重症患者においては臨床効果を迅速ならしむるために血漿と金屬鹽類の混合液を多量與へ、ベニシリン乃至ズルフアデアツインの効果が表れるまでこれを繼續する。

昭和二十年十二月五日(水)
第二八號

時事通信

海外電報

(28)

原子エネルギー問題を中心とする國際政治の動きはロンドンにおけるUNO(國際聯合機構)の具體化と共に益々複雑になりつつあるが、米英加三國の共同聲明以來アングロサクソン諸國とソヴェト聯邦とは互ひに睨み合つたまま相手の出方を待つてゐる感があつた、共同聲明は情報の自由交換を「提案する用意」あることを示し、UNOへの提案を準備する特別委員會を「設置すべきだとの意見である」旨を明かにしたにすぎない

謎とされてゐたソ聯の態度は十二月二日付黨機關紙「ブラウダ」の論調にその大體が窺はれる、同紙はいはく「原子爆彈問題の最後の解決案として諸國民選出の世界議會を設置するといふ案は最近の英國下院討議でベヴィン外相及びイーデン前外相の支持を得たやうだが、これは各國が主權の一部を提供することになる



この提案の理由として、現在の科學の發達の下にあつては各國が自國の安全を守ることが極めて困難だといはれてゐるが、この主張は必ずしも納得することは出来ない、寧ろ世界協和の假面の蔭に、平和維持の主要任務を有する諸大國の協力を第一條件とする國際憲章の根柢を脅かすことになる、重大決定に諸大國の全員一致を原則としたのも國際聯合機構を眞に効果的ならしめるためだつたのだ」

即ち「ブラウダ」紙は拒否權問題に關する英國その他の主張に眞向から反對してゐるが、これは同じく實力を政治の基礎とする米國と共に極めて現實的であり、弱小國が學者の主張する世界國家論や世界議會論とは正反對の立場にある、そして原子爆彈の脅威も、機構の効果も平和を維持し得るものでないとすれば、平和は依然大國の協力意思に依存しなければならぬ、同じ論文が指摘してゐる如く「植民地的奴隸生活が戦争と共に終了すると信じた人々の希望はまだ達せられたわけではなく、戦争から平和へ移行する過渡的な時期を更に安定したものとするためには、なほ多くの根氣強く執拗な努力が必要とされるのである」

ワスプ・メヂャー巨人發動機

(カーストハートフオード)コネチカウト州(三日)ユナイテッド航空機會社は二十七日夜次の通り發表した

「新しい定期空路機並びに將來の軍用機は、大部分が世界最大の航空發動機たる二十八氣筒「ワスプ・メヂャー」を使用することにならう、「ワスプ・メヂャー」は三千六百五十馬力以上の出力を有す

【目次】

米英經濟交渉一頓挫……………二七〇

勞働と經營の會議終る……………

イラン内閣互潰の危機……………二七一

佛銀行國營明春實施……………

ガスベリ組閣を斷念……………

【歐洲】

佛銀行國營案成立……………二七二

芬でナチ依然活動……………

埃新通貨實施……………

【原子エネルギー】

原子計畫經過を説明……………

【特輯】

ロンドン會議その後……………二七三

【資料】

獨逸管理に關する報告……………二七八

るが非常に無駄がないので、その直徑は二十年前の四百馬力ワスプ發動機に比し一時を増してゐるにすぎない、各處の戦場で際立つた性能を示した「ダブル・ワスプ」より十氣筒多い、「ワスプ・メヂャー」の完成は終戦前だつたが、戦闘に参加したことも營業航空に使用されたこともない、但し今後陸軍の二超重爆ほか少くとも八種の軍用機及び五種の最新大型商業用航空機に使用されることになつてゐる」

米英經濟交渉一頓挫

(ワシントン三日) イングランド銀行理事ケーンズ卿を首班とする英國の經濟使節は、九月中旬以來ワシントンにおいて、クレイトン國務次官補以下、米國代表と

一、英國の支拂勘定問題—借款

一、英國の通商政策—關稅障壁、爲替管理特に英帝國特惠制度

の改訂について交渉を重ね、十一月二十四日には米國政府が貸與協定打ちりのため英國に對し總額三十五億弗の借款を提供するとの大綱に基き、略略協定が成立したと傳へられたが、ケーンズ卿が本國政府に請訓したところ、自治領各政廳に難色あり、交渉は突如逆轉するに至つた様子だ

確開するに米國政府は弗貨借款提供の條件として、「借款の一班は英本國が磅貨ブロックの各國に對して負ふてゐる債務の償還に充當し、同時にこれ等磅貨ブロックの各國は右資金を以て米國品を買付けること」を要求し、ケーンズ卿は暫定的に用意を與へたのだが、財務次官サー・エドワード・ブリッグスが本國政府の回訓を齎らして二日ワシントンに到着した結果英國政府としては

一、磅貨ブロック内で弗貨借款を使用することに
ついては如何なる制約をも受け容れることが出来ない
一、借款の總額についてはあくまで四十億弗を要請する

方針なることが判明した

右回訓の結果ワシントン外交界筋では、果して満足な協定が出来るかどうか疑問視されるに至り新な批准がなければブレトン・ウッズ通貨協定は十二月三十一日を以て失效し國際貿易の復元も望薄となるので、可成り憂色が濃い、更にペン・アメリカン航空會社が空路を英本國に擴張し度い旨申入れたのに對し、英國政府が許可を與へなかつた事實あり、ワシントンからのUP電報によれば國務省並びに議會筋では、英國政府が借款を確保する事が一段と困難になるのではないかといはれる

勞働と經營の會議終る

(ワシントン三日) 再轉換期における所謂「産業上の抗争」を處理する目的のもとに、米國産業界勞働界の領袖三十餘名を網羅して十一月五日、ホワイト・ハウスにおいて開會された「勞働と經營の會議」は十一月三十日をもつて終了した、會議の結果、六委員會のうち三委員會が取扱つた争點についてはつひに意見の一致を見ず、物分れに終つたが、會議に参加した各代表の意向を綜合すれば、會議の「貸借對照表」は次の通り

成果、一、勞働と經營とが初めて全國的基礎のうへに同じ會議のテーブルを取り圍んで會談したこと

一、かかる合同會議を更に繼續すれば、勞働と經營との諒解を促進し産業上の争議解決を促進することとならう

一、勞働契約交渉の初期においては自發的仲裁その他「一切の平和的手續」を盡くした後でなければ勞働も經營も罷業またはロック・アウトに訴へない

一、現存の勞務契約のもとに苦情が持上る場合にも、罷業やロック・アウトに訴へずに最終的且つ拘束力ある仲裁手續その他苦情處理の效果的な手續を講ずる

一、聯邦和協機關を強化擴充する

一、會社と組合との取引においては、人種、膚色、宗教並びに男女の別によつて何れの差別をも設けないこと

物分れ、一、賃銀

一、産業上の争議處理乃至阻止に關する事實調査その他の新たな重要機關が出来なかつたこと

一、勞働と經營とが法律のもとに、平等な責任を負ふとの原則が極らなかつたこと

一、經營の機能と責任とが明確に類別されなかつたこと

一、班長(フオアメン)の組合化が出来なかつたこと

一、秩序ある手續を盡す以前に、罷業する權利を据置きにしたこと

時事通信

海外電報

イラン内閣瓦潰の危機

アゼルバイジャン地方に對するイラン政府の兵力派遣要請をソヴェト政府が一蹴したことは、叛亂鎮壓の最後の希望を斷つと同時にアクメッド・ハキミ内閣を窮地に陥し入れるものとして、局面は極めて重大且つ微妙な段階に突入するに至つたが、テヘランからの情報によれば、ハキミ首相はソヴェト政府の通告に對して重ねて覺書を發した様子で、近く議會において覺書の趣旨を發表、ソ聯に對する政府の公式態度を明かにする方針と傳へられる、イラン政府の覺書の内容は未だ明かにされてゐないが、AP電報がイラン外交筋の情報として傳へるところによれば極めて腰の弱いものといはれ、まづソヴェト政府がイランの内政に干渉せずイランに關する米英ソ三國協定を尊重すると稱したことに満足の意を表し、秩序を回復するためアゼルバイジャン地方にイラン軍隊を派遣する許可を請ひ、住民に對して強壓的措施を採らぬことを約束してゐるといはれる

一方イラン政府は反ソ分子のテヘラン市長に辭職を要求してソ聯の意を迎へるため徒らに腰を低くしてゐる有様だが、テヘランからのUP電報によれば、ソヴェト政府はすくなくとも六名の主だつた閣僚と警察官吏の更迭を要求してゐると傳へられるから、ハキミ内閣の瓦潰は既定の事實と言つてよく、政府の對ソ弱腰を不満とするイラン政界の動きも政府打倒に壓倒的に傾いてゐる模様だ以上の雲行について三日のロイター電報は次の通り報じてゐる

△各政派倒閣運動

「ソヴェト政府に對するイラン政府の覺書は政府の立場を一段と弱めるものだが、更にハキミ首相が二日議會に對してアゼルバイジャン問題に關する討論の中止を要求したことは議會各派の不滿をかつた様子で、宮廷側近の議員團や「國民の意思黨」は政府の要請をはねつけて討論を開始し、ソ聯の内政干渉を痛烈に非難、國王レザ・シャー・

パーレヴィも政府のソ聯懷柔政策を快しとせず、積極的に倒閣工作を進めてゐると傳へられる

また政府がテヘラン市長を罷免したことは更に多くの政派を政府反對の陣營に投ぜしめる結果を招來、國王側近の議員團、「國民の意思黨」及び無所屬の一部は協同戰線を張つて政府打倒に努めてゐるが、なにせ全部を合しても議員總數百二十七名の四分の三に満たぬため、議會に不信任動議を提出して、一氣に政府を葬り去ることはまづ不可能だ、これに對して親ソ派のトウデフ黨もまた倒閣工作を進めてゐるが、同黨はイランにおける最も強力な政黨で、主としてソ聯占領地域に土地を持つ地主の支持を受けてゐるため、その勢力は侮り難く、目下のところ同じ倒閣運動でも親ソ、反ソ兩派の極どい兼ね合ひの状態だ

以上の事態に對處して米國は二千の兵力をイランに急派したが、イラン駐劄米國大使館は二日理由を説明して

明年一月一日に米國軍をイランから撤退させる準備のためだ

と聲明した、UP電報によれば米國と並行して英國も三日兵力を増強したといはれるが、英國當局は以上の噂を否定、米國も情勢の如何に拘はらず期日通りイランを撤收する意向を表明して、表面不干渉の態度を採つてゐる

佛銀行國營明春實施

(パリ三日)フランス銀行を初め四大銀行の國營は二日夕刻議會を通過したが、實施は一月一日となつた、投票結果は五二一對三五で、反對は極右派のみである

ガスベリ組閣を斷念

(ローマ三日)二日、イタリア國監ウンベルト殿下により組織を委嘱された元外相キリスト教民主黨ガスベリは六大政黨代表との交渉をつづけてゐたが、内相の椅子の割當をめぐる左翼各派の抗争があり、遂に組閣を斷念、イタリア政局の混亂は當然收拾の見込みがなくなつた

【歐 洲】

佛銀行國營案成立

(パリ二日) フランス憲法議會は金曜日政府から提出されたフランス銀行及び四大銀行の國營化法案を多少の修正の後二日採決、フランスの金融はここに全く政府の統制下に入ることになった、フランス銀行及びその他國營化された銀行株券所有者には國債をもつて補償するはずである、今回の劃期的措置によつてフランスの銀行預金の八割以上が國家統制の下に入ることになった、議會からは右の外に二大商業銀行の國營案が提案されたが政府當局は商業銀行の國營化は外國貿易の發展を阻害するとの理由で除外を主張し、議會側は右案を撤回した

芬でナチ依然活動

(ヘルシンキ二日) 「ニューヨーク・タイムズ」紙特派員アトランスの報道によれば、フィンランド内相レイノは二日次のごとく言明したといはれる

支柱はすでに破れ去つたが、フィンランドには依然現政府に反對工作を續ける地下組織が存在する、政府はこの運動の指導者として、陸軍部内で高位を占める連中を逮捕したが、それにも拘らず、ファシズムは依然として完全には除去されてゐない、かれ等の目的は政府の仕事をして出来るだけ困難ならしめ、戦争責任公判に關する政府の仕事を複雑化せんとするにあるが、然し議會の全面的支持を受けてゐる政府は未だ傷を受けてゐない、なほ檢閲制度は地方新聞と外國通信に課せられてゐるが、それは小規模なものにすぎず、對外關係を危険ならしめるやうな問題にのみ限られてゐる

澳新通貨實施

(ウイーン二日) オーストリア憲法議會はオーストリア新通貨法を十二月十三日より二十日に至る一週間に於いて實施し、その間においてあらゆる聯合國の通貨及び十マルク以上の舊ドイツ馬克はオーストリア新シリング通貨に引換へられ、以後

の使用を禁止されることを決定した

【原子エネルギー】

原子計畫經過を説明

(ワシントン三十日) 待望の上院原子力管理委員會第一回公聽會は二十七日開催、委員長ブライエン・マクメーホン議員の挨拶の後、經濟學者アレクサンダー・ザックス博士が最初の證言人として次の通り語つた

「全世界の科學者は一九三〇年代から新エネルギー放出が驚くべき偉大なる諸發明を豫見してをり、ドイツがチエコスロヴァキアを席捲して一九三九年四月にウラニウム輸出を制限した時には、いよいよ時期が來たことを知つたのだつた、當然自分はルーズヴェルト大統領の經濟的「エレミア」(豫言者)だつたが、その十月十一日に初めてこの新エネルギー創造の構想を大統領に進言した、自分はアルベルト・アインシュタイン博士から大統領に宛てた一九三九年八月二日付の書簡をもつてゐたが、これは新エネルギーの研究を慫慂したもので、大いに勧め、時機が絶體大切だと説いた手紙だつた、そこで自分はアインシュタイン博士の手紙をルーズヴェルト大統領に讀みかせ

この原子エネルギーといふのはたしかに創造し得るが、こんなものに隣人を爆破されてはならない

と付加へた、大統領は

樞軸國がそいつを作つて先に俺たちを吹飛ばさなければいいがね

と答へ、大統領軍事副官エドウィン・ワトソン少將を呼び出して

こいつは何とかしなければならぬといひ渡した、早速諮問委員會が指令され、委員會は一九三九年十一月一日付第一回報告書で原子力及び原子爆彈に可能性ありと具申した、ドイツが白蘭地方を席捲し、ベルギーのウラニウムをもチエコスロヴァキアのものと同じやうに押へてしまつた以上、われわれは益々急がなければならなかつた、最後には二十億弗にたつた原子爆彈豫算の第一回の支出は六千弗にすぎなかつたのである」



ロンドン會議以後

長谷川才次

ロンドンにおける五ヶ國外相會議は「N・Y・タイムズ」紙の表現を借れば「特定の平和處理を起草する聯合國最初の共同企圖」であつたが、「二十二日間に亘る無駄な論議は、モスクワと西方の聯合國との間に横はる目的と考へ方とにおける大きな溝を再び曝露するに主として役立つた」に過ぎない

會議の失敗は三大國の團結が平和建設の最初の試練において崩壊するに至つたことを意味するのだらうか、戰爭中宣言された高遠な目標が權力と地位とを爭ふつかみ合ひのうちに看板から抛り出されて了つたのであらうか、ソ聯に對する西方の不信と、兩主要同盟國にたいするソ聯の疑心とによつて、世界は再び孤立主義に立ちかへらうとしてゐるのだらうか、それともロンドンの決裂で疑團を一掃して前途の諸困難に對するより眞直ぐな考へ方が行はれるやうになるのだらうか

△失敗の原因

「N・Y・タイムズ」紙は十月七日の紙上において、ロンドン會議決裂の意義を検討した後、以上の重大な問題を提起してゐる、勿論これ等の設問に對する答は時日の推移に俟つ他はないが、米ソ兩國の反應は十月五日バーンズ國務長官がワシントンから米國民に放送した聲明と、「イズヴェスチャ」紙が同日の紙上第一頁に掲げた社説によつて少くとも片鱗を窺ふことが出來よう、バーンズ國務長官は曰く

我等の事業を停止させた原因は決して些々たる問題でも技術的問題でもなく、どうしても片付けねばならない争點を提示してゐる、平和の達成に當り、平和の維持と執行とに重大な利害關係を持つてゐる他の國々を除外して、三ヶ國乃

至更に五ヶ國だけがこれに當るかどうかの問題だ、合衆國は敵國に對して平和條件を指令する用意はあるが、各同盟國に對して條件を指令することを欲しない
ところが「イズヴェスチャ」紙は單刀直入、次の通り論じてゐる

ロンドン會議決裂の眞因はベルリン協定に對する觀念の相違にあり、ロンドンにおける米英兩國代表の行動は、二ヶ月以前ベルリンにおけるそれとは異つてゐるかに見受けられた、米英兩國の立場は絶對に三國間に現存する諸協定を忠實に守るといふことは合致しないが、兩國政府があくまでかかる立場を固執するにおいては三國間における合作の基礎そのものが動搖するに至らう

△單純と複雑

然らばロンドン會議における論争の焦點はどこにあつたのだらうか、會議の具體的な經過はその都度外電で報道してゐるから省略して、次ぎに「N・Y・タイムズ」紙のロンドン特派員が會議決裂の前後を通じて打電してゐるところを引用して會議の空氣を傳へよう

ロンドン九月二十九日C・L・ザルツベルガー

「モロトフ外務人民委員が東歐洲各國との講和條約案研究の基礎として、極めて單純な指導原則を提示したのに對し、米英兩國代表の多數は、それではこれら東歐洲各國とソヴェト聯邦との間の双務協定に他ならない、休戰協定を永久化するだけではないかといふ譯で、モロトフ外務人民委員の餘りに單純な指針に反對してゐるが、一方ソヴェト代表團は例へば版權法や特許權等々まで入つてゐる百ヶ條餘に亘るイタリア政府との講和條約に關する英國の提案のやうに複雑な構想の眞實が掴めない

抑々ソヴェト聯邦は、或る意味では比較的單純な國柄で、殊に法制機構は漸く羽が生え出した程度を出ないのだから、英國人が混み入つた考へ方から持出した諸問題はソヴェト聯邦には存在してゐないしソヴェト代表には本當に分らない、米國代表は大まかに基本的且つ單純な指針を極めやう

といふソヴェト代表の考へかたに賛成だが、右指針に掲げられた個々の諸點については遽に同意し兼ねるといふ譯だ、數次に亘る會議を攪亂する要素の一つは、片方はモロトフ外務人民委員の代表團と他方バーンズ國務長官、英國首相サー・アーネスト・ベヴェンを中心とする四國代表團との間に明に持上つた鬭争だ、殆ど全部議論になる重要な問題毎に落付くところは四對一の意見表示だ、その結果ソヴェト代表はモスクワに請訓して、スターリン元帥の嚴重な訓令の修正を求めるために時を稼がうといふ考へから手續問題を持出し、激しい論争が展開するに至る

一例を上げよう、會議の當初モロトフ外務人民委員はギリシヤに關して横車を押したが、これは後でルーマニア、ブルガリア兩國について英語國の代表と意見が合はぬ場合を豫想しての伏線であつた事は明かだ、特に同委員が地中海並びにアフリカ大陸の將來についてソヴェト政府が大規模に協力する權利があるとの論旨を展開したのは、聯合國殊に英國代表は全く不意をつかれた、更に今週に入つて論議が白熱して來ると、マツカーサー元帥が單獨で日本管理に當つてゐるといふ問題を持出し、數週間前米國大使アヴリル・ハリマン氏が、數ヶ月間クレムリン宮で會つて見なかつた痛烈な論争を展開した同じ問題を蒸し返した」

會議決裂の後同じく「N・Y・タイムズ」紙のロンドン特派員ハーバート・L・マシー氏は十月六日、ロンドンから次の通り打電してゐる

△公約の解釋

「五大國代表は、ロンドンで深淵に臨んだが、飛び込まずに引きかへす智慧を持合せてゐた、聯合國は一ヶ月以前よりも平和から遠のいたが、取りかへしのつかぬやうなことは一つもしてゐない、ボツダムで出来上つた方式に基いて平和を探索しようとしたのだが、右方式の解釋について意見一致が出来ぬことが分つた、二つの違つた外交手段が採られたが、相對立する双方がお互相手方を理解出来ぬことが判明した、もう世界の各國と共に正常な經濟的政治的外交的關係への道程に入つていゝ五ヶ國が、依然として休戰協定のもとにあり、

從つて技術的には敵國だ、二ヶ年に亘り聯合國と共に戦つたが、イタリアは未だに敵國であり、七ヶ國がイタリア領土の各部分を奪ひ取らうとして争つてをり、第八のソ聯が龐大な賠償を要求し、米英兩國軍が依然イタリア領土を占據してゐる

五ヶ國代表は三、四日間に亘つてバルカン諸國との和平條約策について討議したが、討議の終りに當つてモロトフ外務人民委員が右討議の議事録に對する署名を拒んだため、バルカン各國についても何も纏らなかつた、同委員は九月十一日フランス、中國代表が、投票は出来ぬがバルカン平和諸條約の討議に参加していいと同意した、ところが九月二十二日には行き違ひがあつたと稱して、兩國代表の参加を拒否した

問題は一見單純な手續だけのことのやうだが、極めて重要な兩原則が實際には問題になつてゐるわけだ、第一は自由意思に基いて纏つた取極めは尊重せねばならず、都合が悪くなつたからといつて一方の當の國だけで一方的に破棄することが出来ぬといふ點である、フランス代表はこの點を強調し、或る當の國が破棄しようとするれば、條約同盟乃至嚴肅な協定が機能を發揮しないといふのであれば、將來如何にしてこれ等の公約が有効だと考へることが出来るかと反問した、モロトフ外務人民委員は一國の元首が調印した協定だけが有効だと主張したのだが、米英佛三國代表が反對してゐるのは、戦争の遂行と同様平和の建設を三巨頭の掌中に再び委ねようといふ點だ、外相理事會決裂の原因を單一の原則に求めるならば、この點を上ぐべきだらう

△拒否權の威力

ソヴェト聯邦の立場には二つの動機がある、第一の最も重要な動機は、全體主義的外交體制によれば、國際政治は全世界に平和を押し付けることが出来る各大國を代表する少數人によつて處理されねばならないといふ點だ

第二の動機は第一の主張の論據に過ぎないが、ソ聯は孤立感と世界の残りに對する疑心とから愈愈巨頭外交を主張するに至つた、外相理事會は以上ソ聯の懸念を確認する最も有力な根據だとソヴ

時事通信

海外電報

第三種郵便物認可

エト聯邦は考へてゐる、會議で投票乃至決定が下される場合には、ソ聯は必ず他の各國と對立したフランス、中國兩代表が參加してバルカン問題を討議した十一日間、兩國代表は米英兩國と同じ戦列を布いた、相手方を四から二に減らし、更にこの二つを分裂させようと力めるのが當然の正當防衛策だらう

しかも一票の反對があれば、議事は全然進捗しない、見るべし、桑港會議であれ程論争の的となつた拒否權が眞に恐るべき武器であることを、今度の會議は拒否權を行使する最初の機會であつたが、ソヴェト聯邦はこれを行使する決意あることを示しかつ拒否權が實際に効果があることを實證した

△大國會議に終止符

拒否權はロンドン會議を流産させたばかりではない、ベルリンにおける管理々事會もこちらはまたフランス代表の横車で容易に動かない、トルーマン大統領は十一月三十日ホワイト・ハウスにおける記者團との會見でボツダム宣言の修正を考慮してゐると述べ、特に拒否權の問題を考へてゐると言明してゐるが、當然拒否權を誘致する全會一致の原則が平和建設の實狀に徴して再檢討されねばならぬ時期に到達したのであらう、一方ロンドン會議決裂後の國際政局打開のため、ロンドンから一時三巨頭會談説が頻りに流布されたが、トルーマン大統領は同じ記者團會見で、「特別の會議には反對だ、特別會議はかり開いたために潰れたのは國際聯盟ではないか」と述べてゐる、したがつてルーズヴェルト、チャーチル時代の三巨頭政策はここに終焉を告げ、専ら國際聯合の機構が平和建設の役割を擔當することとならう、クレムリンの反應は知らず、以上が少くとも米國政府の指導方針である

△東南歐の問題

ランカスター・ハウスにおける甲論乙駁の背後には、主義上の争點の他に、東南歐洲におけるソヴェト聯邦と米英兩國の利害對立が伏在してゐることを見逃がしてはならない、ロンドン會議にお

ける主要議題は、要するに、イタリア並びにバルカン各國との平和條約案である、イタリアとの平和條約案については、バーンズ國務長官は次の試案を提示した

一、國境變更に關するユーゴスラヴィア政府の一部要求を容認するが、トリエスト港は自由港として依然イタリア政府の主權下におく

一、舊イタリア領アフリカ植民地と國際聯合の信託統治下におく

一、ドデカネーゼ諸島をギリシャ政府に返還するところがモロトフ外務人民委員は以上三項の何れにも反對した、曰く

一、トリエスト港についてはユーゴスラヴィア政府の要求を認めること

一、イタリア領植民地については、聯合各國個々の信託統治を認め、特にリビヤ地方の一部をソヴェト政府の支配下におくこと

一、ドデカネーゼ諸島についてもソヴェト政府は一基地を要求する

バルカン諸國については——具體的にはブルガリア、ルーマニア兩國との平和條約案に關しては細目の技術的論議が色々あらうが、要するに論争の核心は赤軍占領下に樹立された兩國の政權を承認するかどうかだ、ヤルタ宣言によれば、兩國の政體は民主主義でなければならぬ、勿論ソヴェト代表は兩國現在の政體が民主主義だと主張するが米英兩國代表は遽かに同意しない、會議決裂後ブルガリア國內で總選舉が施行されたが、バーンズ國務長官が不承認政策を闡明したことは既に御承知の通りだ

利害の對立を十月七日付の「N・Y・タイムズ」紙は次の通り要約してゐる

△利害の衝突

「原則論の背後に重要かつ具體的な利害が横つてゐる、第一に東歐洲におけるソヴェト聯邦の支配的地歩、第二に同地區における各小國の政治的相貌、第三は舊イタリア領植民地、ダーダネルス海峽並びに地中海の水路に對する支配にソヴェト政府が參加を希望してゐること、以上がソヴェト聯邦と西方強國との關係の核心だ、ソヴェト政府

が東歐洲の緩衝各國に「友好的政權」を樹立することを最大の要務と考へてゐることは久しい。加ふるにソヴェト政府は海への出口を求め、世界における二大強國の一つとしての風格に相應するやう、歐洲以外の事柄についても發言權を主張してゐる。

ところが西方の聯合國は色々な理由からソヴェト政府の要望に反對だ、英國は、帝國の海上生命線周邊の陸地にソヴェト聯邦がのさばり出ることを怖れてゐる、米國は將來戰の脅威となり、乃至米國の商權擴張を阻害するやうな處理は一切避け度い方針だ、米英兩國ともに「共產主義的全體主義」の理念が擴まることを恐れてゐる」

△民主主義の意義

第一次世界大戰當時故ウイルソン大統領は「民主主義のために世界を安全にする」(To make the world safe for democracy)と云ふ平和目的を掲げた、當時に於ては米國の政策はいはば消極的に民主主義の防衛にあつたと解して差支へあるまゝ、爾來四半世紀の歲月は早くも流れて、第二次大戰においては米國の從つて聯合國の平和目的は、小楠先生の措辭を借りるならば、民主主義を四海に布くといふ積極的な經綸に進化した、特に日獨伊三國その他の戰敗各國に民主主義を弘布することが歐洲に關するポツダム議定書、帝國に對するポツダム宣言の目的である、しかし問題は民主主義とは何ぞやだ、端的に言ふならばソヴェト聯邦は民主主義なりやの問題が、ロンドン會議以後原子爆彈の處理と相並んで世界の政府を支配してゐる命題である

「N・Y・タイムズ」紙の名記者エドウィン・L・ジェームズ氏は、九月三十日付の紙上で率直に民主主義の問題を取上げていはく「アトレー首相は過般民主主義を定義して、「少數に對して敬意を拂ふ多數による支配」(Rule by the majority, with respect for minorities)と斷じた、これ英國がもつて民主主義と解するところであり、これ米國が民主主義と看做すところである、否西方民主各國一般の所見である

ソ聯は自國の統治形態を民主主義と呼んでゐるソ聯が自ら民主主義と稱する權利は敢て問ふまいしかし一見明瞭なことはソ聯が民主主義と呼ぶことと、西方各國が民主主義と解するところが違つてゐることだ、果して民主主義が過半数による支配だといふならば、ソ聯における推定七百萬の共產黨員は、一億六千萬の人口から見ても、決して過半数を構成しないことを指摘せざるを得ない、勿論各國は夫々各國の統治形態を決定する完全な權限を持つてゐる、ここまでは何人も異議がない、問題は各國が自國の統治形態を輸出しようといふところに起つて來る、樞軸と戰つた國々の基本目標は、出来る限り多くの國々に被統治者の同意に基く政權、換言すれば當該國住民の過半数が同意した政權を樹立するにあり、しかも「民主主義」といふ言葉が右目的を敘述するに用ひられてきたのだから、民主主義とは何ぞやを決定することが基本的であることは論議の餘地がないところだ」

△ソ聯の權謀術策

民主主義の意義に關聯して、粗上に上つてゐるのが東歐洲並びに東南歐洲、いはゆるソヴェト聯邦の安全保障圏内の各國だ、ポーランドについては、カーゾン線Aを繞る紛争以外に、既に桑港會議で米英兩國代表はベイルートを首班とするワルシャワ政權の改組を要求し、現にポーランド總選舉に際してはオブザヴァー派遣を主張してゐるルーマニア、ブルガリア兩國については、米英兩國は明確に現政權不承認の立場を堅持し、僅にオーストリアにおいてレンナー博士を首班とする政權を承認してゐるに過ぎない、チトー元帥を首班とするユーゴスラヴィア政權が、クレムリンの申し兒であることは言ふまでもあるまい

エドウィン・ジェームズ氏は更にいふ「現状から察すれば、ソ聯は出来る限り大きな日向の地歩を占めるため、權謀外交の術策を弄してゐることは明だ、モスクワが世界革命のために非常に努力してゐると思はれない、しかしソ聯が自國の政體を民主主義だと主張してゐる事實は

今ソ聯を含む三大國が民主主義の祝福を被征服各國に頒け與へようとする時に際して、到底無視することは出来ない、チャーチル前首相は曾つて、東歐洲を獨裁政治の一形態から救ひ出して他の獨裁形態に抛り込むために英國が戦つたのではないと喝破した、しかしワシントン並びにロンドンにおける現政權がチャーチル前首相の主張よりも更に一步を進めてゐることは否定出来ない

即ち問題は——民主主義とは何ぞやだ、全的に意見が一致する見込みは殆どない、しかも妥協も困難と解される」

「ロンドン會議決裂の主要原因となつた手續問題バーンズ國務長官の言葉を引用すれば、「他の國國を除外して三ヶ國乃至五ヶ國だけで平和を建設するかどうか」の問題については、ヤルタ會議當時既にスターリン元帥が繰り返へし所信をルーズヴェルト大統領とチャーチル首相とに披瀝したらしい、「N・Y・タイムズ」紙のタイナー・カトレツチ氏は次の挿話を傳へてゐる

△秘密か公開か

ソ聯の態度は最初の三巨頭會議當時から米國代表に傳達されてゐた通りだ、ヤルタ會議でもスターリン元帥は極めて明瞭且つ力強く、三大國によつて指令され維持される平和を期待してゐる旨をルーズヴェルト大統領とチャーチル首相とに語つてゐる、個々の平和處理に他の國々の参加を豫想するやうな意見が出る毎に、スターリン元帥は繰り返へしこの點を強調した、元帥は他の兩巨頭に對し、獨伊兩國に條件を課する場合に、アルバニアやエクアドルに發言權を持たせる氣かと反問し、後にはド・ゴール將軍を招請し「三頭會議」を「四頭會議」に擴張する計畫を葬り去るに至つた

公開會議外交か、大國の秘密外交か、恐らく世界の外交史とともに古い問題が、第二次大戰後の平和建設における難關となつてゐる譯だ、ヴェルサイユ體制はウィルソンとクレマンソー、ロイド・ジョージとで作り上げた、否獨りヴェルサイユのみならず、ベルリン公會もウィーン會議もユトレヒト條約も、常に少數の大國を代表する少數人

の工作にほかならない、クレムリンの主張はあくまで現實的である、トルーマン大統領が十一月三十日の會見で、今後九十日以内に國際聯合の機構が動くやうになるから、三頭會議は要らぬと述べてゐるのは集團安全保障の理念を堅持するとの趣旨であらう

△ロシヤ問題の難點

手續においても、民主主義の解釋についても、現實の利害に關しても、ソヴェト聯邦と西方の兩大國とが相對峙してゐるとすれば「ロシヤ問題」の解決こそ世界平和への鍵でなければならぬ、「N・Y・タイムズ」紙のジェームズ・B・レストン君が傳へるところによれば、「ロシヤ問題」の處理について米國政府部内には二つの考へ方があるといふ、悲觀派と待望派とでもいふか、交渉は無駄だと考へる悲觀派は、世界を二つの勢力圈に分割し、勢力均衡の上に立つて武装平和を維持する他はないと主張する、萬一均衡が破れても原子爆彈その他で米英兩國を中心とするブロックが充分に自陣營の安全を保障出来るではないかといふ譯だ、待望派は

ロシヤ問題の解決は一回の行動ではなくて一聯の過程による他はなく、一回の會議によらず數世代に亘つて追及されねばならない、米國は一定の限度内において、勢力範圍體制の打破に努めねばならず、東歐洲においてソヴェト政府と平等の發言權を主張すると同時に、日本管理政策については、決定權を留保するなどといはずに、ソヴェト政府に對して平等の發言權を與へねばならない

と主張する、レストン君は待望派が逐次擡頭して來ると報道してゐるが、爾後外交十二原則に表現されたトルーマン大統領の政策は、故チエムバーレン英國首相のミュンヘン懷柔政策的臭味を些も帯びてゐないことだけは確だ



獨逸管理に關する報告

長谷川才次

聯合軍がドイツ占領を開始してから殆ど半歳を經過した、占領行政の指導方針は

一九四五年の初め、勝利が到來する時にはどんな形式をとるか誰れも知らなかつた當時、ペンタゴン・ビルディングで起草された七十二頁に亘る統合司令部の指令

に基いてゐる、右指令が前財務長官ヘンリー・モーゲンソーの所謂嚴格な「平和計畫」(hard peace plan)を基調としてゐることは言ふまでもないが過去六ヶ月に亘る占領行政の實際は、かかる平和計畫の實施が不可能でないまでも、聯合國の企圖するところに合致しないことを示すに至つた、トルーマン大統領は現地よりの諸報告に基いて、八月三十日前檢閲局長官バイロン・ブライス氏をドイツに派遣した、ブライスは檢閲局長官に就任する前、AP本社の編輯局長をしてをり、一九三七年十一月記者が同盟特派員として、ロンドンに赴任する當時には、ワシントン支局長でAPの支局で會つたやうに思ふ、如何にも重厚な人柄だつたといふ印象を持つてゐるが、特にトルーマン大統領の委嘱で十週間に亘り主としてドイツ國內で「米軍占領軍とドイツ國民との關係といふ全般的主題」について調査し、十一月九日付で報告を大統領に提出した、トルーマン大統領は十一月二十八日、右報告の寫しを國務長官並びに陸海軍兩長官に送り、ブライスの示唆八項目について「最も慎重に考慮を加へるやう」要請してゐる、APのワシントン電報の如き右報告が發表された翌二十九日、早くも

ドイツ管理行政の缺陷に關するブライスの報告の結果、國務省筋では米國政府のドイツ政策が徹底的に修正されるのではないかとみてゐると述べてゐる位だ

△轉換の危機

次ぎに報告の要旨を逐次檢討しよう、前文においてブライスは次の通り述べてゐる

「今や六ヶ月間の終りに及んで、米軍とドイツ國民との關係の全分野が角を曲がらう——轉換に立つ意味——としてゐる、ドイツ國民の實際の武裝解除と非武裝化は完了に近付き、純粹に軍事的な諸問題の代りに、全く違ふが同様に困難な民政の諸問題を解決せねばならない、米軍の指導層は「陸軍の行政機構は外國人口を統治する任務には適してゐない」といふ考だ、従つて新たな決定が必要なわけだが、高度の國策を含むこれらの決定に對する責任がワシントンに重くかつてゐる、ボツダム宣言——勿論ドイツに關するボツダム議定書の意味で、帝國に對するボツダム宣言とは別物だ——その他、ドイツにおける軍政府の基本的な全機構は經驗と新たな條件とに照して再檢討されねばならない、米國は立派に仕事を仕上げ、右目的のために必要な道具と決心と資金とを提供するか、或ひは引揚げて了ふか決断を下さねばならない、米國は餓死とこれに伴つて疫病と無秩序とが米軍地區内に起ることを許すか、それともかかる事態を阻止するために食糧を供給するかどうかを決定せねばならない、ベルリンにおける四強國の管理々事會を行詰らせてゐるフランス政府が持出した妨害のために、聯合國の政策の根柢に横はる目的が達成出來ぬ状態を容認して行くかどうかを決定せねばならない、ナチ黨やその衛生諸機關の屬僚群を一體どう取扱ふのか、更にドイツの工業機構をどこまで破壊しようとしてゐるのかを一層具體的に決定せねばならぬ段階に到達した、特に重要なことは如何なる速度で、如何なる程度まで米國政府がドイツの軍政を民政に轉換するのかが決定されねばならない、これ等の決定が火急に下されねばならぬのは、ベルリンにおける四國理事會が行詰つてゐるためばかりではない、冬季が切迫してゐることも有力な理由だ、ここ數ヶ月が危機的期間である、右期間内に被征服民族を統治するといふ米國政府最初の一大企圖が成功するか、失敗するか、米國政府が右企圖を放棄せねばならないかどうか極らう」

△解決の方途

ブライスは進んで各論的に所見を開陳してゐる一、管理々事會の行詰り打開——殆ど全くフランス政府の頑冥な反對のために、共通の政策を確

立してドイツの鐵道、郵政その他の肝要な機關を統一的な全國的組織として運営出來ず、ドイツは經濟的な一單位として扱はれずに經濟的解體が起つてゐる實狀だ、「これ聯合國の基本的目標に全く相反し、將來における國際的軌轢への第一歩となることは疑ない、果してフランス政府がその行動によつて指示される通り、ドイツの解體を狙つてゐるとすれば、同政府をして全世界に向つてこの政策を確認させねばならず、ポツダム宣言におけるこれと反する聲明の蔭にかくれることを許してはならない、フランス政府がこの事實を確認するならば、米國政府はこれに應じてその政策を再検討すべきである」

一、民政への轉換は當初豫定の一九四六年六月一日以前に實施されねばならない、プライスは具體案として

イ、軍政は各部門の首班は米國政府各省の次官と同等の地位俸給を受けること

ロ、各省並びに各機關の長官がドイツ占領行政に關心をおき、有能な吏僚をドイツに派遣するやう配慮すること

ハ、外交部面の處理を促進するため、國務次官補一名に軍政關係の通信一切を監督させること

を提唱してゐる、もつとも民政に轉換するといつても「治安の維持並びに地方的にドイツ國民と直接接觸する最下級の官吏は依然軍服を纏ふ必要があらう」

△民政の問題

軍政府の新たな民政長官選任には、トルーマン大統領が自ら慎重にこれに當らねばならず、その條件としてプライスは

判斷力より行政上の材幹もあり、歐洲の戦場で軍事上の背景を持つてゐる陸軍の將校を上げてゐる

一、ワシントンからの基本的指令は從來の經驗に徴して修正されねばならない、プライスは現在の指令が一九四五の初めに起草されたことを指摘し、爾後の經驗に基き「軍命令並びに訓令を集成して數百語の一般原則に書き直す」ことを建言してゐる

一、ドイツの食糧事情は現在の計畫ではドイツ人

に對し、千五百五十カロリーの基本割當量を豫想し、割當増加案はワシントンで拒否されたと諒解する、しかし千五百五十カロリーで充分だとか、家庭には暖房裝置もなく、職場には歩いて行かねばならず、しかもうんと働かねばならないドイツ人に現在の割當で充分だといふ保健の専門家は一人もゐるまい、調査の結果、食糧不足のためドイツ人の體重が「廣汎に亘り且つ危険な位」減少し病氣に對する抵抗力が戰慄すべき程弱つてゐる、現狀では恐らく饑餓が襲來するだらうが「流行病と騷擾ともくることが遅からじ」(epidemics and rioting will not be far behind)

プライスはここで二千カロリーの割當量を提案しこの割當量でも、戰災を受け寒氣に震へ歩いてばかりゐねばならぬドイツ人が歐洲の平均水準以上の生活が出来るわけはなく、饑餓を阻止するに足る程度の割當量を與へても、ドイツに對する軟弱政策にはならないと強調してゐる

一、非ナチ化(denazification)の速度はプライスはナチ黨員を「ドイツ國民生活の勢力あり乃至利益ある地位から徹底的に追拂ふ」原則に賛意を表明した後

但しドイツは一日にして平和的且つ品位ある規模に再建されはしない、徹底的改革の實施を餘りに急ぐ場合には、反動を誘致しないまでも混亂と過誤とを來たすことが必定だ、必須な補給を引渡たすに必要な鐵道、通信組織その他の肝要な機關は卒然としてナチ黨員を要衝から追拂ひ、經驗のない代用品を任命したため、運営上著しい障礙を受けてゐる

△報道自由を提唱

プライスは以上の理由から、「必須公共事業の非ナチ化を何時如何に實施するか」を、各地方の事情に應じて決定する權限を軍政府に與へるやう提案してゐる

一、新聞ラヂオ映畫等に對する監督は流石に新聞人だけに、プライスはこの點について可成り思ひ切つた改革案を提唱してゐる、曰く

「多數のドイツ人は、米軍の指導下に發行されてゐる新聞が、餘りに高遠な民主主義の理想に拘束

されてゐるので、大衆には理解出来ぬといつてゐる、外部からドイツに入つて来るスポット情報をストックする現在の遣り方も止めねばならない英國やその他近くの放送局から、ドイツ人がいつでも報道をきけるのだから、かかる検閲の仕方は目的を達成する所以ではない、ドイツの新聞や放送の報道を抑へる結果、米國の政策が果してゲッベルスの政策とどう違ふかといふ問題が持上つて来る、要するにドイツの新聞放送にもまた所論の自由 (freedom of opinion) を與へねばならない勿論反民主主義宣傳は許してならないが」

ブライスは一轉して米軍の宣傳が、逐次「積極的性格」を帯びねばならぬことを説き、或るドイツ人が戦時には聯合各國の放送を聴取してゐたのに、最近では「非難と惡口」を聞くばかりだといふのでラヂオ聴取器を投じて嘆息したといふドイツ人の間に流布されてゐる話柄を引用した後、「ドイツ人に希望を注入出来なければ、ドイツ國民が平和に献身し寛容の徳を積み、品位ある生活様式に従ひさへすれば、ドイツが再び塵埃のうちから起ち上り、尊敬を受ける國になれるとの希望を注入出来なければ、ドイツ人の間から民主主義への改宗者を見出すことは出来ぬ」と論じてゐる

△戦争犯罪人

最後の二項目でブライスはヒトラ―青年團と戦争犯罪人の處罰に言及してゐる

もとのヒトラ―青年團 十代の青少年である
は、ドイツ人口のうちで潜在的に最も危険な單一の分子だ

と斷定し、數百萬の復員軍人、誡首されたドイツ人の間の犯罪人的分子並びに失業したナチ黨員とヒトラ―青年團との結び付きについては嚴重警戒せねばならぬと述べてゐる

冬季とともに必ず苦難が到來するが、その結果現在表面には現れず埋つてゐるかも知れない本當の騷擾と叛亂との脅威が爆發する惧あり、復員でアイゼンハワー元帥の武装兵力を分散し、軍事的な效力をなくして了ふ秋ではない

△トルーマンの解釋

以上バイロン・ブライスの報告は、果然十一月二十九日ホワイト・ハウスにおける記者團會見で問題化し、トルーマン大統領は次の通り質問に應酬してゐる

問 ブライスの勸告に關聯し、ポツダム宣言を變更する措置が講じられてゐるか

答 米國政府は事態に適應するため努力してゐるが、依然交渉の段階を出てゐない

問 大統領の趣旨はポツダム宣言の全面的變更を意味するか

答 否、宣言の一定部面だけについて目下考慮を加へてゐるだけだ

問 四國によるドイツ管理に關聯してゐるか

答 然り、特に拒否權が目下論議されてゐる

問 そのためにまた三巨頭會談が開かれるのか

答 否、余は特別の會議を開くことに賛成しない、寧ろ國際聯合の組織がこの仕事を處理するのがいいと思ふ、國際聯盟は特別會議はかり開いてとうとう潰れて了つたではないか

問 そんなら大統領は何時になつたら、國際聯合の機關が以上の責任を負擔出来るやうになると思ふか

答 極く近く、恐らく今後九十日のうちに出来るやうにならう

日本管理與論調査

(プリンストン・ニュージャーシー 三十日) ギヤラツプ與論調査所は日本管理に關する米國內與論を調査の結果次の通り發表した

質問 「日本統治は現在の方式を續けるべきか
それとも米英ソ華四國代表をもつて構成する聯合國理事會が統治すべきか」

回答 現在のまま

聯合國管理々事會

意見なし

六〇%

二七%

一三%

昭和二十年十二月六日(木)
第二九號

時事通信

海外電報

(29)

トルーマン大統領は十一月二十九日の記者團會
見で、産業再轉換の經過を報告し

VJデー以來罷業續出の形勢にあり、八月以降
の新罷業は一千五百件で、百五十萬人の勤勞層
が關係してゐる、八月以後操業停止で失つた勞
働時間は可動労働時間の1%の〇・七六だ

と述べてゐる、尨大な米國産業界の全般からみれ
ば、まだ蒼海の一粟に過ぎないが、所謂「産業上
の抗争」が再轉換期における米國の重大問題たる
ことに變りはない、ところが労働關係調整の爲に
トルーマン大統領が招請した「労働と經營の會
議」は、審議二十五日の後、所期の成果を上げず
に十一月三十日物分れに終つた、大統領は終戦後
出来るだけ統制を撤廢して「事業の自由な運営」
を當事者に委ねる方針だが、事態ここに至つて十
二月三日議會に教書を送り當局の對案を提示した
右教書でトルーマン大統領は

曰く



「如何にして操業の停止を
避けるかといふ一番大事な問
題に就ては、會議の意見は遂
に纏らなかつた、もし産業上
の抗争が続けば、迅速な再轉
換は望み得ず、米國は低生産、低消費並びに廣汎

な失業の時期に直面することとならう」

大統領の提案は鐵道爭議の解決に相當威力を發
揮した鐵道労働法(Railway Labor Act)の基本
原則を各大工業部門に適用するにあり、團體交渉
が失敗に歸し、調停局の斡旋でも双方の妥協が出
來ず、更に双方が自發的に爭議を仲裁にかけるこ
とを拒否する場合には、労働長官の申出でに基き
五日以内に大統領が實狀調査委員會を任命する
その間罷業を始めたり、ロックアウトを斷行し

たり、乃至賃銀、労働時間等の労働條件を變へる
ことは違法だといふ趣旨だ、同じく大統領の發表
によれば「終戦以來最初の百日間に三百五十萬人
の男女が復員したが、失業は豫想よりも少い、し
かし今後復員を促進して一日五萬人の割合を維持
する方針だ」といふから、完全雇傭の理想を實現
するにも、「産業上の抗争」を處理することが絶
對必要な譯だ

國際憲章批准四十五ヶ國

(ワシントン四日)國務省は三日、十一月中にパ
ナマ、エチオピア、ボリヴィア、ヴェネズエラ、
グアテマラ、ノルウェーの六ヶ國が新たに國際憲
章の批准を通告し、この結果國際憲章批准國は現
在までに四十五ヶ國に達した旨發表した

【目次】

ソ聯、米の撤兵要求を拒否……………二八二

イラン紛争の早急解決は絶望……………

英、埃からの撤兵を提案……………

佛國營化銀行の株上場禁止……………

ガスベリ内閣成立……………

議會使節團を印度へ派遣……………

米豫算五百十五億弗削減……………二八三

ハーレー上院で證言……………

大統領罷業調停乗出し……………

伯大統領選舉結果……………

對英回答の起草に着手……………

ユダヤ製品をボイコット……………

【歐 洲】

米のバルカン政策變化なし……………二八四

更に獨八軍需工場を破壊……………

【國際機關】

西の國際裁判參加保留……………

本部常設地を繞り暗闘……………

【印 度】

新獨立運動の胎動……………二八五

保守的政策を脱し得ず……………

【特 輯】

眞珠灣事件調査委員會公聽會(一)……………二八六

駐伯米大使歸國

(ワシントン四日)ホワイト・ハウスは三日ブラ
ジル駐劄大使アドルフ・パールが近く米國に歸還
することとなつた旨發表した、パール大使は米國
に短期間滞在の後再びリオデジャネイロに歸任す
る豫定で、大統領秘書チャールズ・ロスはパール
大使の歸國が米國政府からの召還命令によるもの
だとの新聞報道を否定した

ソ聯、米の撤兵要求を拒否

(ワシントン四日) 米國政府はソヴェト政府に對して明年一月一日までにイランから一切の外國軍隊を撤收するやう提案したが、ソヴェト政府は十一月二十九日付の回答をもつて以上の要求を拒否した

イラン紛争の早急解決は絶望

ソヴェト政府が米國政府のイランからの撤兵要求を拒絶した事實に關し、米國務省は三日次の通り發表した

ソヴェト政府は十一月二十九日の回答をもつて米英ソ三國軍隊の全部を明年一月一日までにイランから撤收するとの米國の要求に應ずることは出来ない」と通告してきた、バーンズ國務長官はソヴェト政府に對して右回答の内容を公表する許可を要請してゐるが、米國は一月一日をもつてイランから撤兵する方針を變更しない

以上ソヴェト政府が、所定の期日たる三月二日までイランに兵力を居坐らせる斷乎たる決意を表明した結果、イラン紛争の早急的解決は全く絶望視されるに至り、米國務省も「もはや三月二日以前に一切の外國軍隊をイランから撤收させることは不可能となつた」と觀念してゐるが、ワシントンからのAP電報も以上の悲觀的空氣を四日次の通り傳へてゐる

米國政府はイラン問題の行詰りを打開するため新たな方策を模索してゐるが、イランにおける赤軍の活動を繞つて生起した米英ソ三國間の對立を早急に解決する希望は殆んどない、米國の提案をソ聯が拒絶した結果、イラン軍隊の移動に對する赤軍の干渉を阻止しようといふ米國の企圖は空しく挫折しもはやモスクワを醜意させる見透しはいまのところ全く斷たれてしまつた

他方ワシントン駐劄イラン大使フツセイン・アラはソ聯軍隊の早急の撤收を諦めて、三月二日までに違ひなく撤收すればそれでよしといふ態度に移つた模様で、四日次の通り言明した

ソ聯が撤收しなくとも米國は一月一日までに撤収する方針だが、ソ聯以外の國がまづ撤収すればイランはソ聯に對して撤収を強要し易くなる

譯だ、現在の騷擾の責はかかつて外國軍隊の駐屯にある

しかしながらロイター電報によれば、アゼルバイジャン地方のイラン政府高官は既に叛徒の手で暗殺され、同地方の権力は事實上叛亂軍の手中にあるといはれるから、何らかの方途を講じて早急に紛争を解決しない限り事態がイラン政府にとつて取り返しのつかぬところまで發展するは自明だ

英、埃からの撤兵を提案

(ロンドン四日) 英國外務省當局は四日次の通り言明した

英國政府は米佛ソ三國政府に對し、オーストリア駐屯各國軍を削減し、且つ國境線が最終的に劃定されるまで一九三七年のオーストリア國境線を承認維持することを提案した

佛國營化銀行の株上場禁止

(パリ四日) フランス財務省はフランス銀行及び四大貯蓄銀行の國營化に伴ひ、當分關係銀行の株主義書換、取引所上場を一時禁止する旨發表した國營實施期日は明年一月一日であるが、事情が許し次第可及的速かに株賣の禁止を解く旨當局は語つてゐる

ガスベリ内閣成立

(ローマ四日) 元バリー内閣外相アルシデ・デ・ガスベリの組閣工作は社會黨と行動黨が共に内務外務の椅子を要求して譲らないところから一時組閣斷念を傳へられたが、四日に至り妥協成立、組閣に成功の旨を發表した、閣員名簿はまだ發表されないが前大戰當時の首相オルランドが副首相格で入閣するものと解される

議會使節團を印度へ派遣

(ロンドン四日) ロイター電報によれば英國議會は印度の政治指導者と懇談の爲使節團を派遣する事となつたと傳へられる、右使節團は可及的速かにロンドン出發の豫定であるが、保守黨のウォルター・スマイルス上院議員は今回の使節團が特に東北部アッサム、ベンゴール兩州を訪問同方面の回教徒指導者と接觸するやう要望したといはれる

米豫算五百十五億弗削減

(ワシントン四日) 下院は三日政府各機關の豫算を五百十五億弗一氣に削減する法案を可決、上院に廻附した、最も大幅の削減を受けたのは空軍關係費で、その削減額は百十七萬九千九百萬弗に上つてゐるが、一方法案は戰時中聯邦政府の所管となつてゐた職業紹介所を百日以内に再び各州に返還する規定をも含んでゐる

ハーレー上院で證言

(ワシントン四日) 米上院外交委員會は四日滿場一致でもつて五日元駐華大使ハーレーの公聴會を開くことを決定した、バーンズ國務長官も同時に喚問される豫定であるが、ハーレー大使の發言次第では新駐華大使マーシャル元帥の證言も要求されるに至るものと解される、ハーレー大使は上院の證言を終つて後下院調査委員會に臨み、大使が國務省内に存在するといふ共產主義的要素に關しての證言を試みることになつてゐる

大統領罷業調停乗出し

(ワシントン三日) ジェネラル・モーターズ社の罷業はいまだ解決をみず、一方鐵鋼業労働者も近く總罷業を決定せんとする形勢にあり、その他大小罷業の頻發で米國の労働不安は次第に深刻化せんとしてゐるが、トルーマン大統領は三日議會に教書を送り、ジェネラル・モーターズ社二十二萬五千の罷業労働者に對し即時罷業を中止して職場に復歸するやう、また七十萬に上る鐵鋼労働組合所屬労働者に對しては罷業決定投票にも拘らず職場に留まるやう要請した、大統領はさらに労働爭議調停の常設機關の新設を提案、即ち全國的規模の重要産業たる鐵鋼、自動車、航空、鑛業、石油公共事業、交通の諸産業においては少くとも三十日間ば罷業もロックアウトをも行はず、罷業による作業の停止を防止するため「事實調査會」を設置するやう要請した

伯大統領選舉結果

(リオデジャネイロ四日) ブラジル大統領選舉は

二日執行されたが、現在までに判明した開票結果では、前大統領ヴァルガスの支持してゐるユーリコ・ガスパール・デウトラ將軍が、エツアルド・ゴメス將軍を二對一の比率でリードしてゐる、右のほか共產黨が支持する非共產黨候補エウド・フイウザ、農民黨のマリオ・ロリン・テレスらがあり開票結果が完全に判明するには、何分僻遠の地が多いのでクリスマス後までかかるものと思はれる、ブラジルの今回の選舉は十五年振りのものでブラジルの歴史始つて以來の自由選舉であり、有権者七百六十萬の内棄権は極めて少なく、選舉につきものの騷擾等もなかつた事が注目される、ヴァルガス元大統領が一九三七年獨裁權を確立して議會の機能停止以來今日に至るまで、ブラジルには立法府がなく、新議會は新憲法の制定を行ふことを第一の任務とする、ヴァルガスは總選舉を執行する保證を與へなかつたため陸軍によつて約一ヶ月前引退を餘儀なくされたものであるが、デウトラ優勢の背後にはヴァルガスの政治力が有力に働いてゐるとみられてゐる

對英回答の起草に着手

(イエルサレム三日) ロイター通信社の報道によれば、ユダヤ人機關執行委員會は二日米英のシオニスト指導者参加の下に全員参加の會議を開催、ベヴィン聲明及び米英合同委員會に對する回答文書の起草に着手したと傳へられる、一方ロンドンからのロイター電報によれば、アラビア人側の外交代表は五日英國外務省に對しベヴィン聲明に對するアラビア人側の回答を提出する豫定と報ぜられる

ユダヤ製品をボイコット

(カイロ三日) アラブ聯盟理事會は二日特別小委員會が提案したユダヤ製品のボイコット案を満場一致可決、パレスチナのアラビア人指導者も参加してその具體策を慎重に練つたが三日に至りアラブ聯盟事務總長アザム・ベイは同聯盟が三日明年一月一日よりパレスチナのユダヤ製品を全部ボイコットするやう指令したと發表した、この措置によつて急速に擴張しつつあるパレスチナ工業製品の中東への捌け口が閉鎖される譯だ

【歐洲】

米のバルカン政策變化なし

(ワシントン三日) 歐洲における米ソ關係のバロメーターともいふべきバルカン情勢は米國政府の重なる抗議にも拘らず一向に改善の痕を示してゐないが、AP電報は三日次の通り報じてゐる

バーンズ國務長官は今週中にソ聯支配下のブルガリア、ルーマニア兩國の政治情勢に關する現地情報を入手する筈だが、ワシントン外交筋はその結果米ソ關係が急速に改善されるとはみてゐない、報告を行ふのは國務省のために六週間に亘つてバルカンを旅行、ルーマニア、ブルガリア兩政府不承認を基調とする米國政策を再検討する爲材料を集めてゐた特使マーク・エサリツジで、目下ローマを經由して歸國の途にあるが、豫備的な報告で判斷すれば、エサリツジはブカレストとソフィアとの兩政府が眞に民意を代表してゐないといふ建前から、現在の不承認政策を全的に支持するものとみられてゐる

更に獨八軍需工場を破壊

(ベルリン三日) ドイツの米占領軍當局は三日更に米軍占領地域にあるドイツの八軍需工場を破壊するやう發令した、以上により米軍の手で破壊された工場数は二十五を算する、今回破壊されることとなつた工場名は次の通り

一、フランツ・ザウアー工場(在ゲルストホーフエン)

一、爆發物製造組合のウエルデン工場とシュローベンハボット工場

一、ライニツシュロウエストフアーリツシュロシュブレングストフ迫撃砲工場(在ラジツベルグ)

一、マンヘン信管工場

一、エツシエンストルト機械工場

一、グスタフ・ゲンシュヨウ小火器彈藥工場(スラツハとウオルファルトの二ヶ所)

【國際機關】

西の國際裁判參加保留

(ロンドン三日) 國際聯合準備委員會席上、フランス代表はフランスが新國際司法裁判所の十五名の判事の中にスペイン共和國を加へる權利を保留する旨言明した

本部常設地を繞り暗闘

(ロンドン二日) 英國は國際聯合本部常設地を歐洲に獲得しようとして猛烈な運動を開始した、常設地を米國に置かうとする執行委員會の推薦案に對し準備委員會から反對提議を出さうとして、各國代表團の間を熱心に説き廻つてゐるのだ、確かにその宣傳の一部とみられるが、英國政府當事者は二日、「執行委員會の推薦を再検討するといふ人々の見解には、代表團の間に廣汎な支持があつた」と言明してゐる

第三者筋の印象によれば、これは英國政府自身の見解だとみられるが、準備委員會代表團の半数を調査したところでは執行委員會の提案が際どい差で通過しさうな形勢だといふ、即ち二十四ヶ國のうち、米國支持十三、歐洲五、残る六が未定或ひはまだ本國からの訓令に接してゐないと稱してゐる、米國支持の十三國のうち、四ヶ國はサンフランシスコを主張し、九ヶ國は地名を明示せず、ただ東部の州を希望してゐるが、調査洩れの中南米十四ヶ國では少くとも十二ヶ國が確實に米國を支持し、他に二日到着したばかりの比島代表も米國に投票すると思はれる

英國の主張する理由は、歐洲には國際聯合の注射だけでは不十分で、本部を置くことにより士氣を昂揚させる必要があるといふのだが、ソヴェト聯邦が現在の態度を改めて、「ソヴェト・プロツク」を率ゐる英國側につかない限り英國が執行委員會案を覆へすことは難かしいとみられる、消息筋がソ聯當局筋を打診したところではさうした可能性はほとんど無く、米國代表はこの問題に關して傍觀的な立場をとつてゐる

【印度】

新獨立運動の胎動

印度國民軍の公判反對とその釋放を要求してカルカッタ及びマドラスに勃發した騷擾は輕視を許さぬものがあり、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙特派員の如きはこれこそ印度獨立運動の新烽火であると警告してゐるが、三日のロイター電報によれば、英國議會においても問題となつた模様で、印度事務次官アーサー・ヘンダーソンは下院に於る議員の説明要求に對して、「これら印度國民軍は日本軍に強制されるか、或ひは逃亡の目的か、宣傳によつて欺されるか、乃至は強制的な説得にあつて敵側陣營に走つたものである」と詳細説明した後、次のごとく釋明したと傳へられる

敵側と協力した連中の訊問は出来るだけ急速に進めてをり、その結果釋放される者もあらうし公判に附される者も出来よう、印度に反對して戦争した者乃至は義務を拋棄した者とは別に重大嫌疑者があり、政府の關心は主としてこれらのものに向けられてゐる、それらの犯罪の中には虐殺、虐殺幫助、その他印度人及び聯合國人に對する殘虐行爲等が含まれてゐる、公判に附される事件がどの位あるかを今發表することは出来ないが、その數は少數と見積られてゐる、その罪が故國を解放するのだといふ誤つた信念の下に印度國民軍に参加したにすぎないといふものを處刑するのは印度政廳の政策ではないヘンダーソン次官はさらにカルカッタ及びマドラスの騷擾は共に印度國民軍幹部の公判に反對する學生團の示威運動によつて惹起されたものであることを詳細説明したと傳へられるが、既に去る九月には印度國民軍を辯護するための辯護委員會も誕生してゐる程で、この運動は印度の獨立、ひいてはビルマ、インドネシアを含めての「アジア人の獨立」といふ大きな運動の一環をなすものと見られ、英國朝野は重大な關心を寄せてゐる様子だ

保守的政策を脱し得ず

聖雄ガンヂー翁は目下ベンゴール、アツサム兩州を旅行中で過般ベンゴール州知事リチャード・

ケーシーと會談、カルカッタの反英騷擾につき討議したと報ぜられるが、選舉を明春に控へての翁の旅行は注目を惹いてゐる、一方前國民會議所議長ジャワハル・ネルは英印軍司令官クロード・オーヒンレック將軍と會見のためニュー・デリーを訪問した際、新聞會見において「英國は印度の選舉後直ちに自治を印度人の手に渡すであらうもし英國人がやらなければ他の國民がイニシアチヴを採るだらう」と聲明した、ネルのいふ他の國民とは印度民族を指してゐること勿論で、同氏は英國が選舉後に自治政府を與へない場合の印度人の決意を披瀝したものと推定される

英國勞働黨政府は印度問題の解決を組閣後の立看板の一つとして、自治政府早期實現の促進を嚴肅に宣言、九月十九日のアトリー首相及びウェーヴェル總督の對印新提案となつた、然るに印度問題を解決せんとするこの最初の試みは非常な不評判で全印國民會議派委員會は「曖昧にして不十分且つ不滿なものである」として反對決議を採擇し戦争の終了或ひは政府の更迭によつて英國の對印政策にすこしの變化も起つてゐない、英國の政策は前進を遅らせ、新問題の發生と新たな複雑化を企圖する以外の何物でもない

と宣言、これと同時にボンベイではヒンズー教徒と回教徒との間に新たな衝突が發生した、これまで印度の獨立を妨げる大きな障礙物は保守黨の頑強な反對であつたが、以上の事態に當面しては勞働黨政府すらも「印度の獨立は印度人それ自身の間に圓滿諒解が出来た後でなければ與へるわけにはゆかぬ」といふ英國の傳統的政策を拋棄するわけにはゆかなくなつたわけだ

アトリー首相及びウェーヴェル卿の提案は中央及び地方立法議會のための選舉を執行し、その後で新憲法の制定機關を召集するといふのだから、本質的にはクリップス案の焼直しに過ぎず、手續きが多少違つてゐるだけのものだから、ジャワハル・ネルの指摘する如く、それは「敬虔なる陳腐」として拍手されないことは諒解出来るが、ウェーヴェル提案後においても、何等新しい進歩はみられてゐない、ロンドンからのロイター電報によれば、ローレンス印度事務相及びモリソン樞相は近く議會において政府の對印政策を説明すると傳へられるが、新政策の發表は期待されてをらず、從來の提案の蒸し返しだらうといふのが一般の觀測だ



眞珠灣事件

調査委員會公聴會(一)
小 黒 大 州

十一月十五日から開催された議會の眞珠灣事件調査委員會公聴會では既に元太平洋艦隊司令長官リチャードソン提督、故ルーズヴェルト大統領の幕僚長リーイ提督、前國務長官コーデル・ハル氏同次官サムナー・ウエルズ氏、前駐日大使ジョゼフ・グルー氏らが證言を行ひ續々と新事實が明るみに出されてゐる、まだスチムソン前陸軍長官、マシーナル前參謀總長、デユウイ・ニューヨーク州知事等の證言が残されてゐるが、今日までの入電に基き同公聴會の概要を記述する

△白聖館の午餐會

元太平洋艦隊司令長官リチャードソン提督は十九日日米會談に關するルーズヴェルト大統領との重大會談の内容なるものを發表した、この會談は日本軍の眞珠灣攻撃に先立つ約一年前の一九四〇年十月八日ホワイト・ハウスで行はれたものだがこの時リチャードソン提督が故大統領に對し「米國は日本と開戦するか」と訊したのに對し故大統領は

日本がシヤム、クラ半島或は蘭領印度に攻撃を加へても米國は參戰しない、日本が假令フィリッピン自體を攻撃しても米國は多分參戰しないだらう、然しながら日本は常に過誤を避けることは出来ないだらうから、作戰區域が擴大するにつれ、かれ等は早晚過誤を犯すこととなるべく、これによつて米國が參戰することとならうと答へた後、リチャードソン提督が當時眞珠灣に在つた米國太平洋艦隊の西海岸引揚を勸告したのに對し故大統領は「艦隊をハワイに留めておけば日本の行動に對する牽制力とならう」と答へてこれを拒否したといふのである、もしリチャードソン提督のこの言明が事實とすれば、それは太平洋艦隊の覆滅に對して故ルーズヴェルト大統領の責任が問はれる重大問題なので、民主黨下院議員ジョン・マーフィ委員はその時の午餐會に席を連ねた當時のブルト・リコ總督で後の大統領幕僚長ウィリアム・リーイ提督の證言を求め、リチャー

ドソン提督の證言を確認することになつた、然しながら二十一日證人席に立つたリーイ提督は先づ「リチャードソン提督の主張を聞くことは驚きである」と述べ、リチャードソン提督が米國艦隊をハワイから太平洋岸に歸すべきことを熱心に主張したことははつきり覺へてはゐるが、故大統領が「日本がフィリッピンを攻撃しても參戰するかどうか疑問だ」といつたといふことは何等記憶がないと述べ、大統領が午餐會中フィリッピンに言及した覚えはなく、また米國艦隊をハワイに留めて置くことに就て大統領がその理由を述べたことも記憶がないとしてリチャードソン提督の發言を眞向から否定した後、次の通り述べた

余の知る限りにおいて日本軍が若しフィリッピンに侵入したならば、故大統領は宣戰布告を推薦したであらう、この見解は大統領が考へてゐたこと及びその行動に就て精通してゐた余の知識に基くものである、ヴィシー駐劄大使であつた當時、日本が佛印に侵入した直後、余はワシントンに向つてわれわれは近き將來フィリッピンを繞つて對日戦に入るだらうことを警告した故ノックス海軍長官の説によれば、リチャードソン提督はルーズヴェルト大統領の感情を害した爲に一九四一年太平洋艦隊司令長官の地位を追はれたのだといはれるしリーイ提督は故大統領の股肱であつたのだから前者が故大統領を非難し後者がこれを擁護したともとられるがハル前國務長官はこの點に關し次の如く判決的證言をなしてゐる

日本人は米國が艦隊を眞珠灣に留めて置くことに反對であつたのみならず、政府が艦隊を太平洋全域から撤收することを希望してゐたであらう、國務省の全員は艦隊をハワイに留めておくことはわが海軍にとつて有利であると考へてゐた、余はリチャードソン提督は勿論何人からも米國艦隊は眞珠灣にあるが故に危険であるとか或ひは米國艦隊は自己を防衛する力がないといふ申出があつたことを記憶しない

ことは日本にとつて何等の脅威をなすものでないと語つたことが問題となつてをり、共和黨上院議員のフーギンソン委員はこれに關してグルー大使の説明を要求してゐる

△ボタンを押したのは誰か

前駐日大使ジョゼフ・グルー氏は昨年八月陸軍の眞珠灣調査委員會で十一月二十六日のハル國務長官の對日回答が戦争を開始せしめたボタンであつた旨述べたことが陸軍側の報告にあり、これが問題となつたが、グルー大使は二十七日の證言でそんな風に言つた覚えはないと否定し、「自分はただ十一月二十六日ハル國務長官が對日通牒を送つた頃に戦争開始のボタンが押されたのであると述べたにすぎないもので陸軍がどうしてこんな解釋を下したのか諒解に苦しむところである」と述べ日本艦隊は十一月二十五日に眞珠灣に進發したことを指摘した、グルー大使はハル通牒は調子に於ても實質に於ても最後通牒と看做されるものでないことを強調した後、眞珠灣攻撃直前における日本の情勢を縷々説明した、一方當のハル國務長官は彼が十一月二十日の日本側提案に對して二十一日發した十一ヶ條の回答が最後通牒であつたとすれば、戦争を仕掛けたのは同長官だといふことになる重大問題なので、第二日目の證言において憤怒の色を現はしてこれを眞向から否定、彼の外交が東條その他の惡漢共をして戦争開始を餘儀なくせしめたものでなく、當時日本の矢は既に絃を放れてゐたもので、それが何處へ向ふかは、日本の太平洋侵略行動を確信してゐたに違ひないところの野村、來栖兩大使も恐らく分らなかつただらうと述べた、ハル長官によれば、十一ヶ條の回答は侵略政策に必死となつてゐる日本人を止めさせるには時既に遅かつた、さらに同長官は十項目の中すくなくとも五項目は、もし日本が平和を選ぶとすれば日本が利益を發見したに違ひないものであつたことを附言した、果たして然らば戦争開始のボタンを押したのは誰であるか、ハル國務長官は明言してはいはく「戦争のボタンを押したのは眞の最後通牒を意味する提案を盛つた日本側の通牒であつた」

△郵便局の怪

ハル前國務長官は二十三日の第一次證言において、故ルーズヴェルト大統領は十二月六日、日本天皇に親電を發し、情勢の悲劇的發展を回避するやう要請したと述べた、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙によれば、右親電の内容は日本の佛印派兵に對する危惧を表明し、佛印から撤兵して世界平和を保障するやう要請したものでサムナー・ウエルズ氏によればそれは戦争回避の最後の努力であつた、しかし大統領のこの親電は眞珠灣攻撃以前に 天皇陛下の御手許には届かなかつたもので、グルー大使はこの點に關して次の通り述べてゐる

「十二月六日 天皇に對して平和を要請した故ルーズヴェルト大統領の親電は、何故かしら東京に到着後日本の郵便局系統の中に十時間以上も保持されてゐた、最後に余がそれを受取つたのは日本時間十二月七日の午後十時半であつた、余は天皇との謁見を求めるため東郷外相に面會に出掛けた、蓋し余はこの親電が 天皇の手に渡る事にいささかの疑念をも抱いてゐなかつたのである、然るに東郷外相は之を許さなかつた、翌朝同外相は余を外務省に招致して、彼がいふところの對日通牒に對する 天皇の回答なるものを余に與へた、東郷外相はまたワシントン會談が中止に決定された旨を余に告げた、同外相は平和に對する余の協力を感謝する旨の簡單な挨拶をなしたけれども、四時間前に既に開始されてゐた眞珠灣攻撃に就ては一言も發しなかつた、數分後余はニューズ・ボーイが號外を叫んでゐるのを聞いた、余は新聞を買ひにやつた、これが余が眞珠灣攻撃を知つた筋道である、その後一時間經つて警官がやつてきて余を大使館内に幽閉した」

△哨戒をしないのは何故か

民主黨上院議員のルーカス委員は一九四一年眞珠灣でどれだけの飛行機が入手可能であつたか、また日本軍の攻撃當時長距離哨戒飛行をなしてゐなかつたのは何故か、の二點に就て陸海軍の證言を要求してゐる、ルーカス委員は記者團に語つて曰く「一九四〇年に三百哩の哨戒飛行が可能だつたといふが、一年後にそれと同様の毎日の哨戒飛行が何故出来なかつたのか、飛行機はあつたのだ

けれどもそれが使はれてゐなかつたのか、これらの點に就て余は知り度いと思つてゐる。ルーカス委員の言ふ一年前に三百哩の哨戒飛行が可能だつたといふのは、リチャードソン提督が十九日の證言で同提督は一九四〇年六月十八日陸軍がハワイに警戒措置を命令した際空中哨戒を實施したが、同年の十二月にこれを止めたと言葉から採つたものだが、陸海軍が調査したところでは一九四一年二月一日リチャードソン提督に代つてハズバンド・キンメル提督が太平洋艦隊司令長官の地位に就て以來定期的哨戒飛行が一度も實施されたことがない、ルーカス委員は同委員會の諮問委員會がリチャードソン、キンメル兩提督の下にどの位の飛行機があつたか、また日本軍の攻撃當時長距離用の飛行機がどの位あつたかに就て調査資料を蒐集するやう要請してゐる、この問題に關聯してチエスター・ニミッツ元帥は十九日の新聞會見で艦上機をして眞珠灣を攻撃せしめた日本艦隊は攻撃が實際に開始される以前には如何なる米國艦艇乃至飛行機によつても認められなかつた、攻撃は完全に奇襲であつたと述べてゐる。

△奇襲の豫見

調査委員會は一九四一年一月二十四日故ノックス海軍長官が、もし日本軍との戦争が起るとすれば戰國は太平洋艦隊乃至眞珠灣基地に對する奇襲攻撃をもつて開始されるだらうと時のスチムソン陸軍長官に與へた豫言を公表した、ノックス長官は右書翰において「余の意見としては太平洋艦隊及び眞珠灣海軍基地に對する大災害の傳統的可能性に鑑み、かかる種類の攻撃に對抗するため陸海軍共同の準備を増大するやう凡ゆる手段が急速に講ぜられなければならぬ」と述べてゐる、これに對してスチムソン陸軍長官は同年二月七日の返書において事の重大性に關し全くノックス長官と同意見であると述べ、かかる敵對的努力に對處するため可能な凡ゆる努力をなすことの緊急性を強調してゐる、さらにノックス海軍長官は不可思議とも言ふべき先見を以て日本軍のかかる攻撃は空母及びその掩護艦艇より成る機動部隊によつてなされるであらうことをも看破してゐた、海軍長官が

奇襲を豫知してゐたにも拘らず、奇襲に遭つたのは一體誰の故なのか、リチャードソン提督は次の如く言ふ

一九四〇年余は國務省顧問スタンレー・ホーンベック博士が太平洋艦隊の處置に關して、當時司令官だつた余以上に大きな勢力を持つてゐたといふ印象を強く抱いてゐた、故ルーズヴェルト大統領は一九四〇年夏太平洋艦隊の人員増加に厭氣であつた、一九四〇年六月余はルーズヴェルト、ハルその他の人々と一連の會談を行つた後ワシントンを去つたが、その時の余の印象は日本は恫喝で參らせ得るといふのがワシントンの意見であるといふ事だつた、ハル長官は米國は對日關係に於て極めて強い立場を採るべきで、ハワイに艦隊を保有することはこの強硬態度の現れであると感じてゐたのである

リチャードソン提督の以上の言明に對し、國務省の指導者ハル長官のこの點に關する説明を聽かう十一月二十八日軍事會議の席上余は「余の意見では日本はいつ征服の新行動を爆發させるかも知れない」と述べ、國家保安を防衛する事柄は陸海軍の手中にあることを強調した、適當なる參考資料を舉げて、余は、わが國の如何なる軍事的防衛計畫も日本が戰略の中心地點に奇襲的攻撃を加へ、これと同時に防衛、作戰調整を不可能ならしめるため各地點を攻撃するかも知れぬといふ想定を含むべきであるとの見解を表明した

ハル長官が奇襲を警告したのは眞珠灣攻撃直前のことなのだから、その一年前の六月には或はリチャードソン提督の見たと通りであつたかも知れないが、これに關してロバート・ウエイトマン氏が二十九日の「ニューズ・クロニクル」紙に書いてゐる次の如き論評は興味がある

故ルーズヴェルト大統領の不具戴天の敵達が、避け得られかつなすべきでなかつたところの戦争に米國を捲き込んだのは故大統領だといふ惡意の解釋を證明せんとして、また故大統領の施政に不信を起させようと試みてゐる、調査委員會においてなされたこれまでの數々の證言は何故米國は用意が出来てゐなかつたのかといふ本質的問題に觸れないで、同委員會は舊孤立派を再生させるための場所だらうとしてゐる

昭和二十年十二月七日(金)
第三〇號

時事通信

海外電報

(30)

イランの叛亂は西北部における「民主々義獨立分子」のアゼルバイジャン地方獨立運動といふ以外真相は殆んど判明せず、當のイランが黒幕だと非難するクレムリンも「イランの暴動は反動分子の策動だ」とあつさり片付けてゐる始末で、徒らに情報の不足を叩つばかりだ、一體この「民主々義獨立分子」といふのが正體の擱め、存在で、果して一般に傳へられてゐるごとくクルド族の革命分子かそれとも右翼の國家主義者なのかさつぱりわからない、また目標とするイラン領アゼルバイジャン地方の獨立にしても、同地方における單なる自治の要求か、それとも一步進んだ「政體の變革」かも知れない



併し茲で注意しなければならぬことは、イランに境を接してソヴェト聯邦アゼルバイジャン共和國が控えてゐることであり、更にソ聯が過般來トルコに對してトルコ領アゼルバイジャン地方の割讓を要求してゐることだ、大きく言つてアゼルバイジャン民族は小亞細亞の到るところに散在してゐるが、何といつても一番纏つてゐるのはいまいつたソヴェト聯邦のアゼルバイジャン共和國であり、次いでイラン、トルコといふ順になる、従つてクレムリンがこのアゼルバイジャン共和國を背景として勢力伸張を圖る限り、イラン領アゼルバイジャン地方の單純な獨立といふが如きものは極めて影の薄い問題となる筈だ、惡くとればソ聯がイラン領アゼルバイジャン地方の不穩分子を焚きつけて大アゼルバイジャン共和國の樹立を構想してゐるとも考へられぬことはない、トルコがイランの紛擾を不安視してゐるのはそのためではなからうか

米國の撤兵要求をソ聯が蹴つた結果、英國はどうかあらうとも、ソ聯は明年三月二日までイランに兵を駐めておくといふ諒解だけが残つた譯だが、いまから囊のことを言ふのは危かしいが、三月二日までにソ聯がイランから兵をひくかどうかは疑はしい、ソ聯にとつてはイランの西北角は米國のパナマ地峽に對する關係と同然とみてよい、ソ聯がイラン國境の安全を強化することはバクー油田地帯を保護する上に致命的重要性を帯びるものだ

教育戦でも勝てる

(ロスアンジェルス五日) 戦争中日本に俘虜となつてゐた比島米軍司令官ジョナサン・ウエンライト大將は五日「日本並びにドイツ占領は十年乃至二十年繼續さるべきだ」と述べ「教育戦によつて日本を民主々義とすることが出来よう」と言明した

【目次】

勞働陣營、大統領教書に反對	二九〇
米、バーター使節訪日	二九〇
海軍首腦近く大異動	二九一
下院、戦後海軍定員案を可決	二九一
マ元帥の證言を要請	二九一
對華政策の矛盾を指摘	二九一
米輸出入銀行、佛へ借款供與	二九一
加、對外借款供與	二九一
兵力派遣は交替のため	二九一
【歐洲】	
獨占領地域の不安解消せず	二九二
IGフアルベンの處分決定	二九二
諾、極東航路を再開	二九二
【國際機關】	
安全保障理事會記錄公開か	二九二
【米國】	
經濟狀況報告	二九三
【原子エネルギー】	
グローヴス少將の證言	二九三
原子競争はソ聯が優勢	二九三
エヴァツトの世界國家不要論	二九三
【科學ニュース】	
P82複式戦闘機	二九四
【資料】	
勞働に關するトルーマン大統領の教書	二九四

戦争の消費一兆弗以上

(ワシントン五日) 統計専門家ジェームズ・ブレディ並びにアメリカン大學は今次大戰の戦費に關する調査結果を五日次の通り發表した

第二次世界大戰の戦争の消費は軍備並びに軍需物資一兆千五百四十億弗、財産損耗二千三百億弗に上つた、中國における軍事費及び財産損耗についてはまだ數字が集まらないので、これには含まれてゐない

勞働陣營、大統領教書に反對

トルーマン大統領の勞働に關する教書に對し、下院議長サム・レーバンは五日乃至六日下院に關係法案を提出すると述べ、下院陸軍委員會は直ちに法案の審議を開始する段取だが、勞働陣營は學つて大統領の提案に反對、米國の政界産業界に一大波瀾を捲き起しさうな形勢だ

ニューヨーク來電によれば、AFLのウィリアム・グリーンは四日

余の判斷では大統領の勸告は勞働陣營としては受取りかねると思ふ、實狀調査案は多くの場合雇主に對しても勤勞層に對しても、不利な結果を來すに違ひない

と述べ、ジョン・ルイスを首班とするUMWも、四日聲明を發表、大統領の提案は米國の産業關係にストリート・ジャケットを着せて、動きがとれなくしようとの計畫にほかならぬと攻撃してゐる更にピッツバーグからのUP電報は、CIOの態度について五日次の通り報道してゐる

△CIO 蹶起す

「トルーマン大統領が米國勞働階級の罷業權を骨抜きにする法案採擇を議會に要請したのに對し、CIOは勞働組合會成員を動員して一戰を交へ、大統領の計畫を打倒するに決定した、CIO議長フィリップ・マレーは四日夜、フィラデルフィアにおける演説で、トルーマン大統領に三下り半を叩き付け、故ルーズヴェルト大統領の政策を拋棄したと攻撃した、CIO政治行動委員會は、去年の大統領選舉で民主黨の勝利を確保するに大きな役割を果たしたことは周知の事實だが、今回CIOとトルーマン大統領との關係が斷絶することとなれば、米國政界に新たな集散が行はれよう、大統領の提案によれば、要するに勞働組合は三十日に亘る「冷却期間」中、罷業を執行出來ぬ譯だが、マレーは

かかる法案は専ら勞働組合を弱體化させようとの意圖に出てゐるに違ひない、米國民がルーズヴェルト大統領の指導下に、再三承認を與へた政策からの極めて重大な離反である

と扱き下ろしてゐる」

トルーマン大統領の要請にも拘らず、デトロイトのジェネラル・モーターズ社に於るUAW（合同自動車業組合）の罷業は依然續行されてをり、CIOの合同包装組合もまた、シカゴその他各地におけるキエダヘー包装會社の十二工場で四日、二十四時間に亘る罷業を決定した

△大統領案手溫し

議會筋の空氣は大體大統領の提案支持に傾いてゐるが、言論界は概ね反對で「ニューヨーク・タイムズ」紙は四日の社説で

基本工業部門に對する適用を慎重に検討もせず、大急ぎでかかる法案を提出するよりも、政府並びに議會が、勞働問題の解決に貢獻する他の方法がある筈だ

と述べ「ボルチモア・サン」紙は

大統領の提案は産業の分野に對する政府の干涉の増大を意味するが、一九三三年以後米國が受け繼いだ勞働政策の根本的缺陷には未だ全然觸れてゐない、基本的缺陷は法律のもとにおけると法律の埒外におけるとを問はず、勞働組合が經營と同等乃至優位の權限を與へられてゐながら、しかも組合員に對する統制力が従前よりも却つて減少した點にあり、責任と均衡のとれない權限を賦與することは必然的に病理的狀態を惹起する、トルーマン大統領の提案は毫法で癌を治療しようとするに等しいと論じてゐる

米バーター使節訪日

（ワシントン五日）國務省は四日つぎの通り發表した

陸軍省は目下米國商品と日本の物資との物々交換を實現するため、バーター使節團を日本に派遣すべく計畫を進めてゐる、日本は現在米國の商品輸入の必要に迫られてゐるが、これが支拂ひに充當すべき資金なく、これに代りその有する物資を米國に輸出することができ、米國の商人達は米國商品を日本に輸出する代償として日本の特産品たる生糸、眞珠その他の品物を輸入し得べく、その交換率を今回の陸軍省からの使節團が決定することとならう

海軍首脳近く大異動

(ワシントン五日) フォレストアル海軍長官は米海軍首脳に近く大異動が行はれる旨發表した、同長官の言明によれば、航空關係將校である現第五艦隊司令長官ジョン・タワーズ提督がスプルーアンズ提督に代つて太平洋艦隊司令長官に就任するものといはれ、作戰部航空專任次長マーク・ミツチヤー提督は適當な時期に第八艦隊司令長官に轉出し、過般太平洋艦隊司令官兼太平洋方面軍副司令官に就任したラムゼー提督が作戰部次長に任命され、氏名の發表されないもう一名の航空將校が作戰部航空專任次長に就任するものといはれる、これにより作戰部の重要椅子六つのうち三つまでが航空將校によつて占められることになるものと傳へられ、航空出身者の起用が注目される

下院、戦後海軍定員案を可決

(ワシントン五日) 米國下院は戦後海軍及び海兵隊の定員を登録兵六十萬、將校六萬六千にする法案を可決して上院に廻附した、右のうち海軍は登録兵五十萬、將校五萬八千で、海兵隊は登録兵十萬、將校八千である、これによつて戦後海軍の人員は戦前勢力の二倍以上になるわけだが、ベーツ下院議員によれば、戦後艦隊の維持費は毎年三十五億弗に達するであらうといはれる

マ元帥の證言を要請

(ワシントン五日) 眞珠灣事件調査委員たるミシガン州出身共和黨のフアーギュツソン上院議員は余は調査委員會に對し、眞珠灣事件調査の證人としてマツカーサー元帥の出席を求め、日本軍の奇襲以前に同元帥が入手した諜報に關し證言を求めるやう要請するつもりだと言明した

對華政策の矛盾を指摘

(ニューヨーク五日) 下院議員デレーシーは五日海員組合主催復員促進合同演說大會に出席、米國の對華政策の矛盾を指摘して次の通り論じた
米國は日本の封建的土地制度を廢すると同時に

中國では同じ制度を恒久化しようと努めてゐる
また蔣介石のボロボロの獨裁制の味方に立つて
武力干渉しながら、中國に盛上る民主主義の風潮を壓迫しつつある、われわれはソ聯領に隣接する地域に反共產主義の基地を建設しようとする仕事に従事させられてゐるのだ

米輸出入銀行、佛へ借款供與

(ワシントン五日) 米國輸出入銀行は四日フランス政府に對し五億五千萬弗の借款を供與するに決した旨發表した、右は終戦前米國から供給を受けることが原則的に承認され、しかもいまだ正式契約的調印に至つてゐなかつた物資の購入費に當てられる筈である

加、對外借款借與

(オッタワ五日) カナダ藏相イルスレーは四日議會で、カナダ政府は英本國をはじめ西歐諸國、ソ聯、中國、蘭領東印度等に「巨額の借款」を供與する計畫であると發表した

兵力派遣は交替のため

(ワシントン五日) 米國がイラン紛擾に際會して更に二千の兵力を派遣したことは、時機が時機だけに種々の臆測を生んでゐるが、大統領新聞關係秘書マイクル・マクダーモットは四日イラン派兵の理由を次の通り説明した

米國がイランに二千の兵力を派遣したのは、既にイランに駐屯してゐる米軍兵士中復員するものと交替させるためであり、かれ等の任務は明年一月一日までにイランから軍隊を完全に撤収出来るやう、米軍事施設を解體したり器材を撤収するにある

また下院議員カール・ムントが三日「米軍將校がイラン憲兵隊の指揮權を握つてゐるため、ソ聯は駐屯軍の撤収を嫌つてゐるのだ」と言明したのに對する回答の形で、マクダーモットは次の通り釋明した

現在イランにゐる米軍事使節團は四年前文官の資格でイラン憲兵隊を訓練したりイラン軍隊の財政問題を處理するため派遣されたものだが、米國が參戰した結果、使節の各員は軍籍に復歸したもので他意はない

【歐 洲】

獨占領地域の不安解消せず

「イズヴェスチヤ」紙が四日報するところによれば、ソ聯當局は聯合國ドイツ管理々事會に對して覺書を提出、ドイツの英軍占領地域には依然二十四萬のドイツ、ハンガリー及びバルト諸國軍隊が武裝を解除されずに放置されてゐる事實に注意を喚起したといはれるが、ロイター電報によれば英占領軍のライン地區本部は四日部隊に布告を發し今冬中ドイツ人による散發的な襲撃に對して嚴重警戒するやう命令したと傳へられる、以上の警告を發した理由は食糧及び燃料の不足に伴ひ占領地帯内の情勢が悪化し、これを不満とするドイツ住民が英軍將兵を襲撃する危險を慮つたものとみられてゐる

IGファルベンの處分決定

(ベルリン四日) 聯合國ドイツ管理々事會はIGファルベンの全企業を永久に破壊し、如何なる口實によるも軍事訓練を許さぬ旨の二法令を四日發表した、同法令により、IGファルベンの工場總數三百は管理々事會の處分に委ねられることとなつた

諾、極東航路を再開

(ニューヨーク三日) 「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙の報道によれば、ノルウエーの最大汽船會社の一つイヴァラン汽船會社は三日、同社がニューヨークその他米大西洋岸の諸港とフリッツピン及び中國との貨物輸送航路を再開する旨發表した、同社の船舶がノルウエー政府によつて徵用される以前の貿易ルートを開する譯だが極東ルートはボルチモア、ノーフォーク及びニューヨークからロサンゼルスを経由して、マニラ香港及び上海に至るものである、以上の極東ルートのほかに同社はニューヨークと南米の東海岸、主としてリオデジャネイロとブエノスアイレス間の航路にも従事することになつてゐる

【國際機關】

安全保障理事會記錄公開か

(ロンドン三日) 國際聯合準備委員會の四小國代表は三日、制裁實施が議せられる場合を除き、安全保障理事會祕密會の記錄をすべての國際聯合加

盟國に閱覽せしめることを提案した、提案者はシリヤ代表で、提案は現在安全保障理事會委員會に提出されてゐる「安全保障理事會は、他の加盟國に公開されぬ祕密會の記錄を保存するを得」との規約追加案に對する修正案の形式をとり、レバノン、エクアドル、エジプトの三國がこれを支持してゐる、米國代表ダナルド・ブレイスデルはこれに反對して

もし安全保障理事會の記錄がすべて公開されるとしたら、理事會内部における討論の自由が著しく害はれる結果になるかもしれないと論じ、委員會はこの問題の解決をみずして休會するに至つた

一方準備委員會の八専門委員會は十日の全體會議に報告書を提出し得るやう八日までに仕事を完了すべしとの指示を受けた

【米 國】

經濟狀況報告

(ワシントン三日) 農務省は二日物資の需給並びに物價の狀況に關する十一月の月報を發表したがその要旨次の通り

「農産物に對する需要は今冬を通じ現在の高水準を維持しようが、一九四六年に入ると若干減少することが豫想される、但し國民所得はやや減少しようが、一方では個人所得税の低減並びに一般の貯蓄が戰時中より減少するとの事實を考慮して、農産物に對する消費支出は一九四六年のはじめにはあまり減少するやうなことはあるまい、農産物の輸出は戰時中より減少することは勿論だが、なほ且つ戰前の水準よりは高位を維持しよう

工業生産は政府契約の解消並びに産業の再轉換によつて依然減少を續けてゐる、このうち戰爭終了後最も大きな減少を示したのは輸送設備並びに機械、化學品の生産である、之に對し緩慢ながら増加したのは戰時中その生産に制限の加へられてゐた繊維及び印刷業における生産である、十月中の政府支出は五十九億弗で本年六月の支出に比すれば三八%の減少となり、一九四二年十月以來の最低記録となつた、しかしかかる政府支出の減少も大部分は資本資材並びに一般消費者の耐久物資に對する支出の増加によつて相殺された」

【原子エネルギー】

グローヴズ少將の證言

(ワシントン四日) マンハッタン計畫の司令官
L・R・グローヴズ少將は上院原子エネルギー委員
會の公聴會に證言者として出席し、次の通り述べた

「今後のエネルギー分野における研究が、國家的安全を脅かし或ひは世界平和を危くするとき原子エネルギーの利用を豫防する管理制度の下に行はれるといふことは、最高の國家的利益を守る意味において絶対必要である、この分野の將來の活動は國民の福祉に極めて重要であり生活を豊富ならしめる可能性も甚だ大であるため、管理は原子エネルギー發生の監督統制のみを任務としかなる現存政府機關にも從屬せざる特殊委員會によつて實施されなければならない、委員會はこの分野のあらゆる活動に對し完全な權威を有し、議會並びに大統領の承認にのみ從屬する、委員會は能力を認められ社會の利益のために行動すること疑ひなき人物をもつて構成される、國內管理は國際管理と區別さるべきであり、米國並びに世界が究極において決定する國際政策はどうあらうと、とにかく國內管理は必要である、原子エネルギーの國際監察制度を設けても、それが百パーセントの安全を保障するとは思はない、しかし大統領の計畫はそれを齎らすと信じてゐる、もし各國のすべてが門戸を開放し、科學者が諸國間を往來するやうになれば諸國民がお互ひをよく知るに従つて戰爭に對する要求は減するにちがひない」

原子競争はソ聯が優勢

(ワシントン三日) ジェネラル・イレクトロニクス
會社研究所長アーヴィング・ロングミュア博士は
三十日次の通り言明した

もし原子軍備競争が始まれば、ソヴェト聯邦は
三年位のうちに最初の原子爆彈を製作し、恐ら
くは米國より遙かに早く集結するだらう

エヴァットの世界國家不要論

(ニューヨーク三日) エヴァット濠洲外相はニユ

ーヨークの「ダツチ・トリート・クラブ」(地方
實業家及び官吏の毎週の集合)の午餐會に招かれ
席上次の通り演説した

「原子爆彈の脅威の前に國際聯合をやめて世界
國家を樹立せよとの提案があるが、かうした提案
は國際聯合指導者たちの宣言した目的がまだ達成
されず、しかも地球上各所に重大な紛争があると
いふ幻滅から生れた一般的な悲觀論の結果である
もし、諸大國が休戦及び戦後の重要行動をとる前
に聯合國側小參戰國と協議してゐたとすれば、現
在見る問題の多くは避けられたはずだ、特に濠洲
及びニュージラランドのごとき、極東の平和解決
に關する諸原理を定めたカイロ宣言を新聞の發表
で知つたくらゐだ、同じやうな無視的態度は歐洲
の休戦にも示され、小參戰國は何の相談も受けな
かつた、これは明かに一九四二年一月ワシントン
において締結された聯合國協定(樞軸諸國と單獨
媾和をせずとの)の違反である、世界諸國はその
大部分が重要な代表權をもたぬやうな中央行政機
關とか中央立法機關によつて支配されるために自
治の權利を放棄する用意はまだ持ち合せてゐない
純粹な國際協力精神さへあれば、國際憲章は立派
に効果を發揮し、われわれは戰爭がどう處理され
るかを規定するだけでなく、戰爭自體を防止する
ことが出来るのである」

【科學ニュース】

P 82 複式戰闘機

(イングルウッド・カリフォルニア州三日) 世
界最初の複座戰闘機の完成が最近發表された
この戰闘機は正式にはP 82複式ムスタングと呼ば
れ、超長距離飛行として計畫され、ロスアンジ
エルス——ホノルル間約二千四百哩を四百七十五
哩時以上の速度で無着陸で飛翔することが出来る
四萬五千呎の實用上昇限度を有し、陸軍航空隊の
言によれば、上昇速度は毎分五千呎以上といはれ
る、兩方の胴體に操縦士が搭乗出来るやうになつ
てをり、正式操縦士の疲勞を減するため、自働操
縦略が一方の操縦席に裝置されてゐる、二つの胴
體は翼と水平安定尾翼によつて接合され、二重反
轉式四翅プロペラ二個、二千二百馬力の發動機二
基を有する



労働に関する

トルーマン大統領の教書

再轉換即ち米國の經濟を戦争から平和へ轉換する問題を眞剣に考へるすべての人々は、振り替りが困難かつ危険な事業であることを承知してゐる一部では世界的抗争の期間米國の生命自體が危殆に瀕してゐた當時屢々必要であつた通り、再轉換期においても政府が依然として市民に何を爲すべきかを告げることを要望する向もあるが、それは米國政府の政策ではない、政策は出来る限り早く戦時の統制を撤回し事業の自由な運営を關係當事者に返すにあり、最近全國労働經營會議がワシントンで招集されたのは戦時の権限と統制とから出来るだけ早くぬけ出さうといふ明示的目的に出てゐる、世界的戦争の結果必要となつた賃銀労働諸協定並びに産業問題に關する権限を聯邦政府に留保せずに、經營と労働との主要指導者に對し労働關係を當事者達の掌中にかへす手順を勧告するやう要請した、かかる手順について取極める全的責任を、労働と經營との代表に委ねることに決定したから會議は専ら労働と經營との指導者だけで構成された、政府代表は單にオブザーヴァーとして参加し、投票權を持つてゐない會議の議題と議事次第は悉く指導者達だけで取極めた、會議の劈頭余は會議が諸君の會議であり、經營と労働との會議で政府の會議でないことを明にしたいと述べた代表は余乃至如何なる官吏によつても選任されたのではなく、米國における指導的労働並びに産業組織によつて選任され、就任に當つては何ら政府の干渉がない旨を闡明した、労働と經營とが傳統的なアメリカ式な民主主義的方法で自身の事柄を處理すべき時期が到來した、余は出来るだけ早く大統領の戦時の権限を拋棄し、米國の國內經濟と國際政局における米國の指導的地歩を保障するために、必要な生産を提供する全的且つ不可分の責任を經營と労働とが再び擔當し得るに至ることを要望した、更に余はこの會議の結果として團體交

渉と調停とが決裂に歸した場合、産業上の平和を保障する何等かの勸告案が出て來ることこそ米國民の希望だと確信する旨を述べた

△如何にして操業停止を避け得るか

會議は茲に終りを告げた、労働と經營との主要指導者が一堂に會して三週間餘に亘り一緒に働いたといふ事實だけでもそれ自身何等かの進歩である、更に二、三の全般的原則について或る協定が出来た、例へば團體交渉の原則の取極めと交渉を進める詳細な手續に關する勸告案の如き、政府の調停機關を強化擴大する協定、雇傭に關する差別待遇撤廢の必要を認めたこと、労働契約のもとにおける苦情と契約解釋の論争を自發的仲裁によつて處理する協定等々の如き、何れも有意義な成果である

しかしこれ等一切の手續が失敗に歸した場合、如何にして操業の停止を避けるかといふ何よりも大切な問題については會議は全然意見の一致を見るに至らなかつた、この點で失敗した以上會議は再轉換の圓滿な遂行に最も必要な目標を達成出来なかつた譯である、若し産業上の抗争が續けば、豫定された急速な再轉換は今まで豫定通り否幾多の戦線においては豫定よりも早く進捗してゐるが結局失敗に終らう、その場合には米國は現に掌中に握つてゐる高度生産と高度就業と優秀な市場と豊かな賃銀との代りに、生産低下消費萎縮より廣汎な失業の時期に當面することとならう、労働關係の歴史に徴すれば一切の労働争議が眞摯且つ正直な團體交渉によつて處理出来且つ處理せねばならぬことが明かだ、團體交渉によつて調整出来ぬ争議の大多數は政府の調停によつて片付いてゐる例へば十月中三百五十四件の罷業が調停機關により片付き、一千二百八十二件の労働争議は操業の停止が全然起らぬうちに調整された、米國民は經營と労働とが平和裡に問題を片付けた幾多の場合を賞讃してゐる、之等の争議は何れも重要産業部門に起つてゐるので、操業が停止されれば新聞ラヂオに大々的に掲載されるが産業上の争議が片付く場合には新聞にもラヂオにも殆ど報道されない

しかしこの方法では片付けることが出来ない或種の争議が常に存在してゐる、一部基本産業における産業上の抗争は巨額の賃銀と購買力喪失を意味するばかりでなく、全國に亘り波及する所廣く再轉換の過程に全面的に打撃を與へるかも知れない、かかる産業部門において勞働と經營とが意見の相違を片付けることが出来ぬ場合には、一般社會が聯邦政府を通じて發言し行動する義務あり、最後の分析において勞働と經營と社會一般とは同じ利害關係を持つてゐる

△再轉換の成功

轉換の努力は目下順調に進捗してゐるが米國民は再轉換の成功を期待する權利あり、その途上に横はる個々の障礙によつて右期待の實現が阻害されるのを許すことは出来ない、良好な勞働關係は戰時におけると同様現在において重要である、勞働關係は正義に基くを要し實力のテストを基礎としてはならない、各當事者それぞれの力を基礎にして勞働争議を片付けようとするれば、結局すべての人々が損することとならう、即ち勞働者とその家庭とは賃銀を喪ひ、株主と工業の株主とは配當を失ひ、一般社會と物資を喪失する

勞働と經營とが一部主要産業部門における現存の罷業、並びにまさに持上らうとしてゐる罷業の解決策を講ずる機關について意見の一致をみるに至らなかつたことは遺憾である、現在の罷業だけでも既に米國の再轉換計畫を麻痺させる惧あり、他の産業部門においては交渉は決裂し操業停止の脅威が大きい

米國民は今まで忍耐強くこの問題を處理することを業としてゐる勞働と經營との指導層が、意見一致のもとに問題をかた付けて呉れるだらうとの希望を抱いて久しい間待つてゐる、聯邦政府は適當な機關について會議に指示を與へることを再三拒んだ、政府のなした所は米國民が會議に達成して貰ひ度いと思つてゐる目標を指摘したに過ぎない、今や會議がこの主題について何等勸告する所なく散會したのだから、自身の發意で行動することが政府の任務となつた、ここにおいて余は議會に對し産業上の争議を處理し産業上の抗争を避け

るに足る手段を提供するために、理路の透徹した實施出来る法案を出来る限り早く通過することを示唆する

全國的な重要産業部門における産業上の争議處理に當つては、鐵道勞働法の基調をなす諸原則を採擇することを余はここに勸告する、同法の全般的雛型は小規模な産業乃至大産業でも小さな局地的争議には適用出来ない、しかし例へば製鋼業、自動車工業、航空機工業、鑛山業、石油業、公共事業並びに遞信事業等の廣汎な産業に對しては右原則は公正且つ效果的である、もつとも以上例示した所が全部でもなければ、ついに之等産業部門のうちでも局地的な輕微な罷業をこれに含めようといふのではない、目的とする所は勞働長官が國民の公的利益に重大影響があるとして、大統領に確認するやうな操業の停止に限つて、新法制を適用しようといふにほかならない、之等産業部門の産業争議で團體交渉が決裂し、聯邦政府の調停によつても兩當事者の協定を實現出来ず、勞働長官が兩當事者をして自發的に紛争を仲裁に託させることが出来ぬ場合において、余はつぎの手續を勸告す

△實狀調査委員會

勞働長官がその努力にも拘らず争議が続いてをり、當該産業部門における操業停止が公共の利益に重大影響を與へることを認證すれば、大統領または大統領より正式に權限を委ねられた機關に對し、爾後五日以内に鐵道法の下で規定されてゐる應急委員會(Emergency Board)と同様な實狀調査委員會を任命する權限を賦與する

勞働長官が以上の認證をなした後五日間は罷業を始めロックアウトを斷行し、乃至賃銀、勞働時間、勞働條件その他争議發生以前に實施されてゐて確立された慣行を變更することを非合法とするやう勸告する、委員會は三名乃至三名以上の傑出した市民を以て構成し、委員會が紛争に關聯すると解する一切の事實を徹底的に調査する指令を受ける、委員會には調査に當り個人の召喚並びに記録の提出を求め得る全權を與へ、政府の如何なる

機關に對しても情報を求める權限を賦與せねばならない、委員會は二十日以内に報告を提出することを要する、もつとも當事者が同意すれば大統領の承認を受ける右期日を延長することが出来ることとする、報告書には實狀の調査と委員會が適切と認める勧告を明示せねばならない

實狀調査委員會が審理を重ねてゐる間並びに爾後五日間は罷業を始めロックアウトを斷行し、賃銀労働時間労働條件その他確立された慣行を變へることは協定による場合以外非合法とする、兩當事者は實狀調査委員會の調査決定を受け入れ、または勧告案に従ふ法律上の拘束を受けないが、一般社會がすべての事實を知る結果大半の鐵道爭議の場合と同様、大抵の場合には當時者が勧告案を受諾することとならう、この手續は容易に使はず國民的な公共の利益から見て必要と解される場合に限りこの手續に訴へると信する

立法に當つては季節的産業部門の所要に特に注意を拂ひ、これ等産業部門における所謂「冷却期間」のために労働を不當に不利な立場に陥れぬやうにせねばならない、労働と經營の會議の議題のうち協定が出来なかつた他の主題もあるが、最も直接的で従つて最も急を要するのは機關の設置である、余は議會が出来ただけ早くクリスマス休日以前には間違ひなくこの問題について行動することを希望する

△愛國心の發揮を要請

現存の最も重大な罷業處理に些かでも遅延を避けるために、余はジネラル・モークリス社と全國自動車業組合との間の操業停止について上述の實狀調査委員會を任命する方針である、この委員會は議會が近く賦與すると期待される法制上の權限を持つてゐないが、米國民は雇主と被傭者とが恰も適當な法律案が通過したのと同様委員會に協力するのを期待してゐるに違ひない、同時に余は會議の兩當事者に對し、戰時において示したと同種の愛國心を發揮することを要請する、余は一切の勞働者に對し即時仕事にかへることを要望する、余は雇主に對し熱意を以て全面的生産を推進することを要望する、余は米國民を代表し米國の再轉

換計畫を阻害してゐるこの主要な障礙について現に責任ある米國民に對してかく訴へる

ユナイテッド・ステーツ・テール社と、ユナイテッド・ステール・ワークスとの間に起りかけてゐる爭議についても、また余は同様の委員會を任命する、一般社會は双方が委員會と全的に協力することを期待するに違ひない、委員會の調査決定に關する報告と勧告が出るまでユナイテッド・ステール・ワークスが仕事を續けて行くことを同じく要請する

議會が余の今とらうとしてゐる措置を承認することを余は要望する、余は米國の生産を増強し、再轉換計畫を促進し、生活水準を更に高めるために以上の措置をとらうとしてゐる譯である、これ双方何れにも公正な直接の計畫である、議會は當然労働と經營とが産業上の爭議阻止について、何等解決策を取極め得なかつたことに失望したのであらうが、何れの當事者に對しても彈壓的強制的措置をとらぬことを余は希望する、米國の自由な労働と米國の自由な民間企業とは自由な民主主義體制には缺くことが出来なく、何れの側におけるかを問はず、團體交渉の全的自由を望まざるやうな法律案は、米國民が斷じて容認出来ない一步後退である、米國民の生活にかく喫緊なこの問題に對し議會が冷靜且つ慎重な考慮を加へることを確信する

米國陸軍太平洋オリムピック

(ワシントン二日) 米國陸軍省は一日次の通り發表した

陸軍は全世界に亘る計畫の一部として太平洋オリムピックを準備してゐる、優勝戦は一月二十六日から二十八日の三日間に行はれる筈で、トラック・フィールド、バドミントン、野球、籠球の五種目はマニラのリサール競技場で、ゴルフ、拳闘、水泳の三種目はホノルルで、ピンポン、庭球、ハンドボール、ソフトボールはマリアナで、排球、蹴球、馬蹄投げ、タツチ・フットボール等でそれぞれ本決勝戦が行はれる

昭和二十年十二月八日(土)
第三一號

時事通信

海外電報

(31)

【目次】

四十四億弗の借款成立……………二九八

兩巨頭、協定に關する聲明發表……………

經濟協定の意義……………

希、英に重ねて借款要請か……………

カナダも對佛借款……………二九九

ハイレー大使證言……………

テツシエン交渉打切りを聲明……………

【歐 洲】

米、佛の反對を默殺……………三〇〇

ガスベリ組閣頓挫……………

フランスでも石炭飢饉……………

【西 亞】

ソ聯、イランの要請を一蹴……………

【國際會議】

米、特別購和會議を提案……………三〇一

米英經濟交渉終幕へ……………

準備委員會進行遲々……………

【今日の話題】

華府リパリ間翔破新記録……………三〇二

伸びる定期空路……………

プロペラ推進で五百哩以上……………

印度のトリウム……………

【特 輯】

法による革命始まる……………三〇三

【資 料】

トルーマン大統領再轉換報告……………三〇五

スナイダー長官演說……………三〇六

米國餘剩物資處分問題……………三〇七

原子力物質減産

(ワシントン六日)米國雇傭局の國民就職狀況定期報告によれば、原子爆彈主要工場の数くと同一工場においては原子力物質の生産切下げを行つてゐる模様で、右報告は

テネシー州オークリツヂの原子爆彈原料生産量が低下した結果、十一月中のノックスヴィル地區における雇傭數の減少を來した

と述べてゐる、數字は全然發表されてゐない、同じく原子爆彈大工場の在るワシントン州地區の雇傭狀況については何も言はれてゐない



原子爆彈問題は米英加三國の共同聲明以後何等具體的な進展を見ない、ウオレス商務長官はニューヨークのマヂソン・スクウェア・ガーデンで四日原子力の將來に關して演説し、原子エネルギーの平和的使用は人類に未曾有の繁榮時代を齎らすだらうと述べてゐるが、原子力を生産的な動力源として使用する迄にはまだ相當の歳月を要するとみられてをり、現在の所ではまだその絶大な破壊力をいかに扱ふかの問題の方が重大だ、米國議會では例のメイリジョンソン法案を繞つて原子エネルギー管理の論議が続けられ、上院の原子力特別委員會は連日公聽會を開いて原子爆彈の歴史から調査してゐるが、爆彈製作關係者の一人フィリツプ・モリソン博士は日本の被害視察結果をまとめて同委員會に報告してゐる

「爆彈投下地點から一哩以内の人間は、大部分高熱または衝撃による負傷のために即死したが、爆發の瞬間發せられたラヂウム様放射線的作用から死んだ者も多い、この放射線は骨髓中の血液形成組織に影響し、血液のすべての機能が害はれた血液の凝結こそみなかつたが、無疵の皮膚面の各所に滲出し、體內窩部にも血液が溜つてゐた、病毒と闘ふべき白血球は消失してその不足のために病菌は蔓延する、かくて患者は大概放射線にあたつてから二週間乃至三週間で死亡した」

破壊兵器である以上人を殺すのは當然だが、あまりにも大きな威力の前に世界が呆然としてゐることは事實だ、毒ガスの場合には報復的使用を恐れ各國とも使用を差控へたが、もし原子爆彈が侵略國によつて使用されたとしたら、もし日本のごとき侵略國が眞珠灣を、パナマ運河を、ワシントンを、ニューヨークを、宣戰前に原子爆彈をもつて攻撃したとしたら、いかに米國の生産力があつてもその立廻れはちよつと回復出來ない、原子戦争の恐怖はそこにある、國際聯合機構の役割が改めて論議されつつある所以だ

四十四億弗の借款成立

(ワシントン六日) イングランド銀行理事ケー
ズ卿を首班とする英國の經濟使節は、九月中旬ワ
シントンに乘込み、米國々務省並びに財務省の代
表との間に、米英兩國間の經濟協定案について折
衝を重ねてゐたが、迂餘曲折三ヶ月間に亘る交渉
の結果協定は遂に成立し、英國大使ハリファツク
ス卿は六日午前國務省において、米國代表ヴィン
ソン財務長官との間に、總額四十四億弗の借款を
中心とする經濟協定に調印した

兩巨頭、協定に關する聲明發表

トルーマン大統領とアトレー首相はグリニチ標
準時六日二十二時半、ワシントン並びにロンドン
において次の聲明を發表した

「米國政府は英國に對し四十四億弗の借款を賦與
するに同意した、米國議會が關係支出を承認し、
英國議會が經濟協定案を可決すると同時に借款案
は效力を發生する、今回の協定には英國が借款の
金額を米國において消費することが明示されてゐ
る、償還期限は五十年、利率は年二分である
借款の内容は

一、三十七億五千萬弗 五年後の第一回償還期か
ら五十年賦で償還すること
一、約六億五千萬弗 貸與援助の最終的處理、戰
時債權と英國に残存する米國からの貸與物資の
處理、この金額もまた借款と同じ條件で償還す
るが、米國議會の協賛を要しない

以上の取極めが實施されれば世界が經濟的に分
割される懸念は終りを告げ、就業と生産は擴充さ
れ、物資の交換消費は促進されて、ここに初めて
國際貿易政策と國際貿易關係の運営に公正な規約
の法典が出現するに至らう

一九四六年の秋には貿易と就業とに關する國際
會議が開催され、米英兩國はあらゆる種類の貿易
障礙を緩和することに努力する方針である

今回の借款により英國政府は、磅貨領域に關す
る諸取極めその他の輸出入並びに爲替統制を緩和
することが出来、全般に亘り米國その他の國々と

協力して擴張した多角的貿易實現への共同の目標
に邁進することとならう」

經濟協定の意義

(ワシントン六日) ヴィンソン財務長官は英國大
使ハリファツクス卿との間に經濟協定に調印を了
した後、特に聲明を發表し

今回の協定によつて直接英本國並びに磅貨領域
との貿易を著しく擴張出来ることになり、米國
の實業家、農民並びに勤勞層が悉く惠澤を受け
よう

と述べた、前後三ヶ月に亘る交渉において米國政
府が極力主張した英帝國特惠制度の「解放」は遂
に實現しなかつたが、究局においてかかる貿易障
碍が取除かれるであらうことを協定は謳つてをり
且つ英國が現在の窮迫した財政上の立場から脱却
出来れば、巨額の磅貨勘定を持つてゐるアルゼン
チン、印度、エジプトその他英聯邦各國と米國と
の貿易が好轉する結果とならう、更に今回の協定
成立の結果、英國政府は急速に國際通貨に關する
ブレトン・ウツツの協定を批准し、進んで米英兩
國が國際貿易組織に關する憲章についても協定す
る段取と解される

UP電報は、英國との協定に引續き、米國政府
が世界の各貿易國に對して借款を許與するだらう
と述べ、ソヴェト聯邦との間にも借款交渉が開始
されるかも知れぬと觀測してゐる

希、英に重ねて借款要請か

(アテネ六日) ギリシヤは戰爭中猛烈な惡性イン
フレに苦しみ、一九四四年春には思ひ切つた通貨
統制で辛くも危機を切り抜けたが、本年秋以來再
び深刻な財政困難に陥り、カネロプロス内閣の瓦
礫を招來した、代つて登場したデミストクレス・
ソフリス内閣は英國からの借款をもつて一時切り
抜ける以外方策なしと決定した様子で、ドラクマ
貨安定策として英國政府に重ねて米貨に換算して
四千六百八十萬弗の新借款と、英國の銀行にある
ギリシヤ準備基金の一部解放を要請する意向とい
はれる

カナダも對佛借款

(パリ六日)米輸出銀行は四日フランス政府に對して五億五千萬弗の借款を許したが、右支拂期限は三十年、利率は二%、八分の三で、本年二月二十八日の武器貸與法による米佛借款協定と同率、同期限であり、同法打ちりの結果として、引渡し不能になつた協定済米契約の物資購入費に充當される筈である、右米佛借款と同時に、カナダ政府もフランスに對して二億四千二百萬弗の借款許可を發表したが、利率は二・五乃至三%である

ハーレー大使證言

(ワシントン六日)元駐華大使パトリック・ハーレーの上院外交委員會での證言は六日行はれたが要旨は左の通りである

「一九四四年十月三十日ジョン・エス・サーヴィス(當時延安總領事)は國務省に對して一般政策に關する報告書を送附し、蒋介石政府の崩壊を默過すべきことを提言したが、右報告書は同時に中共黨員に配付された、當時サーヴィスはスチルウェル將軍の配下にあつたため、余はこれを罷免することは出来なかつた、又余がワシントンに賜暇歸國中、重慶で大使代理たらしめたアチソンは國務長官に書面を送り、共產軍に武器貸與法を適用して武器裝備を供與すべきことを提言し、在重慶米大使館の全員はこの提案に賛成であることを主張した、余は米國の對華政策の線に沿つて蒋介石の政府を支持し、中國軍を對日戦線に維持し、米華關係の調和的交友を繼續せしめることに成功したと信する、余と國務長官との間には、米國の對華政策について何等の意見衝突もない、余が重慶に在任した當時、余に「不忠實」だつたものの中には二等書記官ジョン・デーヴィス(目下モスクワ在勤)三等書記官フルトン・フリーマン(現在國務省在勤)二等書記官アーサー・リングワート(同上)がある、なほ他に二名が余の對華政策に反對だつたといはれるが、その活動の詳細を自分は承知しないので名前を擧げることは差控へる、

國務長官がアングソン下院議員(加州民主)に與へた書翰が余の重慶を立つ以前に發表されてゐたら余は歸國しなかつたであらうし、國務省からも少し前に發表されてゐたら辭任もしなかつたであらう」

バーンズ長官のアングソン議員宛書翰は五日アングソン議員によつて發表され、議會記録に挿入されたものであるが、内容はバーンズ長官の對華政策の説明で要旨は次の通りのものである

余(バーンズ長官)は強力且つ統一された民主的中國の建設を希望する、かくて初めて中國は極東における平和と安定とに寄與し得るだらうし、聯合國の組織を效果的に支持し得る、この政策から出發して、余は中國がその内政問題を解決することが望ましく、且つ本質的なものであると解する、中國はこの事業達成に當り、主として自らの努力によるほかはないが、米國は中國がその國內統一と安定を達成するに最善の便宜を供與し、適當且つ實際的なあらゆる方法をもつて、この米國の政策を遂行しようとしてゐる

テツシエン交渉打ち切りを聲明

(ロンドン六日)チエコスロヴァキアは過般來ポーランドにテツシエンを要求、同國と交渉に入つてゐたが、外相ヤン・マサリクは四日夜記者團に對して次の通り聲明した

チエコスロヴァキア政府は、ポーランド政府に對してテツシエン歸屬問題に關する打ち切りを通告した、チエコスロヴァキア政府は同問題を國際聯合に上提する意向である

以上はポーランドがあくまでテツシエンの返還を肯んぜぬためか、あるひはソ聯の干涉に直面して國際聯合で争ふ決意を固めたかのいづれかを意味するものであり、記者團からも質問が出たがマサリクは次の通り軽く否定した

テツシエンの要求といつた内政問題についてはチエコスロヴァキアは第三國から干涉を受けた覚えはない、事實ソ聯駐屯軍の九〇%は既に撤收を了してゐる

【歐 洲】

米、佛の反對を默殺

(ワシントン五日) フランスはライン及びルール地方に對する要求が容れられぬためドイツ政策の統合に強硬に反對、米英ソ佛四國占領地域を網羅する統一機關の樹立に難色を示してゐるが、バーンス國務長官は五日の記者團會見においてフランスの反對を排して運輸及び通貨を處理する統一機關を樹立する斷乎たる決意を表明して波紋を捲き起した、國務長官の言明要旨次の通り

「余は前週フランスの拒否權を排してドイツ管理政策に統一を齎らす決意を表明したが、これは事實だ、たとへば余は運輸及び通貨に關する各國占領地域の統合機關の樹立を考慮してゐる、余は英ソ兩國に對して以上の兩機關の樹立に應ずる旨通告する積りだが、もしもフランスが賛成しなかつたならば、米英ソ三國占領地域だけにこの兩機關を樹立する決意である

米國政府は以上の措置を採ることを甚だ遺憾とするが、米國はソヴェト政府に對して米國がボツダム協定を履行し得る事實を明かにしたいのだ、現在の狀態では各占領地域間の運輸事業は多くの困難に遭遇してをり、更に通貨の安全が確保されぬため、ドイツの軍政から民政への移行が大いに遅延してゐる、余はフランスとの友好關係に鑑み以上の措置を採ることを遺憾としてをり、出來れば他の方法に訴へたいと思つてゐる

ルール及びライン地方に對するフランスの要求については米佛兩國間に交渉が進められてゐるがフランス代表はソヴェト政府とも協議する意向を表明してゐる、フランスは現在のところドイツの領土變更を行ふことが出來ぬことを知つてゐるがフランスとしては米英ソ三國の意向を打診しておきたいのであらう」

ガスペリ組閣頓挫

(ローマ六日) ガスペリ元外相の組閣工作は自由黨が内相の椅子要求を放棄した結果、社會黨穩和派のギゼツベ・ゴミタを任命することによつて漸く軌道にのるかに見えてゐたが、六日に至り、既

に入閣決定してゐた元首相オルランド、ボノミの兩氏が社會黨に内相の椅子を渡すことに反對した結果、またもや暗礁に乘上げるに至つた、イタリヤ政局危機はかくて遂に九日目に至つたが尙解決の曙光を見ない

フランスでも石炭飢饉

(パリ六日) ロイター通信によればフランス政府は石炭飢饉の應急策として五日、ガス、電氣、石炭燃料の消費に大幅制限を加へるに決した、フランスの石炭飢饉の原因はドイツからの輸入途絶と北部炭坑の戰災回復がおくれているためで、今年の冬もまた、フランス人は寒い冬を過さねばならない

【西 亞】

ソ聯、イランの要請を一蹴

(テヘラン五日) イラン政府はソヴェト政府に對して赤軍駐屯下のアゼルバイジャン地方にイラン軍隊を派遣する件につき再度許可を要求したが、テヘラン駐劄ソ聯大使館はイラン政府に對する覺書の形式で五日

ソヴェト政府は十一月二十六日の覺書をもつてイラン政府の要求を拒絶してゐるが、以上の方針を變更する意圖は全くない、北部地區にイラン軍隊が更に入ることには徒らに騷擾を激化させるに役立つのみである

として、再び以上の要求を一蹴した、その結果ジャリファバードまで進んだイラン軍は依然足踏みを餘儀なくされるが、ワシントン來電によれば、英國もソ聯と對抗する必要上イランからの撤兵を嫌つてゐる様子で、バーンス國務長官は五日の記者團會見で次の通り言明したと傳へられる

明年一月一日までに一切の聯合國軍隊をイランから撤收させることを提案した米國の覺書に對して、英國は未だ回答を寄せてゐない、またソヴェト政府はイラン問題に關する米國宛の覺書の公表を米國が要請したのに對しても回答してゐない

【國際會議】

米、特別媾和會議を提案

(ワシントン五日) バーンズ國務長官は五日の新聞記者團會見で米國の當面する國際問題につき次の通り言明した

今次大戰の媾和條約を締結するために、米國は特別の媾和會議の開催を希望する、現在の國際憲章の下では國際聯合が國際條約を締結することとは困難だらう、米國が海外に有する餘剩資産の處分に關し、諸國ではこれを入手したくても購入すべき資金のない場合が多いが、米國はその支拂ひの一部として大公使館、領事館等の在外公館用數地の入手を欲してゐる、米國政府はさきに米ソ兩國に對し明年一月一日までにイランからの聯合軍の撤兵を主張した通牒を送つたが、英國政府からはまだ回答なく、またソヴェト政府もイラン問題に關するソ聯政府の對米通牒を發表すべきか否かについての米國政府の照會に回答して來てゐない

米英經濟交渉終幕へ

(ワシントン五日) 過去十三週間にわたりワシントンで行はれてゐた米英經濟交渉はその間幾度か難關に逢着、一時は物分れ説さへ傳へられた程だったが、五日A.P.通信の報道によれば、交渉は終幕に近づき、近く兩國政府の間に三十五億弗乃至四十億弗に上る米國の對英借款が成立する模様である、英國側代表は既に最終回訓を本國政府に仰いでをり、英國政府は目下英國側の最後案に檢討を加へてゐるといはれるが、現在米英兩國政府間に殘されてゐる意見の相異は次の二點にある模様である

- 一、利子支拂問題、英國側は經濟不況の年には利子支拂の停止を希望してゐる
- 二、英國は自治領その他磅ブロック地域に總額百六十億弗に上る借財を負つてゐるが、この借金

準備委員會進行遅々

九つの専門委員會を開催して國際聯合第一回總會の準備を進めてゐる準備委員會は未だ重大問題

を残して前途多難を思はせてゐるが、USIS五日のロンドン電報によれば、四日の會議では信託統治理事會の秘密會議の録音を全加盟國の總會代表に公開せよといふエヂプト代表の提案が、信託統治理事會委員會で満場一致承認されたといふ、但しこれも最後の承認を得るためには準備委員會全員會議にかけられなければならない

準備委員會最大の難關は信託統治問題だが、四日は信託統治請願の問題が論ぜられ、ソヴェト代表グロムイコ大使は

非獨立國民の請願が常に鄭重な言葉で述べられるべきものと考へてはならない

と警告した、審議中の請願規定の中には、惡意的な言葉を使用して本質的に重大ならざる請願はこれを却下し得るとの一項が含まれてゐるのだ、この問題について採決は行はれなかつたが、米ソ兩國は共に、植民地保有國及び有力信託統治國に對する住民の發言權を増すことに努めてゐる模様であり、植民地保有國は請願制限を主張してゐる

また四日の經濟社會理事會委員會で中國代表は經濟社會理事會の内部に麻酔劑委員會を設け、現在の國際麻酔劑協定の實行を監督すると共に、理事會に提出すべき改正協定の起草に當らせることを提案した

本部常設地を決定すべき専門委員會は七日開催される筈である

ブライス映畫界へ

(ワシントン五日) 米國映畫製作配給業者會長エリック・ジョンストン(米國商業會議所會頭)は四日前檢閲局長バイロン・ブライスは副會長に就任した旨發表した、ブライスは元A.P.通信編輯局長たり、今次大戰勃發と共に政府に招聘されて檢閲局長官となり、最近はトルーマン大統領の特使としてドイツに使ひしたが、彼はその本據をハリウッドにおき映畫事業の發達、向上に獻身する筈である

【今日の話題】

華府Ⅱパリ間突破新記録

(パリ六日)米國トランス・ウエスタン航空會社の「スカイ・チーフ」號は六日ワシントンよりパリ近郊オルリー飛行場に到着したが、所要時間十二時間五十七分でワシントンⅡパリ間民間飛行による最短時間の記録を樹立した、トランス・ウエスタンは米國、歐洲、近東への定期航空を開始するはずで、途中ロンドンに着陸、やがてはカイロまで航路を延長する豫定である、今回は途中ニューヨークとランドのガングー、アイルランドのシヤノンに着陸したため、全體としてはワシントンⅡパリ間十四時間四十七分を要したことになる、大西洋横斷所要時間は六時間二十五分で平均速度は三百十六哩で全航路三千八百七十哩を突破した

伸びる定期空路

(ワシントン三日)トランスコンチネンタル・ウエスタン・エア航空會社は二十九日、同社が十二月三日から歐洲及び中東への旅客輸送を開始しワシントンⅡパリ間の飛行には新型四發輸送機「コンステレーション」を使用する旨發表した、「コンステレーション」が旅客輸送に使用されるのはこれが最初だが右に關し同社々長ジャック・フライは次の通り語つた

この航空便において初めて氣象に超然たる高速の大西洋横斷を期待することが出来る、旅客は隠かな空氣の中に一分間五哩の速度で高々度を快翔し得る、空氣調整式の客室では地上と同様の快適が味はへる、「コンステレーション」機は三千八百四十哩の航程の内ニューヨーク・アウランドとエールの二ヶ所に着陸する

一方パン・アメリカン・ワールド・エアウェイズ航空會社は二十八日、同社がニューヨーク・ロンドン間無着陸飛行の可能な「ストラト・クルーザー」の空中艦隊を作る爲、既に製作業者に發注した旨發表した、これが完成するのは一九四六年十一月と豫定されてゐるが、同社はここ二、三週間中にニューヨークⅡ英本土間の定期航空を週五回

にしようとしてゐる、但しアメリカン・エア・ラインズ航空會社は既にシカゴ、ワシントン、ニューヨークから毎週五回の大西洋横斷定期航空を出してゐる

一方太平洋方面ではパン・アメリカン・エアウェイズが明年初めまでに米國から比島及びアジア大陸への定期航空を開設する豫定だが、年内に實現を見るかも知れないと發表した、これはこれまでのサンフランシスコ及びロスアンジェルズからホノルルまでの路線をミドウェイ、ウエーキ、グアムを通つてマニラ及び香港に延長せんとするもので香港で中華航空の飛行機で連絡されて中國奥地に到達することが出来る、一方マニラから上海まで、さらにマニラから廣東、磐谷、カルカッタまでの路線が計畫されてゐる、また南太平洋地帯の戦前路線即ちホノルルからカントン島、フィジー群島、オークランド、ヌメアを通つてシドニーに至る輸送も近く再開される豫定である

プロペラ推進で五百哩以上

(デイトンⅡオハイオ州Ⅱ五日)ライトファイールドの航空技術補給本部は二十七日、次の通り發表した

陸軍の戦闘機は既に一年以上前にプロペラ推進式航空機の水平飛行速度の最高とされる五百哩時を突破してゐた、その航空機はサンダーボルト改良型XP47Jだ、同機の速度は舊來の發動機による航空機として他のいづれにも優り、現在判明してゐる限りでは、その記録はまだ破られてはゐない、試験飛行は一九四四年八月四日だつた、但しその製作には工具改廢計畫を實施する必要があつたため、J型は一機しか作られなかつた、機體は遊撃用戦闘機として設計され特に上昇速度と速度が優秀だつたのである、この改良は從來のサンダーボルト及びP47N型に生かされてゐる

印度のトリウム

(ニューヨーク三日)ウォルター・ウインチェルは三日の放送で、最近原子爆彈の製作においてウランウムの代りに稀元素トリウムを使用し得ることが發見された結果、英國は決して印度に自由を與へないだらうと述べた、印度には世界最大のトリウム鑛區があるといはれてゐる



法による革命始まる

井 上 勇

△ド・ゴールの努力結實

十一月二十二日改編フランス臨時政府は迂餘曲折の後漸く成立したが、その構成その他はなほわかつてゐない、しかし第一回目十三日ド・ゴールを再び臨時政府首班に推した憲法議會の模様はおぼろげ乍ら判明した、當日午後三時十五分パレ・ブルボンに焼残り議事堂に集つた憲法議會は、劈頭臨時政府首班選任の議事に入り、豫定通り人民共和黨のアンリ・テイトジャン（現法相ビエールの親父である、彼もまたアンリ・テイトジャン一家のマキ國に参加して活躍した解放國內戦の古強者で當年とつて六十三歳）からシャルル・ド・ゴールを政府首班として推し度い旨の動議を提出社會黨の影の黨首としてブルームの片腕役のヴァンサン・オリオールが賛成演説し、急進黨は最長老エツアール・エリオを立てて自席から簡單にド・ゴール支持を表明した、ところが同じく賛成演説に立つた共和聯合のルイ・デュマが脱線して、共產黨攻撃に矛を轉じ、彼等は新共和制をサポータージュしようとしてゐると怒號すると共に、議場はいきなり嵐の中に放出されて收拾がつかなくなつてしまつた、騒然たる議場を睥睨して、すつくと立上つたのは共產黨ナンバー・ワンの闘牛の闘士ジャック・デュクロである、彼はあくまでも眞面目に、あくまでも皮肉たつぷりな口調で、冷然としてあらゆる他政黨の右顧左眄ぶりをこき下し、共產黨は必要とあれば共產黨出身政府首班の許に共產黨内閣を組織して、國政の責任をとる用意がある旨を放言した、「それなら候補者を出したらいいぢやないか」と社會黨の理論家ダニエル・メイエが半疊を入れた、デュクロは軽くメイエの彌次をうけ流して「いまは君の黨の候補がわが黨の候補である」と一輯した、「投票だ、投票だ」の聲が四方から起り、やがて各代議士は議場中央正面におかれた緑と金色の地球儀型投票箱に向つて行列を作る、投票と開票は四十五分間で終了して議長フェリツプス・グーアンからシャルル・ド・

ゴール將軍が満場一致選舉された旨を報告、期せずして「マルセイエーズ」が場内もわれんばかりに高唱され、グーアンは選舉結果を齎してパリ西郊ヌイイーに在るフランスの「白聖館」ド・ゴールの別邸に向つた、ド・ゴールはその日、折柄パリ訪問中の英國元首相ウインストン・チャーチルを迎へて午餐會を開いてゐた、席に列つたものは英國駐佛大使ダフ・クーパー、ド・ゴール夫人デイアナであつた、グーアンが議會各派代表を帶同してヌイイーに到着したのは夕刻、パリの空に薔薇色の夕映が狭霧に映える頃合であつた、白一色に塗られ、家具も必要の最少限に止められた質素な應接間には珍らしくド・ゴールがその六呎半の長軀を濃青の背廣に包んで待ちうけてゐた、傍らには官房長のガストン・パレウスキーと副官のクロード・ギー、これは車服で待立した、グーアンが改つた口調で重々しく

自由の許に再生した一九四五年のフランスは、貴下が現在既に暗黙の内に國民より委託されてゐる任務を、いま公然と貴下に委任する旨を宣言、ここにいままで天下り政權にすぎなかつたド・ゴールの臨時政府は初めて地上に一步を下ろし、國民的基礎の上に降立つことになつた、ド・ゴールのフランス解放の大業は、五ヶ年の苦闘の後かくして漸く結實したのである

翌十四日は各政黨代表の正式訪問が行はれたが先登第一に乗込んだのは共產黨のデュクロで、つづいて若き人民共和運動の黨首モリス・シュエマン、その後から共和聯合の孤壘を守るルイ・マランが踵を接した、この平面的な和氣の底から突如捲上つたのが海外電報十一月二十九日號「フランス新内閣成る」中で報告した旋風だつたのだ

△共產黨との抗争

共產黨が内務、外務、國防の三つの椅子の内の一つと、その椅子に任すべき人物の選擇權を要求した事によつて生じた波瀾の経緯は既に述べたがこの際ド・ゴールと共產黨との抗争の小史を振り返るのは無駄ではあるまい、衝突の第一ラウンドはド・ゴールがアルジェに最初の自由フランス政府を組織し、共產黨の言論を求めた時に發生した、その時も又共產黨は新政府に参加すべき黨代表の

選擇は共產黨に一任すべきことを要求、ド・ゴールは政府構成員の選擇はその首班たるものの權利であるとして、この要求を斥けた、その次には國內軍の武装解除問題で對立したが、これもド・ゴール側が國家の統一には私兵の存在を許さないと主張が通つて、共產黨は一敗地にまみれた、最近でのフランス版「國共對立」は、外交問題に重點がおかれてゐるやうだ、一九四四年秋、ド・ゴールが赤都を訪問して佛ソ同盟の土産をたづさへてパリに歸るや、フランス共產黨は歡呼してド・ゴールを迎へたが、やがてド・ゴール政府の面が西に向き始め、英國案の「西歐ブロック」に色氣を示す疑ひが抱かれ始めるや、共產黨側の濫面は次第に深刻化した、今回の椅子割當の紛争にあたつて、ド・ゴールが共產黨はフランスの利益に奉仕すべく、餘りにも非國家主義的であるとの口吻を洩したことは、俄然共產黨の反感を挑發して、遂にド・ゴール再選には一齊に反對投票を投ずるに至つた、ド・ゴールが臨時政府首班たることを辭退したのは、責任の所在が議會に特に共產黨の横車にあることを國民に印象づけるための政治工作の一段で、ド・ゴール自身は何等再選さるべき要求を公言したことがなく、再選したのは憲法議會自身である、その憲法議會が組閣妨害をするならば、自分は辭めるまでであるといふことを明らかにしようとしたのが、彼の目的だつたのである、ド・ゴールの策戦は計算通り圖に當つて彼は共產黨を除くその他政黨の全部、議會の三分の二以上の支持を得て重ねてフランス臨時政府首班の地位についた、共產黨はここでも慘敗して、節を屈してド・ゴールの指圖のままに内閣に参加せざるを得ない破目に陥つた、この紛争から由來したものがド・ゴールの地位の強化であつたか、弱體化であつたかは見るものの判斷によつて違ふであらう、共產黨といふ明白なる反對黨を有することを明白にしたことは、ド・ゴール政府にとつては一つの痛手であり、その反對黨を屈服せしめる實力を示し得たことはド・ゴール政權の強力を示し得たものであるからだ

△經濟革命への出發

ド・ゴール新政府はかくて成立したが、從來その基礎を國民の上におかなかつた故に弱體であり

従つてその政策の遂行に當つて狐疑逡巡をつづけてゐた臨時政府は、初めて自信を回復して公約の實施に乘出した、彼等が手始めに持出したものはフランス銀行及び四大貯蓄銀行の國營案であつたフランス銀行は會てブルームの第一次人民戰線内閣當時、一應の民主化が行はれたが、今回の政府提案は、その百家族が有する株式の全部の國有化であり、徹底的な國營化である、政府はパリ取引所が十二月一日後場の取引を終つて日曜日休みに入つた正確に一時間後、銀行國營法案を憲法議會に提出し、即時審議、月曜日取引所再開前に採決を要求した、フランス議會は前例を破つて土曜日から月曜日朝にかけて晝夜兼行の審議を重ねて、豫定通り月曜日三日の朝には政府法案を五二一對三五の絶對多數をもつて可決した、議會側は商業銀行の國營化をも主張したが政府當局は國營を四大貯蓄銀行に限り、商業銀行の國營は自由な海外貿易の發展を阻害するとの理由で反對して政府原案を固持した結果、議會側は折れるに至つた、法案反對は極右翼の少數分子のみで三大政黨、特に人民共和運動は原案絶對支持で遂にフランス金融界の劃期的改革はなし遂げられるに至つた、フランス國民貯蓄の約八割はこの法案によつて政府監理の下に入つたわけである、法案成立と同時に政府は關係諸銀行の株券名義變更、取引所上場を禁止して、國營手續を開始したが、株主には國債をもつて補償する方法を探るものと見られてゐる、國營法の實施は明年一月一日であるが、法案の内容については詳細が尙報道されてゐない、解放の混亂期において一九四四年秋北部地方の炭坑、及びルノー以下の自動車、飛行機工場は國家が沒收する形式で國營化が行はれたが、これはその所有者が對獨協力者だつたための財産沒收の結果であり、政府の政策として議會手續による重要産業の國營化は今回の金融機關の國營をもつて嚆矢とする、暴力によらず法律に基くフランス經濟革命の第一歩はかくて踏出されたわけであり、第三共和制の政治革命につづいて、第四共和制が所期する社會革命はかくしてそのスタートを切つたわけである



トルーマン大統領

再轉換報告

トルーマン大統領は十一月二十九日、新聞記者團との會見で米國の産業再轉換の進行狀況を説明した「百ヶ日」報告を發表したが、左はその全文である

産業の再轉換が開始されてから百日間に達成された成果次の通り

△労働力關係

造船所を除き、軍需工場からの労働者の解放は現在までに大部分完了した、一方非軍事産業における雇傭は日本の降伏以來増加した、かくて全産業部門における就業労働者数は既に日本降伏當時の水準を恢復、この水準は今後も高まつてゆくだろう、失業は現在までのところ豫想以下に止まつてゐるが、これは米國經濟の混亂が憂へられた程根本的なものでなかつたことを意味する、併しなから、米國は依然として過渡期を脱してゐない、陸海軍將兵の急速な復員により、失業者の總數は疑ひもなく、今後數ヶ月間に増加しよう、過去百ヶ日間に復員された男女將兵の數は三百五十萬に達した、現在は一日平均五萬の復員が行はれてゐるが、今後もこの割合で復員が續けられよう

△工場の再轉換

米國の工場を戰時生産から平時生産に再轉換する事業は既に殆んど完了した、あらゆる工場の九三%までが六十日以内に再轉換を了し、このうち三分の二までは四十日以内に再轉換を了した工場である、一方、日本の降伏後軍需契約で解除となつたものはその件數十二萬二千、金額二百七十億弗、十二萬七千のうち既に清算事務を宣言したものはその約三分の一である

△戰時統制の撤廢

労働に關するあらゆる戰時統制は、日本が降伏した翌日に撤廢された、物價管理局は既に數百品目を價格統制から除外し、砂糖及びタイヤの二品目を除き全部の物資割當制も廢止、更に再轉換物資の價格制度を殆んど百%近くまで完了した、物

價管理局の發した指令或ひは規定等は、戰時中六百五十の多きに達したことも有つたが、之等は現在では僅か五十五に減少した、また國防運輸局の戰時諸統制は最も多かつた時は三千五十だつたが現在には残存してゐるものは十四指令に過ぎない一方戰時輸出統制の八五%まで、輸入統制の七五%までが撤廢された

△生産

平和物資の大部分は既に生産されてゐるか、乃至は生産が開始されんとしてゐる、消費耐久物資の大部分を生産する金屬工業に例をとれば、一九四六年の半ば頃までには、一九三九年の二倍半の生産をあげ得るだらう

△企業活動

企業活動も好況を維持してゐる、例へば、小賣賣上高は昨年同期に比し一〇%高、鋼塊の生産は日本降伏の直後には全能力の六〇%が動いてゐたに過ぎないのに、現在では八二%に達し、また電力の出力は戰時中の最高出力に比し現在は僅か一四%低いに過ぎない

△労働爭議

日本降伏以來、罷業が急激に増加した、かかる罷業急増の原因の一部は、戰爭中勞資双方共にその不満を抑制し、無罷業の誓約を守つてきたといふ事實に歸せられよう、去る八月以來新規罷業の件數は約一千五百、これに参加した労働者の數は百五十萬に達した、しかしながら、一方ではこの期間に労働者四十萬を含む九百三十四の罷業が未然に防止され、また労働者五十二萬五千を含む八百六十八の罷業が解決された、更に十一月二十四日まで解決をみた労働爭議は二千八百二十一に上り、これに参加した労働者の數は百十五萬であつた、しかし、八月以來罷業による操業の停止によつて失はれた労働時間は、全労働時間の〇・七六%に當る

△物價安定

日本降伏以來、生計費は〇・三%下落したが、これに對し前大戰後には大體同じ期間に一・三%の上昇を示した、ただし、今回の生計費下落の一原因は、ある種の食糧價格が季節的に低落したことに歸せられよう、賃銀並びに俸給に對する直接的な統制は大部分の分野において撤廢された

しかし、最高價格制に影響するやうな貨銀、俵給の引上げは許されなかつた、最も、不均衡を調整する特別の場合には除外例が設けられた

インフレの脅威は依然として大きく、来るべき冬及び春を通じてインフレの脅威が益々増大することを示す危険信號は數多く存在するのであり、不動産、卸賣値、原料物資等の値上りがこれである、われわれは依然として物價安定の一線を保持しなければならぬ、われわれはインフレの爆發を許してならぬ

スナイダー長官演説

米國戰時動員再轉換長官ジョン・スナイダーは十一月二十六日米國販賣廣告協會主催の會議に臨み、米國の産業再轉換の概況を説明する演説を行つたが、左はその演説の要旨である

△二つの大事業

戰爭の終結に伴ひ米國は二つの大きな事業に直面した、その一つは政府が戰爭中に經營した事業から手を引くこと、他は米國の經濟組織を戰時の統制から解放することである、先づ第一の事業がいかに進捗したかを見よう

軍需契約の解除に關しては差當つて解除し得るものは現在までに殆んど全部解除済みとなつた、さらに残りの解除すべき軍需契約も明年七月までには先づ全部が解除手續を完了するだらう、官營軍需工場の清算は十二月に最高頂に達すべく、極く僅かの例外を除き、軍需工場の清算は全部法定期間の六十日以内に完了されてゐる、陸海軍の物資購入は昨年の今頃は米國で生産されるありとあらゆる物資の約六〇%にも及んだが、本年末に至ればこの額は一〇%にまで低減することとならう

餘剩軍需資材の處分については、餘剩資産と宣言された一般的用途の工作機械及び金屬用工具の殆んど半分が既に賣却され、現在民需生産に動員されつつある、工作機械の賣却に當つては中小業者に對して出来るだけの優先的機會が與へられてゐる、しかしながら現在までのところ餘剩資材とされたもののうち、直接消費者によつて使用され

得るものは一〇%をやや超える程度に過ぎない、かかる種類に屬する餘剩資材は出来るだけ通常の商賣機關の手を経て廣く配分されることとならう

△政府統制の廢止

戰時中に政府が行つてゐた統制の撤廢狀況を部門別に述べてみよう

勞働力Ⅱあらゆる政府統制が撤廢された

輸送Ⅱ殆んど全部の統制が撤廢された、いままほ残つてゐる統制は早急に撤廢されつつある

食肉、脂肪、植物油の割當も先週廢止されて、砂糖を除く全食糧には現在も早割當制は存在しないただ砂糖と乗用自動車用タイヤのみは今後も當分割當制を維持しなければならぬ

生産Ⅱ生産の分野における政府の統制が最高頂に達した時に、諸統制規定は實に六百五十の多きに達したが、現在では僅かに五十二に減少し、これに加へて三つの優先規定が存在するに過ぎない

今月はじめ、戰時生産局が廢止されて新たに民需生産局が設置された時引繼がれたのが、以上の殘存統制規定だが、これらはいづれも再轉換の時代において不足勝ちな物資の最も公平な配分を達成するために必要な規定である、しかしながら、不足物資の供給が必要に近づくに従ひ、これらの統制規定は漸次緩和さるべく、要するにわれわれは慎重の許す限り出来るだけ早く前進しつつあるのである

△インフレ防止

次に刻下の重大問題たるインフレ防止のためにはいかなる統制措置がとられてゐるか、この分野においても政府は事情の許す限り出来るだけ早く統制を撤廢すべき方向に進んでゐる、勿論やがて生産が増加するに伴ひ、インフレの脅威は解消するだらうが、現在はいまだその段階には到達してゐないのであり、われわれは當分の間物價安定の政策を續けてゆかなければならない

物價管理局はいはゆる再轉換物資の殆ど全部にわたりその價格を決定した、この再轉換價格政策

時事通信

海外電報

第三頁 郵便部認可

は約二萬五千の製造業者に對して暫定的な價格機構を與へたが、特別の場合には救済措置として除外例も設けてある、價格統制は次の二つの場合に停止され得よう、第一は需要と供給とが平衡を得たと思はれる時、第二は生計費並びに生産原價の双方に對して物價が既に重要でなくなる時、これである、しかし現在でも既に水銀とかマグネシウムとかの基本的金屬類にして價格統制の框を取外されたものもある、インフレ防止の今一つの措置は信用賣買の取締りである

△生産増加

生産の増加こそ米國が直面する大きな問題に眞の解決を與へよう、しかるに現實の問題として、生産の分野においてどの程度の進捗がなされてゐるかを知らぬ人は少ない、實際には戦前に操業してゐた工場で軍需工場になつたものの具體的再轉換は既に八五%から九〇%まで完了された、毎日一般のための生産がどんどん増加してゐるのであるが、左に前途に多大の希望を與へる指標を例示しよう

まづ鐵鋼の生産である、鐵鋼の生産は注文に應ずる額だけにとどめられてゐるが、軍需が減少してゐるにも拘らず、鋼塊の生産が上向いてゐることは平和時の消費物資が近く大いに増加することを豫定する決定的な指標である、日本の降伏後、鋼塊の生産は一時生産能力の六〇%にまで落ちた然るに十月初旬になると、これは生産能力の八〇%にまで向上、この増加傾向は現在もなほ續いてゐる、次は鐵道貨車の輸送量だが、これもまた増加の趨勢にあり、さらに電力についても同様のことがいへる、日本降伏後といへども、電力の出力は過去六ヶ月間の最大出力より僅か八%低いといふ事實に注目すべきである、民需生産局は最近金屬工業に従事してゐる製造業者に對して、完成品の市場賣出しに關する豫想を訊したが、かれ等から集まつた報告を綜合すると、いづれも金屬製造活動の活況を豫想してゐた、組立技術も最近著しく進歩し、輕金屬工業における生産額も増加、一方では纖維工業も目覺ましい發展を示してゐる

發展はただに商業及び工業の分野に限られてゐるわけではない、米國の農家もまた戦前の平均よ

りは三〇%乃至三五%多量の生産をなし得る態勢にある、戦争中、政府の諸統制措置はよくその機能を發揮した、これはこれ等の統制が強制的なものでなく、産業界からの自發的な協力を得たからであつた、われわれはこの困難なる過渡期においても、戦争中と同様の協力が必要とする

米國餘剩物資處分問題

△在外過剩物資の處分

海外資産處分局顧問ネイル・ドールトンの十一月二十七日、ニューヨーク市輸出業者クラブ午餐會における演説

戦争の終結に伴ひ必然的に發生する後始末の一つは、米國が海外において有する龐大な額に上る餘剩物資をいかなる國の經濟をも脅やかすことなく、いかにして處分するかの問題である、これが米國自身にも重大な影響を與へることは斷るまでもあるまい、現在のところ、米國が海外に有する餘剩資産の額を推定することは不可能であり、目下陸海軍をはじめその他の政府機關ができるだけ早くその品目調査を完了すべく努力してゐるが、余の大ざつばな推定では、その品目は四百萬に上り、その價格は數十億弗の巨額に達するものと思はれる

かかる巨額に上る餘剩資産は世界のあらゆる地域に分散してゐるのであり、この處分は實に重大な事業だが、政府は全力をあげてこれ等物資をできるだけ早く處分せんとしてをり、これ等物資のあるものは全く新品であり、或ひは使用されても依然役に立つもの、また消耗の甚しいものもあるさらにあるものは産業の再建に必要とされるだらう、これ等餘剩資産の所在する各國はいづれもこれ等物資の必要は感じてゐるが、今暫く見送れば好條件をもつて手に入れることができるやうになるだらうとの豫想の下に、差當つて必要な食糧、衣類等を購入するだけで、その物資に對しては積極的に契約することを避けんとする態度に出てゐる、海外餘剩資産の處分にあたり、海外資産處分局の政策を決定する今一つの要素は、米國は再び前大戰後の失敗を繰返さぬ決意を固めてゐること

である、即ち前大戰後にも米國は外國にある餘剩資産を整理したが、米國はこれに對する各國からの支拂ひを結局受取ることができなかった、されば今度の場合にも、もし諸外國が譲渡される餘剩資産に對し米國の弗で支拂ふことを欲せず、乃至はこれが不可能なときは、普通の商賣原則に従つて何等か別途の支拂方法が考慮されなければならぬ、その一つはバーター制であり、米國は餘剩資産を譲渡する代償として、その譲渡を受けた諸國に對して通商に關する權利、基地等米國に利益となるものを要求するのである、しかし、これ等の問題に關しては議會の承認を必要としよう、米國は目下英國との間に「廣汎な」經濟交渉を行つてゐるが、この交渉を續行するは勿論、その他諸國政府並びに利益代表者との間にも同様の交渉を進行させることとならう

△軍用機の處分

餘剩資産局が十一月二十六日議會に提出した飛行機處分に關する報告

飛行機及びその部分品の製作に政府の支出した金額は百七十億弗以上の巨額に上るが、この飛行機及び部分品が、明年六月までに餘剩となる資産の半分以上を占めることとならう、この餘剩の主要部分を占めるのは、老朽の戦闘用飛行機及びそのエンジン並びに部分品だが、これ等は民間航空には殆んど利用できないものである

餘剩飛行機並びに部分品は次の四クラスに分けることができる、第一は爆撃機、戦闘機、大型練習機等の作戦用飛行機である、第二は輸送機、第三は個人輸送機で、第四は飛行機の機體或ひは部分品である、輸送機に對しては民間航空界から非常に大きな需要があり、その需要申込みに對して割當てをしなければならぬ有様だ、しかし、種類によつては民間航空に不適當な輸送機も多く、これ等は屑鐵とするより他あるまい、作戦用飛行機に對する需要は教育及び試験用にのみ限定されてゐる、従つてこれ等の飛行機からは賣却のできない貴重な部分品を取外した後、残りは全部屑鐵用として賣却されよう、個人輸送機は既に一萬五千臺以上が民間に賣却されて、政府の得た賣却代

金は三千百萬弗にも上つた、また若干數の初歩練習機も賣りに出されてゐる、餘剩飛行機の處分にあたり最も困難な問題は飛行機の機體及び部分品の處分であり、これ等が民間航空に利用できるものは一〇%以下に過ぎまい

餘剩飛行機の處分にあつては、米國航空の優秀性維持、雇傭の高水準維持或ひは空軍國としての米國の將來等との關係を考慮する必要がある、されば現在進行中の餘剩飛行機の處分はこれを充分考慮にいれ、妥當な價格による餘剩品の秩序ある處分、できるだけ通常の商業機關の利用、外國市場の開發、科學的實驗の爲餘剩飛行機の學校に於る利用、監理、取扱費輕減の爲賣却不可能な餘剩品の急速な屑鐵化等を達成せんと期してゐる

キーナン首席檢事の横顔

日本戰爭犯罪人裁判首席檢事ジョゼフ・キーナンの略歴は次の通りである

一八八八年一月十一日ロード・アイランド州ボークケットに生れ、一九一〇年ブラウン大學、一九一三年ハーヴァード法學校卒業、一九一四年オハイオ州クリヴランドで辯護士開業、第一次世界大戰には一兵士として出征、海外で將校となり歸還、一九三二年初めて政治に首を入れ、熱烈にフランクリン・ルーズヴェルトを支持す、全國の犯罪勃發に對抗するに必要な措置の實施を提案し指導することを目的とする特別檢事次長としてワシントンに上り在職中に關係諸情勢の全國的調査を行つた他、重要な裁判にも幾回か關係し、運輸通信手段の變化とそれによる犯罪の増加に伴ふ刑法改正案を起草、議會に提出す、これらの措置は聯邦調査局の活動範圍並びに人員の擴張に専ら貢獻した、その後全米の政府告發を擔當する犯罪部長となり、間もなく檢事次長に昇進、次長としては合衆國判事全員の選任、各州檢事長の選任、その他司法省官吏の任命を推薦する等一切の人事を司り、司法省から議會に提出する一切の法案を扱つた、一九三九年二月司法省を辭職してからはワシントン市並びにオハイオ州クリヴランドで再び辯護士を開業してゐた

昭和二十年十二月十日(月)
第三二號

時事通信

海外電報

「世界は一つだ」といふ觀念は、思想的には公教會とともに古く、政治的には神聖ローマ帝國とともに古いといへよう、しかしながら現實の世界は常に利害の對立と分裂の態勢である、VJデー以後トルーマン大統領とバーンス國務長官に課せられた任務は、政治的にはソヴェト聯邦との懸案解決にあり、經濟的には磅貨圈を包含する世界的自由經濟體制の確立である、前後三ヶ月ワシントンで折衝を重ねた結果、十二月六日ワシントンとロンドンとで發表された米英兩國間の經濟金融協定は、以上の見地から新世界建設への一大憲章にほかならない、戰爭には勝つたが同時に世界最大の債務國に顛落した英國が、如何にして「戦後の過渡期間」を切り抜けるか、英帝國の經濟的ブレインと言はれるイングランド銀行理事ケーンズ卿今回の使命は、マルクの慘落による史上空前のインフレーションを切り抜けた財政上の魔術使ひヒヤルマール・シヤハト博士の任務に比することが出来るよう、ヴェルサイユ條約のインクが、未だ乾かぬうちに「講和條約の改訂」を提唱し「講和條約の經濟的結果」を豫言した當時の専門委員サー・ジョン・ケーンズは、今や押しも押されもせぬ英國財政の大御所として、四十四億弗二分利五十年間の借款を確保した、しかも英國政府の財政狀態如何で、利拂ひ抛棄を米國政府に要請出来るといふのだから、今回の經濟協定は何といつてもケーンズ卿のお手柄といはねばならない、しかし問題は米英兩國間の經濟金融關係ではなく同時に發表された白書に掲げられた高遠な自由貿易の理想だ、今回の協定でも所謂磅貨圈弗貨ブール制の解消により、オッタワ協定を基調とする英帝國特惠制度は解體の第一歩を踏み出したが、白書は更に自由貿易體制への前提として、國際聯合主催の貿易と就業とに關する國際會議、貿易促進の中央機關としての常設國際貿易組織の設置を提唱してゐる、勿論自由貿易への道が決して坦々たる長安の大道ではあり得ないことは第一次大戰以後の歴史が證明してゐるが、今回の協定によつて「世界が經濟的に分割される」懸念が解消すれば、恒久平和の建設は明かに卒頭一步を進めるに違ひない



「世界は一つだ」といふ觀念は、思想的には公教會とともに古く、政治的には神聖ローマ帝國とともに古いといへよう、しかしながら現實の世界は常に利害の對立と分裂の態勢である、VJデー以後トルーマン大統領とバーンス國務長官に課せられた任務は、政治的にはソヴェト聯邦との懸案解決にあり、經濟的には磅貨圈を包含する世界的自由經濟體制の確立である、前後三ヶ月ワシントンで折衝を重ねた結果、十二月六日ワシントンとロンドンとで發表された米英兩國間の經濟金融協定は、以上の見地から新世界建設への一大憲章にほかならない、戰爭には勝つたが同時に世界最大の債務國に顛落した英國が、如何にして「戦後の過渡期間」を切り抜けるか、英帝國の經濟的ブレインと言はれるイングランド銀行理事ケーンズ卿今回の使命は、マルクの慘落による史上空前のインフレーションを切り抜けた財政上の魔術使ひヒヤルマール・シヤハト博士の任務に比することが出来るよう、ヴェルサイユ條約のインクが、未だ乾かぬうちに「講和條約の改訂」を提唱し「講和條約の經濟的結果」を豫言した當時の専門委員サー・ジョン・ケーンズは、今や押しも押されもせぬ英國財政の大御所として、四十四億弗二分利五十年間の借款を確保した、しかも英國政府の財政狀態如何で、利拂ひ抛棄を米國政府に要請出来るといふのだから、今回の經濟協定は何といつてもケーンズ卿のお手柄といはねばならない、しかし問題は米英兩國間の經濟金融關係ではなく同時に發表された白書に掲げられた高遠な自由貿易の理想だ、今回の協定でも所謂磅貨圈弗貨ブール制の解消により、オッタワ協定を基調とする英帝國特惠制度は解體の第一歩を踏み出したが、白書は更に自由貿易體制への前提として、國際聯合主催の貿易と就業とに關する國際會議、貿易促進の中央機關としての常設國際貿易組織の設置を提唱してゐる、勿論自由貿易への道が決して坦々たる長安の大道ではあり得ないことは第一次大戰以後の歴史が證明してゐるが、今回の協定によつて「世界が經濟的に分割される」懸念が解消すれば、恒久平和の建設は明かに卒頭一步を進めるに違ひない

【目次】

第四次大五ヶ年計畫の草案成る.....	三一〇
佛新憲法は一院制.....	三〇
伊五大政黨内閣か.....	二九
明年六月の民政切換へは不可能.....	二八
保守黨の不信任案否決.....	二七
土、モントルー協約の改訂を受諾.....	二六
伯選舉は社會民主黨の勝ち.....	二五
米労働法案上程.....	二四
米伊通商協定成立.....	二三
【西 亞】	
イラン、執拗に喰ひ下る.....	三二
騒擾更に續く.....	三一
ワフド黨首狙撃さる.....	三〇
トルコ集會を禁止.....	二九
【國際會議】	
キユーバ代表、拒否權反對聲明.....	二八
ソ聯の提案通る.....	二七
大統領、外相理事會に出席せず.....	二六
ロンドンで炭坑會議.....	二五
電氣通信會議終る.....	二四
【歐 洲】	
スペイン王黨派彈壓.....	二三
イタリア政局打開難.....	二二
【米 國】	
戰爭最終期の海軍戰果.....	二一
特殊人の旅行に便法.....	二〇
【今日の話題】	
俘虜の民主主義研究所.....	一九
十一月重要日誌.....	一八
【特 輯】	
軍票の法理論(十).....	一七
【資 料】	
原子爆彈共同宣言前後.....	一六
「電子戰爭」の勝利.....	一五
【新西蘭にウラニウム新鑛】	
(ウエリントン七日) ニュージーランド政府當局は五日議會においてニュージーランド領内に有望なウラニウム鑛山が発見された旨發表、一年か二年のうちには原子エネルギー應用に十分な量が得られるだらうと言明した	

第四次大五ヶ年計畫の草案成る

(モスクワ七日) ソヴェト政府は第二次世界大戰終了直後、第四次五ヶ年計畫を明年から開始する旨發表したが、重工業、住宅、教育、自動車生産、鐵道、道路及び運河敷設、造船、農業、電力等ソ聯國民經濟生活の全領域に亘る未曾有の大規模の計畫案は殆んど完成の域に達してゐると傳へられる

一九四六年から一九五〇年までの期間に亘る第四次五ヶ年計畫の細目と數字はまだ祕密に附されてゐるが、聯邦共產黨中央委員會と聯邦人民委員會の共同聲明が今次五ヶ年計畫の目的を「國民經濟、特に鐵道運輸の復興と發展」と規定し、「ドイツの占領下に荒廢に歸せしめられた經濟を、五ヶ年間に完全に復興するばかりでなく、戦前の水準を大いに凌駕する」と述べてゐるやうに空前の規模を有してゐることは想像に難くない、同計畫によれば延長四萬五千哩の鐵道を復舊するほか、新たにシベリア、極東、中央アジアの諸地方に新線を敷設、さらに車輛の大増産が豫定されてゐるこのために三百萬の鐵道労働者が養成されるが、技術専門學校は年三萬名の技術家を供給する筈で鐵道行政官を養成するために鐵道運輸大學の設置も考慮されてゐる、またゴリキー市を「ソ聯のデトロイト」とするために自動車工場の増設を豫定してゐるが、目標は從來の自動車生産高の四倍にあり、約二十億留の投資が行はれる

農業部門においても戦時の損害を復興するばかりでなく、農業の機械化を最大限に實現する意向で、レーニンの遺言たる農業經營の電化もこの計畫において輪廓を完成する豫定だ、更に造船施設を從來の倍に増加することも考慮されてゐる

特に注目すべきは保健厚生施設の大々的擴充であらゆる市町村に病院及び保健衛生施設を新設する計畫であり、たとへばウクライナ共和國だけでも六萬の病床を増設、國內を通じてあらゆる病院の病床を平均二十五宛増加する豫定と傳へられる

佛新憲法は一院制

(パリ六日) フランス憲法議會憲法委員は四日よ

り第四共和制に與へるべき新憲法の起草に着手したが、六日新憲法においては立法議會として一院制を採用すること、同時に主權議會に一個または數個の諮問、理事會を附屬包含せしめてもよい原則を承認した

伊五大政黨内閣か

(ローマ六日) 元外相アルシデ・デ・ガスベリの組閣工作は自由黨の非妥協態度で行惱んでゐるがガスベリは六日、若し自由黨が椅子の割當について再考しない場合はこれを除外して五大政黨による内閣を作る決意であると語つた

明年六月の民政切換へは不可能

(ニュールンベルグ七日) アイゼンハワー元帥の後任としてドイツ占領地域の米軍政長官に就任したジョゼフ・マクナニー大將は、六日ニュールンベルグの法院において非公式に最初の新聞記者會見を行ひ、ドイツ食糧事情の逼迫を認めて次の通り言明した

「米軍は今冬歐洲特にドイツにおいて、食糧暴動を處理しなければならぬことを覺悟してゐる、併し暴動は組織的な大掛りのものではなく、散発的に發生するだけだらう、いづれにしても米軍は如何なる事態の生起にも對處し得る十分の兵力を有してをり、且つ騷擾も一般に大したことなく鎮壓されるものと期待してゐる、余は米軍占領地域における現在の食糧制當量を維持出来るばかりでなく、最近ドイツ人に對する一日のカロリー量を千五百五十カロリーに増加した

ドイツの管理については余はトルーマン大統領が提案したやうに、明年六月一日までに軍政機構を民政に切り換へることが出来るとは思へない、すくなくとも六ヶ月以内に要員を訓練することは不可能だ

明年一月一日にはドイツ占領地域の米軍の數は七十萬以上とならうが、冬季の危機を乗り切つたならば、占領軍の兵力を逐次減少させる筈で、七月一日にはドイツに駐屯する米軍兵力は三十七萬イタリアは二萬八千程度とならう」

保守黨の不信任案否決

英國の保守黨は五日の下院に労働黨に對する不信任案を提出したが、六日分裂投票の結果、三百八十一票對百九十七票で同案は否決された、表決に先立ち、六日、チャーチル前首相は、労働黨内閣の施策を抜きおろし次の通り述べた

「労働黨はファシズムの精神に感染し、總選舉に敗れた反對黨に屈辱を與へようとしてゐる、殊に樞相ハーバート・モリソンの態度のごとき、反對黨を刺戟し、傷つけ、挑發するにほかならない、英國を社會主義國家に轉換しようとする企圖が進捗するとともに、政治上の抗争と窮乏とを擴大する結果とならう

國際情勢においては米ソ兩國との關係は惡化し歐洲は夢魔に取り憑かれてをり、印度については英國政府は重大な決定を下さねばならない、余が依然政界に留つてゐるのは、戦争において英國が確保した偉大な地歩を勝利の曉において愚な行動により抛棄して了ふことがないやう努めるのが余の本務だと考へてゐるからに他ならない、現下の情勢において、英國がかかる性質の内部抗争を事としてゐる餘裕はない、苛烈な政治的抗争によつて、英國が弱體化し、分裂するに先立つて、國民生活を合理的に復元することが急務である、英國の立場は礁湖の上に帝國を建設したヴェネチアの如く、海水を阻止するため堤を築いてゐるオランダに等しく、ナイル河と灌漑とに依存してゐるエジプトに異ならない、英國が今取り圍まれてゐる危険と困惑とから脱出し、久しい間よく苦難に堪えた國民に生活更新の機會を與へるためには、英國民が全力を結集せねばならないと思ふ」

以上の攻撃に對しアトレイ首相は、労働黨が過去四十年間に亘り基本産業國有化の政綱を掲げ、今次の總選舉において國民の委任を受けた以上、年來の政綱を實施するのが當然なる旨を述べ、チャーチル前首相の鋭い論鋒に劣らぬ堂々たる論陣を展開した、最後にサー・オリヴァ・リトルトンが労働黨の政策を攻撃し

産業界は平時生産への轉換について些も政府の支援を受けてをらず、武装兵力の復員も不必要

に遲延してゐるから、労働黨内閣が失政を重ねてゐる間に、米國は着々平和時代の指導權確保に先鞭をつけてゐるではないか

と述べ、商相サー・スタフォード・クリツプスが政府を代表し

労働黨内閣は國民に公約した社會改造の確固たる基礎を提供する方針であると應酬した

土、モントルー協約の改訂を受諾

(アンカラ七日)米英兩國は過般トルコ政府に對してモントルー協約の改訂を申し入れたが、サラジョグル大統領はダーダネルス海峡の自由通行につき他の國と交渉に入る用意ある旨六日聲明した

伯選舉は社會民主黨の勝ち

(リオデジャネイロ七日)ブラジルの右翼社會民主黨は大統領選舉戰において、同黨の候補者エンリコ・ガスパール・デユトラの勝利が確定した旨發表した

米労働法案上程

(ワシントン七日)トルーマン大統領は最近の議會に對する教書で罷業防止機關として實情調査委員會の設置を勸告したが、民主黨下院議員ノートンは右大統領の勸告を盛つた法案を六日議會に提出した

米伊通商協定成立

(ワシントン七日)國務省は六日イタリアとの間に正常通商關係を回復する協定に達した旨發表した、同時にバーインズ長官と駐米イタリア大使アルベルト・タルキアニとの間の往復書翰が發表されたが、右によれば、兩國は新協定により

一、適當なる國際的方法により生産、就働、商品の交換、消費を擴張強化すること

二、國際貿易における凡ゆる形の差別的扱ひを排除すること

三、關稅引下げその他の方法によつて貿易阻害手段を極力排除すること

四、大西洋憲章で提唱されてゐる凡ゆる經濟的目標の達成に努めること

【西 亞】

イラン、執拗に喰ひ下る

(テヘラン六日) ソヴェト政府は五日イラン政府のアゼルバイジャン地方への派兵要求を再度拒絶したが、イラン政府は六日三度ソヴェト政府に對して要求、執拗に喰ひ下つた、他方イブラヒム・ハキミを首班とする現政府は暴動勃發に伴ひイラン政界の不評をかつて總辭職、かはつて親ソ政權が登場するであらうとの噂が流布されてゐたが、ハキミ首相は六日辭職の意思なしと否定、飽くまでもアゼルバイジャン問題の解決に當る決意を表明した

騷擾更に續く

(テヘラン六日) アゼルバイジャン地方の首都ダブリーズからの報道によれば、暴徒團は同市のイラン軍兵舎を襲撃して憲兵二十一名、將校二名を殺害したといはれるが、ムラダン附近においても地方警察署長と裁判所長が血祭りにあげられたといはれる

ワフド黨首狙撃さる

(カイロ六日) エジプト元首相で國家主義運動の闘將ナハス・パシヤは回教暦の新年たる六日ワフド黨クラブへ演説に赴く途次、何者かのために爆弾を投げつけられた、詳細は不明

トルコ集會を禁止

(アンカラ六日) 國家主義的傾向のトルコ學生團は五日イスタンブールにおいて共產主義反對の示威運動を開始、共產主義系の二新聞「ル・タン」及び「ラ・トゥルク」の印刷所に亂入して亂暴を働き、鎮壓にかけつけた警官隊と小競り合を演じたが、六日のアンカラ放送によれば、六日以降同市においては如何なる種類の集會といへども一切禁止されたといはれる

【國際會議】

キユーバ代表、拒否權反對聲明

ロンドンで開催されてゐる國際聯合準備委員會五日の議事は、信託統治理事會委員會でソヴェト

聯邦の訴願制限撤廢案が承認されたばかりは見るべきもなく、同じ専門委員會で非戰略的信託統治に關する訴願が公開の席上における口頭請願を必要とする決定された位のところだ、むしろ注目されるのは五日キユーバ首席代表ギレルラ・ベルト駐米大使が

余は出来るだけ早い好都合な時機に五大國の拒否權を撤廢するといふ修正案を提出するつもりである

との聲明を發表したことが、チエコスロヴァキア代表ヤン・マサリック外相は新聞記者團會見でこれに反對を表明し

第一回總會が開かれ或ひは機能を開始するまでは、國際憲章をつつきまはすことは止めようではないか

と述べたといはれる、國際聯合機構の本部は米國に置くことになりさうだが、英國を先頭に歐洲誘致運動もなかなか猛烈で、その決定に關する全員會議は相當採めよう、専門委員會は六日か七日に表決するといふ、また「ニューヨーク・タイムズ」紙特派員シドニー・グルーソンの報道によるとフランスから機構分割配置案も出てゐるといふからまだまだ問題は面倒だ、グルーソンは次の通り報じてゐる

フランスは準備委員會に對して國際機構を米國と歐洲に分割配置することを提案する準備をしてゐる、フランス案によると總會と安全保障理事會は米國に置かれ、經濟社會理事會及び特殊諸機關が歐洲各地に配置されることになる、この問題の専門委員會はまだ本部常設地選擇の基準に關する論議すら終つてゐないから、今週中に表決を行ふやうなことは無理だらう

ソ聯の提案通る

(ロンドン六日) 國際聯合準備委員會信託統治理事會委員會は、非獨立國民の信託統治理事會に對する訴願の形式に關する制限案を撤回するといふソヴェト聯邦の提案を投票の結果承認した、制限撤回案の提唱者はソヴェト聯邦及びウクライナ共和國、制限案支持者は英國、ベルギー、南阿聯邦等の植民地保有國だつた、米國は投票を棄權した

時事通信

海外電報

（東京電報局）

大統領、外相理事會に出席せず

(ワシントン六日) 英國のPAは、養に國際聯合準備委員會代表團の言としてトルーマン大統領が一月ロンドンで開かれる外相理事會々議に出席するかもしれないと報じたが、ホワイト・ハウス當局は六日「大統領はロンドン外相會議に出席する意圖をもつてゐない」と簡明にこれを否定した

ロンドンで炭坑會議

(ロンドン六日) 世界炭坑業會議は十二ヶ國の代表を集めて近くロンドンに會合することになつたが右には炭坑主、坑夫側代表のほか、政府代表も參加して石炭業の將來及び炭坑關係社會問題の審議をするが、英國ではこの會議を機會に炭坑の國有化論が再び擡頭してゐる

電氣通信會議終る

(ハミルトン五日) バーミユダ島のハミルトンで開催中であつた電氣通信會議は四日終了したが、參加八ヶ國政府は經濟的利潤を副次的とし、各國間の情報交換量の増大を第一義とするといふ原則を承認した、なほ米英兩國政府は次の協定に調印した

- 一、國際通信料率を下げる
- 一、他國における通信獨占の政策を抛棄する
- 一、米國が英國、濠洲、ニュージーランド、印度との間に直通回線を維持する權利を認める

【歐洲】

スペイン王黨派彈壓

(パンブロナ・スペイン六日) 去る三日パンブロナで行はれた王黨派のフランコ政權打倒示威運動は參加者二千人に達し、警戒の警官に對して發砲騒ぎあり、死傷者多數を出したが、マドリッドから特派されたフランコ政府の警官隊は以後王黨派檢舉をつづけ、既に二百名以上を逮捕した

イタリア政局打開難

(ローマ六日) 元外相ガスペリの組閣工作は依然行惱みをつづけ、六日は各政黨代表十二名が會合

打開策を議したが自由黨側が自己の政綱を全面的に新政府の政策中に取入れることを要求して譲らず、遂に物別れとなつた

【米國】

戰爭最終期の海軍戰果

(ワシントン五日) 近く退役する米國聯合艦隊司令長官キング元帥は「アーミー・アンド・ネーヴィ・ジヤナル」誌上で戰爭最終期における海軍作戰を論じ次の通り述べてゐる

米國海軍の日本海軍に對する勝利は一國の海軍が他の一國に對して收めたものとして近代戰史上最大の勝利である、水底に没せる敵艦艇はあまりにも多く、米國潜水艦隊は目標を發見するに苦しむほどであつた、一九四五年前半に米國海軍が擊破せる日本航空機は五千七百四十七機、水上部隊及び航空隊の擊沈せる日本艦船三百八十隻、潜水艦隊による擊沈は別に二百十二隻あつた、今後の平和時代には米國の海軍力を維持するといふ大使命が残されてゐる

特殊人の旅行に便法

(ワシントン五日) 國務省は五日、印度、ビルマ方面の特殊な一般人に對し陸軍輸送船によつて同方面と米國間の往復を許すことになつた旨次の通り發表した

數ヶ月前に國務省と陸軍省との間に取極めが成立し、それによつて少數の一般人が制限された月割當制により陸軍輸送船で印度と米國との間の旅行を許されることになつた、この特殊な範疇に屬する人々は、國際通商の再建と擴張に積極的に働いてゐる米國並びに外國人實業家、命令により旅行する米國並びに、國政府官吏らである、印度と米國間の船舶施設は事實上すべて米國陸軍の管理下におかれてゐるため、軍人以外の人々の旅行手段は陸軍輸送船以外にないわけだ、これら特殊の人々の旅行は米國外國貿易の擴張に關係してをり、しかして外國貿易の擴張こそ米國歸還兵のために仕事をすることに役立つものである

【今日の話題】

俘虜の民主々義研究所

(ワシントン六日) 米國陸軍省二日發表「米國の民主々義制度を研究したい」といふ希望を表明した日本人俘虜が目下テキサス州ハンツヴィルの俘虜收容所で實驗の機會を與へられてゐる、この實驗は九月に開始されたものでアーチャー・ラーチ憲兵少將の監督下に置かれてゐる、この計畫から學ぶところのものは何でも日本に新しい政府を作り上げる責任を有する極東の米軍及び聯合軍によつて活用されるであらう、この計畫を擔當してゐる將校達は長年日本に住んだ人々でその中には宣教師の令息たるブード・モザー中佐、並に日本に三十年間居たといふ前戰時情報局極東部員チャールス・ヘブナー博士等も含まれてをり、計畫は國務省の政策と調整されてゐる、俘虜には二つの集團があつて一つは二十五名乃至三十名の教育の高い日本人より成り、彼等は米國の制度や政治をどうして日本にあてはめるか、またどういふ風に修正しなければならぬかといふ進歩的計畫の研究に従事してゐる、彼等がその成果を完成しかつそれが最善の民主々義標準と合致する場合にはそれを論文に纏め上げて數百名よりなるもう一つのグループに配布し、その反響が研究結果を判斷する資料の一部となる、この活動に従事してゐる凡ての俘虜は、日本は國際社會の中に生存しなければならぬものであり、又米國との密接な關係は不可避であるが故に民主々義日本の將來の可能性を徹底的に研究することは極めて重要であるとの確信を表明してゐる、日本人の著作が大いに活用されてゐるが著作者は暗殺されるか或は罷免された人達で例へば軍閥に反對する立場の故に殺された前藏相高橋是清、またその自由主義的見解の故に殺された板垣伯等の如きである、日本人俘虜の大半は六週間以内に日本へ歸されるが、二、三百名は米國におけるこの計畫を繼續するために一時留め置かれることになつてゐる

十一月重要日誌

一日 希カネロプロス内閣成立
パレスチナで騷擾勃發

二日	駐瑞典日本公使館閉鎖
三日	米戰時生産局廢止
四日	日本戰争犯罪人を裁く米首席檢事キーナン氏と決定
五日	佛、獨の中央政府設置に反對
六日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
七日	佛、獨の中央政府設置に反對
八日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
九日	佛、獨の中央政府設置に反對
十日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
十一日	佛、獨の中央政府設置に反對
十二日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
十三日	佛、獨の中央政府設置に反對
十四日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
十五日	佛、獨の中央政府設置に反對
十六日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
十七日	佛、獨の中央政府設置に反對
十八日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
十九日	佛、獨の中央政府設置に反對
二十日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
二十一日	佛、獨の中央政府設置に反對
二十二日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
二十三日	佛、獨の中央政府設置に反對
二十四日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
二十五日	佛、獨の中央政府設置に反對
二十六日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
二十七日	佛、獨の中央政府設置に反對
二十八日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止
二十九日	佛、獨の中央政府設置に反對
三十日	獨管理々事會、ナチ司法制度を廢止



軍票の法理論(十)

入江啓四郎

△ドイツ軍バリ入城と軍票

ドイツ信用金庫は本據をベルリンに置き、進駐各地に必要に應じ各金庫が設置せられたのであるが、一九四〇年五月十五日のドイツ信用金庫に關する命令中改正命令後、ドイツ軍は六月十四日早朝よりパリに入城し、これとともに軍票であるドイツ信用金庫券の外、ドイツ内國通貨が市面に現はれた、但しドイツ軍當局はその後間もなく信用金庫券一式に限定する方針を取つたが、新聞等による本券の強制流通に關する主旨が稍徹底せず、フランス商人中にはこれを忌避する傾向も見えたので更に市内に布告を貼布して信用金庫券を以て唯一の強制通貨とする旨を明にした、尤もここに唯一の強制通貨と言ふのは、マルク表示ドイツ通貨に關するもので、フランス通貨を排除したものではない

ドイツ軍が一九四〇年六月二十二日の印刷日附ある布告によつて、右信用金庫券強制通用に關し示した所に基き、その内容を左に説明するが、本布告はフランス語で印刷された一般揭示の形式を取り、布告權限者乃至指令責任者は示してない

(一) 本布告は先づドイツ信用金庫發行のライヒスマルクによるドイツ券を公私における唯一の強制支拂手段とし、他のドイツ券は將來嚴重に拒絶されることを要する旨示した

(二) ドイツ信用金庫券の模様は擴大して本布告に印刷し、市民の判別に資したのであるが、額面は一、二、五、二十ライヒスマルクの四種で券面は一面に「一ライヒスマルク」等金額の表示と、「通貨偽造ハ禁錮ニ處セル」との處罰文言を示し、他の面には紙幣番號、金額、數字ドイツ信用金庫標識のほか「ドイツ信用金庫ニ關スル命令ニ基キ發行、ドイツ信用金庫中央管理局」との發行文言が記されてあつた

既に述べた通りパリでもドイツ軍入城當初は、

軍票であるドイツ信用金庫券以外のドイツ紙幣も使用されたが、右布告により爾後これは禁止され間もなく市面より影を消してしまつた、但し右禁止はドイツ内國小額硬貨には及ばなかつたと解され、布告中にも別段禁止の文言はない、だが軍票による取引において生じた小額の換算差額は、フラン貨を以て決済されたので、實際には小額ドイツ硬貨の絶對的必要はなかつたのである

ドイツ軍バリ入城より十日後の一九四〇年六月二十四日、ドイツ軍はパリ地區ドイツ最高司令官に代る行政長官の名を以て、パリ第二區キャブエシーヌ街四十三番地の敵性銀行であるロイツ銀行(Lloyds And National Provincial Foreign Bank Limited)の建物財産を接收し、パリのドイツ信用金庫(Reichskreditkass, Paris)はこれを占據して業務を開始した

△ドイツ信用金庫券發行の目的

ドイツ及びフランスは一九四〇年六月二十二日コンピエーニュにおいて休戰協定を締結し、同協定は六月二十五日效力を發生したのであるが、同協定第十八條において、「フランス領土ニ於ルドイツ占領軍ノ維持ニ對スル費用ハ、フランス政府之ヲ負擔ス」と規定した、従つてドイツ信用金庫券による軍票形式による軍費支拂も、終局においてはフランス政府に轉嫁されるものであつた、かくては最早占領軍費の支拂手段は軍票によることなく、その必要とする額をフランス通貨の形でフランス政府より求める方が寧ろ妥當と思はれたのであるが、當時の段階においては依然ドイツ信用金庫券が使用された、ドイツ占領軍當局はその事由につき、一九四〇年九月五日、パリ外國新聞記者團に對する發表の形式をもつて大要次の通り説明した

(一) ドイツ信用金庫券は他のドイツ軍占領地域に於けると同様、フランスの占領地域に於ても法定支拂手段に引上げられたのであるが、同金庫券はその果すべき二重の課題を有する、第一は作戦の各段階に於て、軍に對して圓滑な支拂手段を保障し、以てハーグ陸戰法規の原則に遵

ひ軍と住民間の秩序ある支拂取引を可能とする事であつた、第二には政府の愚策と住民の恐慌により支拂手段の流通上に一の真空を生ずるに至つたので、直ちにドイツ信用金庫券を發行して、國の貨幣に缺けてゐる支拂手段に廣く代位することであつた、これにより經濟上の困難、特に人口稠密の産業地區における經濟上の困難を除くこと多く、かつ信用の賦與により適當な場合に救済手段を供することが出来たのである

(二) 軍並びにドイツ信用金庫の信用思惑に對する意識的な抑壓により、信用膨脹の傾向は發生の餘地なく、國の通貨に對するドイツ信用金庫券の定率は、投機心を防塞した

(三) ドイツ信用金庫券は他の被占領諸國におけると同様、フランスにおいても可及的速かに取引より引揚げ、専ら軍の供給に對する支拂取引は、軍事上の考慮がこれを許す限り、國の紙幣をもつて行ふやう努力されよう、フランス政府より占領費として支拂はれる賦拂は、流通中のドイツ信用金庫券をフラン貨支拂手段により漸次的に回收することを技術的に可能とするものである、現存の兩替定率により、ドイツ信用金庫の保持者にたいして、完全な價值回復を保障する

(四) 支拂取引の復興には停頓した銀行機構の機能恢復が緊急要望されたが、ドイツ側としては移轉した信用機關が復歸するようあらゆる努力をしてゐるのであり、既に相當範圍において實現をみてゐる

△信用金庫券と陸戦法規

ドイツ占領軍當局は上述の發表において、ハルグ陸戦法規の原則に遵ひ、軍と住民間の秩序ある支拂取引を可能とする事を以て、ドイツ信用金庫券發行の課題とする旨、並びに同券は可及的速に取引より引揚げ、専ら軍の供給に對する支拂取引は、軍事上の考慮がこれを許す限り、國の紙幣を以て行ふやう努力する旨明にした

陸戦の法規慣例に關する規則には、直接には軍票又はその他の支拂手段に關して、何等直接の規

定はない、しかし同規則第四十三條によれば、占領者は絶對的の支障がない限り占領地の現行法律を尊重して、なるべく公共の秩序及び生活を回復確保するため、施し得べき一切の手段を盡さなければならぬのであり、同條の解釋論としても通貨關係及び銀行制度が含まれこれを軍票の發行に適用すれば、第一に軍票發行によつて占領地の通貨制度を破壊せず、在來の通貨に不足を來すか、或ひは國の通貨による支拂手段に困窮または混亂を來した場合であることを要し、第二に若し右の事情がないとすれば在來の通貨信用を補足しつつ、これと併行して單に支拂手段の便宜上發行使用するものであり従つて毫末も占領地の通貨信用狀態を攪亂するものでないことを要すること、第三に軍票の發行は占領地の行政上或は軍の需要上行はれることを要し、この必要性に關しては陸戦法規第四十九條の取立金に關する解釋を準備すべき事第四に軍票は原則として發行者において回收すべきことは既に述べた所である、ドイツ軍當局が陸戦法規に従ふとしたのも右の意味に於けるものと解する、ドイツ軍當局は更にドイツ信用金庫の速な回收に關して、フランス政府より占領費として支拂はれる賦拂につき指摘し、フラン貨により漸次的に回收することを技術的に可能とするものであるとした、ドイツ軍の進駐軍費はフランス政府が負擔とする事は、コンピエーニニ休戰協定に於いて取極められたこと、既述の通りであり、ドイツ軍が進駐費を自辨とすれば勢ひ軍票の増發も必要となつたであらうが、フランス政府の負擔である以上、フラン貨で支拂はれ得たのである、既發行分も週及的にフランスの負擔に歸し、結局においてフランスの負擔に回收され得たのである、更にドイツ軍はドイツ信用金庫券の保持者に對して完全な價值の回復を保障する旨約したのであるがこれまた陸戦法規の解釋論と一致する所である

ドイツ軍當局はフラン貨の缺乏に對し、ドイツ信用金庫券を以て代位する旨述べたが、實際にはフラン貨と併行使用されたのであり、しかも現實にその使用も當初の比較的短期間を以て終つたのである



原子爆彈共同宣言前後

十一月十五日ワシントンで發表された米英加三國の原子爆彈共同宣言及び翌十六日夜チャールストン市の晩餐會席上で行はれた、バーンズ國務長官の「世界協力」と題する演説は、それぞれ本通信の十一月十九日號及び二十三、四日號に全文掲載されたが、最近入手した「N・Y・タイムズ」紙海外週刊版十一月十八日號は卷頭論文において、米國の立場からこの問題を詳細に解説してゐる、生の正文とは違つた意味において紹介に値すると思ふので、ここに全文譯出する(武井武夫)

△ソ聯は同意するか

史上最大の劃期的な諸決定の一つとして、原子爆彈の祕密を所有する三國は十五日ワシントンから、この恐るべき兵器に關し彼らの意圖するところを發表した

懸念に満された世界は一轉してモスクワに眼を向け、三國の方式並びにそれに含まれる對ソ協力要請に對する反應如何と見守つた、その反應の性質こそ、この國際的最も緊急な問題を解決すべく米國大統領トルーマン、英國首相アトレー、カナダ首相マッケンジー・キング三者が五日間に亘る會談において作り上げた計畫の成否を決定することになる、更に人類の將來そのものまで決することになるかもしれないのだ、そして計畫の焦點は次の三點にある

一、當分米英加三國が保持し、十分な原子エネルギー國際管理が實現した後他國に分たるべき原子爆彈製造の祕密「知識」

二、管理を行ひ兵器としての爆彈を禁止し「平和的諸目的のための」原子エネルギー使用を確實ならしめるとき國際聯合機構下の特殊委員會設置、委員會は協定に従ふ諸國を協定の違反及び回避行為から守るために總べての國において視察權を有する

三、米英が三國による科學知識自由交換の承認、

希望としては他國が同じ製作をとり「それにより相互的信賴の雰圍氣を作り出す」ことが望まれてゐる

計畫の鍵は「すべての國家の受容し得べき效果的相互的にして且つ強制力ある防衛手段」なる一句のうちに存在するやうに思はれる、かかる防衛手段は、人類の頭から原子戦争の恐怖をのぞくとき管理案の實際的基礎をなすべきものである、それは未曾有の大規模な國際協力を含むことにならう、それが達成されるか否かは今後にまつべきであるが、嚴然たる必要は諸國をして自己の疑惑を押へ相互的破壊をさけるために協力することを餘儀なくするであらうとみられる

△舞臺裝置

劃期的協定は去る十五日事態の急迫を想はせる背景の前で發表された、新聞記者團を呼び入れたトルーマン大統領は緊張した態度のうちに噁れ聲で一千語に上る協同コミュニケを讀みあげた、その間英加兩首相は大統領の左右に坐して黙々と耳をかたむけてゐた、三者は十一日ヨット「シクワイヤ」號の船上で開始された討議を完了すべく前夜遅くまで眠らず、皆面には睡眠不足を表はしてゐた、後方には國內の原子エネルギー管理法案に直接關係ある兩院議員が控へ、その傍らに原子計畫の責任者たる科學研究發明局長官ヴァネヴア・ブツシュ博士が靜かに立つてゐた

△提案の内容

協定の基本的三提案の中には確かに會談中に到達したと思はれる妥協の影響が認められた、提案のあるものは米國政府筋の見解を反映し、他のものにはアトレー首相がロンドンを出發する以前からの意見が出てゐた、その結果はたとへ問題解決の端緒に過ぎないと思はれるにしても、それが世界平和のために新設國際機構を巧みに利用してゐる點で希望を齎らし、このことは次の諸點に示されてゐる

一、祕密の保持 協同宣言は署名者が十分な防衛手段の工夫される前に原子エネルギーの實際的應用に關する専門的情報を頒布することは「問題の建設的解決に寄與する」とは信じないこと

明かにしてゐる、事實かれは逆効果をさへ恐れ
たのだ、だがかれ等が「その破壊的目的におけ
る使用に對する效果的且つ強制力ある防衛手段
が工夫せらるるや直ちに」相互の基礎の上に他
の聯合諸國とこの情報をつつ用意あることも明
示されてゐるのである

聲明は祕密を「神聖なる信託」として保持するといふトルーマン大統領發表の政策により提起された諸問題に對し一つの解答を與へた、科學者その他多くの反對者は、原子分裂の基本的方法は既に知られてゐるから米國の爆彈獨占の生命は短くそれを國際的に禁止しようとする努力も空しいだらうと述べ、科學研究を管理しようとするメイジヨンソン法案の企圖に關してもすべての科學を妨げるかもしれないといふ理由により反對が出てゐた、ワシントン協定はこれ等の點を改めて確認したかにみえる、それは祕密主義が國際管理法の確立するまでの一時的保護手段に過ぎないことを明かにしたのである

二、管理委員會 國際聯合機構の下に運営されるこの新機關は破壊的目的における原子エネルギー使用に對してとらるべき特殊措置の爲に「最速の手際」をもつて提案する責任を課せられてゐる、戰爭における爆彈の禁止と祕密製作に對する必要のための監察權の外に、委員會は「大量破壊に摘要し得る他のすべての主要兵器」の製作及び使用に對する保安機關の役割りを果たす、加ふるに各國間の科學情報の交換を促進しその他原子エネルギーを平和的用途に限定するに必要なあらゆる措置を推薦するのである

この計畫「世界平和を強制する手段として國際聯合の構成の重大な一部をなす」は國際聯合機構に若干の變化を必要ならしめるものとみられた、國際聯合安全保障理事會は戰爭禁止の主要機關であるが一國家の拒否權に屈するものであり、これが弱點なることは從來も論じられてゐた、提案された新なる委員會の創設を國際協定にまたなければならぬのに對し、ワシントン公報にはその權限は現在の安全保障理事會におけると同じやうな制限を受けるといふことは少しも示されてゐない、提案の軍備監察制度に對し若干の國から反對が出

るかも知れないといふ危険はあつた、またその監察が惡意を抱く國家の採用する祕密製作に對しどの程度の効果を有するといふことも問題となるわけだ

三、科學知識の交換 これに關しワシントン公報は「吾人は科學的研究があらゆる國民の手に入るべきであり、調査の自由及び着想の自由なる交換が知識の進歩に絶體必要なことを信ずる」と宣言してゐる、即ち平和目的における原子エネルギーの發達に關する詳細なる情報がその入手に應じて公表されることを約束してゐるのである、他の諸國も同様の態度をとることが希望されてゐる

目的は明かに、相互的信賴を促進し、他の諸目的の實現に資するとき雰圍氣を生むにある、また聲明文は原子エネルギーの工業力が米英兩國に對して、他の諸國を支配する經濟的主導權を與へるために使用されるのではないかといふ危惧を鎮めるために書かれたのではないかとみられる節がある、問題の最たるものは明かにかかる情報 of 完全な交換を國際的に確保することにある模様だ、これは管理委員會に課せられる任務の一つであるが、世界科學者間の協力を益々緊密ならしめることによつて更に促進さるべきものである

△三 大國の態度

ワシントン聲明が世界諸國に傳へられた時何よりも先に考へられたことは、ソヴェト聯邦對西方聯合諸國の現在の緊張せる關係にこの三國案が如何なる作用を齎すかといふことだつた、文書中どこにもソヴェト聯邦の名前は出てこない、ソ聯の態度といふ問題は文中到る所に暗示されてゐる、約二ヶ月前のロンドンにおける外相會議の失敗は如何にして平和を樹立し一層確實な國際機構を設立するかといふ問題に關するモスクワの考へ方とロンドン及びワシントンの考へ方との間に横はる深い間隙に注目を集めたものだつた、三大國の意見の相違は中央ヨーロッパから太平洋まで到るところに認められた、その背後にはイデオロギー的

にも國民の見地においても重大な相違が存在したのである、その結果は信頼と協力が要求せられる場合に疑惑と躊躇とを齎すことになったのだ、これがどの程度まで原子爆弾のみによるものかは問題だ、原子爆弾はなくとも協力途上に重大な困難のあるべきは明かだと思はれる、然かも西歐聯合諸國に原子爆弾があるといふ發表は三大國協力の最高潮ともいふべきベルリン會議の直後に行はれた、いつもモスクワが好んでやる再確認聲明のときは全くみられなかつた、口先よりも行爲による印象を強く感ずるロシア人にとつて、資本主義的アングロサクソン祖國が今までのところソヴェト聯邦のまだ持つてゐない壓倒的兵器を持つてゐるといふ事實は明白だつた、ロンドンにおいて殆どすべての問題に關し米英兩國の反對に遭遇したロシア人にとつて、このことは重大に感じられたに違ひない、確かにこれは國際的雰圍氣を毒するに役立つたのである

その結果としての袋小路に迫込まれた三大國はそれぞれ異つた役割を演ずることになつた、バーンズ國務長官とトルーマン大統領の海軍日の演説において述べられた言葉をかりれば、米國の態度は平和問題の解決途上においてソヴェト聯邦と對抗する用意ある斷乎たる強さをもつものだつた、ソヴェト聯邦の態度は革命記念日にモロトフ外務人民委員に述べたごとく、ソ聯の基本的利益を認めてくれれば喜んで協同動作をとるといふ態度、だが一見獨往邁進の用意ある態度である一方、自己の弱味を意識する英國の態度は益々他の二者の仲介に立ち上るとする意向を示してゐる、アトレー首相がワシントン訪問の背後には、手遅れにならぬうちに爆弾を國際管理化しなければならぬといふ英國輿論の大部分における焦つた感情が存在したのであつた

△米國の新聞論調

ワシントン聲明はかかる目的を達成したかどうかは明かでない、米國紙の一部は原子計畫を希望的に禮讚し、それが次の段階をソヴェト聯邦に要

求するものと考へた、また他の者は何故さうした決定的な再確認がもつと早くソヴェト聯邦に與へられなかつたかと論じた、英國紙の一部における反應は微溫的だつたが、共同聲明が何か必要なものに缺けてゐるといふことが明かに感じられたのである

宣言發表に引續いて行はれたチャールストン市におけるバーンズ國務長官の演説は、さうした反響を一掃する意味もあつて起草されたものらしい彼は「米國政府は決して原子爆弾を政治的目的に使用することを考へなかつた」と主張した、これは明かにこの兵器がソヴェト聯邦のある種の目標に對する米國の反對を強化したことに對するソヴェト聯邦の危惧を指してゐるのである、「工業的知識に關する唯一の時期は不必要に延期される事を要しない」と彼はいひ、「提案された國際聯合管理委員會は二ヶ月以内に機能を開始し得る」と豫言してゐる

この問題に關する公式見解はモスクワでは全く示されなかつた、同地からの新聞電報は決して樂觀的ではなかつた、それによれば依然基本的な不信感が残つてをり、ソヴェト聯邦の見地からすれば共同聲明は最近黨機關紙「プラウダ」の筆者が「原子外交」と呼んだものの新なる發展だともみられる可能性があるといふ、ソヴェト國民が原子爆弾問題に極めて敏感なることは最近いよいよ明かとなつてきてをり、米英兩國の指導者達が定めた目標に達するまでには更に幾多の困難を豫想すべきを示す兆候は少からず存在するであらう

ソ聯も原子爆弾を發明

(ワルシャワ五日) ポーランドの内閣書記官長代理アドルフ・ベルマンは五日次の通り聲明した
現在既に原子爆弾はある一國の所有物ではない、ソヴェト聯邦は原子力を征服した、原子爆弾はもはや國際情勢の動きに影響を與へることが出来な

電子戦争の勝利

米國科學調查局及び陸海軍省の科學情報政策共同委員會は二十八日「電子戦争」と題する報告を公表し、歐洲、太平洋兩戰線の海空戦においてレーダー妨害工作の果たした役割を説明、聯合軍のノルマンディー上陸成功の重要な要素となつた巧妙な佯撃作戦について發表した、要旨次の通り

「米英兩國はレーダーそのものの發達においても敵國のそれとは格段の相違を示してゐたが、レーダー妨害工作の點でも遙かに歩を先んじてゐたその結果、數十億弗を投じたドイツのレーダー使用による防空陣營も崩壊し、他の場所を利用すればもつと有効に使へたに相違ない人力が全く釘づけにされてしまつたのである

太平洋戰線では、戦争の最後の段階で米軍が日本軍のレーダーを見事に知り盡してゐたため、日本の船舶、飛行機はレーダーを使用した時の方が使用しない場合よりも却つて多くの危険に遭遇するに至つた

△レーダー妨害策

敵軍のレーダーを阻害するに有効な方法は二つあつた、一は敵軍の使用しようとするのと同じ波長の強力なラジオ信號を送つて敵のレーダーを妨害する方法で、もう一つはアルミニウム箔を落して敵のレーダー映寫幕に實物と異なる像を寫したり幕を曇らせたりする方法だ、米英兩國軍の飛行機は、ドイツ軍を混亂に陥れるために一千萬封度のアルミ箔を落下し、太平洋戰域では數百噸が舞下りた、このアルミ箔のために敵のレーダー映寫幕には爆撃機が存在に知らせるやうな明瞭な映像は寫らず、ただ減茶減茶なぼかし模様が現れるだけなので、機影は隠れ、レーダーを頼みとする敵の高射砲火は殆ど爲すところを知らぬ有様であつた、このアルミ箔と電波妨害を併用した結果ドイツ軍對空砲火の精度は命中率二五%に低下し歐洲戦最後の八ヶ月間に米軍重爆撃機の損失は四百五十機を減じ得たものとみられてゐる

△佯撃作戦

一九四四年六月六日、ノルマンディー上陸の早朝

聯合軍の行つた佯撃はドイツ空軍の所在地を知るに役立つた

ドイツ本土を目指す大爆撃を推進するため、十六機から成る爆撃機小編隊はドーヴァー海峡地区から大陸内部へかけて飛び、頻りに電波妨害を發したり、アルミ箔を落して敵の眼を眩した、多數の敵戦闘機はこの聯合軍の妨害工作に妨げられて、その夜は大陸の奥深く、聯合軍の侵攻部隊の主力がゐる所から遙か東方を旋回しながら一晩中殆ど無爲に過したのである

その他聯合軍による種々の佯撃作戦は聯合軍空挺部隊をして殆ど損害らしい損害もなく着陸せしめた、海空軍佯撃部隊はドイツ南方で海峡を渡り大護送船團が渡海してゐるやうな圖形を敵のレーダーに描き出した、その後の南フランス上陸も同様の佯撃作戦の後に實施されたものであつた

△民間應用も發達

レーダー妨害方法の研究はマサチューセッツ州ケンブリッジのハーヴァード大學ラジオ研究所を中心として進められ、戰線における研究とも緊密な連繫を保つてゐた、この研究に従事してゐた電子學専門家は最後には八百余名に上つた

レーダー妨害研究のうちで最も著しい進歩を示したのは、英軍がドイツ夜間戦闘機に對抗する爲に製作した「テューバ」と稱する非常に強力な電波妨害用發信器であつた、この裝置は平時にも利用價值を有するといふが、米國で作られた「レスナートロン」と呼ぶ真空管のお蔭で完成したのであるこの真空管あればこそ發信器を五百倍の高周波で米國最強の五十キロ放送局に匹敵する強力なものとなし得たのだ

「テューバ」使用によつて齎される電力の増大、は現在豫想し得ぬほどであるため、米國の超短波における周波數決定計畫にも直接影響するところが多い、「テューバ」は可能なるものの限界を引上げることにより現存諸施設を舊式ならしめたが一方超短波放送の發達を大いに促進することが豫想されるのである」

昭和二十年十二月十二日(火)
第三三三號

時事通信

海外電報

(33)

ワシントンにおける元駐華大使ハーレー氏を中心とする國務省の改組問題は今後どのやうな経過を辿るか不明であるが、國務省の一部改組は止むを得ないのではないかと想像される、ハーレー大使の云ふ如く、國務省の下級官吏の内にアメリカの國策をサポートし、一團のグループがあるかないかは吾々の知るところでない、また、バーンズ長官のいふ如く、あまたの相異なる意見が對立することは結構なことには間違ひないとして、その對立が政策として外部に實施されるとき、依然として對立のまま發露して、アメリカの對外政策を混亂に導いたかどうかともわれわれの知るところではない、日本にはかつて二重乃至三重、四重の外交があり、政府の部内には省の數だけ、官廳の數だけの政府があつて、各々が相剋、抗争してその間に何等の統一も調和もなく、外交は破綻し



内政は運行を停止して、その間にあつて、最も組織的強力を誇つた軍閥により、外交も内政も專斷されるに至つた結果、いま亡國の憂目に會つてゐる、そしてその過程において、彼等に對して何等の國民的査問も行はれず、許されもしなかつた、遠慮勝ちに吠へた言論は忽ち彈壓の辛い目に會つた、眞珠灣事件、ハーレー問題といはず、アメリカの議會が問題の起る度毎に、これに對して究明の利刃を振つて、毒害を、若しありとすれば、これを剔抉して常に國民政治の健康を維持せんとしてゐる努力、または制度は、吾々の先づ學び取る點であらう、それは民主主義國では當然のことであるといへばそれまでであるが、軍閥亡び、舊反動勢力が全面的に崩壊し去らうとしてゐる現在、議會の無力、または無節操、無定見は、その構成要素から見て當然とはいひながら、日本の民主化の前途なほ遠きを想はざるを得ない、無力の議會の前に無力の政府が存在し、無力の民衆が闇に蠢動して、曙の光いま何處

目次

三國外相だけで會議……………	三二二
モスクワ會談までの経緯……………	〃
ハンガリーの社會不安深刻……………	三二三
ガスベリ組閣成功か……………	〃
フランコ政府との斷交論……………	〃
白、米に借款申込み……………	三二四
米墨借款成立……………	〃
米葡航空協定調印……………	〃
バーンズ長官證言……………	〃
UAW復業要請を拒否……………	〃
【米 國】	
外資凍結緩和……………	三二五
ハーレー證言續……………	〃
大統領記者會見……………	〃
眞珠灣を忘れるな……………	三二六
ドウリトル實業家に轉身……………	〃
日系市民、原住所に歸還……………	〃
原子エネルギー利用の難點……………	〃
【歐 洲】	
西歐四ヶ國貿易協定……………	〃
アルバニア賠償を要求……………	〃
【印 度】	
總督近くガンジーと會見……………	三二七
會議派運用委員會を開催……………	〃
問題は依然未解決……………	〃
【國際會議】	
國際通商會議を提案……………	〃
信託統治領選舉案……………	三二八
米國案否決さる……………	〃
【今日の話題】	
幽靈軍隊敵を悩ます……………	〃
【資 料】	
米英兩國間の金融貿易協定……………	三二九

三國外相だけで會議

(ワシントン七日)國務省は外相會議の開催に關して七日次の通り發表した

米英ソ三國外相は十二月十五日モスクワで會議を開催することとなつた、會議はクリミヤ會議の決定に基いて開催されるもので、三國に係はる各種問題につき非公式に討議すると同時に、原子エネルギーの管理についても意見の交換を行ふ

右發表によれば、米英ソ三國外相のみが會議を開催し、フランス及び中國は今回参加しないことになつてゐる譯だが、ロンドンの第一回會議においてバルカン諸國との媾和條約の豫備會議にフランス、中國の参加が問題となつて決裂した事實に鑑み、米英ソ三國關係調整上大きな進展といふべく特に今回はモスクワを會議の場所に選んだことは極めて意味深重である

モスクワ會談までの経緯

バーンズ國務長官は十二日ワシントンを出發、空路モスクワに赴き、十五日からモロトフ外務人民委員、英國外相サー・アーネスト・ベヴィンとの間に「原子力の管理その他米英ソ三國間の懸案について」非公式に意見の交換を遂げることとなつた、今回の會談が、米國々務省の發表によればボツダム議定書を基礎とせず、ヤルタ協定に基いてゐること、會談がモスクワで開催されること、従つて佛華兩國代表が會談に参加しないことは、ロンドン會議決裂以後の微妙な國際情勢を反映してゐるといへよう

△大國主義か理想案か

ロンドン會議が決裂した際「N・Y・タイムズ」紙のモスクワ特派員ブルツクス・アトキソンは「イズヴェステヤ」紙の社説を引用し

米英ソ三國が天國において結婚したのだといふ一切の神祕的主張は一掃された
と述べてゐるが、同時にA・ソコロフが「新時代」の誌上で「原子民主主義」を攻撃し、爾來米英ソ

三國間の關係は不氣味な底流をただよはすにいたつた、五ヶ國外相會議にバーンズ國務長官の輔佐役として出席した、共和黨の下院議員ジョン・フオスター・デュレスは、十月六日夜CBSからの放送演説で會議決裂の經過を説明し、「米英兩國代表がルーマニア、ブルガリア兩國の現政權を承認せず、これ等政權との媾和條約締結に反對するや、ソヴェト代表は九月二十二日の會議で突如手續問題を持出し、佛華兩國代表が會議に参加してゐるのは、ベルリン協定違反だと主張し出した」と述べてゐるが、バーンズ國務長官が同日夜の放送で指摘してゐる通り、會談の決裂は單なる技術上手續上の問題に因るのではなく、世界の平和建設が大國の獨斷によつて決定されるか、關係各國をも参加させるかの主義上の問題だといふのが米國政府の一貫した主張だ、一方「ブラウダ」紙が十月六日の紙上で主張してゐる通り、「バルカン各國との媾和條約に佛華兩國が參割出来るといふならば、ポーランド、ユーゴスラヴィア、チエコスロヴァキア三國も當然参加を許されねばならぬ」といふのがソヴェト政府の要求だ、現實に世界を動かす實力を持つてゐる米英ソ三國が共同の戰爭を遂行した通り、平和の建設にも合作するのが當然だといふのがクレムリンの見解であり、國際聯合の高遠な理想を掲げて、各國の參割のもとに新世界を樹立しようといふのが米國の理想主義的主張である

△三頭會議には反對

トルーマン大統領は十一月二十九日の記者團會見で、三國會議に反對を表明し國際聯合機構によつて平和の建設を企圖する旨を述べてゐるが、米國の言論界は以上大統領の見解に對し、三巨頭會議乃至三國會議打切りの宣言といふ解釋を下したしかし疑義は容易に解けず、十二月五日國務省の會見で、米國の記者團はバーンズ長官との間に次の通り應答してゐる

問 トルーマン大統領は講和條約の起草を三頭會議から國際聯合の機關に移さうといふ考へか
答 大統領の言明として傳へられたところにつ

時事通信

海外電報

いて當人に尋ねたところ、大統領は記者團の質問に對して、今のところ三巨頭會談を豫想してゐないと言へたに過ぎぬといふことであつた、大統領は Big three といふ言葉を使つたが、これはスターリン元帥、アトレー首相と大統領自身の三人を指したので、米英ソ三國を意味したのでなかつたといつてゐる、また大統領は外相理事會の開催に反對した譯でもない

以上バーンズ國務長官の釋明に引き續いて、モスクワ會談の開催が發表されたわけだらうが、外相理事會の形式をとらないのは、ロンドン會議におけるソヴェト代表の主張を十分考慮し、先づ米英ソ三國で今後の平和建設への手筈を極めやうとの意圖であらう、媾和條約案の起草については、バーンズ國務長官は別個な媾和會議の招集を提唱してゐるが、モスクワ會談においては、ソヴェト政府が頻りに氣に病んでゐる原子力の管理、イタリア、バルカン各國との媾和條約案等々について下相談を遂げ、一月に豫定されてゐる國際聯合總會への地均し工作を進めることとならう

ハンガリーの社會不安深刻

(ブダペスト九日) 迫り来る冬は歐洲民主主義の最大の敵として各國政府とも深刻な不安に驅られながら對策に狂奔してゐるが、特に重大な脅威となつてゐるのはかつてのバルカン樞軸衛星國たるハンガリーだ、ハンガリーでは最近の總選舉で一般の豫想を裏切つて共產黨が敗北、中産階級を支柱とする小所有者黨が第一黨の地位を確保し、歐洲民主主義選舉の好範例を残したが、同黨の首領ゾルタン・チルデイが組織した新聯立政府は、冬季の襲來に伴ふ深刻な社會不安に直面、早くもその存立を危まれるに至つてゐる、ハンガリーはバルカン諸國でも最も戦火に荒された國だが、初霜の訪れにあつた住民の大部分は、窓硝子もなければ暖房装置もない吹き曝しの家で顫えてゐなければならず、病氣にかかつてても醫藥はなし、せめての寒さ凌ぎと思つても餘分の衣類は一枚もなく、子供は飢えに仆れ、大人は抵抗し難い生活困難に喘いでゐる始末だ

電氣や瓦斯は一日ほんの一、二時間の供給しか

なく、それともいつ全然停まつてしまふか判らぬ有様だが、食糧の配給もゼロに近く、食ふに一片の麵麩もなければ馬鈴薯もない、ましてバター砂糖は金限りの贅澤品だといふ日がいつも續く、しかも物價は「一時間毎に」昂騰し、外國通貨に對する嚴重な流通制限令が布かれてゐるにも拘らず、商店は弗貨でなければ何一つ賣らない

そのため最も大きな打撃を受けてゐるのは勞働者階級で、彼等は物一つ買へぬ賃銀で額に汗するよりもといふ譯で日毎に王場を離れ、闇市場が到るところで榮えてゐる、しかるに富裕者階級は些して痛手を受けず、ブルジョア相手のナイト・クラブや料理店、酒場は大繁昌の有様で、プロレタリアの不満は愈々増大してゐるが、この機に乗じて左翼は大衆の不満を煽り立てて一氣に社會變革を齎らさうと暗躍に努めてをり、秘かにファシズムに同情を寄せる右翼もまた民主主義に對する逆宣傳に奔走、事態は既に爆發の一步手前に迫つてゐると傳へられる

勿論共產黨はゾルタン・チルデイの聯立内閣に協力する態度を一應探り、黨首マチャス・ラコシイを國務大臣として入閣させてゐるが、秘かに政權の奪取を策してゐることは自明であり、米英兩國政府の支持する小所有者黨の政府は極度の難航を餘儀なくされてゐる

ガスベリ組閣成功か

(ローマ八日) 難航をつづけてゐたガスベリ内閣の組閣工作は七日夜に至り、自由黨側が折れて入閣を承諾することとなつたため、舊の如く七大政黨聯立内閣が成立する見込みが立つに至つた

フランコ政府との斷交論

(パリ八日) フランス政府は最近、米英ソ三國政府に覺書を送り、フランコ政府との外交關係停止に關する夫々の政府の意向を問合せた

(ワシントン八日) フランス政府がスペインのフランコ政府と外交關係斷絶について、米國政府に意向問合せの通牒を發したとのパリ・ラジオの放送について、米國務省當局はいまだそのやうな通牒は受理してゐないと言明した

(ロンドン八日) 英下院百二十名は「民主的スペイン援助委員會」を組織、八日英國政府はよろしく即時フランコ政府との外交、商業、經濟的關係を停止すべしとの決議をした

白、米に借款申込み

(ロンドン八日) ベルギー國務相カミーユ・ギユツトは目下ロンドン訪問中であるが、八日、ベルギー政府は米國に對して明年早々三億弗の借款供與方を要請する意向を有する旨發表した、右は米輸出銀行から既に得てゐる九千萬弗の借款とは別もので、主としてベルギーの戰災復興費に充當される

米墨借款成立

(ワシントン八日) 米國輸出入銀行は八日メキシコ政府に對して二億米弗の借款を供與する協定が調印された旨發表した、右はメキシコの電化計畫に關聯して、米國から資材、サーヴィスを購入する資金に充當されるはずである、期限は一九四八年六月三十日で、年賦償還、利率は四%である

米葡航空協定調印

(ワシントン八日) 米國務省は七日、ポルトガル兩政府間に双務的航空輸送協定が成立した旨發表した、右協定はリスボンで六日調印され即日發效する、右により米國は第一にバミューダ、アゾレス經由リスボンに至り、リスボンからは一はロンドンに、一はバルセロナ、マルセイユに至る航空路、第二はニューファンドランドを経てリスボンに至り、ついで中東に至る線、第三は太平洋横斷マカオに寄航する航空路を開設する權利を獲得した、同時にポルトガル航空會社はリスボンからアゾレス、バミューダを経てニューヨークに至る航空路の操作が許されてゐる、協定附屬文書は米國航空會社にポルトガル領内における通過權及び指定航路における獨占權を許容してゐる、即ち米航空會社はポルトガル領土内で國際的な貨客、郵便を積荷積下ろし出來、そのため次の航空路が指定されてゐる

第一、米國よりアゾレスを経てリスボン、リスボンより一線はロンドン、他の一線はバルセロナ及びその以遠各地

第二、米國よりリスボンを経てマドリード及びその以遠の各地

第三、米國より太平洋を横斷し、マカオに至りついで香港及び廣東に至る
以上に對してポルトガルはリスボン、アゾレス、バミューダ、ニューヨーク間の往復航路に同様な權利が許容されてゐる

バインズ長官證言

(ワシントン七日) 元中華大使ハーレーが國務省の一部下級職業外交官が米國の對華政策原則をサポートし、ジュシタと非難したことから發生した紛糾は上院外交委員會のとり上げるところとなり、五六日に亘つてハーレー大使の査問があり、七日はバインズ國務長官が喚問されるに至つたが、バインズ長官は、ハーレー大使が云ふアチソン、サーヴィス兩外交官が、その上官にたいして不忠實であつたといふ證據は何一つ記録の上には存在しないと證言し、米國の對華政策は第一に中國の凡ゆる黨派を抗日戰線に維持すること、第二に強力、統一せる民主的中國の建設にあると述べた、なほバインズ長官は「蔣介石氏の政府が民主主義を中國に發達せしめるためには最も満足すべき基盤である」が「現在政府内に發言力を有しない他の大きな、よく組織された團體の代表をも參加せしめて、その政府の包轄範圍を擴大すべきものと思ふ」旨を附言した

UAW復業要請を拒否

(デトロイト九日) ジェネラル・モーターズ社の罷業に對しトルーマン大統領は勞資双方に向ひ罷業即時中止の要請を行つたが、十七萬五千の勞働者を代表する合同自動車勞働組合理事會は七日の會議においてこの要請を拒否するに決定、全國の各支部に對してこの旨を通達した、拒否聲明において組合當局は

トルーマン大統領の即時復業提案は時宜を得ず組合の賃銀引上げ要求が認められぬ限り、いかなる事態の下においてもかかる提案を受諾することはできない

と極めて強硬な態度を表明したが、全國各支部からの回答は今週早々判明することとならう

【米 國】

外貨凍結緩和

(ワシントン六日) ヴァインソン財務長官は五日、米國內にある外國資産凍結令の殆んど撤廢にも近い緩和を發表、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、リヒテンシュタイン、タンジールドイツ、日本の八ヶ國を除くその他諸國の資産凍結を解除した

ハーレー證言續く

(ワシントン七日) 元駐華大使パトリック・J・ハーレーは五日に引續き六日も上院外交委員會で證言したが、要旨左の通り

「合衆國とソ聯とは中國問題については同一線上にあつた、ソ聯は中國共產黨を支持してをらず、中國における内戦を希望してゐないし、中國を分裂せしめるなどといふことはせず、中國と調和的な關係を希望してゐる、余のこの結論はスタールン、モロトフ兩氏と會見の結果得たものである、中國は傷いた虎のやうなものであり、長い間對日戰を獨り戰つてきた、中國は米國が參戰前日本から最も好意的な條件を申入れられ、或ひは日本の手中に落ちたかも知れなかつたのだ、しかし蔣介石は敢然として日本の申入れを斥け、正義のために戦ひつづけたのである、余が辭職を決意したのは、一部職業外交官が余の努力を内部から妨害したからである、余はルーズヴェルト大統領の指示により、國民黨政府を支持し蔣介石軍をして對日戰を繼續せしめるやう努力した、しかし余は當面の政策については成功したが、中國の全力を結集統一せしめるといふ遠大な計畫については職業外交官の妨害によつて成功し得なかつた、アチソン、サーヴィスの兩人は中共黨員に對して、余が眞の米國代表ではないと宣傳してゐた

故ルーズヴェルト大統領、ステチニアス長官によつて樹立された政策は中國におけると同様イランその他においても歪曲され破摧された、米國の既定政策破壊の發頭人はデイン・アチソンであると考へるが、どれだけ多くの職業外交官がアチソンと協力したかについては知らない、余はただ

米國の既定政策が破壊されたことだけは知つてゐる、中國における情勢は今や十分に明白にされたので、余の後任マーシャル元帥は余が採つたと同様の政策を採用することを進言するものと信じてゐる」

ここでブリッヂ議員は質問を挟み

マーシャル元帥は蔣介石に對してある種の讓歩を中共に對してなすこと、然らざれば、國民政府に對する經濟的援助を一部中止することがあるかも知れないことを勸告するやう訓令をうけてゐるといはれるが、それに對する大使の所見はどうか

と問ふた、ハーレー大使は以上に對して余は中共が單なる政黨であり、武装交戦團體でない限りは、これに最大自由の讓歩をなす必要を感じてゐる

と答へた、なほハーレー大使に引續き七日はバーンズ國務長官の證言が行はれる豫定である

大統領記者會見

(ワシントン七日) ドルーマン大統領は七日記者會見において次の通り言明した

一、余は近く議會に教書を送り、對英四十四億弗借款供與案の承認を要請する心算である、ソ聯からの借款要請には接してゐない

一、原子爆彈に關して外相理事會乃至はその他の會議が米英ソ三國の間に近く開催されるといふやうな報道については余は何も知らない

一、中國の情勢に關してマーシャル元帥に訓令を與へるためにバーンズ國務長官と會ふ機會をまだ持つてゐないがマーシャル元帥が兩派を纏めることに成功するのを希望する、パトリック・ハーレー少將は國務次官補デイン・アチソンがイランにおける米國の外交政策を害したといつてゐるが自分はそれが眞相であるとは思はない

眞珠灣を忘れるな

(パール・ハーバー七日) 新太平洋艦隊司令長官レイモンド・スプルーアンズ大將は眞珠灣記念日を迎へるに當り、六日次の如き聲明を發表した。「米國人は日本が米國の海上權を破壊するため第一の攻撃地點として眞珠灣を選んだ理由を忘れてはならない、敵は海上權の重要性を知つてゐたが、それを攻撃兵器として使用することを充分に評價してゐなかつた、そのために眞珠灣の攻撃によつて太平洋の米國第一防衛線を掃蕩することが出来なかつた、最初の成功を飽くまでも追求することをせず、當時米國のそれよりも遙かに優勢であつた敵艦隊は西南太平洋の軍隊移動を支援すべく方向轉換した、もしも米國の太平洋第一防衛線が粉碎されてゐたならば、日本は急速な決定的勝利を獲得してゐたであらう、乾船渠も、燃料貯蔵庫も殆どいふに足る程の損害なく、それらによつて米國殘存艦隊は攻勢に轉移する事が出来た、日本は一九四二年のミドウェイ戦後守勢に立つた」

ドウリトル實業家に轉身

(サンフランシスコ七日) 東京初空襲の司令官であり、歐洲では第八航空隊司令官として對獨戰略爆撃に有名を馳せたジェームズ・ドウリトル中將は、本年限り陸軍航空隊を退き、明日一月一日よりシエル石油會社の副社長に就任することに決定した

日系市民、原住所に歸還

(サンディエゴ六日) 戦中戦時收容所に收容されてゐたサンディエゴ地方の日系市民約一千百名は六日、約四年ぶりでそれぞれの原住所に歸還した、これらの大部分は戦前の職業である農業に従事する筈だが、戦争勃發前同地方にあつた日系市民約二千名のうち、結局一千五百名が原住所に復歸するものと豫想される

原子エネルギー利用の難點

(ニューヨーク七日) 米國工業家協會は七日米國工業資金記念日會議を開催、原子エネルギーの平

和的使用に對する賛成決議を發表し、同時に現在技術的に實行し得る靜的原子力工場は、今後三年乃至二十五年の間に至る所で經濟的にも實現出来ようと豫言した、しかしながら原子爆彈の製作に重要な役割を演じた科學者並びに工業専門家等は口を揃へて「勞働者及び社會を放射能物質から守る重い金屬性の桶が必要な爲、少くとも當分の間は自動車や飛行機に原子エネルギーを使用することは無理だらう」と述べてゐる、但し機關車についてはさらうは考へられてゐない、中には原子力を使用し得る輸送機關は、一番小さいものでも大型定期船位だらうと考へてゐるものもある

【歐 洲】

西歐四ヶ國貿易協定

(パリ六日) フランス憲法議會は去る三月パリで調印されたフランス、ベルギー、オランダ、リユクサンブル四ヶ國間の貿易協定を六日批准した右協定は相互國間の貿易發展を計り、新産業の發達を助長することを約したものである

アルバニア賠償を要求

(チラナ七日) アルバニアの共產政權は總選舉の民主主義的實施により米英兩國の承認をかり得たが、首相エンヴェル・ホクスハは去る三日新聞記者に對して次の通り言明した

「アルバニアは獨伊兩國に對して賠償を要求、現在イタリアにゐる戦争犯罪人の逮捕と引渡しを求めるつもりだ、また政府は次の諸事項を要求する

- 一、アンラからの援助増額
- 一、パリ賠償會議への参加
- 一、イタリア管理委員會への發言權
- 一、國際聯合への参加

他方アルバニアの賠償代表は前週パリに到着したが、イタリアがアルバニア代表の参加に反對したため公式の地位を得ることが出来ず、賠償委員會の全體會議から閉め出された、その結果アルバニア代表は賠償委員會の専門委員會に對して要求を提出することとなつた

【印度】

總督近くガンジーと會見

(ニューデリー七日) 印度總督ウエーヴェル卿は近くカルカッタにおいてガンジー翁と會見することになったと傳へられる

會議派運用委員會を開催

(ボンベイ六日) 印度國民會議派は七日カルカッタにおいて運用委員會を開き、英國議會代表の印度派遣に關し討議することになったと報ぜられる

問題は依然未解決

「ニューヨーク・タイムズ」紙は六日の社説で次の通り報じてゐる

「去る七月以來英國勞働黨の最大の頭痛と心痛の種は印度問題である、自由と平等の宣言済のチャンピオンたる勞働黨は、人類の約四分の一を占めるこの大きなアジア大陸に對するチャーチル方式に満足することが出来なかつた、然らば同黨はどんな新方式を産み出すことが出来るのか、チャーチル政權が試みた最後の努力の一つは、行政參事會を修正し、總督と軍司令官を除き同參事會の椅子全部を印度人に與へるといふ提案であつた、然るにこの計畫は國民會議派と同教徒聯盟との意見の不一致といふ事態が再び起つたために失敗した、それ以來印度には騷擾が各地に起り、之らの騷擾の一部は英國に向けられてをり一部は國內兩派の對立といふ種類のもので、之に「宗教團體の暴動」(コミュニナル・ライオート)といふ奇妙な表現が附せられてゐる、國民會議派の領袖パンジツト・ネールは騷擾の發生を遺憾としてゐるが、少なくとも原則として革命の説得者であり、且つインドネシア極右分子の溫き支援者たるネールの言動は鎮靜劑たり得るものではない、一方同教徒聯盟總裁のジンナーは依然としてパキスタン計畫を頑強に固守してゐる

問題解決の發見不能といふこれまでの失敗は今週の英國議會においても認められた、議會において勞働黨政府は印度に獨立を與へる意思のあるこ

とを再度強調し、生活標準の引上げを述べたが、政府のこれらの努力は印度において正當に理解されてゐないと慨嘆してゐる、問題は三年前のクリツプス特使の派遣當時と同様、解決から程遠いやうに思はれる、アトレー内閣は何か必死な氣持で議會の各黨代表者を印度に派遣し、印度人指導者と情勢を討議せしめることを決定した、これら討議から恐らく何か新方式が現はれるであらう、アトレー首相とその一黨は、もし彼等が印度を印度自身の國民による政府に引渡し、そして國內鬭争を同國に解決させることが出来るならば、ほつと安堵の胸を撫で下すであらう、然し吾人はアトレー首相が正直であると同様に大膽でなければならぬといひ度い、今日印度の自由は英帝國主義によつて手を上げられてゐるのではなく、それは内亂の脅威に因るものである、もしアトレー政府がこの難問と取組んでこれを解決することが出来るならば、人類半分の平和の基礎を作るであらう、もしそれが出来なければ、事態は明朗なものでない恐らく眞にこの理由のために新しい努力が成功しなければならぬ」

【國際會議】

國際通商會議を提案

(ワシントン七日) 米英兩國政府は六日兩國間の借款協定の成立を發表したが、これと同時にバーンズ國務長官は、米英兩國間に國際通商並びに雇傭問題協議のための國際會議開催案についても意見の一致を見た旨發表した、右會議では國際通商機關の設置が考慮されることとならうが、バーンズ長官の聲明要旨次の通り

英國政府は米國政府の提案にかかる國際通商會議開催等に同意した、兩國政府は出来るだけ早く各國間に豫備折衝が開始されるやう努力すべく、この折衝においてはあらゆる種類の通商障礙の除去のための具體的な提案が検討されよう

信託統治領選舉案

(ロンドン七日) 國際聯合準備委員會フイリピン代表ベドロ・ロヘス博士は、六日信託統治理事會委員會において、信託統治領に少くとも三年目一回の選舉を實施すべしと提案した、ロヘス博士は非獨立國民の自由に關する國際憲章の誓約を引用し、次の通り論じた

本案は非獨立國民をして自治に向はしめる力とならう、選舉が行はれるのは信託統治理事會に對して國民の感情、要求等を表明する機關となるべきスポークスマンを選ぶためであつて、これにより國際聯合がこれらの領土における住民の政治的、經濟的、社會的、教育的前進を促すといふ約束の實行も容易になるに違ひない

この提案にたいし、英國と南阿聯邦が反對し、そんな選舉は實行不可能だと主張した、ソヴェト聯邦、ウクライナ、シリヤ、ユーゴスラヴィア等は統治案に賛成した、米國は案の趣旨には賛成だとみられてゐる、同案はフイリピン、南阿聯邦、ウクライナ、米國、中國の五ヶ國代表よりなる小委員會に付託されることになつた

米國案否決さる

(ロンドン七日) 國際聯合準備委員會總會委員會において、六日、國際聯合總會の職員の任命を處理する小委員會を設置するとの米國の提案は投票の結果否決された、賛成者は僅かにブラジルとカナダの二國だけであつた

なほ國際聯合本部常設地審議のために準備委員會が特別全員會議を開催した

【今日の話題】

幽靈軍隊敵を悩ます

(ニューヨーク六日) 今度の戦争では敵を出し抜くために各交戦國ともいろんな珍發明、珍案出に耽つて話題を提供したが、これは聯合軍の歐洲大陸侵寇前實物ならぬ幽靈艦隊や幻の師團がドイツ軍を散々悩ました話「ニューヨーク・タイムズ」紙は五日の紙上で陸軍省の發表を材料に次の通り報じてゐる

「陸軍省は一戦をも交へずに大勝を博した米國の「幽靈軍隊」を四日發表してアツといはせたが、この軍隊は種を明せば空氣を入れて膨らますゴム管とペンキを塗つた布地から出來た至極簡單なものつまり人形と重さ僅かに八十五封度の二屯半トラックそれと彈の飛び出ぬ野砲といつたものだ、ドイツの偵察隊は屢々大規模の機械化部隊が突如出現したと報告してナチ司令部を慌てふためかせたが、なんのことはない、これは罫り部隊で、しかも米軍が實際に使用してゐる十九種の武器その他とそっくりのものを裝備してゐるのだから恐れ入る、この「罫り部隊」は特別に訓練された部隊が夜の間にこつそりと仕掛けるのだが、數百ヤードの近くまで寄つて行つても見破ることが出來ぬといふから大したものだ

まづ二三名の者が十八立方分の包みに納めた多數のゴム管と布地を解く、すると十分とたたぬ中に二屯半のトラックが出來上るといふ譯だ、ゴム管に貼つた布地は完璧な出來なので、空からみても陸上で窺つても本物をつくりだ、そこで本物の軍隊が危くなつた地區に應援にかけつける場合、この幽靈軍隊を後に殘して行く、すると敵は本物と間違へるので、兵力が脆弱化してゐる事實が判らない、そこで敵の突破は阻止されるといふ譯だ

この幽靈軍隊のヒントは北阿戰の經驗から得たもので、當時使へなくなつた阻塞氣球で人形をつくり敵を混亂させたものだが、まんまと成功したのに氣をよくして、大掛りに考へ始めたものだ

同じ方法で幽靈艦隊が出来る、それは戦艦と上陸用舟艇と快速艇からなり、まづドーヴァー海峡の港に仕掛けておいてから、夜のうちに他の港に移しておく、これは聯合軍の上陸個所をくまらずために用ひられた、材料はゴム袋で實物大の出來空氣を抜いてトラックでどこまでも運べるからドイツもすつかり欺されてしまつた」



米英兩國間の

金融貿易協定

一九四五年十二月六日合衆國大統領はワシントンにおいて、英國首相はロンドンにおいて、次の聲明を發表した

ワシントンで會議を重ねてゐた米英兩國政府吏僚間の經濟並びに金融討議は茲に完了した、これ等の討議は一九四二年二月二十三日調印された相互援助協定第七條の條項に照し、兩國間の基礎的經濟並びに金融關係に影響する主要諸問題を検討するにあり、合衆國から英本國に對する金融上の援助、戰時における貿易通貨制限の「動員解除」貸與協定の決済、合衆國英本國で所有してゐる餘剩軍需資材の處分等々の諸問題、しかして最後に通商障害並びに差別待遇、全世界に有餘つてゐる物資、カルテル、國際貿易機關及び就業を維持する國內施策の國際的部面等の諸分野を包含する廣義の長期商業政策の問題に關聯してゐる

△多角的貿易擴張に前進

討議の目的はこれ等の諸問題について、相互に有利な解決案を見出して、兩國政府がこれを兩國の國民並びに議會と世界全體に對して建言するにあり、之が討議の結果が自國は勿論、他の諸國に對する意義については双方とも充分に認識してをり、世界の貿易通貨體制を確立し、すべての國々の貿易がこれによつて惠澤を受け、右體制のもとにすべての國々の貿易が、多角的且つ非差別的基礎に立つて運營し得るに至ることは、米英兩國政府共通の利益なることを、双方は當初から絶えず念頭においてゐた、討議は成功的であつた

次に掲げる諸目的のために、本日調印された金融協定に明示された條項に基き、合衆國が英本國に三十七億五千萬弗の借款を提供する旨の協定が成立した、もつとも右協定は兩國議會の協賛を必要とする、英本國が合衆國から物資と勞務とを買入れることを促進し、英本國が戦後の過渡期間國際決済の不足を補填するのに資し、英本國が十分

な金と弗貨の準備を維持する事を助け、英本國が多角的貿易の義務を負擔することを支援するためである、右借款によつて英本國は磅貨領域に關係ある爲替取極めその他の爲替管理並びに輸入管理を緩和し、全般的にいづて合衆國その他の國々と多角的貿易擴張の共同目標に向つて前進出来ることとならう

貸與並びに相互援助の最終的實現、合衆國が英本國で所有してゐる餘剩軍需品の處分並びに、戰爭遂行に由來する兩國政府相互間の支配權の最終的處理について協定が成立した、更に商業政策の廣範な諸原則について協定が出来たので、米英兩國政府はこれ等の原則について全般的な國際的支持を求めるであらう

以上の諸取極めが實行されるならば、全世界が經濟的に分割されるだらうとの懸念はここに解消し、全世界を通じ就業と生産の擴張、物資と消費の増大が可能となり、史上はじめて國際貿易政策並びに關係の運營に關する公正な諸規則の共通の法典が出現しよう

これらの諸提案が實現するか否かは、合衆國並びに英本國の國民と議會とがこれ等の提案に支持を與へるか否かによつて決定するであらう、廣範な國際的合作を必要とする諸施策を豫定してゐる部面においては、他の國々の支持如何によつて決定されよう

△商業政策に關する聲明

以上の討議に由來する次の各公文書が米英兩國政府によつて發表された

商業政策について達成された了解に關する米英兩國政府の共同聲明書

合衆國々務長官は本日「貿易と就業に關する國際會議において検討さるべき諸提案」を明示した公文を發表した、これ等の提案は合衆國政府執行部門の裏書を得てをり、右會議の開催に先立つての豫備的討議の基礎として他の諸政府に提出されてゐる

英本國政府も同じくこれら諸提案のすべての重要諸點について全面的に同意しをり、これ等の提案を國際的討議の基礎として受入れ、更に合衆國政府とともに、他の各國が表明する見解を參照し

て右討議が有終の成果を収めるやう最善の努力を致す方針である

兩國政府はまた、國際交渉の手續き並びにこれらの諸提案を具體化する手續について意見が、一致した、以上の目的を達成するため、米英兩國政府は以上の諸提案を遂行する具體的取極めの達成を期して、他の國々との間に近い日取りに豫備的交渉を開始することを公約した、右交渉は關稅、特惠待遇、量的制限、助成金、國營貿易、カルテルその他合衆國が發表した上述文書に取扱はれてゐる貿易障礙に關聯し、右文書に明示された諸原則に準據して遂行されるであらう

△技術的諸問題に關する聲明

貸與協定、相互援助、餘剩軍需品並びに債權、債務の處理に關する共同聲明書

一、米英兩國政府は貸與協定並びに相互援助の決濟、米國陸海軍の餘剩資産並びに、英本國に残存する諸施設に關する合衆國の利益の獲得及び戰爭の遂行に由來する兩國政府相互の財政的要求の最後の處理について諒解に到達した、これ等の諒解を實施するに必要であり、且つ右諒解に準據した細目の諸條項を明示した個々の協定を目下準備してをり、近く完結する豫定である

二、以上貸與協定並びに相互援助の決濟は完結且つ最終的である

また、兩國政府はこの決濟に到達するに當り、共同の敵打倒に當り兩國が既に享受した便宜を充分考慮に容れた、更に兩國政府は一九四二年二月二十三日の相互援助協定第七條において、兩國が負擔した全般的義務と當日商業政策に關して取極めた諒解を充分斟酌した、兩國政府は右決濟に準據して相互援助協定第七條に言及されてゐる經濟的目標の達成を期し、協調的行動に出る仕組について今後も引續き討議する豫定である、この討議により兩國政府は遠からぬ日取りに、國際電信電話並びに民間航空の分野におけるやうな緊急の諸問題について、個々の結論に到達することを期待してゐる、以上述べた所をすべて考慮し、米英兩國政府は今後貸與協定並びに相互援助に對する代償として何等新たな便宜を求めないことに意見一致した

三、貸與協定並びに相互援助の決濟に餘剩資産並びに英本國に残存する施設についての合衆國の權益を獲得すること及び、債權債務の決濟のために英本國が合衆國に支拂ふべき差引總額は六億四千萬弗である、後述する勘定の調整を暫く措けば右總額の内譯は次の通り

A 差引總額一億一千八百萬弗VJデー以降、各政府が貸與協定並びに相互援助機構を通じて相手國政府に提供した勞務並びに補給の差額から、債權決濟で英本國に支拂はるべき差引額を控除

B 差引總額五億三千二百萬弗その他貸與協定並びに相互援助項目及び、英本國に残存し合衆國政府の所有に係る餘剩資産並びに残存施設に對する合衆國の權益に對する代償

上述項に含まれてゐる債權要求以外の項目に關し兩國政府がそれぞれ受取るべき實際の金額については適當な期間内に正確な計算に付し、且つ上述一億一千八百萬弗と實際に受取るべき金額との間に差額がある場合には、總額六億五千萬弗を調整しよう、一九四五年十二月三十一日以降、兩國政府間における一切の新たな取引は、現金支拂ひによつて決濟する

四、合衆國政府に支拂はるべき全債務についてはクレヂットの賦與について本日締結された金融協定に明示されたのと同じ條件に基いて支拂ふ

五、上述の金融支拂ひの他に、兩國政府は次の諸項について協定した

A、合衆國が權益を持つてゐる施設の使用處分については、合衆國々民に對し妥當無差別的取扱を與へる

B、英本國並びに植民地屬領以外に残存する施設についての貸與權益に關しては、これら施設の處分に當り適當に決濟する

C、合衆國は英本國武裝兵力の保有する一切の貸與物資の取戻權を留保するが、合衆國は以上の取戻權を全般的に行使する意圖ない旨を表示した

D、英本國の武裝兵力がVJデーに保持してゐる貸與物資を、英本國武裝兵力以外の兵力の軍用に供するために處分し、且つ英本國並びに植民地屬領以外において、かかる貸與物資を民需用に處分するに當つては、必ず合衆國政府の同意

時事通信

海外電報

を必要とし、賣上げはこれを合衆國政府に支拂ふことを要する、英本國政府は極めて局限された範圍を例外として英本國武裝兵力の保持する貸與物資を英本國並びに植民地屬領における民需用または、これ等の地域からの輸出のために解放しないことに同意する

E 本諒解に基き、移讓された一切の餘剩資産が合衆國に輸出されるのを阻止するため、英本國政府は最善の努力を拂ふ

六、一九五一年十二月三十一日以前において、時合衆國政府の要請ある場合には、英本國政府は本決済に基く元金として、合衆國政府に支拂はるべき弗貨拂ひ履行のため支拂ひの際の爲替相場に基き、五千萬弗を超えない弗貨總額に相當する金額と、現金を以て磅貨により支拂ふことに同意する、合衆國政府は以上の磅貨を、専ら英本國並びに植民地屬領において土地を獲得しまたは建物を獲得し若は建築して、合衆國政府の用に供するため、並びに兩國政府間に締結さるべき協定に準據して教育計畫を實施するためにのみ使用する

七、本聲明に掲げられた取極めは、貸與協定並びに相互援助について、合衆國と濠洲、ニュージールランド、南阿聯邦並びに印度との間に商議すべき處理を妨げない

△米英兩國政府間の金融協定

一、合衆國政府が英本國政府に對し、本協定の諸條項に準據し、英本國政府に一聯のクレヂット (the line of credit) を提供することに必要資金を提供することを、合衆國議會が承認した旨通告する件につき、米英兩國政府はここに協定する

二、一聯のクレヂット 合衆國政府は英本國政府に對し、總額三十七億五千萬弗に達する一聯のクレヂットを提供し、英本國政府は本協定が効力を發した日から、一九五一年十二月三十一日までの間に何時でも右クレヂットを引出し得る

三、一聯のクレヂットの目的 一聯のクレヂットの目的は、合衆國內で英帝國がその物資並びに勞務を買付けるのを容易にし、當座支拂ひ勘定における戦後過渡期間の不足を補填するのを援助し、英本國が充分に金と弗貨との準備を維持出来るや

う支援し、本協定並びに他の諸協定に規定されたやうな多角的貿易の義務を、英本國政府が負擔するのを支持するにあり

四、償還並びに利子 一九五一年十二月三十一日までに引出さるべき一聯のクレヂットの總額は、一九五一年十二月三十一日以降五十年間の年賦を以つて償還し、利率は年二分とする、一九五一年の利子は一九五一年十二月三十一日現在のクレヂット供與額を基準として算定し、爾後毎年一月一日現在のクレヂット供與額を基礎として利子を算定する

英本國政府はこの一聯のクレヂットのもとで引出された金額の償還を繰上げることが出来る

五、利子拂ひの拋棄 英本國政府が合衆國政府に對し、當該年度において支拂はるべき利子金額を拋棄するやう要請する場合には、現在並びに爾後における國際貿易の狀況見透し、英本國の金並びに外國爲替準備の水準等々に徴し、拋棄が必要だと判斷すれば、合衆國政府は右要請に應ずる

六、本クレヂットと他の債務との關係 本協定の有効期間中、英本國が第三國にたいして負つてゐる債務の支拂ひに必要な金額は、この一聯のクレヂット以外の源泉からこれを見出すとの諒解が出來た

英本國政府は一九四五年十二月六日以降一九五一年末まで、英帝國内の何れの政廳からも、債權國にとつて、この一聯のクレヂットの條件よりもより有利な條件では一切長期の借款を取極めない

七、磅貨領域の爲替取極め 英本國政府は出来る限り速に、遅くも本協定の效力發生效后一ヶ年間に内に新たな爲替取極めを完了し、軍事費支出に基く受取勘定以外一切の磅貨各國での當座取引に基き、英本國政府が一九四八年十二月三十一日までに受取るべき磅貨勘定を、いづれの通貨領域においても差別なく、自由に當座取引に使用出来るやうにする、かうしていはゆる磅貨領域の弗貨ブル制に基く一切の差別扱ひは撤去され、磅貨領域の各成員は當座の磅貨並びに弗貨受取勘定を、いづれの地域におけるかを問はず、當座の取引に自由に分出來ることとならう

八、その他の爲替取極め

(一) 英本國政府は本協定の實施後、次の諸項を制限するやうに、爲替統制を適用しないことに同意する

A 英本國に輸入を許可された合衆國製品乃至兩國間の當座取引に關聯する支拂ひまたは移管
B 當座取引に由來し合衆國住民の所有してゐる磅貨勘定の使用

本項の規定は國際通貨基金協定が效力を發生する場合、右協定第七條に何等影響を與へない

(二) 米英兩國政府は本協定の實施後遅くも一ケ年を経過すれば、當座取引に關する支拂乃至移管について何等の制限を加へないことに同意する

本項の義務は次の場合には適用がない

A 本項が效力を發生するに先立つて累積した第三國並びに第三國人の勘定

B 國際通貨基金に關する協定に準據して課せられた諸制限

C 日獨兩國の資産を處分するための措置に關聯して課せられた諸制限

九、輸入取極め 米英兩國政府の何れかが輸入に對する量的制限を課しまたは維持する場合には、右制限は何れの製品たるを問はず、相手國からの輸入に對し差別待遇を與へぬやうな基礎に立つて施行すること

本項の規定は出来るだけ早く、且つ遅くも一九四六年十二月三十一日までに效力を發生する

一〇、累積した磅貨勘定

(一) 英國政府は磅貨領域並びにその他の國々に累積してゐる磅貨勘定を速に決済するため、これ等各國と協定する方針だが、決済に當つてはこれ等累積した勘定を次の三種に分つ

A 直に解放して當座取引のため如何なる通貨にも兌換出来る

B 一九五一年以來年賦によつて、A項と同様解放する

C 戦時並びに戦後債務の決済にたいする寄與として、且つこれ等の各國が右決済によつて受けると期待される便益を考慮して調整さるべき勘定

英本國政府はこれ等の取極めが速に完了するやう

あらゆる努力を拂ふ

(二) 今回の一聯のクレヂットは多角的貿易の發展を促進し、多角的貿易が非差別的基礎に速に復活するに至ることを、重要な目的の一つとしてゐる事實に鑑み、英本國政府は現金化した磅貨勘定その他當座拂ひに使ひ得る磅貨勘定を何れの通貨領域におけるかを問はず、差別なく自由に當座の取引に使用させる方針である

世界貿易 國務省は國務長官が六日他の各國政府に對し、世界貿易並びに就業の擴張に關する米英兩國の提案を傳達した旨發表した

労働聯合石炭委員會開催

(ロンドン七日) 英國労働相ジョージ・アイザツクスは五日「石炭産業の當面並びに將來の諸問題」に關する討議のため、國際聯合石炭委員會第一次會議に十二ヶ國の代表を招いた

大統領に勧める極東書

米國書籍販賣業協會では一九四一年から一九四五年に至る間米國で發行された太平洋及び極東問題に關する約二百冊にのぼる書物につき、その内で最名著と目すべきものを選んで、白聖館に寄贈するため検討を重ねてゐたが、結局左の書籍が選に入つた

- △ジョゼフ・C・グルー「日本における十年間」
- △ジョゼフ・R・ヘイデン「フイリツピン」
- △テッド・ラウソン大尉「東京上空三十秒」
- △アグネス・スメドリ「支那戦ひの歌」
- △リチャード・トレガスキス「ガダルカナル日誌」
- △エドガア・スノー「吾等の側の民」
- △ウエンデル・ウイルキー「一つの世界」
- △レランド・ストウ「かれ等に眠りなかるべし」
- △林悟堂「支那及び印度の智慧」
- △バール・S・バツク「龍の種」
- △ワオチューン「世界作戦地圖」サイモン・アンド・シヤスターズ版「戦争地圖」
- (フア・イースタン・サーヴエイ十一月七日號)

昭和二十年十二月十二日(水)
第三四號

時事通信

海外電報

(34)

今回米英兩國政府間に成立した經濟協定のうちには四十四億弗の借款協定と並んで世界貿易促進に關する協定も含まれてゐるが、われわれの立場からすれば前者より寧ろ後者の協定の方を重大視すべきだらう、なぜならば借款協定は専ら米英兩國のみの問題に過ぎないのに對し、後者は國際通商上の障礙除去、その他あらゆる世界貿易促進の方途を講ずるための國際機關の設立を提唱し、これがため米英兩國が首頭をとつて國際會議の招集を約し、その對象が世界各國におかれ、今後これをめぐる動きは直接日本にも影響して來るだらうからである。



敗戦の結果、日本はあらゆる軍備を失つた、海外諸領土をも悉く喪失した、だがしかし、このことは決して日本が永久に世界から隔離され、經濟的にも孤立化しなければならぬことを意味するものではない、否むしろ、七千萬の日本民族が狭小な本土四島内で生存してゆかなければならなくなつたといふ事實こそが、將來の日本經濟の國際的性格を益々強めてゆくだらう、勿論日本は先づ第一に人口の調節、土地開發等によつて對内的自活の途を講ずべきである、ただ完全な對内的自活が今後の日本にとつては殆んど不可能であるばかりでなくいはゆる自給自足經濟思想はナショナルリズムとも密接不離の關係にあり、この思想に胚胎するプロジェクト經濟樹立工作が今次大戰の重大な原因となつたことを想起する必要がある、かくて日本の生命線は依然として對外貿易にあり、ただこの場合日本の對外經濟關係は會ての如き強力な武力を背景とした帝國主義的經濟伸張でなく、あくまでも有無相通の經濟原則に立脚した國際協力による貿易政策でなければならぬ。

ポツダム宣言は既に日本民族の餓死からの自由を保障し、また聯合軍進駐以來の對日政策も將來の日本に必要な國際貿易を許容することを明らかにしてゐる、平和的な日本の對外經濟關係の確立こそ、日本の民族的生命を保障し、同時に日本の國際社會の一員としての復歸を保障するであらう。

【目次】

新たなミュンヘン會談の危険	三三四
イラン最高會議を設置	三三四
三國和協の途拓けん	三三四
合同生産資源、原料兩委員會解散	三三五
英領軍用基地を民需に要求か	三三五
埃、新政府を組織	三三五
ガスベリ内閣生る	三三五
【ユタヤ人問題】	
非合法移民を逮捕	三三六
パレスチナ解放を主張	三三六
英、移住増加を承認か	三三六
合同委員會を非難	三三六
【國際會議】	
濠、本部米國設置案を支持	三三六
【米 國】	
共和黨、外交政策發表	三三七
戰時造船打ち切り	三三七
歸還將兵ヘジープを開放	三三七
第七艦隊司令長官決まる	三三七
ケニー大將太平洋空軍司令官に	三三七
リマで暴動	三三七
【歐 洲】	
パットン大將重傷	三三七
「洪のヒトラー」死刑	三三七
「ベルゼンの獸」上告却下	三三七
【東 亞】	
比島の總選舉四月以前に	三三八
米二銀行極東に支店再開	三三八
【英 帝 國】	
濠洲でも罷業	三三八
【今日の話題】	
米英航空料金争ひ	三三八
明日の超重爆撃機	三三八
XB42新記録樹立	三三八
【特 輯】	
米國における「産業上の抗争」	三三九
【資 料】	
パレスチナ政策の轉換	三四二
イラン問題に關するソ聯の通牒	三四四

新たなミュンヘン會談の危険

(ワシントン十日) モスクワの三國外相會議では當然イラン問題が俎上にのぼるものと豫想されてゐるが、ワシントン駐劄イラン大使フツセイ・アラはモスクワ會談は新たなミュンヘン會談となる危険があるとして十日次の通り言明した

「モスクワの三國外相會議はイランの主權を犠牲に、三國間を妥協せしめる新たなミュンヘン會談と化す危険が多分にある、余はモスクワ會談が開催される前に國務省を訪問して見解を吐露するつもりだが、米國がイランの主權尊重を規定した三國條約に違背する如き如何なる措置にも斷乎反對することを希望して止まない、英國はイランに多大な石油利權を有してゐるが、そのためイラン政府はソ聯の石油利權要求を拒絶し、結果が今回の緊迫した事態を發生させたものと信ずる、しかもイラン自身は英ソ兩國間の勢力争ひによつて打撃を受けてゐるのだ、イランにはソ聯の支持するトウデーフ黨と英國の尻押するイラデン・メラ黨とが事々に角突き合つてゐる實狀だ、イラン政府は難局打破のため「六人會議」を設置したが、この機關にはソ聯に評判のよい人物も數名加はつてゐるから、政府の地歩は大いに強化されよう」

イラン最高會議を設置

(テヘラン十日) イラン政府はアゼルバイジャン地方の騷擾に伴つて發生した非常事態を處理するため、九日六名の政界首腦からなる最高會議を設置した、この「六人會議」は現首相アブラヒム・ハキミが主宰し、四名の元首相と一名の元工業相から構成されてゐるが、元工業相が参加してゐることは、アゼルバイジャン地方の石油利權につきソ聯と交渉に入る用意を示唆するものと解されてゐる

三國和協の途拓けん

十五日からモスクワで開催される米英ソ三國外相會議の議題については早くも種々の觀測が行はれてゐるが、三國間に横はる意見の對立をこの際一氣に清算して、完全な和協裡に明年一月の國際聯合の總會に臨まうといふのが、米英ソ三國政府

の肚らしい、APワシントン記者ジョン・ハイダーは米國政府筋の意向を反映して十日次の通り報じてゐる

「モスクワ會談の主な目的が、米英ソ三國關係の「脱線」を解決するにあるといふのが國務省筋の見解だが、政府は三國間に調和が缺けてゐるため國際聯合の效力が損はれはしないかと危惧してゐるやうだ、彼等の考へでは三大國が完全な諒解を確保して國際聯合の總會に臨まぬ限り、同機構は單に三國間の意見對立を公けに傳へる役割しか果し得ないといふのだが、實際各種の問題について徒らに意見の交換を重ねるだけで、いまのところ殆んどどの問題についても意見の一致をみてをらず、單に相互間の疑惑を増してゐるといふのが現狀だ、モスクワ會談の議題については

一、原子力の國際管理

一、東歐及び中東における力關係

一、日本管理

一、國際聯合の信託統治

等が考へられるが、ワシントン消息筋の見解ではバインズ、ベヴィン、モロトフの三者は自ら國際聯合の總會に出席する意向といはれ、モスクワ會談がクリスマスまでに終る見込みはまづないからモスクワからその儘ロンドンに乗り込むらしい」またUP電報によれば、バインズ長官は歐洲、バルカン専門家及び國務省極東部長ジョン・カーター・ヴィンセントを帶同してモスクワに乗り込む豫定といはれ、原子力問題についてはバインズ長官は會談の空氣次第でソ聯に讓歩する意向で、その際歐洲及び極東に對するソ聯の態度が決定的要因となるものとみられてゐる、従つてバインズ長官はバルカン探題マーク・エスリツジの報告を慎重に研究した後出發する豫定だが、十日のAP電報によればエスリツジの報告内容は主要次の如きものと傳へられる

一、ルーマニア、ブルガリアには現在民主主義と政治上の自由は存在しない

一、併ししながらバルカン問題についてソ聯との間に解決點を見出す希望はないことはない
前回のロンドン會談が以上兩國との媾和條約を豫備的に討議する問題で決裂したのだから、バインズ長官はソ聯の互讓的態度を確保し得る希望を抱いてゐる様子で、今回のモスクワ會談に對するワシントン政界の空氣は概して明るいやうだ

合同生産資源、原料兩委員會解散

(ワシントン十日) 米英加三國は今次大戦中三國の生産並びに原料配給の調整を期するため米英加合同生産資源委員會、原料委員會、食糧委員會を設置したが、トルーマン米大統領、アトリー英首相、マッケンジー・キング加首相は十日共同聲明をもつて生産資源並びに原料兩委員會の解散を發表した、聲明の要旨次の通り

「米英加三國政府は去る八月二十日戦争の終結にも拘らず、合同三委員會を當分の間存続せしめる方針なる旨聲明した、しかるにその後情勢を検討した結果、國際貿易に對するかかる統制機關は、できるだけ早く廢止すべきだとの見地に基つき、三委員會のうち生産資源並びに原料兩委員會を本年十二月三十一日をもつて解散することに意見の一致をみた、但し世界的に不足してゐるもの、例へば綿製品、錫、ゴム、皮革等の如き物資を取扱ふ委員會中の分科委員會は、現在の不足狀態が解消するまで存続することとならう、就中歐洲における現在の狀態に鑑み、石炭に關しては特別の國際的統合が望ましいと思はれるのでロンドン及びワシントンにある石炭分科委員會は現在通りの機構の下にその活動を續けるだらう

一方米英加三國は合同食糧委員會は未だ解散する時期でないとの結論に達した、即ち多くの食糧品は依然として世界的に不足してをり、食糧問題に關しては國際的な統制機關の存在が必要と認められる、然し同委員會内にある各種委員會はこれ等委員會の扱ふ食糧の狀態が改善されるに従ひ、逐次廢止さるべく、食糧委員會自体も遅くも明年六月三十日までには廢止されることとならう」

英領軍用基地を民需に要求か

(ワシントン十日) 米國政府は英國に對し、ルーズヴェルト大統領時代軍用基地として借用したニューファウンドランド、バミューダ並びにカリブ海の飛行場を商業空路用に轉用する件につき交渉を開始することを提案したと傳へられる、この目的は米國と英帝國全領との間の航空事業を包括する米英航空協定によつて達成される筈だといはれる

るが、英國側は英本國における着陸權に關する實際的協定に達することこそまづ必要だと主張してをり、基地の問題はまだ正式に論ぜられるところまで行つてゐないやうだ、米國側はシカゴ國際航空會議で決議された「空の自由」をこれらの基地に適用することを主張してゐるといふが、さうなれば米國の航空機には

- 一、基地上空を飛ぶこと
- 二、燃料補給、修理のための着陸
- 三、輸送貨物人員の積卸し

等が認められることになる、英國側はこれに對して料金競争を避け英國航空業を米國の侵蝕から守るために國際協定により料金及び時間表を統制することを提案するだらうとみられる、時間表は平等に分擔することが豫想される

墾、新政府を組織

(ウイーン九日) 總選舉後新内閣組織について協議中だつたオーストリア各政黨は、九日妥協成立してキリスト教人民黨六、社會黨五、共產黨一、無所屬二、合計十四の閣僚から成る新政府組織を決定した、首相にはヨハン・ワイグルが就任するといはれる、閣員名簿は聯合國管理委員會の承認を得て後發表される筈である、なほオーストリア労働總同盟は九日三大政黨宛、重要産業を國民の利益のために國有化する要求案を提出した

ガス・ペリ内閣生る

(ローマ十日) 社會黨領袖ピエトロ・ネニは十日、「キリスト教民主黨首領アルシデ・デ・ガスペリを首班とする六大政黨聯立内閣の組閣は完了し既に閣員名簿はイタリア國監ウンベルト殿下に提出された」と發表した、國監の承認を得れば、聯合國管理委員會に承認を求めた上公表される豫定であるが、新閣員は前ペリ内閣を殆んどそのまま踏襲したもので、新入閣は三名のみであるといはれる

「ユダヤ人問題」

非合法移民を逮捕

(イエルサレム八日)パレスチナ政府内閣書記官長J・V・ショーは記者團との会見において次の通り言明した

パレスチナ政府は非合法移住を處置する手段について不斷の注意を拂つてゐる、歐洲戰の終了以來四百二十七名の非合法ユダヤ移民がパレスチナにおいて逮捕された

パレスチナ解放を主張

七日付「N・Y・タイムズ」紙は次の通り報じてゐる

「トルーマン大統領は過般「パレスチナにユダヤ人の無制限移住を許し、同國にユダヤ聯邦を建設すべし」といふ米國上院の決議案に反對なる旨聲明したが、同大統領は依然歐洲ユダヤ人のパレスチナ移住に賛成してゐる、パレスチナ問題に關して白聖館を訪問した數人の内の一人「フィラデルフィア・レコード」誌の發行人デーヴィス・スターンの語るところによれば、トルーマン大統領は同氏に對し「パレスチナに眞の民主主義國家を建設することには賛成するが、宗教、人種、信條を基礎とするいかなる主權國家の建設にも反對である」旨言明したと傳へられる、スターンが説明するトルーマン大統領の立場は次のごとくである、即ちユダヤ教を基礎とする國家の創設には反對であるそれと同様の理由で、回教を基礎とする國家にも反對だ、トルーマン大統領の抱く見解は要するにパレスチナをユダヤ人、アラブ人、キリスト教徒の全部に開放し、これらの全種族が等しく參加する民主主義政府の樹立にあるやうだ、最近トルーマン大統領と會談した人々の中にはまたユダヤ主義米國理事會のローゼンワルド會長と、シオニスト運動の創始者でパレスチナにおけるユダヤ機關總裁たるワイズマン博士があるが、前者はトルーマン大統領と見解を同じくして人種を基礎としない民主主義國家の建設を主張してゐるに對して、後者はユダヤ國家の建設を主張してゐる、ローゼンワルドはパレスチナの騷擾と衝突を終らせるため

に七項目の提案を出したが、同氏は右提案において吸收能力を基礎としてユダヤ人の移住を維持すべきことを主張し、パレスチナの情勢は今日世界平和に對する脅威ともいふべき事態に立至つてゐることを指摘して急速な解決を要望してゐる」

英、移住増加を承認か

(ワシントン八日)米國の自由パレスチナ聯盟總裁たる前上院議員ガイ・ジレットは記者團との會見において

英國政府は、もし米英合同委員會が提案するならば、パレスチナに對するユダヤ人の移住増加を認めるだらう

と言明した、この保障は同聯盟から最近派遣された七人の代表がベヴィン外相と會見した際同外相が與へたものといはれる

合同委員會を非難

(カイロ八日)アラブ聯盟は六日パレスチナに關するベヴィン聲明に對する次の如き回答聲明を發表した

パレスチナにユダヤ人をさらに移住することに關し調査せんとする米英合同委員會は、正當ならざるものが故に承服することは出来ない、ベヴィン外相の誠實なる努力は多とするが迫害を迫害で矯正することは不可能である、アラビア人はシオニストの壓迫に由來する如何なる種類のユダヤ人移住にも同意することは出来ない

【國際會議】

豪、本部米國設置案を支持

(ロンドン九日)國際聯合準備委員會の濠洲代表W・H・ホジスン駐佛公使は八日國際聯合本部米國案を支持し

自分はサンフランシスコがあらゆる條件を充すから最適だと思ふ、今日アジアの問題は歐洲の問題に劣らず重大であり、サンフランシスコは兩者の中間に位する點で條件にかなつてゐると述べた

尙オランダ、ベルギー代表は歐洲案を主張した

【米 洲】

共和黨外交政策發表

(シカゴ九日) 共和黨は明年の議會選舉對策を協議するため二日間、わたりシカゴで全國委員會を開催したが、九日外交政策に關し要旨左の綱領を發表した

世界の恒久的平和を維持するためには國際間の完全な協力が必要である、従つて米國外交政策の基調は國際聯合の全的支持及びあらゆる國際機構を通じての諸國との協力におかるべきだ、共和黨は大國による小國の壓迫を排撃する

戰時造船打切り

(ワシントン九日) 海軍委員會は六日米國の戰時造船の打切りに關し次の通り聲明した

海軍委員會は今回ヴィクトリ型貨物船及び二つの戰時型油槽船の建造を打切ることとなつた、またリバティ型貨物船の建造は既に十月末をもつて中止されてゐる、一九四二年一月一日から本年十一月までに海軍委員會の造船計畫によつて建造された船舶の總數は五千五百七十三隻に上つたが、今回建造打切りとなつたヴィクトリ型船の建造隻數は五百三十一、二つの戰時型油槽船は五百二十五だつた

歸還將兵ヘジープを開放

(シンシナチ九日) 餘剩資産管理局は新造乃至修理を施したジープ一萬臺を名譽ある歸還將兵に開放することになつた旨發表した、但し使用目的は事業に限定されてをり、賣却値段は七百八十二弗である

第七艦隊司令長官決まる

(ワシントン九日) 米海軍省發表し作戰部次長チャールス・クツク中將は第七艦隊司令長官に任命された、第七艦隊司令長官はトマス・キンケード大將が東部水域司令長官として轉出後、同艦隊水陸兩用部隊司令官ダニエル・バーベイ中將が兼任してゐたのだが、之によつて兼任が解かれたわけである、なほクツク中將の後任としてリチャード・コナリー少將が中將に進級して作戰部次長に

任命された

ケニー大將太平洋空軍司令官に

(デイトン・オハイオ八日) 「デイトン・ニューズ」の報道によれば、現極東航空隊司令官ジョージ・C・ケニー大將は今回極東航空隊と太平洋陸軍戰略航空隊の統合に伴ひ新編成の太平洋空軍司令官に就任するといはれる

リマで暴動

(リマ八日) リマ民衆は政府が最近公布した新聞紙法に反對、新聞の自由を要求して示威運動を展開、これに對して政府を支持する一派が妨害工作に出たために警官一名、一般市民一名が殺され、二百名以上が瀕死の重傷を負つた

【歐 洲】

パットン大將重傷

(フランクフルト九日) 米第三軍フランス雪崩進軍の指揮官として勇名を馳せた現第五軍司令官ジョージ・S・パットン大將は自動車事故のため重傷を負ひハイデルベルヒ病院に入院した

「洪のヒトラー」死刑

(ブダペスト九日) ハンガリーの矢十字黨首フェレンク・サラシーは過般來ブダペストの人民法廷において裁判にかけられてゐたが、九日死刑を宣告された、フェレンク・サラシーはハンガリー・ナチの頭目で、戰前からドイツの第五部隊的役割を果して來たが、ホルテイ攝政が聯合國に和を請ふ瞬間クーデターを斷行して政權を掌握、ハンガリーを徒勞な戰爭にかり立ててきたものである

「ベルゼンの獸」上告却下

(リユネベルグ九日) ベルゼン及びオスウィエツィムのナチ強制收容所長ヨゼフ・クラーマーその他は英國軍事法廷の死刑宣告に不服を唱へて、ドイツの英占領軍司令官モンゴメリー元帥に上告してゐたが元帥は八日「ベルゼンの野獸」共の上告を却下、軍事法廷の宣告に基き絞刑に處するやう命令した

【東 亞】

比島の總選舉四月以前に

(ワシントン九日) 上院はさきにフィリピン政府が明年四月以前に總選舉を施行し得ることを承認した法案を可決したが、下院も八日満場一致をもつて同法案を可決した

米二銀行極東に支店再開

(ニューヨーク九日) チエーズ・ナショナル銀行の子會社チエーズ銀行及びナショナル・シテイ銀行は、九日、それぞれ極東地域に支店を設置、營業を再開することとなつた旨發表した、即ちチエーズ銀行は香港、上海、天津に支店を開設、またナショナル・シテイ銀行は上海に支店を設け、同方面にある米國軍將兵の預金銀行となる筈である

【英 帝 國】

濠洲でも罷業

(シドニー九日) ニュー・サウスウェルズ州の鐵鋼勞働者炭坑勞働者及び船員は總罷業を決行、クリスマスを控えて濠洲國民を脅してゐる、炭坑勞働者はここ二、三日中に復業する豫定と傳へられるが、當局は石炭不足のために電氣、瓦斯の割當制は明年まで繼續されるだらうと言明した、濠洲勞働組合の理事會は九日石炭、鐵鋼、船員の總罷業は濠洲の工業を癱痺させるものだと立場から一つの解決方式を發見した様子だが、その詳細はまだ發表されてゐない、然し同理事長クラレイの言明によれば、右解決方式はチーフレイ首相に送達されたが罷業勞働者も恐らくこれを受諾するだらうといはれる

【今日の話題】

米英航空料金争ひ

(ニューヨーク九日) パン・アメリカン・ワールド・エアウェイ會社はニューヨークIIダブリン間の航空料金を更に引下げ二百四十七弗としたが、英國政府の申入れによりニューヨークIIロンドン間は三百七十五弗に引上げた、會社側では將來ニューヨークIIダブリンIIパリ空路開始の場合はニ

ューヨークIIダブリン料金の率を適用する旨語つてゐる、同時に何れの航空會社とも長期料金協定を結ぶ意思なく國際航空輸送協會の料金査定權を承認しないと稱してゐる、英國側では一月開催豫定の協會の會合で戦後の航空新料金問題を取上げる意思を明らかにしてゐるが、同時にパン・アメリカン航空會社が、英國側の要求に従ふまで、目下週二回のニューヨークIIロンドン航空輸送度數の増加を承認し得ないとしてゐる、パン・アメリカン及びアメリカン・オーバーシー兩會社ともニューヨークIIロンドン間三百七十五弗の料金は當分承諾するが、何れにしても「少々高すぎる」と思はれるので、一月の國際航空輸送協會の會合ではその引下げ方を提案すると稱してゐる

明日の超重爆撃機

(ニューヨーク九日) 陸軍航空本部長ヘンリー・アーノルド元帥は八日次の通り言明した
近く無着陸で一萬六千哩(ニューヨークIIロンドン間の四倍以上)を飛翔し得る超重爆撃機が出来る、さうなれば如何なる軍事目標物もその作戦圏内に入るわけだ、この超重爆撃機は原子爆彈を搭載して地球上何處へでも飛べるが、その他に乗員なしで同じことの出来るロボット航空機が三種もあり、原子爆彈を有するレーダー操縦のV二號兵器もある、他國のこの種兵器の使用に對しては米國は確實且つ有效な防衛手段を持たねばならない

X B 42 新記録樹立

(ワシントン九日) グラスの試作中型爆撃機X B 42は八日カリフォルニア州ロングビーチからワシントンまで五時間十七分三十四秒をもつて大陸横斷飛行完成、東向横斷記録を四十六分短縮した平均時速は四百三十二哩だつた

同機は尾部にプロペラを有し、機首に二基の發動器を裝備してをり、「ミックスマスター」と呼ばれてゐる、旅客機としては四十八名を搭載する能力を有し、軍用型は二年前から祕密兵器として完成してゐた、記録飛行の操縦士はハードン中佐とエドワーズ大尉であつた



米國における「産業上の抗争」

長谷川才次

トルーマン大統領が所謂「労働関係調整」の目的で、ワシントンに招集した「労働と経営の會議」は所期の成果を収めず物分れに終り、大統領は米國議會に對し窮餘の對策として「實狀調査委員會」設置に關する法案を勸告した、労働陣營が共同戦線を張つてゐる現狀で、右法案の審議が如何に進められて行くか、法案の成否が米國の政界と産業界とに如何なる波紋を投ずるかは、暫く今後の推移に待たねばならないが、「産業上の抗争」が米國內政の重大問題であることは明かだ

「N・Y・タイムズ」紙は九月三十日の社説で「平和の眞唯中に米國は、今國內で一種の國內戦争に當面してをり、外國においては外交戦争に直面してゐる、いづれの場合においても損害と危険とは大きく、解決が喫緊の急務だ」と前提し、罷業續發の背景について次の通り説いてゐる

「現在の罷業流行の原因は些つとも不思議でない約四年間に亘り數百萬の米國労働層は、比較的高い手取り賃銀を貰ふのに慣れて來た、所が今や毎時間の賃銀は下らないが、時間的勤務が少くなつた結果、自動的に週給が減るといふ事態に當面してゐる、同時に雇主もまた戦争で膨れた市場で買上げる米國政府といふ史上最良の顧客を失つた、若し雇主が勝手に賣り値を吊り上げることが出来れば、要求に應じていくらでも賃銀を引上げるだらうが、その結果米國に戦後の悪性インフレーションが起るかも知れない、さうすれば實質賃銀は下り、生活狀態がよくなる人は稀で、國民の大多數が暮し向きが悪くなる譯だ

言ふまでもなく一國の實質的收入は、物資と労働とにあり弗貨には存しない、罷業をやる人々は賃銀を失ひ、雇主は利潤を喪ふ、更にニューヨーク市における、エレヴェーター罷業の例に明な通り、争議と全然關係のない見物が、數百萬弗を喪失することとなる、急激に堪え難い事態となつてゐるのは、以上の間接的損害だ、米國は罷業をより早く處理するか、乃至罷業が起るのを阻止する

機構を必要とする、新たな機構を見出すことが出来なければ、漸次増大しながら必ずしも民主的に統制されてゐない労働組合を逐次擴大し、且つ緊密に結び付いてゐる資本の組織との間における經濟的內亂の危険に陥らう」

△全面的な不景氣を誘致

戦時において各労働組合は「罷業をやらぬ」といふ公約に縛られて、最も有力な武器を奪はれてゐたが、経営もまた政府機關が賃銀値上げを決定するので不満を抱いてゐた、双方とも戦争が終れば、一戦は避け難いといふ覺悟を極めて用意を怠らなかつたが、特に労働組合は、増大した組合員を背景に新たな戦術をもつて、資本主義の牙城に對し總攻撃を展開した譯だ

十年前には米國を通じて組織労働の總成員は僅か三百八十八萬に過ぎなかつたが、一九四一年には一千百萬に増加し、一九四五年一月には一千四百五十萬といふ數字を示してゐる、しかも組合員が増加してゐるのは大量生産工業、即ち製鋼業、自動車工業並びに燃料工業等だ、しかも組合員の増大とともに組合は戦術を改善し、當該單一産業部門だけの議論に終始せず、國民經濟の全般を基礎として堂々たる立論を展開するに至つた、例へばUAW(合同自動車工業組合)は賃銀値上要求の論據として、手取り収入が減れば購買力は制限されてデフレーションが起り、全面的な不景氣を誘致すると主張してゐる

勿論経営は労働組合の勢力増大を危険視し、産業に對する経営の支配は危殆に瀕し、利潤制度そのものが脅やかされてゐるといふ考へだ、廣範圍な賃銀値上げは再轉換が充分進捗して、生産が大いに増大し、生産單價が下がらぬ限り實行出來ず今組合の要求通り賃銀を上げたのでは、製品値段の大幅引上げが必要となり、結局新製品に對する

市場が制限されることになるといふのが雇主の主張だ、更に賃銀だけ引き上げて値段が押へられてゐたのでは、利潤による刺激がなくなり、會社たると個人たるとを問はず、新規事業に投資したり従來の企業を擴張したりしなくならうと主張してゐる譯だ

最近の米國の新聞を見てゐると、ピケットが背中に Join 52/40 と書いたビラを背負つて、自動車を止めてゐる寫眞や、Fifty two for Forty と書いた制札のやうなものを持つて歩いてゐるのを見受けるが、これが労働層の新しいスローガンだ、要するに戦時に五十二時間働いて受取つてゐたと同じ手取り賃銀、これも新語らしいが所謂 take-home pay 四十時間の労働で要求してゐる譯だ、計算は少しややこしいが、労働組合の要求は一時間の賃銀を三〇%増加するにあり、戦時には四十八時間働いてゐたが、うち八時間の時間外勤務については、一時間の勤務に對し一時間半の手當を貰つてゐたから、普通の賃銀に換算すれば五十二時間働くのと同じだ、四十時間の賃銀を三〇%増せば、五十二時間分の手取り賃銀になるといふ勘定だ

△罷業續出の産業界

罷業が起つた産業部門はテキサス州の石油業、デトロイトの自動車工業、アパラチヤ炭田等々の大物から、ニューヨーク埠頭仲仕、同じくニューヨーク市のエレヴェーター、太平洋岸ノース・ウエストの材木業罷業等々多岐に亘つてゐるが、去る一月以降の割合で罷業が増して行けば、一九四五年は米國における罷業の新記録を作るかも知れぬとは「N・Y・タイムズ」紙の観測だ、労働統計局の數字によれば、一九四四年の罷業が、既に罷業統計が出来た一九一六年以來の新記録であつたといふ

從來の記録年度は一九一七年となつてゐるが、兩年度の數字を掲げてみよう

罷業件數	參加労働者數	喪失労働日數
一九一七年 四四、五〇	一、三三〇、三三〇	
一九四四年 四、九六六	二、一六六、〇〇〇	八、三三、〇〇〇

米國における労働爭議の動向をみるために、資

料としては少し古いし、爾後多少の變化は免れないが、十月七日の「N・Y・タイムズ」紙の記述を次に引用しよう

「日本軍が降伏してから僅か五十五日しか経過しないが、米國は今や労働と經營との抗争の劇的な更新に當面してゐる、しかも時期は極めて重大な産業界の再轉換は漸くその緒についたに過ぎず、戦時契約の取消しで、約三百萬人が失業名簿に追加され、しかも毎週百萬人以上の復員兵士または戦時労働者が、職を求める人數に加へられて行く先週の罷業で四十九萬人が失業群に入り、通信燃料輸送といふ米國經濟の重要な領域が打撃を受けた、精油工四萬三千五百人の罷業で、石油生産は三五%削減され、瀝青炭田三三%の操業停止で、製鋼業が打撃を受け、重工業の再轉換が脅威を受けた

石油業に労働組合は精油工の基本賃銀三〇%の増額を要求、經營は一五%の増加案を出したが、組合は十四州に亘つて罷業を斷行、四萬三千五百名が罷業に参加した、シユウエレンバック労働長官が妥協案を出し、組合は賛成したが、石油會社がまた條件を付けたので、トルーマン大統領が遂に油田を接收した

石炭業にジョン・ルイスは多年、炭坑の現場頭 (foreman) と監督 (supervisor) の組織化を企圖してゐるが、經營は、これ等の雇人は寧ろ經營を代表し、炭坑夫に對抗して經營の立場を擁護する地位にあると稱して容易に同意しない、そこでルイスは炭坑主に對し、會議を開いて協議することを提案したが、炭坑主代表エズラ・ウアン・ホーンが右提案を拒否したので、十六萬の炭坑夫が罷業を開始した

自動車工業に UAW が三〇%の賃銀値上げを要求したが、ジェネラル・モーターズ社が拒否したため、NLRB では十月二十四日、GM 社三十二萬五千の自動車工の間に、罷業を執行するか否かを投票に問ふ豫定だ

投票の結果、GM 社では賛成七〇、八五三票、反對一二、四三八票、クライスラー社では賛成一九、八七〇票、反對二、三五九票で、UAW は愈

愈々罷業に入つたが、炭坑争議はジョン・ルイスが突如罷業打切りを宣言したので、四週間の休坑で一千三百萬噸の石炭生産を失つた後、約二十一萬の坑夫が再び入坑した、但しルイスは打切りに當つて、「現場頭組合の承認要求を、後日より適當な時期まで延期する」といつてゐるから、何時争議が再發するかもわからぬ形勢だ

△物價統制の撤廢を要望

以上全國的な勞働不安を一掃する見地より、トルーマン大統領は十一月五日ホワイト・ハウスに資本家代表十八名、勞働代表十八名を招致して、いはゆる「勞働と經營の會議」を開催した、會議は執行委員會暨六委員會にわかれて、前後三週間に亘り討議を重ねたが、トルーマン大統領の言葉を用すれば

團體交渉の原則確立、團體交渉の手續に關する勸告、政府の調停機關擴大強化案、雇傭に關する差別待遇の撤廢、勞働契約の解釋を自發的仲裁に付する協定

等々について辛うじて意見が纏つただけで、戰時勞働局に代位する平時の調停機關設置と、賃銀増額要求處理については、何等の對策をも決定することが出来なかつた、しかも、會議は勞働と經營との對立といふよりも、勞働代表相互間の論争、端的に言ふならば、會つての盟友ジョン・ルイスとCIOフィリップ・マレーの正面衝突で物分れに終つたらしい

賃銀問題についてはフィリップ・マレーは、十月三十日夜のトルーマン大統領の放送演説を支持し、産業界は製品の値上げを要せず賃銀を或る程度引上げることが出来る旨の決議案を提出したがルイスは斷乎反對し次の通り述べた

「決議案は、賃銀利潤に關する政府の統制並びに賃銀の決定に關する政府の權限を、何時までも存続させやうといふ案に他ならない、余は勞働組合がかかる制限の範圍内で、團體交渉を進める立場におかれることに反對だ、余は自由な企業と自由な團體交渉とを要求する、自由な企業と自由競争とは過去において、利潤に對する制動機の役割を果したが將來においても同様の役割を果し、消

費者のために製品の値段を引き下げるに違ひない、産業が利潤を上げることが禁壓しはならぬ、勞働と投資と一般社會とが、米國の技術的天才の成果を、均しく享受する權利を持つてゐると思ふ、物價統制は出来るだけ早く撤廢されねばならない、物價と利潤とに對する制限は撤去することを要する、マレー君とCIOとが求めてゐるところは、人民の活動が獨裁的政權によつて制御抑壓される組合國家に他ならない

一度生産が始れば競争により、自ら公正な價格が極らう、過去三十年間フォード社の全面的政策は、賃銀を引き上げて價格を引き下げるにあつたGM社もまた同じ方針をとつてゐる、産業に機會を與へさへすれば、かかる情勢が再現出來よう」

△CIOとルイスの争點

今回の會議で目立つたことは、ルイスがAFLのウィリアム・グリーンと共同戰線を張り、フィリップ・マレーが殆ど孤立無援の状態に陥つたことだ、従つて會つてサミエル・ゴンパースに叛旗を翻して「勞働の家」(House of Labor)から追ひ出され、CIOを結成して、つぎにマレーと袂を分つた米國勞働界の荒獅子が、四半世紀の後再びAFLに復歸するのではないかとの觀測さへ流布されるに至つたが、不羈奔放なジョン・ルイスの行動を豫測することは、夫子御自身でも困難に違ひない

會議において特に問題となつたのは、賃銀政策と議事手續とだ「N・Y・タイムズ」紙の勞働記者ルイス・スターク氏が、十一月十七日ワシントンから報道してゐる所によつて、CIOとルイスとの争點を窺はう

「CIOは賃銀の決定に政府の支持を求めるに傾いてゐるが、AFLはUAWの支援のもとに、出来るだけ遠く政府の賃銀決定から抜け出さうといふ方針だ、AFLは出来るだけ早く戰時勞働局を廢棄し度い意圖だが、CIOは戰時經濟から平和經濟への轉換期の或る期間戰時勞働局が存続することを希望してゐる

AFLとUAWとは賃銀についても、物價並び

パレスチナ政策の轉換

「ニューヨーク・タイムズ」紙

ロンドン特派員ハーバート・

マシウス 十一月十七日



に利潤を切り離して考へるのが至當だと主張してゐるが、CIOは現在の収益と過去の利潤とから雇主が賃銀値上げに應じ得ることを指摘してゐるところが、AFLとUMWとは反對で、生産費の如何、賣り値乃至利潤の如何に拘はらず、労働者はその勤勞にたいして、當然の報酬を受けねばならないといふ、CIOは、現行の製品値段で、相當の利潤があるとの見地より、價格の据置きを主張する、ルイスが賃銀案についてマレーを攻撃したのは、マレーがトルーマン大統領最近の演説を支持した點にも關聯してゐる、ルイスの解釋によれば、大統領の演説は労働者が生産能率の増加について當然分前を受けねばならぬ事實を全く無視し、労働者を生活費に結び付けてしまふ誤謬を冒してゐるといふ譯だ、所がマレーは大統領の演説を引用したのは、大統領が賃銀値上げの必要な所以を強調した點だけだと釋明してゐる

AFLとUMWとは、出来る限り産業上の爭議を除く機構と手續とを極める目的で招集された會議に、賃銀決議案を出すのはお門違ひだと主張し、この點でCIOの代表と意見が合はない、賃銀は専ら各工場各産業部門における團體交渉で決定さるべきで、今度の會議で取上げるべき筋合ひではないといふ

労働代表間におけるもう一つの根本的な見解の相違は、勧告案の採擇の手續きだ、AFLはUMWの同意のもとに、一切の議事について全會一致を主張する、つまり今度の會議は議會とは違ひ少數意見を押し付けるのは妥當でないから、表決には反對だといふ譯だ、所がCIOは労働と經營の双方において、十八名の代表のうち十五名の支持を受ければ、全會一致と見て差支へあるまいとの論據から投票を主張してゐる

會議の決裂後、トルーマン大統領が議會に實狀調査委員會案を勧告したのに、大統領選舉戦以來民主黨を支持してきたCIOが反對を表明したため、米國の政界産業界にあらたな離合集散が行はれるのではないかとさへみられるに至つたが、今後の推移については後報を待つて詳報したいとおもふ

パレスチナに對する米英兩國の共同政策の發表後直ぐに爆發があるだらうことを凡ての人が豫知してゐた、少くともテル・アヴィヴの暴動、各地のシオニストの激烈な抗議、それより緩かではあらうけれども、兎に角アラビア人の抗議等が期待されてゐた、しかし現在までのところそれ程悪くはなつてゐないのでロンドンではほつとした形である、英國は常に何かを決定すれば必ずトラブルに直面してきたものだ、ベヴィン外相は十三日下院における聲明で、パレスチナを「厄介な遺産」と呼んだが確かにさうだつた、一九一七年以來相次ぐ政府、相次ぐ委員會が解決を導くことが出来なかつた、矛盾した約束、日和見的政策、ジレンマの何方の角をも常に掴まふとしないこと、かういつたものがパレスチナに對する英國政策の特色であつた、そして今日でも何か大きな計畫を持つてゐる人は少い、週刊「エコノミスト」誌は「パレスチナ問題の延期」と題する論説を載せてゐるが、ここでも多くの批評家達が指摘するところは、矢張り委員會である、これまで既に多くの委員會があつた、數多くの約束があつた、數多くの輕率な決議があつた——そして多くの希望は粉碎されたのだ、皮肉屋と熱情家は今輕蔑の念をもつてこれを鼻で笑つてゐる、しかし世界に残りの人々は判斷を保留する權利を有する、しかしながらそれは別にもう一つの努力がなされつつあり、しかして今度こそは回答が發見されさうだと認められてゐる、最も熱情家で、深刻且つ思ひ切つたいひ方をする男、アーネスト・ベヴィンがパレスチナ問題の解決に政治的生命を賭けたのだ

△英政府の見解

われわれは凡ゆる違つた角度からパレスチナ問題を眺めることが出来る、ユダヤ人の側からも、またアラビア人の側からも、然し此處はロンドンである

時事通信

海外電報

電報局便覧

そして權力の地位に立つのは労働黨政府である、
で今日は一つ英國政府の立場からこの問題を眺めよう、「不幸なる遺産」の日附は一九一七年のバルフォア宣言とそれから二年後の國際聯盟規約に遡る、バルフォア宣言は國際協定ではなかつたが國際聯盟規約第二十二條によつてなされた委任統治は國際協定であつた、かくてアトレイ政府すらもが、パレスチナにユダヤ人の國家建設、自治制度の發達「適當なる條件の下」における移住の促進といふ公約を負はされてゐる、然しながらユダヤ人の移住は常に制限されてゐた、アラビヤ人はさうでなかつた、今やアラビヤ人はユダヤ人の一に對して二である

英國は各種の委員會や提案を試み—例へばパレスチナの分割—そして最後に一九三九年の白書が來た、それはアラビヤ人の支持を得なければならぬといふ戰爭の影の下で起草されたもので、その結果ユダヤ人の移住は五年間に七萬五千に制限された、然るに第二次世界大戰は新たな問題を發生せしめた、即ちナチによる歐洲ユダヤ人の虐殺と迫害が生きたため歐洲に残る理由のないユダヤ人のために、故國を探さねばならぬといふ問題を惹起させたからである、而して労働黨會議は昨年十二月、同黨の全國執行委員會によつて提案された「戦後の國際的植民地に關する報告」を承認してゐる、これはもしユダヤ人が希望するならば、多數黨となるやうな數で入國を許すべきであるといふ趣旨のものでつた

△トルーマンの干渉

トルーマン大統領は十萬の移住許可といふユダヤ人機關の要請を許すやう要求した、この提案に對して英國は、米國は政治的責任を受諾することなしに全く不可能なる提案が政治的目的のためになされたものであると考へて非常に激昂した、然しながら賢明なる人は、ここにこそ英國に提供された最大の機會があることを發見した、彼等がその中に見出した解決の一つの希望は、彼等が長い間一人で耐へて來た重荷を配分することであつたかくして交渉が始り、この交渉が今週の重要發表にまで導かれたのである、今日までパレスチナは

歐洲ユダヤ人、中東、全回教及びアラブ世界と關聯する問題としてのみ取扱はれてきた、然しパレスチナ問題は廣汎な國際問題の中の一環として處理される必要があり、それが實際的にして且つ論理的であつたのだ、この見地から今度の解決案が持出されたのである、英國の一般評論家が以上の如き考へを抱いてゐることは「スペクテーター」による次の如き論評によつても知れよう

外相の尊敬すべき聲明の第一の功績はその聲明がシオニストを對象としたものでなくユダヤ人を對象としたこと、第二にパレスチナに關係するユダヤ人だけでなくユダヤ人全體を對象としたこと、第三にパレスチナにおけるユダヤ人の權利と同様アラビヤ人の權利も認めたこと、第四にさし迫つた問題を檢討することにおいて米國を英國と聯合せしめたこと、第五にパレスチナ問題の終局的解決を信託統治理事會を通して國際聯合機構に委ねたこと、第六に外相としての立場から此の地方的問題をより大きな關聯の中に引き入れたことである

△中東は不満

然しながら、英國人側のこの満足感にはシオニスト並にアラビヤ人によつても同様に抱かれてゐるものではない、—後者は前者程不満ではないが—然しこれに對し英國人は「アラビヤ人とユダヤ人双方の不満は、米英の提案が正しいことの證據の一つである」と稱してゐる、英國人の大多數がパレスチナ問題とそれに伴ふ特殊な關係から脱けるのを悦ぶことに誰も疑をさしはさむものはない、然しながら彼等は關係國民の双方と英帝國に對する責任を認める、労働黨政府もまたこの點についてこれまでの如何なる政府とも異なるものではないそして労働黨の指導者は、彼等がパレスチナ問題を全世界の當面する問題といふ地位に引上げる事によつて責任を回避してゐるとか、或ひは理想主義に對する熱意を缺いてゐるとかいふ主張に對しては憤怒の色を現はして否定する

イラン問題に關するソ聯の通牒

米國務省は去る十一月二十四日、モスクワ駐劄米國大使館を通じて明年一月一日までにイランから撤兵する件を提案したに對し、ソヴェト政府は同月二十九日付覺書をもつて米國の提案を拒絶したが、國務省はソヴェト政府の許可を得て、右モロトフ外務人民委員の米國務省宛覺書の内容を八日發表した、全文次の通り

ソヴェト政府の入手した情報で判斷すれば、イラン北部の武裝蜂起に關する通牒の内容は事實と一致しない、最近イランに生起した諸事件はただ單に武裝蜂起でないばかりでなく、イラン政府を對象としたものであり得ない、イラン北部の人民會議は聲明を發表したが、聲明によればそれがイラン國家内において民族自決を確立しようとするイラン北部アゼルバイジャン民衆の民主主義權利確保の翹望を反映するものであることは明瞭であり、アゼルバイジャン民衆はベルシャ語とは別個の独自の言語を有してゐるのである、またタブリーズにおいて十一月二十日、二十一日の兩日に亘つて開催された人民會議の聲明によれば、人民會議が國王、議會及び政府に對して右に述べた希望を表明してゐることも明かである、イラン北部の各地において最近の事件と關聯して發生した望ましからざる諸事件は反動分子の策動に起因するもので、これら反動分子は地方民衆の希望が民主主義國家にとつて別して異例といふ譯でもないにも拘らず、イラン北部民衆に民族權が擴大されることに反對してゐるのである

△イラン軍進駐に反對

ソヴェト軍司令部に關する限り、北部イラン地方にあるイラン軍及び憲兵隊の行動を妨害したことはなく現在も妨害してはゐない、ソヴェト政府の入手した情報によれば、イラン北部にはイラン軍歩兵一個聯隊、歩兵二個旅團、憲兵二個聯隊が駐屯してゐるが、これをもつてすれば同地方に秩

序と平安を確保することは不可能ではない、ソヴェト政府はイラン北部地方に對するイラン軍隊の新たな派遣に反對し、更にイラン北部にイラン軍隊を派遣することは騷擾と流血を鎮壓せしめ得ぬばかりか更に激化せしめるばかりであり、その結果ソヴェト政府は秩序を維持し、ソヴェト駐屯部隊の安全を確保するため、更に兵力をイランに派遣しなければならぬ事とならうといふ意味の事をイラン政府に對して通告した、ソヴェト政府としてはイランにこれ以上ソヴェト兵力を入れることは望ましくないと考へるので、現在イラン北部地方に新たなイラン軍を入れることは思はしくないといふ立場を採つた

△三國宣言を遵守

米國政府の通牒は一九四三年十二月一日のイランに關する三國宣言に言及してゐるが、ソヴェト政府は同宣言の諸原則を遵守することをここに聲明する、しかしながら同宣言はイラン領土に駐屯するソヴェト軍の兵力を規定してもゐなければ、駐屯期間も規定してゐない、後者は別の文書、即ち一九四二年の英ソ、イラン三國條約によつて決定されてをり、イランにおけるソヴェト軍の駐屯に關しては、イラン領土にソヴェト軍を入れる權利は一九四一年二月二十六日のソ聯・イラン條約によつて規定されてゐる、更に英ソ兩國軍隊撤收期の問題は、米國政府も承知してゐられる如く、近々二ヶ月前にロンドンの外相理事會において考慮され、英ソ兩國代表間の書簡交換によつて決定され、右決定は外相理事會の注意を喚起し、どの方面からも反對を受けなかつたものである、なほ十一月二十五日ソヴェト政府の受理したイラン問題に關する英國政府の覺書はソヴェト軍隊のイラン撤兵について言及してゐないことを、ここに一言斷はつておく

ソヴェト軍隊に關して以上に述べたことに基きソヴェト社會主義聯邦政府は、ソヴェト軍隊のイラン撤收の時期に關する問題につき、新たに考慮を加へる必要を認めない

昭和二十年十二月十三日(木)
第三五號

時事通信

海外電報

(35)

近頃奇怪な報道をちよいちよい眼にする、それは

歐洲においては戦時並びに戦争直後に壓倒的な勢力を握つた左翼就中共産主義が最近攻勢から守勢に移り、民主主義の驕々たる勢力が徐ろに主導権を握つてゐるといふ報道だ、そのよい實例が「ハンガリーにおける民主主義の勝利」であり、「オーストリアにおける共産黨の惨敗」といふ見方だ、勿論戦時から戦後にかけて我國の報道界では歐洲情勢に關する報道は繼子扱ひにされ、目前の問題に關心が集中されたが、それだからといつて「あちらのはなし」にかかる見方が許されてよい筈はない、第一にハンガリー及びオーストリアの事實が歐洲全體を蔽ふ規範となるものでもなければ、代表的實例でもないことだ、成程ソ聯占領下のハンガリーでは當然共産黨の進出が豫想されて然るべき筈であるのに、過般の選舉ではプチ・ブル的な小所有者黨が勝利を収めた、オーストリアの選舉では共産黨が僅かに三議席を獲得したに過ぎないしかしながらハンガリーにおいては周知の如くベラ・クレーンの三日天下以來共産黨の勢力は地に墜ち、加ふるに「艦隊のない提督」ホルティ攝政の血腥い彈壓によつて共産黨はあるかなきかの存在と化してゐた、またオーストリアにおいては社會民主主義勢力が常に壓倒的比重を占め、共産黨の勢力は微々たるものであつたのだ、以上兩國の元來が微々たる共産黨勢力が微々たる勢力なりになるべき投票數を獲得したことが共産勢力の「惨敗」を意味するものとするならば、吾またなにを言はんやだ、しかも決定的な事實は以上の兩國においてはドイツの支配下にあつた當時共産黨の抗戰運動がみられなかつたことで、オーストリアの抗戰團體たる「霧の委員會」にすら共産黨は含まれてゐなかつた、このことは必然的に共産黨に對する大衆の評價を決定するものであり、以上の兩國における共産黨の力關係如何は寧ろ將來のことに屬する、問題は歐洲の社會情勢が共産勢力の溫床たり得るか否かにある譯で、共産黨の「守勢」や「惨敗」を云々することはそれからにして貰ひたい



目次

總督、ガンジールと會見.....	三四六
交渉再開を意味せず.....	三四六
ガンジール語る.....	三四六
印度側の協力を要請.....	三四六
ド・ゴール放送演説.....	三四六
アルバニア總選舉結果.....	三四六
ソ聯嚴重な檢閲制に復歸.....	三四六
獨立空軍を提唱.....	三四七
米國生計費昂騰.....	三四七
自動車旅行一萬四千哩.....	三四七
僞似流民伯林へ流入.....	三四七
【米國】	
上院委員會、國務省支持か.....	三四八
GM、勞働組合との契約廢棄.....	三四八
米英經濟協定を祝福.....	三四八
ゲイツ海軍次官辭職.....	三四八
【歐洲】	
法王廳はファツシズムの庇護者.....	三四九
ボツダム方式の強行を主張.....	三四九
佛政府、覺書否認.....	三四九
【エダヤ人問題】	
合同委員會の構成を發表.....	三四九
【英帝國】	
對印使節團は十二名.....	三五〇
埃乃王の墓發掘者逝く.....	三五〇
【原子エネルギー】	
「新時代」の到來を豫言.....	三五〇
陸海共同で原子爆彈試驗.....	三五〇
【今日の話題】	
五つの新記録を樹立.....	三五一
【特輯】	
ニユーレルベルグ裁判(一).....	三五一
【資料】	
國際電氣通信協定内容.....	三五五

四千噸のサイクロトロン

(ダークレーンカリフォルニア十日)カリフォルニア大學では來年の夏までに政府のサイクロトロンの五倍の力を有する四千噸超サイクロトロンを製作する豫定だといはれてゐる、科學者の言によればこれが完成した曉には、原子の新領域が開拓される事にならうといはれてゐる、設計者はアーネスト・ローレンス博士である

總督、ガンジーと會談

カルカッタ十一日來電によれば、印度總督ウェーヴエル卿は約一時間に亘りガンジー翁と會談したと傳へられる

交渉再開を意味せず

(カルカッタ十一日) 英印政廳當局は「ウェーヴエル總督とガンジー翁との會談は、國民會議派と政府當局との交渉開始を意味するものではない」旨言明した

ガンジー語る

(カルカッタ十一日) ガンジー翁はウェーヴエル總督と會見後次の通り言明した

われわれは完全な獨立を得るために熱心な努力をなしつつあり、遠からずして希望を持つことが出来るだらう、然し國民は、英國が支配してゐる間は他のものは誰も印度に侵入しないと考へてはならない、もし印度人がきちんとした態度と、權力を適當に使用することを學ばないならば、誰か他のものが權力を搔つてゆくだらう印度人は平和的訓練によつてのみ自由を獲得することが出来る

印度側の協力を要請

(カルカッタ十一日) 印度總督ウェーヴエル卿は印度人指導者に對し穩健な協力を要請すると共に英國政府に對し印度政治問題の合理的解決を達成すべき責任を拋棄してはならぬ旨警告した

ド・ゴール放送演説

(パリ十一日) フランス臨時政府首班シャル・ド・ゴールは十一日ラジオ放送演説で、再びフランスを「二つの偉大な世界勢力」の間の懸橋と形成し度い旨を説いたが、要旨左の通り

フランスはこの地理的位置を考へるとき、國際問題については東と西との間に平衡を維持する役割をつとむべきである、フランスの國際的役割は世界の偉大な二勢力—アングロ・サクソン國とソ聯との間に自然的な連繫を形作るにあるなほド・ゴール將軍はモスクワに開かれる三國外

相會議にフランスが招請されてゐないことについて言論界では是非の論が行はれてゐるについては何等言及しなかつた

アルバニア總選舉結果

(ロンドン九日) ベオグラード・ラジオによればさる二日執行されたアルバニアの總選舉において現政府首班エンヴエル・ホワサを指導者とする「民主戦線」は九三・二九%の投票を得て壓倒的勝利を収めた、殘餘の投票は白紙だつたといはれてゐる、同時にミラノ・ラジオによれば、アルバニアのキスリングといはれた元首相イブラヒム・ビカクシウは九日逮捕された

ソ聯嚴重な檢閲制に復歸

(モスクワ十一日) 在モスクワ外人記者聯盟が檢閲制度を撤廢したに對しモロトフ外務人民委員が拒絶したにも拘らず、ソ聯當局は突如一月ほど前から檢閲を著しく緩和したが、UP記者ヘンリー・シヤピロによれば再び外國向け記事の嚴重な檢閲を實施することとなつたといはれ、シヤピロは十一日次の通り報じてゐる

「十五日からモスクワで開催される三國外相會議では從來モスクワで戰時中に開かれた會議と同様嚴重な檢閲が實施されることとなり、既に十一月初旬以來の檢閲緩和は先週以降再び撤廢されてゐる、從來の會議では會議の進行狀態や雰囲気に関する日常の情報は米英兩國代表から傳へられ、公文書や最終の公報も米英兩國側から發表されてをり、ソ聯は以上の點では何事もなしてゐない、またチャーチルやイーデン、ハル等は記者會見を開催して意見なり情報なりを與へたが、ソ聯は會議終了後に新聞の社説で包括的に取扱つてきただけだ、外人記者は會議を傍聽することは勿論晚餐會にも臨席出來ず、あらゆる電報はソ聯の檢閲を受けねばならなかつた、しかるにソ聯當局は十一月初めから檢閲制度を著しく緩和し、外人記者の電報は殆んど例外なく一字も抹殺されずにすぐパスしたが、この狀態は約一ヶ月間續いた、そして再び嚴重な檢閲の復活をみたが、このことはソ聯が決して檢閲制度を撤廢する意向のないことを示すものとみてよい」

時事通信

海外電報

獨立空軍を提唱

(ワシントン十一日)下院海軍委員長ジョージア州選出民主黨カール・ヴィンソン、同陸軍委員長ケンタツキー州選出民主黨アンドルー・メイの兩議員は十一日共同で獨立空軍創設法案を下院に提出した、「これが統合案に對するわれわれの返答だ」といふわけである

米國生計費昂騰

(ワシントン十一日)勞働省勞働統制局は九日米國一般市民の生計費に關する詳細な報告を發表したがその要旨次の通り

「一九四一年には家族三人の一般中流都市居住者一年の生活費は一千四百七十五弗で充分だつたが一九四四年になると最低生活を維持するだけでも一千九百五十弗が必要となつた、即ち同年におけるこれ等家庭の生活内容をみるに一人當り一食の費用は二十二仙、住宅費、燃料代、電燈代或ひは冷蔵庫費等一切を含めて月三十弗といふ質素な生活であつた、一方かかる家庭の納税額は年百十九弗、かくて一九四四年には中流家庭は生計費と税金とを支拂ふのがせい一ばいで戰時公債を買つたり生命保険料を支拂つたりするやうな餘裕は殆んどなかつた、ただこれ等の家庭も収入の多かつた時代に戰時公債の形で十分の貯蓄を持つてをり、平和時物資を相當多量に購入し得る餘裕を残してゐる

しかしながら、一九四四年における戰時公債購入階級の内譯を見ると、年收三千弗以下の家庭が持つてゐる公債額はそれ程多くなく、民需市場が復活した後平和物資購入の主力とはなり得ないだらう、しかして都市居住者のうち税引後年收三千弗以上の者は二九四一年には二〇%だつたものが一九四四年には四二%に増加した、しかしながら一九四四年には就業率は高かつたにも拘らず税引後一千五百弗以下の年收者は都市居住者の五分の一を占めてゐた」

自動車旅行一萬四千哩

(ニューヨーク十日)七月十九日ブエノスアイレ

スを出發してニューヨークのハイド・パークに向つた三臺の自動車のうち二臺が九日夜無事ニューヨーク市に到着した、一臺はテキサス州ダラスで故障を起したため遅れたが、これも間もなくニューヨークに着くとみられてゐる

全行程一萬四千哩は殆んどフランクリン・D・ルーズヴェルト街道に沿つてボリヴァリア、ペルー、エクアドル、コロンビア、ヴェネズエラ、パナマ、グアテマラ、メキシコの各國を通過、途中コロンビアのバランキラからパナマ市に渡る時と更に同市からエル・サルヴァドルのラ・ユニオンに渡る時の二回だけは船を利用しなければならなかつたといふ

自動車旅行家たちはハイド・パークで故ルーズヴェルト大統領の墓に祈を捧げ、ブエノスアイレスの「アホラ」誌から太平洋戰の空の勇士に贈る銀盃をルーズヴェルト夫人に託すことになつてゐる

偽似流民伯林へ流入

(ベルリン十日)「ニューヨーク・タイムズ」紙特派員グラドウィン・ヒルは九日次の通り報道してゐる

「ドイツの外部から來た避難民である偽似流民の處理といふ新しい占領地問題がベルリンにおいて尖鋭化してゐる、米英占領軍當局は對策を樹立すべく努めてゐるが、二千五百名のポーランド・ユダヤ人は殆んど絶望状態におかれてゐる、これらのユダヤ人はポーランドに反ユダヤ主義が再び起つたために同國から逃げて來た人々で、ベルリンの流民收容所が比較的良好ときき、パレスチナその他への移住が可能となる過渡期間中ここで過さうといふわけだ、十月の末から六千名以上が入つてきたが、今でも依然一日二百五十名の割で到着してゐる、技術的には避難民は流民としての待遇を受けられないけれども彼等はそれ相當の援護を受けてゐる、今なほベルリンに留つてゐる二千五百名は、既に流民で満員の聯合國救済復興委員會會假收容所の中へ流れ込んでゐる」

【米 國】

上院委員會國務省支持か

(ワシントン十日) 信すべき筋の消息によれば、目下元駐華大使ハーレーによつて投じられた國務省下級官吏に對する非難について調査をつづけてゐる上院外交委員會は、ハーレー大使の非難を正面から否認して、國務省支持の態度を近く明かにするだらうといはれてゐる、委員會の證言は近く喚問される國務次官デイン・アチソンをもつて打切りとなると豫想されてゐる

G M、労働組合との契約廢棄

(デトロイト七日) ジェネラル・モーターズ社の罷業は開始以來既に三週間に達せんとしてゐるが會社側は十日突如として明年四月二十八日期限の合同自動車労働組合との契約廢棄を聲明した、廢棄聲明において會社當局は「労働者側の要求は經營者の機能並びに責任を篡奪せんとする計畫的企圖以外の何物でもない」と極めて強硬な態度を示してゐるが、労働者側も既に九日トルーマン大統領の調停勸告を無視してをり、かくてG M罷業は愈々深刻惡化するに至つた

米英經濟協定を祝福

(ワシントン十日) 互惠通商主義の熱烈な支持者たるハル國務長官は今回米英兩國間に經濟通商協定が成立したのを機に聲明を行ひ、この聲明は七日國務省から發表されたがその要旨次の通り
「今回の米英經濟協定の成立により世界は過去の苦しき經驗を生かし、よりよい世界建設の途上において新たな大きな前進を行つた、新協定のうち特に余の關心をひくものは通商並びに就業問題協議のための國際會議開催の提案であるが、今や侵略勢力が完全に擊破された結果、第一次大戰後にはわれわれが失敗した平和の齎らす利益を完全に實現することなき機會に恵まれたのである、余は過去三十年餘のながきにわたり、健全にして差別待遇なき基礎に立つ交易國相互に利益をもたらし國際貿易を促進し、一方過去屢々戰爭の原因となつた經濟戰爭を防止する國際機關設置の必要を

強調してきた、しかるに不幸にも第一次大戰後の世界は一路破壊的な通商戦への道程を辿つてきたのである、一九三四年米國政府によつて開始された互惠通商協定の締結運動は、米國がなんとかしてかかる致命的な世界の動向を變へんとする努力の現はれであつた

余は今度こそ永續性ある平和を建設する最後の機會であると考へる、かかる見地から六日發表された米英兩國の協定は米國のみならず世界各國の經濟的繁榮を實現し、生活水準の向上を期するに絶對必要なものと信ずる」

ゲーツ海軍次官辭職

(ワシントン十日) トルーマン大統領は十日ゲーツ海軍次官の辭職を承認した、ニューヨークの銀行家で且つ工業家である同氏は眞珠灣直前に航空擔當の次官補として海軍省に入り、本年七月次官に任命されて今日に至つてゐる

【歐 洲】

法王廳はファシズムの庇護者

(モスクワ十日) ソ聯とヴァチカンとの間の關係は米國特使マイロン・テラーその他の斡旋にも拘らず依然圓滑を缺いてゐるが、ソ聯外交評論家ペー・エフイモフは共產黨機關誌「ボリシエヴィーク」において非は全く法王廳の側にあるとして次の通り攻撃してゐる

法王廳は世界の各地に網を擴げた機關を利用してファシズムの殘黨を救はうと努めてゐる、法王廳は戦後の反動の中心であり、法王は祈禱よりも熱心に刻下の國際問題に没頭してゐる、特に法王が關心を寄せてゐるのはスペイン情勢でスペインに於る民主主義の勝利を極度に惧れてゐるが、ヒトラーの最後の子分たるフランコは當然戰爭犯罪裁判にかけられてしかるべき人物だ、又ベルギーのカトリック教指導者達は、レオポルド國王の復辟を策して猛烈に暗躍してをり、政府から共產主義者を追ひ出す陰謀をすすめてをり、世界のカトリック新聞はソ聯攻撃に寧日ない實狀だ

ボツダム方式の強行を主張

(シンシナチ十日) トルーマン大統領特使バイロン・ブライスの報告と關聯して、米國のドイツ管理政策の變更が云々されてゐるが、對獨強硬論者として知られる前財務長官モーゲンソーは九日シンシナチ市における演説で、再びドイツに對するボツダム方式の強行を主張し次の通り述べた

世界の安全とドイツ自身の復興とを保障するためにもドイツに對するボツダム宣言の實行が必要である、ドイツ處理のボツダム方式は比較的簡單であり、聯合各國はじつくり腰を落着けてこれが實施に努力すべきだ、現在までのところドイツ工業の撤回政策は遅々として進んでゐないといふと評する他ない、各國は大いに協力してドイツ處理の急速な實行を期すべきである

佛政府、覺書否認

(パリ九日) フランス政府が米英ソ三國政府に對してフランコ政權に對する各國政府の態度について照會する覺書を送附したといふ八日のパリ・ラジオの報道に關して、九日、フランス政府はかかる事實なしと否定した

「ユダヤ人問題」

パレスチナ合同委員會の構成を發表

(ワシントン十日) ホワイット・ハウスは十日次の通り發表した

「トルーマン大統領は十日、去る十一月十三日ワシントンとロンドンで同時に發表されたパレスチナ米英合同委員會の構成を發表した、委員長は輪番制によるが委員の顔觸れ次の通りである

米 國 側

首席代表

ヒューストン第五巡回裁判所判事
ジョゼフ・ハツチソン

前スウオトモア大學總長

フランク・アイデロツト

「ボストン・ヘラルド」紙編輯長

フランク・バツクストン

前ノースカロライナ州知事

前勞働次官

故ルーズヴェルト大統領の對印特使

ウイリアム・フィリップス

英 國 側

英國首席代表、英國最高民事裁判所判事

サー・ジョン・シングルトン

ミッドランド銀行經濟顧問

ウイルフレット・クリツク

勞働黨下院議員「ニユー・ステイツマン」・アンド・ネーション」誌編輯次長

リチャード・クロスマン

保守黨下院議員、辯護士

レジャー・マニング・ビュラー少佐

前外政協會理事長 ジェームス・マクドナルド

勞働黨下院議員

ロバート・クレイグ・モリソン卿

既に十一月十三日兩國政府により發表された如く同委員會の使命は次の通りである

一、ユダヤ人の移住と住民問題に關してパレスチナの政治的、經濟的、社會的狀態と、現在同地に居住する住民の安寧狀態とを調査する

二、ナチ乃至はファシストの迫害を受けた歐洲諸國におけるユダヤ人の地位を調査し、これらの諸國においてユダヤ人を差別待遇と壓制から解放するために如何なる具體的措置が採られ、または採られようとしてゐるか、またパレスチナその他歐洲外の土地へ移住を希望し乃至は移住を餘儀なくされるユダヤ人がどの位あるかを調査する

三、パレスチナ問題に關して有力な目撃者の見解を聞き、且つアラビヤ人、ユダヤ人の代表者と懇談し、兩國政府に對し恒久的解決方策と同時に中間的解決方策に關し意見を具申する

四、第二項の調査の結果緊急の必要、例へば問題の諸國における醫療的措置とか、或は移住及び植民のための設備の提供といふが如き事柄についても意見を具申する

米國及び英國政府は同委員會に對し與へられた主題の調査を最も迅速になすやう要請するものであり、調査開始後百二十日以内に報告を提出するやう要求する

【英 帝 國】

對印使節團は十二名

(ロンドン十日)政界筋の言明によれば印度に派遣される英國議會代表は十二名となる模様で代表の氏名は十三日ロンドンで發表される豫定といはれる、大體州立法議會選舉の豫備段階頃に印度に到着するやうに出發する様子だが、各政黨代表の内譯は自由黨一名、共產黨一名、保守黨三名、労働黨七名となるのではないかと、の觀測が有力だ

埃及王の墓發掘者逝く

(ロンドン九日)カイロからのエキステンジ通信によれば有名な「ツタンカーモン王の墓」を發掘した一團の最後の生存者、アルフレド・ルーカス翁は七十九歳で逝去したと傳へられる、王の墓は一九二二年「王陵の谷」で發見されたもので考古學上の貴重な資料とされてゐる

【原子エネルギー】

「新時代」の到來を豫言

(ワシントン七日)元シカゴ大學教授で原子核研究の物理學者フイリツプ・モリソン博士は先に本年八月初旬原子爆彈攻撃を蒙つた廣島、長崎兩市の視察旅行に加はつたが、右經驗に基き六日上院原子力管理委員會で次の通り證言した

原子力の國際管理が將來必らずしも早急に實現を見るであらうことを豫想して、米國は原子力に關する實用的且つ現實的な國內政策を樹立すべきである、原子爆撃を蒙つた廣島、長崎兩市の損害は想像を絶する程である、私の言葉が原子力の大規模な放出は單に戰爭に革命を齎したに過ぎないといふやうな印象を與へたならば余は物理學者であるといへないだらう、原子力利用の發達に伴ひ、人間の生活方法は従前とは異なるものとなる、今やわれわれは原子核エネルギーをして事象そのものの本質にさらに深く突込み、これを支配するごときものたらしめた、結論としてわれわれは「新時代の到來」を斷言する

一方、歐洲戰終了後軍事情報團長としてドイツに派遣されたミシガン大學物理學教授S・A・ゴードスミット博士も、同委員會において報告、次の通り語つた

ドイツ人は一度も同國における原子研究の發達に關して精確な情報を得る機會を持たなかつた戰爭中のドイツの研究は原子力を力の源泉として利用し得るか否かの問題に集中されてゐた一九四三年まではドイツの科學者たちの研究の間には何等連絡がなかつた、科學者のうちでドイツ政府首腦から何等かの特權或ひは協力を與へられてゐたのはナチ黨關係者ばかりで、しかも彼等は全く無能な科學者であつた

陸海共同で原子爆彈試驗

(ワシントン十日)陸海兩省は十日陸海軍共同で戰艦に對する原子爆彈の威力試驗を行ふ豫定なる旨正式に發表した、計畫は既に立案中といはれる今までの試案では日本から押収した軍艦を實驗臺に使用するといはれてゐたが、發表はそのことに觸れてゐない

【今日の話題】

五つの新記録を樹立

(ワシントン十日)トランスコンチネンタル・ウエスタン・エア航空會社の「スカイ・チーフ號」は十日後に開始される同社のワシントンⅡパリⅡスイスⅡイタリーⅡ中東間定期航空の試験飛行を終へて九日夜パリからワシントンに歸還した、同機は往復飛行において五つの新記録を作つたが歸還飛行においてエールのシャノン空港からニューファウンドランドのガンダー飛行場まで七時間五十一分で北大西洋を飛び、これは東航飛行の時よりも五十五分間短縮されてゐる、一方エールからワシントン間の經過時間は十四時間四十三分、實際飛行時間は十三時間二十八分、これも新記録でこのときの時速は二百四十三哩であつた、同機はさらに東航飛行においてワシントンⅡエール間ワシントンⅡパリ間の新記録を作つた

時事通信

海外電報



ニールン

ベルグ裁判(一)

原 子林 二郎

種々の傍系的な事件でのびのびになつたナチ主要戦争犯罪人二十四名の裁判は愈々十一月二十日午前十時から開催された、處は南ドイツの古都ニールンベルグ、お城と繪と時計の都、歴史的記念物に圍まれた古い裁判所だ、恐らくこの法廷ではナチの裁判官が反ナチの被告に——もしも彼等が裁判にかけやうなどといふ氣紛れを起したならばだ——死刑の宣告を下したであらうし、法律を象徵する秤のかはりにヒトラーの肖像畫が「己れの」法律を象徵してゐたことであらう、ナチは正義、人道、法律だと主張し、この主張を實踐に移した二十四名のヒトラー・ギヤングが、自らの「正義と人道」の故をもつて、他人の法律をもつて裁かれることになつたのは偉大な歴史の皮肉ださればこそこのナチ裁判は一つの歴史的な事件なのである

世紀の裁判が開かれるまでの経緯は外電で既に傳へられてゐるから、それははしよることにして乏しい材料を基にしていきなり一九四五年十一月二十日の朝から説き起すことにしよう

△オペラの乞食

その日午前九時四十五分には二十名のナチが被告席に居流れた、残りの四名は事故のため關席裁判を受けることになつたのである、四名とはニールンベルグの拘留所で縊死したナチ労働戦線指導者で外國人強制労働の發案者たるロベルト・ライ博士、ヒトラーの最後以來香として消息を絶つてゐる總統官房長マルチン・ボルマン、腦髓硬化症で瀕死の床にあるドイツ「死の商人」の張本グスタフ・クルツプそして腦溢血で仆れたナチ保安警察隊長エルンスト・カルテンブルンナーだ、ニールンベルグの拘留所である晴れた朝突如發狂したと稱されるルドルフ・ヘスは、聯合國精神病理學者の間に興味ある話題を提供し、一時は出廷の資格なしとまじいはれてゐたが、この日はみたとくろ氣違とは思はれぬ物腰でNOIたるヘルマ

ン・ゲーリングの傍で、開廷を待つ間一冊の本を膝に餘念なく讀書に耽つてゐたといふ

ロイター電報によれば「二十萬の聯合國民を戰場に強制收容所に殺戮」し「ドイツ國民とナチ占領下の諸國民の塗炭の苦しみ」において豪奢な生活を送つてゐた二十名の「怪獸」は勳章も肩章もついてゐない粗末な軍服や、救貧院から交付された古着の平服を着て、米軍衛兵の堵列を背に二列に居並び、被告席の前にはゲーリングの辯護士オットー・シュターマーを筆頭とする辯護士團が控えたといふが、被告達の風態はAP記者によると「まるで歌劇の乞食の扮装を思はせた」といふから全盛時代に小兒のやうに勳章を愛し、胸に矢鱈に勳章をぶら下げて喜んでゐたゲーリングなどにはさぞかし辛いことだつたらう

判事席には米國代表フランシス・J・ビドル、英國代表サー・ジェオフレ・ローレンス、ソ聯代表イヴァン・T・ニキチエンコ少將、フランス代表アンリ・ドネディユー・ド・ヴァブルの四名と代理、檢事席には米國代表ロバート・ジャツクソンほか三國代表とその代理が着席、正十時厳かに世紀の裁判の開始が宣せられた

△退屈した野獸

外電によると、まづ英國側判事ローレンスが代表して起立し侵略戦争を國際犯罪として確定する判決例の歴史を述べた後、國際軍事法廷の諸員が「恐れることなくまた眞實することなく與へられた義務を遂行することは嚴肅な責務である」として「檢事團が辯護團に正當辯護を行ひ得るやう講じた諸措置」に對して満足の意を表明したといはれるが、判決例についてローレンスが如何なる歴史を述べたかといふことは、われわれにとつて最も興味ある問題だ、但しこの點についてはどの外電も全然觸れてゐないので、將來詳細な記録の發表に俟つほかはない

次いで檢事側の起訴狀の朗讀に移り、米英ソ佛四國檢事が交互に起つて、ナチの罪狀を一個狀づつ讀み上げた、四個條の罪狀とは

一、平和に對する犯罪、人類に對する戦争犯罪に關する陰謀に参加した罪

二、國際諸條約を侵犯しドイツを戦争に捲き込んだ罪

三、直接間接に戦争犯罪を犯した罪

四、人類に對する罪

で、第一の個條を米國、第二の個條を英國、第三の個條をフランス、第四の個條をソ聯の檢事が讀み上げたが、その間約二十分、法廷は水を打つたやうに靜まり返つて、人間として恐らく可能な最大の犯罪事實の一語一語に耳を澄ます

この起訴狀は英文で朗讀され、被告はいづれも顔色を心持蒼白にかへて翻譯受話器を耳に押し當ててゐたが、記憶喪失症にかかつたと稱するヘスやリツベントロツプ、カイテル三名は受話器を使はず、米國側代理檢事シドニー・S・アルダーマンが戦前アルフレッド・ローゼンベルグがユダヤ人を攻撃した件りに讀みかかると、ローゼンベルグは慌てて受話器を置いて、顫える手で額の汗を拭いたといふことだ、またナチのユダヤ人迫害の張本人ユリウス・シュトライヒアーは終始項垂れてあらぬ方に視線を走らせてゐたが、起訴狀に彼の名前が述べられた瞬間急に坐り直して、朗讀する檢事の顔を瞬きもせずに見据える、ゲーリングは動章のかかりに「1」と書いた大きな布切を胸につけて悠然と控えてゐたが、檢事が十年前ドイツが空軍力を建設した事實を指摘した際「然り」とばかり大きく頷いてみせた

傍聴席にゐた米國上院議員クロード・ペパーはINS記者にいふ

彼等は確かに感情のないギヤング共だ、死を豫定された人間のやうにはみえない、大部分の者は健康のやうに見受けられる、二三の者は多少心配してゐるやうだが、大抵の者は退屈してゐるやうだ

△全文二萬語の論告

この日辯護團は國際軍事法廷の合法性と法廷の活動を規定する憲章の合法性に挑戦し、聯合國ばかりでなく中立國代表をも含めた國際法廷の設置を要求し、裁判の合法性に關する意見を國際的に

認められた國際法の専門家から聴取することを要求した、辯護團の戦術は「國際」軍事法廷の字義的解釋から出發して、聯合國代表だけで構成されてゐる法廷を一氣に否定し去らうといふのだ

裁判二日目の二十一日、英國判事サー・ジョフ・レー・ローレンスは辯護團側の要求を簡單に一蹴し、次いで米國檢事ロバート・ジャックソンは直ちに全文二萬語に亘る米國側の論告文を讀み上げた、ジャックソン檢事が論告文の朗讀を始めると二十名の被告は前日の無關心さとはがらりと變つて、いづれも被告席から身を乗り出して耳を澄したといふ、ジャックソン檢事の論告の要旨を左に紹介しよう

世界平和に對する犯罪史上最初の裁判を開始する特權は大きな責任をわれ等に課した、われわれがこれから有罪を宣し處罰せんとする悪行は、あまりにも慎重に計畫され、あまりにも兇惡であり且つあまりにも破壊的な力を揮つたため、文明はこれら悪行を默視するを得ない、默視すれば再び繰り返される惧れがあるからである、本法廷は新稀であり實驗的なものではあるが、單なる抽象的思辯の產物でもなければ、法理論を立證するためでもない、本裁判は現代における最大の脅威たる侵略戦争に對處して國際法を利用せんとする四大國の實踐的努力であり、他の十四ヶ國の全幅の支持を受けてゐるものだ

被告席にはいま二十名の敗殘の人が坐つてゐる彼等の悪行に對する能力は既に過去のものとなつた、彼等個人の運命はもはや世界に何等の影響をも及し得ない、本審問を有意義のものとすることは實に被告達の肉體が灰に歸して後も長く世界に潜む兇惡な影響力を代表してゐるからである、彼等は異民族憎惡、權力の恐怖行爲と暴力と傲岸と殘忍の生ける象徴である、彼等は激烈な國家主義と軍國主義、陰謀と戦争挑發の象徴である

△ナチの三つの戦ひ

「彼等の罪惡については我々はこの法廷において詳細に暴露する、犯罪のカタログからは如何なる

些事も脱落することを許さない、われわれは彼等の敵の證言に基いて彼等の罪を決定することを諸氏に要求しない、文書並びに記録によつて實證されぬ告發事項は唯だの一つもないのだ、われわれはまたドイツ國民全體を罪に陥れる氣持は毛頭ないことをこの際明かにしておかう、要するにわれわれの訴訟はこれら被告がナチ黨と結託して歐洲に戰爭を勃發せしめることによつてのみ達成される計畫の實現に努めたことを暴露するにある

米國の提起せる訴訟は一切の犯罪の背後にある頭腦と權力に關するものである、ナチの陰謀は常に現存する反對派を克服することを目的とするばかりでなく、その國家哲學から出發して絶対に妥協し得ぬ諸分子を一掃することを企圖した、ナチはこれら意見を異にする分子の性格について全然疑問も持たなければ、意見の不一致を來したこともなかつた、彼等の一人をして語らしめよう、フオン・フリツツ上級大將は一九三八年十二月十一日に次の意見を吐いた

第一次大戰が終つて間もなく、我々はドイツが再び強力になつたならば、三つの戦ひにおいて勝利をかち得ることが出来るに相違ないといふ結論に到達した、第一の戦ひとは勞働階級に對する戦ひであり、ヒトラーはこの戦ひで勝利を收め、第二はカトリック教會の戦ひであつたそれは法王至上權主義に對する戦ひといつた方がよからう、第三はユダヤ人に對する戦ひであつた

これらの諸分子に對する戦ひは持續して行はれたドイツにおける闘争は世界的規模の攻撃に移るための演習にほかならなかつたのである、しかしながらドイツにおける戦ひと世界的規模の戦ひの二つはナチの計畫においては別個の存在ではなかつた、この二つの戦ひはナチの「新秩序」をいつにても覆滅せしめるための焦點乃至武器としての役割を果す人々及び制度を一掃することを目的とする彼等の計畫の絶えざる展開であつたのだ

△對米戰に日本を煽動

「ドイツ人によるドイツ人の迫害は規模においても、兇暴さにおいても、將又限度においても近

代文明のよく忍び得るところでなかつたことは、今日既に周知の事實となつてゐる、もしも條約義務の侵犯による侵略戰爭が支配確立のための國際的表象であるならば、それは國際共同社會の關心事でなければならぬ、ナチ黨指導者達は各被告によつてその根本目的の若干の點につき援助を受けつつ、警察組織を通じて恐怖支配を現出した、ナチの諜報機關及び警察組織は意見を異にする者を處罰するためにあらゆる形の反對派を狩り立てた、如何なる近代國家も忍び得ぬ諜報と陰謀の網に囚はれ、世界の如何なる國にも類例をみぬ迫害と苛責の下に、思慮あり勇氣あるドイツ國民は殲滅せしめられたのである

併しながらナチは單に反對の聲を沈黙せしめたばかりではなかつた、彼等は消極的な支配と同じ程度に有效な積極的支配をも樹立した、宣傳機關は未曾有の規模に黨及び黨の組織を慫慂なき熱情と獻身とへ煽つた、これら一切の支配は發端からドイツを戰爭に驅り立てるために空前の烈しさと單純さをもつて實施されたのである

ナチの侵略計畫はアジアにおける盟邦の利用を必要とした、彼等は日本人の間に親切な心と決意を見出した、彼等は皮膚の色を異にする兄弟であつた、四月五日にリツペントロップは日本の松岡外相に日本の參戰は「勝利を早める」と同時に、日本に國民目的を遂行し東亞において主役を演ずる絶好の機會を與へるとして參戰を慫慂したのである、ドイツの指導者達は大西洋から米國に戰闘をしかける計畫を進める反面、太平洋方面から米國に戰爭をしかけるやう教唆してゐた、總統大本營から押收した一九四〇年十月二十九日付フアルケンシュタイン大將署名の覺書は、空軍基地及び補給に關する情報を要求し、更に

總統は後に米國に對して戰爭を行ふために目下大西洋諸島嶼の占領問題に没頭してゐる、總統本營はこの問題を審議中であると報じてゐるのだ

△侵略戰爭は不法

極めて好戰的な國民ですら人道の名において戰爭の殘虐性に多少の限度を認めてゐるが、ドイツ

の文書で判斷すれば、これらの權利は否定され、捕虜は虐待され、屢々殺害されてゐる、このことは捕虜となつた飛行士の場合特に眞實であり、屢々米國人が犠牲となつてゐる、敵軍を容赦なく虐待するナチの遣り口はソ聯との戦争において最大限度に實行された、諸氏の前に裁きの庭に引き出されてゐる人々によつて支配されるか乃至は指揮されたドイツ占領軍は占領地域においてあまたの暴虐行爲を行つた、それらは押収された命令や報告によつて確認されぬ限りなんびとも眞實を疑ふていのものであり、且つ報告によつて初めて以上の命令が如何に忠實に實行されたかが明かになつたのである

われわれはここにナチ運動の生き残つた首脳政治家、軍人、財界人、外交官、行政官及び宣傳家と直面してゐる、もしもかれ等が以上の犯罪の責任を負はぬならば、果して誰が責任を負ふべきであらうか、われわれの立場は一國が如何なる不平を抱いておらうとも、またその現狀が如何に望ましくあらざるものであらうとも、侵略戦争はこれら不平を解決しこれらの事態を變更する手段としては法に副はぬものであると主張するにある

被告達は侵略戦争を行つた、かれ等は戦争以外に實現不可能と知る外交政策を成就するために隣國を侵略し侵略した、われわれが告發し且つ審理しようとするのは將にこのことである

△関として聲なし

「憲章は、犯罪として規定される行爲を犯す人々が負ふべき個人的責任を認めてゐる、國際法により處罰さるべき犯罪として認められてゐる劫掠略奪行爲に對し個人的に責任を負ふ原則は昔から確立されてゐる、不法の戦争行爲がそれだ、國際的無法狀態では不可避である間歇的戦争行爲を避ける最後手段は政治家をして法律に對して責任を負はしめることである、この法律は最初にドイツ侵略者達に適用されるものだが、この判官席に坐する人々を含めて他の國による侵略行爲に對しても適用されるものであることをこの際明かにしておく

滔々と説き語り説き来る四時間の論告、戦争を

不法なりとして烙印を押す正義と人道の高唱、満場関として聲なし、「ニューズ・ウィーク」誌によるとゲーリングはジャックソン検事がゲーリングの名を述べる度毎に恍惚とした顔付になり、新聞記者よりも熱心にノートをとり、大袈裟に頷いてみせたり烈しくかぶりを振つたといふ、またシャハトは終始人を莫迦にしたやうな物腰でゐたといふが、彼がナチの祕密の再武装と直接關係を持つたといふ件にくると、俄然顔を緊張させた、またワイリヘルム・カイテル元帥が戦争の勃發の遙か以前に侵略計畫を樹てたとしてジャックソン検事が非難するや、カイテルは職業軍人に對するかかる批評は場違ひだと傲然と哄笑したといふ

かつては國際外交界に華々しく活躍し、その一顰一笑はチェンバレンやグラデイエの胸を擾せたナチ外交官のピカ一リツベントロツプは、この日その憔悴した面を深く垂れて、時折鉛のやうに鈍い眼であたりをきよるきよる窺つたといふが、一外人記者は評して曰く、「まるで千年もヒトラの面相をつとめてゐたやうな顔だ」特にジャックソン検事が描き出す史上類例のないナチの犯罪事實が法廷全體を蔽ふと、まるで血の復讐の叫びをききつけたやうに頸をすくめて、神經質な指で洋服の襟をまさぐつてゐた

やがて論告が終ると、ゲーリングは紙片を手に裁判官の前に進み出て無罪を主張した、彼は昔の辯が出たものか、「まづ返答するに冀つて……」と冒頭して一席辯じだすつもりだつたところ、裁判長の槌が鋭く響いて單に無罪かしからざるかを申し立てよと注意した、ゲーリングはかつとして起訴狀の意味では余は無罪である

と叫び記憶喪失症のヘスは瘤高い犬の吠えるに似た聲で

ナイン

と叫ぶ、次いで各被告がそれぞれ無罪を主張して第二日目を終つた

時事通信

海外電報

(第三種郵便物認可)



國際電氣通信協定内容

バーミユダ島ハミルトンで開催された國際電氣通信會議は四日終了、参加八ヶ國政府は經濟的利潤を副次的とし各國間の情報交換量の増大を第一義とする原則を承認した、同會議の終了に際し米國政府間に調印せられたるバーミユダ通信協定の内容大約次の通り

△第一章

第一條 無線通信回路—聯合王國との現存直通回路の措置—保存する回路は必要なる數に關して試験し廢止前に協定するを要す

濠洲、ニュージールランド、印度—各一回路保存
バーミユダ—同政府との協定に基き二回路保存
ガムビア、ゴールド・コースト、英領ギアナ—廢止

第二條 新回路

南阿—米國政府及び南阿聯邦政府は、回路新設の條件具るや否やを決定するため共同研究を行ふ

ジャマイカ—同政府との協定に基き一回路新設
パレスチナ—同政府との協定に基き一回路新設
セイロン、シンガポール、香港—聯合王國は關係諸植民地政廳當局と協議し、直接回路新設の條件具るや否やを決定するため研究を行ふ

第三條 一般的考慮條件—調印國政府は次の國際會議に關し、附録「直接無線通信回路設置に關する一般的考慮條件」に定められたる原則に基き聲明を發表することを約す

第四條 調印國政府間の獨占的取極め—合衆國乃至英聯邦と他國との間の直通回路新設を防止または阻害せんとする自國諸社の努力を支持或ひは承認せざることを

第五條 經由通信—通常直通回路において扱はれる通信線貸賃は最終通信に限定されること

△第二章 電信料

第六條 最高料金—米英兩國間の最高料金は平文

三十仙又は一志六片、暗號二十仙又は一志、間送及び書簡電報の現存國際料金は繼續

第七條 新聞料金—米英兩國間の新聞電報最高料金は六仙半又は四片、これ以下のものを値上することなし、英聯邦内の片特別新聞料金は繼續され、他國にも延用するを得

第八條 最終通信及び經由通信賃賃料—最高料金を適用すべき最終通信及び經由通信の賃賃料金は統一すべきものとす、諸國は二級に分類し、廣大なる地域をAとし、他はBとす、最終通信賃賃料金はA四仙又は二片半、B二仙半又は一片半、經由通信A三仙三分の一又は二片、B一仙三分の二又は一片とす、他の種類の通信線賃賃は最終經由とも合計料金を比率により計算す、諸取極めは一切現存の最終及び經由料金を増額するを得ず

第九條 關稅の配分—直通回路の場合には、最終料金及び經由料金を差引ける殘餘關稅部分を折半す、割引料金實施より生じたる間接回路使用料の支拂における減額分は現在の料金配分と同率をもつて分擔す、本條の現存諸契約への適用は關係當事者において審議すべきものとす

第十條 通貨—料金表は弗及びスターリングを使用し、凡そ一磅當り四弗三仙の率に等しからしむ、電信料金における弗磅の平均清算率を磅當り四弗三仙の二%以上變更する場合には、調整協議に關する要請に應じ協定を結ぶものとす、米英兩國以外のいかなる國においても、その國の通貨による通信料金表は當該通貨の通信料金における磅乃至弗との爲替率において弗磅法料金表とほぼ等額なるべし、關係諸國間の帳尻は弗磅法料金表により計算され、磅當り四弗三仙の率を基礎とし債權國の通貨をもつて清算す但し爲替率變更の場合には、新料金に關する審議の要請を見るまで前規定に遵ふ、新最高料金を他國に及ぼす場合、米英兩國は弗磅法に基く新料金表を作成すべし、ブレトンウツツ協定において規定せられたる國際通貨基金が設定せらるる場合には、前諸規定に必要ないかなる修正をも審議すべきものとす

第十一條 本章は可能なる限り速かに發效すべき

ものとし、一九四六年四月一日より遅ること
なかるべく、實行し得る限り同日時より實施す
(註)本章における弗仙及び磅志片はそれぞれ合
衆國及び聯合王國の通貨とす

△第三章 新聞通信

第十二條 新聞のための特設地點間連絡の原理と
して承認す

第十三條 多角送信新聞無線通信の合衆國、聯合
王國並びにカナダは直接受信を許可す、濠洲、
ニュージールランド、南阿、印度並びに聯合王國
は自國植民地のために電信局を通じての受信を
手配す、南ローデシアの位置は保留とす

△第四章 有線通信

第十四條 大西洋横斷電信線に關する相互協議並
びに協同行爲のための現行諸協定は繼續す

△第五章 規格化

第十五條 英聯邦は規格五單位コードを基礎とす
る國際電信のための規格スイッチ切換方式確立
を研究せよとの米國の提案を支持す
規格設定の研究の單線回路のための電波交代操
作、多線回路のための多數同時操作
寫眞電送施設の性能明細指示は無線電送のため
の變調施設を含み相互操作の規定を設けること

△第六章 一般規定

第十六條 協議の協定當事國は協定範圍に入るす
べての問題に關し協議し、相互に利害ある料金
經路等の變更を意圖したる時はすべてこれに關
し相互に助言す

第十七條 受諾の協定の承認により、各國政府は
自國を代表しその植民地その他を代理してそれ
を受諾す

第十八條 發效の本協定は聯合王國政府が承認通
告を接受すると共に調印國間において發效す

署名

議定書大約左の如し

大ブリテン北アイルランド聯合王國並びにアメ

リカ合衆國兩國政府は獨占的電信諸取極めを行ふ
聯合王國及び合衆國代表は次の諸項に同意する
第一條 他の直通無線電信回路の共同事業を許可
するためにサウヂアラビア政府により要求せら
る、將來のすべての免許訂正の問題はサウヂア
ラビア政府の決定すべきものと諒解せらる

第二條 ギリシャ、ギリシヤ及び合衆國の兩政府
が直通回路を希望する場合は、聯合王國政府は
同國新機關が有線無線株式會社の權利義務を繼
承すると共にそれを促進すべし

第三條 合衆國諸會社が獨占的取極めを有するい
かなる國との間にせよ聯合王國が直通無線電信
回路を開通せんと欲する時は、合衆國政府はそ
の要請に應じ米國諸會社及び關係國政府に好意
的に斡旋す

第四條 爾後聯合王國乃至合衆國政府が他のいか
なる國と獨占的取極めを結ぶ場合にもその國に
對しては同様の條項を適用す

第五條 本議定書により開設せられたる回路は關
係政府の同意の下に協定に定めらるる條件にお
いてのみ經由通信に開放せらるるものとす

民間人の原子會議

(デンヴァー十日)米國の原子科學者、教育家、
社會事業家等を集めた原子エネルギー會議が十日
デンヴァー市に開催され、原子エネルギーの平時
利用に關する諸種の意見が開陳され、癌の治療に
おける放射療法成績や白血球過多症治療の希望
など論ぜられて盛會だつた、原子爆彈問題に關す
る會議の意見は要約次の通りである

「原子核エネルギー放出の基本理論には秘密など
存在しない、原子爆彈は禁止し得るものではなく
その防禦手段も全くない、原子エネルギーに關す
る國際委員會の設置と諸國間の「大量的」な科學
者の交流とは即時實施して貰ひたいと思ふ、日本
のサイクロトロンを破壊したのは「氣まぐれ且つ
不必要」なことだつたが、原子力管理によつて科
學研究の自由を縮少するやうなことはしないで欲
しい」

昭和二十年十二月十四日(金)
第三六號

時事通信

海外電報

(36)

十二月十一日ノーベル平和賞の授與式に際し、オスロー駐米國大使リスゴウ・オスボーンは、前國務長官コーデル・ハルがノーベル委員會に宛てた次の書簡を朗讀した

「世界が今や史上空前の廣汎且つ残忍な戦争から脱出するとともに、人類の腦裏に最も深く刻みつけられてゐるのは平和の問題である、今回の戦争の結果更に一度戦争が持上れば、世界は一體どうなるかを各國民がまざまざと認識するに至つたばかりでなく、茲に國際機構が樹立され、これによつて世界の各國は、希望さへすれば平和を生きた現實と化し得よう、今後數週間以内に國際平和と安定とを維持するための機關が、國際聯合總會において發程する豫定である、以上の一大目的達成を期する新機構が、完全な組織ではなく矢張り人間的な手段に他ならぬことを承知してゐるが、時日の経過とともに機構は改善されよう幾多の缺陷を包藏しながらも國際聯合組織は世界の平和を愛する國々に對し、希望し、すれば各國に平和を與へるやうな十分可動的な機構を提供することを確信して疑はない、人類と各國民とに對し、今日の試金石は各國民が十分に受難し十分に苦い経験を積んで猜疑と偏見と狭い利害觀念を清算し、各國最大の利益促進のため團結するか否かである、各國共同の利益とするところは永續的平和であり、平和の枠内で新たに人類が発見した科學と技術とを利用すれば、かつて夢想だにされなかつた高度に、人類の福祉は向上されよう、故アルフレッド・ノーベルが今日世に在つたならば、余とともに人類が十分この試金石にたへることを、確信をもつて斷言するに違ひない、最近の戦争の教訓と國際聯合組織の約束するところとは、恒久平和の新たな殿堂の土臺石であり、新たな人類進歩の時代の道標である」



間的な手段に他ならぬことを承知してゐるが、時日の経過とともに機構は改善されよう幾多の缺陷を包藏しながらも國際聯合組織は世界の平和を愛する國々に對し、希望し、すれば各國に平和を與へるやうな十分可動的な機構を提供することを確信して疑はない、人類と各國民とに對し、今日の試金石は各國民が十分に受難し十分に苦い経験を積んで猜疑と偏見と狭い利害觀念を清算し、各國最大の利益促進のため團結するか否かである、各國共同の利益とするところは永續的平和であり、平和の枠内で新たに人類が発見した科學と技術とを利用すれば、かつて夢想だにされなかつた高度に、人類の福祉は向上されよう、故アルフレッド・ノーベルが今日世に在つたならば、余とともに人類が十分この試金石にたへることを、確信をもつて斷言するに違ひない、最近の戦争の教訓と國際聯合組織の約束するところとは、恒久平和の新たな殿堂の土臺石であり、新たな人類進歩の時代の道標である」

目次

賠償決済と獨の平時經濟	三五八
賠償獨工場の配分を決定	三五九
四政黨統一戰線分裂の危機	三五九
英ソ通商交渉を開始	三五九
大統領對華政策聲明	三五九
叛亂軍タブリスを包圍	三五九
スペイン復辟派の希望	三五九
トリエス港分離行政	三五九
本部問題依然未定	三五九
日本の對比賠償	三五九
和蘭ナチ黨の死刑	三五九
【國際會議】	
モスクワ會談に關し言明	三六〇
【米 國】	
ハーレー事件終幕	三六〇
アチソン證言	三六〇
鐵鋼組合總罷業決定	三六一
パール・バツク演説	三六一
【戰後處理】	
サイクロトロロン問題重大化	三六一
【歐 洲】	
聯合國、獨經濟を援助	三六一
埃軍事團體の解散を指令	三六一
他占領地帯への旅行禁止	三六一
【ユダヤ人問題】	
合同委員會の手續	三六一
【特 輯】	
共產黨とド・ゴール	三六二
【資 料】	
太平洋かアメリカの湖か	三六四

元大統領に禁錮刑

(ブエノスアイレス十一日)アルゼンチンの陸海軍合同最高會議は去る九月コルドバ守備隊の叛亂を使喚したため陸軍から驅逐されたアルツィロ・ローソンに六ヶ月に禁錮刑を宣告した、ローソンは一九四三年カスチーヨ政權を倒して二日間大統領に就任した男である

賠償決済と獨の平時經濟

トルーマン大統領の特使バイロン・ブライスが聯合軍のドイツ管理政策に關する報告を提出して以來、米國の國務省、陸軍省等は、右管理政策の修正について検討を加へてゐたが、國務省は十二日夜、「賠償決済とドイツの平時經濟」と題する十二項目から成る聲明を發表、バーンズ國務長官は同時にドイツ經濟政策について所見を開陳した。現にベルリンの聯合國管理々事會は、十一日ドイツ西部における二十六工場、時價九千二百萬弗と評價される資産を賠償支拂ひの一部として聯合各國に分譲、うちソヴェト聯邦とポーランドとは四七・八%を確保、残り五二・二%は西歐洲十七ヶ國に分割されることとなつたが、國務省もまた今回の十二原則において、依然「苛酷な和平」の方針を堅持、次の方針を明かにしてゐる。

一、ドイツを産業的に武装解除し、少くとも隣接諸國と同一水準まで弱體化させねばならない
一、聯合國は今後二ヶ年間、ドイツの輸入に資金を提供し、流行病と不安とが起るのを阻止し、且つドイツが外國爲替準備を蓄積し、聯合各國よりの輸入に對して債務を支拂ひ得るに至るやうにするため、ドイツの輸出産業を選択して復元させねばならない

一、しかしドイツの復興を十分遅らせ、解放各地域がドイツに先立つて戦後の復興に乗出せるやうにせねばならない

一、聯合國の課する一定の制限のもとにおいて、ドイツに漸次輕工業消費品目の生産を許可し、輸出入の均衡を得させ、一九四八年までに英ソ兩國を除く歐洲各國の平均給與に等しい生活水準をドイツ人に與へねばならない

右期日までにドイツが經濟的にも産業的にも自給自足が出来るやうにすることが必要である

一、賠償支拂ひとしてドイツから撤去される施設の分量は、一九四六年二月二日までにこれを決定し、賠償支拂ひのための撤去を一九四八年二月二日までに決定すること

一、但し、ドイツの産業力並びに生産力に對する制約の最終的決定は、媾和條約の起草後にこれを持越すこととする、米國政府としては、他國

がドイツの産業的武装解除と自國の通商上の目的に供し、ドイツの平時經濟を犠牲に供することには反對である

一、ドイツにおける軍政府は、差し當り、輸送、住宅、公共事業の復興並びに石炭、農作物の生産に全力を傾注せねばならない

一、聯合國はドイツ管理の共同政策を決定し、聯合軍の嚴重な監視のもとに、財政、運輸、通信貿易並びに産業部門に亘るドイツ人の行政機關を組織するための機構を工夫せねばならない
國務省は以上の聲明を英佛ソ三國政府に傳達したが、バーンズ國務長官が翌十二日ワシントンを出發して空路モスクワに赴いた事實に徴しても、右聲明がモスクワ會談の重要問題となることは明かである

賠償獨工場の配分を決定

(ベルリン十二日)聯合國ドイツ管理々事會は十日の會議において、第一回の賠償に充當されるべきドイツ工場施設二十六を十九ヶ國に配分する比率を決定した、右決定によれば二十六工場の價值總額の四七・八%をなす七工場がソ聯及びポーランドに配分されるが、ソ波協定に基き、ポーランドはソ聯の賠償受取額全體の一五%を受取ることとなつてゐる、殘餘の十九工場はボツダム協定に基き、賠償を受取る資格ある殘りの十七ヶ國間に配分されるが、それは米國、英國、フランス、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、ユーゴスラヴィア、チエコスロヴァキア、ギリシヤ、エジプト、南阿聯邦、濠洲、ニュージーランド、カナダ、印度、デンマーク、ノルウェーの諸國である、今回賠償に當てられる工場は米英佛三國占領地域内に所在するものに限られる

四政黨統一戦線分裂の危機

(ベルリン十二日)ドイツ共產黨の提唱でベルリンに社會民主黨、基督教民主黨、中央民主黨の四政黨からなる統一戦線が形成されてゐるが、基督教民主黨が共產、社會民主兩黨の提唱實施中のソ聯占領地域内における農業改革計畫に反對の態度を表明したため、四政黨の統一戦線は崩壊の危機に直面するに至つてゐる

英ソ通商交渉を開始

(ロンドン十二日) 英國政府筋が十二日洩すところによれば、英國政府は目下ソ聯との間に常時通商の再開について交渉を進めてゐるといはれる

大統領對華政策聲明

(ワシントン十二日) 元駐華大使ハーレーの爆彈聲明を繞つて米國の對華政策がワシントンではしきりに論議されてゐるが、十二日トルーマン大統領は米國の對華政策について重要な聲明を近く行ふ旨を發表した、右は新任駐華大使マーシャル元帥に對する訓令の意味もあり、同大使が近く赴任するに先立つて公表される筈である、大統領聲明の中には北支駐屯米國海兵隊の撤收期の問題も含まれる豫定といはれる

叛亂軍タブリスを包圍

(テヘラン十二日) イラン北部の叛亂軍は十二日遂にアゼルバイジャン地方の首都タブリスを完全に包圍した、以上の報道によりアゼルバイジャン地方の自治を目指す叛亂軍が逐次勢力を増大してゐたことが明かとなつたが、ソ聯當局がアゼルバイジャン地方へのイラン政府の派兵を阻んでゐることも大いに影響してゐるやうだ

スペイン復辟派の希望

(チューリツヒ十二日) スペイン王位の正統繼承者ドン・ファン側近では、復辟問題はいまや決定的時期に入つたと解し、英佛方面でも、復辟が實現する可能性を認めればこそ、フランコ政權との斷交を躊躇してゐるのだと解釋してゐる、現在共和派の連中は米英佛その他の西歐諸國に對して、しきりにフランコ政府との斷交方を運動してゐるが、その結果フランコ政權の力が弱體化するに至れば、フランコ將軍が假令復辟を希望しても、その實現は不可能となるが、西歐諸國がフランコ政權との斷交を躊躇してゐる限り、フランコ政權自らが復辟に手をつけるの止むなきに至らうといふの

がドン・ファン側近の見方である

トリエスト港分離行政

(ロンドン十二日) ミラノ・ラジオによれば、聯合軍最高司令部はトリエスト地區占領地域を分離して獨立行政区とするに決した

本部問題依然未決

(ロンドン十二日) 國際聯合準備委員會進行委員は十一日夜、特別夜間會議を開いて本部常設地問題を議したが、ソヴェト聯邦代表グロムイコ大使は米國に常設地を選ぶことを繰返し希望し、英國は依然歐洲案を主張した、これに對してチエコ代表マサリツク外相は、米國でも歐洲でも本部の置かれなかつた方に支部を設置したらどうかとの妥協案を出した

日本の對比賠償

(マニラ十二日) 日本の賠償問題を視察して歸米の途にあるエドウィン・ボーレー大使は、十二日マクナツト比島高等辯務官、オスマニヤ大統領その他米比兩國の財界人と會談したが、マクナツト高等辯務官の言明によれば、米國は比島を代理して日本から比島に對する賠償をとりたてることとなる模様である、ボーレー大使は十二日夜マニラ發、米國に向ふが、日本の聯合國に對する賠償案が具體的に決定されるまでには、トルーマン大統領をはじめ極東諮問委員會が各國の承認を必要としよう、一方ボーレー大使を除く他の賠償使節團員は再び東京に引返し、日本の經濟、産業の調査を進める筈である

和蘭ナチ黨首死刑

(ハーグ十二日) 「オランダのヘトラール」と稱せられるオランダ國家社會黨首アントン・ムツセルトは、十二日對獨通謀の罪によりハーグ特別法廷において死刑を宣告された

【國際會議】

モスクワ會談に關し言明

(ワシントン十一日)バーンズ國務長官は十一日の記者團會見においてモスクワで開催される三國外相會談に關し次の通り言明した

「余は十二日午後二時ワシントンを出發、空路歐洲を經由してモスクワに向ふ、モスクワの會談では余は出来るだけ近い時機に媾和會議を開催するやう提案する

會談ではバルカン問題も採り上げるが、余はバルカン特使マーク・エスリツジの報告をたずさへて行く積りだ

英國は國務省に、ソ聯が一月一日までにイランを撤兵しようといふ米國の提案を拒絶したのに鑑み、英國も撤兵しないと通告してきた、また英國はモスクワ會議で出来るだけ早くイランから撤兵する件につき協議することを提案してゐる

モスクワ會談はヤルタ協定に基き三國間の懸案について意見を交換するための非公式のもので、議題は會談の當初選擇される筈だ、ドイツ問題についてはフランスが關係してゐるため採り上げられないが、媾和會議の提案は討議にかけられる、この問題は佛華兩國が關係してゐるので、協定締結の際は事前に兩國へ通告する

原子力の助言者としてハーヴァード大學總長ジエームズ・コナントが余と共にモスクワへ行く、科學研究發明局長ヴァネヴァ・ブツシユ博士は病氣のため行けない、その他余と共にモスクワ會談に赴く者の氏名は次の通りだ

國務省參事官 ペン・コーヘン
同 極東部長 ジョン・カーター・ヴァインセント
同 歐洲部長 フリーマン・マシユーズ
ソ聯専門家 チャールス・ボーレン
イラン駐在大使館二等書記官

ジョン・ジャーネガン
ヒュー・ケレー大佐

余は約二週間でワシントンに歸還する」

【米 國】

ハーレー事件終幕

(ワシントン十一日)上院外交委員會は前駐華大使ハーレーの辭職問題に關し査問會を開いてゐたが、十一日に至り同問題の調査を打切ることとなつた、即ち委員會はハーレーの要求に基づき十一日秘密會を開いて國務省の秘密文書を調査したが米國の對華政策に關するハーレーの國務省官吏攻撃には根據なしとの結論に達したものの如く、コナリー外交委員長は秘密會後「委員會はこの問題に關し今後公聽會も秘密會も開く計畫はない」と言明した

アチソン證言

(ワシントン十日)國務次官ディーン・アチソンは、元駐華大使ハーレーの國務省攻撃に關聯して十日上院外交委員會で主要次の證言を試みた

「ハーレー大使は、自分が米國の對イラン政策を破壊したといつてゐるが、自分は米國のイラン政策の發案者でも何でもなく、上官の命令を實施するために最善をつくしたのみである、ハーレー大使が自分を攻撃してゐるのは、一九四四年春、自分の事務室で起つた小事件に關聯してゐると思ふが、當時、自分の事務室で作製したイラン問題についての覺書の中にあつた字句について大使から文句が出た、その字句を書いたのは若い事務官であつたか、自分は自分の事務室から出たすべての文書について責任を負ふ旨を答へた、すると大使は執筆者の事務官に對して何故軍服を着てゐないかと叱責した、その事務官はその直前まで陸軍にゐたが、當時除隊されたばかりであつた、その後ハーレー大使は自分から覺書中の字句についての提言を撤回し、事件は落着いた、同時に自分もまた、大使の氣嫌を悪くするやうな字句を覺書中に入れたことについて謝罪した」

右が終つて再びハーレー大使が證言したが、その内容中彼のアチソンに對する非難を更に詳細にしたもので、アチソンがイランにおいて獨占と帝國主義とを支持した旨を述べてゐる

鐵鋼組合總罷業決定

(ピッツバーグ十一日)CIO系合同鐵鋼勞働組合は十一日同組合所屬勞働者が明年一月十五日午前零時を期して一齊に總罷業を開始するに決定した旨發表した、同組合はさきに全米の製鐵會社に對し一日平均二弗の賃銀引上げを要求、これに對し會社側は鐵鋼價格の引上げなくしては賃銀引上げ要求を容れることが不可能であると拒否、組合當局は既に全米の組合員に對して罷業投票を行ひ壓倒的多數の支持を得てゐる、鐵鋼組合員の數は全米にわたり百萬に近く、もしこれが總罷業を決定すれば米國有史以來最大の罷業とならう、罷業決定聲明と共に同組合の賃銀政策委員會は特に決議を行ひトルーマン大統領の「實狀調査委員會」の新設による罷業調停方式を痛烈に非難した

パール・バック演説

(ニューヨーク十一日)パール・バック女史は十一日アスター・ホテルの年次ノーベル記念晩餐會に臨み

米國は即時強硬な宣言を發表してアジア諸民族の自由支持の態度を明らかにすべきである、米國は一九四二年春、アジア民族の外國による支配に對する鬭争に對して全的な支持を與へる旨を宣言すべきであつた、それをしなかつたために彼等の對米心理は次第に憎惡に變形して行つた、原子爆彈が米國に與へた損害は既に潰滅的であり、アジア民族の對米感情は不信用から出發していまや憎惡心に結晶しつつあると述べた

【戦後處理】

サイクロトロン問題重大化

(ワシントン十一日)陸軍省は日本進駐米國軍による日本のサイクロトロン破壊に關しマツカーサー司令部に報告を要求したとみられる、即ち陸軍のスポークスマンは記者團の質問に答へて

サイクロトロン破壊問題は現在陸軍省とマツカーサー司令部の討議題目になつてゐると言明したといはれる

【歐洲】

聯合國、獨經濟を援助

(ワシントン十一日)國務省はドイツの援助を目的とする大規模の經濟政策を十一日發表した、同政策はドイツにおける疾病と社會不安を阻止するため、米國その他聯合國が將來二ケ年間でドイツの輸入を賄ふことを骨子とするもので、援助金額は明らかにされてゐないが、米國の負擔額は數億弗に上るものとみられてゐる

澳軍事團體の解散を指令

(ウィーン十一日)聯合國オーストリア管理々事會はオーストリア政府に對してあらゆる軍事團體の即時解散を十一日指令した

他占領地帯への旅行禁止

(リュネベルグ十一日)ドイツ占領地帯の英軍政府は、英占領地帯から他の占領地帯に向ふ一切の旅行を十一日以降禁止した

【ユダヤ人問題】

合同委員會の手續

(ロンドン十一日)英政府當局筋は十一日、パレスチナ米英合同委員會の手續に關し次の通り言明した

米英兩國代表は夫々別個の豫備會談をワシントンとロンドンで開催する筈である、この豫備會談の後、ハッチソン米國首席代表とシングルトン英國首席代表とがロンドンで同委員會の事務的細目を討議し、その後で同委員會の全員會議が行はれ、各國を訪問すべき小委員會が構成されよう、小委員會はソ聯軍が占領してゐる諸國へも調査の手を伸ばすかも知れない



共産黨とド・ゴール

井上 勇

△對立のкокテル

「кокテル・デ・コントレール」内閣——寄木内閣とでも譯すのであらうか、ド・ゴール新内閣は十一月二十三日、憲法議會の満場一致の信任投票を得て成立したが、そして間もなくル・グラシ・シャルリーは五十五歳の誕辰を迎へ、正に轉落せんとした彼の政治的生命は斷崖の間際で救はれると共に、榮光の頂天にまで引上げられた、ド・ゴールの新太陽系は二十一名の閣僚の星で飾られてゐるが、その主なる衛星である外務は、元通り人民共和運動のジョルジュ・ビドーが占め、内務には社會黨のアドリアン・テイクシエが坐つた、ド・ゴール自身が三軍の總司令官になつて、國防省を握つたことは既に報告したが、その下位に立つ軍需省だけは共産黨が貰ひ、軍事省には人民共和黨員が入つた、社會黨のレオン・ブルーム人民共和運動のモリス・シューマン、共産黨のモリス・トレーズの三黨首は無任所相として入閣してゐる、共産黨はその他に國家經濟省、工業生産省、勞働省を得て、總員五名、これは人民共和、社會兩黨と同數で、爾餘の椅子は無所屬をも含めて各政派に按分比例で分かれた、正に「對立のкокテル」である

△共産黨の作戰

кокテルはうまく杯に收つたが、これがうまく混り合ひ、溶け合つて調和の味が出るかどうかは今後のド・ゴールのセーカリーの振り方一つである、共産黨は總選舉の結果を見て、ド・ゴールを縮出す好機到來とばかりに、ド・ゴールが承知しさうにもない内務、外務、國防の三つの椅子を要求して、組閣工作を一應破綻させ、社會黨抱込みにかかつたが、社會黨はその手に乗らなかつた、ロンドンから急遽馳せつけたブルームは、共産黨から

の社會黨候補支持申込みを態よく斷つて、ド・ゴールと共産黨との妥協仲介役を買つて出た、ブルームの心中には、共産黨の支持で、自黨内閣が生れた場合は、黨の左翼分子は共産黨に喰はれてしまつて、黨は潰滅的な打撃をうけることを怖れたであらうし、また、一時ド・ゴールを失脚させて見たところで、總選舉の趨向から見ても、ド・ゴールが再舉して現在よりも一層強力な背景をもつてカム・バックすることは明白である、その時の社會黨の惨めさも考へたであらう

共産黨側では策戰圖に當らないと見ると、あつさりド・ゴールに膝を折つたが、それはこの冬の食糧、燃料危機を自分で切り抜ける良策もなく、いま周章で政權をとつて見たにしても、フランスが當面する社會、經濟の大變革問題に、共產主義理論を徹底的に適用し得る自信もなく、いづれ誰がやつても不人氣に違ひない當分の間の政權はド・ゴールに預けて、おもむろに熟柿の落ちるのを待つ賢明さを探つたものであらう、そして利きすぎたジンのやうにセーカリーの中で暴れると同時に、世間に出ては「反動の權化」ド・ゴールを叩いて人氣集めをやらうといふのである、共産黨の頭腦はモリス・トレーズであるが、「ニユーズ・ウィーク」誌十二月三日號に彼の小傳が載つてゐるのでついでに紹介しよう

△トレーズ小傳

共産黨内で直接の目標、作戰を決定するのは「現實主義者」のトレーズで、四十五歳の働き盛り、黨の理論指導、宣傳は不死身のジャック・デユクロである、トレーズが共産黨入りをしたのは二十の年で、黨の長老マルセル・カシヤンの許に弟子入りをした、そしてフランス社會運動案に特筆すべき一九二〇年のツール社會黨の大會で叛旗を翻して、フランスに初めて共産黨を組織した三千人の内の一人である、トレーズには格別の學歴はなく、獨學で今日を築き上げたが、マルクスの理論の大家であると同時に、世界文學の通人である、彼の演説を聞いてゐるとバルザック、シエク

時事通信

海外電報

第三編 海外電報

スピアの美辭麗句が長々と引用されるが、その博覽強記には驚くべきものがある、黨の前線に立つ闘士として、何千、何萬の聴衆を相手に野天で喋舌りつづける訓練を経た彼の辯舌は、また相當なものたらざるを得ない

ところで、彼は同志からは「モリス」と半ば愛情と畏怖とをもつて呼ばれ親しまれてゐるが、平黨員には減多に演壇以外では會ふことがなく、その私生活は全くの神祕につつまれてゐる、例へば彼には二十になる悍があり、學校では鑛山學をやつてゐるが、誰れがその母親であり、いまだここにゐるかは誰も知らない、トレーズの一家は三代に亘る鑛山師である、そのほかにトレーズにはジャン九歳、ポール五歳といふ二人の少年と、その母親でトレーズの「お友達」の共產黨代議士ジヤネット・ヴェルメルシュといふ女がある、しかし、果して結婚したのか、しないのかはわかつてゐない、モリス、ジヤネット、ジャン、ポール、ジヤネットの妹と母親、乳母、五六人の護衛がトレーズの家庭を構成してゐるが、家はパリ郊外クリシイにあつて古風な塔のついた十八世紀時代の館「シャトー」である、然し共產黨の幹部以外にその邸の内部を見たものはない、訪問したところで「モリス」の特別な命令のない限り、護衛から斷られてしまふ、邸の周圍には相當廣い庭園があり、その外側は六呎近い灰色の石塀が取圍み、その上には尖つた鐵の釘が植つてゐる、邸は共產黨の財産で、トレーズの私有ではなく、費用萬端は黨資金の内から支出されてゐる

起床は六時半、三十分間運動、朝飯には、強く、口を焼くほど熱い珈琲、一點の非の打ちどころもない身だしなみ、そこで護衛に兩側を守られて黨本部へ出勤、八時、美食家のデュクロと違つて彼の生活は極めて簡素、酒も食事時ほんの一杯位ワインに手をつけるだけだ、時間の大部分は黨の事務、演説、讀書に費される

トレーズの私生活のうちで最大の祕密は、一九三九年から一九四四年までの期間をどこで暮したかといふ問題である、彼は大戰が勃發するや直ちに召集されて東部國境に送られたが、その十一月、休暇を得てパリに立歸ると同時に行方不明と

なり、「軍事法廷」は脱走者として死刑を宣告した、當時の説ではスペインの旅券をもつて翌年一月スイスに入國、そのまゝ一九四四年三月まで止つて後ソ聯入りをしたといふことになつてゐる、ソ聯入りについては、故レーニンの故智になつて、ナチ政府がドイツ占領地通過を許したといふ説もある、英國の「レヴニュー・オブ・ワールド・アフェアズ」によると、ナチ・ドイツがソ聯攻撃に乘出す前、ソ聯とナチ政府との間では、フランスに共產黨政權を樹立して、トレーズをその首班にする約束が出来てゐたといはれるが、それはどうかと思はれる

同誌によると、トレーズが脱走したのは黨の中央執行委員會の決定に基いたもので、當時のダラディエ内閣が共產黨狩りに着手して、黨出身代議士は一網打盡されつゝあつたので、トレーズも何れ捕まるに相違ないといふのが理由だつた、ダラディエ内閣につかまつた共產黨代議士六十餘名は後アフリカに流刑され、それがド・ゴールの北阿政權に合流した話はそののちのことである、共產黨側のいひ分では、トレーズは脱走後、パリ附近の小さな農家にかくまはれて、そこで黨の指揮、宣傳に當つてゐたが、在り家を知つてゐたのは幹部の三、四名にすぎなかつた、ソ聯に向けて立つたのは一九三三年で、スターリンに呼ばれたためで、モスクワでは第三インターの解散の議に參劃した、モスクワが安全になると共に、ジヤネットと二人の子供もモスクワ入りをし、フランスが解放と共にド・ゴールの特赦を得て歸佛したものである

「ニューズ・ウィーク」誌によれば、トレーズがいまもなほ持つてゐるモスクワの寒い冬のための深々とした毛皮の外套、雪帽子は、共產黨側では「古代の遺物」だといひ、反對派は次のモスクワ入りのための準備だと冷やかしてゐるといふが、問題は毛皮の外套や帽子ではなく、彼が持つてゐる闘争精神であり、ド・ゴール政權にとつては、トレーズの存在は絶え間ない脅威を構成する、いま虎は一時檻に入れられたが、使ひ手も一緒の檻の中にゐたのでは、その方が更に危険だといふことにならぬとも考へられる



太平洋かアメリカの湖か

エリナー・ラチモア

△問題のありかた

最近われわれはしばしば、米國は太平洋をもつてアメリカの湖とするといふ話を聞かされる、われわれは何の權威をもつて、そのやうな事が出来る權利を持つてゐるか、乃至は、米國のかかる要求は、同じく太平洋に利害を有する他の國々と米國との關係に、如何なる影響を與へるか等については殆ど聞くところがない、海軍當局、議會の諸委員會が新聞紙上に發表した諸々の聲明は、ルーズヴェルト、トルーマン兩大統領、その他の使節が大西洋憲章の中で、またはカイロ、サンフランシスコ、ボツダムで行つた他の聲明とは結びつきがないやうに思はれる、國務省はここ數ヶ月の間この問題については格別に沈黙を守つてをり、従つて太平洋諸島の諸基地に關する一般の考へ方には非常な混亂を來たすに至つた

九月五日ワシントンでの新聞會見で海軍次官ストルーヴ・ヘンセル氏は海軍は太平洋における主なる基地の内最少限九つを要求すると語り、そのリストについては海軍長官フォレストル氏も肯定し、後日もつと多くの基地が追加されるかも知れないと述べた、ヘンセル次官によれば、海軍は九大基地のほかにはウエーキ、ミッドウエー、エニオトック、ケゼリン、トラツク等の島々に海軍泊地飛行場を要求するといひ、陸軍はまた陸軍で、飛行基地のために他の場所を要求するかも知れない彼等のいふ主なる基地といふのは、ハワイ、アリユージャンではコジアク、アダツク、カナダ運河の太平洋側バルボア、マリアナ諸島のグアム、サイパン、テニアン、濠洲の委任統治地マヌス、舊日本領硫黃島、琉球諸島の沖縄、それにフィリピンに一基地である、フォレストル長官は戰勝の結果彼は新基地を絶體的に保有することを支持するかどうか、國際信託制度の下に、これを運営するかどうかについてはつきりした方針を明言してゐないが、艦隊司令長官アーネスト・J・キング提督は下院海軍委員會で九月十九日、信託制度

よりも米國主權の方を可すると述べてゐる
本問題に更に説明を與へ、且つ海軍が追加要求するかも知れぬ他の諸基地について示唆を與へるものとしては、八月下院海軍委員會小委員會が發表した報告書がある、この報告書はワシントンでは多くの人々に海軍の政策、少くとも海軍の政策作製者の重要な一部の政策を反映するものと信じられてゐるからだ

この小委員會は去る八月、太平洋の諸基地二萬一千哩の視察旅行の後、米國は日本の委任統治諸島及び日本の外廓諸島を「直截に取得」すべきこと、聯合國の領有島嶼に建設された米軍基地については「特別且つ實質的な權利」が與へらるべきこと、聯合國によつて所有または管理されてゐる島嶼の特定基地について、米國は「完全な資格」を與へらるべきことを提言してゐる、この委員會が、米國の取得「せねばならぬ」基地と信じてゐるものの中にはマヌス（現在濠洲領）ヌメア、トンツタ、マゼンタ（以上現在フランス領）エスピリツ、サント（英、佛共領地）ガダルカナル（現在英領）を含んでゐる

小委員會委員の一人であるハワイのジョゼフ・R・フアリンソン議員は、右旅行から歸つたのちホノルルで演説して、マーシャル、カロリン、マリアナ、パラオの諸群島は米國の不可分の一部となし「太平洋の領域」テリトリ・オブ・ザ・パシフィックと呼稱し、濠洲からはマヌス、フランスからはニュー・カレドニアを獲得して「米國の南方の側腹を保護」し、硫黃島、沖縄の如き島嶼は、恐らくは信託制度の下におくかどうかして支配權を取得することを提議した

下院豫算委員會、陸軍部小委員會も最近三十九日間に亘る陸軍々事施設の視察旅行後、幾分より非妥協的形式ではあるが、大體同じやうな意見を表明し、十月一日トルーマン大統領に對して「米國は太平洋における舊日本領島嶼を保有し、戰事中米軍によりて占領された聯合國領諸島に基地を獲得するために交渉」すべきことを建言してゐる

△領土の一部だに望まず

多くの米國人はこれらの計畫、提案と、米國は「領土的または他の擴大を求めず」とした大西洋憲章「三大聯合國は自らのための利得をむさばらず

時事通信

海外電報

第三頁

領土的擴張の意思を持たず」としたカイロ宣言の聲明、「この戦争によつて米國が欲する領土の一片もない」としたボツダムにおけるトルーマン大統領の聲明、または聯合國憲章と調和せしめるに困難を感じてゐる

米國が太平洋における平和維持について責任の最大部分を負荷しなくてはならないこと、米國が舊日本領島嶼について要求する最大の資格者であり、最も強大な利害を有することについては何人にも疑問の餘地はないやうに思はれる、しかし、假令日本領島嶼と雖も米國によつて「直截に取得」さるべきものでなく、聯合國の信託をうけて米國によつて支配さるべきものだと思つてゐる多くの人々がある

海軍部小委員會を構成する四名の下院議員は十九日間に亘り、約三十の太平洋基地を訪問し、マツカーサー元帥、ニミツツ元帥、その他島々の司令官、將兵、海員、海兵隊員、「土民」たちと會談した、しかし、太平洋の諸基地を米國が保有すべしとなす彼等の提案を四つの事由に基いて正當だとしてゐる、即ち、(一)これ等の基地取得に當つて支拂つた米國人の生命の損失、(二)基地の設置施設に當つて米國が支拂つた莫大な費用(三)太平洋及び世界の平和維持について世界が米國に依存することの大、(四)これらの島嶼の土民が明らかに米國の統治を希望してゐることである

「換言すれば、吾々は殆んど隻手をもつて太平洋の平和を回復した、若しこの平和を維持する責任が米國に負はされるものとすれば、米國は平和維持のための權威と方途とを與へらるべきである」その主たる方法の一つは太平洋の作戦的島嶼に權威を持つことである」と報告書は述べてゐる

報告書を通じて暗黙のうちに米國は太平洋の平和維持に責任ある唯一の國であり、それは米國のみが太平洋地域に平和を維持する實力を持つてゐるからであり、それ故にこの目的のために必要とするいかなる領土をも取得する權利があるといふ主張が明らかに觀取出來る、他の諸國が責任の一部を負ふとか、共同責任を持つとかいふ示唆はどこにも與へられてゐない、ただ一ヶ所、上記委員

會は「國際組織について聯合國會議が起草した憲章は、會議に参加した重なる諸國によつて承認される」と信する旨の記載があるが、そこには協力の問題には觸れられてゐない

普通一般の米國民には、米國が太平洋に必要とする基地がどれであるか、どれだけであるかを知ることが明らかに不可能である、吾々に較べて議會の小委員會は現在この點につき遙かに多くを知つてゐるものと解すべきであるが、吾々にしても小委員會の人々にしても、結局防衛の作戦決定には防衛を職業とする人間を信賴するほかない點において同じである、だが基地を獲得し、これを保持するための方法は、普通國民にとつても正當な關心事であることには變りない、そこには單に海軍、陸軍の問題のみならず政治問題が含まれてゐるからだ——先行すべき諸問題、他の諸國及び聯合國組織と米國との關係の問題があるからだ、勿論吾々が、安全保障のために必要であり、吾々は強力であつたためこれを占領したことを理由にしてガダルカナル、ニスビリツ・サントを取得しなくてはならぬと主張するとすれば、ソ聯が安全保障と、ソ聯もまた強力であることを理由にしてトリポリタニア、エリトリアを必要とするといった場合、米國はこれに對して一言もないわけだ

△一方的行動が招來するもの

米國が着手しようとしてゐるかに見えるこの擱取り行動が持つ皮肉性は、かかる行動を全く不必要とするところに存してゐる、われわれが日本の島々を奪ひ取らないならば、この島々が米國に轉がりこんで來るだらうことは何人にも異存はあるまい、米國の議會人が濠洲、英國、フランスは餘り遠すぎ、あまりに弱くまたあまりに貧乏で、マヌス、ニュー・カレドニア、エスピリツ・サントガダルカナルを維持し防衛することが出來ないと考へてゐることが正しいとすれば、これ等の諸國は米國が「權利」として「要求」しないでも、その防衛のために米國を悦んで受入れらるだらうことは疑ひない

然りとすれば小委員會の報告によつて暗示されてゐる帝國主義的匂ひのする一方的行動をやつた

場合はどんなことになるか、換言すれば、米國が保有繼續を欲してゐる島々の占領をば他の聯合國の眼に對して、その何れの國に對する米國の友情にも變化を來たらしめることなく、如何にして正當化することが出来るかといふことである。

一つの假定としては、如何なる領土と雖も關係諸國によつて調印された條約により米國に直轄に與へることが出来るわけであり、また聯合國組織の信託制度によつて、米國に信託することも可能である、信託協定もまた關係諸國の調印を得ねばならぬ、日本の委任統治地、その他第一次世界大戰の結果ドイツから取上げた領土については誰がその處置に當るかなほ疑問の餘地がある、マリアナ、カロリン、マーシャルの諸島はヴェルサイユ條約により主なる同盟聯合諸國に譲渡され、やがて日本に委任統治されることになつた、爾來これら諸島の主權が同盟聯合諸國にあるのか、または委任統治國が報告提出の義務を負つてゐた國際聯盟に委譲されたものと解すべきかについて多少の問題があつた、この問題はいまや解決せざるを得ない段階に達してゐるが、重大な問題では決してしまふことは、前大戰の終末の手續に比べるゝと時代逆行的であるといふことである、前大戰の際は敵領地は委任統治に付せられ、委任した諸國は國際的組織に對してある程度の責任を持たねばならなかつた。

△國際聯盟の委任統治組織

國際聯盟の委任統治制度の下では、幾多の點で不完全ではあつたが、從屬民族の統治について國際的責任を持たせたことにおいて重大な進歩だつたといひ得る、しかし最近米國人のみならず英國人、その他官邊の聲明について見ると委任統治制度乃至は國際責任の觀念は放棄さるべきものとするものが多い。

サンフランシスコにおいて提議された聯合國憲章は、國際聯盟の委任統治制度に極めてよく似てゐるが、ある點ではそれに優つた機構を規定してゐる、それによると、敵國から分離さるべき領土は一國或ひは數國、又は聯合國組織への信託領土

として國際信託制度の下に置かうといふのである。この制度の下では、特定の地域は「作戰要地」として指定され、これ等作戰地域に關しての聯合國の凡ゆる機能的聯合國組織の保障理事會によつて實施されることになる。

多くの人には日本の舊委任統治諸島の唯一の信託國として米國が指名さるべきであり、米國が直裁簡明にこれを合併したと同様な「絶對的支配」を安全保障の目的のために之等の島に行使すべきであるが、政治的理由によりて信託協定が望まないと信じてゐる、例へば九月二十九日スナナー・ウエールズを名譽會長とする米國聯合國協會は、世界組織が當面する國際諸懸案についての行動計畫を發表しゐるが、その提案の一つに「太平洋において米軍が占領した作戰諸基地は聯合軍信託制度の下におくべきである」といふ一項がある。

△保障帝國主義の非難

論說、解説の多くのものは、米國が假令それは嚴密に安全保障を目的とするにしても結局「領土擴大、擴張」と同じ「保障帝國主義」の路を歩み始めたと指摘してゐる、海軍當局は一方において日本委任統治地の場合については、これ等の島は法律的には日本に統治を委任されたものであるが現實には日本に「附屬」したものであることを指摘してゐる、日本は委任統治の條件を無視して秘密裡に要塞化してゐたからである、米國は高價な生命と物資との代價を支拂つてこれを日本から取得した、してみればこれ等の島は米國に「附屬」とするといふのがその主張である。

かかる見解の代辯者達は「所有は法律の十分の一である」との地位をとるもので、われわれは現にそこにをり、そこにゐる權利が否認されるまではそのまま止つてゐようといふのである、ある者例へば海軍部小委員會の如きは、この理論の適用を日本の委任統治領の外にまで延長して、米國の聯合國に屬する島に、またはその島々にある基地をまで含めようとしてゐる、歸趨を知らぬ一般大衆は、かかる帝國主義臭のある立場は米國と他の聯合諸國の間に、暗黙乃至は他の方法で一種の諒解があつてのことであらうと推定し勝ちである。

この點については第一次大戰後におけるマーシ

ヤル、カロリン、マリアナの處置に比較して興味深いものがある、一九一四年十月末、日本は之等の島嶼に完全支配を確立し、戦争が終るまで四ヶ年占領をつづけてゐた、日本は勿論その本土の安全保障と防衛のためにしかし重要性のあるこれ等の島の所有を繼續することを欲し、戦争の終るに先立つてその要求を支持するやう、聯合諸國の同意を取付けることによつて自己防衛を計つた、少くとも日本はさう考へてゐた、この同意は一九一七年二月及び三月、英國、フランス、ロシア、イタリアと秘密諒解に達することによつて得られたしかしバリの平和會議において、多くの議論の後ドイツから取上げた領土は、戰勝國によつて單純に合併されるべきでなく、委任統治制度の下におかるべきことが決定され、これは後になつて聯盟規約第二十二條となつた、かくて日本は一九一七年の秘密諒解事項において、日本に與へられた舊ドイツ領島嶼に對する領土的權利を得なかつたばかりでなく、主なる聯合國によつてC項の委任統治と決定され、聯盟規約の拘束をうけることになつた

第二次世界大戰の終末期においても、米國が求めてゐる太平洋基地を、米國に與へる約束をした同様な秘密諒解事項があるといふ話が行はれてゐた、海軍省當局及び議會人によつて行はれた聲明のあるもの、及びそれが諸外國に與へた反響の極めて微弱であつたことは、かかる諒解があることに基いてゐるかの如き印象を與へた、若し、しかりとすれば、これを公表することによつて輿論は極めて明朗となるはずである、若し關係諸國の眞率な協定の結果として、これ等太平洋の島嶼基地の主權が米國に與へられ、または信託されるものとすれば、協定の條件如何については、反對論は殆んどないに違ひない、大衆が欲してゐるのは國際的協定であり、反對するのは秘密主義であるからだ

△濠洲における反響

マヌス島の場合では、米海軍が特にその必要を説いてゐるのであるが、濠洲において多少の反響があつた、九月十四日濠洲の下院で左の質疑應答

が行はれた

問 外相代理はマヌス島(アドミラルティ諸島)が、米國海軍次官の言による米國側が基地を設定し維持せんとしてゐる太平洋島嶼のリストの中に含まれてゐるといふ新聞報に氣付いたか

答 氣付いてゐる

問 マヌス島は濠洲委任統治領ニューギニアの一部であり、マツカーサー元帥が、この領土を日本軍から回復するに當り、濠洲軍が不可欠の役割をつとめたと公けに承認したことは事實であるか

答 然り

問 外相代理は本件について議會に聲明する意思ありや

答 然り、マヌス島は一九一九年ドイツとの平和條約第一部に規定された條件により、一九二〇年十二月十七日委任統治機關によつて決定されたニューギニアの委任統治領境界内にある、聯合國憲章の信託制度の規定は委任統治領を含めて、各領土におけるあらゆる既存の權益を尊重することを特記してゐる、これ等の權利については責任國(この場合は濠洲であるが)の同意がない限り變更は認められない、聯合國憲章の安全保障規定は、保障理事會に對して兵力及び便宜を供與する義務を課してゐる、この義務の正確な範圍は保障理事會の協定條件によつて決定されるべきものである(第四十三條)かかる問題についての決定に當り、また基地に關して行はるべき交渉に當つては政府は戰爭中に得た經驗をもつて指針とするであらう

濠洲はマヌス島に米軍基地を有することについては、いまだ反對の意向を表明したことは一度もないが、同時に基地は國際化されることを希望してゐる

マヌスは太平洋に於る最も良好な泊地の一つであり、米國の安全保障の爲よりも遙かに濠洲及び南太平洋地域の保護の爲重要である、「ワシントン・ポスト」紙は九月七日の社説で「われわれは平和維持の爲の國際的努力に参加したと同時に、陸海の基地計畫に當つてもこの事實を忘却してはな

らない、濠洲、英國、その他の國がこの基地に基本的利益を有することを認め、これを聯合諸國の監理下におくことが何故悪いか」と指摘してゐる

米國の單獨支配の權利について問題視されてゐる島に沖繩がある、戦争が終る前、琉球に對して中國側の有する要求についてあまたの記事が中國の新聞に現れた、中國の要求の合法制は別として沖繩が支那本土に極めて接近した位置にある事實は争ふ餘地なく、その行政について中國がある程度の發言權を要求するのは自然である、九月マニラにおける會見で第五艦隊司令長官スプルーアンズ提督は、この苦戰の揚句得た島を米國が保有することの賢明であるかどうかに疑惑を表明し「若し米國の沿岸を封鎖する列島線が外國によつて持たれるといふことになれば、われわれは晏如たり得ないだらう」と述べてゐる、「ワシントン・ポスト」紙は上記の論說の中で「沖繩の基地が日本を監督するのに必要であるとしても、何故その責任を中國及び他の聯合國と分擔して悪いといふ理由があるか、かかる基地問題について決定するに當り米國は新しい平和制度に信頼をおくことを顯示すべき立場にある」と述べてゐる

議會人及び海軍官憲方面からの太平洋基地に關しての意見は屢々聞かされてゐるが、國務省から何等政策の發表はない、敵領土の處置及び聯合國に屬する領土における基地獲得の問題には外交政策及び國際關係の問題が併せ含まれてをり、國務省による問題の解明は、アメリカの公衆のみならず、我々の聯合國によつても歡迎されるであらう

世界は米國の海軍が太平洋諸基地の長期占領のために準備し、軍政官の訓練をしてゐることを知つてゐる故に、國務省としては、米國は他の諸國と共に會つての敵領土に對しては聯合國組織による信託制度の適用を考慮してをり、米國に信託された場合のために、かかる領土の行政のため計畫を作りつつある旨を説明するのが政治的であると思ふ

△政治的考慮と作戰

フォレスト長官並びにキング提督は九月十九日下院海軍委員會で、小委員會の提案に對する見

解を質された時、國務省の見解を聞くべきことを示唆した、委員會が國務省をして、彼等は何を爲さんとしてゐるかを言明させることに成功することを希望してやまない、何故ならば「ワシントン・ポスト」紙の記者が指摘した如く「作戰的強力地點の配分問題につき、政治的考慮が作戰と手を携へて進むことを力説すべきは軍部の仕事でなく、政府及び議會の任務であるからだ」

(「フア・イースタン・サーヴェー」誌十一月七日號)

醫學界の原子力研究

(ロチェスター十日)ロチェスター大學當局は、十日原子力の醫學上の研究に關しつぎの通り發表した

「原子エネルギー生産から得られると考へられる種々の恩恵を探る醫學的研究が大學内の秘密研究所で行はれてゐる、放射を長期または一時に大量的に與へた場合の効果を観察することによつて、普通の醫療に見る震盪の治療には重要な成果が得られると思はれる、しかしながら本大學の研究の結果として各種平時醫學に重要な貢獻が期待される一方、これを分類専門化することによる進歩は更に大きいにちがひない」

「本大學の研究は、放射試験に供された雌雄の蠅や二十日鼠から生れた仔に影響があればどんな影響かといふやうな問題から、百萬ボルトのX線機械の使用をも含む他の諸研究に至るまで行はれてゐる、各種放射露出の組織及び器官に及ぼす作用については重要な臨床的結果が得られた

「全國數百の工場において原子爆彈製作に従事した數萬の従業員のうち放射その他類似現象により傷害を蒙つた者は一人もゐない」

ロチェスター大學における研究計畫は一九四三年三月に着手されたが、その目標は次の四點だ

- 一、就業の身體検査の分析と、危険作業に従事した後の従業員の反覆再検査
- 二、危険露出量の決定及びかかる危険からの従業員の保護
- 三、ウラニウム粉末からの従業員の保護
- 四、直接放射露出の作用に關する研究

昭和二十年十二月十五日(土)
第三七號

時事通信

海外電報

(37)

目次

自由貿易國卓會議を招請	三七〇
國際聯合總會延期	...
佛、モスクワ會談に不満	...
英佛レヴァント撤兵協定成立	三七一
瑞西新大統領選舉	...
爭議取締法案下院通過	...
GM爭議事實調查會任命	...
電信從業員も罷業決定	...
ペロン、立候補を聲明	...
墨、對亞共同干涉案を拒否	...
【西 亞】	...
イラン首相訪ソ	三七二
【國際會議】	...
過大の期待を戒む	...
【戰後處理】	...
極東諮問委員會訪日豫定	...
占領兵力を最小限度に	...
【ユタヤ人問題】	...
移住決議案を承認	...
【米 國】	...
ハルゼー提督に殊勳章	...
ナ・リーグ選手團B 29で出發	...
【歐 洲】	...
伊西貿易協定成る	三七三
スペイン獨金貨引渡し	...
佛の一時間罷業	...
【英 帝 國】	...
獨立要求を決議	...
原始狀態を現出	...
【原子エネルギー】	...
原子爆彈試驗ソ聯も立會か	...
カーネギー原子委員會	...
【今日の話題】	...
北太平洋空路開設を要求	三七四
世界的航空世紀現出か	...
桑港リパリ間二十四時間	...
B 29新記録樹立	...
【特 輯】	...
米紙論調覗き眼鏡(三・完)	三七五
【資 料】	...
米國海軍第三次報告	三七七
日本の敗北	三七九

「ジエネラル・モータース社の大罷業はいまだ解決の曙光さへみせず、これに加へて過般米賃銀引上げ要求をめぐつて不穩な動きを示してゐたCIO系の合同鐵鋼労働者組合が新たに總罷業を決定するなど、米國の労働不安は全國にわたつて益々激化の一途を辿つてゐる模様だ、國務省國際情報部の推定によれば、全米にわたる大小の罷業により、十一日現在で就業してゐない労働者の數は實に四十七萬に達してゐるといはれる

戰爭中は勿論、それ以前の過去に遡つて米國労働界の動きを見るに、米國の労働爭議には一定の波があり、今回の労働罷業の頻發もその波の一つたる周期的現象とも見られるが、なほ且つ現在の労働不安の激化には數多くの特殊な性格、現象が認められる、その主なものを指摘すれば



一、労働者の賃銀引上げ要求がインフレ問題と密接な關係を持つてゐることである、たとへばジエネラル・モータース社の合同自動車労働組合は三〇%の、又合同鐵鋼組合は一日二弗の引上げを要求してゐるが、その根據は生計費の昂騰におかれてゐる、

之に對し資本家側は、製品價格の引上げなくしては財政的に労働者の要求を容れることは不可能だとの立場をとり、かく見るとき、米國が現在直面する二大問題たる労働不安とインフレとは二つにして一つだといふことができよう

「、戰時中も米國には大規模な罷業はあつたが、なほ「無罷業誓約」等によつて労働爭議の抑壓されたことは事實であり、戰時中に蓄積した勞資双方の不満が戰爭終結と共に爆發したと見られ、このことはトルーマン大統領も最近の労働教書において特に指摘してゐる

一、ジエネラル・モータース社の罷業では労働者側は經營への参加をも主張し、會社帳簿の閲覧を要求、これに對し會社側は、經營權の侵略なりと強硬に反對してゐるが、労働陣營の積極的攻勢の一つの現はれである

自由貿易圓卓會議を招請

(ワシントン十三日) 米國政府は英國との金融貿易協定締結に際し、自由貿易確立に關する白書を關係各國政府に傳達したが、右白書の趣旨に基き近く歐洲において「圓卓會議」を開催、一九四六年夏に豫定される「貿易と就業の會議」について豫備的討議を遂げるに決定した

國務省當局は右圓卓會議について、十三日次の通り言明した

「國際聯合の貿易と就業とに關する會議への準備として、世界の貿易國十四ヶ國を招請して圓卓會議を開催し、通商障壁を撤去し、國際貿易の擴大を企圖する方針だ、招請した國々は

英國、ソヴェト聯邦、フランス、カナダ、ブラジル、濠洲、キューバ、ニュージーランド、ベルギー、オランダ、南阿聯邦、チエコスロバキア、印度

だ、會議の日取はまだ極つてゐないが、多分來春になると思ふ、會議地は、米國政府が招請する會議だが、歐洲のどこかに落着くだらう、米國政府が個々に各國と商議を遂げるのでは仲々厄介だし圓卓會議を開けば、各國は本格的な國際會議に先立つて、それぞれの國の立場を知ることが出來よう、會議地を歐洲に選んだのも、歐洲各國の代表が本國政府と打合せるために便宜だらうといふ考慮からだ」

國際聯合總會延期

(サンフランシスコ十三日) ロンドン來電によれば、國際聯合準備委員會進行委員會は十二日、一月七日開催豫定の第一回總會を十日まで延期することに決定したといはれる、總會には幾多重要問題の提出が豫想されてゐるが、「ニューヨーク・タイムズ」紙特派員シドニー・グルーソンは十二日の電報で、準備委員會七國委員會が十一日の非公開會議で、信託統治理事會に關する面倒な問題を一月の總會の日程に残すことに決定した旨報道、次の通り述べてゐる

これは事實上、常設信託統治理事會代表權の基礎に關する規定については總會の會期滿了前に

信託統治協定を作成し承認すればよいと主張し續けてゐたソヴェト聯邦の勝利である、ともに日程の變更を不可能だと信じてゐた米英兩國も臨時機關案を引込めて總會で信託統治協定問題に關し決定するといふ氣持になつた、進行委員會が總會延期を決定したのは、報告書準備の技術的困難のためであり、總會開催前に三大國外相のモスクワ會談を終了せしめるためでもある一方準備委員會本部常設地委員會は十二日第五日に入つたが、ソヴェト聯邦首席代表グロムイコ大使は依然本部米國説を主張

米國以外に適當な場所は考へられない、歐洲に本部をおいたのでは、國際聯合は世界的な組織でなく地方的機構に墮してしまふ、對象は世界全體でなければならぬ

と論じた、これに對しフランス代表ルネ・マシグりは強硬に反對し

安全保障理事會で拒否權をもつ大國はどこも本部所在地には出來ない、拒否權と本部と兩方を持つては勝手なことが出来るやうになる

と述べた、本部常設地委員會は十四日まで休會する筈である

佛、モスクワ會談に不満

(パリ十三日) 今回のモスクワ會談がボツダム議定書に基く五ヶ國外相會議でなくヤルタ協定に基く米英ソ三國外相會議であるため、閉め出されたフランスは相當不満に思つてゐる様子で、ビドー外相は十三日憲法會議の外交委員會において次の通り不満をぶちまけた

今回のモスクワ會談によつて、再び三國だけの話し合ひで國際問題を處理して行く政策に復歸したことは明瞭となつた、かうした遣り口では將來完全な國際協調を實現することは不可能である

英佛レヴァント撤兵協定成立

(ロンドン十三日) 英國外相サー・アーネスト・ベヴィンは十三日下院において次の通り發表した。英國政府はフランス政府との間にシリア、レバノンからの撤兵につき交渉を進めてゐたが、十三日共同撤兵に關する協定が正式に成立した。右協定の内容はいまだ明かにされてゐないが「ニューヨーク・タイムズ」紙によれば、國際聯合が駐屯軍を派遣出来るやうになれば、英佛兩國はシリア、レバノンから直ちに撤兵する事を規定したものとはいはれる、レヴァント問題はフランス對シリア、レバノンの紛争から英佛兩國間の國際紛争まで發展、英國が紛争解決のために米英佛三國會談の開催を提案したに對して、フランスはソ聯及び中國を含む五ヶ國會談を主張して譲らず、結局國際會談はお流れとなつて、英佛兩國間の單獨交渉に移つてゐたものである。

レヴァント紛争はシリア、レバノン兩國がフランス軍隊の撤収を要求したのに端を發し、フランスは英國もまたレヴァントから撤兵しない限り要求に應じ得ないといふ立場を採つてゐたものであるが、今回の撤兵協定の成立により、過去半ヶ年の紛争も漸く解決の緒に就いた譯だ。

瑞西新大統領選舉

(ベルン十三日) スイス聯邦議會は十三日一六五票對四七票でカルル・コベルト博士を一九四六年度聯邦大統領に選舉した、コベルト博士は急進黨員で現大統領農民中產黨のエツアルド・フォン・シュタイガーの任期が本年末をもつて満了するについて選舉されたものである、なほ副大統領にはフリーツプ・エツター博士が選舉された。

爭議取締法案下院通過

(ワシントン十三日) 下院は十二日「勞働爭議暴力取締法案」を可決、上院に廻附した、この法案は州際商業において勞働組員たるを否とを問はず「暴力」を揮つたものに刑法上の罪科を課さんとするもので、勞働陣營から猛烈な反對があつたにも拘はらず、遂に下院を通過したが、これは最

近の勞働爭議の頻發に對する議會方面の態度を反映したものと思われる。

G M 爭議事實調查會任命

(ワシントン十三日) トルーマン大統領は十二日の記者團會見で、ジエネラル・モータース社における勞働罷業に對し「實狀調查委員會」を設置、委員長に最近の勞資會議々長だつたウォルター・ステイシーを、委員に戰時勞働局長官ロイド・ギヤリソン、キャンサス州立大學々長ミルトン・アイゼンハワリーの兩名を任命した旨發表した、實狀調査委員會は大統領が最近議會へ送つた勞働敎書でその設置を勸告したものだが、大統領はさらに鐵鋼勞働組合の爭議にも近く同様の委員會を任命する意向であると言明した。

電信從業員も罷業決定

(ニューヨーク十三日) 全米にわたる勞働爭議は愈々激化の兆を示してゐるが、最近はAFL系の勞働組合にも波及、米國最大の電信會社ウェスタン・ユニオンの商業電信勞働組合も來る二十一日を期して總罷業に出る旨發表した、總罷業決行の場合は参加人員は約五萬に上り、その影響は全米にわたることとなる。

ペロン、立候補を聲明

(ブエノスアイレス十二日) アルゼンチンのフアツシヨ政治家ホアン・ペロンは十二日、明春の大統領選舉には勞働黨と急進黨の一部の支持の下に立候補する旨正式に聲明した。

墨、對亞共同干涉案を拒否

(メキシコ・シテイ十二日) メキシコ外相は、去る十一月二十二日、ウルグアイ外相が米洲各國に對して送つた「特殊な場合には共同干涉を認めるやう國際手續を變更すべし」とする對アルゼンチン共同干涉案に對する回答を送つた、右回答においてメキシコ外相は不干渉原則の繼續を固執し、ウルグアイ外相の民主主義的思想には同意するも干涉行動には同意出来ぬ旨通告した。

【西 亞】

イラン首相訪ソ

(テヘラン十二日)イラン首相イブラヒム・ハキミはアゼルバイジャン地方の紛擾を解決するためモスクワを訪問する旨十二日發表した、アゼルバイジャン地方に對するイラン軍隊の増派はソ聯當局の阻止にあつて不可能となつてゐるが、外交筋の情報では、同地方のイラン當局は義勇兵を募集して駐屯軍の増強に努めてゐるといはれる

【國際會議】

過大の期待を戒む

(ワシントン十二日)トルーマン大統領は十二日の記者團會見において、モスクワ會談に關し次の通り言明した

モスクワの三國外相會談は大分前から計畫されてゐたもので、次回は明年三、四月にワシントンで開催されることとならう、今回の會談は事務的な性質のもので、何等かの特定の協定でも成立するとみてあまり期待をかけてはならない

【戰後處理】

極東諮問委員會訪日豫定

(ワシントン十二日)聯合國極東諮問委員會各國代表は日本調査旅行のためワシントンに續々集りつつあるが、本部の發表によれば横濱到着は一月十日頃になるといはれる、人員は五十名位になると豫想されてゐる、陸軍機でワシントンを出發するのが十二月二十六日、サンフランシスコ着十二月二十七日、眞珠灣は十二月二十八日で、直ちに海路日本に向ふ、船の名はまだ判つてゐないが、滞日中は船を宿並びに事務所とする、二月十五日までは日本の調査を終つてワシントンに歸着する豫定である、元比島總督だつた委員長フランク・マツコイ少將を團長とし、事務總長の元駐華大使ネルソン・ジョンソンも同行する、代表團は極東諮問委員會参加十ヶ國から出るが、ソ聯が加はる可能性もある、この旅行により日本の國際的地位

を決定すべき長期間の政策の基礎となる資料が得られることが希望されてゐる

占領兵力を最小限に

(ワシントン十二日)參謀本部人事專任次長W・S・ボール少將は十二日上院の調査委員會に證言者として出席

アイゼンハワー參謀總長は太平洋並びに歐洲の司令官たちに對し、占領軍の所要人員を「骨髄」だけに減することを命じた

と述べた、なほ當日の證言によれば、十二月中の歸國兵員は百六萬三千五百人に上る見込みで、十一月は百四萬二千九百十八人だつたといはれる、海軍當局は本年末をもつて戦艦、巡洋艦、空母等を輸送任務から引揚げる旨言明した

【ユダヤ人問題】

移住決議案を承認

(ワシントン十二日)上院外交委員會は十二日、「農業的、經濟的事情が許す限り最大限にユダヤ人をパレスチナに入國せしめる」ことに關し、米國は英國と協力して努力をなすべしとする修正決議案を承認した

【米 國】

ハルゼー提督に殊勳章

(ワシントン十二日)フォレストアル海軍長官は十一日ハルゼー提督の元帥昇任を正式に發表すると同時に、同提督に對し沖繩戰における第三艦隊の功績に鑑み殊勳章を授與した、同提督が殊勳章を授與されたのはこれで四回目である

ナ・リーグ選手團B29で出發

(ニューヨーク十二日)ナショナル・リーグ當局は十一日次の通り發表した
十五名をもつて編成せるナショナル・リーグ選拔野球チームは十三日午前六時、ワシントンからB29に搭乗して一路ホノルルに向ひ、東京を含む太平洋全域に亘る八週間の巡業の途につく

【歐 洲】

伊西貿易協定成る

(ローマ十二日) 經濟新聞「イル・グローボ」所報によれば、新らたにスペイン、イタリア兩國間に通商協定が成立したが、同協定によつて、スペイン内亂時代フランコ將軍がイタリアから供給された軍需資材代金の内三分の一、約五十億リラ(五百萬弗)をスペイン政府はイタリアに支拂ふことになつた

スペイン獨金貨引渡し

(マドリード十二日) スペイン政府は、十二日、同政府で差押へてゐたドイツ政府の所有金、百十二萬弗の金貨を、米英兩國大使館にたいして引渡した

佛の一時間罷業

(パリ十二日) フランス公共諸事業従業員三百萬人は、十二日一時間の就働停止を行つて、政府が賃銀引上げを拒絶したことにたいして抗議した

蘭、國際憲章批准

(ワシントン十二日) 米國々務省は十一日次の通り發表した

オランダ大使ロイドン博士は十日オランダ政府の國際憲章批准書を國務省に寄託した、これで批准書を寄託した國は四十六ヶ國に達した

【英 帝 國】

獨立要求を決議

(ニューヨーク十二日) アメリカ印度聯盟の第八回年次大會は十二日、印度の即時獨立を要求し、自由印度のための憲法がすみやかに制定されなければ、一八五七年の第一次武装革命以上の大混亂が発生する危険を警告する決議案を採擇した、右大會において、パール・バツク女史、林語堂等が演説した

原始狀態を現出

(シドニー十一日) ニュー・サウスウェールズ州の炭坑労働者が鐵鑛労働者の罷業に合流してからすでに九日を經過するが、一向に解決の曙光がみえない、濠洲には殆んど水力發電所がなく、發熱燈光、輸送等はすべて火力に依存してゐる結果、炭坑労働者の罷業は國內を原始狀態に陥らしめ、二百萬の市民は蠟燭の光で手探りしてゐる有様と傳へられる

【原子エネルギー】

原子爆彈試験にソ聯立會か

(ワシントン十二日) ワシントン消息筋の觀測によれば、モスクワ會談に出席するバーンズ國務長官は米國陸海軍の行ふ原子爆彈の軍艦に對する使用試験にソヴェト聯邦の立會を乞ふことになるかもしれないといはれる、なほ陸海軍兩省は十二日實驗計畫は現在爆發結果を測定するための大規模な計畫設備の準備を進めてゐる旨發表した

カーネギー原子委員會

(ニューヨーク十二日) カーネギー社管財理事會は十一日、カーネギー財團と協力して世界平和に貢獻することを目的とする原子エネルギー調査研究委員會の設置を完了した、三十五人委員會に指名された人々は原子研究または社會活動における著名人ばかりで、科學者としてはカール・コムプトン、ハロルド・ユリー、ジョン・フォスター・デュレス、上院議員でウイリアム・フルブライト、ハロルド・E・スタツセン等の名がみられる、同じ日アインシュタイン教授はニューヨークで

原子爆彈の發明に協力した科學者は世界平和の永續のためにいよいよ盡力すべきであつて、さもなくば將來文明を破壊する戰爭が起るといふ可能性を直視しなければならぬと警告してをり、その意味においてもカーネギー委員會の活動は期待される

【今日の話題】

北太平洋空路開設を要求

(ワシントン十一日) 西部諸州出身の上院議員連は、民間航空局に對し、西北部から太平洋を横斷して東亞に至る直結航空路線を認可するやう勸告する運動を開始した、試案によれば、同路線は中西部からカナダ、アラスカを通つて東亞に至るものだが、民間航空局に對する連名の書翰をもつて次の通り要請した

西部の太平洋岸諸州が太平洋横斷航空路線に最も便利な接近路を與へられることは、米國と東亞との最も効果的の發達にとり不可缺である、吾人は米大陸から東亞へ通ずる北太平洋航空路線の設置は國家的利益として必要であると信ずる

世界的航空世紀現出か

(ニューヨーク十日) 「ニューヨーク・タイムズ」紙は九日フレデリック・グラハムの民間航空に關する次の如き論評を掲載してゐる

「戰前米國は眞に國際的航空會社を持つてゐた、南米を圍繞した後、北に伸びてアラスカに至り、西方に伸びて太平洋を横斷、中國まで、東方では大西洋を越へて歐洲まで伸びたパン・アメリカン・ワールド・エアウェイズは、疑もなく世界最大且つ最も有力な航空會社であつた、もう一つアメリカン・エクスポート・エアラインズ(現在アメリカン・オヴァシイズ・エアラインズとしてアメリカン・エアラインズの子會社)が大西洋を横斷してエールと米國間を運航してゐた、今日パン・アメリカン・ワールド・エアウェイズとアメリカン・オヴァシイズ・エアラインズが米國と歐洲間を定期的に運航してゐる、一方旅客を乗せてワシントン・パリ間の試験飛行を終へたばかりのトランスコンチネンタル・ウエスタン・エアズの國際部(トランスワールド・エアウェイズと呼ばれてゐる)は今月の末か、明春の初め大西洋横斷定期航空を開始することになつてゐる、パン・アメリカン・ワールド・エアウェイズは依然南米及び太平洋に就航してゐるが他の航空會社も近く太平洋路線を開始するかも知れない

民間航空會社を國有化した英國は大西洋路線やその他英帝國各地への多數の路線を計畫してゐる、フランスは米英兩國から新型機が得られるまで、舊式飛行機で航空路線の網を作るべく計畫してゐる、スウェーデン航空會社も空港も今日「良好」以上のものを持つてゐるが、最後には同國の航空組織を世界に擴大する希望を持つてゐる、オランダはKLMの再建を計畫してゐる

實に世界的基礎に於る航空輸送が既に着手されてゐる、民間航空事業を知る人々は民間航空による大量輸送の問題は單に時日の問題にすぎないものであると信じてをり、そして太平洋及び大西洋横斷が戰時中、米陸軍航空輸送司令部にとつて平凡事であつた如く、それが民間航空の平凡事となるのも又時日の問題だと考へてゐる、將來におけるこの狀態の出現は殆ど全く新型機その他裝備の發達如何に懸つてゐる、國際航空における料金の問題は次ぎの五年乃至十年間は變遷を迫るものと見られるが最新且つ最良の飛行機が企劃され且つ生産されて運航さるるに至れば運航費の減少により、旅客、貨物料金の低減を見ることが出来るだらう」

桑港Ⅱバリ間二十四時間

(ワシントン十二日) トランスコンチネンタル・ウエスタン・エアズ航空會社は十一日、明春早々サンフランシスコ―バリ間を二十四時間で飛ぶ定期航空を開設する旨發表した

B29新記録樹立

(ニューヨーク十二日) 陸軍航空隊のB29超重爆撃機「ドリーム・ポート」號は、カリフォルニア州バーバークからニューヨーク市まで五時間二十七分五十秒の大陸横斷速度新記録を樹立、十一日夜、フロイド・ベネット飛行場に到着した、同じコースの從來の記録は五月P51「ムスタング」戦闘機の作つた六時間三十一分である、飛行距離二千四百六十四哩、二萬五千呎の高度で山脈を越え平野を翔破したが、平均時速は四百五十一哩といふ優秀なものだつた、「ドリーム・ポート」はさきにグアム島からワシントン市まで無着陸記録飛行を行つた航空機である



米紙論調覗き眼鏡 (三・完)

佐藤 剛

鼠でも窮すれば猫を噛む、況んや萬物の靈長なるもの必死となれば白馬馬に非ず、堅石石に非ず兎は龜を追ひ越せないくらゐのことを考へつくのは何でもないらしい、われらの選良が議會の戦争責任を論じた揚句、戦争に協力した人が戦争責任者なら、協力しなかつた人は敗戦責任者で同罪であるから皆等しく自肅自戒すべしといひ出したのをみて仰天するのは、元來智慧のないわれわれ凡俗だけなのであらう、さうかと思ふと戦争責任を細かく仕切つて、戦力を誤算した者、戦局の判断を誤つた者、適當な時期に終戦の努力をしなかつた者等々にわけける議員もあるやうだ、聽いてゐると一應筋が通つてゐると思へるが、後で考へると宿醉に催眠術をかけられたやうで何かおぼろげなところがある、要するに思想は些か混迷を來してゐる

戦争責任の追求は日本側で獨自にやるもので、聯合國のそれとは直接關係はないさうだ、といふものの、いつてゐる御當人がマツカーサー司令部の方をちらちら横目でみたり、戦争犯罪人の發表があると鳩首協議を遂げるところをみると、やはり何かしら微妙なつながりがあるらしい、そこであまりぞつとする題目ではないが、戦争犯罪についての米國新聞論調を覗いてみよう

△新しい國際法

△「オーランド(カリフォルニア州)・トリビューン」紙(四日)現在ニールンベルグと東京で新しい觀念が造られつつある、この觀念はいかなる國家の法律にもまた國際法にもないものである、といふわけは、これらの犯罪人は「人權」侵犯の罪を問はれてゐるからである

△「セントルイス・グローブ・デモクラット」紙(八日)山下大將の公判によつて作られた國際法上の先例は、今度の戦争の戦争犯罪人ばかりでなく、將來の軍事的侵略者にも影響を及ぼすであらう

であらう

△「ポートランド・オレゴンアン」紙(八日)山下大將の公判の作つた先例は、幾世紀かの間守られてゐた舊い軍人の掟を根柢から破壊した敗軍の將は、も早勇敢な昨日の敵としてやさしく肩を叩かれ、好き勝手なところへ行つて回想録を書いたり、次の戦争を計畫したりは出来なくなつた

△「アーミー・アンド・ネイヴィー・ジャーナル」誌(最近號)ジャックソン檢事がニールンベルグの公判で職業的陸海空軍兵士が單に最高司令部あるひは參謀本部の部員であつたといふ理由だけで戦争犯罪に問はれるといふ新しい國際法上の原則を固執するならば、陸海軍の徵募に影響を及ぼすかも知れない

法理論は別として、戦争犯罪人たる觀念は確かに昔はなかつた、宣戰の大詔に副署した大臣のうちまかり間違へば今日あることを覺悟してゐた人は幾人もあるまい、今度の戦争はイデオロギーの戦であり、喰ふか喰はれるかの戦であると戦争中屢屢強調されたが、そのことはいま現實となつて現はれてゐるのである

△戦争犯罪人裁判の目的

ではその新しい觀念は何を目的としてゐるのであらうか

△「デイトン(オハイオ州)・デイリー・ニューズ」紙(十一月二十三日)

ニールンベルグの公判は、斷乎として公平に行はれるならば、侵略戦争の開始が極めて不健全な事業であることを明瞭にするであらう、同公判は、いかなる國家も戦争を無責任に開始し殘忍な方法で遂行する權利はないといふ國際正義——新しい包括的な國際正義——の記念碑となるであらう、この公判が成功すれば、戦争の開始、戦争犯罪の遂行、人權侵犯の罪を國際的犯罪とすることが出来よう、われわれは戦争防止の一要素となる先例を開いてゐるのである

△「セントルイス・グローブ・デモクラット」紙
(十一月十七日)

ニュールンベルグ公判の大きな意義は、ナチスの雜輩が自己の行爲に對する責任を「上司の命令」だと言つて回避し得ぬことをドイツ國民に示したところにある、同公判での證言は世界にナチス主義の腐敗と残忍性を永久に想ひ起させるであらう

△「セントルイス・グローブ・デモクラット」紙
(四日)

日本で新たに五十九名の政治的、經濟的指導者が逮捕された事實は、日本の軍事的、産業的武装解除の途上の重要な一步である、これらの實業家は、外交官、首相、或ひは總統と同じやうに戦争犯罪人である、彼等の罪を認識し、世界の法廷の前に明かにしなければならぬ、彼等の好戰的な帝國を永久に解體せねばならぬ

△「カンサス・シティ・タイムズ」紙(八日)

山下將軍は自己の部下の行つてゐた組織的殘虐行爲を知らなかつたと主張してゐるが、それは承認出来ない、それらの殘虐行爲は彼の目に止らぬ筈はない程大きな規模で行はれてゐた、しかも彼がそれを普通のこととして承認してゐたのは明かである、かかる人物を、實際に犯罪を犯した者と同等の責任ありと看做すのは文明社會の利益のため重要なことである

多數の部下を殺した敗將として、死はもとより覺悟してゐるが、司令官以下比島派遣日本軍全體に汚名を着せたくないといふ山下將軍の衷情はまことに同情に値するが、聯合軍は「全體戦争における全體的責任」を同將軍に問ふてゐるのである

△證據固めと人權保護

さて戦争犯罪人の摘發及び裁判はどんな方法で行はれるのであらうか

△「デイトン(オハイオ州)・デیلی・ニューズ」紙(四日)

從來多くの戦争において、戦闘行爲挑發及び開始の責任を繞つて種々の論議が行はれるのを常とした、しかしニュールンベルグの公判に提出された證據文書に徴するに第二次世界大戦にお

いてはヒトラーとその共謀者によつて、回答は最初から與へられてゐる

△UP社長ヒュー・ペリーの講演(「クリヴランド・プレス」三日號所載)

マツカーサー司令官は、戦争犯罪人の疑ひで逮捕されるすべての日本人に對し、證據を固める仕事を辛抱強く進めてゐる、ドイツでは戦争犯罪人は大體前から判つてゐたが、日本では多くの人が果して戦争犯罪人として出頭を命ぜらるゝのやらあるひは調査すべき人物のリストに載つてゐるのやら、何も判らずに何ヶ月も平常通りの暮らしを續けてゐる

△「デトロイト・ニューズ」紙(十一月十八日)

ニュールンベルグの公判では、被告は過去數世紀にわたつて自由な人間が考へ出した凡ゆる保護を與へられ、情狀がいかにあれまた罪がいかに明白であつても、危地にある個人として自己の主張を述べる公平な機會を與へられた

△「ニューヨーク・タイムズ」紙(十一月十八日)

ニュールンベルグの公判が下した判決——有罪三十名、無罪十四名、起訴却下一名——はあらゆる文明國家の支持を受けるであらう、もつと手取り早い裁判になれてゐるソ聯は、公判が長引くのでいらしいが、むかつくやうな證據物件を最後の一項目まで提示し、辯護人には何等制限なく辯護を行はせ、また被告にも十分陳述の自由を與へた結果、彼等の罪狀は一點の疑念もないほど明瞭になつた

△「セントルイス・スター・タイムズ」紙(十一月十七日)

ニュールンベルグ公判の判決が、ニュールンベルグ裁判と同様の重みがあり、かつ決定的であることを希望する

△天皇の責任

最後に些か機微にわたる論調に觸れておかう

△「ワシントン(D・C)イヴニング・スター」(四日)

最近における日本の戦争犯罪人の逮捕は、天皇の地位とニュールンベルグ原則の適用について新しい問題を提起した、戦争犯罪人のリストに入れられた梨本宮は、「お飾り重臣」であつたが、重臣が戦争犯罪人容疑者として逮捕されるのに、果して天皇が全然責任がないといへやうか、ニュールンベルグ原則が氣まぐれに適用され得るものであり、ドイツにとつては或ることを意味し、日本にとつては別のことを意味するものでない限り、この點についてもつと明確にしてみらひたい

「セントルイス・グローブ・デモクラット」紙(七日)天皇の地位について決定を延期すべき要素は無数にあるが、米國檢事ジャックソンがニュールンベルグで聲明した原則——侵略國家の元首は侵略戦争の罪について個人的に責任がある——が日本の戦争犯罪人にも適用されるものと推定せねばならない、天皇は個人的には戦争を望まず、軍閥を抑制する力がなかつたといへやうが、國家の元首として裁判を逃れることは困難であらう



米國海軍第三次報告

米國聯合艦隊司令長官兼海軍作戰部長アーネスト・J・キング元帥はジェームズ・フォレストル海軍長官に對する今次大戰最後の第三次報告を提出、一九四五年三月一日より十月一日に至る期間の海軍作戰經過を述べ、現在議會で審議中の武装兵力統合案に反對を表明すると共に強力海軍の維持を主張した、報告書の大要次の通り

△陸海軍の關係

今われわれの眼前には今次大戰の基本的な教訓が示されてゐる、陸海空三軍の最も有效な關係といふことについては他にも種々學び得たことが多いかもしれないが、最も明白且つ重要な教訓はワシントンにおける指揮權統合の企圖が概念的に間違つてゐるのみならず實現も不可能だと思はれることである

一般に陸海軍は全世界を通じてどここの戰場においても混淆し共同作戰組織を基本形としてゐたといふ誤解をもつてゐるやうだが、實際には二地域の事態が同一だつた例は全くない、これら指揮方式がすべて成功したのは、主として各自が作戰區域の現狀における特質により生じた特殊條件に事實適應し得るやうな位置を與へられたことによるのである、余がこの事實を強調するのは戰場司令部の設置に確固不變の原則など有り得ないからであつて、將來の戦争の性質を正確に知るときは全く不可能である

歐洲の戦争は海軍の掩護下に行はれる空陸の戦ひを主としたが、太平洋の戦ひは空陸勢力の掩護による海軍の戦ひだつた

日本の敗戦は壓倒的なわが海上兵力の直接的な結果であつて、日本は制海權を失つたが故に戰鬪を失ひ、その結果として島嶼をわれわれに與へ、その基地から空軍は日本の都市や工場を破壊し得たのである

△海軍戰略戰術と航空兵力

海軍航空兵力は常に艦隊の必要且つ主要な構成部分であり、さうでなければならぬ、海軍航空隊は敵空海兵力の破擯といふ基本目的においてのみならず、上陸作戰の掩護攻撃を含む水陸兩用作戰、海上偵察、敵勢力下陣地上空における敵機への挑戰及び撃破等においてもその眞價を發揮してゐる、航空母艦は海軍兵力の主要且つ決定的要素なることを自ら實證した

ハワイから西向、ニューギニアから北上して比島へ日本海岸へと廣漠たる太平洋を進んだわが綜合兵力の劃期的前進は海軍航空兵力を先鋒とし、わが艦隊兵力の緊密な援護を受けてゐた

かくの如く戰場における合同統一は結構だが、軍最高部における指揮權統合には反對だ、何故かといへば、統合參謀本部の中には部員の一人を全武装兵力總司令官の地位に引揚げることを保證するやうな全般的「最高能力」など考へられないからである、統合參謀本部の記録をみれば、一部員の提案乃至信念が綜合的判斷や全員一致の決定ほど健全または有望だつたことは一度もなかつた事實が知られるにちがひない

△將來の海軍

將來の海軍勢力についていへば、現在の推定をもつてしても現役海軍には今次戦時勢力の三割が必要である、九月二日現在における三百四十萬八千三百四十七人のうち、三分の一は一九四六年一月までに、残りの半分は一月末までに、更に三分の二は三月末までに、残る臨時兵員は恐らくすべて九月一日までに復員する筈だ

海軍は婦人部隊の功績を大きな誇りとしてゐるが、今後われわれの計畫では海軍豫備役に婦人を残しておくつもりである、更にもし議會さへ承認するならば、婦人部隊員中残留を希望する者及び或る種専門部面に必要とせられる者の過大ならざる數を現役にとどめるやう努力しよう

△技術的研究及び發明の寄與

工業及び科學の援助と協力とは缺くべからざるものだった、この助力がなかつたとしたら、戦時中の熱心な研究の結果生れた多くの兵器もその他の發明も、決して完成され艦隊に加へられることはなかつたにちがひない

國家非常時には全體主義國家の方が科學力をも勢力をも勝手に統制し得るため民主主義國に比し技術的に極めて有利だとの豫測が屢々行はれてゐたが、日獨伊三國の得た成果はこの想像を實現しなかつた、戦争終結後に行はれた調査によれば、三國のいづれにおいても科學的努力が米國におけるほど效果的に處理されなかつたことが示されたのである、戦争努力に科學を加へる意味において得られた急速、效果的且つ嶄新なりし成果は、非常事態に即應するわが政治形態の弾力性、米國科學者の技術的能力、米國工業の生産的才能等の證左である

技術的な向上並びに改良兵器及び關係諸裝備の使用においては、進歩を繼續させる必要を強調するに足る前進がみられた、米國は活潑な研究發明を續けるだけでいかに有力な敵からも國を守り現在史上最大の能率的海軍戦闘部隊を有することにより享受してゐるその地位を保つことが出来よう

技術的に最も大きな進歩を遂げたのは電子學の

領域であつて、最も進歩的な前進を示した發明の中には完成が大規模實戦使用に間に合はなかつたものもあつた、これは主として電子學的裝置により遠隔操作する誘導式彈丸やロケット航空機だつた、これら新發明は將來の戦争においては遙かに廣い範圍に新爆發物を搬送し重要な役割を演ずるにちがひない

△オリンピック作戦

終戦時海軍は南九州への「オリンピック」侵攻作戦と東京への「コロネット」侵攻作戦に三千十三隻の艦艇を繰り出す用意があつた、七月十日に開設された第三艦隊の大規模砲爆撃は「オリンピック」作戦の準備だつたのである

一九四〇年には海軍は眞珠灣以外裝備完全な前進基地をもつてゐなかつたが、その後大西、太平洋に四百以上の前進基地が建設された、但しそれには戦闘が必要だつたのだ、太平洋を前進するにしたがつて、一回の水陸兩用作戦で占領された諸島嶼は基地に變り、それが次の前進における飛躍板となつた

この前進を遂行するに必要な戰略地點を正しく選ぶことによつて、われわれは日本軍の建設した幾多の基地を無視し迂回することが出来たが、日本軍は制海權を喪失したためにもはやそれを使用することが出来ないでゐたのだ、この前進基地の連鎖がなかつたとしたら、艦隊は實際に使つたよりよほど多くの艦船航空機をもたなければ太平洋西域に作戦することは出来なかつたに相違ない、硫黄島は航空基地として極めて重要であつて、B29不時着基地としては、硫黄島の奪取に要した以上の人命を救ひ得たと推定される、この島の比類なき惡戦に示されたわが海兵隊の戦闘技術と勇氣はその輝しい傳統に全く適はしく、最高の讃辭に値する、それは掩護に當つた海軍部隊においても同じことだ、米國史において勇氣と熱と能率のこれほど見事に示された實例は他にはあるまい、全體としてこの作戦は内的に緊密な陸海空三軍共同作戦の驚嘆すべき具現だつたといへるのである

沖縄作戦はわが軍が太平洋で戦つた最も困難な戦闘の一つだつた、攻撃様式こそ新しいものではなかつたとはいへ、日本に無数にある航空基地からの距離が短縮されたこと、沖縄攻撃が成功した

時事通信

海外電報

第三種郵便物認可

場合に日本を見舞ふ絶望的な位置等は、日本軍を極めて狂熱的な最大の努力へ驅り立てる拍車となつたのである

△空襲と封鎖

日本々土に對する空襲は七月十日から激化し、八月十五日ニミッツ元帥の攻撃停止命令の發せられるまで續いたが、この間ハルゼー大將麾下の艦隊は日本機二千八百四機を撃墜破し、戦闘用艦艇百四十八隻、商船千五百九十八隻を撃沈破した

加ふるに工業目標物及び軍需工業にも熾烈な攻撃が加へられ、日本の急激な戦意喪失の一因をなした、しかし比較的目立たない潜水艦隊、地上基地航空兵力及び北太平洋諸部隊の作戦も對日戦勝利に重大な貢獻を齎してゐるのである

水上艦艇及び潜水艦隊の苛惜なき封鎖と空母航空隊の日本々土攻撃による破壊とについていへば十分な武装をもち、極めて有能な百萬以上の不敗陸軍が何らの抵抗も示すことなく無條件で國土を侵攻軍に捧げた瞬間こそ、海上部隊の威力を確認する前古未曾有の實例が示されたといふべきであらう

事實過去の爆撃が齎した荒廢と最初の原子爆弾が示した恐るべき力の示威とは、日本にとつて正に全體的滅亡の前兆であつたにはちがひないが、しかも海上勢力がなかつたとしたら、その爆撃の出撃基地たるべきサイパンも硫黄島も沖繩も占有することは出来なかつたといへよう、確かに日本本土は一回の龐大な規模の決定的水陸兩用作戦による攻撃で奪取されたかもしれないが、海上勢力がなければその攻撃すらも企て得なかつたに相違ないのである

潜水艦作戦は日本敗北の重大な要素だつた、わが潜水艦隊の戦果は日本商船隊の喪失總噸數の殆んど三分の二を占め、日本海軍艦艇の撃沈總戦果もその三分の一まではわが潜水艦の功績である

潜水艦隊は戦艦一隻、航空母艦四隻を含む二百七十六隻の日本海軍戦闘用艦艇を撃沈したが、一万余噸潜水艦の喪失數は凡ゆる原因によるものを合して五十二隻だつた

△大西洋の戦

大西洋の戦においては結論は明かである

- 一、一九四二年末期以來ドイツ潜水艦隊は聯合國の使用可能船腹を減少せしめつつあつた
- 二、一九四三年一月一日以後、對潜作戦は毎月ドイツ潜水艦十二隻を撃沈する戦果を挙げた
- 三、一九四三年一月一日以後米國の造船所のみで毎月平均百萬噸の新商船を建造してゐる

△結論

聯合國間の協力並びに共に戦つた陸軍の空陸部隊及び特殊部隊が齎した協力と援助とは高く買はなければならぬ、かかる事業は陸軍にせよ海軍にせよ到底單獨では成し遂げられなかつたにちがひない

勝利の代償は高價だつた、一九四一年十二月の暗鬱な日から始まつて、東京灣に太平洋艦隊の軍艦が堂々碇を下した一九四五年九月に至るまで、海軍の損害は甚大だつた、米國海軍、海兵隊並びに沿岸警備隊の兵員損害總數は、死者五萬六千二百六十六名、負傷者八萬二千五百九十九名、行方不明八千九百六十七名に達した

彼ら勇敢なりし人々に榮光あれ！

日本の敗北

極東展望 十二月七日

ジョージ・フィールディング・エリオット

四年前の今日、日本は眞珠灣を攻撃した、その後の四年間は世界を動亂のうちに陥れた、四年前の今日、日本帝國は活氣のある強力な國家であつた、財閥と軍閥によつて築かれたこの傲れる全體主義國家は弱小隣邦諸國を蹂躪して闊歩した、日本を象徴する「日の出」のマークは廣大な太平洋を支配し、アジア大陸からハワイ諸島、北太平洋から殆んど濠洲にまで及ぼうとしたのである、四年前の今日、中國、朝鮮、安南、マレー、フィリピン、ビルマの諸民族、更にインドネシア濠洲、太平洋にある殆んどすべての民族は日本軍侵略の力の下に屈するか、若くは日本軍の攻撃を間近かに控えてゐた、四年前の今日、天皇の指揮下には東アジアの海岸及び豐沃な地域の大半を支配する陸海軍があつた、四年前の今日、日本の軍

國主義者共は彼らこそ東洋の盟主であると自惚れてゐた

彼らが如何にしてかかる支配力を得たかは尋ねる必要もない、日本の軍部が眞珠灣を、更に香港、グアム、マニラ、ウエーキ島、上海を攻撃した際の不信行爲は既に周知の事實である、東京の不信は今なほ拭ひ去られない

このやうなあらゆる惡の榮光の結果はどうなつたか、日本は國際間の紳士協定を破ることによつて何を獲得したか、人類の名譽を加へただけだ、眞珠灣に最後の爆弾が落ちたか落ちないうちに、コスタリカ、ニカラグア兩國は直ちに對日宣戰を布告、續いてホンジュラス、エル・サルヴァドル、パナマ、英國、オランダ、ギリシヤ、ポーランドの諸國もこれになつた、このうちには日本侵略軍の攻撃を受けた國もあつたが、大部分は直接の利益を侵されなくとも國際的惡漢の暴れ廻るのを默視し得ず立上つたのである、これ等諸國民は世界平和、世界秩序が危殆に瀕してゐると感じ、自分達の利益のためではなく、正義と人道のために闘つた

△軍部の崩壊

今や日本の軍部は消え失せた、彼等の海軍は沈められ、空の艦隊は撃墜され、陸軍は追ひ散らされた、多くの軍國主義者は死んだ、或る者は報復に直面してゐることを知つて自ら生命を絶ち、或る者は山下大將のやうに彼等の犯した罪の故に軍事法廷に立たされてゐる、聯合軍の指令によつて軍國主義及び極端な國家主義勢力の跡は、戦後日本の教育界、經濟界、財界から、社會意識からさへも餘すところなく拂拭されつつある

すべての征服國民は日本の支配から解放された日本自身は國土を縮小され、武力と貪慾と裏切によつて獲得したものは全部剝奪され、日本統治者は今本土四島を治めるに過ぎなくなつたばかりかそれすら聯合國の同意を必要とし、聯合國の許した範圍内に限られることとなつたのである

△戦争の成果

以上は日本の好戦政策の顯著な實質的な成果で

あつたが、その他注目すべき結果は、軍事計畫家達が彼等の臣民の上に廣した死、貧、荒廢であり軍部の政策から必然的に生れた過重な課税、食糧難、その他の諸困難である、將來長い間日本は、日本の財閥及び軍國主義者が平然として一般國民の利益を犠牲にしたあの冷酷な態度を恐怖をもつて思ひ起すに違ひない

一方眞珠灣を攻撃して戦争を開始した軍閥の夢想だにしなかつた明るい面、それは平和な國民、民主主義及び正義の愛好者が必要な場合には團結し得ることが實證されたといふことだ、四年前には桑港憲章にみるごとき國際機構が設置されようとは想像もされてゐなかつたし、荒廢した海外諸國の全般的救済、復興など思ひもよらず、國際的に社會的經濟的向上を促進せしめるための實際的な計畫などはなく、世界の福祉は萬人の關心事であるといふ事實についても、未だ一般には認識されてゐなかつた、以上のほか世界平和がいかなる犠牲を拂つても維持されるべきであるとの主張も戦争の所産であり、それはすなはちすべての平和を愛好する民主主義國家が、全體主義の如き災厄は二度と再び存在を許さるべきではないと決意してゐるにちがひないとの信念によつて廣されたものである

△正義は勝つ

人類は高價な代價を拂つて以上の目標が人間にとつて本質的なものであるといふ事實を發見した四年前眞珠灣を攻撃した日本の軍閥の頭にはこのやうな愛他精神は毫末も存在しなかつただらう、彼等はただ利己的な目標を追求したに過ぎなかつた、しかし神士的な國民は將來の安全保障及び平和の追求において、正義と名譽こそは文明社會の本質的要素であり、惡と不信によつて得られるものが東の間の利益にすぎないといふ眞理を新たに學びとつた

日本は惡の途を選んだが、今や日本の軍事力は單なる記憶にすぎなくなつた

血と悲劇と苦役の四年間を経て、民主主義國民が正義の目的のために一體となつて協力することによつてのみ、人類の福祉が保證されるといふ事實を世界は再び悟つたのである

昭和二十年十二月十七日(月)
第三八號

時事通信

海外電報

(38)

本年度の最大事件

一九四四年米國大統領選舉戰の酣なる頃、マーシャル參謀總長は共和黨候補トマス・デューイ知事に宛てて二回書翰を送つたが、この書翰は、眞珠灣事件を政争の具となすことにより米國が日本の暗號を解讀した事實が暴露されることを恐れ、萬一にもかかることにでもなれば米國軍に悲劇的結果を招來せしめるものなるが故に眞珠灣事件を選舉演説の題目からとり除くやう要請したものであつた、第一の書翰においてデューイ知事はマーシャル總長の要請を拒否した、總長はさらに第二の書翰を送つた、しかしして七日眞珠灣事件調査委員會公聽會の證人席に立つたマーシャル元帥の語るところでは、大統領選舉戰から眞珠灣事件といふ題目が消え去つたのは、デューイ知事がこの第二の書翰を讀んだ直後からだといはれる、いま調査委員會の記録綴の中に收録されてゐるこれら二通の書翰によれば太平洋と歐洲の兩戰域における軍事作戦は、主として傍受暗號電報の解讀によつて得た情報に基き遂行されてゐる、珊瑚海々戰は傍受電報に基いて行はれたため、米國艦隊は絶好の時に絶好の場所で攻撃することが出来た、さらにミッドウェー島に對する日本艦隊の進航に對處すべく當時劣勢な艦隊を集中させることが出来た、もしそれがなければ、米國艦隊は當該水域から三千哩の彼方に在つただらうことは大體確實であると告白してゐる、また米國潜水艦隊によるつぎつぎの戦果は、主として日本護送船團の日付と路線を知り、適當な箇所待機するやう指令し得たことに因ると述べてゐる、歐洲におけるヒトラーの意圖に關する情報の主なる基礎も、ベルリンからヒトラーをの他との會談内容を報告する大島大使の通信から得られたもので、アイゼンハワー司令官の作戦すらもが、傍受電報と密接に結びついてゐたルーズヴェルト攻撃の最大資料たる、眞珠灣事件といふ題目を犠牲とすることに同意したデューイ候補の決意に感服する前に、われわれは先づ日本作戦中樞の戰術的頭腦の杜撰さに啞然たらざるを得ないだらう



モスクワ會談と日本管理案
英下院、金融貿易協定を可決
特派員締め出しに異議あり
ハレー爆彈爆燃
米、芬丁に借款供與
【ユダヤ人問題】
上院決議案内容
大統領の立場を無視
パレスチナ、アラブ聯盟へ加入
【戦後處理】
日本人の歸國に關し説明
【歐洲】
階級としての大地主の清算完了
【科學ニュース】
果物保存の新方法
マラリヤ新療法
【原子エネルギー】
原子委員會公聽會續く
【資料】
獨逸償済及び
平時經濟に關する國務省聲明
獨逸政策に關するバーンス聲明
五、聯合國サンフランシスコにおいて國際聯合機構を組織し國際憲章に署名(六月二十六日)
六、英國選舉で勞働黨勝利(七月二十六日)
七、爆撃機エンバイヤー・ステート・ビルに衝突(七月二十六日)
八、ボツダム宣言(八月二日)
九、トルーマン大統領對日戰に原子爆彈の使用を發表(八月六日)
十、トルーマン大統領日本の降伏受理を發表(八月十四日)
十一、ドイツ戰爭犯罪人ニュールンベルグで公判開始(十一月二十日)
十二、自動車労働者組合ジエネラル・モーターズ會社で罷業(十一月二十一日)

【目次】

モスクワ會談と日本管理案	三八二
英下院、金融貿易協定を可決	三八三
特派員締め出しに異議あり	三八三
ハレー爆彈爆燃	三八三
米、芬丁に借款供與	三八三
【ユダヤ人問題】	三八四
上院決議案内容	三八四
大統領の立場を無視	三八四
パレスチナ、アラブ聯盟へ加入	三八四
【戦後處理】	三八五
日本人の歸國に關し説明	三八五
【歐洲】	三八五
階級としての大地主の清算完了	三八五
【科學ニュース】	三八五
果物保存の新方法	三八五
マラリヤ新療法	三八五
【原子エネルギー】	三八六
原子委員會公聽會續く	三八六
【資料】	三八七
獨逸償済及び	三八七
平時經濟に關する國務省聲明	三八七
獨逸政策に關するバーンス聲明	三八七
五、聯合國サンフランシスコにおいて國際聯合機構を組織し國際憲章に署名(六月二十六日)	三八七
六、英國選舉で勞働黨勝利(七月二十六日)	三八七
七、爆撃機エンバイヤー・ステート・ビルに衝突(七月二十六日)	三八七
八、ボツダム宣言(八月二日)	三八七
九、トルーマン大統領對日戰に原子爆彈の使用を發表(八月六日)	三八七
十、トルーマン大統領日本の降伏受理を發表(八月十四日)	三八七
十一、ドイツ戰爭犯罪人ニュールンベルグで公判開始(十一月二十日)	三八七
十二、自動車労働者組合ジエネラル・モーターズ會社で罷業(十一月二十一日)	三八七

モスクワ會談と日本管理案

米國が日本管理に對する單なる諮問機關たる極東諮問委員會を設置したに對し、ソヴェト政府は直接日本管理に當る管理々事會の設置と日本管理に對するソ聯の參加を要求して一步も譲らぬため日本管理問題は米ソ關係の調整を妨げる躰きの石と化するに至つてゐるが、モスクワ會談では兩國關係を改善するため日本管理案が組上にのせられバーンズ、ベヴィン、モロトフ三者間で徹底的な検討を加へられるとの觀測が急速に有力化するに至つた、米ソ關係における日本管理問題の重要性を直截に指摘したのは十三日夜のモスクワ放送で聯合國間の友好的協力だけが日本問題の解決を齎らす

と述べてゐるが、モスクワ放送の狙ひが以上の言明を裏返して、日本管理問題の圓滿解決だけが米英ソ三國間の緊密な協力關係を結實する事實を示唆してゐることは明瞭だ

その意味でもモスクワからのUP電報は十四日モスクワ會談の直面する最重要問題の一は極東に於る米英ソ三國關係の處理であり、日本管理問題が原子力管理の複雑な問題に次ぐ重大議案として會談に上提される事は疑問の餘地がないと報じて、日本管理問題の討論を既定の事實とみてゐるが「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙のロンドン特派員ネツド・ラツセルは一步進んで日本問題が一旦解決されるならば、米英ソ三國間の他の懸案たるバルカン問題もイラン紛争も簡單に解決がつくと十三日次の通り報じてゐる「ロンドンの外交消息筋は日本を中心とする極東問題が原子力管理案に次ぐ重要問題としてモスクワ會談で上提されるとみてゐるが、會談で日本管理問題が圓滿に解決されることを衷心から期待してゐるやうだ、確聞すればバーンズ國務長官がベヴィン外相とモロトフ外務人民委員にモスクワ會談の開催を提唱した際、日本管理に關する外交討議が順調に進捗してゐるから三國外相會談で解決出来るといふ見解を表明したといはれるが、ロンドンの米英兩國外交界の觀測では日本問題さへ解決すれば、バルカン、イラン問題等の三國間の懸案は早急に解決するとみられ、一部ではソ聯が日

本管理において公正で對等の地歩を確保するならば、大抵の國際問題は難なく解決されるといふ最大級の樂觀論を抱いてゐる位だ

米英ソ三國は中國を含めて日本の四國管理の方が現在の十國諮問委員會よりも有利だといふことに原則上は意見の一致をみてゐるのだが、最後の解決を阻む難關はベルリンの管理々事會のやうに満場一致表決方式をとるか、あるひは意見不一致の場合マツカーサー元帥が自由行動を採る餘地を許されるかどうかを決定するにある

モスクワ會談で日本管理問題が議事日程に上るといふ見方を裏書する事實は、ベヴィン外相が外務省極東部長スタンデル・ベネツトを帶同することにあるとみられるが、ベヴィン外相自身は極めて慎重な態度をとり、下院でも

余はモスクワ會談が三國間の最重要諸問題の友好的解決に資すを希望するだけだ

と述べた以外何もいつてゐない、前首相チャーチルもモスクワ會談の開催に双手を舉げて賛成「かうした個人的折衝は極めて大きな價值がある」と過去の經驗を述べ會談の成功を確信してゐる様だ英國は極東諮問委員會への參加に同意してゐるが、米國が諮問委員會の設置を提案した本年八月以來日本管理々事會案を支持してゐるところからみて、日本管理問題に對する英國の態度は明確だ、但し英國自身はマツカーサー元帥の行動の自由を要求する米國を支持してゐる

以上ラツセルの報道は英國が日本管理問題を重視してゐることを裏書するものだが、ロンドンからのUP電報によれば、L・J・カラガン議員は十四日の下院で極東問題の早急解決を次の通り強く要望したといはれる

米國は中國及び滿洲における多くの日本軍をまだ武装解除せず、極東における經濟進出計畫の實現を策してゐるが、ベヴィン外相は須らくモスクワ會談で強硬に抗議すべきだ、米國は延安に對して舊日本傀儡軍を利用するため親日派の官僚を任命する蔣介石委員長の政策を支持してゐるが、米國は滿洲から全兵力を撤收し、聯合國乃至は米英ソ三國が中國における民主々義的選舉の實施に責任を採ることを要望する

英下院金融貿易協定を可決

(ロンドン十四日) 英國下院は十四日、賛成三百四十五票、反對九十八票をもつて米英兩國間の金融貿易協定を可決、同時に英國政府がブレトン・ウッズの通貨安定案に参加する法案を可決、上院に廻附した、表決に當りチャーチル前首相は金融貿易協定に反對し

英國が、今回の協定に明示された諸義務を果すことが出来るかどうか甚だ疑問であり、英國の財政状態を十分承知してゐながら、米國政府が借款について金利を要求したのには一瞥を喫した、しかもこれ等極めて重大且つ複雑な要件を下院に押し付けるに當り、政府が無類にも性急な審議を要求したのに對してここに抗議する、但し今回の表決に當り、反對投票が多い場合には米國における英國の推薦は阻害されるから、保守黨は棄權する

と述べ、當のチャーチル前首相その他舊閣僚の大半は棄權した

特派員締め出しに異議あり

中國政府が「サタデー・イーヴニング・ポスト」紙の特派員エドガー・スノー、「N・Y・タイムズ」紙のブルックス・アトキンソン、「シカゴ・トリビューン」紙のルーランド・ストー、その他ヴァインセント・シアン、リチャード・ワッツ、マーク・ゲーン等の各特派員に對し、入國を禁止したことは、米國の新聞界に囂々たる論難の渦を捲き起してゐるが、特に「ルイスヴィル・クリーエ・タイムズ」紙は、十一月の社説で

國民政府が、米國輿論の支持を要望してゐるとすれば、政治的見解を理由に米人特派員を締め出す位不幸なジエスチアーはあり得ない、これらの特派員諸君が、國民政府以下の中國の實情について批判を加へたことは、いささかも締出しの論議とはならない

と論じ、「シカゴ・サン」紙も同日の紙上で重慶が眞實の周邊にカーテンをかけやうとしてゐるのにたいし、米國民は如何なる判斷を下すべきか十分心得てゐる、國民黨の反動分子は、

中國の基楚的な内争の基底に横る真相を、自國民のみならず全世界に對して匿してはうといふ意圖だ、重慶の失政と政治上、經濟上の民主主義的要望と彈壓してゐることは、今日の世界にそぐはないのだらう、眞相陰蔽を企圖するのも蓋し當然だらう、特派員の締め出しは、たまたまもつて中國が民主主義的聯立政權を痛切に必要としてゐる新たな證左とならう

と述べてゐる

ハーレー爆彈爆る

(ワシントン十三日)「ワシントン・ポスト」紙は十三日の社説で「新駐華大使マーシャル元帥の政策はハーレー前大使と同じく蒋介石政權の自由主義化であるべきだ」と論じ、中國問題は原子爆彈に次ぐモスクワ外相會議の最大題目であると述べてゐる

一方「ニューズ・ウィーク」誌はハーレー爆彈破裂以來の支那問題に關するトルーマン大統領の最高顧問はヘンリ・ウォーレスであり、國共妥協を策して手を打つたのはウォーレスが最初であつたと報道してゐる、ウォーレスは故ルーズヴェルトの特使として今年初め重慶に使ひしたことがある、「ユナイテッドステーツ・ニューズ」紙は本日「ゴシップ欄で「蒋介石氏は在支日本軍の内三十萬を中國に止めて、共產軍討伐に當らせる希望を持つてゐるが、米國側は之に反對してゐる」と報じた、なほ内務長官イツキーズは十三日シカゴで演説し、ハーレー大使の國務省攻撃を駁し、ハーレーは何等の證據なくして無謀な國務省攻撃を敢えてして問題を引き、米國に損害を與へたものであり、その非難が上院外交委員會で取上げられなかつたのは當然であると述べた

米、芬丁に借款供與

(ワシントン十四日) 輸出入銀行は十三日フィンランド政府並びにフィンランド銀行との間に、五百萬弗の借款協定を締結した旨發表した、右借款によりフィンランドは米國から約四萬六千捆の棉花を輸入するが、利率は年二分五厘、十五ヶ月以内に返済することとなつてゐる、同銀行は同時にデンマーク政府に對しても利率三%で二千萬弗の借款を與へた旨發表した

【ユダヤ人問題】

上院決議案の内容

上院外交小委員会は過去一ヶ月に亘りパレスチナ問題を検討してゐたが、十二日上院外交委員会に對しパレスチナをユダヤ人の自由入國のために開放すべしとする決議案を提出、外交委員会は十五票對一票をもつて右決議案を採擇した、小委員會議長フランシス・グリーンの動議による右決議案は直ちに上院本會議に提出される筈であるが人種、宗教の差別を無視して、全民族を包含する民主主義的聯邦を建設せんとするものである、決議案内容次の通り

一九二二年六月三十日第六十七米國議會は、パレスチナにユダヤ人國家を建設すべしとする決議案を満場一致可決したけれども、キリスト教その他一切の非ユダヤ主義團體の市民的、宗教的權利を偏狹的に取扱ふものでないことは明瞭に諒解されてゐる、しかし歐洲のユダヤ人に對する無慈悲なる迫害と、それに伴ひ多數が家なき人々となつたことにより、ユダヤ人の故郷を建設する必要が痛感されるに至つた、この緊急な必要はトルーマン大統領のユダヤ避難民十萬をさらに入國許可すべしとする要請となつて現れたのである、ユダヤ人のパレスチナ移住は同國の農業的、財政的、衛生的、一般經濟的諸條件を改善するといふ好結果を生んでゐる、トルーマン大統領とアトレー首相とは、ユダヤ人移住に關しパレスチナにおける状態及び歐洲におけるユダヤ人情勢を調査せしめるため米英合同委員會を任命することに同意し、調査開始後百二十日以内に報告を提出するやう要請した、かくてパレスチナ問題の解決に關し大統領が示した熱意を推薦し、且つパレスチナの農業的、經濟的最大限度にまで、同國をユダヤ人の自由入國のために開放すべきことが上院及び下院によつて同時決議されなければならぬ、ユダヤ人が住民のあらゆる要素と聯合して、人種、宗教を問はず凡ての人が平等の權利を持つ民主主義聯邦をパレスチナに建設するやう植民と開發の完全な機會が與へられねばならぬ

大統領の立場を無視

(ワシントン十三日) ユダヤ人の自由入國のためパレスチナを開放すべしとする上院外交委員會の決議案の内容は大體においてトルーマン大統領の抱く解決方式の線に沿つたものだが、パレスチナ問題に關して決議することは國際會議において問題解決を求めんとするトルーマン大統領の立場を困難ならしめるとの同大統領の意向を無視したもので、決議に際して投ぜられた反對の一票はこの點を強調するコナリー委員長が投じたものと傳へられる

パレスチナ、アラブ聯盟へ加入

(カイロ十三日) アラブ聯盟理事會はパレスチナの同聯盟加入を承認した、これによつて同聯盟參加國は八ヶ國となつた

【戦後處理】

日本人の歸國に關し説明

(ワシントン十三日) マクダモット國務次官補は十三日新聞會見において日本人の歸國に關し、次の通り言明した

八月十六日、日本政府の照會に對する回答において米國政府並びに聯合國は日本軍隊の降伏を受理するのみならず、これら軍隊の歸國をも取計ふ旨回答したが、マツカーサー司令部から國務省に達した報告によれば、十二月二日までに六十九萬三千三百八十名の日本人が各地域から日本へ歸還した、この總數の約三分の二は朝鮮の米軍占領地帯から來たもので、送還は鹵獲した日本船舶と米國近距離用上陸舟艇によつてなされた

なほ日本人の歸國に關して日本とソ聯との間に別個の取極めがあるのか、それとも八月十六日の取極めは全日本軍に適用されるのかとの質問に對しては、同次官補は

八月十六日の取極めは全聯合國に適用される、と答へ、「米國はソ聯軍占領下の日本人をも送還する公約の義務があるのか」との質問に對しては公約の義務を負つてゐるのは英國ではなくて聯合國である

と答へた

【歐洲】

階級としての大地主の清算完了

(ワルシャワ十三日) ポーランド副首相スタニスラフ・ミコライチクは十三日ポーランドの當面の政策について次の見解を表明した

「ポーランドの選舉は六ヶ月以内に實施する豫定だ、ポーランドは、まづ第一に、四百萬のポーランド人の送還と定住を實現することを希望してゐるが、それらは輸送施設に不足してゐるために、思ふやうに進捗してゐない、余は自由と平等、米國で故ルーズヴェルト大統領が實施したニュー・ディール政策のやうなものを、ポーランドにも實現したい、將來、不法な逮捕投獄は根を絶つつもりだ

「ポーランドは、ソ聯ばかりでなく、米英佛三國とも緊密に協調して行かねばならない、それはドイツの經濟支配と、將來における軍事攻撃を阻止するためにも絶対に必要だ、ポーランド政府は大工業、運輸通信施設の國有化を意圖してゐるが、個人のイニシアチヴもまた遺憾なく發揮させねばならない

「ポーランドの直面する困難は戰災復興、東部から西部への數百萬のポーランド人の送還、社會改革案の實施、新たに獲得した西部地域に經濟生活を再開せしめることなどだ、今日ポーランドには大地主は階級として存在してゐない、ポーランド政府が實施してゐる新聞檢閲は一時的なもので、總選舉後政府の地位が安定すれば、直ちに撤廢する」

【科學ニュース】

果物保存の新方法

(サンフランシスコ十三日) 「クリスチャン・サイエンス・モニター」記者ネイト・ホワイトは、大戰中戰爭遂行を助けるため食物の研究が進められた結果、今後食事の準備は現在より容易となり貯藏法もつと便利なものとなるだらうとして、次の通り報じてゐる

「カリフォルニア州アルバニーにある農務省西部地方研究所では、科學者達が農産物の新しい使用

法を發見しようと絶えず努力したが、特に果物の處理法には著しい發達がみられた、來年中には、一年中甜瓜その他の果物をよく熟した最も美味な状態で食べることが出来ることになるだらう

即ち、アルバニー研究所では長い間熱心な研究を重ね、「ヴェルヴァ・フルーツ」といふものをつくり出した、この名稱と處理法は農務長官から特許局に登録された、この處理法によつて果物を原物通りの新鮮さ、生氣、色彩、味合ひ、それに營養價を失ふことなく保存し得る、精確な方法は農務省で開けばいつでも知ることが出来るが、要するに熟しきつて最も美味しい状態となつた果物をどろどろのスープ状にして、これをす早く凍らせる、その後、都合によつては收穫期に終つてからでも、泡立て凍り菓子みたいなものに作り變へておく、これはアイスクリームとは違ふ、原物通りの新鮮さと色彩を持つ果物である

この發明の結果農夫にすれば果物を熟し切つた美味しい時に採つておき、收穫期が過ぎるまで冷凍ビュリーにしてそのまま保存して閑暇になつてからヴェルヴァ・フルーツとして市場に出せるといふ利益がある譯だ

この他梨の屑から麴食を作るとか、廢物の卵白や雞の羽毛から藥品や纖維を採るとかの研究も行はれてゐる」

マラリア新療法

(シンシナチ十三日) 米國マラリア協會、南部醫療協會合同會議はマラリアの特效藥二種類を發見した旨發表した、一つは米國保健研究所發明のコレクト二〇四で、アタブライン同様マラリアの發生豫防に效あるが、發病初期においてこれを治療することは出来ない、またアタブラインと同様この新藥も實驗中の感染を防止出来なかつた

もう一つはスタンフォード大學附屬米國サイアナミド研究所の發明になり、メタクロリディンと呼ばれ、化學上の正式呼稱はメタニラミドⅡ5ⅡクロロフィリミディンⅡ2で、鳥のマラリア豫防及び治療に特效あるが、人間のマラリア豫防に効果を現はすには、今後更に實驗が必要であるとみられる

「原子エネルギー」

原子委員會公聽會續く

(ワシントン十三日) 上院原子エネルギー特別委員會における公聽會は、原子爆彈計畫の歴史から始めて政府關係者及び計畫關係科學者の詳細な證言が行はれてゐるが、十二日は新設の原子科學協會を代表して三名の科學者が證言した

原子爆彈計畫に四年間従事した物理學者ジョン・A・シンブソン博士は平和維持のための原子エネルギー國際管理または世界管理を要請、次の通り述べた

「出来るだけ、はやく世界に管理を實施すれば、その運営に成功する可能性も大きくなるわけであるから、監察制度を補助的に使用することの種々の効果的管理方式について即時審議すべきである、余は個人的に極めて廣範圍の科學的政治的背景を有する二千人近い人々を代表していふのだが、原子爆彈には世界の平和及び安全に關する若干の事實がある、原子爆彈は、いかなる國がいかなる國を滅すことを可能とする程度にまで効果を高めることが出来る、米國が爆彈に必要な物質を完全に處理することは到底不可能であり、爆彈を創造した科學とか原子爆彈計畫における特別の技術的發明とかを獨占しようとしても、永續的平和が得られるわけではない、この兵器は集中した人口や工業に對して極めて有効であるから復讐恐怖心だけでは原子爆彈使用を封ずる十分な力とはなるまい」

次の證言者クラーク・ウィリアムズ博士も過去四年間原子爆彈計畫の研究、發明及び設計に従事してゐた人だが、彼は國際監察制度を力説して次の通り證言した

原子爆彈が一發も製作されないやうにする唯一の道は、國際管理機關の統制にたいする違反行為を探索する効果的な監察だ、監察のなかには國際管理協定の締結とか、全重要地點に對する監察官の自由出入規定及び強制統制規定の設定とかが含まれる、また分裂性物質秘密生産の可能性が殆んど残らないやうに、すべての國の各種工場操作を監察することが實際に出来るかどうか決めてかからなければならぬ、要する

に監察制度が完全ならば、監察官の眼を逃れる機會も少くなり、發見される危険を考へて事實上どの國もそんな企圖を抱かないやうになるだらう

第三の證言者として、オークリツヂ原子爆彈工場クリントン研究所理論物理學部長アルヴィン・ワインバーグ博士は原子エネルギーの廣くす恩惠の方面を説いてかう證言した

「原子爆彈により生ずるガンマ線及び中性子線の醫療効果は大規模な醫療に利用し得る連鎖反應堆積を使へば放射能物質を相當量得ることが出来るわけだ、もしわれわれの放射能炭素生産が大いに増加した結果として、寫眞合成の謎が解かれるとすれば、この成功は太陽の存続する限り世界中の燃料と食糧を保證し、原子核エネルギーに關する他のすべての成果をして光を失はせるにちがひない、原子核エネルギーの放出には酸素を必要とせず、エネルギーが極めて壓縮されてゐるため、普通の燃料に比べるとこれは極めて有利だ、安全保障のための諸統制は原子核工學の發達を阻害してゐるが正常な發達をみるためには、まづ嶄新な着想さへもてばどんな人間でもその着想を生かすべき諸資料を自由に入手し得るやうにならなければならない、正常な發達を促進するために安全保障諸統制を緩和し得るとき管理方式を樹てて頂きたい」

民間航空協定續々參加

(ワシントン十三日) 一九四四年十二月七日シカゴの國際民間航空會議で締結された國際民間航空中間協定、國際航空運輸通過協定並びに國際航空運輸協定のその後の狀況に關し、米國々務省は十一日次の通り發表した

會議當時協定に調印した諸國のほか次の諸國が協定を受諾した

デンマーク 中間協定

ホンデユラス 中間協定通過協定、運輸協定

オランダ 通過協定の保留を除去

濠洲 通過協定受諾

スペイン 中間協定及び通過協定



獨賠償決済及び平時經濟

に關する國務省聲明

十二月十一日夜發表

一、ドイツ平時經濟に不必要な工業資本施設の量と性質に關する決定は、一九四六年二月二日以前に聯合國管理々事會によつて行はれることとなつてゐるが、右は現存ドイツ戰力を一掃し、西歐三國占領地域から確保さるべき賠償の量を決定するといふ局限された目的を持つ

(A) 聯合國管理々事會の任務は武器仕上げ品、彈藥、戰爭要具、飛行機及び海洋航行船舶等を生産するドイツ工業生産施設を賠償として持ち出すか乃至は破壊することによつて之等工業生産施設を一掃し、冶金、機械製作及び化學工業の生産施設を大幅に縮減せしめるにある、但し現在の決定はドイツの平時工業生産に恒常的制限を課す性質のものではないので、平時生産の許可量は一九四六年二月二日以後に不斷に檢討される等で、ドイツ工業生産施設及び生産に加へられるべき制限に關する聯合國の最終決定はドイツの平和處理が形をとるまで行はれない、(B) 賠償による持出しがドイツの回復を遅らせるのは言を俟たぬが、米國は聯合國と協力してドイツ國民が自らの選んだ平和な民主主義的政府の下に、武器生産を阻止するために平和處理において規定せらるべき諸制限を受けつつ自らの資源を開發し、生活水準の向上を目指して働くことを終極において許可する積りである、(ペルリン宣言中の「機械工業及び機械製作工業」なる言葉は廣義に解釋されねばならない、米國法律第六十七號によれば、それは工作機械、自動車、無電及び電氣工業を含む、従つて以上の言葉は「金屬加工々業」乃至は英國でいふ「重工業及び輕工業」を含むものと解釋すべく「化學工業」なるものはむしろ軍需生産に捧げられるかまたは容易に軍需生産に切り換へることの出来る工業部門を特に含み、抽出工業に含まれるべき加里及び鹽素工業は含まれぬものと解せられるべきである)

二、米國の利害とするはドイツに賠償義務を課すペルリン宣言の諸條項を嚴守するにあり、その目的とするところはつぎの通りである

(A) ドイツに平和な民主主義的政府が確立されるまで、軍需生産の生起すべき經濟的地盤を效果的に弱めること

(B) ナチの侵略行爲によつて損害を蒙り、現在戰災からの復興と再建の任務に直面してゐる聯合國に、物質上の援助を與へること

(C) 歐洲において戰爭のために齎らされた經濟上の混亂から回復するため、侵略國たるドイツをして、ドイツ車によつて破壊された諸國よりも早期に平時生活水準を回復せしめぬこと

三、英國並びに聯合國の安全を保障する必要上、賠償として持出すことが出来ず、しかも武器生産乃至はドイツ經濟の平時需要以上に資金、機械及び化學製品を生産し得る工業資本施設をドイツにおいて破壊しなければならぬ、但し許可されるべき平時工業活動乃至一時の利用に使用され得るドイツの建造物及び施設を無闇に破壊することは米國の意思するところではない、併しながら賠償として持出すことの出来ぬ造船、飛行機、武器、爆發物及び若干の化學製品の生産に使用されてゐた特定の施設及び建造物を破壊する必要があるのは自明であらう、以上の諸部門中特定ならざる施設及び建造物といへども、賠償として望ましくないときは、統合複合企業中にあり、且つその配置が後に平時から軍需上の目的への轉換を大いに促進するものである場合は、相當部分破壊されることとならう、最後に賠償に充當されることになつた工場から機械設備を持ち出す際、平時の使用に當てる目的で殘餘の施設及び建造物を使用し得る状態に留めておくために、賠償受理者の希望する機械設備の一部分を留めておくことは許されない、但し以上の制限内では、米國の賠償及び安全保障政策は、ドイツ平時經濟にとつて價值ある資本施設の懲罰的破壊に結果する如きことを意圖してゐない

四、かく戰力を芟除されたドイツ平時經濟の工業能力を決定することは、賠償による持出しの量と性質を算定する眞の基礎だが、以上を決定する目的のためには、ドイツの地理的限度がペルリン

宣言の規定即ちオーダー、ナイセ兩河の線の以東の地域を持たぬ舊ドイツ帝國の地理的限度と一致すると考へておかねばならない

五、ベルリン宣言は賠償としての工業施設の持出しへの指針として、歐洲（英國とソヴェト聯邦を除く）の平均水準を越えぬ生活水準をドイツ國民に許容する均衡のとれたドイツ平時經濟の概念を明かにしてゐる、國務省の見解では、ベルリン宣言はドイツが賠償支拂に應じ得るため生活水準の低下を必要とする以外ドイツに生活水準の低下を強制する意圖はない、事實ベルリン宣言は他國に對する侵略行爲により生起せしめた戰爭損害に對してドイツが賠償を支拂ふ義務を歐洲の平均水準以上にドイツをして生活水準を維持するために緩和せしめてはならぬと規定してゐるだけである、國務省は更に生活水準の基準を二ヶ年間の賠償持出し期の直後の年に關するものと解釋してゐる、以上の要求に應ずる目的からして、賠償持出し後のドイツ工業生産能力は、一九四八年には歐洲の平均水準と同等の生活水準を確保することが實際に可能でなければならぬ、ドイツの平時經濟が一九四八年以前に直面するとみられる行政並びに經濟機構上の困難な問題を考慮するならば、その時にドイツに残つてゐる工業施設が全能力で生産するかどうかは疑はしい、従つてドイツの生活水準は暫くの間歐洲の一般水準を下廻るであらう

六、一九四八年における歐洲の生活水準は一九三〇年から一九三八年までの期間における平均生活水準に近いものと推定されよう、もしも以上のやうに推定するならば、ドイツに残しておく工業資本施設を評價する基礎として選ばれるドイツの生活水準は、國民所得指數によつて計畫されるドイツの生活水準が歐洲における一九三〇年から一九三八年までの期間の平均水準に最も近い年におけるドイツの消費資料を使用して規定することが出来るよう、かく選抜した年におけるドイツの消費水準は、選抜された年におけるドイツの水準と歐洲の平均水準との間に差異が生ずる増合、上げ下げして調整されねばならない、但し以上に示唆した

過去の消費記録は單なる一般指針に過ぎない、従つて更に次の調整が必要とされる

(A) 選ばれた年と一九四八年との間における人口上の變化に備へるための用意

(B) 選ばれた年におけるドイツ消費の型が、通常の型から著しく逸脱する場合、調整が許される

(C) ドイツの運輸施設及び建築物はドイツ平時經濟の要求に應ずるやう縮小されるが、以上に對する大規模の損害を、ドイツ國民が合理的な再建速度で利用することを許容する、選ばれた年の調整された生産高を確保するため必要な資材以上に十分な追加資材を、將來二十年間の住宅不足を克服し、五ヶ年間鐵道及び道路運輸施設に附屬する建築物を修理するため残しておかねばならない

(D) ドイツが工業施設の持出しを完了し、殘存資源の再活動を開始した後に、ドイツが外部からの援助を受けずに生存出来るやう、十分の資源をドイツに残しておかねばならない、以上に述べたことは更に左に詳細に取扱はれる

七、ドイツの平時經濟を編成するに當り、米國の關心はドイツ工業の武裝解除と曩に指摘した生活水準で均衡のとれた經濟狀態を確立させることに局限されてゐる、米國は、米國の輸出を支援してドイツ商品から米國市場を保護するとかその他の目的をもつて、世界市場のために有効に生産を行ふ平和な性質のドイツ工業を一掃するか乃至は弱化せしめる意圖はない、同様に米國は他國がドイツ平時經濟の犠牲において自國の商業上の目的のためにベルリン宣言の工業武裝解除計畫を利用することに反對する、ドイツ經濟が國際的性格を帯びることこそ米國の希望するところであり、アウタルキー的性格を帯びることを希望するものではない

八、賠償のための持出し量を決定する場合、米國は資本施設の不足のためにドイツが必需物資輸入の支拂に當てるやう十分な量の物資を輸出出来なくなる程度まで、賠償持出しを行ふことに同意

時事通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

しない、従つて英國及びソヴェト聯邦を除く歐洲の平均水準と等しい生活水準を維持するに必要な物資の輸入に對して支拂を行ひ得るために、ドイツが十分な輸出物資を生産出来るやう生産施設を残しておかねばならない、以上に關し次の諸點を強調する

(A) ドイツに残しておくべき資本施設額を決定する場合、輸入推定額を決済するに十分な輸出品を生産する能力について一定の基準をたてておかねばならない、この場合ドイツ輸出工業に、占領軍の消費する物資及びドイツにおいて消費されぬ部隊費を含めて外部から蒙る占領費を支拂ふための生産能力を賦與することは許されない

(B) ベルリン宣言はドイツ經濟を編成する際に「農業及び平和國內消費産業の發展に重點をおく」ことを規定してゐるが、そのためには金屬機械及び化學工業以外の資源から輸出を行ふ能ふ限りの規定が必要とされる

(C) ベルリン宣言中には工業資本施設持出し及び金屬、機械、化學工業部門に制限を加へる政策は、以上の諸生産物資源につき從來ドイツに依存してゐた諸國をして他に求めしめる結果を招來する事が明かに認められてゐるが、ドイツの平時需要を超過する金屬、機械、化學諸工業の生産能力がドイツから賠償を受ける資格ある諸國に移されるのであるから、ドイツの喪つた工業生産能力は暫く後で世界の他の國々に、主として歐洲において大部分回復される筈であるしかしながらドイツから持ち出される工業は主としてドイツによつて破壊された工業を補充するものであり、戦前の需要を十分満足せしめる程度のもではないことに留意しなければならぬ、またドイツ工業を回復せしめるために努力を注ぐ結果、ドイツの侵略行爲によつて損害を蒙つた歐洲諸國の再建を遅滞せしめる如きことがあつてはならない

(D) 輸出入勘定の平衡を確保するに必要な生産能力の量を決定する場合、米國その他の占領國は事實上輸出入勘定の均衡を確保することが出来ないであらう、米國その他の占領國の責任

は協定された最低限度の生活水準で均衡を確保する合理的な機會を與へてやるにある、従つて輸出に必要な工業生産能力の量を決定する場合ドイツの輸出力が合理的に評價されるならば、まさかの場合の豫備を見積つておく必要はなからう、しかしながらドイツが前掲第五項に示した若干の期間に戦災から回復し、住宅及び運輸施設の補修を行ひ得るほどの資源が残されてゐるかどうかを注意する必要がある、かかる立遅れを清算するための期間を延長すれば、必要の場合には輸出品の生産に當る能力を更に若干賦與することとならう

九、米國その他の占領國がドイツに對する輸入を賄ひ將來以上の輸入に對して支拂を行ふ必要は、ポツダムにおいて同意をみた賠償持出し政策からは最初の程は生起しない、ドイツ經濟はドイツの敗戦によつて事實上完全に停止し、運輸機關、經濟機構、行政指導の殆んど完全な瓦壊を齎した、たとへ工業資本施設の持出しが實行されなくともドイツは疾病と社會不安を阻止するために必要な最少限度の輸入を賄ひ、ある場合は以上の輸入を清算するのに聯合國の援助を相變らず必要とするであらう、たとへ資本施設の持出しの大部分が完了した後ですら、燃料、食糧及び原料の入手が限定されてをり、且つナチがドイツの經濟、政治機構に齎らした間隙を埋める工作が遅々として捗らぬために、ドイツ經濟が残存工業生産能力をもつてここ暫くの間やつて行けるかどうかは疑はしいまた賠償持出し施設の輸送のために、ドイツ經濟の回復と輸出の擴大に必要な輸送能力は制限されるといふことも考へられるし、又大いにあり得ることである、併しながらベルリン宣言において規定された賠償政策が、ドイツからの賠償に關する以上の規定が全然行はれぬ場合より長期間ドイツの輸入を賄ひ、より大きな程度に輸入に對して支拂ふことを聯合國にとつて必要とするのは、この點に關してのみである

一〇、今後二ケ年間、米國その他の占領各國はドイツ手持の在庫品ならびに現在の生産だけで

必要な最少限度の輸入を賄ふことが出来ぬ限度において、ドイツへの右輸入の資金を賄ふことを要する。

占領期間におけるドイツ人の生活標準に關してベルリン宣言は、何等規定してゐないから、占領各國には歐洲の平均水準に等しい生活標準をドイツ國內で實現するに足るだけの十分な輸入を提供してやる義務はない、米國の關する限りにおいてドイツ國內における現在の供給標準は依然として「疾病と不安」の方式によつて支配されてゐる、ひとり占領米軍に對し、危險を興へる疾病と不安とをさける爲ばかりでなく、選擇されたドイツの輸出工業を再び活動させ、これによつて一定量の外國爲替を獲得し且つ出来る限り占領各國が過去において、輸入のために支出した失費を取戻すやうにすることが利益だから、第九條に掲げられた諸條件の下に於て、右様式並びに分量の輸入をドイツに許すことが好結果を齎すであらう、いよいよドイツとの平和條約締結の時期が到來した際にドイツの輸入に對する支拂ひが延滞してゐるやうなことがあれば、以上の蓄積した不足分を辨濟する義務をドイツに課するか否かを占領各國が決定しなければならぬ。

十一、今差あたり且つ來年の春までは間違ひなく軍政府當局は輸送機關の修理、住宅並びに缺くことが出来ない公共事業の應急修理及び石炭と農作物の生産と最大限に増大することに全力を集中せねばならない、現行の指令が要求してゐる輸送機關、住宅並びに公共事業は最定限度の修理を行ふにあるも勿論或程度の石炭がドイツ國內でも必要である、しかしながら歐洲で石炭と原料資源が不足な限りにおいては、解放外領域に上げる工業生産の復活のためにこれら物資を最大量提供しようといふのが合衆國の政策である、現存の諸指令に準據して石炭を最大限度に輸出しようとするればドイツ國內において工業生産を相當量復活するに足るだけの石炭を配給する事が出来なくなり、この冬の期間には輸送、住宅、公共事業並びに農業に直接關係ある分野の活動を制限することとならう恐らく來年の春までにいよいよ歐洲の石炭危機を

のりきることが出来れば、情勢を再検討しドイツ炭を現在よりも多量に必要缺くことが出来ないドイツの工業生産、特にドイツの輸出諸産業の復活のために振り向けることが出来るかどうかを確め得る事とならう、この方向において初期の成果をあげるかどうかは、ひとり解放各領域における、石炭需要を充たすことが出来るかどうかによつて決するばかりでなく、軍政府當局がドイツの石炭生産を引上げ、ドイツの輸送機構を回復出来るか否かによつて決定されよう、その間軍政府當局は必要な民需物資を提供し、且つ輸指向けの生産が出来る、ドイツ各工業の燃料並びに原料資源に關する所業について検討を加へ、石炭と原料資源が手に入るやうになり次第、ドイツ國內につくつてゐる産業力を選択的に復活させる計畫を實施出来るやうにせねばならない、右計畫を起草するに當つては軍政府當局は燃料と原料資源を消費する點で、一番多くドイツの輸出入の均衡を得させる上に役立つと同時に、ドイツ經濟の最も切實な内面的所要を満足させることが出来るやうな産業部門に優先權を與へねばならない。

十二、占領軍當局がドイツ復興の過程において擔當する役割は、一般的にいって將來ドイツ人自身がドイツ經濟の運営に責任を負ふことが出来るやうな諸條件を提供しかつ確立することの存する、占領軍當局がひとり各占領地域内の生産並びに通商の分野においてだけでなく、各占領地域間並びに國際間の通商の分野においても、更にまた輸送、農産、銀行、通貨、課税等についての共通の政策を實施するに當つても、ドイツ人による行政機構を發展させることに主力を傾中して復興計畫をたてねばならない、右過程の一部面をして非ナチ化は現期間内の満足に終了せねばならない、その他の點については聯合國管理々事會が上述したドイツ經濟の各様相について、實行すべき指導的諸政策について協定を締結し、之等政策を實施するために各地域間にドイツ人による機構を工案することが最も重要である。

リンのために、以上のカロリー量を確保する目的で現在小麥を輸入してゐる、ドイツ國民の相當部分は地方から入手する食糧によつて配給制當量に追加するか、乃至は炭坑労働者の場合のやうに自己の勞働によつて通常消費者よりも多い配給量を貰つて、一日千五百五十カロリー以上の食糧を攝取してゐる、併しながら主要諸都市特にベルリンでは食糧が不足してをり、冬季には特に酷い状態となつてゐる、千五百五十カロリーは長期間住民の健康を維持するには不充分であるが、通常消費者の基準量として今冬ドイツにおける大量餓死を阻止しなければならぬ、もしも通常消費者にとつてもつと高い水準が必要だと判断され、解放地域の食糧基準と睨み合せて許されるならば、ドイツの配給量は四占領國間の協定によつて増加されるよう

△平和建設を援助

要するに、若干の解放地域に比較すれば困難の程度がほんの僅かだけ酷いといふだけだが、それでもドイツにとつては極めて困難な冬季であり、ドイツ國民の食糧状態と、ドイツからの石炭輸出の割當に關し、米國の政策が緩和されることにはならぬ、それと同時に解放地域の犠牲において、四占領軍當局の困難な任務を緩和することになる、米國は明春から始まるドイツ經濟政策の第二段階に對處するため、建設的に準備を進めてゐる、この第二段階には、ドイツは徐々に回復する豫定である、賠償に基き工場を移轉すると同時に、残置すべき工場が指定され、燃料及び原料が入手し次第、残置を許された工業は次第に活動を再開し破壊された輸送施設が復舊する、勿論石炭の輸出は續行されるが、石炭の増産が可能となれば、冬が終ると共にドイツ經濟に對する石炭の割當量が増加される、その結果ドイツの工業生産は増大しドイツの輸出は必要とする輸入を賄ひ得る水準に近付き得ることとなり、現在の非常時における費用を占領國に支拂ふことが出来るやうにならう

經濟發展の第三段階は、ボツダム議定書の規定に基き、一九四八年二月二日に完了すべき賠償持出し期以後にあたる、その頃にはドイツに残され

た資源は、ソヴェト聯邦及び英國を除く歐洲大陸の爾餘の諸國と同一水準まで、ドイツの生活水準を向上せしめることが可能とならう、住宅及び運輸は經濟發展の先行二段階よりも迅速に回復するドイツ國民はこの期間に、占領諸國が課すことを決定せる殘存諸制限下にある經濟に對する支配を回復する

以上の諸制限は占領諸國間の協定に基き決定されるが、米國政府の見解では、専らドイツの再軍備を阻止することを目的とすべきであり、ドイツ國民の生活水準を限定乃至低下せしめるものであつてはならない、この點に關し留意すべきは、現在の占領諸國が他の多くの國と同様ドイツの侵略行爲によつて多大の損害を蒙り、ドイツの敗北に主な役割を果し、且つドイツの戦後處理に不斷の關心を寄せてゐることである、ボツダムにおいて意見の一致をみた處理方式によれば、東部國境の移動と他の諸國からの數百萬のドイツ人の移動を必要とする、また歐洲の復興と安全保障のために軍需工業生産施設の大部分をドイツから持ち出さねばならない、これら軍需工業生産施設はドイツ市民には全然役立つことなく、一九三三年以降戰爭準備と戰爭遂行に役立つてきた、ボツダム議定書にも述べられてゐるやうにドイツ國民を破壊するか乃至は奴隸化することは、聯合國の意圖するところではない、聯合國の意圖するところは、ドイツ國民が民主主義的で平和な基礎に基いて彼等の生活を再建する目的を達成するために努力を傾注するならば、その機會を與へてやることであるドイツ國民が、世界の、自由にして平和な民衆の間に自らの地位を占めることは可能である

海軍銀行の設置案

(メキシコ・シテイ十二月二日)メキシコ海相エルベルト・ヤラは資本金五千萬ペソ(米貨一千萬弗)の海軍銀行を設置するやう政府に提案した、政府が右提案を承認すれば、同銀行は先づメキシコ灣岸及び太平洋貿易擴張のため、米國乃至カナダから船舶六隻を購入する段取と報ぜられる

昭和二十年十二月十八日(火)

第三九號

時事通信

海外電報

(39)

【目次】

國共直ちに和解せよ……………	三九四
マシヤル元帥出發……………	三九五
共和黨議員の酷評……………	三九六
モスクワ會談始る……………	三九七
アゼルバイジャン國民政府成立……………	三九八
イランに關する英國政府の回答……………	三九九
對フランコ斷交說再燃……………	四〇〇
ネグリン、國務省訪問……………	四〇一
伊新内閣政綱發表……………	四〇二
【西 亞】	
即時撤兵を正式に要求……………	三九七
【歐 洲】	
法王、新舊兩教徒の結合を説く……………	三九八
波蘭の慘狀……………	三九九
白、獨占領に参加……………	四〇〇
瑞西政府、ナチ財産を返還……………	四〇一
佛占領地の肅清……………	四〇二
獨流民の就勞計畫……………	四〇三
獨中央政府機構樹立へ動く……………	四〇四
【戰後處理】	
ベネツト中將の公聽會終る……………	四〇五
【米 洲】	
ウ上院、共同干渉案を可決……………	四〇六
米、コスタリカと軍事協定……………	四〇七
「ラ・プレッサ」紙發禁……………	四〇八
九月のアンラ支出……………	四〇九
マシヤル大使十五日赴任……………	四一〇
【特 輯】	
ニールンベルグ裁判(二)……………	三九九
【資 料】	
IGファルベン調査報告(上)……………	四〇三

本部は米國と決定

(ロンドン十五日) 國際聯合準備委員會は十五日懸案の本部常設地問題を表決に問ひ、まづ歐洲案を二十五票對二十三票をもつて否決した後、米國案の表決に入つたが三十票對十四票六票は棄權をもつて可決され、カナダ、英國、ノルウェー三國代表の動議に基き満場一致採擇の形式で米國を推薦することになつた



最近米國では日本の天皇制論議が、日本における以上に流行であるが、最近出た本の内で注目すべきものの一つに、ワイラード・ブライスの「日本及び日嗣の子」ジャパン・アンド・ザ・ソンの「オプ・ヘヴンがある、結論は「天皇尊崇が日本の全侵略計畫の主なる發條である」といふにあり、「これを拂拭しない限り、日本は今次の戦争の痛手から回復した後、再び世界の脅威となるであらう」といふにある、ブライスは天皇尊崇が無害な迷信であるとか、聯合國は天皇を日本に民主主義を訓へまたは日本の安定を維持するために利用出来るとか乃至は利用すべきだとか稱する論を排斥する、彼の信念によれば、日本を危険國たらしめた天皇、軍閥、財閥の一連の色彩を全的に驅逐する爲には長期に亘る占領と訓育が必要であるとする、ブライスの提案は今上陛下を退位せしめ、

その後長期に亘る空位時代をおいた後、一般人民投票によつて選ばれた憲法議會に日本の政治形態を決定せしめるといふにある、ブライスはこの決論を抽出するために、長く

且つ詳細な日本歴史の諸データを分析し解明してゐるのであるが、彼によつて齎らされた如き結論は、米國の日本管理方式論者のうち理想派を代表するものといつて差支へあるまい、天皇制存置を可とする現實派の論據は「終戰當時示された天皇の權威は、今なほ日本國民が天皇に對して抱いてゐる感情を端的に表現したものであり、この現實が日本の將來の爲めに幸か不幸かは別として、少くとも當分は天皇制を利用すべきだらう」といふに盡きるが如くで、天皇制が長き將來に亘つて、日本が必要とする制度であるか否かには疑惑を有してゐる、そして、その解答を日本國民自らの決定から引出さうとするのが、公式に表明された少くとも現在における米國の政策である、そして傾向は次第に理想派の主張に近づきつつあるものと理解される、日本國民は最も速かなる機會において、その總意をこの問題について表明すべきである、そしてその機會の供與を政府に要求すべきであらう

國共直ちに和解せよ

——トルーマン大統領對華政策闡明——

(ワシントン十六日) ホワイト・ハウス當局は十五日夜米國の對華政策に關するトルーマン大統領の聲明を發表した、聲明全文次の通り

△中國分裂は平和の脅威

合衆國政府は、今日以後のこの新しい未開拓の世紀における世界の平和と繁榮とが國際聯合機構における集團的安全保證のために團結する主權諸國の能力に依存するものなることを信ずる

中國が強く統一された民主主義的國家たることを國際機構の成功と世界平和にとつて最大の重要事なりとはわが政府の確たる信念である、日本の企圖に見たごとく外國からの侵略により或ひは激烈なる内部鬭争により中國が亂れ分割されることは、現在並びに將來における世界の安定と平和に影響する、合衆國政府は古くから、國內問題の處理は主權國民の責任なりとの原則を持してゐる、しかしながら本世紀の諸事象は世界の何處における平和の破綻も全世界の平和を脅かすことを示したのだつた、従つて中國々民がその國內の紛争を直ちに平和交渉の手段により調整する機會を逸せざることは、米國その他聯合國すべてにとつて最も重大な關心の的である

△正統政權は國民政府

合衆國政府は

一、日本軍の即時撤兵を含み全中國の中國人による効果的な管理への復歸を完了させるために、國民政府軍と共產軍その他反對派武装兵力との間の戰鬭行為停止が圖られること

二、現在の内紛に早い解決——中國統一を齎すべき解決——を生むために、重要な政治的要素の代表をもつてする全國會議が準備されることを絶對必要なりと信ずる

合衆國その他聯合諸國は現中華民國々民政府を中國における唯一の適法政府と認めてゐる、それは統一中國なる目標にとり正しい機關である

合衆國及び聯合王國は一九四三年のカイロ宣言により、ソヴェト社會主義共和國聯邦は七月のボ

ツダム宣言追認並びに一九四五年八月のソ華條約その他諸協定により、ともに滿洲の中國による支配への復歸を含む中國の解放を公約した、これら諸協定は中華民國々民政府との間に締結されたものである

ボツダム宣言に準據して今次大戰遂行における中華民國々民政府との常時緊密なる協力を繼續し中國に日本勢力の殘る可能性を除去するために、合衆國は日本軍隊の武装解除及び撤兵に明確な責任をとつた、従つて合衆國は被解放地域における日本軍隊の武装解除及び撤兵を實行する上において中華民國々民政府を援助し來つたが、今後その援助を續けるであらう、その目的のために北支には合衆國海兵隊がゐる

合衆國は現在並びに今後引續き國民政府を承認し、國際問題特に中國からの日本勢力驅逐に關し同政府と協力するであらう、合衆國はこの目的の效果的達成のために戰鬭行為の停止に關する即時取極めが絶對必要なることを確信する、合衆國の支持はいかなる中國内紛に對してもその成行へ影響するごとき合衆國軍事干渉にまで及ぶこととはないであらう

合衆國は最初日本の滿洲における侵略行為により破られた平和を回復するために既に多大の代償を支拂ふことを餘儀なくされた、太平洋における平和の維持は、中國における日本勢力が完全に一掃されない限り、中國が統一せる民主主義的平和國家としての地位を獲得しない限り、たとへ挫折することはないまでも危殆に瀕することはあるかもしれない、これが合衆國陸海軍兵力の差當り中國に駐屯する目的である

△一黨政治揚棄の必要

合衆國は現國民政府が一黨政府なることを認識してをり、中國における平和と統一と民主主義的改革とはこの政府の基礎が擴張され國內の他の政治的要素をも包含するに至りたる場合に一層進められるだらうと信じてゐる、従つて合衆國は國內主要政治諸要素の代表による全國會議がこれら諸要素に對して國民政府における公平且つ有效な代表權を與へるとき諸取極めに關して協定することを大いに提唱する

時事通信

海外電報

電報編輯部

共和黨議員の酷評

(ワシントン十六日) 醫師として、滯支十年の経験をもつミネソタ州選出共和黨下院議員ウオルター・H・ジャツドは、大統領の聲明についてAP記者に對し次の通り語つた

大統領のマーシヤル元帥に與へた指令は從來常に蔣委員長の採つて來た態度の尻押しを米國がやるといふことだと信する、何ら新しい政策を立てることもなく、米國の從來やつて來たことを敷衍したにすぎない、いよいよ共產黨に對しては壓力を加へるが、蔣委員長には何も從來やりたがらないでゐたことを要求してゐるわけではないのだ

モスクワ會議始る

(モスクワ十六日) 米國代表バーンズ國務長官は十四日午後四時十六分折からの暴風雪のなかを一時間遅れて空路モスクワの中央飛行場に到着したバーンズ長官は到着後記者團と會見し

今回の會談は、ヤルタ協定のなかに、三ヶ月毎に三大國の外相が會見すると述べてゐるところを實施したまでだ、三國の代表が時々會議して意見を交換することが必要である

と述べたが、會談が原子力の管理からイラン問題日本管理案等の重要懸案に及ぶことは、外交界の一致した觀測だ

次で英國外相サー・アーネスト・ベヴィンも、十五日午後空路ベルリンから到着、テヘラン駐劄英國大使サー・リダー・ブラードも間もなくモスクワに到着した

モロトフ外務人民委員は既に十四日、バーンズ國務長官と會見、次で十五日英國外相と會見したが會見には英國大使サー・アーチボルド・クラーク、外務次官サー・アレグザンダー・カドガン、ヴィンシンスキー外務人民委員部次長も參加した

十六日夜モロトフ外務人民委員は兩國代表をクレムリン宮に招致、第一回會談を開始したが、當日は主として議事手續が討議されたと解される

これは中華民國の父たる孫逸仙博士により民主主義を目指す國民的前進における中間的措置として設定された一黨「政治指導」の修正を必要とすることが知られる、共產軍のごとき獨立兵力の存在は中國の政治的統一と兩立せず、事實上それを不可能ならしめる、廣く代表された政府の組織と共に、獨立兵力あるものは根絶され、中國にあるすべての武裝兵力が效果的に統合されて中國々民軍となるべきである

△合衆國に援助の用意あり

しばしば自ら表明せる民族自決に關する諸見解に従ひ、合衆國政府は、中國における政治的統一の達成に必要な細かい諸段階が中國人自身によつて齎されなければならず、すべてこれら諸問題における外國政府の干渉は適當ではないと思料するしかしながら合衆國政府は、中國が他の聯合國諸國に對して世界の安寧及び平和を脅かすごとき自領内の武力紛争を根絶すべき責任がある——これは國民政府及び中國のすべての政治的軍事的諸團體が共に分つべき責任である

以上述べたるごとき線に沿つて中國が平和と統一に向つて進むならば、國土を復興し農工經濟を改善し、平和及び秩序の維持における中國の國家的國際的諸義務を遂行する上において、合衆國は無法ならざる限りあらゆる方法で國民政府を援助する用意を有するだらう、かかる援助を實施するに當つては、全中國における健全經濟並びに米華兩國間の健全なる貿易關係の發達に寄與することと計畫に基く中國側の無法ならざる條件によるクレジット及び借款に對して、合衆國は厚い考慮を加へる用意を有するであらう

マーシヤル元帥出發

(ワシントン十六日) 前參謀總長ジョージ・マーシヤル元帥は大使の資格を有する大統領特別使節としてワシントンを出發、空路重慶に向つた、重慶到着は重慶時間二十日の豫定、元帥の出發は大統領の聲明が發表される四時間前のことだつた

アゼルバイジャン國民政府成立

テヘランからのタス電報によれば、民主黨の首班シヤファール・ピシエヴァールは今回「アゼルバイジャン國民政府」を樹立したが、タブリズ市の駐屯軍司令ダハシヤニは、十六日ピシエヴァール首相との間に降伏協定に調印したと傳へられる一方テヘランからのAP電報は、イラン議會が十五日秘密會を開催内閣更迭について協議したと報道してゐる

イランに關する英國政府の回答

(ワシントン十六日)米國々務省はイランからの撤兵に關する英國政府の回答正文を十四日發表したが、要旨次の通り

「米國政府が承知してゐる通り、ロンドンにおける外相會議で、英國政府はソヴェト政府に對し兩國政府が十二月中旬までに餘剩資産並びに施設を處分するため、僅か少部隊を残すだけで一定の明示された地域を除き、ペルシヤ全國から各自國の兵力を撤收することに同意するやう提案した、ソヴェト政府は右提案を受諾出来なかつたが、それにも拘らず英國政府は、ソヴェト政府に對する提案で示唆した取極めを着々運び、依然としてペルシヤ國內に残留してゐる英軍部隊は、出来るだけ速に南方に撤收、目下同國の西南端に駐屯してゐるに過ぎない

英國政府は、ペルシヤ駐屯の聯合軍は専ら戰爭と關係ある諸目的のために駐屯してゐるので、既に戰爭が終つた以上、出来る限り速に撤收すべきだとの見解を抱いてゐる、かるが故に一九四六年一月一日前に、聯合軍が悉くペルシヤから撤收すべきだとの米國政府の提案に接するや、英國政府は緊急の問題として、右期日までに自國軍を撤收することが實際に出来るかどうか検討を開始した然るにソヴェト政府が米國政府の提案に同意する用意がない旨米國政府に通告したため、英軍當局は一九四六年一月一日までに撤兵する手配の細目を検討する計畫を打切つて了つた

英國政府は一九四三年十二月一日のテヘラン宣言に盛られた公約を履行するためには、イラン政

府が自らの權威を保全し、且つ國內の治安を維持するため必要と考へる方法において、自國の武裝兵力を移動する全面的自由を與へられねばならぬとの見解に全く同意である」

對フランス斷交說再燃

(パリ十六日)「フランス・ソアル」紙は「權威ある筋」の情報として、フランス政府は近く米英兩國政府に對して三國會議を開催し、フランス政權との對立問題を議することを提唱するといはれる、フランス三大政黨は既に黨議をもつてフランス政府との斷交を政府に建言してゐるのでド・ゴール政府にしても可及的速かに本問題の解決に迫られてゐる、尙フランス憲法議會は十三日、目下各地で肅清裁判に従事してゐる特別法廷を廢止して普通裁判所で右公判を行ふべきことを議決した

ネグリン、國務省訪問

(ワシントン十六日)スペイン共和國最後の首相ファン・ネグリンは十五日國務省にディーン・アチソン次官を訪問會談したが、内容は發表されてゐない、國務省官邊では米國とフランス政府との將來の關係についても話合ひがあつたが、結論には到達せず意見交換の程度だつたといつてゐる、しかしネグリンの國務省訪問は米國とフランス政府との斷交問題論議に再び油をそそいだことは事實である

伊新内閣政綱發表

(ローマ十六日)アルシデ・デ・ガスペリ新首相は十三日夜の初閣議において新内閣の綱領として一、食糧及び生産復興促進

二、農制改革

三、船舶行政の刷新により、船舶の賣買備船の促進

の三大政策を提示したといはれる、肅清問題については来る四月總選舉以前に工作を終り、國內統一に邁進すべき必要を力説し、同時に國民諮問會議をして速急に新選舉法の制定と警察組織の確立をなさしめることを主張したといはれる

【西 亞】

即時撤兵を正式に要求

(テヘラン十四日) 米國政府が明年一月一日までにイランからの撤兵を提案したのに對し、英ソ兩國政府が拒絶したため、明年三月二日まで英ソ兩國軍隊がイランに駐屯することは確實とみられるに至り、イラン政府は外國軍隊の存在をイラン騷擾の原因とみて既に前後三回に亘つてソ聯に即時撤兵を要求してゐるが、イラン外務省は十四日テヘランの米英ソ三國大使館に正式の覺書を提示し重ねて「聯合國軍隊のイラン即時撤收」を要求しモスクワ會議においてイラン政府代表を加へてイランの地位を最終的に決定すべきことを要請した。他方アゼルバイジャン地方の首都タブリーズは叛亂軍の重圍下に陥つてゐるが、同市を脱出、飛行機でテヘランに到着したアゼルバイジャン地方總督バヤートは次の通り語つた。

タブリーズの陥落は目前に迫つてゐる、タブリーズのイラン政府軍は既に二週間以上の間、叛亂軍の包圍下にある、戦闘を続けるべきか、はたまた降伏すべきかについて政府からの訓令を待つてゐる實狀だ。

【歐 洲】

法王、新舊兩教徒の結合を説く

(ローマ十三日) ローマ法王廳は、十三日ピオ十二世が、トレントの大司教に與へた書翰を發表したが、その中で法王は世界あらゆる所のキリスト教徒の團結を説き、ローマン・キャソリック教徒と新教徒との結合の必要を強調してゐる。

波蘭の慘狀

(ワシントン十四日) ポーランドに對する聯合國救濟復興委員會のポーランド派遣使節團長チャールス・ドルーリイ代將は數週間の視察旅行を終へて十三日同國が今冬飢餓の危險に當面してゐる事實を指摘、次の通り言明した。

ポーランドの寫景は完全破壊の姿である、國民が生きてゐるために必要とする一切のもの、家屋、工場、道路、橋梁、鐵道、港灣等何一つとして満足なものはない、農業機械はなく、耕馬は不足し、國民の衣料、食糧は悪く、凡てが想像以上だ、事實いまポーランドに残されてゐる唯一の資産といへば國民だけで、あとは全部戦争と共に消え去つた。

白、獨占領に參加

(ロンドン十三日) ベルギー外相アンリ・スパークは十三日次の通り言明した。

ベルギー軍は現在英國の占領地域内に含まれるドイツの一部を明春早々引き繼いで占領する筈である。

瑞西政府、ナチ財産を返還

(ベルン十四日) スイス聯邦政府は十四日、ナチドイツ人によつて、その占領地で押收されスイス國內に移轉されたあらゆる財産は、これを正當所有者に返還する旨の法律を公布した。

佛占領地の肅清

(パリ十三日) 憲法議會、外交委員會は十三日、ドイツ占領地域内の好ましからざるフランス人、及びドイツ人の肅清方を決議したが、右は佛軍占領地域にヴァイシー派と目される文武官が高地位を占めてゐるのに對する輿論の攻撃に應へたものである。

獨流民の就勞計畫

(ロンドン十四日) ドイツにおける聯合國救濟復興委員會の代表サー・フレデリック・モーガンはつぎの通り言明した。

聯合國救濟復興委員會は目下ドイツで再植民乃至は歸國を待つてゐる三百二十五萬の流民を就勞させるやう計畫中である、これら流民は炭坑勞働者が不足してゐるフランス、チェコスロヴァキアで使用されるであらう。

獨中央行政機構樹立へ動く

(ベルリン十四日) 聯合國ドイツ管理々事會の占領地域間統合委員會は、四國占領地域間の電信電話連絡を樹立する計畫を十三日可決した、以上は中央通信機關設置の前提として中央交換局を通じて通信を行ふ仕組みといはれる

ドイツの英占領軍當局は十四日占領地域内に残存するドイツ軍の武裝解除を促進させるため、行政機構からドイツ軍人官吏を罷免してゐる旨發表した、右は過般ソ聯が英國占領地域におけるドイツ軍武裝解除の遲滞につき抗議した結果とみられてゐる

【戦後處理】

ベネット中將の公聽會終る

(メルボルン十二日) 一九四二年二月日本軍がシンガポールを占領した當時、同地から逃亡した濠洲軍司令官ゴードン・ベネット中將に關する公聽會は十二日終了した、十四日間の公聽會において二十二人の證言が行はれ、證言語数は二十萬語に達したが結局ベネット中將は、英軍總司令官パーシヴァル中將から「日本軍の降伏條件はマレーの全軍が降伏條件を遂行するため、追つて命令あるまで現地に留まることを要求してゐる」との聲明があつたにも拘らず逃亡して、降伏條件の遂行を援助すべき軍人としての義務を果さなかつたといふことに歸する模様で、義務不履行の罪は免れ得ないやうだ

【米 洲】

ウ上院、共同干渉案を可決

ウルグアイ外相の提案になる「ラテンアメリカ諸國における個人的自由を確保する」爲の共同干渉案は、同國自體においても相當反對がある模様で、USG電報によればマクダモット國務次官補は十三日の新聞會見において、記者側からウルグアイ上院が外相案を承認したとの報道に關し真相を訊したところ、次の如く答へたと傳へられる

・出先外交使臣から國務省に到着した情報によれば政府案は十六票對十五票で可決された、賛否

は同數だつたが、上院議長アルベルト・グアニの賛成投票によつて通過が決定された

米、コスタリカと軍事協定

(ワシントン十四日) コスタリカ政府の要請による米國・コスタリカ軍事協定がバーンズ國務長官とワシントン駐劄コスタリカ大使との間に署名された、同協定は署名の日から百年間有效なものだが、コスタリカ政府の要請によつてはさらに期間を延長出来る仕組になつてゐる、同協定に含まれる條項は、米國が他の米洲諸共和國と締結してゐる軍事協定と同種のもので、同國軍隊改善の爲に米國陸海軍將校の派遣が主要な項目となつてゐる

「ラ・ブレンサ」紙發禁

(リマ十四日) UP電報によれば、ペルー國の有力新聞「ラ・ブレンサ」紙は、同國政府が新聞の自由を含む憲法的權利を擁護しない事を非難した爲に十三日發行禁止の處分を受けたと報ぜられる右處分は同國議會が百五十八票對三票の大差で現政府を信任した直後に行はれたものといはれる

九月のアンラ支出

(ワシントン十四日) 統計局は聯合國救濟復興委員會に對する九月の支出は三千六百九萬四千弗に達し、八月の三千三百一十五萬四千弗に比し一〇%増加した旨發表した、以上の内比島へは二十一萬七千弗、中國へは五萬六千弗が支出されてゐる

マーシャル大使十五日赴任

(ワシントン十四日) 中國派遣特別大使マーシャル元帥は眞珠灣事件調査委員會公聽會の證言を終へたので、天候が許す限り十五日中國に向け出發することになつた、元帥はヘンリー・バイロード大佐及びジェームズ・シェプリーを帶同してC54輸送機で飛ぶが、二十日重慶に到着の豫定である元帥は十四日、ホワイト・ハウスを訪問してトルーマン大統領と十五分間會談したが、ロス大統領の秘書の語るところによれば、トルーマン大統領の特別指令を携行する筈で、ホワイト・ハウスは十六日米國の對華政策に關する一千語の聲明を發表する豫定といはれる

特輯



ニールンベルグ

裁判(二)

原子林二郎

いまニールンベルグの國際軍事法廷において裁かれてゐるナチ首腦が世界征服の惡夢に等しい計畫に日本を利用しようと圖つたことは、日本の敗戦後新たな事實が暴露されて初めて我々の知つたことではない、ナチは米國にたいする戦争に日本を驅り立て、日米戦争を媒介として歐洲、延いては世界にたいするドイツの支配を確立しようと企てたのだ、他方日本は歐洲におけるドイツの侵略戦争を利用して東亞、延いては世界に對する日本の支配を樹立しようと不遜にも計畫し、ドイツが歐洲を席捲し、ソヴェト聯邦に對する侵略戦争の火蓋を切り、ナチ強盜軍がレニングラードを包圍して、首都モスクワ指して怒濤の如く進撃したとき、日本の戦争責任者共はソヴェトの敗北いまだ必至とみて、バスに乗り遅れぬやう東亞征服の計畫を慌しく進めたのであつた

そして一九四一年十二月八日眞珠灣に對する背信的攻撃をもつて米國に對する戦争の火蓋を切つたのだ、がその翌日即ち一九四一年十二月八日、(歐洲時間)にヒトラーの軍隊はモスクワの關門で赤軍により喰ひ止められ、逆に赤軍の大反攻に直面して、ヒトラーは「冬營線への撤退」を聲明するに至つたのは歴史の皮肉だ

「冬營線への撤退」といへば人聞きがいいが、不敗を誇り常勝を謳つたドイツ國防軍がナポレオンの轍を踏んでスモレンスク街道を算を亂して潰走してゐるのだ、歐洲の平和愛好諸國民を血腥いジャガノートの車輪で押しつぶし、ソヴェト聯邦の國民が二十五年間に亘る粒々辛苦で築き上げた社會主義建設を一朝にして蹂躪したフアシスト・ドイツが斷じて勝てる筈がない、もしもこのドイツが戦争によつて歐洲を征服し、世界を支配したならば、この世には神も正義も人道もない筈だ

△マツオカ力の暗躍

だがナチの期待に反して神も正義も人道も存在してゐた、日本の戦争責任者共が眞珠灣を不法攻撃して日本國民を米國との戦争といふ恐ろしい夢魔

のなかに叩き込んだその日、ナチのドイツは敗北の運命を豫定され、従つて日本も敗戦の運命を無邪氣にも一路辿り初めたのである、ドイツの敗北は日本の敗北を意味し、日本とドイツとは血に飢えた兄弟であるとは、ジャックソン檢事の言葉だが、ドイツと日本とが侵略戦争に血を吸つた兄弟分であることは、三國同盟の締結が米國に對する帝國主義日本の戦争挑發を決意させた重大なモメントであつたことでも明かだ

日本に駐在するドイツ大使館と「日獨文化協會」を根城とする第五部隊が、日本を對米戦争に驅り立てようとして必死の工作を續けてゐたときに、日本の戦争責任者共はなにをしてゐたか?

ニールンベルグからのAP電報は十一月二十二日次の通り報じてゐる

「ニールンベルグ裁判の三日目、米國檢事團が法廷に提出した證據書類によつて、一九四一年四月日本外相松岡とヒトラーとの間の會談の模様が初めて明るみに出された、この會見記録によると松岡はヒトラーに向つてかういつたといふことだ

日本はシンガポールを攻撃したいのだが、その結果米國との戦争になることが恐ろしいのだ、日本が戦争する場合には、ドイツの秘密兵器を日本に供給して貰ひたい、余個人としては米國に對する不意討の攻撃に賛成なのだが、政府は用心深いのだ、尤も彼等とて米國との戦争は避け得ないと考へてゐる、余は法王に歐洲及び中國における戦争を永引かせてゐるのは、ほかならぬ米國、特にルーズヴェルト大統領だといふことを信じ込ませようと努めた、日本の陸海軍は米國との戦争が五年以上續き、南太平洋でゲリラ戦が勃發するものと考へてゐる

ヒトラーの答

ドイツは潜水艦と空軍力をもつて米國に對し最も熾しい戦争を遂行する準備を整へてゐる、余も米國との戦争は避け難いのを覺悟してゐるが日獨兩國はどうしても米國と戦はねばならない一九四一年春、使節松岡外相が歐洲を訪問し、日

日本の新聞が「平和使節」だと騒ぎ立て、スターリンと握手したら、その手は「暖くそして柔かかった」と勝手な熟を吹いてゐる間に、日獨兩國は米國との戦争を既に決意し、準備してゐたのだ、松岡外相が締結した日ソ不可侵條約も、種を割つてみれば、日本が米國と戦つてゐるために「後門の虎」ならぬ熊のソ聯を黙らせることを目的としたものにほかならない

△山なす證據

道草を喰つた、ニールンベルグの裁判を傍聴しよう

裁判三日目は、英國側首席判事サー・ジェフリー・ローレンスの司會で開始されたが、まづ判事はマルチン・ボルマンが缺席してゐるのだから彼の所在が発見されるまで裁判を延期せよといふ辯護士團側の要求を却下し、次いで精神錯亂の故をもつてユダヤ人迫害者ユリウス・シュトライヒアーを缺席せしめよといふ要求も却下して、裁判の續行を宣言した

そこで米國檢事團は米國の手で蒐集した二千五百の文書の中から選んだ證據物件の山を提出したこのなかにはナチ首腦の日記もあれば、會見の速記録もあり、ドイツ軍司令部の極秘の計畫も混つてゐる、うづ高く積み上げられたこの證據の山には判事側もいささか辟易の態だが、よくもまあ集めたものだ、當の被告連は勿論、傍聽席も口あんなぐり

判事長は同僚の米ソ佛三國判事と相談した後、米國側の證據物件提出を承認し、辯護團に對しては望む場合は後刻反對を申し出る機會を與へる旨を明かにした、そこで米國側副檢事ラルフ・アルブレヒトとフランク・ウォリスが證據物件の要領書とナチ指導部及び黨組織の構造を示した圖面を提出し、アルブレヒトは

黨指導者達の責任を明かにした圖面が精確なことは、被告ウイルヘルム・フリツクの口供書中に證明されてゐると述べた

米國側檢事團の提出した要領書が朗讀されたが

それはナチ黨の追究した不法の目的と手段を明らかにし、ナチズムの基礎たる權力主義的で全體主義的なフューラー・システムを難じ、被告のアルフレッド・ローゼンベルグとユリウス・シュトライヒアーが「支配民族」といふナチの原理を普及するのに顯著な役割を演じた事實を指摘してゐるといふ、また要領書にはヒトラーの最初の閣議の模様が詳細に述べられてゐるが、それによつてナチ指導者共が非合法手段でドイツの政權を奪取する計畫が進められたことが暴露された

更にナチ黨が中央政府とは別個の手製の法廷を設置して章魚の觸手を全土に擴張、勞働組合を破碎し、宗教團體を迫害した様子が詳細にしたためられてあつた、要領書を讀み上げたウォリス少佐は一段と聲を高めていふ

被告ユリウス・シュトライヒアーはユダヤ人の迫害を支配民族政策を推進する手段と見做した彼の犯罪は人類剿滅の酷薄な計畫である

△出しやばりめ！

このナチ被告共は珍らしく元氣で、ゲーリングの如きは絶えず微笑を浮べて、辯護團とさかんに私語を交してゐたといはれ、空ろな眼で一點を凝視して不氣味な雰圍氣をつくつてゐたヘスまでが、傍らのリツベントロップとなにごとに囁き合つてゐた、ところがアルブレヒト副檢事がナチの黨機構を示した圖面を提出して、ヒトラーなき後はゲーリング、ゲーリングなき後はヘスと言つたヒトラーの例の遺言を説明すると、ヘスは傍のゲーリングの顔を怪訝そうに覗き込んだとAP記者は傳へてゐる

ここで面白いのはナチの内相ウイルヘルム・フリツクの口供書が朗讀されたときのこと、ゲーリングまでがお喋りをやめて耳を澄した、フリツクの口供書は二つの爆彈を落した、爆彈の一つは一九三四年のナチの血の肅清の下手人はほかならぬゲーリングで、ヒムラーがヒトラーを説得し、ヒトラーがゲーリングに命令し、ゲーリングが喜んで大量虐殺の手を下し、無辜の者までも多數殺

殺した事實をフリツクが裏書したとだ、このときゲーリングは満面に朱を注いでフリツクを睨みつけたといふ、も一つはフリツクがヒトラー内閣の最初の閣議の模様を暴露したことで、そのときヒトラー、フリツク、ゲーリング、フランツ・フオン・パーベン、コンスタンチン・フォン・ノイラート男、ワルター・フンクの六名が権力奪取の謀計を廻したといはれてゐる

このフリツクの爆弾に被告席は急に色めき立ちそれまで配給のビスケットをボリボリ嚙んでゐたフンク「伯父さん」までが、傍のフリツクに嚙みつくやうになにごとか囁いたといふことだが、恐らく「出しやばり奴、餘計なことをいふな」とでもいつたのだらう

△容赦なく殺せ！

裁判四日目、この日米國側検事團は前日に引續いて法廷に證據物件を提出したが、いづれもヒトラーの指揮下にドイツの軍事力と經濟が侵略戦争に向つて集中的に動員された事實を示すものであつた、検事團の言によれば、その日提出された證據物件は、いままで日の目をみたことのない重大なものだといふことだが、つぎのやうなものであつた

一、ヒトラーが一九三九年八月二十二日オーベルザルツブルグでドイツ軍司令官達の前で行つた非公開の演説「この演説でヒトラーは戦争の火蓋を切る絶好の秋が訪れたと稱して、ポーランドの侵略と抹殺を命令した、「余はポーランド民族乃至ポーランド語を使ふ者は男女長幼を問はず情け容赦なく殺戮せよといふ命令を與へて軍隊をポーランドに派遣した、迅速且つ極めて殘忍に行動することが必要だ、西歐市民をして恐怖に戦かせねばならない」

一、一九三九年五月三十日付ヒトラーの演説「この演説でヒトラーは電撃戦によつてオランダ、ベルギーを蹂躪し、英佛兩國に對する攻撃基地を確保する計畫を詳述した、「中立宣言などは無視してしまへ」

一、不詳の文書「ヒトラーはこの文書で日本が米國との戦争に捲き込まれた場合日本を援助する

必要を力説し、ソ聯と物資交換の交渉を進めると並行してソ聯に對する電撃戦の計畫をたててゐる事實を明かにしてゐる

一、一九三四年九月付のナチの公式備忘録「この覺書によつてナチ經濟相が經濟上の戦争準備を委託され、ヒヤルマール・シャハトがナチ軍隊の財政援助網の確立に狂奔し、クルツ・コンツェルン及び他のドイツ工業家にナチの政治計畫を賄ふために三百萬馬克の資金を醸出させた事實を明かにしてゐる

一、シャハトからヒトラー宛の書簡「余は新ドイツ國家の樹立にとつてドイツ國民の再武装が絶対に必要であると考へる、ライヒスバンクはドイツ軍の再建によつてのみ外交政策の遂行を成功せしめる事實を承知してゐる」

一、グスタフ・クルツプからヒトラー宛の書簡「ナチの勝利は余及びクルツプ兵器會社首腦の長らく育んできた希望と一致する」クルツプは自分の主宰するドイツ工業家聯盟をナチ政策の要具とする計畫を敘べてゐる

これらの文書は如何にナチが政權奪取の當初から侵略戦争を慎重に準備してゐたかを單に裏書するものだが、辯護團は新證據物件の提出に抗議すると同時に、カイテル元帥の辯護士はチャーチルの甥とアレキサンダー元帥の息子を證人に申請、ヘスの辯護士はヘスが落下傘でおられた領地の主であるハミルトン公、リツベントロップはロンドンデリー、ビーヴァブルツク、ダービーの三卿とレディ・アスターを申請する意向を明かにした

△手つ取り早い暗殺方式

乏しい材料で裁判の経過を日を追つて辿つて行くのは愚だ、詳細は完全な材料を得てからのことにして飛び飛びに覗きみしよう

裁判六日目の二十六日、ナチの戦争犯罪人が入廷する朝、突然ヘスが「俺の寫眞を撮れ」といつて手を振り足を踏む騒ぎ、頭がおかしいのは初めからわかつてゐたが、蒼白のフランケンシュタインみたいな顔をしたヘスが子供のやうに騒ぐので

満場口あんぐり、やうやく法廷附の寫眞師がおつき合ひにパチリとやつてやると、大満悦の態で着座した、とんだ喜劇の一幕でこの日はなにかあるなと思ふと成程大あり

米國側檢事團の提出した證據から、領土的野心なしと公言してゐたヒトラーとカイテルが、一九三八年にチエコスロヴァキアを極めて陰險な方法で侵略する計畫を樹てゐたことが明かにされたこの兩名の天才的侵略計畫者は世界輿論の騒ぎを慮つて、チエコに不法な不意討を食はせる事には完全な意見の一致をみたが、さてその方法が問題だ、第一案は外交陰謀で徐々に戦争への雰圍氣をつくること、第二案は反獨デモをでつち上げ、その際第五部隊の手でブラーグ駐劄ドイツ大使を暗殺して口實をつくることだ、併し第一案によれば外交々々に暇取つてゐる間にチエコがドイツの攻撃に對して準備を進めるかも知れぬといふので、兩名の惡黨は第二案に賛成したといふ、そこでヒトラーはゲーリング、レーダー、ノイラート男の三名と秘密會議を開催したが、彼等も第二案に賛成したとはいふに及ばない、彼等にとつてはまだるつこしい第一案よりも陰謀じみた第二案の方が得意の筈だ

一九三九年五月二十三日、ヒトラーは總統官邸で、ポーランド侵略と其の後の世界の三分の二を征服する方策について秘密會議を召集、當時のドイツ軍司令官フオン・ブラウヒツチ大將、海軍司令レーダーにカイテルその他が出席したが、席上ヒトラーは英國を最も危險な敵だとして「英國とは生死を賭けた鬭争をやらねばなるまい」と繰り返して警告したといふが、この時ソ聯との戦争を既に念頭に描いてゐたにも拘らず、ヒトラーは赤軍が命取りだと思つてゐなかつたのは猿も木から落るの類ひか？

その日ソ聯血の肅正で勇名をはせた元ソ聯檢事總長で現在外務人民委員部首席次長のヴィシンスキーがニュールンベルグに到着、ソ聯の法務陣を大いに強化すると同時に、ナチ巨頭共の顔色を奪つた

△敵の種で相撲

七日目の二十七日、この日提出された證據物件の主なもの次の通り

一、一九四三年十一月七日、ミュンヘンのナチ黨支部長會議で行つた前參謀總長ヨードルの演説
「余はナチの政策と完全に一致する、ヒトラーはフリードリッヒ大王以來の人物だ、戦争がドイツの不利に展開してゐるのは總統の罪ではなく、黨支部長達の責任だ、英空軍を完全に撃破しない限り、英本土の侵攻作戦は不可能だが英空軍を一掃する事もまた不可能だ、我々はソ聯の實力を過小評價した事を認めねばなるまい」ヨードルの演説は、ドイツ軍が北阿とシチリアから追ひ出され、イタリアでも旗色の悪いときには行はれたもので、ヨードル自身は「余は軍人の義務を果たしてゐたので、ナチの政策とは關係がない」と主張してゐた

一、シヤハトの備忘録「前ライヒスバンク總裁はヴェルサイユ條約を破棄した前からドイツの再軍備を賄つてをり、ライヒスバンクが外國人の預金を全部軍備費に投資してゐた事實を明かにし」我々は政敵の資金で武装した」と稱してゐる
一九三五年の秘密武裝費は四千四百萬弗に上つたといふ

一、一九三八年七月十二日付のゲーリングの指令
「この證據でドイツが開戦一年前に毒瓦斯の大量生産を行つてゐた事實が暴露された、毒瓦斯生産計畫はIGファルベン化學トラストに廻され、月産四千噸の割で生産を開始したが、一九四〇年には月産八千噸となつた

ドイツが歐洲戰を通じていつ毒瓦斯を使用したかは明かにされてゐないが、ソ聯側の資料では一九四二年の凄慘なケルチ攻防戰で使つたことだけは確實だ、もつとも陣地戰なら別だが、近代戰のやうな大規模の機動戰ではあまり毒瓦斯は効果を發揮せず、かへつて味方を捲き添へにしただけだつた、その痛い經驗からか、ナチは専ら強制收容所の捕虜や無辜の民衆を大量屠殺するときだけ毒瓦斯を使つた、多くの實例の一つが、ベルゼン強制收容所のガス・チャンバーだ



IGファルベン調査報告(上)

米國陸軍々政局カルテル調査部長バーナード・ベルンシュタイン大佐は十一日上院キルゴア委員會(ハーレー・キルゴアを委員長とするドイツ戦力調査委員會)に對し、IGファルベン會社の活動に關する報告に「同社職員を戦争犯罪人として告發すべし」との意見を付して提出した、報告書の内容次の通り

米國陸軍がフランクフルトを占領して間もない一九四五年四月、IGファルベン工業の調査は歐洲戰域米軍G5財政部並びに管理々事會米國班財政部の手によつて開始された、調査は同社の廣範圍且つ慎重に隠匿された永久的資産の性質と場所を突止めるための努力として始つた、これは將來の世界安全保障のためにドイツ内外の資産を悉く奪ひ、これをドイツの世界征服の野望の犠牲となる諸國の復興救済に使用せんとする米國の計畫(後にボツダムで英ソ兩國も採用)の一部を爲すものであつた

調査が進みファルベンの眞の役割が暴露されるに従ひ、調査の目的を擴大して同社が侵略戦争を準備しそれを遂行するドイツ戦争機構の一部として演じた役割を決定することが望まれるに至つた、同社の責任ある職員の證言によれば、聯合軍の勝利を豫想してIGファルベンの多數重要書類は聯合軍の到着直前破却され、書類と共に多くの同社の機密が焼き棄てられたといはれる

本報告はドイツ工業の指導勢力として、一世代のうちに二度までも全文明世界の破壊と奴隸化を目指す戦争に加擔した工業的經濟的帝國の歴史である

希くはファルベン職員の演じたる犯罪人的役割が戦争犯罪人としての彼らの告發と有罪宣告を齎らし、ドイツ及びファルベンの投資に對する管理理事會の措置に引續きその世界平和及び安全に對

する脅威を完全に破摧するとき具體的方策がとられんことを

名稱において私營企業たるIGファルベンは、實は世界征覇を目指すドイツの連續的攻勢が組織された中心にある工業的核心の一つとして、ドイツ國に盡す巨大な帝國だつた、これは現在においても變つてはゐない

最低に評價して正味六十億とみられる同社の今次大戰交戦行爲終了時における國內關係會社は他のドイツ商社三百八十以上を包括してゐた、その製造に要する原料乃至補助物資にしてIGファルベンの組織内で生産されざるものは殆んど一つもなかつた、褐炭坑でも、黒炭坑でも、發電所でもコークス爐(ガス發生施設)でも、マグナイト鑛でも、石膏山でも、鹽山でも、すべてその組織内に所有してゐたのである

IGファルベンの關係會社は、公表してゐるものと祕密にしてゐるものと合して五百以上にのぼり、その評價は最低十億馬克とみられる、その所有する會社及び工場は全歐洲を覆ひ、その研究所特許權事務所その他の機關は東西兩半球のあらゆる工業交通中心地に設けられてゐる

無數の外國子會社のほかIGファルベンの從屬組織の中には數百の非ドイツ系獨立商社が含まれあらゆる産業に互つてゐる、そのカルテル協定は二千を越え、スタンダード石油、米國アルミニウム、E.I.デュ・ボン、帝國化學工業(英國)、ローム・アンド・ハース、ケールマン本社、三井本社等の大會社との協定を結んでゐる

ドイツの戦争機構はIGファルベンの生産する廣範圍の製品がなかつたら到底その機能を果し得なかつたにちがひない

ファルベンは一九四三年度にドイツの戦争努力に要する四十三種の主要製品を生産したが、その中ここに述べる二十八種はドイツ武装兵力にとつて特に重要なものだつた、IGファルベンはドイツにおける合成ゴム産額の全部、メタノール、潤滑油の全部を生産し、毒ガスの九五%、ニツケル及び可塑材の九〇%強を供給してゐた、ドイツ空軍の航空機及び焼夷彈に使用されるマグネシウムの八八%はIGファルベンから提供され、流星彈

やV二號のための窒素や火薬も大部分がさうだったのである

△毒ガスの場合

IGファルベンが兵器生産においてドイツ武装兵力の爲に遂行した特殊任務のはつきりした實例は、毒ガスの場合にみられる、毒ガス製造のためのIG新工場が幾つも操業を開始し、遂に同社のみで全生産額の九五%を占めたのだ、ドイツ政府の命令により、これらの工場及び毒ガスの手持ストックはすべて赤軍の占領前に完全に破壊消滅された、だがドイツが次の戦争のために温存しようとした秘密の少くとも一つは発見された、調査の結果、ウツペルタルエルベルフェルトのIG職員は世界一猛烈な毒ガスを發明したことが暴露されたが、このガスは現存のいかなる防毒面をも貫透する性質のものであったのである

同社では最初猿をつかつて毒ガスを試験してゐたが、しまひには人類を試験臺に使用するやうになつた、この目的には捕虜收容所の人員が當てられたが、破壊兵器生産に夢中だつた同社職員は、この人間モルモットの使用に平氣だつたのである

指導的科學者の一人たるテルメル博士はこの實驗を辯護し、收容所に入れられてゐる者はどうせ殺されるのだからといつたばかりか、それにより無數の勞働者の生命が救はれるのだから、この實驗には人道的な意味があるとさへ主張した、このガス類は試験時代に哀れな人々に對して使用されただけでなく、後には十分効果を知らながらアウシュニッツ收容所の場合のやうに、收容所の全員を虐殺するためにIGファルベンの諒解を得て使用されたのだつた

△國際スパイの役割

IGファルベンは全世界に跨がる軍事經濟諜報の主要機關としてナチ政府に奉仕した、ベルリンにあるファルベンNW七局は、本來ベルリンの各種政府機關との連絡事務所として一九二〇年に設置されたのだが、マックス・イルクナト博士の手によつて國軍の經濟諜報機關に改組された、戦争が勃發するやNW七は各種ナチ機關からの經濟情報要求が集中する焦點となり、ドイツ政府の補助

機關たるその眞の姿を示し始めたのである

開戦後英佛兩國の航海査證制度は南米その他世界各地へのドイツの輸出を脅かし、ドイツから外國爲替を奪ふと共に戦争遂行に必要な輸入品さへ得られなくなりさうになつた、そこで實はIGファルベンに屬し乍ら表面上樞軸國と何の關係もない多數の獨立外國商社をこの封鎖に對抗する手段として利用した事は世界周知の通りである、ただそれほどよく知られてゐないのは、これらIGに操られる諸社が、ナチ最高司令部に對する經濟的政治的情報の供給において演じた役割である

同社の米國における經濟諜報機關たるケムニコ會社はこの效果的な諜報網の好箇の實例だ、米國商社としての假面の下に、ケムニコは米國經濟に關する事實や數字を國防軍に供給することが出来た、普通の商業契約を利用して、寫眞や青寫眞から全工業事情の詳細な敘述に至るまで、莫大な量の資料をドイツに送ることも出来た

最初はこの資料は直接IGファルベン本社に送られてゐたが、開戦後はイタリー及びポルトガルにあるIG事務所及び關係會社を経由するやうになつた

IGファルベンは全世界にIGフェルビンドウングマンネルと呼ぶ連絡員をもつてゐた、フェルビンドウングマンネルは、大體夫々の國における主立つたIG商社の職員だつた、かうした連絡員の主要任務の一つは經濟的、政治的、軍事的諸問題に關する月例報告を提出することにあつた、政治に關する報告には、國內政治情勢、新政府の構成、宣言の反響、英國のブラツクリスト、米洲諸國間の安寧、勞働移動狀態、時事問題に對するその國の政治的反響、親獨宣傳、反獨宣傳、特別外交使節團の目的等々の事項が包含されてゐた、これらの報告書中重大な軍事的意義を有した問題としては、南米各國における商船隊増強に關する論議、船舶移動(護送船團を含む)の報告、港内碇泊船腹に關する統計、港灣收容能力、道路橋梁の新設、南米諸國間の鐵道運輸狀況、汎米特免空路の運轉狀況、米國向及び英國向軍需物資輸送狀況アルゼンチンの訪米軍事使節、チリーの再軍備、米國の海空基地獲得等が挙げられる

昭和二十年十二月十九日(水)

第四〇號

時事通信

海外電報

(40)

日本サイクロトロン破壊問題は、パターソン陸軍長官の新聞記者團會見における言明により、マツカーサー司令部の意圖によるものでなく、米國陸軍省から發せられた命令に基く措置なることが明かにされた、陸軍長官は、これが責任官吏の思慮に缺けるところがあつたため、間違ひであつたと認めてゐるから、初めいきり立つて、マツカーサー司令部を非難した全米の科學者たちも納得したにちがひない

破壊された四臺のサイクロトロンと未完成の二臺とは確かに惜しい、日本の原子研究者にしてみれば、今後再びサイクロトロンを手に入れる見込も殆んどなく、瀧いても泣き切れない氣持だらうしかし惜しいには違ひないが、この事件によつて米國科學者たちの科學向上に對する熱情と、世界の協力を望む公平無私な心構へが示され、マツカーサー司令部の遠慮ない聲明と共に米國陸軍省が卒直に自己の誤ちを認めるなど、米國といふ國柄の良さが遺憾なく表れて、暗かるべき事件が明るく解決したことは何といつても喜ばしい、原子エネルギー



一破壊力を中心とする世界政治の動きと別に、その平和的利用が待望される折柄、米國のかかる態度は戦後の急速な回復に一脈の希望を抱かせる

原子エネルギーの利用が動力源として有望なことはいふまでもないが、それにより燃料問題に係する絶大な勢力節約がみられるといふこと以外に、現在まで人類のなし得なかつた幾多の事が可能となる、例へば從來不治の病とされてゐた癌が原子力により治るといふ、シカゴ大學の科學者でノーベル賞獲得者たるジェームズ・フランク教授のラジオ講演によると、今までのラジウムやX線より遙かに強力な作用が期待される、普通の化合物を癌細胞に吸収させ、その後で原子の一部を同位元素と置換して放射能を持たせるといふ

戦力を全く持たぬわれわれには最早原子爆彈の脅威はない、原子時代は明るく微笑みかけてゐる

スコルツア捕はる

(ローマ十六日)元ファシスト黨書記長カルロ・スコルツアはミラノに潜伏中を十五日捕縛された同人はイタリア側の戦争犯罪人として聯合國によつて指名されてゐた

【目次】

米、タブリズ政權に反對……………	四〇六
ニミッツ元帥就任……………	ク
ガウス輸出入銀行重役に……………	ク
米英暫定航空協定成立……………	ク
空輸式陸軍を計畫……………	ク
米、フランスとの斷交に進むか……………	四〇七
ブルガリア議會開く……………	ク
非ナチ化政策について協議……………	ク
ソ聯との永久的協力……………	ク
【西 亞】	
トルコ政府の回答に不満……………	四〇八
【戦後處理】	
極東諮問委員會留陣決定……………	ク
【印 度】	
自由要求決議案……………	ク
【特 輯】	
ドイツ占領行政の推移……………	四〇九
【資 料】	
IGファルベン調査報告(下)……………	四一五
短波の躍進……………	四一六

佛老作家に終身刑

(パリ十六日)パリ特別法廷は十五日、知名の小説家アベル・エルマンに對獨知的協力を理由に終身禁錮を宣告した、エルマンは當年八十二歳、フランス翰林院會員で小説、詩、劇作、論策等數多の著作があるが、戦時中反聯合軍、反ド・ゴールの論文をあまた書いたのが崇つたものである

米、タブリーズ政權に反対

テヘランからのタス電報によれば、アゼルバイジャン地方に國民政府が成立し、同國會は次の諸項を決定したと傳へられる

一、首都をタブリーズに置く
一、首相にシヤファル・ピンヴァリを選任、同人は十一名の閣僚から成る内閣を組織した
一、M・シヤバスダリを、このイラン自治州の大統領に選任した

一方テヘランからのAP電報によれば、イラン政府當局は新政權の樹立に赤軍が介入してゐる事實を指摘し、十七日次の通り言明したといはれる

赤軍はタブリーズ駐屯イラン軍將校の武器を沒收し、イラン軍を兵營に押し籠めてしまつたので兵力の少い駐屯軍はすっかり壓倒され、タブリーズは全く叛軍の掌中に歸した、タブリーズの東北百十里のアルデビルにおける駐屯軍からも、茲十一日間何等の報告もなく、タブリーズの西南七十五哩のロザイエも、クルト族その他三千名から成る叛軍に包圍されてしまつた

最近アゼルバイジャン州議會は、イラン中央政府のもとに自治政權を樹立することを要求したが、今回の新政權と中央政府との間については、タス電報も全然觸れてゐない

モスクワで米英ソ三國外相が將に會談を開始しようとしてゐる際、タス電報が突如アゼルバイジャン「國民政府」の樹立を報道したことは、特に米國政界に深刻な衝撃を與へてゐるが、ワシントンからのAP電報は十七日つぎの通り傳へてゐる
アゼルバイジャン國民政府の樹立に關するモスクワ電報に關し、ワシントンの高い官邊筋ではソヴェト政府が既成事實を米英兩國代表に突き付けようとの魂膽だとみてゐる、恐くバーンズ國務長官はイランの主權侵犯、國際聯合憲章の原則蹂躪として、今回の新發展に抗議するだらうが、特にかかる事態を容認すれば、國際聯合各國の主權が悉く危殆に瀕することを指摘するかも知れない

ニミッツ元帥就任

(ワシントン十六日) 前太平洋艦隊司令長官ニミッツ元帥はキング元帥に代つて作戰部長に就任した、同元帥は就任に當り

余は大きな責任の地位についたが、萬全を盡してこの責任に對處する
旨聲明した

ガウス輸出入銀行重役に

(ワシントン十六日) トルーマン大統領は十六日元駐華米國大使クレアランス・ガウスを輸出入銀行重役に任命した

米英暫定航空協定成立

(ワシントン十六日) 民間航空局は十四日英國政府との間に兩國の暫定的航空協定が成立した旨發表した、右暫定協定によれば米國の航空會社は一週十四回、乗客數五百を英本國に輸送し得ることとなり、その割當は航空許可を與へられた米國の汎米航空及びアメリカ航空兩社が決定する、更に航空協定中には旅客の片道料金を三百七十五弗以上とする規定も含まれてゐる

空輸式陸軍を計畫

(インディアナポリス十六日) 米國陸軍空輸司令官ボール・ウィリアムス少將は十四日次の通り言明した

陸軍省と陸軍航空隊との間に、あらゆる裝備のどんな部門、どんな斷片でも、また如何なる種類の兵隊でも飛行機で輸送出来るやうにするための計畫が進められてゐる、この計畫は今後五ヶ年間に遂行されるもので實現すれば米國陸軍は世界で最も機動性のある軍隊となるだらう、全陸軍を空輸可能な状態に置かうとする決定は歐洲戰域における教訓、マツカーサー元帥の推薦、原子爆彈の出現等に基いてなされたものである、余は最近スチルウェル大將その他ワシントンの地上軍首腦と一連の會談を行つたが、之らの會談を通して得た結論は、萬一われわれが侵入に當面したとすれば、迅速な國防の最も有效な手段は空輸陸軍だといふことであつた

米、フランコとの斷交に進むか

(ワシントン十七日)ワシントン政界では、米國政府はフランコのスペイン政府との決定的斷交に向つて進みつつあるものと觀測してゐるが、その第一根據としては、目下パリ經由歸國の途にあるマドリッド駐劄大使ノーマン・アーモアは歸米引退することになつてゐるが、國務省ではその後任について何ら考慮してゐないこと、第二には、十五日國務次官アチソンが元スペイン共和國首相フアン・ネグリンと會見したが右はスペイン共和國がなほ存在してワシントンにその大使がゐた一九三九年來初めての國務省の軍官とスペイン共和派の指導者との會見だつた事などが擧げられてゐる

△佛の提案

フランス政府が既にスペインと斷交關係にあるソ聯を除いて、米英兩國政府に對して最近フランコ政權に對する態度決定のため三國會議を提唱したとのパリからの報道は、國務省でもフランス政府からの通牒を受理したと公表したが、ネグリンとの會見においては、右通牒については論議されず、一般スペイン問題について意見を交換したとのみ發表してゐる、この際ネグリンが如何なる資格で國務省を訪問したかは疑問とされてゐるが、彼が最近メキシコ・シテイに成立したスペイン共和派亡命政權の首相の地位を辭任してゐる事實はこの際特に留意を要するものとされてゐる

フランス政府からの提案については、目下三國外相會議に出席中のバーンス國務長官が歸國までは取上げられないであらうが、官邊一部ではフランコ政權と斷交するのみでは何等の効果なく、それと同時にスペイン國民に告げる聲明書を發表して、何故にフランコ政權の政策がスペインを國際家族の中から孤立せしめるに至つたか、スペインが國際聯合組織に参加する資格を得るためには、ファシスト的政治組織を何故に終末せしめねばならぬか等を十分説明する必要があるとしてゐる、この際米國政府の對フランコ政權政策を覗ふ指標として、財務省が一週間前發表した聲明を想起する必要があるが、右によれば、米國政府は例へばスペインの如き中立國が、ナチ・ドイツによつて

國內に移轉された掠奪財産を聯合國に引渡すことを滯つてゐる限り、かかる中立國に對しては爲替取引を實質上禁止すると述べてゐる、但しスペイン政府はこの聲明直後、スペイン政府が差押へてゐたナチ・ドイツ所有金貨百十二萬弗を米英兩國大使館に對して引渡し手續を取つた

△活躍するネグリン

ネグリンについていへば、彼は滯米既に月餘になり、各地で反フランコ宣傳の講演を行つてゐるが、同人はメキシコ・シテイに開かれたスペイン共和派のホルテス(議會)出席のためロンドンから渡來したもので、英國には亡命政客として、政治活動をしてゐることを條件に滞在を許され今日に至つたものである、同人と亡命政權との關係は必ずしも圓滿とはいへず、彼の意見を米國政府がどの程度に評價してゐるかは判然しない、國務省一部では、今回のアチソン・ネグリン會見に關聯して

フランコ政府と米國との關係は「流動狀態」にあり、親密ではないが正常である、最近の内に同政權との斷交が實現されるとは考へられないと稱してゐる

ブルガリア議會開く

(ソフィア十六日)ブルガリア議會は去る十一月總選舉後十五月初召集されたが、議長にはモスクワ二十年の亡命生活から歸國した共產黨の長老ヴァシル・コロロヴが選ばれた

非ナチ化政策について協議

(ベルリン十七日)米英佛三國の法相は近くストットガルトに於て會議を開催し舊ナチ黨員を公生活から一掃する布告について協議するに決定した

ソ聯との永久的協力

(ブカレスト十七日)ルーマニア外相タレスコは十七日

ソヴェト聯邦との恒久的合作はルーマニア外交政策の基調である、しかも右合作は國際機構の埒外に逸脱することとはならぬと言明した

【西 亞】

トルコ政府の回答に不満

(モスクワ十五日)タス通信社は十四日夜次の通り報道してゐる

十二月四日イスタンブールにおけるソヴェト聯邦反對の示威運動について、ソ土兩國政府は通牒を交換したが、トルコ政府の回答は曖昧且つ事實を否定してゐるため、ソヴェト政府においては右回答に満足出来ない、報告によれば示威運動の一味がロシア書籍を賣つてゐる書店を破壊したのに、トルコ警官は却つて一味に保護を加へたといはれる、ソヴェト政府はソヴェト聯邦に對するかかる挑發行動を默認出來ず、之等行動に對する責任はトルコ政府にある旨今回の通牒で明言してゐる

【戦後處理】

極東諮問委員會殘留陣決定

(ワシントン十四日)極東諮問委員會は十三日訪日視察團の不在中、ワシントンに殘留する六委員會の任務に關し討議、同日新聞發表係トマス・ブレークよりつぎの方針を發表した

「各小委員會の議長は代理を有することにならうこれは委員の多くが大使で任地ワシントンにとどまらなければならぬからだ、二小委員會は暫く前に任命され、すでに會議を行つてゐる、即ちその二委員會とは

一、基本政策目的委員會

議長 濠州駐米公使サー・フレデリック・エツグレストン(エヴァアット外相の後任)

議長代理 オランダ代表O・ロイクリン

二、經濟問題賠償委員會

議長 英國代表サー・ジョージ・サンソン

議長代理 米國代表アール・R・デイカヴァ
また新たに任命される委員會は、次の四委員會である

三、民主主義促進委員會

議長 ニュージーランド代表J・S・レイド

議長代理 オランダ代表W・ウエーヤー博士
四、機構改革委員會

議長 印度代表駐米辦務官サー・ギルジャ・シヤンカ・バジパイ

議長代理 カナダ代表ハーバート・ノーエン

五、戰爭犯罪人委員會

議長 中國代表 チュー・シュー・ジョン

議長代理 マニユエル・A・アデヴァ

六、在日外人委員會

議長 フランス代表フランシス・ラコスト

議長代理 中國代表 T・T・マー

委員會は來週再び開催され、中國から歸米したばかりの日本賠償委員會議長エドウィン・ボーレーの報告を聴き陸軍省民政部長ジョン・ヒルドリン少將の説明を聴取する、十二月二十六日に出發する訪日視察團は眞珠灣でボーレー委員會の委員二名を加へて東京に赴く筈である

【印 度】

自由要求決議案

(ニューヨーク十五日)アメリカ印度聯盟總裁シラダール・シングは十五日次の通り言明した
ペンシルヴァニア州選出共和黨下院議員ジェームズ・フルトンは、アメリカ印度聯盟が採擇した三つの決議案を議會に提出した、フルトンは米國が帝國主義の兵器廠となることなく、いつまでも民主主義の兵器廠たることを希望するが故に、右決議案が議會記録の中に挿入されることを希望してゐる、右三決議案の内容は次の通りである

一、印度の自由

二、佛印及びインドネシアにおける印度軍の使用に反對

三、トルーマン大統領は國際聯合總會の米國代表に對し、國際聯合機構の中に印度及びインドネシアの情勢を検討すべき委員會を設置するやうイニシアヴを採ることを指令すべし



ドイツ占領行政の推移

長谷川才次

「去る七月ボツダムにおいて三大國は聯合國管理理事會に對して、ドイツの各占領地區における復興を促進するため、統一的な政策を樹立する權限を賦與した、爾來四ヶ月、事態は却つて逐次悪化するに至つた、ドイツ經濟を動かさうと努力しても各地區の境界線によつて阻まれて果せず、しかも管理々事會はこれ等境界線を打ち破ることが出来ない、理事會が再三企圖しても、理事會の決定には施策の如何を問はず必ず全會一致を必要とするので、一國の代表が多數の意思を阻止できることになつてをり、手も足も出ない

A C C (管理々事會) 分裂の根本原因はドイツに關し四大國が違つた目標と異つた利害を持つてゐる點にあり、英國は統一した或る程度有力なドイツの再建が、歐洲の經濟安定に従つて自國の市場維持に缺くことができないと考へてゐるが、フランス人はどこまでもドイツを弱體化しておかうといふ考へから、ルール、ライン兩地方の資源を切り離すことが出来ぬまでもドイツを分割しておかうといふ、ロシア人もドイツを弱體化する方針に變りはないが、賠償問題の處理を促進し、中歐洲を安定させるのに役立つといふなら、敢へてドイツを統一する危險を冒してもいいと考へてゐる、ところが米國の政策は一向判つきりしない、米軍の將校連はドイツが早く動けるやうにして手を引かうといふ考へから、英國の見解に賛成だ、ワシントンもまたドイツの統一を支持してゐるが、ドイツが全面的な經濟復興を遂げることに同意しない」(「N・Y・タイムズ」紙十二月二日號)

△歴史は常に繰返す

ペンタゴン・ビルディングに陣取る聯合軍統合司令部が、モーゲンソー前財務長官の方式に基いて、ドイツ占領行政綱領を起草してから茲に一ヶ年、占領半歳にして聯合軍と「ドイツ國民との關係があらゆる分野に於て角を曲らう」としてゐることは、バイロン・ブライス氏の指摘する通りだし、しかも占領行政の轉機に際して、硬軟兩論が米國

の言論界政界に對立してゐるのだから、歴史が常に繰返へすことを認めざるを得ない、「平和の使徒」として、ジョージ・ワシントン號でパリに乘込んだウィルソン大統領が、「ベリクレスがアテネを愛するが如く」フランスを愛するクレマンソーの強硬な主張に、十四ヶ條の高遠な理想を骨抜きにされ、事實上「カルタゴ的講和」を鵜呑みにして、憂愁憂思ワシントンに歸つたとは第一次大戦史の傳へるところだが、「カルタゴ的講和」がヴェルサイユ會議以後逐次崩壊して行つたのと同様に、「カルタゴ的講和」の近代的表現たる「無條件降伏」の方式も、占領行政運営の過程において逐次修正されて行かうとしてゐるらしい、バイロン・ブライス氏の報告に基いて、國務省が十二月十二日夜發表した「賠償決済とドイツの平和時經濟」に關する聲明は、少くとも米軍のドイツ占領行政が「角を曲つた」ことを示してゐる

△ブライス論とダニエル論

ブライス氏の報告については、殆ど全文を十二月付の海外電報版で紹介してゐるが、報告の趣旨は要するに

ドイツに辛らうじて生きて行ける生活標準を許すに止めながら、而もドイツを單一の經濟單位として扱はうといふボツダム宣言は禮讓と文明とのあらゆる法則を蹂躪した國民に對し同情を表明したのでもなく、憐憫を感じた結果でもなく、萬一ドイツが經濟的な空洞となり、又は飢餓と流行病と革命の溫床と化する場合には全世界の和と繁榮とに對する脅威となるとの現實を見透した結果だ

といふ一節に盡くされてゐるやうだ、ブライス氏は八月三十日、トルーマン大統領の委嘱を受けて爾後十週間ドイツ占領行政の實情を踏査したが、殆んど同時に、フランクフルト・アム・マインからヴァイスバーデン等々、米軍の占領地域を調査した「N・Y・タイムズ」紙のレイモンド・ダニエル君が、「苛酷な和平」方式の堅持を示唆するやうな電報をつぎつぎに打つてゐるから、對象は極めて顯著だ、ブライス氏が元A Pの編輯局長ならダニエル君は「N・Y・タイムズ」紙のロンドン支局長で、双方押しも押されもしない米國新聞界

の一流所だが、論旨は殆ど對蹠的だ

ダニエル君は十月七日、ヴァイスバーデンからの電報で

ドイツが降伏し、戦闘が熄んでから殆ど六ヶ月は経過した、米軍の占領政策が歴史の貸借対照表の貸方に記入されるか、借方に上げられるかを豫断するのは早過ぎるが、占領行政が計畫通り進捗してゐないことだけは遺憾ながら明瞭だ。米國はドイツ軍（ヴェルマハット）を粉碎し、ナチ領袖を政權の地位から追ひ出した、しかしドイツ人を精神的に武装解除せず、侵略戦争が道義的に悪いことをドイツ人に教へる上に餘り効果的な工作を施してゐない、或るは能率第一主義の米國人が、ボツダムで確立された原則をどこちやに、ドイツ商業の復元に夢中になつてドイツ非武装の基本的任務を看却してゐるのではなからうかと反問してゐる

ダニエル君は、占領行政が「計畫通り進捗しない」理由として、九月二十九日フランクフルトからの電報で次の四ヶ條を掲げてゐる

一、米國政府のドイツ政策と、實際ドイツ人と接觸する水準における右政策の運営との間における非常な相違

二、戦争終了とともに、國民の間に兵役解除の要求が起り、議會もまた輿論に押されて占領軍の復員を急ぐこと

三、ドイツ人並びに米軍と國內における家族に對し、ドイツ軍の崩壊は平和建設の半ばの過程に過ぎぬ事實を明確にしてゐないこと

四、郷愁に悩む米軍の兵士と、淋しいドイツ女性との間における殆んど無制限の交友關係（Liberationization）

△米軍の春風政策

以上の四ヶ條を基礎に、ダニエル君は占領行政の難點を具體的な事實によつて例證してゐるが、根本的な缺陷として、ダニエル君がヴァイスバーデンからの電報で指摘してゐるところの方が肯綮に中つてゐるやうだ

「米軍占領行政の最大の弱點は、實行が發表された政策にそぐはぬことにあり、米國政府は秋霜の如く大言するが、米軍は春風の如くに行動してゐるに過ぎない、同情は米軍のアキレス腱であり、高度に近代化した米獨兩國の機械化文明が表面近似的にゐるために、米獨兩國が文化的には親戚だといふ印象を與へ易い、眞相をぶちまければ、多數の米國人は曾つての聯合各國民よりも從來の敵國人を好きになりさうだといふことだ、英國に駐屯したことのある米兵から見れば、英國人はテールを樂む骨董品に過ぎず、フランス人は徒らに大きなことばかりいふかたりに他ならず、ポルシェヴェイキーに對する昔からの恐怖心は容易に消えない現實に政策の實施を擔當する人々が、最近非ナチ化非武装化の計畫をテキパキ遂行しないのは、要するにドイツの政治と經濟とから、ナチズムの一切の形骸を排除く結果、ドイツと西歐洲の共產主義化に門戸を開放するに等しいといふことを、心の底で懸念してゐるからだ」

△パットン罷免事件

非ナチ化政策で問題を起したのが、その後中風で病臥してゐるパットン將軍だ

米軍最高司令アイゼンハワー將軍は十月初め、最高司令官の指令を無視してナチ黨員を權力の地位に据えおき、且つ記者團に對して「非ナチ化政策の必要を認めない」と放言した廉で、バイエルン州統監ジョーヂ・パットン將軍を罷免、名前は残つてゐる第十五軍の司令に左遷して、歐洲戦争の戰術史を編纂するやう命令した、後任には最高司令官の幕僚長ルシアン・K・トラスコット中將が任命された、更にバイエルン州政廳の首班フリードリッヒ・シェーフアー氏を初め、政廳の名あるナチ黨員も悉く罷免された、ナチ政權當時スイスに亡命してゐた社會民主黨のウイルヘルム・ヘーグナー氏が州政廳の首班に就任したが、アイゼンハワー將軍は非ナチ化政策の徹底を期し、軍政府の法律第八號をもつて「占領地帯におけるすべての商業が舊ナチ黨員またはナチ黨關係組織の成員を、走り使ひ以外の仕事に使つてはならない」旨を布告した

しかしダニエル君の報道によれば、パットン將軍は決して唯一の例外でもなく、問題は非ナチ化

政策だけでもない

「米軍の占領地帯を通じ、占領政策の基調について見解の對立あり、パットン將軍は不幸にしてこの對立を明るみに持ち出したに過ぎない、將軍はポツダム宣言の實施には慎重を期さねばならないと考へてゐる多數の軍人並びに官僚群の代辯に他ならない、かれ等は馬鹿でも記憶力が悪いのでもない、「現實的な」考へ方から、若し一般ドイツ人に手綱を與へれば、「混沌と無政府状態」が持上るのを懸念してゐる

△非ナチ化か救済か

同様經濟委員はドイツからの賠償取立て計畫の起案に忙しいが、かれ等が紙と鉛筆を持つて忙しさうにしてゐるのに、米軍乃至英軍の占領地區からいまだに戰爭遂行機關が持出されてをらず、英本國では西歐洲の利益のために、ルール地方におけるドイツ工業を復興させようといふ議論が、相當矢張りなつてゐるのは意味深い

パットン將軍が最高司令の指令を不都合の起らない場合に限つて、舊ナチ黨員を責任の地位から追ひ出すとの意味に曲解したのでから、經濟専門委員はドイツの所要を高く見積り、自給出来る限度を低く評價して、輸入の必要を過大評價することによつて、ドイツの産業を救ひ出す方途を見出すことが出来るよう、以上が米軍並びに英軍の占領地帯で現に續けられてゐる葛藤で、特に英軍の占領地帯では一段とドイツ經濟救済策に意見が傾いてゐる、根本的に見て、首脳部で極めた原則と、原則を執行する米國人が秩序と能率とを貴ぶ氣持との間に食ひ違ひが起る譯だ、下級水準の米軍司令官は工場乃至店が仕事を止めてゐるのを黙過出来ない、持主または管理人が悪質のナチ黨員だと知つても見て見ぬふりをし、工場乃至店を動かさうといふ考へに傾く、司令官の任務がドイツを非ナチ化すること、ドイツ經濟の能率を回復することではないといふことを最近まで誰れも明示して呉れなかつた結果だ」

△促進するフラタナイゼイション

ダニエル君は更に別の觀點より占領行政の缺陷を取り上げてはく

「大小幾多の方法でドイツにおける米軍は面目を失墜した、米軍の前にはドイツ人は自稱君臨民族の地位を米國人に譲らうとしてゐたが、逐次米國人は征服軍として當然受けて然るべき尊敬を失ふに至つた、原因の一斑は、たとへば米軍の兵士が一寸綺麗なドイツの女性と一緒に歩くとか、ドイツ人がボケツトに手を入れた儘話しかけるのに米軍の將校が文句を言はぬとか、ドイツ人の俘虜が整然として仕事場に行くのに、米兵の護衛がチェーイングムを口にしながらひげも剃らずに追いて行き、途中で女の子に話しかけるとか、つまらぬことに由來してゐる、成程つまらぬことだが、積り積つてドイツ人の態度に甚大な影響を及ぼしてゐる、大きな問題についても、米國人はドイツ人に對し規律が正しく乃至眞剣に物を考へてゐるといふ印象を與へてはゐない、先づ占領の劈頭、ドイツ人とは親しくない旨を宣言した、しかしこの掟は禁酒法と同様實施困難であり、禁酒法と同じ位一般に不評判だ、結局右命令は修正され、今日では米兵はドイツ女性と同居乃至結婚しない限り何をしてもいいことになつてゐる

△飢饉救済と戦争

もう一つ占領の當初樹てた掟に、ドイツ人は自活するを要し、米國から援助を求めてならないといふのがある、暴動と流血の慘事を避けるため以外には、米國から絶対に食糧を輸入させないといふことであつたが、現にフランクフルトで米軍はスープ・キチンを所々に開いてをり、約一億弗の食糧をこの冬には輸入して、ドイツ人の榮養失調を救済することになつたといふ、米國がこの冬に食糧を持ち込むことは疑ひない、残つてゐる問題は米國民が世界を奴隸化の脅威から救ひ出す出費の一部として、右食糧の代金を負擔するか、ドイツ人に支拂はせるかだけだ

ポツダム宣言にはドイツ國民に對し大陸における隣接諸國よりも高くない生活標準を許し、ドイツの輸出は是非とも必要な食糧と衣類の輸入を賄ふに必要な分量に限定されると述べてゐる、然し米國がクレヂットでドイツに食糧を送り出せば米獨兩國間に債權債務の關係が出来、結局ドイツに

對して米國への債務支拂ひに必要な産業を持たせることとなり、前大戰後の和平における重大な過失を繰返へす第一歩を踏み出すこととならう」

△現實論の應酬

以上ダニエル君の報道は、米軍占領地帯の實狀をみたまま、感じたまま述べてゐる點で貴重な資料といへようが、占領行政の缺陷を指摘するに急なあまり、何等具體的な對案を示してゐない、米國が食糧をドイツに送り込む結果、ヴェルサイユ體制以後の過失を繰り返へすことになるとの主張が妥當だとしても、ドイツ國內の「流行病と不安」とを放任していいといふ議論は成立たない、もう一つダニエル君は、専ら米軍の占領地帯を報道の對策としてゐるだけで、ドイツを経済的統體として扱はうといふボツダム議定書の趣旨が、フランス政府の横車で一向徹底しないといふ占領行政の根本問題には全然觸れてゐない、この意味でバイロン・ブライス氏の報告の方がより實際的かつ建設的だといへよう

ブライス氏が八項目の劈頭に掲げてゐるのが、管理々事會の行詰り打開だ、端的にフランス政府の非協力を難詰し、「同政府がドイツの經濟的解體を狙つてゐるとすれば、全世界に對してこの事實を確認せよ、然らば米國政府は獨自の立場よりドイツ政策を検討せねばならぬ」と語氣極めて强硬だ、八項目のうちつぎに大切なのは食糧政策だダニエル君の觀念論とは違ひ、ブライス氏は現狀を放任すれば「流行病と騷擾との到ること遠からじ」と詩人シェリーをまねて警句を吐き、ドイツ人一人一日に二千カロリーの割當量を提案してゐる、「飢餓を阻止するに足る程度の割當量を與へても、軟弱政策といふことにはなるまい」とダニエル君等によつて代表される純理強硬論に豫め一矢を酬いてゐる、第三に注意を要するのは非ナチ化政策に對するブライス氏の留保だ

徹底的改革を餘りに急いで實施すれば、混亂と過誤とを來たすに違ひない、卒然としてナチ黨員を要衝から追拂ひ、無經驗の代用品を任命したため、鐵道通信その他各公共機關の運営は支障を來たすに至つた

△英は軟弱政策

ダニエル君によつて代表される「苛酷な平和」政策に無理押しすれば、「飢餓と疾病とで一千五百萬乃至二千萬のドイツ人が死ぬだらう」とは「ニューズ・ウィーク」誌の觀測するところだ「ソヴェト政府もモーゲンソー前財務長官の方式に近い占領行政を實施してゐるが、大事な政治的修正を加へてゐる、既に占領地區のドイツ工業六〇%を取りはづして同地區を「消毒」してしまつたと同時に、卒先してドイツ人に政權を返しだしてゐる、ドイツ人といつても大半共產黨が勢力を占めてゐるのだが、恐らくロシア人はどうにもならぬドイツ領土からは手を引いて、ゴタゴタはドイツ人自身の處理に委ねる方針だらう

苛酷な和平方式をとらないとすれば、相當限度までドイツの産業を再建する方策をとらねばならず、再建が出来るまでは、米英兩國でドイツ人を養ふことが必要だ、これが英國政府の政策で、英軍の占領地帯では、非ナチ化政策もドイツ産業の破壊も他の地域よりはすつと少い」

△復興の三段階

バイロン・ブライス氏の報告を基礎に國務省が發表した聲明は、賠償の決済に關する可成り技術的な項目を含んでゐるが、バーンズ國務長官の聲明と彼此對照すれば、米國政府が「苛酷な和平」方式を或る程度緩和し、修正するに至つたことは明瞭だ

バーンズ國務長官はボツダム議定書に基き、戰後ドイツ經濟の復元について三段階を掲げてゐる
一、ドイツ武裝兵力の降伏から今冬末まで
一、來春以後、燃料と資材を入手し次第賠償向け施設を取除いた殘存産業施設に漸次「活を入れよ」(reactivate)

一、一九四八年二月二日、ボツダム議定書に豫定された賠償施設の撤去期間終了後ドイツ經濟復興期

第一段階における占領行政の目標は、同じくバーンズ國務長官の主張によれば

一、歐洲の解放各領域の復興に出来るだけ寄與す

ること

ロ、ドイツ將來の復興に必要な機構を用意すること
とだ

バーンズ長官は更に具體的に第一段階における目標を論じ

一、ドイツから出来るだけ多量の石炭を解放各領域に輸出すること

一、聯合軍がポツダム議定書に基いて執行する賠償、並びに武装解除計畫の實施機關を設置すること

一、財政、運輸、通信、貿易等の各分野におけるドイツ人による行政機關の設置

一、ドイツ國內における「大量餓死」を避けるための食糧確保
の四ヶ條を掲げてゐる

△賠償の方式

「賠償決済並びにドイツの平時經濟」に関する十二項目は、以上の四ヶ條を更に技術的に詳述してゐるのだが、所謂「大量餓死」を避けるために「疾病と不安」方式を持出してゐるところに占領行政の推移を窺ふことが出来るよう

十二項目のうち最初の一ヶ條は「ドイツの平時經濟に不必要な——従つて賠償に供される産業資本施設の量と質との決定」に関する細目だ、これ等の條項によつて、米國政府の賠償取立て政策は可成り明瞭となつたが、同時に例へば第三項において

許された平和時の産業諸活動または一時の雨宿り(shelter)に、直に使用出来る構造並びに施設を故意に破壊するのは米國政府の意圖でない
と述べ、同じく第二項の末尾に

これ等の限度内においては、米國の賠償並びに安定政策はドイツの平時經濟に價值ある資本施設の膺懲的破壊を結果することを企圖してゐない
と判つきり斷つてゐる

△經濟破壊を目的とせず

第五項にはドイツ人の生活標準が取上げられてゐるが、ポツダム議定書では、簡單にドイツ生活

標準を歐洲の平均水準よりも高くしないところに押し付けると述べてゐるが、占領行政半歳の實際に徴し、國務省の聲明は

ポツダム議定書の趣旨を實現するためには、ドイツの産業能力が賠償施設の撤去後、なほ歐洲の平均水準によつて生活標準を確保出来ねばならぬ
と述べ

一九四八年二月以降にも、ドイツの平時經濟が依然として行政並びに經濟組織の難關に當面し、残存産業施設が全生産力を發揮出来るかどうか疑問だから、ドイツ國力の生活標準が暫くの間歐洲の平均以下に低下しよう
と懸念してゐる、従つて第七項においては、専ら

ドイツ經濟の破壊を企圖する考へ方を非難し米國はドイツ品に對して米國の市場を擁護したり、米國の輸出促進その他の利己的便益を目的にして、平和的性格のドイツ産業を排除き若くは弱體化させようとはしない、同様に他國がベルリン宣言の産業武装解除等を、ドイツの平時經濟を犠牲に供して、自國の商業的目的に利用することに反對だ
と述べてゐる

第八項においては賠償目的のための産業施設撤去について

撤去すべき施設の分量を決定するに當つては、ドイツが歐洲の平均に等しい生活標準を維持するに必要な輸入を賄ふに足る外國爲替を入手するため、輸出品を生産出来る餘力を残さねばならぬ
ことを大前提としてゐる

△輸入問題

第九項と第十項においては、今冬から一九四八年二月までのバーンズ國務長官のいはゆる第二段階におけるドイツの輸入問題が取上げられてゐる歐洲の平均生活標準の方式は勿論一九四八年二月以降の第三段階に適用されるので、ポツダム議定書には

占領期間におけるドイツの生活標準に關してはなんら規定がないのだから、占領各國は歐洲の

平均水準に等しい生活標準を維持するための輸入を提供する義務はない

しかし米國政府としては「疾病と不安」とを避けるといふ方式に基いて、一定の「型と量」の輸入をドイツに提供する方針だ

△苛酷な政策の修正

第十一項と第十二項においては、現段階における占領行政の使命を指摘し

一、輸送機關、住宅、公共諸事業の修復、石炭と農作物の生産増強

一、各占領地域を通じての行政各機關の設置、共通政策の確立

の急務なる所以を力説してゐる、國務省の聲明では、これ等の二項目は比較的短く、寧ろ重點が賠償決済に置かれてゐるが、占領行政の圓滿な運営には、これ等の條件が最も重視されねばならぬことはいふまでもあるまい、國務省は今回の聲明を英ソ佛三國にも通達してゐるので、ベルリンの管理々事會では、特にフランス代表との關係において、統一的な占領政策が論議の焦點とならう

非ナチ化政策についても國務省の聲明は僅かに右過程の一樣相として、非ナチ化政策は現期間内に満足に完了されねばならぬ

と述べてゐるに過ぎない、この一句の含蓄は必ずしも明瞭でないが、専ら非ナチ化政策に重點をおく從來の政策が、バイロン・ブライスの報告に基いて或る程度修正され、しかも非ナチ化政策を何時までも引張らずに、現段階で打ち切らうといふのが米國政府の方針ではなからうか



IGファルベン調査報告(下)

△財政的援助並びに宣傳活動

Ⅱ公聴會第二目Ⅱ

IGファルベンは諸外國間或ひは外國の各種政治的、宗教的、民族的團體相互間に不和を生ぜしめるための宣傳の傳播とかまたは財政上の援助とかでナチ黨に非常に盡した、カルテル協定の獨占的地位及び化學その他關係工業の世界的な浸透により諸外國の潜在戦力を切崩すことにおいてもナチのために大きな貢獻をなした

IGファルベンはナチ宣傳の大規模な役割のためにも他の戦争事業の場合と同様慎重有效な方法で計畫を編成した、その第一着手は海外のIG機關が果して完全にナチ化してゐるかどうかを確かめることだつたのである、IGはアルゼンチン國內の反米宣傳に於ては直接アウフルングスアウスシュツス(ドイツ政府海外宣傳部)と協力した同社は直接宣傳撒布に携はつただけでなく、海外で宣傳に従事し心理的經濟的作戰に關係してゐたドイツ政府機關に外國爲替を提供する上でも重要な機關だつた、ブラジルだけでも一九四〇年から一九四二年一月迄にファルベン社バイエルン支店は三百六十三萬九千馬克に相當する額をドイツ公使館及びナチ黨代表に提供してゐる、スペインではドイツ公使館がスペイン通貨ペセタを必要とした時、ファルベンはスペイン諸銀行から借入れてその後のペセタ受取金でその支拂ひを濟ませた

IG系南米商社はすべてその主要職員名義の秘密當座預金を帳簿には記入しないでゐた、これらの銀行勘定は内密の支拂(たとへばIG系諸社の公表取引名簿に關係のあることを知られたくないやうな商社との取引)での受拂ひに使用されたのだつた、かうした勘定や金融事務所のことはよく知られてゐる、この場合表面的に樞軸色を帯びずに隠されてゐた資産は、ナチ海外機關の俸給を支拂つたり、ナチが仕事をやる費用を支出したりする秘密資金として諜報や宣傳を十分に賄つてゐた、ドイツの外國經濟政策はドイツと軋轢の豫想される國家の經濟力を切崩すことを目標としてゐた、ファルベン社高級職員は直接證言してこの政策を認めたばかりか、彼らがその方式化と實行においても重要な役割を演じたことを供述してゐるのである、IGファルベンはカルテル協定者との關係においてはドイツ政府代理の資格をもつて行動した、同社は世界化學産業における支配的な地位によつてその無數の連繫をドイツの戦争準備に利用するには絶好の立場にあつたのである

IGはドイツの重要な化學製品輸出貿易において支配的な要素を成してゐた、ドイツの化學藥品及び關係製品の總産額中約一割を占め、一九三七年にはIGの生産する藥品の七〇%、染料の六五%、寫眞材料の四〇%が輸出された、輸出は輸入を遙かに凌駕し、その特許使用料及び特許權賣却による純収入も相當な額に上つた

これらの取引はフアルベン社をしてドイツ最大唯一の自由外國爲替獲得者たらしめた、同社の外國爲替がなかつたとしたら、ドイツは國內に産せず再軍備に絶対必要な戰略的原料や裝備或ひは技術上の操作法等を買入れることが出来ず、ドイツ政府は戦争の準備並びに遂行のための海外における諜報、宣傳その他の軍事的政治的活動を行ふことは出来なかつたにちがひない

ドイツの工業特にIGフアルベンに對し外國爲替を取得せしめようとするドイツ政府の壓力は常に強かつた、四ヶ年計畫の開始と共にこの壓力は益々烈しくなつたが、IGフアルベンは手に入る限りの外國爲替を政府の目的に提供し、完全に政府と協力した、そして遂に外國爲替狀況が全く絶望的になつた時には、フアルベン社は同社の海軍投資を一部賣却さへしたのである

△犯罪證據の數々

IGフアルベンが戦争準備および征服の戦利を取得するために演じた役割を追へば、次のごとき數多の證據がみられる

第一IGフアルベン、その取締役並びに職員はナチのオーストリア、ポーランド、チエコスロヴァキア並びにフランスの侵略を完全に承認してゐた、IGはこれらの征服から相當の利益を上げてゐる

第二IGフアルベンの侵略者の經營の記録は自らの戦争犯罪を告白してゐるが、その中には獨裁的政權の背後に自己の一切の威力を投じた巨大産業が事實上近代戦における力の均衡を手中に収めるといふ眞理が示されてゐる

第三IGフアルベンは一九三四年までに「フエルミツテルングスシュテレW」と呼ぶ完全に軍事連絡を事とする部門を設置してゐた、これは當時既にIGフアルベンと國防軍との交渉が極めて頻繁かつ緊密になり、連絡の調整が必要となつてゐたためである

第四IGフアルベンはここにおいて戦況に應じ新しい兵器を準備すべしとの命令を政府より受け、宛もドイツ軍勢力を増大するためのあらゆる可能なる手段を發見する責任を課せられたドイツ

政府の研究機關そのものであるかのごとき機能を開始した、かくてフアルベン社は正式にゲーリングの機關よりドイツ政策に關する通牒を受けるに至り、ヒトラーのチエコスロヴァキア占領に先立ち、チエコにおける有力競争會社を接收する準備を完了してゐた

第五IGフアルベンの世界帝國案は經濟省に提出された「ノイオルドヌング(新秩序)」と題する文書に具體化されてゐる、その中に目的として擧げられてゐるのは、被征服諸國化學工業の完全な協力の確立、軍事的に重要な化學工場 of 合併世界市場における米國の競争の一掃、ドイツと米國の軋轢を豫想してフアルベン社の經濟戦争兵器たるカルテル、投下資本並びに製法知識を利用すること等である

第六IGフアルベンは被征服國における化學藥品及び染料商社總額約三億五千萬馬克を獲得した上染料分野における競争者を吸收乃至根絶して遂には一社の獨立染料會社をも残さざるに至つた以上を具體的にみれば、チエコスロヴァキアにおいてはフアルベン社はバラガー・フェラインをして、僅か一年分の製品賣上高に相當する代價でその最大の二工場を譲渡せしめた

フランスにおいては、フアルベン社は當初地方化學會社を親衛隊または國防軍から叩き値で買ひ取る豫定でゐたが、結局フランス工業家の多くは財産を失ふより寧ろドイツ人と力を協せて聯合軍に双向ふ方がよいと考へてゐることが判明したので、この協力の結果、フアルベン社としてはフランス染料會社の創立によりフランス染料工業を效果的に統制した上、同社の利潤の五一%を取り上げることも決して困難ではなかつたのであるこれに對しフランス諸社はフアルベン社の共通株の〇・五%以下を買つたに過ぎないのである

△結論

ドイツ敗戦當日現在におけるフアルベン社職員自身の推定によれば、IGフアルベンの戦時(一九四三年)生産能力の八七%は完全な状態で残つてゐたといはれる、これは一九三九年九月開戦當時におけるフアルベン社の戦争能力よりはるかに大きい、これらの工場が大規模操業を開始する爲に必要なことは所要の燃料および原料を入手する

ことだけだ、これ等工場の完全な運転に必要な技術者はほとんど全部ドイツ國內で集められるのである

△提唱（證言第三日）

IGファルベンの戦争能力はいまや會てなき高度に達してをり、ドイツをして新たな世界制覇計畫を抱かしめざるためにはこれを減さなければならぬ

ドイツのナチ色一掃と工業力奪取の諸命令は、聯合國管理々事會生産統制機關の手によつて緩和されてゐる、同機關は生産を進行させることの方に大きな關心をもつてゐるのだ、しかしながらドイツの破損工場は六ヶ月以内に修復し得るものが多く、工業力奪取計畫を效果的に實行しない限りドイツ工業はその經濟内の家屋や橋梁のごとき部分を再建した後五年か十年で戦争のための機械の製造を開始し得るにちがひないのである

短波の躍進

「クリスチヤン・サイエンス」

モニター」紙十二月十日

スタンフォード大學はカリフォルニア州パロ・アルトに短波通信の廣範な研究のための研究所を設置した

この研究所では

一、短波あるひは超短波の實用實驗

一、短波に關する新研究

一、戦時中の必要によつて開始された新しい通信術のための技師の養成

の三事業を行ふ豫定である

超短波は一般にレーダー關係に使用されるが、スタンフォード大學物理學教授で新超短波研究所長となつたウイリアム・ハンセン博士は航海、航空、テレヴィジョン、長距離電話、電報通信などに利用される日も遠くはあるまいと豫言してゐる

ハンセン博士は素人のために超短波を解り易く説明、次の通り述べた

例へば標準型ラジオの長波は一千呎であるが、

超短波の場合は四呎若くはそれ以下である、おまけに長波の数は限られてゐるが、超短波の数は濱の砂のやうに無數である

この相違は即ち、放送當局による長波利用が最近激増して利用し得る周波數を超えてゐるのに對し現在使用し得る超短波數は需要數より多いものと豫想されてゐる譯だ

ラジオ技師は大部分以前から超短波に關する知識は持つてゐたが、ハンセン博士が「ルンバートン」を發明、彼の協力者シガード・ヴェアリアン及びラツセル・ヴェアリアンの兄弟が更に「クリストロン」を發明する迄は、超短波發信の方法はなかつたのである、「クリストロン」によつて超短波を發信することが出來、レーダーを使用することも出来ることとなつた

△超短波の實用價值

長短波は地面と六十哩上方の氣層との間を前後に跳ねて結局地球の周圍を廻るのだが、超短波は固い表面につき當ると反射して眞直に進む、そこで超短波線は船舶の存在を探知したり、飛翅中の飛行機と地面の間の距離を測定することが出来るのである、一方通信手段としてはまだ緒に着いた許りだが、ハンセン博士は短波をもつと改革出来るし、長波に比べて效果も大で靜力學に拘束されない利點があると述べてゐる

ハンセン博士は超短波に關する發見を近い將來實用に供することの意義をも輕視することなく、「ウォーキー・トーキー」や「ハンディ・トーキー」について簡単に述べたが、これでは「最低」の可能性に過ぎないとして、著しい例としてウェステイニング・ハウス社のテレヴィジョン計畫、ウェスターン・ユニオンが國內で電信線を撤廢して代りに新案超短波送受信器を使用する旨言明した事、超短波によつて貨物運輸を統制する廣範な組織が現在二つの米國の鐵道路線で實驗的に試みられてゐることを挙げ、更に超短波の利用によつて海上の安全性が増す話に移り、長年の間に國內の大きな湖で、鐵鑛運送船が悪天候のため蒙つた損害が大きなものであつたが、超短波を利用すればかかる損害を防止することが出来る」と語つた

昭和二十年十二月二十日(木)
第四一號

時事通信

海外電報

(41)

【目次】

米外交政策の重心東亞へ……………	四一八
スターリン歸る……………	四一九
ス議長歸還とモスクワ會談……………	ク
アゼルバイジャンの叛亂擴大……………	ク
ペロン、ソ聯に縋る……………	ク

【ユダヤ人問題】

ユダヤ人救済大會開く……………	四二〇
經濟封鎖計畫を完了……………	ク
英弘報局長辭職……………	ク
流民收容所で罷業……………	ク
情勢は一觸即發……………	ク

【米 洲】

國務省、情報機能を擴大……………	四二一
マツケーの劃期的新聞電報……………	ク
眞珠灣調査委員辭意を表明……………	ク
生糸輸入減少……………	ク
共同干渉案の通過を豫想……………	四二二
伯、米國憲法に倣ふ……………	ク
ダイヤモンド大鑛床發見……………	ク

【歐 洲】

ブルーム、對獨政策を難す……………	ク
マルセル・デアの行方……………	ク
瑞典新鋭驅逐艦進水……………	ク
ハンガリー炭坑國有化……………	ク

【西 亞】

アラブ聯盟會議終る……………	ク
埃、國際通貨協定へ参加……………	ク

【原子エネルギー】

軍備制限機關を提案……………	四二三
----------------	-----

【今日の話題】

ミツクスマスター墜落……………	ク
四月爆撃の打ちがひ……………	ク
INSの十大ニュース……………	ク

【資 料】

極東におけるソ聯の地位……………	四二四
------------------	-----



で平和に破綻を來たせば、全世界の平和が脅威を受けることが明らかとなつた」と謳つてゐる一節こそは、米國外交政策の新たな道標ではなからうか、APのワシントン電報は米國政府筋の意向を反映し「今やあらゆる國々の内政は、すべての國々のビジネスとなるに至つた、米國が國際聯合憲章を批准した以上、國際戰爭防止のために集團的行動をとるとの原則に同意したわけだ、或ひは米國政府は他の國々とともに、右原則を近くスペイン、アルヘンチーナ兩國に適用することとなるかも知れない」と述べてゐるが、「多角的干渉」に關するウルグアイ政府の提案については、ブレイドン國務次官補が十六日記者團との會見で「結局西半球の各國が賛成するに違ひない」と明白に支持を表明してゐる、世界國家は一日にして成らない、しかし第二次大戰後の趨勢が、逐次「一つの世界」建設に向つてゐることだけは確だ

マーシャル元帥が重慶に持つて行く對華新政策に關するトルーマン大統領の聲明は、米國の傳統的外交政策からの思ひ切つた出發 (bold departure) である、他國の内政に對する不干渉の鐵則に拘束されたからこそ、滿洲事變に際しても、スチムソン陸軍長官は「侵略の成果」を認めないと述べるに止めた、所謂外交十二原則の第四條においても「自治に適した一切の國民は、自由に表明された選擇に基き、自らの統治形態を選擇することを許されねばならない」と述べ、第六條には「外國の力によつて一國に課せられた如何なる政權をも承認することを拒否する」と述べてをり、米國政府が依然として「民族自決」と「承認政策」を固執してゐることは明らかだが、今回の對華新政策においては、「平和不可分」の理論に基き、國民黨と共和黨とに對し、内戰の即時停止、國民黨の以黨治國を揚棄して代議政治の確立を要請してゐる、聲明に「合衆國は久しい間、内政の運営が主權各國民の責任だとの主義を堅持して現在に及んだが、現世紀の情勢に徴すれば、世界何れかの地點で平和に破綻を來たせば、全世界の平和が脅威を受けることが明らかとなつた」と謳つてゐる一節こそは、米國外交政策の新たな道標ではなからうか、APのワシントン電報は米國政府筋の意向を反映し「今やあらゆる國々の内政は、すべての國々のビジネスとなるに至つた、米國が國際聯合憲章を批准した以上、國際戰爭防止のために集團的行動をとるとの原則に同意したわけだ、或ひは米國政府は他の國々とともに、右原則を近くスペイン、アルヘンチーナ兩國に適用することとなるかも知れない」と述べてゐるが、「多角的干渉」に關するウルグアイ政府の提案については、ブレイドン國務次官補が十六日記者團との會見で「結局西半球の各國が賛成するに違ひない」と明白に支持を表明してゐる、世界國家は一日にして成らない、しかし第二次大戰後の趨勢が、逐次「一つの世界」建設に向つてゐることだけは確だ

米外交政策の重心東亞へ

モスクワ會談を前に、タス電報はアゼルバイジャン自治政府の成立を報道し、トルーマン大統領は對華新政策を闡明したが、UPのワシントン特派員スチュワート・ヘンスレーは十八日、「權威筋」の情報として、モスクワ會談を契機として米國政府が外交施策の重點を歐洲から東亞に轉移する方針なる旨を報道してゐる、ヘンスレー特派員は「米國が極東において斷乎たる立場を採るに至つたことは、最近の諸事件によつても立證出来る」と前提し、特に次の三點を上げてゐる

△極東の三事件

一、トルーマン大統領は對華新政策に關する今回の聲明で、蔣介石氏の國民政府支持を表明するとともに、同政權の基盤擴大を要求し、「米國の經濟的武器が政權の基盤擴大を強要するであらうことを示唆した」大統領が他國の「内政に干渉」するとの非難を覺悟して、以上の強硬政策に出たことに徴すれば、東亞に對する米國の立場は炳乎として明かだ

二、マツカーサー將軍が或ひは戰爭犯罪容疑者の逮捕、農地改革、國家神道の廢棄等々、最近相次いで日本の將來に對し長期に亘つて影響を及ぼす徹底的措置に出た事實に徴すれば、今後ソヴェト政府その他の日本管理について發言權を増大することを米國政府が豫想してゐない爲と見る他はない、この點に關聯し或る消息筋ではマツカーサー元帥が、日本管理についてソヴェト政府の發言權が多少とも増大する場合には、聯合軍最高司令官を辭職する旨國務省に豫告したと述べ、かくては米國の輿論に深刻な反響を與へることになるので、國務省としては如何なる代償を拂つてもかかる事態を避ける決意だと洩らしてゐる

三、朝鮮については、軍事上の考慮から北緯三八度の線をもつて半島を南北に縱斷したが、既に軍事上の考慮が不必要となつた現在、朝鮮を統一的に國際聯合の信託に委ねるのが妥當だとの見地より、米國政府はソヴェト政府の考慮を要請してゐる、國務省においては、經濟的に安

定した獨立朝鮮が東亞の平和維持に肝要な要件だとの見解を堅持し、ソヴェト政府に對し、朝鮮問題の速かな解決を要請するとともに、バルカン半島についてソヴェト政府が同様の措置をとることを要認する用意あり

ヘンスレー特派員は以上の具體的論據を基礎に、原子力の管理並びにイラン問題が直接ニユーズの面では重視されるかも知れないが、バーンズ國務長官は、モスクワ會談において東亞問題の解決に重點をおき、今後數ヶ月の事件に右努力が反映するだらうと論じてゐる

△歐洲では讓歩

ヘンスレー特派員は結論として次の通り述べてゐる

「當局筋ではモスクワ會談における米國政府の主たる關心は、東亞の諸問題について諒解を達成するにあり、トルーマン大統領はバーンズ國務長官に對し、日本管理に對するソヴェト政府の發言權要求を押へると同時に、ソ華兩國間の條約遵守をあくまで要請するやう訓令を與へたと言明した、右訓令は、ここ一、二ヶ月間、米國外交政策の重點が移動し始めた全般的な傾向を反映してをり、結局米國政府としては、東亞が外交上の第一位の關心にて、歐洲を第二位におとすこととならう、從來國務省の極東局では、外交上の最良の頭腦と主たる關心とが歐洲圈に向けられてゐることに不満であつたが、今後は多年に亘る右政策がひつくりかへされることとなるに違ひない、ワシントンの消息筋では、バーンズ國務長官が日華兩國その他の太平洋領域において米國が引續き支配的役割を演ずる代償としてバルカン半島、イランその他の地域において讓歩するかも知れぬと信じ、米國政府は結局英ソ兩國が歐洲で今後主たる發言權を維持するのが當然であり、既成の事實として取りかへしがつかなくなつたイランの情勢について、ソヴェト政府と折衝し、東亞においてソヴェト政府に讓歩するの他なきに至ることは避けた方が得策だとの結論に達したと確言してゐる、米國政府は東亞が自國の平和と繁榮とにとつてイランその他よりも何倍も重要だとの見解だ」

スターリン歸る

(モスクワ十八日) ソヴェト政府はタス通信社を通じてスターリン議長が休暇を終へて十七日モスクワに歸還、執務を開始した旨十八日發表した、スターリン議長は去る十月九日休暇をとつて黒海岸の保養地ソーチに赴き、十一月七日の革命記念日にもモスクワに歸らずに、専心療養に努めてゐたものである。

ス議長歸還とモスクワ會談

モスクワ來電によれば、スターリン議長が漸く黒海岸の保養地を引揚げてモスクワに歸還した結果、外國で流布されてゐる重態説は全く覆へされたこととなり、モスクワ會談の進行に好影響を與へるものとして各方面の大いに歓迎するところとなつてゐるといはれるが、バーンズ、ベヴィン兩外相は十八日の會議に備へて準備を進め、ベヴィン外相はイラン情勢を検討するため、テヘラン駐劄英國大使サー・リダー・ブラードと長時間に亘つて凝議したと傳へられ、バーンズ長官もまたテヘランからかけつけた米國大使館員數名から詳細に報告を聴取した様子だ。

以上により、モスクワ會談の劈頭イラン問題が組上にのせられてゐることは略々確實とみられるが、ワシントンからの情報によれば、モスクワ會談ではフランコ問題も議せられる豫定とつたへられる。

アゼルバイジャンの叛亂擴大

テヘランからの十八日付報道によれば、アゼルバイジャンに國民政府を樹立した北部イランの獨立運動は、遂にアゼルバイジャン州境を突破してカスピ海岸のジラン州に迄擴大、更に勢猛に南下の形勢を示してゐるといはれるが、以上の事態の發生に伴ひ、イランの紛争は局地的性格をかなぐり棄てて全面的規模にまで尖鋭化する兆候を示してをり、問題解決に失敗して荏苒日を送るイラン中央政府の危機は最早確定的とみられるに至つた。UP電報によれば政府はアゼルバイジャン問題を審議するため議會を召集したが、最少限定員數すら掻き集めることが出来なかつたため流會とな

つたといはれるが、右はハキミ内閣に對する議會の不信任を直接表現するものとして、内閣總辭職以外に開かれた途がないことを示唆するものとみられてゐる。

以上の事態に鑑みハキミ内閣は専ら米國に縋つて、米國政府の干渉によつて窮境打開の方策を講ずる戰術に移り、十八日次の聲明を發表して米國の反響を俟つこととなつた。

アゼルバイジャンにおける多數の武裝した山師共は外國軍隊の存在を利用し、民主主義の看板を掲げてイラン王政及び民主主義政府に對する裏切りの武裝蜂起を敢へてしてゐるが、これらいかがはしい連中はアゼルバイジャン住民にテロ行動を加へ、政府官吏を投獄して拷問を加へてゐる。

アゼルバイジャン國民政府が「いかがはしい山師の群」であるかどうかは、今後事態の明瞭化を俟つて判斷する以外にないが、ワシントンからのUP電報によれば、米國政府筋は新國民政府を自然發生的な運動と理解してゐないと傳へられるが、イラン問題に對する米國の立場としては次の諸點が考へられる。

一、ソ聯ではなくイラン政府の管轄下に秩序を維持するために必要な兵力數を決定すること。

一、以上の決定をソ聯が拒絶したことは小國間に深刻な疑惑を醸成せしめてゐるが、米國はかかる疑惑の掃を大國の道義的責任と解してゐる。

ペロン、ソ聯に縋る

(ブエノスアイレス十八日) 明春の大統領選舉戦に立候補を聲明したホアン・ペロン大佐はアルゼンチンと米國との外交關係の惡化については一切口を緘してゐるが、一方ソ聯に對しては公然と齒の浮くやうなお世辭を並べ立ててゐる。ペロンは同國の惡化した地位を挽回すべくソ聯の同國政府承認を希望してゐる様子だが、ワシントン來電によれば、民主黨下院議員ジョン・コフイはつぎの如く言明したと傳へられる。

ソ聯がこの種の御機嫌とりに騙されるものでないことは、恰も米國がフランコ統領から同様の態度を示されたとしても騙されないのと同じだ。米國務省及びワシントン駐劄ソ聯大使館は右に關して批評を拒否してゐると報ぜられる。

「ユダヤ人問題」

ユダヤ人救済大會開く

(アトランチック・シテイ十七日) 米國の三大ユダヤ人救済機關によつて構成される合同ユダヤ人輿論振興全國會議の主催で、ナチ政權の迫害により家庭や家族を失つた歐洲ユダヤ人の即時且つ大規模な救済計畫を樹てるべく、三日間の大會が十五日アトランチック・シテイにおいて開會された米國及び海外からの著名なユダヤ人指導者が交々立つて

歐洲のユダヤ人が飢餓と疫病により現在よりもまだ多くの死者を出す如き脅威に曝されてゐる現在、彼等に供給すべきものについて急速な措置を講ずる必要がある

旨強調したが、同會議の名譽總裁バウル・ペイルワルドは開會演説において「これまでの救済措置はほんの序曲にすぎない」旨述べ、今後の大々的救済計畫の必要を力説した、一方ニューヨーク市のエドワード・ワルブルグは次の如く述べた

對獨戰の勝利以來、歐洲のユダヤ人問題は改善されはしたが決して解決點に近づいてはゐない最後の解決は移住と、流民のために新しい家庭を見つけてやることに存する

會議の議題としては

- 一、歐洲各國のユダヤ人に對する救済復興援助
- 二、パレスチナへの大規模な移住と植民
- 三、米國におけるユダヤ避難民の調節

等が擧げられてゐるが「ニューヨーク・タイムズ」紙は、同會議が歐洲及びパレスチナのユダヤ人團體代表が戰爭終了後初めて米國のユダヤ人代表と歐洲流民の處理に關して懇談するもので、その意義を重大視してゐる

經濟封鎖計畫を完了

(ロンドン十七日) アラブ聯盟の指導者アウニ・ベイ・アブヅル・ハデイは、十七日次の通り言明した

アラブ聯盟は一月一日からパレスチナ・ユダヤ人に對し全面的經濟封鎖計畫を完了した、ボイコットの目的はアラブ聯盟に加入する各國政府

及びパレスチナ・アラビア人の共同措置によつて、ユダヤ産業を全面的に封殺することである

英弘報局長辭職

(テル・アヴィヴ十七日) テル・アヴィヴの英國弘報局長ハーヴィアット・ホワースは十七日辭職した、辭職の理由はパレスチナに關する勞働黨政府の公約が、實際政策と矛盾してゐる結果と傳へられる

流民收容所で罷業

(ベルリン十七日) 英軍司令部當局は、十七日つぎの通り發表した
英軍管理下の流民收容所數ヶ所で英國のパレスチナ政策に反對して罷業があつたが、英軍がこれら收容所の中に入り込んだとの報道は眞實でない、或る種の收容所ではユダヤ流民の一日罷業が行はれ、これら流民は正規の義務に服することを拒否した

情勢は一觸即發

(ワシントン十七日) 米英合同パレスチナ委員會の米國代表一行は、十五日デイン・アチソン國務次官に伴はれホワイト・ハウスを訪問、トルーマン大統領と會談した、右會談後ハチソン首席代表は新聞記者團に對し次のごとく言明した
余はシングルトン英國首席代表と共同會合を開くための打合せを完了した、合同委員會の仕事は一月一日から開始されよう

合同委員會は、四月の末までにパレスチナ問題解決の勸告案を作製する段取りと傳へられるが、然しかかる悠長なことでは、一觸即發の情勢下にあるパレスチナ問題の解決に貢獻し得るや否や疑問とされる、ところで、CBS放送局特派員ウィンストン・バーデットはカイロから次のやうに報道してゐる

ユダヤ人地下運動者は萬一情勢が全く絶望の状態になつたならば行動に入り込まふとして、その機會を狙つて必死である、彼等をして今後數ヶ月間、さらに我慢して長期交渉の結果を待たせることは恐らく困難だ

時事通信

海外電報

電報・電話・郵便・無線電

【米 洲】

國務省、情報機能を擴大

(ワシントン十七日) 國務省は戰時情報局廢止後同局の情報頒布機能を引續き、暫定的に省内に國際情報部を設置して海外諸國に對して米國情報の供給を行つてゐるが、下院外交委員會は去る十四日この情報部の機能を擴大すると共に、これを恒久的機關とする法案を可決した、右法案によれば國務省情報部の出す報道は世界各國の新聞、ラジオ、映畫その他情報機關は勿論のこと、學校、圖書館等の利用にも供せられ、また情報部は學生、教授等の交換をも斡旋することとなつてゐる、一方國務省は右の情報頒布活動と併行して大規模な全世界にわたる情報蒐集機關の設置をも企圖、これによつて米國外交政策の力強き裏付けを行はんとしてゐる模様だ、この機關は國務、陸軍、海軍三長官により組織される委員會から成り、國務長官を委員長とするが、今後十日以内に具體案が大統領の手許に提出されることとなる模様である

マツケーの劃期的新聞電報

(ニューヨーク十七日) アメリカン・ケーブル・アンド・ラジオ會社々長ウォレン・ピアソンは、十七日同社の子會社たるマツケー會社が一語三分の仙といふ劃期的低廉な料金をもつて、全世界にわたる新聞電報サーヴィス計畫を進めてゐる旨發表した、右案は既に聯邦通信局に申請中だが、マツケーの計畫によれば、このサーヴィスはニューヨーク、サンフランシスコ兩地の強力發信所によつて行はれ、歐洲及び太平洋地域にそれぞれ中繼所をおく豫定である

眞珠灣調査委員辭意を表明

(ワシントン十六日) 議會の眞珠灣事件調査委員會委員長バークレイ上院議員は十四日同委員長を辭職したい意向を表明した、既に四名の法律委員が辭職を申出でてゐるが、その理由は調査の範圍があまりにも廣く、これを完了するには今後數ヶ月を要するものと見られ、本來の職務遂行も不可

能となるといふにあるやうだ、以上の事情に關しワイリアム・ミツチエル首席法律委員は次の如く語つてゐる

一部委員が調査の範圍をあまりに擴大したために、調査を完了するには數ヶ月を要するだらう公聴會は十一月十五日から開始されてゐるが、質問があまりにも廣汎なために僅か八名の證言が終つたにすぎず、まだすくなくとも六十名が残されてゐる、法律委員は十二月乃至は一月初旬までしか仕事をする譯にはゆかない一方バークレイ委員長は次の如く言明したと傳へられる

調査は明らかに今後數ヶ月かかる、余は目下上院々内總務としての余の本來の仕事と調査委員會委員長としての仕事とどちらが大事であるかを比較検討してゐる、法律委員の辭意に關しては、二十一日乃至二十二日からクリスマス休會に入り度いと思つてゐるが、法律委員諸君はそれまでは仕事を繼續してくれるものと確信してゐる

生糸輸入減少か

(ワシントン十七日) 戰爭終結と共に米國は再び日本から生糸の輸入を開始せんとしてゐるが、十七日商務省の發表によれば、米國の生糸輸入は到底戰前の水準には達しないだらうといはれる、この理由としては

一、生糸の競争商品たるレイヨン及びナイロンの生産が増加したこと、例へばナイロンの生産高は一九四一年の八百萬封度から一九四四年には二千六百萬封度に増加した

一、生糸の値段が米國市場において激變したこと
の二點があげられてゐるが、生糸輸入減少の傾向は戰前においてすら顯著なものあり、一九三〇年には米國は七千三百七十三萬三千封度を輸入したのに對し、一九四〇年にはこの額は四千四百八十五萬七千封度に減少した、しかし、一九四〇年における對米主要生糸輸出國は、日本三千六百三十九萬二千封度、中國六百九十九萬一千封度、イタリア百五十二萬四千封度であつた

共同干渉の通過を豫想

(ワシントン十五日)ブレイドン國務次官補は十五日次の通り言明した

ウルグアイの共同干渉提案は結局西半球の多數國によつて承認されるだらう、國際聯合機構の下でわれわれが干渉する權利を持つことが出来るとするならば、その權利を西半球で持つことは出来ないといふ理由はない筈だ、西半球の米國大使館はすべて人手不足してゐるが、われわれは外交機關の再建に全力を傾倒しなければならぬ

伯、米國憲法に倣ふ

(ニューヨーク十六日)過般の選舉でブラジル大統領に當選したガスパール・デユトラは米國の制度及び憲法を研究せしめるため特使を米國に送つたと報ぜられる、デユトラの意圖は同國の來るべき憲法制定會議において、完全に民主主義的憲法を作り上げるために米國憲法を參考にするといふ譯だが、右に關し同國社會民主黨の執行委員アチイラ・ソアレスは十五日つぎの如く言明したといはれる

米國民は他國の安寧と平和、自由のために多くを犠牲としたが、その米國民によつて示された民主主義原則の遵奉といふ實例こそ、ブラジル再建運動において反映し且つわれわれの行動を律すべき龜鑑である

ダイヤモンド大鑛床發見

(リオデジヤネイロ十五日)ブラジル最大のダイヤモンド鑛床が西部ブラジルのサオ溪谷(パラナアバ河支流)地帯で發見されたと傳へられる

【歐 洲】

ブルーム、對獨政策を難す

(パリ十六日)フランス政府がルール、ラインラント管理案に關聯して、ドイツの行政中央化案に反對してゐることについて社會黨のレオン・ブルームはその機關紙「ボビュレル」の十六日紙上で「フランス政府の對獨政策は現在および將來に

根據をおく代りに寧ろ過去のみに執着してゐる」と非難し、かかるフランス政府の態度は國際協調に「障害」を提供するものであると述べてゐる

マルセル・デアの行方

(パリ十六日)元ヴィシー政府勞働相で、パリで「ウーヴル」紙を主宰し對獨協力を力説してゐたフランス政界のダーク・ホース、マルセル・デアは、ベタン元帥と行を共にしてジグマリゲンに亡命、ドイツ潰滅後行方不明になつてゐたが、現在ではチロール・アルプス山中のドイツ國民軍の私設要塞中にかくまはれてゐることがほぼ確實となつた、しかし、この要塞に近着くことは殆んど人力では不可能であるといはれる

瑞典新銳驅逐艦進水

(ストックホルム十六日)世界現存驅逐艦中、最優秀、最強の高射砲塔を有すると誇稱されるスウェーデン新驅逐艦「オーランド」號は、十六日マルモで進水した

ハンガリー炭坑國有化

(ブダペスト十六日)ハンガリー國民議會は十六日炭坑の國有を議決し、政府は直ちに同國內にある外國人所有の炭坑につき、炭坑主との交渉を開始した、一方首相ゾルタン・チルディ博士は十五日、ハンガリーの食糧事情は破局的であり、アンラの援助方を要請した旨發表した

【西 亞】

アラブ聯盟會議終る

(カイロ十六日)アラブ聯盟會議は十四日夜終了したが閉會に當り、英軍のエジプト撤兵とエジプト外交問題に關する干渉から手を引くべしとする同國民の對英要求を支持する旨の聲明を發表した

埃、國際通貨協定へ參加

(カイロ十六日)エジプト政府は、同國がブレトン・ウッズ通貨協定に參加した旨發表したと傳へられる、一方別電によれば同國政府は一九四〇年以來斷絶してゐるイタリーとの通商關係再開を決定したと報ぜられる

【原子エネルギー】

軍備制限機關を提案

(ワシントン十六日)コネチカット州選出下院議員クレア・ブリス・ルース女史は十五日夜、ラジオを通じて國際聯合内に軍備及び兵器特に原子力を應用したものの國際管理並びに縮減を行ふべき機關を設置することを提唱、次の通り演説した。原子爆彈の出現は先づ最初にその驚くべき大量的破壊により科學の無限の能力を我々に示したが、次いでかかる危険な兵器の管理及び減少の必要——一言に云へば軍備撤廢の必要——を強く感ぜしめるに至つた、そしてかかる機構は國際聯合總會の管理下におかるべきである、吾々は軍備競争に捲きこまれ、研究所を動員したり工業を統制したり、或ひはかかる競争の結果生ずる侵略精神に染まるが如きことがあつてはならないし、勿論かかる競争を挑むべきではない米國の科學者の頭腦、勞働者の手、經營の術はすべて人類の福祉のため使用さるべきであり、われわれ自身の破壊をもたらずさらに恐しい新方法をつくり出すために使用されてはならない。

同女史は先にかかる機關の設置を米國議會が支持することを示す決議案を下院に提出した、同案は目下下院外交委員會で審議中である。

【今日の話題】

「ミツクスマスター」墜落

USISがオクソンヒル(メアリランド)電報として報ずる所によれば、十二月八日大陸横斷非公式速度新記録を樹立したダグラスXB42「ミツクスマスター」は、十七日オクソンヒル近郊で墜落大破し、三名の乗員は落下傘で無事降下したといはれる、陸軍省では原因を發動機の故障と發表したが、ロングビーチからのUP電報によればダグラス航空機社當局はワシントン支社からの報告を引用して、次の通り發表したといはれる。ワシントン東南方十里の地點に墜落した陸軍機

「ミツクスマスター」の發動機一基が脱落したとの説は間違つてゐる、他の二名の乗員と共に脱出した操縦士が尾部のプロペラを豫め投下したにちがひない、これは特にさう設計されてゐるので、全員がプロペラに引つかけられることなく無事脱出した事實は、投下式プロペラの將來性を證明するものだ。

なほワシントンからのAP電報によれば、ダグラス社ワシントン支社當局は、XB42の第二機が既に陸軍のために完成されてゐる旨發表したといはれる。

四月爆撃の手ちがひ

(マイアミビーチ十七日)一九四二年四月の東京初爆撃を指揮したジエームズ・ドウリトル中將は十七日次の通り當時の事情を語つた。

東京爆撃に参加したB25十六機のうち四機は支那基地の誘導機が墜落するといふやうな手ちがひさへなければ助かつてゐた筈だ、誘導機は重慶出發後間もなく墜落したのだつた。

INSの十大ニューズ

(ニューヨーク十五日)INS通信社は、十四日一九四五年度の最大報道として十を選択し、報道價值によるその順位を、次の通り發表した。

- 一、原子爆彈
 - 二、日本の降伏
 - 三、ルーズヴェルトの死
 - 四、ドイツの敗北
 - 五、ヒトラー自殺
 - 六、ムツソリーニ處刑
 - 七、チャーチルの敗北
 - 八、桑港會議
 - 九、眞珠灣事件の調査
 - 十、ニールンベルグ裁判
- これをUP通信社發表の十二項目と比較すれば、UPは以上のほかボツダム宣言、ジエネラル・モーター社の罷業及び爆撃機のエンパイヤー・ステート・ビルの衝突を擧げてゐるが、眞珠灣事件の調査を擧げてゐない。



極東におけるソ聯の地位

アンドリユー・グラジダンツエク
「ザ・フアーイースタン・サーヴ
エー」誌 十一月二十一日號

一九四五年八月九日ソヴェト聯邦は日本に宣戰した、戦争は公式には二十四日後の一九四五年九月二日に終つたが、實際には僅かに二週間續いただけだ、赤軍司令部によれば、軍事行動は八月二十三日以降全く發生せず、ただ日本軍の大量降伏があつただけだといふ

このやうに短期間だからといつて戦争が血を流さずに済んだのではない、赤軍は戦死八千以上を出し、恐らくその三、四倍の負傷者を出してゐる筈だ、以上の損害は太平洋における最も犠牲多き作戦、即ち沖繩戦における米軍の損害に匹敵する日本軍の準備程度、日本軍司令部のソヴェト聯邦に對する憎惡、戦場の廣大さと戦鬨に参加した兩軍の兵力から判斷すれば、赤軍の損害はさして驚くべきほどのものではない、併しながらこれには二百五十萬の軍隊を維持する費用と彈藥の出費が加算される、これらは全て極東戦において勝利を得た犠牲に數へられよう、しかもこの勝利はソヴェト聯邦にとり極めて有意義な政治的、戰略的、經濟的結果を齎したのである

△異中の海軍

戦争までは日本がサガレン島南部（樺太）と千島列島を領有してゐたため、ソヴェト聯邦の海上における地位は極めて脆弱であつた、これらの島嶼は地域としては狭いが、戰略的には非常に重要だ、今日これらの島嶼はソヴェト聯邦に歸屬する從來ウラジウオストークに基地をおくソ聯海軍は恰かも畏にかけられた様なものであつた、第一強力な要塞施設を有する對馬、朝鮮兩海峽を経て南方へ突破することは殆んど不可能であつたし、宗谷、津輕兩海峽を経て東方へ突破することも出来なかつた、以上の海峽は全て日本の手中にあつた、もつとも非常の場合本土からサガレン島へだてる韃靼海峽を経て北方へ脱出することも出来るが、北緯五十度まではこの脱出路は日本の砲撃圈内に收められ、たとへ脱出に成功したとて結局

はどうにもならない

加之韃靼海峽の通ずるオホーツク海は、一年のうち僅かに四五ヶ月間が航行可能で（海峽の航行可能期間はもつと短い）あとは凍結してゐる、また流水の危険があまりない時期でも、航行は極めて困難だ、濃霧、暴風雨、旋泊を許さぬ海岸が妨げる、オホーツク海では一年のうち僅かに百二十日間が華氏五十度以上の平均気温を維持し、航行可能の時期にも十日のうち三日だけが晴天といふ状態である

かくのごとくウラジウオストークを基地とするソ聯海軍は事實上脱出路乃至進出路を持たず、同港周辺の比較的狹隘な水域に閉じ籠められてゐた

△過去の弱點

ベトロヴォフスクその他カムチャツカの港灣を基地とする艦隊の地位もおなじやうに困難であつた、カムチャツカそのものが未開の地で、七萬乃至十萬の人口は廣大な地域に散在してをり、同半島は大海軍の獨立した基地たり得ない、緊急の場合といへども、ソ聯海軍はここからウラジウオストークに後退することも出来なければ、ウラジウオストークの艦隊に援助を與へることも出来ないといふのはウラジウオストークへの路上には千島列島が横はり、列島は日本の手中にあつたからだかくのごとく千島列島とサガレン島はソ聯海岸線を三部分に分割してゐるが、日本との戦争が勃發した場合、直ちに相互に遮斷されてしまふ、三つの部分といふのは（１）朝鮮から韃靼海峽の最も狹隘な地點にあるポジビまで（２）オホーツク海岸（３）ロバートカ岬（カムチャツカ南端）から北方ベーリング海峽までの太平洋岸だ

かうした條件下では、極東にソ聯大海軍を樹立することは筋が通らない、それは精々沿海州南部の局地的防衛に使用されるだけだ、ところが日本に對する勝利の結果、ロシアの極東史上はじめてウラジウオストークからベーリング海峽までの全海岸線は統一を實現したのである

△帝制ロシアの遺産

一八七五年ロシアが千島列島に對する疑はしい要求でもつて日本の同じやうに疑はしいサガレンに對する要求と取引してゐたときには、ロシアの

極東地方は忘れられた地域であつた、この事實に一九〇四—一九〇五年の日露戦争の結果を加へよう、するとロシアはサガレン島南半を喪つたばかりでなく、日本はロシア領海での漁業権を獲得したお蔭で、事實上ロシアの太平洋岸全域の支配権を手に入れたことが明瞭とならう、日本はいつでもロシア領海で「漁獲」する権利を得たばかりでなく、ロシアの領土に假建築物を建てる権利をも手に入れたのである、當時ロシアが直面してゐた困難を理解するために、一九四一年十二月の日米開戦當時、日本が米國の西海岸のどこへでも上陸する條約上の權利を持つてゐたと想像してみろ、よい

一九二八年以降ソヴェト政府は日本の權利を制限しようとして全力をつくした、同政府は日本を二三の灣から閉め出し、次いで二三の河口からも閉め出した、それから許可なしの「漁區」での漁獲の中止を要求し、許可條項に違背した日本人を逮捕して罰金を課した、しかしながら太平洋における日本の活動を制限するためにソヴェト當局側のあらゆる企圖は、戦争手段に訴へずしてポーツマス條約によつて認められた日本の根本的權利を無効にすることを不可能とした、ソヴェト政府が帝制ロシアから繼承したのはかくの如き事態であつた

△大洋への途開く

多くの外國記者はロシア人が生來下手糞な船乗りであり航海者であると無邪氣に信じてゐるが、太平洋の地圖に多くのロシア人の名前が點在してゐることが實證してゐるやうに、航海華かなりし頃にロシア人は優秀な船乗りであつたことを忘れてゐる、サガレンと千島列島がソヴェト聯邦の手に歸すと、太平洋におけるソヴェト聯邦の戰略地位は一變した、ソ聯の海岸線はカムチャツカの北部から千島列島を経て朝鮮國境まで伸び、海洋は常に航海へ開かれることとなつた、その結果若干の優秀な自然港を利用することが出来るやうになり、必要とあればさらに多くの港を建設することが出来る、大洋への道はソヴェト聯邦に拓かれたこれは過去六、七十年間に初めてのことだ

事實若干の困難は依然として残つてゐる、即ち——(1) 海洋は寒く、霧が多くて、荒れ勝た(2) 宗谷海峡の南部は日本の手中にある(3) 冬季の四ヶ月のうち三ヶ月間は大概の港で屢々碎氷船が必要だ(4) 後方地帯は依然として未開である、もつとも以上の困難は克服し難いものではなく、不利な點は寧ろ有利な點に轉化しよう、太平洋のソヴェト領は船乗りにとつて恰好の練習場となり、航海出来る者にとつてはどこにも困難はない、しかも日本は將來長期間無力であらうから、大洋への障壁は除かれたとみてよい

△樺太の價值

領土についていへばソ聯の獲物は些して顯著とはいひ難い、ソ聯は南部サガレン島(一萬三千九百平方哩)と千島列島(三千九百五十平方哩)を實際に獲得した(將來の媾和會議がソ聯の取得を確認することは疑問の餘地がない)以上の地域を合すれば一萬七千八百五十平方哩となり、インディアナ州の約半ばに當る、アジア東北部は廣大な地域が單に雪で蔽はれた不毛の地であり、その意味で更に一萬八千平方哩を手に入れた事は一見特別に重要なこととはみえないが、實際には以上の領土取得は數字の示す以上に重大な意義を帯びてゐるのだ

まづ第一にソ聯の回復したサガレン島南部は、一九〇五年日本に割譲したときの流刑地とは全く異つたものとなつてゐる、日本のいふ樺太の工業生産總額は一九三八年に一億四千二百七十萬圓に達し、各種生産物の總額は二千億圓に上つてゐる一九四五年には生産は大いに増大した筈だ、樺太が米國の飛行機によつて一度も爆撃されなかつたことを忘れてはならない

特にソ聯にとつて歓迎すべきことは、パルプの生産(現在年産三十萬噸程度)と紙の生産(パルプの生産より二十萬噸多い)であらう、樺太水域における漁獲と魚類加工品の製造額は年二千萬圓から三千萬圓に上る、更に石炭、砂糖、木材、石油その他も採れる

サガレン島は相當の資本施設を有してゐる、一九三七年における發電所能力は七萬五千七百七十四キロワットに達したが、現在十萬キロワットをくだるまい、鐵道の延長は六百五十一軒（四百四哩）主として政府の建設したものだ、日本の諸會社の拂込資本は一九三八年に七千萬圓に上つた、同島はアジアの基準としては公共施設に富む部類の約十都市を有してゐる

第二に戰爭の結果日本は一九〇五年のポーツマス條約によつて獲得したソ聯領海における漁業權を喪失した、ソ聯領海における日本の漁獲額は一九三九年に四千九百二十萬圓と推算された、ソ聯海岸に近くしかもソ聯沿岸水域外の額は二千百十萬圓で、總計千四百四十萬圓となる、千島列島南部水域における漁獲額は二千萬圓を下るまい、かくの如く日本は加工品を合して一億三、四千萬圓の漁業を喪つた譯だ

△東支鐵道の意義

そのほかにソ聯が中國の長春鐵道（舊東支鐵道と南滿洲鐵道）から入手する収入を加へなければならぬ、同鐵道の純收入の半額でも平時には年一億圓を下らなかつた、長春鐵道に雇傭されるソ聯市民の數は最少限三萬だらうが、その俸給年額は總計三千萬圓を下るまい、この收入の一部は滿洲において消費されようが、ソ聯は相當の額を外國爲替乃至は滿洲から物資購入の形で利用出来ることとならう

以上のことはソ聯がこれらの地域から毎年四、五億圓の物資を入手出来ることを意味する、勿論いままで述べたことは例外もあらうし、日本の喪失はそのままソ聯の取得とはならぬが、またさうでないといふ理由もない、一九二八年以來太平洋におけるソ聯の漁業は極めて迅速なテンポで發展し、この水域はソ聯の漁區のうちでも最も重要なものとなつてゐる、アゾフ海及び黒海の漁業施設を完全に破壊され、バレンツ海岸の施設も一部破壊されてゐるから、ソヴェト政府は太平洋で以上の損害を償はうといふ決意を固めるであらう、更に將來太平洋におけるソ聯の水産高は、從來のソ聯プラス日本の水産高よりも増加することが豫期

される、といふのは、ソ聯と日本が同じ水域で漁業を営んでゐた結果、紛争と能率低下と無駄を生じてゐたからだ

サガレン島のバルブ、紙、石炭、木材、石油についても同じやうに増産のための努力がみられよう、サガレン島南部におけるソ聯軍政機關の最初の措置は製紙工場を即時生産に復歸させることであつた

中國長春鐵道からの収入については、増加することがあつても減少することはあるまい、同地方はまだ開發過程にあり、滿洲の現存鐵道網は發展する經濟の要求を満し得ない状態にある、中國長春鐵道は滿洲でも最も人口稠密な地域を通つてをり、豐饒な農業地域から海までの最短ルートを作してゐる、同鐵道は豊富な炭坑を開發し続けるであらう

△領土取得は損か？

以上に述べた觀測に對して考へられる第二の反對論はもつゝ重要なものであらう、即ち以上の地域を維持するために必要な經費の問題である、バルブ、紙、木材、石炭、石油及び魚類を生産するためには、樺太の住民と北方水域の漁夫は多くの物資と施設を必要とした、併しながらこれらに關する經費は生産による収入に比較すればすくないたとへば一九三九年における樺太からの輸出額は一億五千萬圓、輸入は僅かに八千八百萬圓程度であつた、併しこの輸入品の相當の部分は樺太で生産することが出来る

中國長春鐵道については、同鐵道を修理するために最初多少の出費を必要とする以外（それもソ聯と中國との間で平等に割當てられる筈だ）ソ聯としては出費の必要がない、尤も條約によればソ聯と中國は損益を共に分つことになつてゐるが、滿洲に平等な生活が回復されるならば、同鐵道が赤字を出すことはあるまい

ソヴェト極東にとつて同じ程度に重要なものは

人口上の取得だ、一九四〇年樺太の人口は四十一萬五千に上つた、元來が樺太は植民地域であつたため、勞働年齢の男女の割合は日本々土よりも高い筈である、ソ聯はそれらの日本人を樺太に留めておくと思はれるが(恐らく彼等は近く實施されるソヴェト選挙にも参加しよう)もしもさうだとすると多民族のソヴェト聯邦に初めて日本人のかりの数が含まれることになり、この「小日本人」の將來の發展は大いに興味を誘ふであらう、かくてソヴェト極東の人口は恒久的には四十萬乃至五十萬、一時的には約六十萬(捕虜の數)増加することになり、同地方の勞働力に大きな寄與を行ふことになるわけだ

△ 尤大な戦利品

最後にソ聯が滿洲、朝鮮、樺太において大量の戦利品を入手したことを忘れてはならない、以上の諸地域は日本軍にとつて對ソ戰の補給基地の役割を果す事になつてゐた、關東軍は一九三一年以降あらゆる種類の裝備資材を大量に蓄積してゐた一九四五年八月二十八日、赤軍は十九日間の戦闘で無電機機百十一臺、自動車千七百八十九輛、トラクター百十八輛、馬九千七百八頭、彈藥、武器裝備、食糧貯藏庫七百二十五を獲得したと報じたが、これだけで納まる筈はない、蓄積されてゐた裝備及び食糧の大部分は太平洋戰の間中手を着けずにそのままにしてあつた、といふのは日本軍參謀本部は戦火がこの方面まで波及しないといふ確信がなかつたので、滿洲におけるストツクを消費しないことにしてゐた、さらに北方戰線では極めて重要な冬季裝備は太平洋戰ではあまり使用されなかつたのである

これ等軍需物資のほかに大部分の非軍事裝備及び施設が赤軍の手中に歸したことは疑ひを容れない、赤軍の進撃があまりにも急速だつたため、日本は一切の裝備施設を後方へ移轉する道がなかつた、最後に大連、旅順、元山、大泊すら赤軍の手に歸した

不確認情報によれば、ソ聯は滿洲にある多くの日本の工業會社から機械施設を剝奪してゐるといふことだが、このことは十分考へられる、滿洲に

おける日本工業は軍需工業として設置されたもので、日本もこのことを決して否定しなかつた、一九四四年及び一九四五年に日本はラジオ放送で滿洲を東亞の「兵器廠」と稱した、一九四五年日本は米軍の爆撃を免れるため、日本々土の工場を滿洲に移轉したが、そこでソ聯の手に陥る破目となつたのである

△ ソ聯の得たもの

併しながらこれらの取得といへどもソ聯の損害を補償出来ない、損害とは(1)一九一八年から一九二二年までに日本がソヴェト極東に蒙らせた一切の損害、(2)東部三地方に對する日本の侵略によつて必要とされ、一九三一年以降滿洲周邊に建設した國境要塞線による巨額の出費、この要塞線は規模においてマジノ・ラインを遙かに凌駕する、(3)一九三八年の張鼓峰における戦闘及び、一九三九年における蒙古國境の大規模戦闘によつて蒙つた損害、(4)一九四五年の作戦による損害と出費等だ、併しながら手に入れた物資はソヴェト極東の逼迫した經濟に對して有益な寄與をなすであらう

新たに獲得した旅順港基地の價値は廣汎な論議の對象となつてゐるが、旅順港の孤立した地位に鑑み、同港のソ聯艦隊は威信をかち得る以外ソヴェト聯邦にとつて大した價値がないとみられてゐる、併しながら對馬、朝鮮海峡における日本の要塞施設が撤去された結果、旅順港の艦隊は北方の主力から孤立されなくなり、臺灣までの海上はソ聯に開かれるやうになつた、このことはソ聯が必要な防衛措置として日本の完全武裝解除に關心を寄せてゐることを裏書するものだ

以上に述べた軍事上の考慮に加ふるに、ソヴェト極東の發展は革命後の十五年間におけるソ聯の經濟的脆弱性によつて、大きな立遅れを余儀なくされてゐたことを考慮する必要がある、併し第二次及び第三次五ヶ年計畫において、ソヴェト極東地方の開発に注意が拂はれ、漁業の發展が指摘されてゐる、北緯六十度以北コルイマ河の上流にある金鑛地方は、實質生産高において世界で最も豊富なものだが、これは發達せしめられ、南部の石

油、石炭、鐵鋼、機械類の生産も大いに進められた、しかしこれだけならばまださしたることはない、同地方は木材、石炭、鐵、金、モリブデン、魚類、水力に甚だ富む、他の富源は同地方がまだ十分に踏査されてゐないので、單に推測されてゐるだけに過ぎない

△太平洋の強國

ソヴェト極東地方における廣大な地域の經濟發展は、大きな商船隊の援助によつてのみ達成される、しかるに現在のところ同地方の一小部分——アムール河の南部サガレン島の南部——だけが鐵道を利用出来る状態だ、たとへ將來長期に亘つて鐵道敷設が大々的に行はれようと、英國、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガルの諸國を合したよりも大きな面積を持つこの廣大な地域の需要に應ずることは不可能だ、これに反し海上運輸は地上運輸より費用がかからずこの眠れる地方の開発に大いに役立つ筈である、さうなればソヴェト聯邦は軍事力のみならず經濟力においても太平洋の強國としての地歩を確保出来るであらう

勝利の他の結實としては、タンヌートウフ共和國（面積約六萬四千平方哩、人口が極めて僅少のため獨立の共和國として存在し得ない）がソ聯國境内に含まれたこと、外蒙古の獨立を中國が承認すると期待されることだ

日本に對する勝利の結果は多くの極めて重要なものを齎した、全體としてはそれらは北部アジアにおけるソヴェト聯邦の地位を著しく強化する、ソヴェト聯邦は賢明な外交政策によりアジアの領野を越えてその威信と影響を擴大し得るであらうソ聯外交政策の輪廓は漸次明瞭となつてきた、それは外蒙古を援助して獨立を達成せしめること、中國共和國内の新疆省民衆の正當な志望に同情を寄せ支持すること、ソ聯占領地域内の朝鮮民衆に援助を與へて即時完全な行政上の責任をとらせ、戰爭の方向をとつてきた經濟を再建させること、中國の黨派争ひに干渉しないこと（他國が一九三六年から一九三九年までにスペインで演じた不干渉の喜劇を再演しない限り）植民地民衆の獨立運動

に公然と同情を寄せることこれだ、以上の政策は適當に且つ精力的に遂行されるならば、アジアにおける平和の回復に與つて大いに力あらう

國際婦人聯盟結成

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙
特派員シモン・レイテル 十二月十七日

各國の婦人代表を網羅する世界的組織たる新國際婦人聯盟は、最近パリで開催された國際婦人會議によつて決定された諸計畫の實行に乗り出し、結成以來初の記者團會見で、同聯盟の主要三目標を提示した

一、男女同權
一、全世界の保健、小兒の保護、教育の水準高揚
一、民主主義的理想の推進

同時に聯盟は右三項初めその他の諸目標達成のため英佛西露四ヶ國語の定期刊行物を發行する豫定である旨言明した、主要各國代表からなる聯盟理事會は臨時召集の必要ない限り三年毎に總會を開く豫定である、先に舉げた三項の計畫は最近開かれた國際婦人會議の採擇した三大決議に基いて決定されたものであるが、第一項の男女同權は、婦人の活動に關する社會的、經濟的、法律的な諸制限を除去しようとの希望から發したものであり、第二の保健及び小兒保護の問題は、先の婦人會議で印度、ギリシヤ、モロツコを含む多くの國の代表者から小兒の營養及び健康状態の不良について報告があつたため採り上げられたものである

聯盟は最後の民主主義思想確立の目標を達成するため各代表に夫々自國政府にたいし、スペインのフランコ政權との斷交、全戰爭犯罪人の審判、植民地國民にたいする政治上、社會上の特權賦與世界すべてのファシスト的政府に反對表明等を要求し、もつてファシズムにたいする闘争を遂行する旨言明した

昭和二十年十二月廿一日(金)
第四二二號

時事通信 海外電報

(42)

赤軍駐屯地域たるアゼルバイジャン州の獨立運動は遂に國民政府の樹立となつて結實した、今回の獨立運動が自然發生的な民族運動の性格をとるものか、或ひは一部でいふ如く、ソ聯のアジプロの結果「民衆の意思に反して」行はれたものかは早急に判斷を下すことは出来ないが、新政府の首班となつたジャーファル・ピシエヴァリは人も知るアゼルバイジャン民族運動の闘士で、過般の選舉ではトウデフ黨の公認候補者としてタブリーズから名乗りを上げて見事當選、ついでタブリーズに民主主義黨が組織されるや、選ばれて黨首となつた以上の事實はイラン二大政黨の一たるトウデフ黨とアゼルバイジャン民主主義黨が唇齒の關係にあることを示すものであり、トウデフ黨がソ聯に親しまれてゐるのは主としてピシエヴァリの斡旋によるといふ。



問題は新生アゼルバイジャン自治州とソヴェト聯邦アゼルバイジャン共和國との關係だ

アゼルバイジャン地方におけるロシアとイランの國境は「八二八年の露波戰爭以來變化がない、ソヴェト聯邦アゼルバイジャン共和國は一九一八年樹立され、大油田都市バクーを首都とし、人口は歐洲戰勃發の一九三九年には二百二十七萬五千を算した、イラン領アゼルバイジャン州の人口は約四百五十萬で、兩地域ともアルメニア、グルド、韃靼の各民族から主として構成されてゐる、イラン領アゼルバイジャンにおける民族運動の歴史は一九〇四年及び一九〇七年まで遡るが、當時バクーから石油労働者が續々流れ込み、帝制ロシアと歩調を合せて革命運動の策源地と化し、一九〇四年當時のスターリンがバクーで大罷業を組織したときには、イラン領アゼルバイジャンも同盟罷業の波に洗はれたといふ。

以上にみられるやうにイラン領アゼルバイジャンはソヴェト政權の夙に着眼したところであつたが、歐洲戰においてバクー油田防衛の脆弱性が暴露されて以來、ソ聯にとつては同地方は Soviet Defens-Glaxis Line として無くてはならぬものとなつた、ここにアゼルバイジャン紛争のボイントがある。

目次

イランを繞るモスクワ會談の動き	四三〇
單一國防省設置を要請	四三一
下院もパレスチナ決議案可決	四三一
歐洲は飢えたり	四三一
【歐 洲】	
「新時代」大國の協力を要請	四三二
獨運動團體を解散	四三二
羅婦人に參政權賦與	四三二
パットン大將快方へ	四三二
【戰後處理】	
ポーレー大使華府着	四三三
日本に大量の米棉輸出か	四三三
言論の自由こそ日本更生の途	四三三
【ユダヤ人問題】	
上院、パレスチナ決議案を可決	四三三
米代表一部變更	四三三
【米 洲】	
アンラ豫算案に署名	四三四
未曾有の寒波襲來	四三四
失業豫想減少	四三四
ケメラ―教授逝く	四三四
農産記録的豐作	四三四
伯ヘゴム園を賣却	四三四
墨に武器を密輸	四三四
【今日の話題】	
TWA比島へ進出	四三五
太平洋航空委員會設置案	四三五
「ヤンク」誌廢刊	四三五
ナイロン靴下生産激増	四三五
【特 輯】	
眞珠灣事件調査委員會公聽會(二)	四三五
【資 料】	
労働黨と印度	四三八

イランを繞るモスクワ會談の動き

モスクワの米英ソ三國外相は十八日午後第三次會議を開催、三時間十五分にわたつて協議を遂げたが、UP電報によれば最大の議題たる原子力の管理問題の討議に入つてゐると傳へられるにも拘らず、會談の経緯についてはモスクワの外人記者團は全くの白紙状態にあり、殆んど窺知を許されてゐない、他方バーンズ、ベヴィン兩外相はスターリン議長との第六十六回誕生日たる二十一日までにスターリン議長を訪問、モロトフ外務人民委員を交へて意見の交換を遂げる豫定だが、米國消息筋の間では以上の會談を契機にイラン問題が急轉直下の解決をみるとの樂觀的な觀測が急速に擡頭するに至つた、UPのワシントン記者シチュアイト・ヘンスレーは以上の觀測を裏書して中東全體に關する米英ソ三國關係について十九日次の通り報じてゐる

△新らたに三國協定締結か

「米國政府の一高官の見解では、スターリン議長とのモスクワ歸還により、バーンズ、ベヴィンの兩者の前にはソヴェト政府にイラン撤兵を承諾せると同時に、イラン問題につきテヘラン宣言に副ふ三國協定を新たに締結する可能性が拓かれるに至つたといふことだ、その理由は、モロトフ外務人民委員はスターリン議長の不興を蒙ることを惧れて、現在の「既定事實」につき譲歩を濫つてゐることは明かだが、バーンズ、ベヴィンの兩者が三國の協調關係といふ建前からスターリン議長に問題を提起するならば、スターリン議長も事態を再検討するに吝かであるまいといふにある

「確問するにバーンズ國務長官は新アゼルバイジャン政府が民意を代表してゐないといふ見地からその承認に頑強に反對、テヘラン協定の原則に基いて問題を解決することを主張してゐるといはれるが、ベヴィン外相は多少異つた立場からバーンズ長官の態度を支持して強硬極まる抗議を行つてゐると傳へられる、消息筋の觀測では英國は中東に對するソ聯の進出を惧れて、道義的意義は抜きにしてもイランにおけるかかる型の「民主主義化」に反對せざるを得ぬ立場にあるといはれるが、米

國政府筋は國際聯合の存亡を決する試金石としてイラン情勢を深刻に憂慮してゐる様子で、イランは米英ソ三國の力關係が均衡を保つてゐる地域であり、且つイラン政府の宗主權が三大國によつて保障されてゐる點からみても、イランの非難する如く、ソ聯がアゼルバイジャンの叛亂を教唆した事實は國際聯合の影を薄めるものだと解してゐるやうだ

「更に米國政府筋の一部では、アゼルバイジャンに對するソ聯の行動を、ソ聯がアゼルバイジャンに隣接する地域の割讓をトルコに強要してゐるといふ事實と結び付けて、もしも米英兩國がソ聯にイラン撤兵を承諾せしめるならば、ソ聯の次の行動は西方に向ひ、トルコの斷乎たる抵抗を挑發するであらうといふ見解を持してゐる」

△イラン政府俄然強硬

以上の米英ソ三國間の微妙な關係に呼應して、イラン政府も一變して強硬な態度をとるに至り、テヘランからのUP電報によれば、アブラヒム・ハキミ首相は十八日議會において次の通り言明したといはれる

ソ聯がアゼルバイジャンの叛亂鎮壓を妨害した限り、余はアゼルバイジャンの國民政府を承認することは出来ない、余はアゼルバイジャンの暴徒共に對して斷乎たる措置を講ずる決意だ、山師共の敢てする暴力行爲と賣國奴的宣傳をイランに擴めることは許されない、余は出来るだけ早くイランから撤兵するやう三大國に要請する積りだし、依然としてモスクワに赴く決意を變更してゐない

UP電報によれば、ハキミ首相の聲明は大多數の議員から「嵐の如き拍手」をもつて迎へられたといはれるが、テヘランからのタス電報はイラン政府の措置を痛烈に非難して次の通り報じてゐる

イラン政府軍及び警官隊はレシュト市においてアゼルバイジャン自治政府に共鳴する住民を大量に逮捕迫害してをり、レシュト附近のチャルバン村では、イラン政府軍は住民十六名に拷問を加へた上射殺、更に十四名に重傷を負はせた

時事通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

單一國防省設置を要請

(ワシントン十九日) トルーマン大統領は十七日議會に教書を送り次のごとき條項を骨子とする單一國防省の設置を可決するやう要請した

一、現在陸海軍省に包含されてゐる軍人及び文官をもつて、國防保全に完全責任を有する單一國防省を設置する

二、大統領によつて閣僚として任命された文官が國防長官として同省の首班となる、その下に文官の次官一名、同じく文官の次官補數名がおかれる

三、新國防省の三部門、即ち陸軍、海軍、空軍はそれぞれ各次官補が管掌する、結果として單一空軍が出来るわけだが、海軍は別個の空母及び水上基地空軍を保持する

四、次官及び次官補の選任は常に大統領乃至は國防長官の權限下におかれる

五、大統領並びに國防長官は分散してゐる調辨の分野を調整且つ統合した機關を設置する權限を與へられる、かくして運営費は削減される

六、全省に參謀長一名が置かれ、それに從屬して夫々陸海空軍司令官が置かれる

七、參謀長並びに三部門の司令官は大統領に對する諮問機關を構成する

八、各部門の行き過ぎを防止する見地から、參謀長の地位はすくなくとも二、三年に一度とし、各部門輪番制にすることが望ましい

大統領は遠隔基地の諸問題、諜報機關の調整等統合の理由を經濟的、科學的見地から多數列舉した後、次の如く述べてゐる

われわれは軍事の文官による統制のために最も強力な措置を講じなければならぬ、統合問題が一度米國の國策として決定されるならば、如何なる軍人、如何なる文官と雖も、統合を成功させるために最善を盡さないものはゐないだらう

下院もパレスチナ決議案可決

(ワシントン十九日) 上院は先に米英合同委員會の報告があるまで議會はパレスチナ問題に關し、何らの措置をも講ぜぬやうにとのルーマン大統領並びにバーンズ國務長官の希望を無視し、パレ

スチナ開放に米國の介入を要求する決議案を可決したが、下院外交委員會も十九日、ルーマン大統領の希望を無視し、滿場一致同様の決議案を承認した

歐洲は飢えたり

米國上院は十八日十三億五千萬弗のアンラ資金支出案を可決、ホワイト・ハウスに廻附したが、二時間に亘る討議において、バード上院議員はアンラが一段と能率的な基礎に立たない以上、この冬には歐洲で數十萬人の餓死者を出すに違ひない

と前提し、アンラのレーマン理事長に對し、米國の財界人の間から有能の士を選んで、食糧、衣類燃料の配給に萬全を期するやう要請した

一方「ニューヨーク・タイムズ」紙は十七日の紙上に、ロンドン、アテネ、ローマ、フランクフルト・アム・マイン、ウィーン、ソフィア各支局からの特電を掲載し

調査の結果、戦争の後患で弱つてゐる數百萬の歐洲人にとつて、アンラが絶対必要ことがわかつた

といふ見出しで、戦後歐洲の多難な情勢を克明に報道してゐる、右報道によれば、歐洲各國の實狀次の通り

ギリシャ 國民は住むに家なく、食ふに食なく、着るに衣のない有様で、アンラの寄與がギリシャ國民の復興に絶対必要だ

ユーゴスラヴィア 國內の經濟は、正規軍不正規軍の横行で悉く蹂躪されたので、アンラの食糧輸送がなければ三百萬人が餓死に瀕しよう、しかしアンラの寄與があつても、食糧問題は決して解決されたことにはならない

イタリア 來年アンラから四億五千萬弗の資金を受取ることになつてゐるが、アンラからの援助こそは、イタリア國民經濟の鍵だ

ポーランド 依然疾病と混沌との渦中にあり、彷徨ふポーランド人にとつてアンラが唯一つの外部からの援助だ

ドイツ アンラは失職したドイツ人八十五萬人餘を世話してをり、四百萬人の不幸な人々の糊口を世話してゐる

【歐洲】

「新時代」大國の協力を要請

(モスクワ十八日) ソヴェト聯邦労働組合中央評議會機關紙「新時代」は十二月十五日號にモスクワ會談に關する社説を掲げ、三大國の緊密な協力を要請して次の通り論じてゐる

ソ聯の輿論は世界協調を目的とする米英ソ三大國の會談が繼續して開催されることを支持し、希望する、最近國際聯合安全保障理事會における五大國の拒否權を撤廢せよといふ提案が行はれてゐるが、以上は平和を愛する大國間の緊密な協力を阻むものであり、國際政策を新たな軌道に移して民衆を鞏固な平和への道から閉め出さうとするものだ、原子爆彈が國際關係に新たな契機を齎したことは否定出來ぬが、原子爆彈の出現によつて國際平和の確立を目的とする大國間の緊密な協力はもはや不必要となつたのであらうか

獨運動團體を解散

(ベルリン十八日) 聯合國ドイツ管理々事會の統合委員會(各占領地域の行政を統一調整する機關)は、降伏前ドイツに存在してゐた一切のスポーツ團體の解散を十八日指令した、右措置はスポーツ團體を看板に祕かに軍事教育を行ふことを阻止するためと解される

羅婦人に參政權賦與

(ブカレスト十八日) ルーマニア政府機關紙「ツアンテヤ」が十六日報ずるところによれば、グロージ政府は選舉民主主義化の一措置として婦人に參政權を賦與する意向といはれる

バットン大將快方へ

(ハイデルベルヒ十六日) 去る九日自動車事故で頸椎に負傷したバットン大將は、その後本國から空路急行した夫人に見守られてハイデルベルヒ病院で治療を續けてゐたが、十六日の軍醫部正式發表では漸く危機を脱した模様で、身體の一部に麻痺

痺症狀を残してゐる他極めて「順調」だといはれ脊髄機能も回復に向ひつつあるといふ

【戦後處理】

ポーレー大使華府着

(ワシントン十八日) 對日賠償使節團長エドウィン・ポーレー大使は十八日ワシントンに到着した大使はトルーマン大統領に對し、對日賠償に關する中間報告を行ふ筈である

日本に大量の米棉輸出か

(ニューヨーク十八日) 最近ニューヨークの財界で、米國政府はフィリピン、日本を初め東南アジア方面における深刻な衣料不足を克復するため、米國で産出する低級棉花二百五十萬捆の四分の一を日本に輸出すべく考慮中だとの噂が頻りにとんでゐる、もつとも右に關しては今までのところ具體的な情報は得られないが、棉花が日本に輸出された場合、これは日本の紡績工場において統制の下に加工されることとならう、右低級棉花は目下價格維持計畫に基づいて商品金融會社がおさへてゐるが、この噂と關聯しては、近く日本に向ふ纖維工業視察團には英國、中國、印度等を代表する専門家も顧問として隨行することとなるだらうとの説も行はれてゐる

言論の自由こそ日本更生の途

(ニューヨーク十八日) マツカーサー元帥は十七日米國新聞協會副會長ウイルバー・フォレストに書翰を送り、日本における言論の自由回復について次の通り述べた

日本の民主主義を強化することこそ日本占領軍の最大目的の一つである、既に言論の自由を束縛してゐた封建的桎梏が取除かれた今日、日本國民の意思を自由かつ適當に反映し得る言論が生れ出るだらう、日本を再び世界各國の家庭の一員として受入れる上において、統制も束縛も受けない自由な言論程重大な役割を演ずるものはあるまい、われわれがこの自由言論を奨励鼓舞してゐるのはこれがためである

【ユダヤ人問題】

上院、パレスチナ決議案を可決

(ワシントン十八日) 上院は十八日、パレスチナの農業的、經濟的最大限度にまでユダヤ人の自由入國を許可すべしとする外交委員會の決議案を可決した

米代表一部變更

(ワシントン十八日) トルーマン大統領はさきに米英合同パレスチナ委員會の米國代表の一人として、前ノースカロライナ州知事マックス・ガードナーを指名したが、同氏は現在戰時動員諮問局長として席を空けるわけにはゆかぬのでその指名を取消し、代つてバークレイ・クラムを米國代表に任命した

【米 洲】

アンラ豫算案に署名

(ワシントン十八日) 米國上院は十七日十三億五千萬弗のアンラ支出豫算案を可決、これをホワイ・ト・ハウスに廻附したが、トルーマン大統領は十八日右豫算案に署名した、上院における可決直前の二時間の討議において、バード議員はアンラ委員長レーマンに對し次の如く要請した

アンラが最も効果的な基礎に置かれなければ、米國の龐大な支出にも拘らず、來たるべき數ヶ月間に數十萬の人口が歐洲において飢死するだらう、余は食糧、衣料、燃料を分配する責任者として最も有能な人物を指名し、もつて現在の非能率と調整的指導性の缺除とをなくすやうレーマン委員長に要望する

未曾有の寒波襲來

(ニューヨーク十八日) 北は太平洋岸北部から南はフロリダ半島にいたるまで、全米にわたつて近年稀な寒波が襲來した、たとへばニューヨーク州バッファロー市では大風雪のため積雪四呎に達し

遂に市長は非常事態の布告を行ふにいたつた、最も激しい寒氣の襲來したのは、モンタナ州フォート・ベックで、同地の溫度は零下二十五度を記録した

失業豫想減少

(ワシントン十七日) 産業再轉換局次長ロバート・ネーサンは十七日米國の失業者數は明年春頃最高頂に達するだらうが、その數は日本降伏直後に豫想されたより大體二百萬少くなる見込みだと發表した、ネーサンは失業豫想減少の原因として次の二點をあげてゐる

一、戰爭中擴大した勞働市場から豫想以上に多くの婦人、子供その他の勞働者が引下つたこと
一、軍需産業から平利産業への技術的轉換が豫想以上に急速に進行したこと

ケメラ教授逝く

(ニューヨーク十八日) 國際經濟の權威として知られるエドウィン・ケメラ博士は、十七日、病氣のため逝去した、享年七十、博士は過去三十一年の間に米國を初め世界十四ヶ國の經濟顧問たり、特に一九二四年には對獨賠償のドーズ委員會の、また一九二二年には米國南米通商使節團の顧問をつとめた、最近プリンストン大學で國際經濟學を講じ、經濟學に關する名著が多數ある

農産記錄的豐作

(ワシントン十八日) 農務省は十八日、十二月一日現在の狀況に基づく本年度農作の最終豫想を發表したが、右によれば、米國の農作は一九四二年及び一八四四年に次ぐ第三位の記錄的豐作である主な農作物の收穫豫想次の通り

本年産額

前年比較

小麥	一、一二三萬ブッシェル	(+) 五〇
玉蜀黍	三、〇二八	(-) 一八五
米	七〇	(+) 二
甘蔗	七百萬噸	(+) 一
甜菜	八	(+) 二

伯へゴム園を賣却

(リオデジヤネイロ十七日) 米國のフォード自動車會社は、同社がアマゾン河流域に所有するゴム園をブラジル政府に賣却する意向を表明してゐたが、ホセ・リナレス臨時大統領は十七日、政府がフォード會社の右申出を受理した旨發表した。

UP電報によれば、フォード社は右ゴム園に約九百萬弗の資本を注入したものであるが、これをブラジルへ二十五萬弗で賣却することとなるものと傳へられる。

墨に武器を密輸

(メキシコ・シテイ十八日) メキシコの勞働指導者ヴァインセント・ロンバルド・トレダーノは「英國の帝國主義的勢力が革命を誘發させるためにメキシコに武器の密輸入をやつてゐる」旨言明した、米國大使ジョージ・メツサースミスは同國外相カスチヨ・ナヘラに對し、トレダーノの言明を正當ならしめるが如き明確な事實があるかどうかを調査するやう要請した。

【今日の話題】

TWA比島へ進出

(ワシントン十八日) トランスコンチネンタル・ウエスターン・エアズ航空會社總裁ジャック・フライは十八日次の通り言明した。

「わが社は、フィリピン・エアラインズ航空會社の株式の二八%を購入した、フィリピン・エアラインズは戰爭勃發と同時にその資産及び人員が米國陸軍の管理下に置かれてゐたが、近くフィリピン諸島の運航を再開する、ロスマンジェルズにあるわが社の子會社ウエスターン・トラフィックの支配人アーサー・スチュアートがフィリピン・エアラインズの副社長に任命された、一方P・I・ガン大佐は同社支配人の地位に再びつくことになつてゐる、フィリピン・エアラインズはトランス

コンチネンタル・エアズと提携してフィリピン諸島の業務擴張を目指してゐるが、施設とか技術者の選擇等は同社の隨意である」

一方ワシントンにおけるフィリピン消息筋の言明によれば、フィリピン政府の前藏相アンドリエー・ソリアーノ大佐は同社株式の大半を保持してゐるといはれるが、一方フィリピン開發會社並びにデラルマ汽船會社も同社へ参加してゐる、ワシントンにあるフィリピン當局が言明するところによれば、トランスコンチネンタル・ウエスターン・エアズが比島の航空運輸に参加することは、フィリピン群島の早期回復に貢獻するものだとの見解を表明した。

太平洋航空委員會設置案

(キャンベラ十八日) 濠洲政府は米國との間に相互的空輸協定を締結することに關し同國と交渉を進めることを原則として承認した、一方政府は太平洋に英國の定期航空路線を設置する案を承認すると共に、英國及びニュージーランド政府に對し太平洋航空委員會の設置に参加するやう招請した。

「ヤンク」誌廢刊

(ワシントン十六日) アイゼンハワー參謀總長は十四日、米國陸軍週刊誌「ヤンク」が廢刊になつた旨發表した、同誌はかつて百二十九名の編輯陣を擁し、十六ヶ所で發行されてゐた。

ナイロン靴下生産激増

(ニューヨーク十八日) 米國靴下類製造業者協會十八日の發表によれば、米國は現在月平均三百五十萬足の靴下を製造し得るナイロンを生産してゐる、しかしかかる生産の増加にも拘らず、ナイロン靴下に對する需要の激増のため、小賣業者はナイロン靴下の店頭陳列を避けてゐる有様である、一方商務省の發表によれば、ナイロン靴下の海外輸出高は最近非常な増加を見せ、たとへばメキシコに對する輸出額は十倍にも増加した。



眞珠灣事件

調査委員會公聽會（二）

小・黒 大州

本稿においては主として當時の陸軍謀報部長マイルズ少將、陸軍作戰部長ゲロー少將の證言を中心とし、マーシャル參謀總長の證言の一部を基礎として眞珠灣事件の作戦的諸問題に關する公聽會の概要を記述する

△シヨート司令官の復命

時の參謀總長ジョージ・マーシャル元帥は一九四一年十一月廿七日、ハワイの司令官並びにパナマ運河、比島を含む海外の駐屯軍司令官に宛てて日本の戰鬭行動がいつなんどき起るかも知れないことを警告し、一般住民を騒がせることなしに、「貴下が必要と考へる偵察その他の措置」を講ずべきことを指令した、これに對して各司令官は復命したが、ハワイ陸軍司令官ウォルター・シヨートは翌日マーシャル總長に宛て

ハワイ陸軍司令部にサボタージを防止するやう警戒を指令し、且つ海軍とも連絡した

旨復命した、以上の記録は陸軍により調査委員會に提出されたものだが、シヨート司令官の回答はマーシャル總長の重大警告に對する復命としては極めて抽象的にして不十分且つ曖昧だといふことになり、或ひはマーシャル總長の訓令が不十分だったのかも知れぬといふので時の陸軍謀報部長シヤーマン・マイルズ少將の證言を求めることになった、四日證人席に立つたマイルズ少將は次ぎのやうに言明した

余の意見としては、シヨート司令官の回答は復命を要する訓令に對するものとしては全く不十分であつたと考へる、シヨート司令官の回答は單にハワイの陸軍司令部がサボタージに對して警告されたにすぎないといふ意味のものであつた、しかしマーシャル總長の訓令は必要且つ適當なる警戒措置の發効化を起さしめるに足るだけの十分な警告であつた、シヨート司令官の回答と他の海外司令官からのそれとの間には

目立つた相異があつた

ここで同委員會の法律委員輔佐ゲルハルト・ゲツセル氏は

その相異は陸軍省によつて看破さるべき性質のものでなかつたかどうか

と質問した、これにたいしてマイルズ少將は、その質問は誰か別な人によつて回答さるべきもので當時の陸軍長官ヘンリー・スチムソン、マーシャル參謀總長及び當時の陸軍作戰部長レオナード・ゲロー少將の三人がシヨート司令官の復命について語り得る人々である旨答へた、かくて現在フォートリーヴン・ワースの陸軍大學長をやつてゐる當時の陸軍作戰部長レオナード・ゲロー少將の證言が求められた、五日證人席に立つたゲロー少將は先づ、シヨート司令官の復命がマーシャル總長に宛てられたもので、マイルズ少將乃至はゲロー少將に宛てられたものでなかつたことを明らかにした後、次の如く言明した

しかしながら、シヨート司令官の報告を完全に解釋することが出来なかつたことに對して陸軍省に責任がありとすれば、その責任は作戰部が負ふべきものであり、しかしして作戰部の長として余がその責任を受諾する、シヨート司令官の復命を適當に解釋してゐたならば、ワシントンからはハワイが訓令に従つてをらず、眞珠灣は外部からの攻撃に對して準備されてゐないことを知り、もう一度警告を發して、ハワイを完全な警戒態勢に置くことが出来たであらう

責任ははたしてゲロー少將に歸さるべきものであらうか、中國への特派大使として赴任するに先立ち、公聽會に出席して七日間に亘る證言を行つたジョージ・マーシャル元帥は十二日この問題に關してつぎの通り言明した

日本軍の攻撃當時ハワイ防衛司令部が適當な警戒措置を講じてゐなかつたことに對して余が全責任を受諾する、十一月二十七日のシヨート司令官の復命は多數の人がこれを見て、皆同様の見方をしてゐただけれども、參謀總長として余に責任があることは疑はない、ゲロー少將は細目に關しては責任があるが、一般的政策に關する責任は余が負ふべきものである

なほこの問題に關聯してマイルズ少將はつぎの諸事實を明らかにした

ハワイの陸軍將校は一九四一年十二月三日、日本外交官が暗號電報の燒却をやつてゐることを海軍から警告された、一九四一年十月に陸海軍合同諜報委員會が設置されたのだが、充分な事務所が得られなかつたのと、陸海軍の間に意見の一致を缺いてゐたために眞珠灣が攻撃されて二日後まで會合が行はれなかつた、また米國は戰前、外國祕密諜報機關を持つてゐなかつたが余の意見としては斯かる機關は國防上不可缺であると思ふ

△急電間に合はず

マイルズ少將によれば一九四一年十月二十九日傍受した日本情報にはハワイの日本機關に對し、眞珠灣に碇泊中の米國艦隊の配置に關する特殊情報を要求するものであつた、しかし陸軍諜報部は當時これを特別な意味を持つものともなかつた様子で「今日になつて初めて日本が眞珠灣の地圖に爆撃計畫を練つてゐたことが判つた」といふのがマイルズ少將の語るところである、米國艦隊の配置を探索する同様の通信は東京とパナマ運河、東京とフィリピンとの間に幾回となく交換されてゐたマイルズ少將は

日本の暗號電報は眞珠灣攻撃の約一年前に解讀された、然しハワイの陸軍司令部は勿論、その他海外の司令部も、そのことを知らされてゐなかつた、傍受電報は、洩れる可能性があることを主たる理由として、ワシントンの最高統帥部にしまひこんで置くといふのが方針であつたと述べ、日本暗號電報について米國の發見したこの解讀法は、一九四一年一月英國に與へられ、爾後米國と英國との間にはこの方法によつて解讀した情報についての交換が行はれた事實を明らかにした後、陸軍諜報部は日本が一九四一年十二月七日午後一時に日米交渉を斷絶する意圖なることをその四時間二十五分前に知つたので、海外司令部に對して急電を發するため最後の警告が起草され右警告は七日午前十一時五十分海外司令部に發せられたが、眞珠灣についたのは日本軍の最後の

爆彈が目標物に命中した後であつたと述べた、陸軍が暗號を解讀した時間と、海外司令部に警告を發した時間との間にかかりの経過時間があるが、これはどういふ譯かとの質問に對しては、「どういふ警告を發すべきかを決定する爲に首腦連を集めるのに時を要した」とマイルズ少將は述べてゐるこの問題はマーシャル元帥の證言においてもむしかへされ、「電話でハワイに知らせることが出来なかつたのか」との質問に對して元帥は「日本側に聽かれることを恐れてそれをやらなかつた」と主張してゐたが、十二日の證言で、結局暗號電報解讀の祕密を悟られることなしに電話警告は可能であつたと認めた

△マツカーサー元帥の出頭を要請

共和黨上院議員のフアーギュツソン委員は證人としてマツカーサー元帥の出頭を要請する意向なることを發表した、同元帥の證言を必要とする理由は何か、マイルズ少將が

マツカーサー元帥は、フィリピンにおいて日本暗號の一部が解讀されたために、日本の計畫を知つてゐたが、それはハワイのショート少將に傳へられなかつた

と發言したことによるものである、しかして調査委員會は一九四五年五月八日マツカーサー元帥が陸軍省の眞珠灣事件調査委員ヘンリー・クラウゼン中佐に與へた誓約書を記録綴の中に收録してゐるが、右誓約書においてマツカーサー元帥は海軍はコレヒドールにおいて或る種の日本傍受電報を解讀した、そしてその一部は余の司令部にも届けられた

と述べてゐる、マツカーサー元帥は十一月二十七日のマーシャル元帥からの警告を「十分にして完全な情報警告」として受取つたといはれるが、フアーギュツソン法律委員は、右の如き基礎においてフィリピンとハワイとが眞珠灣攻撃以前に異つた情報を得つたものであらうと指摘し、マツ

カーサー元帥が傍受によつてどんな情報を得てゐたのかを聞きたい旨記者團に語つてゐる、さらに日本航空部隊のクラークフィールド飛行場奇襲に關してもマツカーサー元帥の説明が必要とされる譯で、この點に關しては十二日ルーカス法律委員とマーンシャル參謀總長との間につきの如き質疑應答が行はれた

問 誰がフィリピン司令官だつたか

答 グラス・マツカーサー大將

問 日本が比島を攻撃したのはいつか覺えてゐるか

答 いま直ちに思ひ出せないが、眞珠灣攻撃の發表後すこし立つてマツカーサー司令官から電話の呼出しがあり、その時同司令官は日本偵察機について何か言及したやうに思ふ、極めて猛烈な空襲がクラークフィールドに加へられたのはその日の午後だつたと思ふ

問 日本軍の眞珠灣攻撃があるや直ちにマツカーサー司令官に電話をかけたか

答 余はやらす、ゲロー作戰部長がやつた

問 クラークフィールドで爆撃機が地上爆破されたことに關し、陸軍省に何か報告があつたか

答 なかつたやうに思ふ

なほマツカーサー元帥とは直接關係はないが、調査委員會は故ルーズヴェルト大統領が一九四一年十一月二十六日比島駐劄高等辦務官フランシス・セイヤーに對し

日本のつぎの侵略行動は日米兩國間に戰鬪の發生を起すかも知れない、日本は何處を撃つかについてははつきりした示唆はないが、余の意見としてはシヤムへの侵入が最も可能性あるやうに思はれる、貴下はフィリピン大統領にたいし余が常にフィリピン政府の完全協力に信賴するものなることを告げ、民衆の宣言乃至行動は情勢をますます困難ならしめるものなるが故に、これを避けるやうにとの希望を、印象づけられし

と訓令したことが記録として綴ぢられてゐる、但しマイルズ少將はこれについては何等存知せぬと述べてゐる

△シンガポールの軍事會談
マイルズ少將は曰く

余は眞珠灣攻撃直前、米英蘭の間に軍事會談が行はれ、この會談において日本の軍事的滲透は戦争といふ手段によるにあらざれば、これ以上許すことは出来ないといふ線が緯度と經度によつて劃された、余の知るところでは、この線は大體シヤム、ポルトガル領チモール、ニューカレドニア、及びロイアルティ諸島を走るものであつた

マイルズ少將の以上の發言に關して調査委員會は五日證人席に立つたゲロー作戰部長に對し、米國が戦争に入るやうな何か公約がなかつたかどうか特に共同作戰計畫を作り上げたといふシンガポール會談につき質問、ゲロー少將はつぎのごとく答へた

「日本が眞珠灣を攻撃する數ヶ月前に、萬一米國が戦争に捲き込まれた場合に各國の軍隊をどう使用するかについて最善の計畫を決定するため、米英加三國はワシントンに於て、米英蘭三國はシンガポールにおいて軍事會談が行はれた、しかしそれは政治的公約といふやうな意味は何等持つてゐない、シンガポール計畫はマーンシャル參謀總長その他ワシントンの最高首脳部によつて承認されなかつた、シンガポール計畫は、關係國が戦争に入つた場合に於る作戰行動についての軍當局者の技術的協定であつた、われわれは米國の戦争介入を公約するが如き權利を有しない、シンガポール計畫その他一九四一年三月に英國及びカナダとの間に行はれた諸會談は、米國は戦争に入ることを餘儀なくされるかも知れぬといふ想定に基いた參謀會議にすぎないものであつて、それに參加した人間の中には米國の戦争を公約するやうな權限を持つてゐる者は誰もゐなかつた、故ルーズヴェルト大統領は、樞軸諸國に對する共同措置三計畫の内唯一項即ち米國及びカナダに隣接する領土の防衛計畫だけしか承認せず、ドイツ及び日本に對する行動の共同計畫は故大統領は承認しなかつた」



労働黨と印度

「フア・イースタン・サージュエイ」誌

十一月二十一日號

國內問題に關しては保守黨と労働黨の見解には非常な開きがあるが、對印政策についてはさしたる相違がないことは労働黨の勝利二ヶ月後に印度に示された提案に明示されてゐる、事實労働黨は今夏の選舉戦中に與へた誓約以下ではないが以上には出てゐない、選舉期間中における同黨の立場と黨宣言の中に盛られたその態度——クリッパス案の再述——はチャーチル聯立内閣の存在中に作製されて、印度人によつて拒否された政策の擁護を本質としてゐる、黨の下層部からはもつと野心的な計畫を主張する聲が擧つてゐるけれども、大半の上層部は用心深く、その言動は既定政策との完全な一致を示してゐる、八月十五日國王によつて、九月十九日ウエーヴェル卿及びアトレー首相によつて——三者の言葉は同一である——述べられてゐるやうに、「陛下の政府」は印度における「完全自治の早期實現を促進するために最善を盡すべく決意」してゐる、英國は今や各州の印度立法會議代表者と會談してクリッパス案が受諾可能であるか、それとも代案乃至は修正計畫が望ましいものであるかどうかを討議せんとするものの如くである、中央および州立法會議の選舉が要求され、選舉後に總督は各派の支持を受けるやうに行政參事會を改組すると共に、可及的速かに王侯國をも含む憲法制定機關を召集せんと計畫してゐる然し選舉制度そのものについては大きな變化は加へられてゐない、この選舉制度は「ブリテイッシュ・インディア」にのみ適用されるものであり、且つ高度の財産的資格のために印度人の極く少數にしか投票權が與へられてゐない

△重點は國內問題

労働黨の壓倒的勝利は印度の獨立に對する即時前進を意味するものでなかつた、何となれば選舉

の重點が國內問題にあつたからである、印度問題が取り上げられたのはほんの僅かの選舉區にすぎず、主としてバーミンガムのスバークブルック區で、同區では共產黨のバーム・ダットが印度問題に關してアメリカ印度事務相を攻撃した、アメリカは敗北したけれどもダットの票數も極めて少かつた、四月に公表された黨宣言においては印度に關しては簡單にしか言及されてをらず、その政策は「責任ある自治政府にまで印度を前進させる」ことと「植民地屬領の計畫的進歩」であつた、しかして労働黨が我慢し得ざる自由の一つは、他國を搾取する自由であつた

労働黨指導者は主流として保守黨の立場と一致してゐたが、黨員は昨年十二月の黨大會において獨立印度國民政府建設のために印度國民にたいする自由を要求し、且つ印度全民衆を反ファシスト陣營に参加せしめる目的の下に、印度各界の指導者と交渉することによつて政治的暗礁を即時打開すべきこと、及び印度の政治指導者を釋放すべきことを要求する決議案を採擇した、全國鐵道従業員組合によつて提案されたこの決議案は、黨執行委員から、「該案はこれまでの黨發表よりもあまりにも深く入り過ぎるものだから拒否すべきである」といふ要請があつたにも拘らず、多數決で採擇されたものである、黨の全國執行委員J・ウォーカーは、該案は「英國は明日印度を去れ」といふに等しいと述べたが、彼のその言葉は「それが何故いけないのだ」といふ叫聲で應酬されたものだつた、この大會ではまた建築工組合の動議による次の如き決議案も採擇された

本大會は問題の解決を得るためにどんな手段が採られたか、殊にクリッパスの努力が如何なるものであつたかに關りなく、兎も角印度に英聯邦の一員としての地位を與へるといふ究極的目的をもつて、猶餘なく交渉を再開すべきものと

思考する

然るに本年五月、ブラックプールで開催された黨大會では、同黨下院議員ソレンゼン氏が昨年十二月の決議案に關して執行委員會はいかなる措置をとつたかについて質問したのに對し、明確な回答

が興へられ、しかししてトレヴァー・ピニー氏によればブラツクプール大會においては植民地問題に關しては何等の言及もなかつたといはれる

勞働黨指導者の多くは印度問題を語る時は穩かな具合に話をする、ブラツクプールでは現外相アーネスト・ベヴィンは「勞働黨はクリツプス案を通過させるのに苦闘した、勞働黨は同案の支持者である」と言明した、彼は印度が同案を受諾しなかつたことを遺憾とすると述べ、後から悔んでも仕様がなと語つた、ベヴィンの考へは毎年「藥を盛る」ことによつて印度人にますます責任を負はせてゆくことにあるやうだ、「印度は極めて優秀な煽動屋を持つてゐる、然し責任の點になると彼等は立止まつて進もうとしない」と述べ「もしもわれわれが勞働黨政府を作ることが出来た場合、諸君は他黨に加へたやうな壓迫をわれわれには加へないでくれ」と、印度各派に要望してゐるベヴィン外相はまた當選後には印度政廳を廢止して印度を自治領省の管轄下に入れるといつた個人的保障をも忘れてゐるかの如くで、外交問題に關する彼の演説の中でも印度については何等發表してゐない

△クリツプス案を固執

本年六月の下院において、當時の印度事務相アメリカは、ウェーヴェル卿のシムラ提案が總督と印度主要政黨代表者との合議の下に作製されたものなることを指摘すると共に、クリツプス案は英國の國民的同意による完全な提案であると述べた「行政參事會の多數的意見をも却下する總督の權限をなくすとか、乃至は權限の行使に對して總督が印度事務省或ひは議會に對して責ふべき責任をなくするとかいふが如きことは問題とする餘地がない」と述べ、英國の印度統治は眞にその資格のある政府に對してのみ移讓するのだと明言した、一方アトレー現首相は今議會において、アメリカの見解と完全に一致することを告げ、「ウェーヴェル卿の態度は今日における唯一の實際的進路であり、印度の指導者は高く止まつてをらずに、また理論についてとやかく騒ぎ立てることをせずにウェーヴェル卿の線に沿つて進むべきである」と

指摘し、「クリツプス案を受諾しなかつたことは悲劇ではあるが、同案はなほ開放されてゐる」と述べた

アトレー首相は選舉戰終了後チャーチル前首相が、「各派は一九四三年カイロにおいて「英國は極東における帝國領土の主權の變更を考慮しない」ことに同意したことを覚えてゐるか」と質問したのに對し、これを忘れてゐない旨回答した、しかししてアトレー首相は印度アメリカ聯盟の總裁シンダーとの會見において「次ぎに採らるべき方途の責任は印度人側にある」と述べ、「提案が恐らく拒否されることを知りながら英國側から何事かを試みることは極めて困難なことである」と言明した

△黨首腦部の態度

その他の黨指導者も、公開論議乃至は公式聲明に現はれたところでは、印度に對して保守的態度を示してゐる、クリツプス案及びウェーヴェル案を支持してゐる現樞相ハーバート・モリソンは、次に採るべき方途の責任は印度人側にあるといふ點でアトレー首相と意見一致してをり、多くの「美しい提案」が試みられた時の印度人の態度に關心を拂つてきた、一方クリツプス案の御本人サ・スタツフォード・クリツプスは彼が「勞働黨政府は直ちに印度問題の恒久的解決といふ目標を追求する」旨述べたといふ米國新聞報道の確證を拒否した、しかしロンドン「タイムズ」紙も選舉約二週間前の七月十六日にこれと同様趣旨の報道を出してゐる

一方リストウエル卿は六月ウェーヴェル提案に言及して「余は勞働黨がこの政策の案出に一部を擔當したことを誇りとする」と述べてゐる、しかし少數の指導者達は印度において即時的措置を採ることの重要性を強調してゐる、R.W.ソレンゼンは英國民が印度に注意を向けることを要望しA・スローンは英國が「自由のための戦争」に勝つた後、印度問題の解決が出来ないとすれば悲劇であると述べてた、一方P.G.バーストーは印度の獨立は、アトレー政府の存命中五年間に達成され

るだらうと樂觀的に豫言してゐるが、黨全國執行理事長ハロルド・ラスキーは「政府の當面する仕事の一つは政治家と協力して急速に自由を與へる熱意あることを印度に保障することである、成功は難しいが、失敗すれば災厄である」と述べてゐる

印度人は、主要政黨の支援する中間政府案は歓迎してゐる様子だが、最近の提案には熱意を示してゐない、「印度を去れ」を口癖にしてゐる國民會議派は、最近の提案が印度の前進を約束するものでないと感じてをり、ジャワハル・ネルは「該案が餘りにも曖昧であり、英國は今日なほ特異な言葉で印度獨立の計畫を進めようとしてゐる」と語つた、然し印度人は一般に印度事務相としてベシツク・ローレンスがアメリカに代つたことを悦んでゐる、國民會議派は彼が回教徒を適當に處理することを期待し、回教徒はまたローレンスが現實主義を見せたと言つて彼を歓迎し、將來民主主義的權利の行使を許容すべしとする印度人の主張に對し、勞働黨政府はこれまでの如何なる前任者よりも従順であると感じてゐる、然しながらラムゼイ・マクドナルドの勞働黨内閣當時の猛烈な闘争を想起しつゝ、印度人は新政府は進歩的意圖を表明すべしと挑戦してゐる、マクドナルド内閣は一九三〇年ガンジーの「海への進撃」をもつて開始された大衆の大獨立闘争當時の政府である、公式記録によれば當時一年に充たない間に六萬の一般市民抵抗運動者が處刑された、更に市民の不服従運動を鎮壓するために裝甲車や空軍が動員されて數百名の死傷者を出したものであつた

△英國國民の積極的態度に俟つ

印度は「自治政府」「自治領としての地位」などの慣用語の新しい翻譯にはもうあきあきしてゐる、ナイツ女史によれば、印度人は廣汎且つ深い意味を持つ「完全獨立」を欲してゐる、しかし、英國は現在の線で進もうとする、國民會議派は少くとも選舉を執行するに同意はした、そして勞働黨政府は選舉によつて次の橋を架け得ると感じてゐるが、全印會議派委員會は英國の新提案を曖昧不十分、かつ不満なものとして失望を正式に表明九月二十三日「戦争の終了も、また内閣の更迭に

よつても英國の對印政策には眞の變化が起らず、英國は依然として凡ゆる進歩を遅らせ、新問題と新たな複雑とを發生せしめるを印度政策の基調としてゐる」旨の決議案を採擇した、印度人は選舉はやるが、彼等の政策は可能なる時は交渉に應じ必要なる時は非協力と直接行動である、然し一方印度は今日英國國民がもつとはつきりした立場を採ることに期待してゐる、ネルは「アトレイ政府は國民が押す限り進み行くだらう」と語つてゐる

獨の繪畫を保管

米國陸軍省は、ボツチエリ、パンアイク、メムリン、デユラー、ラファエル、ティチアン、リューベツその他古今名匠の傑作約二百點がドイツから送られ、ワシントンの國立繪畫館に保管されることとなつた旨發表した、之は去る九月のホワイ・ハウス聲明に見られる通り、ドイツ國內にある消失し易い藝術作品を米國に送り、ドイツ國民のために之らを安全に保管することとなつたものである、スミソニアン國立博物館々長アレグザンダー・ウエトモア博士は右に關し次の通り語つた「これらの名作はドイツの情勢が落着くまで米國において保管されるが、米當局はこれら藝術品の所有權に關しては十分な保護と尊重を示してをりこのことは、ナチ・ドイツ軍が占領各國で掠奪をほしきままにしたのと著しい對照を示す、ホワイ・ハウスは最近藝術作品の移管を發表すると同時に、これらの作品が正當な所有者のため信託保管されるものなる旨言明した、米國民は將來の世のため、名匠の貴重な作品の保護者の役目を臨時に務める機會を持つことを誇りに思ふ、われわれはまたわれわれの戦争記録が文化的財産の保護及び救助に盡くした事實を示してゐることに對しても誇りを感じてゐる、ドイツ國民はわれわれの藝術保護機關の活動がナチのそれと同じ方向をとつてゐないことに對して感謝して然るべきであらう、ヒトラーの所謂他國の名作「保護」は沒收、強制賣却で、このナチ機關によつて、占領各國の繪畫館、圖書館その他の機關は組織的に搜索掠奪された、またナチは運び去ることの出来ないものを焼却したり、破壊したりした」

昭和二十年十二月廿二日(土)
第 四 三 號

時事通信、海外電報

(43)

十一月十六日、折からの吹雪のうちに、モスクワのアレクセー・トルストイ街の迎賓館で開始された米英ソ三國外相會談は、「同志スターリン」の歸任で新たな段階に入つた、スターリン議長は歸任とともに、バーンズ國務長官、英國外相サー・アーネスト・ベヴィンを引見してゐるが、戦後世界の大きな設計圖が、今モスクワにおいて引かれてゐることは疑ひない、ワシントンからの電報によれば米國政府は外交の重點を歐洲から東亞に轉じ、東南歐洲並びにイラン等に於ては、ソヴェト政府の要求を鵜呑みにし、代償として日本、朝鮮並びに中國における優位を確保する方針だといふしかし革命記念日におけるモロトフ外務人民委員の演説——全文は資料欄に掲載——を精讀すれば東亞に對するソヴェト政府の要求が相當根強いことは明かだ、モロトフ外務人民委員はいふ、「東方におけるファシズムと侵略の温床日本帝國主義を打倒して、中國を解放することは、アジア大陸以外の各國の民主主義的發展にとつてもまた異常な積極的重要性を帯びてゐる

從つて日本軍の降伏を實現することに參照した主要聯合國が、適當な管理案を確立するため、現に進めてゐる交渉にたいし、ソヴェト政府が重大意義を認めてゐるのは當然である、この問題に關する意見の相違は未だに取除かれてゐない」所謂「意見の相違を取除く」ことがモスクワ會談の最も主要な任務であらうが、トルーマン大統領がバーンズ國務長官に與へたといふ訓令の筋で、簡単に話合ひがつくとはいふ一寸さへられない、スターリン議長が黒海岸の保養地より急遽歸還したのも、ピョートル大帝以來のロシア東漸政策の成否が今回の會談に懸つてゐると考へてゐるからではなからうか、モロトフ外務人民委員は、ソヴェト民主主義についても滔々數千言を費し、階級なきソヴェト體制のもとにおいてのみ眞の「人民の民主主義」が可能だと強調してゐる民主主義の權威故ブライス卿も恐らく九泉のもとにおいてモロトフ外務人民委員の民主主義講義に苦笑してゐるだらうが、意外な御説教を意外とするのは、獨り故ブライス卿だけではあるまい



從つて日本軍の降伏を實現することに參照した主要聯合國が、適當な管理案を確立するため、現に進めてゐる交渉にたいし、ソヴェト政府が重大意義を認めてゐるのは當然である、この問題に關する意見の相違は未だに取除かれてゐない」所謂「意見の相違を取除く」ことがモスクワ會談の最も主要な任務であらうが、トルーマン大統領がバーンズ國務長官に與へたといふ訓令の筋で、簡単に話合ひがつくとはいふ一寸さへられない、スターリン議長が黒海岸の保養地より急遽歸還したのも、ピョートル大帝以來のロシア東漸政策の成否が今回の會談に懸つてゐると考へてゐるからではなからうか、モロトフ外務人民委員は、ソヴェト民主主義についても滔々數千言を費し、階級なきソヴェト體制のもとにおいてのみ眞の「人民の民主主義」が可能だと強調してゐる民主主義の權威故ブライス卿も恐らく九泉のもとにおいてモロトフ外務人民委員の民主主義講義に苦笑してゐるだらうが、意外な御説教を意外とするのは、獨り故ブライス卿だけではあるまい

佛、フランコと斷交論

(パリ二十日) フランス議會外交委員會は、フランス政府が米英兩國にフランコ政權との關係再検討のため會談すべき旨提案したことを全面的に支持する決議を行ふと共に、スペイン亡命共和政權支持のため可及的速かにフランコ政府と斷交すべきことを政府に提言した

【目次】

スターリン、米英外相と會談…………… 四四二

ソ聯、トルコに領土回復を要求…………… 〃

英、ルール炭坑を接收か…………… 〃

アチソン國務長官代理記者會見…………… 〃

【歐洲】

管理々事會、埃政府を承認…………… 四四四

葡、國內檢閱を撤廢…………… 〃

【英國】

英蘭銀行國有案下院可決…………… 〃

アメリカ處刑…………… 〃

【米州】

上院、餘剩船舶處分法案可決…………… 〃

密輸の有無調査を指令…………… 〃

墨外交官辭令…………… 〃

南米諸國のアンラ寄與…………… 〃

【特輯】

フランスの國內相刻…………… 四四五

【資料】

勝利の報告と平和建設の設計(上)…………… 四四八

獨聯邦案を提唱

(ベルリン二十日) ドイツを單一國家として維持するか或ひは聯邦國家として強力な中央集權を阻止するかの問題は將來のドイツの運命を決する重大案件として残されてゐるが、ドイツ基督教民主黨は二十日ゴードスベルグにおいて大會を開催、ドイツに於る將來の獨裁制樹立を阻止する爲聯邦國家體制を樹立する旨の提案を行ふ事を決議した

スターリン、米英外相と會談

(モスクワ二十日)二ヶ月餘に亘る保養から歸還したスターリン議長は十九日夜クレムリン宮においてバーンズ國務長官と初めて會見、モロトフ外務人民委員及びモスクワ駐米國大使アヴリル・ハリマンを交へて要談を遂げた、スターリン議長は同夜後刻ベヴィン外相とも會見した、會見後ハリマン大使はスターリン議長の健康に關する噂を否定して

スターリン議長は余が去る十月クリミヤの保養地で會つたときよりも遙かに健康さうに見受けられた、顔は日に焼けて、實に氣分がよさうであつたと言明した

ソ聯、トルコに領土回復を要求

(モスクワ二十日)ソヴェト政府がトルコにたいしてカルス、アルダハン兩地方の割譲を要求してゐることは、同地方が元來アゼルバイジャン領であるために、イラン領アゼルバイジャン州の「叛亂」と一脈の關係あるものとして國際外交界の關心の的となつてゐるが、「ブラウダ」、「イズヴェスチヤ」を初めとしてソ聯の主要新聞は、二十日の紙上に、以上のトルコ領兩地方の回復を強硬に要求するグルジャ共和國の二名士の書翰を一齊に發表し、依然としてソ聯がトルコに對する要求を棄ててゐない事實を明らかにした、書翰の差出人はグルジャ共和國科學士院會員のヤナシヤ及びベルシエニシユヴィリで、内容はつぎの通りである

われわれはトルコによつて掠奪されたロシア舊領土の地位について世界の輿論に訴へる、われわれは單に若干の小地域を取つた取られたといふ詰らぬ問題を云々してゐるのではない、トルコがカルス、アルダハン兩地方を略取してゐる事實は、われわれの生ける民族體を兩斷する許すべからざる犯罪を構成するものだ、我々グルジャ民衆は自らの土地を取り返さねばならない

英、ルール炭坑を接收か

(ロンドン二十日)AP報道によれば、ドイツの

英占領軍當局は近くルール地方の石炭その他の重工業を接收、聯合國がその運命を決定するまで、同地方を英國の信託統治下に置くこととなつたといはれる、以上の措置は二十一日、ベルリンの聯合國ドイツ管理々事會の會議開催を機會に正式に發表される模様だが、過般來ルール地方の割譲がそれが不可能なら國際管理を要求してゐたフランスが以上の措置について如何なる態度を採つてゐるかは明かにされてゐない

アチソン國務長官代理記者會見

(ワシントン二十日)國務長官代理ディーン・アチソンは二十日の定例新聞會見で、ブレトン・ウツツ國際基金銀行協定の調印問題、アンラ第二次米國分擔金問題、フランコ政權との國交問題、三國外相會議、近衛公の手記の問題等について重要談話を試みたが、その要旨は左の通り

△國際基金銀行協定の調印

ブレトン・ウツツ國際基金銀行協定は十二月二十七日國務省で調印される豫定である、米國側署名者は大統領の任命によつて財務長官ヴィンソンが決定してゐる、中國、チエコスロヴァキア、エジプト、エチオピア、比島聯邦、南阿聯邦は問題の協定に署名の用意がある事を明白にし、英國もまた最近議會の支持を得たので受諾は確實と考へられる、ベルギー、カナダ、コロンビア、キューバ、エクアドル、グアテマラ、フランス、オランダ、ヴェネツエラ、ユーゴスラヴィアも同様協定に署名する用意があるとの情報を得てゐる、他の諸國も十二月二十七日を以て署名を完了するものと期待される、協定が有效になるためには割當額、及び申込み額の六割五分にまで達しなくてはならぬが上記諸國の調印は六割五分以上に達することを意味する、ソ聯の態度はいまだ明らかにしないがソ聯にも勿論招請狀は發せられてゐる、同時調印式に出席、署名を完了されるものと期待してゐる

△アンラ分擔金問題

米國議會はアンラに對する米國の第二次分擔金支出方につき承認を與へ大統領もまた既に署名を終つてゐる、ついで一月までにはアンラに對して七億五千萬弗の支出が可能とならう、この支出

時事通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

は今春ロンドンにおけるアンラ理事會で要請されたものであるが、幸に上下院の急速の承認を得てかくも迅速に處理出来たのは欣快に堪えない、若し、この支出が一月までに出来なかつた時はアンラの事業には重大な間隙が生じたであらう

△スペイン問題について

余は十二月十五日、元スペイン共和国首相フアン・ネグリン氏と會見したが、右はネグリン氏の方からの要請に基くものであり同氏から色々と見解が披瀝されたに止まる、ついで、自分としてはその内容をここに發表する自由を有しない、面會のことはずつと以前から申込まれてゐたが、双方の時間の繰合せがつかず十五日まで延々になつてゐたものである、ネグリン氏との會見は今回が初めてであるが、同氏の噂はしばしば聞いてをり、その才能については非常に敬服してゐる、會談は相當長時間に亘り、ネグリン氏のスペイン問題その他歐洲全般の問題についての見解をきいて裨益すること多大だつた、この會見の結果として米國の對スペイン政策が何らかの新發足をするといふやうなことはないと思ふ、米國政府の對スペイン態度はすでに明白すぎるほど明白にされてゐると思ふ、スペイン亡命政府の外相フエルナンデス・デイズ氏は屢々國務省を訪問してゐるさうであるが、自分はまだ會つたことはない、スペイン問題について商議を提案したフランス政府からの覺書の内容は、現在のところでは發表の時期でなく國務省で慎重に検討中である、スペインに關して最近の内に新しい外交的發展があるかどうかは自分は現在のところ何等知つてゐない、アームア大使が歸米の途中バリを通過したのは、大使が最も便宜とする路を選んだといふ以外に何等の意味もない

△三國外相會議その他

三國外相會議についてはバーンズ長官自身が適當と考へ、欲するとき、その見解を披瀝するのが最も妥當であり、自分が彼れこれいふべき筋合ひではないと思ふ、對英借款問題を議會にまだ提出してゐないのは、休會が間近になつてゐるからでそれ以外に他意はない

△近衛公手記の問題

近衛公が自殺前残した手記中には、一九四〇年ソ聯が三國同盟に参加し、四國協定の下に東方世界を處理することに同意した旨の記載があるといふ新聞記事は讀んだが、別の特派員からは少々違つた印象を與へる情報も受取つてゐる、いづれにしても、近衛公が何といはうと、米國政府は、日獨伊とソ聯の間にかかる論議乃至は協定があつたといふことについては何等知つてゐない、自分としては、かかる協定の存在については疑問を持つてゐる

△シヤムの國內情勢

シヤム政府にたいする英國の要求云々のことに關しては、米國政府は既に英シヤム兩國政府にたいして、米英兩國政府の討議が事前に行はれることなくして單獨に英、シヤム間のみで協定締結等のことがないやうに希望する旨の熱心な申入れをしてあることを言明する、米國政府はシヤムの問題に極めて決定的な關心を有してをり、兩國の交渉が決定的な形をとる前に、その交渉の完全な經緯について米國に情報が與へられることを希望してやまない、先週中天候の加減で電信の發着が遅延した結果、シヤムの事情についてはなほ明白でない點が多々ある、米國政府はいまだなほ最後の協定が調印されてゐないと考へてをり、且つ、それを希望してゐる、米國がシヤム問題について關心を有する第一の理由は、米國が極東戰爭に参加したことによつても基礎づけられ、この戰爭で米國が演じた重大役割を思ふとき、米國の見解は十分尊敬されて然るべきものと解する、なほ、その上米國とシヤム間には長い歴史的な關係があり、長い間シヤム政府は米人顧問を有してゐた事實も想起する必要がある、米國內にはシヤム國の獨立民主的國家に發展するための努力に對して大きな同情が存在する、米國は單にシヤムのみならず全南東アジア地域の經濟的發展と安定とに對して關心を有してゐる、シヤム國における經濟的門戶解放は米國の對シヤム政策の一部であり、これは米國外交の數代に亘る傳統的な基礎である、英シヤム交渉の經過については米國政府は終始報告を受けてゐる

【歐 洲】

管理々事會埃政府を承認

(ウィーン十九日) オーストリア各政黨を網羅する協議會は總選舉實施後新内閣の顔觸れを銓衡、閣員名簿を聯合國オーストリア管理々事會に提出してゐたが、理事會は十八日これを承認した、以上により新オーストリア政府は正式に成立した譯だが、首相カール・レンナー博士は十九日新議會の開院式に臨んで一場の挨拶を述べ、南チロルの即時回復を要求した

葡、國內檢閱を撤廢

(リスボン十九日) 歐洲民主主義化の滔々たる流れはイベリア半島の獨裁國ポルトガルをも捲き込むに至り、ポルトガル政府は十九日以降國內檢閱を廢止した、新聞は今後サラザール首相の政策を自由に批評する論説を初めて掲載出来るやうになつた譯である

【英 國】

銀行國有案下院可決

(ロンドン十九日) 下院は十九日夜政府提出になる英蘭銀行國有法案を三百六票對百二十六票の差で可決、上院に廻附した、同日下院は炭坑公有法案の第一讀會を開いた

アメリカ處刑

(ロンドン十九日) 前印度事務相アメリカの息ジョン・アメリカは戰爭中ドイツから反英放送を行つた廉で叛逆罪に問はれ、絞首刑の宣告を受けたが、十九日午前九時ワンヅワース刑務所において死刑を執行された

【米 洲】

上院、餘剩船舶處分法案可決

(ワシントン十九日) 上院は十八日政府が戰時中に建造した餘剩船舶の處分法案を可決、下院に廻附した、現在餘剩とされてゐる船舶の噸數は五千

萬噸に達し、その價格は百億弗にも上ると見積られてゐるが、法案の骨子次の通り

- 一、米國市民に船舶購入の優先權を與へるため、九十日間外國人の購買を禁止する
- 一、購買人は海事委員會の決定する價格の二五%を即時支拂ひ、殘額は三〇%宛の年賦支拂ひとする

密輸の有無調査を指令

(ワシントン十九日) メキシコの勞働指導者ロバルド・トレダーノは最近、米國の私的會社が同國の革命分子に武器、彈藥を供給してゐる旨非難したが、國務省は十八日、メキシコ駐劄大使ジョージ・メツサースミスに對し、事實の有無を同國外相に問ひ訊すやう指令した

墨外交官辭令

(メキシコ・シテイ) メキシコ外相カスチヨ・ナヘラは、十九日、現ロンドン駐劄大使アルフォンゾ・デ・ローゼンツワインをフランス大使に、英國駐劄大使にはフレデリユ・ヒメネス・オフアリを任命する旨發表した

南米諸國のアンラ寄與

(ワシントン十八日) 聯合國救濟復興委員會は十八日次の通り發表した

目下コロンビアのボゴタに滞在中のアンラ外交顧問フランシス・セイヤーは、コロンビア共和國が四百八十萬三千ベソ(約三百三十萬弗)のアンラ支出豫算案を可決した旨報告してきた、ヴェネズエラでは魚類、エクアドルでは豆類大量がアンラのために獲得されてゐる、セイヤーを首班とするアンラ使節は、目下コロンビアで同國がどれだけのアンラ向け物資を提供し得るかについて詳細調査をなしてゐるが、セイヤーの報告では同國の貢獻の一部は現金乃至兌換券となるかも知れない、セイヤーは既にキューバ大統領とも會談したが、その際同大統領は歐洲流民のために砂糖を送ると述べ、またその他の食糧購入のために百萬弗の支出を公約した



フランスの國內相型

井上 勇

△袋路に入るド・ゴール

ド・ゴール新内閣の構成についてはなほ詳しい報告を手にしない、しかし、レオン・ブルーム、モリス・シューマンのそれぞれ社會及び人民共和運動の黨首が無任所相として入閣したと述べたのは誤報で、社會黨からはヴァンサン・オリオール、人民共和黨からは、その機關紙「ローブ」(曙)の主筆で年六十の黨の理論家フランシスク・ゲイ、共產黨からは書記長モリス・トレーズ自ら右翼共和聯合はルイ・ジャキノ、以上の四名が、ド・ゴールの「ブレーン・トラスト」として國務大臣として入閣したのが事實だった、内相には社會黨のアドリアン・テイクシエが就任したことを述べたが、そのほかにわかつたものでは共產黨のシヤル・ティロンが軍需省に、日本でも馴染みの左翼作家「征服者」「人間的條件」「希望」の作者アンドレ・マルローが情報省に入つた、陣容からいへば三大政黨が各々五、獨立穩和派六、明らかに右翼としてジャキノの一名といふわけで、この内閣が妥協、寄木細工、即ちカビネ・デ・コントレールであることはいふまでもない

新内閣は成立早々一瀉千里銀行國營案を憲法議會に採決せしめて滑出しは極上だった、さて次はルール、ラインランドの問題で米英ソ三國といふがみ合はねばならず、この寒い冬の石炭飢饉を克服しなくてはならない、ラインランドの問題については、フランスはこれをドイツ中央行政機關から分離して、單獨または國際管理を主張してゐるが、これはドイツの行政中央化を主張する米國の主張とは根本的に對立して、バーンズ國務長官は「フランス政府が不承知ならば、米英ソ三國のみでもドイツの行政中央化を計る」と聲明してゐるので、フランスは袋路に迫まれた形になつてしまつた、ド・ゴールは十一日のラジオ放送でふたたび

フランスはその地理的位置からしても、世界の

偉大なる二勢力間の平衡を取ることをもつて、その外交指針とすべきである

旨を演説したが、この「獨立」した外交が、佛ソ同盟を無力化し、乃至は英佛同盟の——それなくしては、二大勢力間の橋となり得ず、若し英佛同盟が出来ないものならば、佛ソ同盟は理論的には破棄さるべきものといふことにならぬものでもない——成立を阻害する要素を含むものであることは説明するまでもあるまい、英國はいまなほ西歐聯合の案を放棄してをらず、その西歐聯合の一環としての英佛同盟を希望してゐるが、フランスが歐洲の中原に平衡を保つ勢力として、股倉膏藥の役を演ずることを外交の信條とするといふに至つては、同盟は精神的に有名無實になるわけだ

△展望を缺く外交

かかる國際的袋路に自ら入らうとするド・ゴールの政策については、共產黨は勿論、社會黨まで反對である、共產黨からいへば、歴として佛ソ同盟が存在する今、ド・ゴールが既に敷かれた軌道から逸脱して、西歐聯合に色目を送るのは怪しからぬ、西歐聯合の美名の下には反ソ同盟が潜んでゐるといふわけであり、社會黨からいへば、一日も早く英佛同盟を結んで、佛ソ同盟にカウンター・バランスを與へるべきであるのに、その事なくして、ルール、ラインランドに執着するのは現在及び將來の國際關係に對する展望を缺き、唯一に過去に結付かうとする固陋外交である、その結果は米英から孤立して仕舞ふではないか、フランスの「平衡外交」は第一に聯合國憲章の精神の逆を行くものだといふことになる

ド・ゴールが「平衡」外交を主張するのは、その目的はフランスの外交の獨立、四大國としての權威を一日も早く回復して、國際政府にリーダーシップを取る地位に戻らうといふ「大國病」に歸因してゐるといはれるが、その外交に國際指導性をもち度い希望の表現の一つが、十二月中旬米英兩國政府に約されたスペイン・フランコ政權との關係再檢討提議の覺書である、米英のフランコ政權との斷交が、ド・ゴール政府の考へる如くしかく簡

單なものでないことはいふまでもないが、そしてド・ゴール自身はその覺悟の精神とは別箇のことを考へてゐるかも知れないと思はれる節があるが左翼各派の合同決議を一應受入れて、フランコ征伐に乗出した彼の心理の一部には、外交指導權への憧れが含まれてゐると見てよい

△責任を回避する各派

それは餘談として、いひ度かつたのはド・ゴール政府部内における外交に對しての意見對立が存在する事實で、彼の新内閣が、その統一性に於て決して強固なものでない事を指摘したかつたのだ事は外政の上のみではない、内政にもある、新内閣は共產黨に工業、生産、労働、國家經濟の三省を與へて、フランスが直面する社會、經濟、産業の諸困難打開に責任を分擔せしめ、共產黨に鞭をはめんとする作戰に出たが、共產黨側にはド・ゴール内閣と心中する意思は毛頭ない、意見對立すれば、または立場がわるくなりさうならば何時でも退陣して、内閣を瓦壊せしめる用意をもつてゐる

共產黨が、ド・ゴールの再選に反對投票を投じつつなほ且つその内閣につらならなかつたのは、逆説的には責任を回避する爲で、この冬フランスが當面せんとする困難について自ら責任をとらずド・ゴールに責任を取らしめる一方、閣内にあつてド・ゴールを牽制する方が反對黨として野にあるより有利と見たにほかならない、ド・ゴールはそのことを知悉して、共產黨に内政の重要ポストを與へ、社會黨の内務によつてこれを看視し、自らは第三者的な立場を守らうとしたのである、各黨各派の虚々實々はここにカクテル・デ・コントレール内閣として結實したが、この乗合馬車は果して坦々の大道を進み得るかどうか

△黒いダイヤの悲劇

この冬の最大問題は相も變らず石炭だらうとは一致した見方のやうだ、石炭がいかにフランス國民生活にとつて重大關心事であるかをイラスストロトする挿話として、「ニュース・ウィーク」誌のロレン・キャロル君が報告してゐる話を紹介す

ると

ある日石炭満載のトラックが、シエルシュ・ミダイの——といへばセーヌ左岸の有名な監獄のある町であるが、町の真中で衝突して、數袋の石炭が路上に跳飛ばされて散らばつた、それを見てゐた小さな少年が「ママン、ママン、デュ・シャルボン！」とヒステリーのやうに喚き立てた、いきなり各戸から飛出した大供、子供が争つて黒いかけらを掻きあつめる、通りかかつた一人の老紳士が一塊の黒い固まりを拾上げて何時までも、まるで珍らしい貝殻か金の塊りでもあるかのやうにひねくり返しては泌々と眺め入つてゐる

といふのである、ある家庭では女中が毎日ひとかけらづつハンドバツクに入れては石炭を持出し、氣が付いた時は半噸以上が無くなつてゐたといふ話もある、闇値は百八十弗から二百四十弗する、戦前は噸十弗もしなかつた、石炭が不足であるといふことは政府が宣稱するまでもない、毎日五度も六度も電氣が消えて、いやでも石炭飢饉が痛感させられる、エレヴエーターが階段の途中で止つて、何時間でも電氣が来るまで人間は檻詰めに成る、美容院では電髪の際中、電氣が止つて女たちは穿山甲そつくりの頭をして何時間でも凝つとしてゐなくてはならない、電話などあれども無いと同然で、呼鈴は動かず、街上から窓に小石を投げるゲームが流行する——とは「ニュース・ウィーク」誌の報道である

△光の街は今いづこ

目下のフランスの採炭量は日産十四萬七千噸で年に見積れば戦前よりも六百萬噸以上増してをりその點政府の努力は十分買つて然るべきであるが戦前の二千萬噸の輸入は到底不可能である、米國からの輸入はストライキの結果として、九月の四十萬六千七百噸から十月は三十八萬二百噸に落ちた、それにルール地方からは思ふやうな供給がない、十一月は三十一萬三千噸の移入豫定が、十六日までに僅か八千七百噸しか這入つてゐない、フランス人にいへばれば、英軍がルール地方のドイツ工業、とくにゴム工場を復活させて、石炭を食

時事通信

海外電報

はしてゐるのは怪しからぬといふことになり、又いまルールに積上げられてゐる六百萬噸の石炭積取りに貨車を出せば、英軍に押へられて戻つて来ない、現に九月十五日から十一月十五日までの間にルールに送つた貨車の内三千七百輛は遂に戻つて来なかつたといふことになる

病院では暖房がなくて手術が出来ず、優先工場以外に操業を中止するほかなく、一週三日の操業といふことになり、家庭、事務室は晝間二時間しか電氣が来ず、ショー・ウインドーの電飾は禁止され、藥屋と八百屋以外の店は五時か六時に閉店地下鐵も運轉時間繰上げといふことになる、光の街いま何處はよいが、フランスの復興はそれだけ遅れるといふことになる

△腹の足しにならぬ赤字

困難は石炭ばかりではない、十一月二日の下・ゴール臨時政府最後の閣僚で當時蔵相のルネ・プレヴァンが報告したところによれば、地方財政は「全般的に危機」に立つてをり、新税、増税はやむを得ない、現會計年度の國庫總支出は四千三百九十億法に達するが、これに對する収入は千八百二十億法にすぎない、この赤字を増新税によつて克服しようといふのであるから、國民の苦惱は深刻である

問題はほかにもある、食糧危機である、同年の小麥收穫は一八三八年度の六割といふ見込が現實には僅か四割五分にしかならず、再び割當制度の復活が論議されてゐる、不足分は輸入に俟たねばならぬが、アルゼンチンはどうやら元食糧相クリスチャン・ピノー時代契約した小麥の引渡しを、アルゼンチン自身の食糧不足を理由に拒絶するらしいし、カナダ、米國からの輸入は支拂問題で行惱んでゐる、いま一つの隘路は船腹であり、どうやらわが身につまされる、かうした諸困難を前にして、ド・ゴール自身は「大國病」に悩み、政黨政派は責任をいかに回避しようかに煩悶してゐる現状では、輝かしい第四共和制の憲法制定も素然たらざるを得ない、今日をいかに活きるかといふことがより重大で、憲法などは二の次といふことになる、フランス政府が當面する諸困難をいかに

して、だれも責任をとらずして解決し得るかどうかは今後のみものだらう

△憲法論でも對立

憲法改正の問題については「ニューヨーク・タイムズ」紙の十一月四日號が「第四共和制」として次の解説を掲げてゐる

「ユーモリスト故ウイル・ロジャースはバツキンガム宮殿の衛兵交替式は見物したので、次は海峡を渡つてフランスの政府交替を見物に行くといつたと傳へられてゐるが、この政府の頻々たる更迭が——一九二〇年から四〇年までの間、内閣變更は實に六十四回にのぼつてゐる——第三共和制の最大な弱點だつた

新憲法の構成については、憲法議會の中心勢力を構成する三大政黨間に、ある點については極めて尖鋭な意見の對立がある、しかし、三者とも新憲法は「何かしら嶄新な、しかも何かしら合理的なもの」でなくてはならぬといふ點では一致してゐる、一八七五年の憲法は革命と獨裁にあきあきしたフランス人によつて起草され、モンテスキューが「法の精神」の中で説いた三權の平等分立といふ大原則を無視した傾きがあつた、この憲法は行政を極めて弱體化させて、大統領は議會によつて選ばれ、事實上議會の道具化してしまつた、下院は國民によつて選出されるが、上院は地方議會が選んだ選舉人及び下院によつて選ばれることになつてゐた、かかる舊憲法に對する各黨の改正意見はほぼ次の通りである

社會黨Ⅱ(一) 大統領をふくめての行政部門の權限を強化する、大統領は國民の直接選舉か、または下院議員、各地方議會の代表等により構成する廣汎な大統領選舉母體によつて選舉される、(二) 議會は單一議會として、そのほかに勞働組合、各産業、農業利益を代表する専門家をもつて「諮問議會」を構成することもよい、(三) 政府の頻繁な更迭を避ける爲に、不信任投票の場合は議會の解散または政府の更迭を行ふといふ二本立てとし、新選舉を屢々行ふ、(四) 舊憲法の議會の任命を廢して司法部を獨立せしめる

人民共和派に大體において社會黨と同意見であるが「感情を制御する」ために兩院制度を可とする、議會は政府に對して、年一回は必ず信任投票を行ふ、不信任が決められた場合は政府も議會も退陣する

共產黨は一旦つ強力な議會を主張する、行政部は弱體のままでおく、そして議會に自由に政府を制約し、監督する權利を與へる」

憲法問題についても三派は以上の如き對立意見を有しつつ、しかも同一内閣に席を列ねて、完全意見一致の新憲法の制定にあたらうといふのである、この對立が如何に調和されるかは、ド・ゴールが軍服を捨てて背廣になつただけでは解決されない



勝利の報告と平和建設の設計(上)

十二月六日於クレムリン宮

モロトフ外務人民委員

數年に亘る苛烈な戰爭の後、われわれは今日平和とファシズムに對する輝かしい勝利のうちに十月社會主義大革命の第二十八回記念日を祝はうとしてゐる、われらの背後には、われらの國と全歐洲を苦しめたヒトラー主義ドイツに對する四ヶ年に亘る戰爭と、日本が開始し、われらがこの秋に参加するのほかなきに至つた東方における戦ひとが横はつてゐる、ソヴェト國民が決定的役割を演じたこの歴史的闘争において、全世界の人々のために平和が勝ち得られ、東西における世界ファシズムと世界侵略の温床は清算された、今やわれわれはわれらの勝利を固めるための平和的勞作に立ちかへることが出来ることとなつた、同志スターリンが述べた通り、われらソヴェト國民は勝利のために精力と努力とを些かも惜しまなかつたのである、われら困難はな數ヶ年を生活し、今やお互ひに

我等は勝つた、今後われ等は祖國が西からするドイツ軍侵入の脅威からも、東からする日本軍侵入の脅威からも解放されたと考へ得るにいたつた

といふことができよう、久しく待望された平和が全世界の人々の上に到来したのである

△ヒトラーの誤算

ドイツ人は、匪賊的な不意討ちによつて成功を収めることができるだらうとの皮算用から、我等の國に侵入した、ドイツにおいてだけではない、他の國々においても、ソヴェト聯邦は長持ちせず數週間内に、乃至一部の計算によれば精々數ヶ月で、ドイツがソヴェト聯邦を粉砕し、ヒトラーが勝利を祝福するだらうと考へた人が多かつた、西歐洲においてヒトラー一派が比較的容易に成功を収めた後だから、多くの人々は以上が必然の歸趣だと考へたのである、かかる結論を下したのは、第一に一般的にいってロシアにおける十月革命の論理を認めない人々であり、つぎにわれ等の革命によつて建設されたソヴェト國家の本當の國家的性格を理解出来ない人々であつた

ソヴェト聯邦に對するドイツ軍の侵入は、外國におけるわれ等の友人に對しても一大試煉であつた、彼等は片唾を吞んで、戰爭の初期において我等の國が體驗した異常な國難を注視したのである、しかしながらソヴェト聯邦は、全く豫期しなかつた攻撃を受けながら、儼然その地歩を堅持した、戰爭の初期においてソヴェト聯邦は物質的損害と深い傷とを蒙つたが、その物力と精神力とは崩れなかつた、赤軍は最初の打撃に對抗し、この打撃から回復することが出来た、ソヴェト國民は互に結集して、敵軍に粉砕的反撃を加へるため全力を傾注した

ついで赤軍が先づ戦線の個々の局面において、つぎに全戦線に亘つて守勢から攻撃に轉する時期が到来した、正當防衛の利害が命するところ、大小の民主主義各國は、反ヒトラー主義共同戦線を結成する必要に迫られた、英ソ米三國の合作が、ヒトラー主義に對する民主主義各國の共同闘争を組織して、その歴史的任務を果たしたことは周知の事實である、更にまた西歐洲において第二戦線が展開され、ドイツが兩戦線の缺みに包まれたためドイツ・ファシズムの立場が絶望に陥つたことも周知の事實である、同時にソ獨兩國の間の戦線に

時事通信

海外電報

第三種郵便物認可

おける決定的な戦局の轉換が、第二戦線の結成に先立つ一ケ年、ヒトラー麾下の兵力が赤軍の強力且つ逐次増大する攻撃の前に、無惨にも後退し出した際に起つてゐることを忘れてはならない、即ち十月革命によつて建設された國家は、ファシズムの攻撃に對し自ら防衛出来たばかりでなく、攻勢に轉じてファシズムと侵略との主たる温床を叩き潰してしまふことが出来たのである、ソヴェト權力が、第一次世界戦争當時の帝政の衰へた力とは比較にならぬことがすべての人々に明かとなつた、今やソヴェト國家が光榮のうちに毅然獨歩し戦史空前の多難な試煉に見事に堪へ得たこともまた炳として明かだ

△暴威をふるふナチ

ヒトラー主義ドイツは獨りソヴェト國家を脅威したばかりではない、ソヴェト聯邦に對する攻撃に先立ち、ドイツ・ファシストは、ノルウェー、ベルギー、オランダ、フランス、ギリシヤ並びにユーゴスラヴィア各國を奪取した、ドイツ國民は同盟國として、ファシスト・イタリアを持つてゐただけでなく、他の數多の國々がドイツと同盟を結んだ、スペインその他の國々はヒトラーに對し公然全面的支持を與へた、ヒトラー一派の攻撃の脅威が英本國を蔽つたのである、若し爾後においてソヴェト聯邦が成功を収めなかつたならば、全歐洲はヒトラーの脚下に蹂躪されただらう、ヒトラー一派は、新秩序を各戦線にわたつて、既に實施してゐたのである、彼のキスリング者流、ラヴァル者流の如きファシストに呼應する聲は、主人公たるドイツ人のもとに早くも工作を開始した、至るところヒトラー主義の支配は、一切の民主主義機構と労働階級組織を破壊した上に打ち建てられた

同時にヒトラー一派は各國を掠奪し、隸屬化して一切の物的資源を搾り出し、その匪賊的ファシスト軍團に補給し裝備するに努めた、ソヴェト聯邦にたいするナチの攻撃が、初期において成功を収めた結果、ヒトラー一派の考へは愈々誇大となり、ドイツ民族が全歐洲を支配するといふ冒險主義的計畫を、從來よりも一層公然と放言するばかりでなく、歐洲以外をも支配することを放言するに至つた、ドイツ・ファシストが、低級民族の範疇に入れた各國民に對し、彼らのいはゆる優秀民族によつて支配されるといふ理論は、歐洲文明の存立に對する直接の脅威となつた、ヒトラー匪團が侵入したすべての國々において、各國民は侵入ドイツ軍を撃攘する何らの用意もなかつた、愛國的な民主主義者の努力によつて、僅かに除々に侵入軍に對する民主主義的な抗戦力が結成され、成長するに至つたのである

しかしながら、ユーゴスラヴィアのごとき、全國民が侵入に對する叛亂を支持した國々においてすら、ヒトラー主義の軍事的威力を打破するに足るだけの支持は存しなかつた、僅かに赤軍が攻勢に轉じてドイツ軍を打ち破つて、無敵の榮冠をひきさき出して、初めてドイツ帝國主義によつて奴隸化した人々の解放の可能性が廣く開かれるに至つたのである

△歐洲の救世主

赤軍は西方に進撃して、隣接各國並びに歐洲の他の諸國民に對し解放を齎らした、赤軍は聯合軍と共に歐洲各國の解放者の役割を果し、ドイツとの同盟を打ちつてヒトラー主義の清算のために戦つてゐる各國の陣營に馳せ参じた國々をも解放した、従つて歐洲各國をヒトラー主義の桎梏から解放したといふ事業が、われわれの勝利に輝く赤軍の歴史に輝かしい一頁として記録されるであらう、ファシスト・イタリアは、歐洲で戦争を引起したドイツの陣營から脱却した最初の國であつた、ドイツ軍がソヴェト聯邦を攻撃した際には、ルーマニア、ハンガリー並びにフィンランド各國は既にヒトラー主義ドイツと同盟を締結して、夫々同國をソヴェト聯邦に對する戦に導入した、當時ブルガリア政府はヒトラー派の手足から出来てゐたが、同國もまたドイツの同盟國たることを實證した、すなはち第二次世界大戦においては、ファシスト政權治下の歐洲各國はヒトラー主義ドイツの宿命と運命を同じくしたのである、したがつてドイツの敗北はひとりドイツ・ファシズムの敗北を意味

したはづでなく、他の歐洲各國におけるファシズムの敗北となつた、かるが故に、われわれの勝利の意義はこれをドイツ・ファシズムの敗北に照して解釋するばかりでなく、全歐洲を通じてのファシズムの軍事的、政治的、道義的敗北として觀念されねばならない

△東亞戰へ參加

歐洲における戦争の終了は、聯合各國をして東方における日本の侵略を清算して、全世界を通じての平和の回復を促進する任務に當面せしめた、ソヴェト聯邦は、聯邦と同盟國との間に存在する相互的義務の上からいつても、更にまた東方におけるわれわれの安全保障のために極めて必要であるとの理由からいつても、この問題の解決を傍觀することは出来なかつた、加ふるに日本は過去において再三われわれの國を攻撃し、東方においては、われわれの國家にとり、日本軍進入の脅威が絶えなかつた、以上すべての事情から、ソヴェト聯邦が日本に對する戦争に参加することは必至となつた、ドイツ・ファシズムが獨ソ兩國間の戦線において相次いで敗北を喫すると共に、東方における日本軍侵略の結果が既に豫斷されるに至つたことは賭易いところである

ソヴェト聯邦は遂に日本に對して干戈をとり、日本の敗北を促進し、かくして東方における戦争の終結を促進した、日本はヒトラー主義ドイツと同じ命運の下に聯合國に對し降伏した、即ち歐洲を支配しようとするドイツ帝國主義の計畫ばかりでなく、アジアを支配しようとする日本帝國主義の僭望も又潰へ去つてしまつた、加ふるに、これらの國々は、最近まで洋の東西における各自國の地歩を世界權力征服の一段階と見做し、われわれの時代に於るかかる冒險的戦争を敢へてし、事實によつてその侵略的意圖を暴露した、東方におけるファシズムと侵略の主たる温床たる日本帝國主義の打倒並びに日本軍の侵略からの中國の解放はアジア各國のみならず、アジア大陸以外の各國の民主主義的發展にとつても又異常な積極的重要性を帯びてゐる、この勝利を固めることこそ、すべての民主主義各國の利益でなければならぬ、従つて日本の降伏を實現することに參制した主要聯

合國が、適當な管理案を確立するため聯合國間にすすめてゐる交渉に對し、ソヴェト聯邦が極めて重大意義を認めてゐるのは諒解に難くない、この問題に關する意見の相異は未だ取除かれるに至つてゐない、しかしながら、ソヴェト聯邦は、侵略國日本に對する勝利を固め、この點に關聯して、聯合各國間の合作に都合のよい條件をつくることについては、すべての平和を好む國々が深くその必要を痛感してゐると確信する

△第二次大戰の歸結

日獨兩國は聯合軍に對して無條件降伏のやむなきにいたつた、従つて米英ソ三國の聯合は自ら設定した目標を達成したわけである、われわれの國の民は民主主義諸國の利益のために、第二次世界大戰が勝利のうちに終結するに當り、特にファシズムと侵略の最も危険な根據たるヒトラー主義の清算に當り、ソヴェト聯邦が決定的な地歩を占めるに至つたことを今満足のもとに認識してゐる

ソヴェト國民はヒトラー主義ドイツに對する戦争を一大愛國戦争と呼んでゐる、ソヴェト國民の模範によつて他の國々の愛國者達は、自らの祖國のために、その自由と獨立とのために戦はねばならぬといふことを學んだ、ソヴェト國民が自國を解放したばかりでなく、全歐洲を通じて、平和と自由との回復のために英雄的闘争に従事したことを記憶しなければならぬ、一年前に同志スターリンは

ソヴェト國民が自己を空しうした闘争によつて歐洲文明をファシストの企畫屋の手から救ひ出したことは今日萬人の認めるところだ

とのべたが、ソヴェト國民のこの偉大なる奉仕はすべての人々の承認するところである

第二次世界大戰はいくたの點において違つてゐる、先づなによりも各國が參加した規模においてちがひ、戦争に基く人命の死傷と物質的損害において違ふ、今回の戦争において全世界人口の五分の四が何等かの方法において戦争に参加した、兩陣營において動員された兵力数は一億一千萬を超えてゐる、過去數年間、本當に中立だつた國を指定することは實際に出来ない、第二次世界戦争が起るのを容認したために、換言すればかかる空前

時事通信

海外電報

規模においてこの戦争をひき起したファシズムの侵略的諸勢力に對し適時對策を講じなかつたために、人類は人命と多數國家の破壊といふ非常な代價を支拂はされたのである

△愛國の戦

今回の戦争はソヴェト國民にとつて強要された戦争であつたが、この襲撃に對する回答として、ソヴェト國民は一大愛國戦争を宣言した、ソヴェト聯邦を攻撃するに當り、ヒトラー主義ドイツはわれらの領土奪取を企圖したばかりでない、ヒトラー主義はロシア人並びにスラヴ民族一般の根絶しを目標とする旨宣言した、この瞬間からロシア人並びにソヴェト聯邦の他の諸民族は「すべてを戦争に」といふスターリンの呼掛に彼らの努力一切を捧げ、遂にドイツ軍の背骨を叩き潰した、ヒトラー主義の野蠻人共は、彼らが奪取した諸領域において、その大規模な計畫を實行するためには何事も敢へてしたのである、この事實を忘れることは、數百萬の無辜の犠牲の靈に對し、鰥寡孤獨となつたその家族に對し、否全國國民に對する犯罪である

われらは久しい年月に亘り、侵入ドイツ軍並びにその同盟軍がソヴェト領土を蹂躪した當時、われわれに與へたその龐大な物質的損害を忘れてゐることは出来ない、何よりもまづこの點について主要犯罪人に回答させねばならない、ドイツのファシスト侵入者達はわれらの國土における一千七百十の町、並びに七萬以上の村と部落とを、あるひは全面的にあるひは部分的に破壊乃至焼拂つた

△六千億留を破壊

彼らは六百萬以上の建物を焼拂ひまたは破壊し約二千五百萬人は家を失つた、破壊されたまたはひどく痛められた町の中には、スターリングラード、セバストポリ、レニングラード、キエフ、ミンスク、オデッサ、スモレンスク、ハリコフ、ヴォロネツ、ロストフ・オンドンその他ソヴェト聯邦の最も大きな工業的、文化的中心の一部を含んでゐる、ヒトラーの一員は、工員並びに事務員約四百萬人を收容してゐる工業施設三萬一千八百五十

を、或ひは破壊し、或ひは破損した、ヒトラーの一味はウクライナ地方並びに白ロシア地方の集團農場の大半その他合計九萬八千の集團農場を掠奪劫略した、彼らは七百萬の馬匹と一千七百萬の牛と數千萬の豚、羊を屠殺し、沒收し、或ひはまたドイツに輸送した、非常國家委員會の算定によれば、國民經濟並びに一般市民の直接の損害だけで六千七百九十億ルーブルに達するといはれる、われわれはこれら一切を忘れることは出来ない、戦争をひき起した國々から、彼らの與へた損害について、少くとも一部分賠償を要求しなければならぬ、ソヴェト國民のこの希望が正しいことを何人が争ふことができようか、ドイツからの賠償に關するベルリン三國會議の決定が、未だ満足に實施されてゐない事實を、輕々に看過することはできないのである

△平和への途

しかしながら、われわれの間には、敗北した各國民にたいする報復政策については一人の支持者も存在しない、同志スターリンは、惡に報ひる報復乃至懲罰の感情は、政策としても、國際關係から見ても誤つてゐることを再三指摘してゐるではないか、被征服諸國民については、報復の感情をもたず、侵略が再現するのを阻止し、新たな侵略國を、各國間に孤立の地位に陥れるやうに、我らは努力しなければならぬ、戦後の期間において各國民の行動の動機は過去における悪行ではなくて、平和と安全とを保障するといふ觀念でなければならぬ、恒久平和の確立のためには、平和を愛する各國が手元に必要な兵力を持つてゐなければならぬことは疑問の餘地がないことである、何れにせよ、この原則は平和維持の主たる責任を擔ふ國々について特に然りである、しかしながら一部外國において、とくに熱心な帝國主義政策の主張者が、大國間における軍備競争の政策を頻りに提唱してゐるが、平和の保障をはかるといふことと軍備競争政策とはなんらの共通點もない、この點に關聯し、日本にたいする戦争において巨人的な破壊力をしめした原子力の發見並びに原子爆弾について一言費やさねばならない、原子力は未だ侵略を回避し、平和を保障するために全然使はれてゐない、しかし現代において、大規模な技術的秘密がいつまでも或る一國または數國內の

成るせまい範圍だけの獨占的所有に歸してゐるといふことは有り得ない、事情かくの如くであるから、原子力の發見によつて、國際政策における力の遊戲に右發見を利用しようとする傾向を助長したり、平和を愛する國々について、一人よがりの態度をとるやうになつてはならないと思ふ。

△ブロッツク形成案

又特定の外交政策遂行の目標として、ブロッツク乃至國家群を形成するといふことについて、いろいろ喧しい意見をきくが、ソヴェト聯邦は他の平和的國々を目標とする國家の集團に未だ曾て參加したことがない、しかしながら、西方においては既に周知の通り、この種の企圖が一再ならずなされた、かかる一定集團の反ソヴェト的性格も等しく周知の事實だ、いづれにせよ、西方各國のブロッツクは、集團の歴史に徴すれば、かかる集團が侵略國を統御せず、かへつて侵略を奨励する傾向を示したことは明らかであり、特にドイツの場合然りである、これソヴェト聯邦その他平和を愛好する國々が、この點について看視をゆるめることが出来ない所以である、世界平和が回復したからといつて、國際關係における戦前の状態が復活するに至つてをらず、また至ることも出来ない、一定期間、日獨伊三國は國際情勢全體の調子を決める大國の班から落伍するに至つた、しかしながらこれは以上各國における侵略的傾向の復活を押へるために、これら各國が聯合國の共同管理下にある期間のことであつて、これらの國々が民主主義的平和な國家として發展し、進歩するのを阻害するわけではない。

△民主主義の勃興

次に歐洲の將來にとつて少からず微妙なことは幾多のファシスト並びに反ファシスト的國家が民主主義の道程により、聯合各國の間に交友關係の樹立に努力してゐるといふ事實である、これら各國における民主主義的原則の補強はこれを阻害せず、却つて促進しなければならないことは明瞭である、聯合各國の陣營においても、戦争の結果幾多の變化が起つた、大多數の場合において、反動的諸勢力は從來の地歩からかなりの程度まで押除

けられ、新舊の民主主義原則に道を讓るに至つた幾多歐洲の國々においては、舊式な大地主制度の撤廢を斷行し、土地を困つてゐる農民にひき渡すといふが如き根本的な社會改革が斷行されてゐるかくして、反動ファシスト勢力の從來の力は覆りこれら各國における民主主義的、社會主義的運動の發展が促進されるに至つた、また一部の國々においては、基本諸産業の國有化、八時間労働制その他の重要な經濟的革新が今や日程に上り、歐洲の内外における逐次増大しゆく民主主義運動の陣營に新たな力と革新とを與へてゐる、一部反動的な刊行物は、これらの大膽な民主主義改革が主としてソヴェト聯邦の勢力増大の結果だと強辯しようとしてゐる、併し乍ら、かかる議論に何等根據がないことは明瞭である、この種の問題が従前既に歐洲の進歩的な國々において見事に解決されてゐることは、ある意味において周知の事實である。

△今後の課題

かくいつたからとて、ファシズムの力が永久に叩き潰され、もはや考慮に入れる必要がなくなつたといふわけではない、諸君は解放された歐洲に關する三國のクリミア宣言を知つてをられるであらう、右宣言には次の通りのべられてゐる。

歐洲における秩序の建設と國民經濟生活の再建とは、解放された各國民がナチズムとファシズムの最後の殘滓を破壊して自ら選擇する民主主義機構を設置し得るやうな過程を通じて達成されねばならない。

この宣言の正しい實現を保障するためには、まだまだなさねばならないことが多い、しかしながら幾多好ましからぬ影響はあつたが、ファシズムとの戦争が勝利に終つた結果、幾多の方面において歐洲の政治的雰圍氣が明朗化し、反ファシスト諸勢力が生きかへつて、從來嘗てみなかつた位發展する新しい機會が拓かれるに至つたことは疑ひを入れない、かかる情勢はいふまでもなく平和を愛好する國々の利害と一致する、同時にナチズムとファシズムの最後の殘滓を破壊する必要があるとらふことを、歐洲の各國民が一段とつよく肝に銘じることを希望せざるを得ない。

第四四號

海外電報

すだ

イラン紛擾の政治上背景

テヘラン來電によれば、イラン内相ガリ・フエジミはアゼルバイジャン州の叛亂の責を負つて二十一日辭職、後任者は同日直ちに人民投票による各州議會の改選を發令したといはれるが、以上はイラン國會多數派の首領モサデグ博士の内閣改造要求が通り、ハキミ首相は閣内反動派の清算を餘儀なくされたことを意味すると解される、また後任内相の氏名はまだ明かにされてゐないが、ハキミ政府が州議會の民選を命令したことはアゼルバイジャン州の革命が漸次他の州へ波及してゐる實狀に鑑み、地方行政の民主主義化によつて、革命氣運の全國的擴大を阻止しようといふ手段とみられ、イラン立憲君主制はいまや最大の危機に直面したことを自ら告白したものだ

以上の事實はアゼルバイジャンに端を發した民主主義革命がイラン全體の氣運にまで尖鋭化してゐることを裏書するものだが、かかる事態を招來した政治的背景を一瞥してみよう

△史的背景

イランにおける近代君主制の基礎を敷いたのは先王レザ・シャー・パーレヴィイで、彼はマザンデルラン州の小地主出身、第一次世界大戰後におけるアーメツド・シャーの王政腐朽の氣運に乗じて、僅か五ヶ年間の公然隠然たる工作によつてイランの王位を篡奪した、彼は國王の位について後の十五ヶ年間に、砂漠と女の面被と駱駝の國から、イランを南北八百六十哩の鐵道を持つ僞文明國に變へたが、陰謀と暗殺によつて王政を強化、遂に絶對主義の牙城を築き上げたのである

レザ・シャー・パーレヴィイの施政により、イランは資本主義の文明と封建的家父長制の奇妙な混淆物と化した、その具體的實例はイラン總人口一千五百萬中いはゆる人間の水準以上の生活を許されてゐるのは僅かに二、三千人に過ぎず、國民の壓倒的多數は文盲と貧窮と疾病の泥沼でもがき苦しんでゐることだ

獨ソ開戦と中東に對するヒトラー・ドイツの脅威は、米英兩國をしてイランを通ずるソ聯援助を

決意せしめた、米英輿論の視線は初めてこの時代錯誤の君主の上に注がれた、そしてレザ・シャーは處分され、かはつて太子モハメツド・レザが王位についた、新王は世界民主主義の潮流が遅かれ早かれイランを押し流すことを豫見した、ここまではよい、しかしながら民主主義の潮流にイランが攫はれないやうにするためには、王政を清算しなければならぬ、そこで彼は躊躇した、そしてイランは結局デモクラシーの波間に苦しまねばならぬこととなつたのだ

△石油とイラン

現在のイランを支配する勢力はソ聯の南北縱線と英帝國の東西橫線だ、更にイラン宮廷に喰ひ入る米國新興資本の勢力がある、その目眩するところは石油である、イランの石油は同國東南隅の極く一部が既に開發されてゐるだけに過ぎない、これだけでも石油生産國としてのイランの富を豫想させるに十分だ、イランの石油は大國を招いた、招かれた諸大國は爭覇戰場に入つた

いまから三十五年前、時のツァーリの外相サゾーノフは「英國は歐洲における致命的重要性を持つ政治目的の追求に没頭して、アジアの利權を忘却するかも知れない、かかる事態はわが國によつて大いに利用されねばならぬ、たとへばベルシャがさうだ」と語つた、そしてこれはビョートル一世以來のロシアの國是でもあつた

ソ聯はアゼルバイジャンの民族自決運動を好機來とみなかつたらうか、ソ聯がイラン撤兵を肯んぜぬのも、イラン政府の叛亂鎮壓軍の派遣を阻止してゐるのも、ビョートル大帝の政策を再現しようといふ下心ではなからうか、かうした問題にたいする解答をいま早急に與へるのは危険だが、アゼルバイジャン自治州の成立によつて最も多くの利益を享受するのがソ聯であることは蔽ひ得ぬ事實であらう、イラン領アゼルバイジャン州は最も石油資源に富む地方と目されてゐる、試みにこのイランの石油にバクーの油田をプラスして答を出してみよ、今回のイラン紛争はこの簡単な算術を基にして理解されねばなるまい

レンナー、埃新大統領に

(ウイーン二十一日) オーストリア上下兩院協議會はオーストリア共和國大統領として二十日、カール・レンナー博士を選挙した、レンナー博士は社會黨領袖でソ聯軍がウイーン占領以來オーストリア臨時政府首班に就任し、先の總選舉までその地位にあつた

パレスチナ問題公聽會七日開始

(ワシントン二十一日) 米英合同パレスチナ委員會米國首席代表ウイリアム・ハッチソン判事は、二十一日英國首席代表サー・ジョン・シングルトンと長距離電話で打合せの後パレスチナ問題に關する公聽會が、一月七日からワシントンにおいて開會される旨發表した、これと同時に委員會からワシントンとロンドンで發表された聲明によれば各代表團は夫々ワシントンとロンドンで別箇に審議を重ねたる後、英國代表團がワシントンを訪れて諸般の打合せを遂げた後兩國委員會が打揃つてロンドンに至り、同地から各國へ出發するものといはれる、尙右に關聯して國務省は次の通り發表した

米國代表團は二十日國務省において會合を行ひその際レスル・ルツドが委員會の書記長に任命された、國務省は合同委員會の提案のみならず他の團體の見解も大いに歡迎するものである

デュトラの當選確定

(リオデジャネイロ二十一日) ブラジル大統領選舉戰において、元陸相エウリコ・ガスパール・デュトラ大將がエドアルド・ゴメス代將を破つて大統領に當選したことが正式に確認された

自由選舉で選んだ逸品

米週刊誌「タイム」は十二月十七日次の通り報じてゐる

「ブラジルは今次の大統領選舉戰において南米史上最も民衆的選舉を行つたといはれてゐる、ガスパール・デュトラは、米國が獨裁主義と考へてゐた―但し公式的表明はなかつた―ところの政府の下で、十五年間ブラジルを支配したゲッリオ・ヴ

アルガスの支援を受けてゐた、然し公平な觀測者は選舉が公平且つ正當に執行された事實を認めてゐる、美男の候補エツアルド・ゴメスは首都リオデジャネイロで人氣があり、ために國內新聞、外國公館、外國特派員達はゴメスの勝利を豫想してゐた、事實開票の結果はリオデジャネイロにおいては豫想通りであつた、然しサンパウロ州、ヴァルガスの南部ガウチョー地方、その他一般奥地帯では舊政權の支配力が物を言つてゴメスを壓倒するだけの投票をデュトラに與へた

内氣で、靜かでそして白髮のデュトラは雄辯家ではない、しかし彼が軍人として勇氣と決斷の人であることは政敵も認めてゐる、能率を貴ぶが故に嘗つてナチ戰爭機構の讚美者であつたことがある、しかしてそのことが獨潜水艦がブラジル船舶の撃沈を開始した當時彼が採つた態度の背景であつた、然し政治思想は次第に成熟し、陸相として彼はブラジル陸軍に對しドイツの如き侵略を排撃すべきことを要請、ブラジルが聯合國の一員として參戰するや「ブラジルと米國は民主主義を防衛し、壓制と不信に對して戰ふべく犠牲と英雄主義の共同運命を選んだ」と聲明した

ブラジルは今大統領選舉戰において自由選舉に對する尊敬を示した、同國は今や米洲諸共和國がブラジルの選んだ逸品を尊敬するだらうことを期待することが出来る

議會代表訪印準備急ぐ

(ロンドン二十一日) 上下兩院議員より成る英議會遣印使節團の出發日付はまだ決定しないが、なるべく十二月の末乃至は一月初めに出發し得るやう準備を促進してゐる様子で、政府は旅行の方法代表の配置等の方法に關して各代表の意見を纏めてゐる模様だが、之らの問題についてまだ最後の決定が下されてゐない、一行は印度に約六週間滞在する筈で恐らく二月の末には歸國する段取と傳へられる

【西 亞】

イラン憲法の改正を要求

(テヘラン二十日) アゼルバイジャン叛亂軍に降伏したイラン政府軍のタブリス守備隊司令官ダラチシャニ將軍その他十一名の幕僚は二十日ソ聯飛行機に搭乗してテヘランに歸還した、將軍は近く軍法會議にかけられる豫定だが、イラン議會においては小數派議員團の領袖モサデグ博士が二十日憲法改正とハキミ内閣の改造を要求する爆彈提案を發表して大波瀾を捲き起した、モサデグ博士の提案の骨子は

一、アゼルバイジャン自治政府との交渉に入るため、人民投票によつて憲法を改正すること

一、イランの基本政策に適はぬ政策を追究する閣僚數名を更迭すること

の二點にあるが、以上の提案は終極においてアゼルバイジャンの半自治を許容することを意味するものであるだけに、ハキミ首相派の議員連が騒ぎ立てて議場は混亂状態に陥つたといふ

【米 洲】

米白借款協定締結

(ワシントン二十日) 米國輸出入銀行は二十日、ベルギーとの間に總額一億弗の借款協定を締結した旨發表した、右借款は二つに分れ、第一は借款額五千五百萬弗、終戦前米國が武器貸與法によりベルギーに供給することとなつてゐた物資及びサービス購入に當てられ、六十年賦によつて償還される筈であり、第二の借款は四千五百萬弗、主として農産物及び工業製品購入にあてられ、これは十五年賦償還である

再轉換近況

(ワシントン二十日) 米國政府各當局の發表による産業再轉換の過渡期における米國經濟の近況を示す各種の數字次の通り

一、商務省の發表によれば、米國が本年中に新工場並びに施設に使用する金額は五十七億弗と推定され、うち五十二億弗は會社企業により、殘額は個人企業により使用される

一、ウォレス商務長官の推定によれば米國の商業會社是一九四七年末迄に新たに五十萬増加しよう、新商社の大部分は小賣會社及びサービス提供會社で、建築會社の數も大いに増加しよう、十一月の農産物價指數は二〇五に達したが、これは先月に比し六ポイント、昨年十一月に比し九ポイントの上昇である、十一月の工業生産指數は一六九となり、十月に比し六ポイントを上昇したが、これは主として炭業爭議解決の結果、製鐵工場が操業を開始したためである

一、十一月中の財務省支出高は四十六億五千六百萬弗、これに對し十月の支出額は五十九億五千萬弗、前年十一月のそれは五十五億八千七百萬弗だつた

一、十一月中の失業者數は百五十四萬、これは失業豫想五百萬に對し驚くべき數字である、但し再轉換局次長ネーサンの推定によれば失業者數は明年春までに六百萬に増加しようが、これも終戦直後の推定數字よりは二百萬少ない、一方勞働省の報告によれば、十一月中の就業者總數は農業従業者を除き三千五百六十二萬、前月に比し四十一萬三千を増加した

一、九月の工業勞働者週平均賃銀は四十弗八十八仙、これに對し八月は四十一弗七十五仙、また時間外勞金の高かつた昨年九月のそれは四十六弗二十四仙だつた

眞珠灣事件調査延期

(ワシントン十九日) 眞珠灣事件調査委員會は十九日次の通り發表した

本委員會は特別會議において七票對一票をもつて議會に對し本委員會が一九四六年二月十五日まで調査を繼續する權限を與へられるやう要請する事を議決した、現行機能の規定してゐる決議案によれば、本委員會は一月三日迄に調査報告を提出しなければならぬことになつてゐる尙首席法律委員ウィリアム・ミツチエル以下法律委員は調査に餘りに時日を要するとの理由で辭職し、一月三日付をもつて調査委員會から退陣することになるが、調査委員長アルベン・パークレイは新法律委員を指名し得る權限をもつてゐる

トレダーノ、證據を提示

(メキシコ・シテイ十九日)メキシコに革命運動を誘發さすべく米國の個人會社が同國へ武器の密輸をやつてゐると暴露して問題を醸してゐるが、ラテン・アメリカ労働聯盟總裁ヴァインセント・ロンバルド・トレダーノは十九日新聞記者團との會見において次の如く言明した

余は或る種の米國の會社が革命を勃發せしめるため、メキシコに武器を密輸してゐるとの余の斷言に關する證據を政府に提出した、武器はシナルキスタ黨に渡つてゐるが、同黨は明年七月の大統領選舉戦にエゼキイル・パデアアの勝利を確保せんとして武力行使を準備してゐる但しトレダーノは證據の提示に際し米國商社の名前を擧げなかつたといはれる

原子爆彈依然二十四時間生産

(ワシントン二十日)原子科學協會ジョン・シンブソン博士は米國原子情報委員會創立大會において、米國の原子爆彈工場は今なほ二十四時間生産を續けてゐる旨言明した、同委員會は米國輿論を原子エネルギー國際管理の方向に導き、一般米人の原子爆彈の意義に對する無知を一掃するために設立されたものである

【國際機關】

進行委員會構成

(ロンドン十九日)國際聯合委員會は十八日國際聯合進行委員會の構成に關し意見の一致に到達した、妥協案によれば總會の議長及び七人の副議長並びに總會六專門委員會の議長が進行委員に選ばれることになる

信託統治案修正

(ロンドン二十日)國際聯合準備委員會は、十九日「非獨立國民に對し即時ニュー・デイルを行ふ」といふ比島代表ベドロ・ロペスの信託統治領

選舉施行案を三十一票對四票で可決した、反對は米國、英國、南阿聯邦、中國の四ヶ國だつた、比島案によれば、信託統治理事會は三年毎に信託統治領住民の代表者を選出せしめることになるが、ウクライナ代表はこれに對し理事會に選舉の施行權を委ね、その他住民の代表權を擁護する措置をとる權限を與へるといふ修正案を提出、これも承認された

米國代表決定

(ワシントン二十日)トルーマン大統領は十九日上院にメツセーヂを送り、明年一月初旬開催される國際聯合第一回總會第一期並びに國際聯合安全保障理事會への米國代表を指名、これに對する意見と同意を求めた、現在議會で審議中の法案によれば、上院の諮問同意による代表の任命を必要とする國際聯合のいかなる會合にも、大統領または大統領の指示により、國務長官が代表として出席し得る、バーンズ國務長官は大統領の命により、總會の第一回會議に少くとも一部出席するといはれる、大統領の指名した米國代表は四名だが、國務長官の出席中は國務長官が米國首席代表となる代表氏名次の通り

國際聯合米國代表兼安全保障理事會米國代表兼第一回總會第一期米國代表

エドワード・R・ステチニアス

(特に特別全權大使の資格を附す)

第一回總會第一期米國代表

上院議員 トム・コナリー

上院議員

アーサー・H・ヴァンデンバーグ
アンナ・エリーナ・ルーズヴェルト
(故大統領夫人)

同補缺代表

下院議員

下院議員

ソル・ベルーム
チャールズ・A・イートン
フランク・C・ウォーカー
ジョン・フォスター・デュレス
ジョン・G・タウンセンド

第一回總會第一回において、バーンズ國務長官の缺席中はステチニアスを首席代表とする

特輯

戦後の米國醫學界(上)

武井 武夫

戦争は常に醫學の進歩を齎らしてゐる、今次大戦も例外ではない、特に戦勝國米國における醫學の發達は今後世界醫學の前進を先導するものとして大いに注目される、以下最近の外電が傳へる醫學界の話題を拾つて、明日の醫學の動向の一斑を窺つてみよう

△原子エネルギーの應用

原子爆彈に示された原子核分裂の恐るべき力はそれが平和目的に利用された場合の効果の偉大なるべきを思はせ、原子時代の明るい面に人類の希望を集めてゐる、そして醫學界には原子力のどんな利用が期待されてゐるか、シカゴ大學のジェームズ・フランク教授は十二月十六日ラジオ放送を通じて次の通り豫言してゐる

原子エネルギーは幾多新しい闘病手段を齎らすことによつて生物學及び化學に空前の黄金時代を拓くだらう、原子分裂による放射作用は癌治療に重要な役割を演ずるかもしれない、ラジウムの放射作用やX線は危険ではあるが、それを癌に對して使用した奇蹟的な結果はよく分つてゐる筈だ、原子力工場はさうした醫療の効果を、そして恐らくは數をも、數倍にする手段を與へる、第一の段階は癌細胞によつて選擇的に吸收されるやうな普通の化合物を發見すること、第二にその化合物中の分子の有する原子の一部を放射性同位元素をもつて置換することにならう、ただしこれを實現するまでには長時間の慎重な研究が必要だ

この癌と原子エネルギーの研究は米國內到るところの研究所で行はれてゐるとみえて、ロチェスター大學放射學助教授アンドルー・H・ダウディ博士とウィリアム・F・ペイル博士は連名の聲明でかう述べてゐる

癌の研究は直ぐ始められるし、重要性において

は近い將來における原子分裂のいかなる工業的應用をも遙かに凌駕するだらう、その成功には二つの條件がある、即ち(一)ウラニウム堆積の利用により、もつと一般的な放射能物質を増産すること、(二)炭素や水素のやうな照射性物質を利用した觀察により健全な細胞組織の形成に關する明確な知識を齎らし、健全細胞を破壊することなく癌細胞を破壊するやうな放射能物質の合成を可能ならしめるかもしれない但しかうした研究が行はれるからといつて、癌豫防教育とか早期診斷とか放射療法とかによる現存の癌對策の進歩を遅らせるやうなことがあつてはならない

デングヴァー大學で原子科學者會議が開かれた時にも癌の問題は論ぜられ、ローレンス博士は癌及び白血球過多症における原子エネルギーの將來性を強調した後

戦前放射能物質で加療した癌患者二百二十八名中二三%の患者の癌は進行を止め、見込がないと言はれた患者で元氣に生き延びた者さへあると述べてをり、同大學の醫學助教授兼放射學助教授ジョゼフ・ハミルトン教授は

本大學では白血球過多症の治療に放射性燐を使用してをり、まだ全治の結果は表れてゐないが一部の患者は數ヶ月、他は數年といふ症狀緩和が認められた、同じ療法は赤白血球過多症にも試みられ、この方は患者二十名が全部病狀の進行停止をみた、骨癌には放射性ストロンチウムを用ひて苦痛の軽減を認めてゐる

と報告した、ついでに言つておくが米國では癌研究に相當大きな關心があり、米國公共保健局長トマス・パラン博士が十二月五日發表したところでは、政府は全國癌調査委員會の推薦に基き癌研究奨勵助成金として總額四萬二千四十弗九十四仙を支出するといふ、主立つたところは

一、ミズリー州セントルイス市ワシントン大學
一萬弗(白血球過多症、赤白血球過多症その他惡性疾患に對する放射性燐の醫療效果の研究)
二、ニューヨーク市記念病院 一萬弗(癌その他

關係疾患の治療並びに胃癌患者に關する代謝作用の研究)

三、その他各種癌研究に對してそれぞれ助成金を受けたもの

ミネソタ大學、エール大學、南カリフォルニア大學、フィラデルフィア市ジーンズ大學、テネシー州ナッシュビル市メハリー醫科大學、シラキューズ大學

癌調査委員會といふのは公共保健局が設置した諮問機關で、その任務は各團體及び個人の癌研究に關し調査して、研究助成金交付につき推薦するにある、戰爭中の助成金交付は數も少かつたが、科學者たちが軍隊や戰爭關係計畫(特に原子爆彈計畫)から解放されれば、研究助成金交付の數も額も増加することが豫想される

△怖くないマラリヤ

南太平洋の戦場では日米兩軍ともにマラリヤの罹病率高く、特效薬キニーネが弾丸より貴重がられるほどだった、ところが米國軍は殺蟲劑DDTの使用によりマラリヤ病原虫の寄生主たるマラリヤ蚊を掃滅するやうになつてからは、マラリヤなど殆んど問題にならないやうにしてしまつた、DDTの威力は立川町附近でも米國軍が航空機から撒布したりしたのでよく知られてゐるが、日本など今後マラリヤ患者の復員によりマラリヤが流行する危険があるだけに、來夏あたりは米國軍當局に蚊退治に協力して貰はないと飛んでもないことになるかもしれない

DDTの民需利用は米國でも相當論ぜられてゐるが、何分劇薬ではあり、形状は小麦粉に似てゐるといふのだから、取締上種々面倒なことがあるとみえてまだ一般には出まはつてゐないらしい、米國南部とか南米にはマラリヤが相當流行すること、一九四二年リオ・デ・ジャネイロの米洲外相會議の決定に基き組織された汎米協同保健團が、西半球のマラリヤ絶滅運動を起してゐるといふ、米國醫學協會機關誌「ハイジニア」にジョージ・C・ダナム少將が報告してゐるところによれば、ニカラグア的首都マナグアにおける同保健團の活動には最も見るべきものがあるといはれる、

即ち同市のマラリヤ猖獗地區九つを衛生調査官が調べた結果マラリヤ蚊の發生地を多數發見したので、早速蚊掃滅の指示を與へた結果、一九四二年には三三・〇三%を數へたマラリヤ罹病率が一九四三年には七・八%まで低下したといふのである

自治體の衛生當局が蚊の發生防止に努めればマラリヤは減るし、そこへDDTが利用されればこんな病氣は殆んど無くなると考へてよいのだが、罹つて了へば殺蟲劑のDDTではどうにもならない、キニーネは效くが、同時にマラリヤが難病たることも通り相場だ、そこで米國でもマラリヤの療法や新薬に關する研究は仲々盛んである

「ニューズ・ウィーク」誌十二月三日號によると海軍衛生隊のメイヤー・A・ゼーリグ少佐が慢性マラリヤの頭痛發作に對する療法を發表してゐるがこれは玉蜀黍斑豫防劑とされてゐるニコチン酸を使用するのだ、少佐はこの療法をオレゴン州クレイマス・フォールの海兵隊廠舎に勤務中發見した腦のマラリヤで死にかかつてゐる患者の看護をしてゐる中にハツと思ひついたといふのだ、つまりこの種の患者は血液が濃くなりすぎて血行が緩慢になつてゐる、だからニコチン酸で血管を弛緩させれば腦への血行もよくなつて頭痛が止むといふわけである

新薬は英國あたりでも出來てゐるらしいが、米國に最近現れたのはメタクロリグインといつてキニーネよりアタブリンより有効だといふ、十二日付の「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙の記事だが、米國の一會社が製造して現在試験中とだけ、會社の名は判つてゐない、發明の端緒となつたのはズルファ劑の基本研究中の發見で、ズルファ劑の二種の作用が基礎となつてゐる、その一つは大概のズルフォンアミドがバクテリアをしてパラアミノ安息香酸と呼ぶバクテリア「ビタミン」とも稱すべき物質に同化せしめない事によつて藥效を發揮するといふ事だが、新しい合成ズルファ分岐體は何か未知の作用によつて效果を齎らすとみられてゐる、この二つを一緒にして新合成劑を作つたといふのだが、試験中ではあるし電報

にもそれ以上のことは述べられてゐない、とにかく新薬の名が「メタクロリダイン」といふことだけを覚えておいて頂かう

△毒蜘蛛特效薬

同じ蟲でも蜘蛛は蚊よりよほど氣味が悪く、毒蜘蛛となれば命取りだ、「ブラツク・ウイドウ」といふ名前からして氣持の悪い毒蜘蛛に噛まれた時の薬が発見されたらしいといふ話がある、但し「米國醫學會報」の記事を十二月十二日の「ニューヨーク・テレグラム」紙が引用し、それをサンフランシスコから米國々務省中間國際情報部が放送したのを受けてここに紹介するといふ手間がかつてゐる、また聞のまた聞を承知で讀んで頂く藥はネオスチグミン硫酸メチールといふ合成藥劑で、ブロスチグミンと呼ばれることもある、サウスカロライナ州チャールストン市ローパー病院のジェームズ・E・ベル博士とサウスカロライナ州立醫科大學助教授ジョン・A・ブーン博士の報告によれば、この藥一服をのませたら一時間も経たないうちに「筋肉痙攣と苦痛が、劇的且つ完全に」治まつたといふ、この患者はこの毒蜘蛛に咬まれた時の手當として普通のグルコン酸カルシウムと鎮靜劑とを與へられたが、なほ五時間半苦しみてゐたのださうだ

ベル博士がネオスチグミンの使用を考へたのはこの藥品が筋肉痙攣に好いといふことをきいてゐたからで、腹筋痙攣には特に效くが、四肢の痙攣にも效がないわけではない、そして四肢の痙攣こそ「ブラツク・ウイドウ」蜘蛛にやられた時の最も顯著な症狀なのだ

一人治しただけではこれが好い療法だといふ證據にはならないが、チャールストンにはブラツク・ウイドウに咬まれる例が非常に少なくて餘り試験の機會がない、さうした患者を扱ふ機會の多い他の醫師に少しも早くネオスチグミンを試みて頂かうと一應報告する次第だ

と兩博士は斷り書をつけてゐる

△猖狂紅熱とペニシリン

戦後醫學にペニシリンを忘れるわけには行かま

い、ペニシリンの話は始終出るが、ここに紹介するのは「ニューズ・ウィーク」十二月三日號に出てゐるボストン市立病院並びにハーヴァード醫科大學の醫師たちの報告だ（但し東京版には見當らない）、ペニシリンの皮下注射によつて猖狂紅熱者の隔離期間が非常に短くなるといふのである

まづ四歳から十五歳までの猖狂紅熱患者三十六名を四群に分け、それぞれ異なる手當を加へてみた、所がペニシリンの皮下注射が最も好成績だつたのである、患者の鼻及び咽喉の赤血球溶解性猖狂紅熱連鎖球菌は四十八時間以内に消失したといふ、この手當によつて、通常三週間乃至四週間の隔離期間は、八日乃至十日に短縮されることが豫想されてゐる、他の三群はそれぞれズルフアデアチンの服用、鼻腔及び咽喉のペニシリン吸入、普通のズルフア劑對毒藥服用だつた

ズルフアデアチン服用は服用期間だけ連鎖球菌の數を減じたにすぎず、日四回乃至六回のペニシリン吸入は咽喉の病菌に殆んど效果なく、ただ手當をしてゐる間鼻腔に病菌を見なかつただけだといふ

△結核の發生地は米國

次は特に戦争によつてどうかうといふ發見ではなく、戦争中にもこんな研究が行はれてゐたといふ一例、話の震源地は南米である

ヴェネズエラの人類學者であり醫學者であるアントニオ・レケナ博士が最近かう發表した

明かにコロンブス渡米以前と見られる百十六個の骸骨がついこの間ヴェネズエラ西海岸中部のカベロ・ポルト港附近のエル・パリトでカラカス自然科學博物館の考古學者たちの手で發掘された、これには明瞭に骨結核（ボット氏病）の痕が認められる、つまり結核がアフリカまたはヨーロッパから新世界に齎らされたといふ舊來の説は覆へされたわけだ

このヴェネズエラ學界の發見は詳細な専門的資料と共に、今年中に汎米人類地理學協會のヴェネズエラ支部で發表されるといふが、これに對してニ

ニューヨーク醫學アカデミーのゴールドストン博士は十五日かう述べてゐるといはれる

ヴェネズエラ科學者の聲明は傳染病學者にとつて興味ある事實と思ふが、完全に確認されるまではまだ慎重な研究が必要だらう、骨髓炎のやうな病氣で骨結核と間違へられさうな痕跡を残すものは幾つもあるし、特に何世紀も経つてから骸骨の證據を論ずるのでは問題だ、しかし骨結核にははつきりした特徴があるから、絶対に判別出来ないといふわけではない

この反駁に對する回答は、近く發表される報告によつて與へられよう、従つてこの問題はそれまでお預けにして、次は齒科、眼科等特殊な部門における戦後醫學の話題に移ることにしたい



勝利の報告と

平和建設の設計(下)

ソヴェト聯邦はすべて平和を愛する國々の間に正常關係を確立するといふ從來の政策を忠實に實行してきた、戦争の數年間に、ソヴェト聯邦は英米、佛、華、ポーランド、チエコスロヴァキア及びユーゴスラヴィア各國との間に友好關係を確立した、今日においては、ソヴェト聯邦はこれらの國々殆んど全部の間に、長期に亘る同盟條約、今度の世界戦争で主要侵略國であつた國々が再び侵略を繰返す際に處する相互援助條約を締結してゐる、更に又、ソヴェト聯邦に對する敵意と猜疑の政策を放棄した他の國々との間の關係を正常化し良好な關係を確立するために、凡ゆる努力が拂はれてゐる

△國際聯合への期待

ロンドン會議の失敗は或る種の警告となつたが戦時においても英ソ米三國の聯合には困難がない譯ではなかつた、それにも拘らず、何時でもすぐにといふ譯ではなかつたが、三國の聯合は反ヒトラー主義聯合全體の利益に合致し、且つ偉大な民主主義各國の合作を一段と強化する必要を考慮に入れた正しい解決を見出すことが出来るのである、今や國際聯合とよぶ新しい國際組織が創設された、右組織は英ソ米三國の發意に基いて設置され

たのであり、國際聯合今後の工作については三國聯合が主たる責任を負はねばならない、國際聯合組織が、侵略を阻止し、可能な侵略を粉碎するために諸勢力を組織することが全然出来なかつた國際聯盟の如きものであつてはならないといふことは明瞭である、同時に、世界共同の事項を或る一國だけで支配しようといふ要求は、世界征覇の要求と同様、全然證據がないのだから、新組織が何れか一國の道具となることは許されない、即ち戦争の重荷を負担した三國共同努力によつてのみフアシズムに對する民主主義各國の勝利を確保することが出来るのである、かかる協力なくしては世界平和を確立しようとする新たな國際組織の事業の成功を促進することは出来ない、このためには、單に良い意圖を表明するだけでは足りない、かかる意圖をすべて平和を愛好する國々のために遂行出来ることを實證しなければならぬ、ソヴェト聯邦は、從來と同様今後においても、平和の防衛と各國民の安全保障の信頼すべき砦となり、しかもこのことを言葉によらず實踐によつて證據だてる決心である

△力の結集

四ヶ年に亘るドイツとの戦争は、ソヴェト國家のすべての力にたいする試煉であつた、しかもソヴェト聯邦は見事にこの試煉を切抜けたのである、再三再四不死の偉大なレーニンの言葉も事實によつて實證された

労働者と農民との大多數が彼ら自らのソヴェト權力、即ち働く人々の權力を擁護してゐるといふ事實、更に又、彼らが勝利を収める場合には彼らと彼らの子弟に對し、文化の一切の祝福と人類努力のすべての成果を與へる主義を擁護してゐるのだといふ事實を見、感じ、且つ知るに

至れば、その國は決して破れない
赤軍は勝利者の榮光を載いて、今回の戦争を切り抜けた、赤軍はそのソヴェト的奮闘精神において一段と強く、從來よりも一層強大な武装兵力となるに至つた、今や集團農場、各種工場否われらの國の至るところにおいて非常に必要とされてゐる數百萬の人々が、戦列から家庭に歸つて平和な努力に着手しようとしてゐる、全國は今や社會主義建設の新たな進出を確保しようといふ大事業にとりかかつたのである

ソヴェト國民は、從來に比し一段と固く彼らの黨の周邊に結集するに至つた、彼らは秩序整然、レーニンとスターリンとの黨の指導の下に前進をつづけてゐる、戦争の困難な數年間を通じ、赤軍とソヴェト國民とが偉大なスターリン、先見の明あり多年の經驗を経たソヴェト聯邦の指導者によつて導かれてゐたといふことはわれらの幸運であつた、われらの軍隊の輝しい勝利は、スターリン元帥の名と共に永久に歴史に記録されるであらう

△國民各層の努力

偉大な指導者であり組織者であるスターリンの指導の下に、われわれは今や平和的建設に着手し社會主義社會の諸力を十分に活用して、全世界における我々の知己の盟約に副ひたいと思ふ、ソヴェトの男女は戦時の困難と窮乏とに耐へ忍んで憩ふ間もなく働いた、我々は後方における我々の労働者諸君、特に己れを空しうしたソヴェトの女性と、彼らの國に對し崇高な獻身振りを發揮したソヴェト青年に對して、ここに敬意を表明せねばならない、彼らの努力のお蔭で、われわれは戦争の困難な歲月を通じて、われわれの國民の生活標準を維持することが出来たのである

同時に集團農場の農民もまた戦時においてその政治的認識と集團農場組織の力を發揮した、男女農民諸君は今や集團農場における社會主義的競争の價値を十分諒解し、侵入ドイツ軍がわれらの領土の一部を占領した結果、老大な農作物を失つたのを補ふのに大いに貢獻した、もう一つ前線と後方における戦時の任務を遂行することを得させた要素は、ソヴェトのインテリゲンチヤがその國に對する本務を果したといふことである、戦争の結果、我々のインテリゲンチヤがソヴェト政權下の年月の間に如何に進歩したかが明白となつた、我々のインテリゲンチヤの大多數は、經濟生活を組織し、新たな専門家幹部を訓練し、一般國民の健康を擁護し、文化水準を引上げるといふ高い任務を、立派に且つ見事に果したのである、今日我々は、ソヴェトのインテリゲンチヤがその國民に劣らず、忠實にその國のために奉仕してゐることを斷言出来ることは寔に幸福とするところである

△民族の團結

ソヴェト聯邦の各民族間の友好關係は、戦争の

數年間を通じて嘗つて見ない位強化されるに至つた、我々の多角的な民族國家は言語と慣習と文化と歴史との相違にも拘らず、一段と強く團結し、相異なるソヴェト各民族は從來よりも緊密に結集するに至つた、他のいかなる多角的な民族國家と雖も、我々が戦争の數年間經過したやうな苦難を切り抜けることは出来ない、ひとり我々の國家においてのみ、人間の人間による搾取の餘地がなく搾取階級は全然存在せず、労働者と農民とインテリゲンチヤが平等な市民として地方の行政並びに國家の統治を運営する國家だけが、一九四一年から四二年にかけての國家艱難の際、ドイツ軍の侵入に打ち堪え、自力によつて壓倒的な敵軍を潰亂に陥れ、自國の領土から領土外に驅逐し、更に加ふるに他の國々に強力な援助を與へて、外國の支配者を振ひ落させることが出来たのである

すべての民族が獨立し且つ自由な國家的發展をとげる權利があるといふことは、今やソヴェト國家において確認されるに至つた、ソヴェト國家においては、すべての人々に友愛の精神と相互に對する尊敬の念をもつて教育をうけ、各人がその努力に應じ、國民文化の發展に資し、ソヴェト國家全體としての進歩に貢獻することが認められてゐる、無數の労働組合、生産文化、スポーツその他労働階級組織の高度の活動、集團農場の結成、各種工場、集團農場並びに國營農場、鑛山並びに鐵道における社會主義的競争の不斷の普及、すべてこれらは人民の眞の民主主義が發揚されてゐることを示してゐる、かくの如きは舊時代において彼らの知らなかつたところであり、ソヴェト權力が久しい以前我々の國において打切つた壓迫者と被壓迫者との階級に分れてゐる他の如何なる國においても存在しないところである

△ソヴェト民主主義勝てり

我々の國の文化生活が迅速な躍進を遂げ、我々のインテリゲンチヤが人口の最も進歩し且つ文化の高い部門でありながら國民ととけあつて、ソヴェト社會の道義的、政治的團結を更に高い水準にひき上げたといふ事實、すべてこれらの事實に

於て、われわれはソヴェト民主主義の新たな兆候を認めざるを得ず、この兆候こそはわれらに新しい望を吹きこみ、われわれの國の將來に確信を與へるものである、英雄的行績の源泉としてのソヴェト民主主義並びにソヴェト愛國心の組織力は、戦争の數ヶ年間に於いて特にその偉力を發揮したわれわれの國が二等國家の地位に轉落するのを救つた十月社會主義革命が、貴族と封建地主の政權に釘付けされてゐた人民の力を解放し、ソヴェト權力を基礎として、從來會つて見なかつたやうな發展をとげる機會をかれらに提供したことは、ソヴェト男女の幸福である、これフアシズムに對するわれわれの勝利において、同時にソヴェト民主主義の一大勝利を見てとる所以である、今回の戦争でソヴェト國民は自國の境界線をはるかに越して進撃した、フアシズムの頑強な抵抗の結果、われわれの軍隊は幾多の外國に進出し、諸外國の都市村落の生活を更によく知るやうになり、ウイーン、ブダペスト及びベルリンの如き西方の各首都に到達した、最近までフアシズムの味方をしてゐた國々をはじめ、以上の各國においても、ソヴェト國民は勤勞階級並びに民主派との間に共通の言語を難なく見出した、勿論ソヴェト國民が昨日の敵を今日の友として扱ふことは出来ない、他國の生活並びに慣習を知ること、われわれ國民の利益であり、彼らの見解を擴めることとならう

△選舉の意義

ソヴェト最高會議は國民との血縁關係が強い、議會民主主義とは異り、ソヴェトの民主主義は本當の人民の民主主義である、従つてソヴェト國家の任務は、平和の利益を擁護する精神をもつて、各國間の友好と合作の精神をもつて、國民を政治的に教育する仕事を含んでゐる、しかしながら、それだからといつて再び侵略を繰返し、且つフアシズムの復活を用意する一切の企圖の假面をはぐことが不必要だといふことにはならず、否却つてますます必要とならう、戦後の數年間に於いてこの事を忘れてはならない

あらゆる大陸の各國民は、世界侵略とフアシズムの亂舞に對し、鮮血と苦難との莫大な代償を拂

つたにも拘らず、一部の國々においては、言論出版の自由は、フアシズムの賤しい從僕連が侵略とフアシズムの勝手な宣傳に従事する際に假面をかぶらないでもよいといふ意味に解釋されてゐる

ソヴェト聯邦の最高會議にたいする新しい選舉が近づいた、ボルシェヴィキ黨は、黨外のソヴェト各團體の各方面と協力して、右選舉の準備に従つてゐる、この選舉こそはソヴェト民主主義の大きな表示であり、わが國民の團結を示し、更にソヴェト國家の基礎を固めるには一つの有力な手段である

△新領土の問題

われわれの國は平和時の建設に乗り出した、全體國民は新たな偉大な事業に當面してゐる、われわれは勿論新たにソヴェト聯邦に編入された國々にたいして必要な注意を拂ふであらう

西ウクライナと西白露兩地方は、戦争前ソヴェト聯邦に編入されて短時日を經過したにすぎなかつたが、敵がわれわれの國土に侵入した結果、われわれは兩地方の生活を整へるのに十分注意を向けることが出来なかつた、今やポーランドとの條約によつてソ波兩國間の新しい國境が劃定された、その結果、白露人の組んでゐる一切の領域が、單一なソヴェト白露共和國に再び統一されたが、同共和國は自由な民族發展の大道を堂々と前進するであらう、チエコスロヴァキアとの條約によつて、カルパート・ウクライナ地方は遂にわれらの國家の一部となり、ソヴェト・ウクライナ共和國は今や一切のウクライナ領土を包含するに至つたこれわれらのウクライナ人同胞が數世紀に亘つて夢みてゐたところである、ルーマニアとの條約によつて、ソヴェト・モルダヴィアはモルダヴィア人の住む一切の領域を包括するに至つた、その結果モルダヴィア人は新たな民族發展の廣範な機會を與へられよう、われわれの國家の西部國境線は西に移つてケーニヒスベルヒ北方を含むに至つたが、かくしてわれらは一年中凍らない優秀な港をバルト海に確保するに至つた

ソヴェト・リトワニア、ソヴェト・ラトヴィア、ソヴェト・エストニアの獨立が回復された、以上が現在の西部國境線の輪廓であるが、この國境線はソヴェト聯邦の安全保障にきはめて大きな役割

を演ずるであらう、西北においてはわれわれはフィンランドとの國境線を回復した

最期に極東であるが、この方面でソヴェト聯邦は、樺太南部と千島列島とを保持するに至つた、これらの兩地域は東方における安全保障に重要な價值をもつてゐる、更にまた滿洲諸鐵道並びに滿洲の南部における旅順、大連に對するわれらの國の權益を回復したことを附言しなければならぬ、これらの地域並びにフィンランド領土におけるプロカラウのわれわれの海軍基地に對しても、今後われわれは充分注意を拂はなければならぬ

△復興の急務

われわれは出来るだけ早く、一時敵軍に占領されてゐたソヴェト領土内の緊急な事業に着手しなければならぬ、復興事業は侵入軍の撃攘の直後から至るところで始められたが、それはなさるべき仕事の極く一少部分にすぎない、ソヴェト全國民の努力がこれら領域の經濟的、文化的生活を速かに且つ完全に復興することを援助するために捧げられねばならぬ、各種工場、集團農場、MTC（機械トラクター配給所）、國營農場、學校、病院の復活、これら地方の都市、村落の住民が何れも自分の家庭の用ひるやうに住宅を再建すること——以上の一切がわれらの緊急の任務である

今や軍隊から家庭に歸つてくる人々、傷病兵士遺家族等に對する配慮が、ソヴェト各組織の第一の任務と考へられねばならぬ、われわれはこの責任ある仕事を見事にはたして、出来るだけ早く戰爭の創痍を癒すために最善をつくさねばならぬ、われわれは今直ちに再び躍進する國民經濟の基本的諸問題を解決することを考へ、今後數年以内に、戰前におけるわれわれの國の經濟的發展の標準を遙かに乗り超え、全人口の生活標準を著しく改善しなければならぬ、金屬、石炭、石油、機關車、輪轉材料、トラクター、農業機械、自動車各種船舶、發電所その他幾多の物資を提供するために新たに重工業を發展させなければならぬ、都市並びに地方の人々は消費品目の供給が著しく増大し、食糧の供給が改善されるに至るのを期待してゐる、又赤軍並びに海軍との國防上の必要を充すわれわれの大きな義務を一瞬たりと雖も忘れ

てはならない、われわれはまた勞働の適當な組織について一段と工夫し、ソヴェト男女の生産力と彼らの仕事の質が最高の結果をあげるやうに努めなければならぬ、原子力を統御し、その他偉大な技術的發見が可能となつた技術進歩の時代、生産に科學を活用する範圍が擴大した現在においては、經濟計畫に當つても、技術上の諸問題、われわれの産業の技術力を引上げ、高度の熟練技術者を養成することに注意の焦點を向けなければならぬ、われわれは産業並びに經濟生活の一切の部門に亘つて、今日、世界の技術が到達した水準と足並みを揃へ、ソヴェト科學並びに技術があくまで前進出来るやうな條件を整へねばならない

敵はわれわれの平和的、創造的努力を阻害したしかしわれわれは失つた一切の時間を取返して、國家の繁榮を圖らなければならぬ、われわれもまた原子力その他いろいろなものを持つてあらうわれわれの無盡藏なボルシェヴィキの精力を傾けソヴェト國民の無限の精力を捧げて、これらの事業を受理しようではないか、同志スターリンが我に教へるがごとく働かうではないか

△今後の外交政策

最期に外交政策に關する我々の任務である、ソヴェト聯邦は終始一貫平和を促進し、世界平和と國際商業關係の發展のために他の國々と協力することを第一義としてゐる、しかし我々が各國分立の態勢の下に生活し、ファシズムと帝國主義侵略とが最期的に根こそぎにされないかぎり、新たに平和を破るかもしれない國にたいしては、監視を緩めることが出来る、従つて平和的な各國との合作を固めるやうに努力することが從來と同様我々の最も重要な任務とならう、我々が苛烈な鬭争によつて達成した我々の勝利を固める以上に大事な仕事は有り得ない、勝利こそは我々の國が新たに大いに勃興し、我々の國民の生活標準を更に改善する道を拓いたのである、かく老大な範圍において社會主義建設の見透しを確保し、ソヴェト聯邦の國力増進がこれほど好望視されたことは未だ曾てなかつた、我らの國民は彼らの偉大なる主張、即ち十月社會主義大革命の主張に對する信念に燃えてゐる

昭和二十年十月廿六日(水)
第四五號

時事通信

海外電報

(45)

戦争が終つて残るただ二つの全體主義國ポルトガルとスペインの國內政治體制が、國際的に種々論議されてゐる、ポルトガルの場合、戦争中の政策に恕すべき多くの要素を含ませてゐたので、先の總選舉が一黨獨裁的な色彩が極めて濃厚だつたに拘らず、またサラザールの獨裁が明らかに非民主的色彩を多分に含んでゐるに拘らず、國際的に公式の問題として、ポルトガルの政治體制がいはれる氣運はなほ微弱であるが、フランコ政權の場合、その成立の經過、以後の外交政策が著しく樞軸的であつたため、懲膺論が各國政府の要路で公然と論議されてゐる、他國の内政不干渉を不可とする古い考へ方から云へば奇怪な議論であるが、一國の内政が、國際平和と擾亂の重大要因であり、他國の内政問題だからと云つて放任しておけば、自家の軀にも火がつき、引いては國際戦争への出發點にもなるといふ最近の米國あたりの考へ方から云へば、スペインの内政問題も當然とより上げられて然るべきものであらう、現在のスペイン問題の在り方は懲膺論の立場と、より大局的な國際平和維持の立場との二つがあり、そして、その兩者の混淆論がある、懲膺論の主潮はソ聯を初め、フランスの左翼のフランコ政權打倒論に見ることが出来るし、國際平和保障の立場は米國において最も多くこれを見ることが出来るといつてよいのであらう、前者は個人戦争犯罪人處斷論と相通じてゐるので理屈としてはより簡明で、俗耳に入り易いが、後者の立場は新しい國際秩序の問題と結付いてゐるので一層複雑であるといひ得る、それにスペインの國內事情はファシズムか、民主主義かといふやうな概念論では割切れない多くの中世紀的な要素を持つてをり、問題を益々複雑にするそれはある面では日本の國情とさへ相通じてをり結局流血の犠牲による以外に解決の路はないかも知れない、血を流さず、國際平和には波瀾を與へず、平和裡にスペインの民主化變貌を期待するところに、目下の國際的焦燥がある



【目次】	
ユーゴスラヴィア新政權を承認	四六六
佛ソ通商協定調印近し	四六七
佛フラン貨切下げ	四六七
獨占領地域の米軍政報告	四六七
パナマに革命	四六七
【歐 洲】	
獨西部占領地域の賠償配分決定	四六八
チエコ領土割譲要求を一蹴	四六八
リュクサンブル・ナチ総死	四六八
パットン大將逝去	四六八
【國際會議】	
モスクワ會談順調に進行	四六八
【戦後處理】	
米國の日本資産接收	四六九
極東諮問委員會訪日團決定	四六九
【米 洲】	
パナマ運河防衛案可決	四七〇
軍法會議の裁判權に疑義	四七〇
ソマヴェル明春退役	四七〇
歸還將兵西海岸で立往生	四七〇
チャーチル訪米	四七〇
タイヤ割當制廢止	四七〇
【特 輯】	
戦後の米國醫學界(中)	四七一
【資 料】	
陸海統合案教書内容	四七四
UNO本部は米國東部	
(ロンドン二十二日)國際聯合準備委員會本部常設地決定委員會は二十二日日本部常設地を米國東部に選ぶことに決定した、投票結果は東部案賛成二十五票、反對五票、棄權十票、缺席十一票だつたこの投票に先立ち西部案が否決されたが、その投票は賛成六票、反對二十二票、棄權十二票、缺席十二票となつてゐた、米國は兩度とも棄權した、かくて専門委員會の推薦案は明春のUNO總會にかかれて最後の決定をまつことになるが、専門委員會の決定が覆へるやうなことはまづあるまいとみられる、東部諸都市のうち有力な候補地は二ユーヨーク、ボストン、フィラデルフィア、並びにかつて故ルーズヴェルト大統領の居住の地たりしニューヨーク州ハイドパークである	

ユーゴスラヴィア新政権を承認

米英兩國政府は二十二日、それぞれワシントン・ロンドン駐劄ユーゴスラヴィア大使宛の公文通牒をもつて、ユーゴスラヴィア新政権を承認したが右承認に關聯し、米國々務省は二十三日次の通り發表した

△ユーゴスラヴィア政府の通告

ユーゴスラヴィア大使は十二月十日、國務長官に對し次の通告を傳達した

ユーゴスラヴィア大使はアメリカ合衆國政府に對し、ユーゴスラヴィア憲法會議が、一九四五年十一月二十一日の會議において、ユーゴスラヴィア人民の自由に表明された意思に準據し、人民の名において且つ憲法會議兩院の採擇した法律的決定の名において、ユーゴスラヴィア民主聯邦をユーゴスラヴィア聯邦人民共和國と呼稱する人民共和國たることを宣言し、同一決定によつて君主制を廢止し、ベタール・カラシヨルジュイッチ王朝並びに同王朝全部の特權を撤廢したことを通告する光榮を有する

一九四五年十二月一日憲法會議は憲法會議最高會議法を公布した、同法によれば、最高會議は兩院により選舉され、大統領一名、副大統領六名、書記長二名並びに最高三十名の成員をもつて構成される、同法第三條に基き、大統領は他の執行機能とともに、國の内外において、ユーゴスラヴィア聯邦人民共和國としての人民並びに國家の主權を代表する、最高會議は聯邦政府の提案に基き、外國に對する大使、公使、特使を任命する、最高會議は諸外國の外交代表の信任狀を受領する、同法第六條に基き憲法會議が通常議會となる場合には、憲法會議の最高會議は、事實上當然通常議會の最高會議となる、同法は一九四五年十二月一日憲法會議において採擇されるともに效力を發生した、同法に準據し、最高會議は次の通り選舉した

大統領 イワン・リバール

副大統領 モーサ・ピヤデ、フィリツプ・ラク

ス、ヨスピ・ルス、デユレ・プカール、デシ

トリ・ヴラホフ、マルコ・ヴォイッチ

書記長 シロ・ペルニチ

△合衆國政府の回答正文

十二月二十二日付の次の回答が今回同大使に通達された

國務長官代理はユーゴスラヴィア大使に對し、合衆國政府が一九四五年十二月十日付同大使の通告一〇七〇號の内容を検討した後、ユーゴスラヴィア憲法について起つた變更と、同通告に言及された憲法會議の決定に準據してユーゴスラヴィア聯邦人民共和國の名の下に、共和國が建設されたことを承認する旨通告する光榮を有する新ユーゴスラヴィア政府が國際團體の一員として且つ國際聯合宣言の諸原則に参加した一員として、國際慣行に準據し、ユーゴスラヴィア國の國際的諸義務に對し責任を負ひ、合衆國とユーゴスラヴィア間に於る現存の諸條約、諸協定を引續き承認することを確認する用意があると推定する、この點に關して保障を得ると同時に合衆國政府はベオグラード駐劄大使を新ユーゴスラヴィア政權付に任命する適當な信任狀を發出する用意あり

合衆國政府はヤルタにおいて引受けた諸義務を念頭におき、ヤルタ宣言の基調となつたチトー元帥とスパンツ博士との間の協定に明示された個人の自由、恐怖からの自由、良心の自由、言論の自由、出版の自由、集會結社の自由に關する保障が效果的に實施され、且つ國民の意思を自由に拘束されぬ選舉において表明する機會を與へられることを期待する權利があるとの自國の態度を、終始ユーゴスラヴィア國民に知らせて來た、ユーゴスラヴィア國內の現狀に徴すれば、以上の諸々の自由に關する保障が尊重され、十一月十一日執行された選舉が人民の代表を自由に選擇する機會を提供したといふことは出来ない、かかる事情のもとにおいて、合衆國政府はユーゴスラヴィア現政權との外交關係開始が同様の諸政策を承認し、支配權を獲得するに至つた同政權の手法乃至人民に公約された個人の自由を保障し得なかつたことを承認する意味と解さるべきでないことを諒解するやう要望する、大使においてユーゴスラヴィア當局並びに國民に對し合衆國が同國の國民に對しては極めて友好的な感情を持つてゐるばかりであり事態の進展に伴ひユーゴスラヴィア國民と合衆國との間に政治的にも經濟的にも合衆國の切望する如き關係が實現するに至ることを待望してゐることを極めて明瞭にして呉れねばならない

佛ソ通商協定調印近し

(モスクワ二十二日)目下モスクワにあつて佛ソ通商協定妥結交渉中のフランス代表エルヴ・アルファンは二十二日、佛ソ交渉は基本的諒解に到達パリからの回訓を待つて調印の運びであると表明した、なほギヤストン・モンシユソーを首班とするフランス労働組合代表團十二名は二十二日空路モスクワ着、ソ聯産業戦後経営方針、その他各工場施設の視察を行ふ豫定である

佛フラン貨切下げ

(パリ二十二日)フランス議會は二十一日満場一致でブレトン・ウツツ國際資金銀行案の批准を決定したが、同時にフラン貨の切下げ方をも決議した政府は即日閣議を開いてフラン貨切下問題を討議する旨藏相ルネ・ブレヴァンは發表したが、新平貨は弗百二十五法、磅五百法となる模様である

獨占領地域の米軍政報告

(ワシントン二十三日)ドイツにおける米軍占領地域の軍政長官ジョゼフ・マクナーニイ大將は二十三日午後ABC放送の「國民の時間」にドイツの軍政狀況に關して次の聲明を發表した

「約八ヶ月前、米國は行政及び經濟機構の全く崩壊した國を占領、混亂を回避するために、全面的な行政上の責任をとることとなつた、米國はドイツの行政並びに産業からナチズムを掃蕩中であり約十萬のナチ黨員がナチ組織の成員として逮捕され、現在ニュールンベルグで開かれてゐる國際法廷において裁かれることとなつてゐる

また一定の計畫に基づくドイツの戦力剝奪が主として賠償に向けられるものとして順調に進捗し、既に二十六の大工場がドイツによつて破壊された國々に對する前渡しに指定されてをり、更に四十八工場が賠償として配分されることとなつてをり多數の工場が賠償に充當出来るかどうか決定するため調査されてゐる

他方ドイツに於る法と秩序は回復された、電力水道施設及び調理用燃料の供給は確保され、運輸通信施設も改善され、非常住宅措置も實施されて

ゐる、地方行政上の責任は慎重に選拔された自由主義者のドイツ人の手に返され、三州政府と以上三州の統監事務所は既に軍政府の管理を受けずに機能してゐる、更にナチ黨の政權掌握以來最初の自由選舉が明年一月地方官吏を選出するために實施される豫定である

ドイツ國民の再教育は新聞ラジオを通じて實施されてゐる、民主主義の原理をドイツ國民に吹き込むため發行部數三百萬以上の刊行物二十種が許可制の下に自由主義ドイツ人の手で發行され、米軍占領地域の公民學校は既に百六十五萬の生徒を收容、民主主義的手續を踏んで創設された勞働組合もまた迅速に組織を擴大してゐる、但しドイツ經濟力の疎散、ナチズムの掃蕩及び極めて多數の戦争犯罪人の裁判については多くのなすべきことが残されてをり、以上を完了するまでには今後多くの時日を要しやう

米軍占領地域のドイツ國民は飢えてはゐないが食糧配給率は低く、經濟は事實上停頓狀態にあり自らを維持するためにはある程度回復が必要とされてをり、石炭及び鐵道運輸施設の必要が痛感されてゐる、たとへば肥料農具の生産と分配、食糧の加工すら石炭と輸送に依存するが、破壊された炭坑の復舊と車輛の修理は一夜にして行はれるものではない

財政問題は逼迫してゐる、州政府は所得の低下と救済復興の爲の巨額出費のため、豫算編成に困難を感じよう、暖房用の石炭がないため今冬は極めて困難なものとならうが、ドイツ軍の占領下に若干の國が經驗したほど困難ではない、米國の任務はドイツの戦力を破壊すると同時に民主主義的信念の確立を達成するにある、以上が米國の政策であり、米國はこれを實現し得ると確信する」

パナマに革命

(パナマ・シテイ二十三日)パナマのコロン港に二十一日夜叛亂が勃發、短時間で鎮壓されたが、パナマ政府當局は二十三日元大統領アルヌル・リアスを叛亂教唆の廉で逮捕した、但しリアスは革命との一切の關係を否定してゐる

【歐 洲】

獨西部占領地域の賠償配分決定

(パリ二十一日) 聯合國賠償會議は二十一日次の通り發表した

ポツダム宣言は西部ドイツからの賠償額の二五%をソ聯に引渡すべき旨規定してゐるが、爾餘の七五%とソ聯占領地域から引渡される一五%のうち米英に二八%宛、フランスに一六%を配分残りの二八%は十四ヶ國に配分される

チエコ領土割譲要求を一蹴

(ブラーグ二十一日) 過般來ポーランドとチエコスロヴァキアとの間にはテツシエン地方の歸屬を繞つて紛争が發生、ハンガリーもチエコに對して領土の割譲を要求してゐると傳へられるが、チエコ外相ヤン・マサリクは二十一日議會の外交委員會において領土割譲要求を一蹴する強硬な態度を次の通り披瀝した

チエコスロヴァキア政府はハンガリー及びポーランドに領土を割譲する意思は毛頭ない、政府は十一月五日既にポーランドに對して、領土の割譲以外の一切の問題について交渉に入る用意ある旨の覺書を送附した

リユクサンブル・ナチ縊死

(リユクサンブル二十日) ドイツ占領時代リユクサンブルのガウライターだつたギユタヴ・シモンは十七日英軍の手で捕縛されたが、二十一日縊死自殺した

バットン大將逝去

(ハイデルベルヒ二十一日) 自動車事故のため負傷してハイデルベルヒ病院に入院加療中だつた第十五軍司令官ジョージ・バットン大將は二十一日十七時五十分(グリニチ標準時)昏睡状態のまま安らかにこの世を去つた、死因は「心臓衰弱症に續く肺栓塞」と發表された、事故發生後直ちに本國から馳せつけて病床に附添つてゐたバットン夫人は大將の屍をノルマンディからドイツ國境に至

るバットン軍の勝利進軍街道に埋めたいとの希望を表明した

將軍の舊麾下部隊たる第三軍は固より、ドイツの米軍占領地域は悉く半旗を掲げて哀悼の意を表し、歐洲米軍司令官マクナニー大將は故バットン大將の功績を稱へ、全軍にその死を報じて布告を發した

【國際會議】

モスクワ會談順調に進行

スターリン議長が二ヶ月振りでモスクワに歸還バーンズ、ベヴィン兩外相と個別に時餘に亘つて會談したことは、三國關係の轉機を劃するものとして外交界から歡迎されてをり、從來の行掛りはこの際さらりと水に流されようとの樂觀論が次第に力を加へてゐるが、目下モスクワ會談の中心議題となつてゐるのが原子力の管理問題であることは異論のないところだ

各種情報を綜合して判斷すれば、ソ聯は米英兩國の聯合國原子力管理委員會設置案を支持して米英兩國と共に委員會の世話人となる氣持はないがさればといつて同案に積極的に反對する意向もなく、結局委員會の一員に落着くものと解される、問題はこの委員會と國際聯合との關係だがそれは一、米英ソ三國に佛華の常任理事國のほかに非常任理事六國よりなる安全保障理事會に對して原子爆彈の製造管理と平和維持のための原子爆彈の使用について責任を負ひ

一、運送、工業上の目的のため原子力を利用することについて總會に責任を負ふこととならう

また三國外相會議を定期的に開催する場合、五ヶ國外相理事會乃至國際聯合との關係はどうなるかといふ問題が必然的に生起し、所謂外相會議解消論の一部では唱へられてゐるが、モスクワからのAP電報によれば、もしも國際聯合が外交上の一切の問題を取扱ふとするならば、國際聯合參加國は外相も大使も必要でないといふことになり、聯合自體は外相理事會の機能の若干を取受けるにしても、三國外相會議乃至五ヶ國外相理事會の基本目的が大國間の協調樹立と友好關係強化にある點からみても兩者は解消の必要がないといふのがモスクワ外交界の一般的見解といはれる

【戦後處理】

米國の日本資産接收

(ワシントン二十一日) 米國政府は二十日午後、これまでスイス政府の保護下にあつた日本の大公使館並びに領事館の土地建物及び財産を正式にスイス政府から接收した、右接收はスイス公使チャールズ・ブルグマン並びに國務次官補ナルド・ラツセルの議定書運署により行はれた、スイス政府によるこの資産の保管停止は一九四五年十月二十五日マツカーサー元帥の發したる指令に基き、日本政府より與へられたる指示によるものである、接收議定書によれば、スイス公使館は國務省に對しワシントンにある日本大使館及び領事館の財産を引渡したのみならず、ニューヨーク、サンフランシスコ、シカゴ、ロスアンジェルズ、ニューオーリンズ、シヤトルの從來スイス領事保護下にあつた日本資産すべてを引渡すことに同意したものである

極東諮問委員會訪日團決定

(ワシントン二十一日) 極東諮問委員會は二十日訪日前最後の會議を開催、聯合國賠償委員會米國代表エドウィン・ボーレーから最近の訪日旅行の報告をきき、ジョン・ヒルドリング少將から十一月七日國務省に達したマツカーサー元帥の報告に關する大要を聴取した、問題は主として教育、政治及び經濟に關する諸資料だつた、報告概要は毎週ヒルドリングより公表される筈である

訪日調査團は二十六日午後七時十五分陸軍空輸部隊飛行場から出發するが、委員會當局の發表した調査團員氏名次の通り

調査團正代表

フランク・マツコイ少將(委員長、米國)
C・A・ペレンドセン(駐米新西蘭公使)
サー・ジョージ・サンソム(駐米英國公使)
デ・カト・アングリノ(駐米オランダ公使)
ネルソン・ジョンソン(事務總長、米國)
チュル・シー・ミン中將(中國)
フランシス・ラコスト(駐米フランス公使)
L・M・コスグレイヴ大佐(カナダ)

トマス・コンフェサー(比島)

I・プリムセル少佐(濠洲)

W・T・フォアサイズ(濠洲、東京で參加)

R・R・サクセナ(印度)

各國代表團(隨員を含む)

濠洲 W・T・フォアサイズ、プリムセル少佐

H・A・バラード、ジョン・アンドレス博士

(但しプリムセル少佐以外は東京で乗船)

カナダ コスグレイヴ大佐、ハーバート・N・

ウオーマン(東京で參加)

中國 朱世明、ヤン・ユン・チュウ・リン・チ

ユン、シュウ・チン・ナン、リユー・イン・

チ、チン・ユン

フランス フランシス・ラコスト、ジヤン・ド

ウトー、L・ヴィクトル・モリゾン、ド・デ

イソー大佐、デュラン・ド・サンフロン、ピ

エール・ソーヴァジョ、エレーヌ・ジョリ

英國 サー・ジョージ・サンソム、オスカー・

モーランド、チャールズ・ボクサー少佐、マ

ーガレット・W・ワトソン

オランダ デ・カト・アングリノ、O・ロイク

リン、G・A・ワイヤ博士、J・D・キブリ

アーニ夫人

新西蘭 C・A・ペレンドセン、E・R・パウ

ルズ、J・M・バートラム、F・コイナー、

(以上三名はハワイから乗船) M・R・カニ

ンガム(東京で乗船)

比島 トマス・コンフェサー、アントニオ・ゴ

ンザレス

印度 R・R・サクセナ、J・F・クーフアー

女史

米國 マツコイ少將、C・スタントン・バブコ

ック大佐、ジェームズ・マコーマツク大佐、

ジェー・H・ブレイクスリー博士、ロバ

ート・W・バーネット、エドナ・V・カプロ

ース女史

書記局 ネルソン・T・ジョン、ソシハロルド・

W・モーズレー、ヒュー・D・アーレー、メ

アリ・マツケンナ女史、カスリーン・ウエル

シユ女史

【米 國】

パナマ運河防衛案可決

(ワシントン二十日) 上院の連洋運河委員會は十九日戦後防衛計畫と大西、太平兩洋の連絡水路改善計畫においてパナマ運河以外の地にさらに運河を設置すべしとの勸告案を採決した、右に關しスチュアート同委員長は次の如く言明した

下院はパナマ運河の防衛と改善計畫につき二年間調査すべしとする提案を承認して、これを上院に廻附してきたものだが、上院はパナマ運河以外の地にさらに運河を建設することを考慮すべしとする修正條項を附してこれを承認した

軍法會議の裁判權に疑義

(ラホール二十一日) ラホール州高等裁判所は二十一日、目下舊印度國民軍將校ブクナツディン大尉を裁判中の軍法會議の裁判權に疑問を表明した右は前バンジャツプ州辯護士會長スリームの動議による提訴が同高等裁判所に提出された結果問題化したものだが、豫備的討議の結果ムニール判事は軍法會議判士長に對し、スリームの提訴が決定される迄裁判手續を中止するやう通告を發した、スリームの提訴狀においてはブクナツディン大尉の罪狀は虐殺と國王に反對する戦争の遂行となつてゐるが、その裁判は印度國家がやるべきものであることが指摘され、且つ印度外で犯した罪に對しては軍法會議は裁判權を有しない旨述べられてゐる

ソマヴェル明春退役

(ワシントン二十日) 陸軍省は二十日陸軍補給本部長ブレホン・ソマヴェル大將が明年四月二十九日をもつて退役する旨發表した、大將は近く最後の賜暇を得て百二十日間の休養をとることになつてゐる

歸還將兵西海岸で立往生

(サンフランシスコ二十一日) 太平洋戦域からの

歸還將兵十萬以上が、東行輸送機關の満員のため西海岸で立往生してゐる、太平洋岸諸港への到着は一日平均一萬五千名に達してゐるが、そのほか太平洋岸の兵舎で毎日除隊してゐる多數の人々が東へ輸送を求めてゐる、輸送當局は最善を盡して可能な限りの鐵道車輛を振り向けてをり、C97輸送機も出動してゐるが、萬一クリスマスまで運びきれないで殘留を餘儀なくされるものにたいしては陸軍及び市當局が特別の慰安と休養を取計ひ、家庭におけると同様のクリスマス晩餐會を提供しようとしてゐる

チャーチル訪米

(ワシントン二十日) ホワイト・ハウスは二十日次の通り發表した

「チャーチル前英國首相はミズリー州フルトンのウェストミンスター大學の招請を受諾し、一九四六年三月五日同大學で「世界の情勢」について講演することとなつた、右招請に對してはトルーマン大統領も賛意を表明し、當日は大統領自身チャーチル氏を同大學の教授、學生に紹介する豫定である、チャーチル氏は一月中旬英國を出發、海路ニューヨークに到着する、同氏は侍醫モラン卿の勸告に基き、一ヶ月餘溫暖な氣候のうちに完全に休養する必要あり、ケベツクのフランク・クラーク大佐の招待で、二月中フロリダ州の同大佐の別荘に滞在する、チャーチル夫人並びに令嬢サラ・オリヴァー夫人同伴の豫定である」

タイヤ割當制廢止

(ワシントン二十日) 物價管理局は二十日ゴムタイヤに對する割當制を十二月三十一日夜半をもつて廢止する旨發表した、この結果米國でなほ割當制の下におかれてゐるのは砂糖のみとなつた、ゴム割當制は開戦直後の一九四二年一月に開始され天然ゴムの供給を絶たれた米國は以後人造ゴム工業の擴張に乗出し、軍需用ゴム以外にも五千七百萬のタイヤを製造、これにより戦争四年間に殆んど二千四百萬の自動車が運轉されてゐた

特輯

戦後の米國醫學界(中)

武井 武夫

△戦争と齒科醫學

大ニューヨーク市齒科醫年度大會は十二月七日に終了したが、その最終日に陸海軍の齒科醫によつて示された齒科の技工及び手術、或ひは對毒劑利用に關する著しい進歩が披露された。

ペニシリン、ストレプトスリシン、タイロスリシン、ストレプトマイシン等の新藥が一般民需用に供されるやうになつたことは、適當な手術が必要といふ鐵則には變りないまでも確かに大きな進歩だつた、と齒科醫協會第二支部代表は説明してゐる。

口腔外科術の方面で特に進歩の著しかつたのは骨折にたいする外部からの螺旋止めが出来るやうになつたことで、骨折部の顎の外側から螺旋で接合しただけで患者は傷の治るまで食つたり喋つたりすることが出来る、工業的な方面では陸海軍は一般齒科醫が義齒製作に使つてゐた知識をそっくり生かして、義齒假床の大量生産などもおこなつてゐる。

また軍の貢獻のなかで特に大きかつたのは、軍隊に入つたお蔭で軍人が齒科衛生といふものをはつきり認識するやうになつたことだ、この認識は市民生活に持ち越されて、齒科口腔疾患の豫防に役立ち、從來齒科醫不足が齎らしてゐた過重な負擔もかなり軽減されるに違ひないとみられてゐる。

△可塑材の義眼

同じ齒科醫大會で齒とはおよそ縁の遠い義眼の話が出た、その製作に齒科醫が腕を揮つたところから、海軍齒科醫部のレイマー・W・ハリス中佐が五日同大會で報告したのである、この義眼は米國內七ヶ所の海軍病院で海軍婦人補助部隊と齒科技術を有する將兵が協力して製作中だといふ、ハリス中佐の説明によるとこんなわけだ。

プラスチック製の義眼はみる以外のことなら何

でも出来て、本當の眼と全く同じやうに動く、海軍が齒科醫を使用したのは、義齒の留金や假床にプラスチックを使つた經驗を利用して、戦争の初期に義眼を完成しておきたかつたからだ、從來米國の義眼は全部ドイツ製だつたので、戦争が始まると忽ち米國では義眼の不足に困つてしまつた。

メアリランド州ビーサードの海軍病院で行はれた義眼の試験はガラスよりプラスチックに力を入れてゐた、そして種々の化學的組合せを試みた擧句、やつと現在の義眼が出来たのは約一年半前の事だつた、プラスチックの長所はいろいろあるがガラスの義眼は壊れ易いだけでなく、使用者に不快を齎らすことも少くないといふ。

ハリス中佐は説明しながらポケットからプラスチックの義眼を取り出して壁に投げつけると、義眼は少しも瑕にならずに弾ね返つたさうだ、續いて天然色映畫を映寫しながら、中佐は義眼の穿め方を説明し、旁らそれを使つて少しも本物と變らない水兵の顔を映してみせた、義眼を入れる時には邪魔になる筋肉を切り取つてしまふが、中佐の説明によれば手術は極めて簡單だといふ、中佐が齒科醫大會でこんな報告をしたのも齒科醫の間に義眼製造を普及させたいためなのだ。

義眼は樂にはめられるし、取り出して洗ふことも出来る、面倒なことは少しもなく、從來のガラス製と全く同じで、はめ心地は却つてずつと好いといふ、製造については中佐はかう説明する。

プラスチック製義眼は從來全く義眼製作の經驗を持たない婦人補助隊員や海軍技術兵だけの手で作られた、まづ本物の眼の水彩スケッチが描かれるが、これには虹彩の筋一本一本まで細大洩らさず寫される、この圖を凹凸もそのままプラスチックの母型に移し、そこへプラスチック原料を注ぐ、それが固つて義眼となるのだが、この原料はメチール・メタクライレート、俗にアクライリックと呼ばれてゐる、近くこの技術は私立病院にも教へて、一般に製作を奨励する筈である。

△化學戰の手當から

今度の大戰では化學戰は實際には行はれなかつた、しかし何時敵が毒ガスその他化學兵器を使用

するかもしれないといふので、交戦各國は常にその對抗策を練り、報復兵器も準備してゐたものだった、その防禦面における研究は平時においても人類の不幸を救ふ上に或る程度の貢献を齎らすに相違ない、十二月五日附の「ニューヨーク・ワールド・テレグラム」紙には次のやうな記事が掲載されてゐる

化學戰研究の成果として、砒素や水銀の中毒患者の生命が救はれるし、緑内障のために失明しかけた者とか myasthenia gravis といふ筋肉衰弱症とか、或ひは精神分裂症 Schizophrenia のごとき精神症の患者までが全治するかもしれない新しい強烈な毒ガスに關する研究から生れたかうした利益の数々について、「サイエンス」誌上にメアリランド州エツヂウツト兵器廠化學戰部醫學班のオスカー・ボダンスキー少佐がかう報告してゐる

化學戰對抗療法における最も感嘆すべき成果の一つは、將來いや恐らく今でも水銀や砒素の中毒を救ひ得るといふ藥品だ、この化合物は一般にはバルといふ名だけしか知られてゐない、即ち British Anti-lewisite の頭文字をとつた Bal で、英國人がルイサイトガスに對して發明した藥品なのだ、バルのルイサイトに對する効果は、この毒ガス中の砒素と人體組織内の或る種化學藥物との相互作用を逆轉させる所にあるこの化合物の砒素に對する作用に眼を著けた科學者たちは、他の砒素中毒の場合にもバルは効果がある筈だと考へた、つまり微毒治療に砒素化合物を使用して砒素中毒を起したやうな場合である

myasthenia gravis や緑内障の患者は、今に英國の化學者が新しい毒ガスの發見に苦勞していはゆる神経性毒ガスを作り出したといふ事實に感謝しなければならなくなるかもしれない、實驗したものの中には極端な瞳孔收縮を來すやうなものもあつた、この藥品によつて敵が正確な射撃を行へなくなるといふ効果を狙つたのだ

化學戰兵器としては確かに有効だが、よく研究してみるとこれは或る人體酵素の作用を從來經驗

したことのないう程度にまで妨げるにすぎないことが判明した、この酵素はコリネストラーゼだ、現在 myasthenia gravis と緑内障の治療にはプロスタグミンとかフィズスタグミンを使用する、これはいづれもコリネストラーゼの作用を阻止すると信ぜられる物質だ

シアン化水素酸ガスの作用に對抗する藥品を探究するエツヂウツドでの努力は、腦活動に對するシアン化物の作用を再検討するに至らしめ、精神病 schizophrenia の效果的化學療法の可能性を生むことになつた、ボダンスキー少佐はさうした療法が生まれたとはいつてゐないが、その可能性を探る計畫が進行中だとは言明してゐるのである

△新しいズルファ劑

十七日の U.S.I.S は最近の「ジャーナル・オブ・コマース」紙が外傷治療藥としてズルファイオデイン類と呼ぶ新しい一聯の化合物が發明されたことを掲載してゐると報じてゐる、ズルファオンアミド劑の特に效果的な面を代表するこの沃度調劑はストレプトミチン(ストレプトマイシン)、テイロトリチン(タイロスライシン)及びペニシリニンに關する最新の報告と共にニューヨークにおける米國資産家協會科學部年度大會で發表された、ズルファイオデイン劑の發明者ポール・ゲードリツヒ博士は

ズルファイオデイン類はズルファ劑に新生命を與へることになるかもしれない、一般民衆に對するペニシリンの大量的使用が可能となつた結果、ズルファ劑はその副作用のためにも餘り使用されなくなつて來てゐる、そしてズルファイオデイン類は現在外傷以外には使はれてゐないが、それを内用にも應用するための研究が續けられてゐる、その長所は病菌攻撃における非選擇性だ、しかも從來種々有名なズルファ劑の効果を減じてゐた血漿ペプトンその他傷口で邪魔する物質に影響されずに作用する、沃度溶液の類とはちがつて繃帶の下に密封されても組織を傷けるやうなことはない、ガーゼの繃帶に塗りつけても沃度のやうに布地を痛めることは

ないし、局部に發泡することもないと述べてゐる、普通のズルフオンアミド劑を單なる防毒劑から殺菌劑のズルフアイオデインに變へるには沃度一%溶液がほんの少しあればよい、ズルフアイオデインの試験は現在多數の病院や診療所で行はれてゐる

△戦争が生んだ薬

この會合ではその他にも戦争中の醫藥の發達について種々述べられてゐるが、既にマラリヤに關聯して一寸觸れたDDT末についても或る醫師はDDTのごとき效果的な殺蟲劑が發明されたことは、健康の維持と人命の節約といふ點、究極の有用性においてはペニシリンを遙かに凌駕するとまで絶讃してゐる

また或る米國有數の藥品會社の臨床研究所長はかう報告してゐる

テイロトリチンはペニシリンと違つて局部的に使用するだけだが、ペニシリンの外用には限度があり、テイロトリチンも人體組織には全く無害なることが明かにされてゐる、米國人口のうちの老大な數によるズルフオンアミド劑の局部使用が極めて危険であり、しかも局部的に使つても外傷への病毒侵入を防げるかどうか科學者さへ疑問としてゐることを考へるならば、テイロトリチンが局部的に卓效を有することは更に重大な意義をもつて來るのである

△癩癧につける薬がある

ハーヴァード醫學校のウィリアム・G・レノツクス博士が「米國醫學會報」に書いてゐる話だ、トリドーンといふ藥が癩癧に利く、この藥は癩癧が多くの子供の成長と教育に及ぼす萎縮的な作用を除く所に値打があるのだ、博士はこんな驚異的な效果を示した藥はみたことがないといつてゐるが、扱つた患者四十人のうち二八%（即ち十一人）は癩癧の發作がなくなり、五二%は發作の數を著しく減じ、残り二〇%もかなり發作が藥になつたといふのだ、患者の數が少いし、どうしてどんな作用があるのかは分らない、電報が餘りにも簡單

なのである

もう一つこれ以上簡單な報道がある、ミシガン大學社會保健科から十三日インフルエンザの效果的なワクチンが製造されてゐると發表された、インフルエンザは一に看病二に看病だつたのだからワクチンが大量的に出來るとすれば大ニーズだが、このワクチンは軍醫學計畫の一部として製造されてゐるので最近まで軍隊でなければ手に入らず、今後も民需に廻るかどうかは商業生産の速度如何にかかつてゐるといふだけの内容だ

△汗から水蟲の薬

米國海軍當局の發表によると、海軍では艦上勤務に多い水蟲にたいして新しい豫防治療藥を作つたといふ、これは汗の中にある脂肪性の化學物質で undecylenic acid アンデイスイレン酸と呼び粉末または塗布劑として使用される

海軍兵員五千六百人に試験的に使はせてみたところ、硼酸サルチル末とかプロピオン酸とかを含めて他のどんな標準手當よりも好成績だつた、手當しないものを調べてみると二八%が水虫になつてゐたが、この粉末（アンデイスイレン酸、その亞鉛化合物、及び普通の滑石）を規則的に叩きつけてゐることが四%まで低下する、膏劑（アンデイスイレン酸、カーボワックス、プロピレングリコール、トリエタノールアミン）は足部及び鼠蹊の中程度並びに重症の感染を九〇%位まで二三週間で治してゐる

ここいらで醫學界の落穂拾ひを止めて、現在米國醫學界最大の問題とされてゐる國民保健計畫の問題に入らう、トルーマン大統領が十九日議會に對して與へた國民保健計畫に關する教書は社會醫療に關する詳細な提案を示し、國民保險法の制定を審議することを慫慂した、同教書は提案第四條において強制的國民健康保險制度を提唱し、これは醫療の社會主義化ではないと斷つてゐるが、米國醫學會は果然これを醫療の社會主義化なりと斷じ、全米の醫師の間に大波瀾を捲き起した、以下問題の全貌を詳細に紹介したい



陸海統合案教書内容

トルーマン大統領は十二月十九日議會に對し、陸海軍統合に關する教書を送つたが、その内容は次の通りである

一九四五年九月六日の教書において余は國家保全の廣汎且つ繼續的計畫に關し、今會期中つぎつぎと議會に通告するだらうと述べた、余は不用意のために蒙つた今次戰爭の損害をまだ生々しく記憶してゐる現在、長期的國家保全のために適切な準備をなすことの必要性を指摘した、その計畫の一部として一九四五年十月二十三日一般軍事訓練の提案が諸君の考慮を求めるため提出された、本日再び國家保全と世界平和のためは余は諸君に對し、さらに勧告するのである、余は議會が陸海軍兩省を單一の國防省に統合する法案を採決することを勧告する、かかる統合こそ一般軍事訓練と併行して、わが國將來の安全並びに世界平和と保全のための廣汎且つ繼續的計畫を發表せしめる重要な措置である

△世界指導の重任

如何なる國家も今や世界に恒久平和を維持せんとする米國の善意を疑ふものはない、われわれの目的は有效な國際聯合機構を建設せんとするわれわれの努力によつて示されてゐる、然し凡ての國家、特にナチ、ファシスト、或ひは日本によつて蹂躪された不幸な諸國家は、平和に對する希望は如何なる緊急事態においてもその希望を強行せんとし、且つその態勢にある十分な勢力がなければ無益であることを知つてゐる、過去において侵略を奨勵し且つ戰爭を擴大せしめた因子の中には、米國が現實的にこの事實に目を向けようとしたがらず、侵略勢力が力を結集する以前に平和といふ目的の要塞化を拒否した事が挙げられねばならぬ、今やわれらの敵は降伏した、そしてそれ以來米

國民の一部は再び戰爭に關して一切を忘れようとし、特に將來の戰爭を防止するために必要とされる一切の不愉快な要素を忘れようとする傾向が明瞭となつてきた、しかし好むと好まざるにと拘らず、われわれが獲得した勝利は、米國民に世界指導の責任といふ重荷を課した事實を凡ての人が認めねばならぬ、將來における世界の平和は、主として米國が諸國の指導者としての役割を繼續すべき眞に決意してゐるかどうか懸つてゐる、換言すれば、米國がいかなる將來の侵略者に對しても自己防衛のため行動するに足る物的勢力を維持せんとする意思を持つるか否かに懸つてゐるのである他の聯合諸國とともどもに、われわれは將來の侵略戰爭から世界を護るために必要な犠牲をなすことを承諾しなければならぬ、要するにわれわれは將來の侵略者をして、米國は恒久平和のための決意において、實力を持つてゐることを確信せしめるに十分な軍事力を常に維持し、且つ直ちに行動し得るやうに準備しなければならぬ

△我等の敵は降伏した

わが現行國防組織の不完全を恒久的に解決すべく、われわれが今動かないならば、國家保全に對して重大危険を與へることになる、第二次世界大戰において調整的統合司令部の必要が大きかつたことはいふまでもないが、萬一世界平和に對して將來の侵略がありとすればそれ以上に重大である一九四一年以來戰時授權法の下に大統領によつて陸海兩省の組織に改善が加へられた、もし議會がこれら權限が失効となる以前に措置を講じなければ、兩省は戰前組織の狀態に逆戻りするであらうこれは悲しむべき過失である

合同參謀本部は統合司令部ではない、合同參謀本部は、それが成功するか否かにそれを構成する機關の自發的協力に俟たねばならぬところの委員會にすぎない、戰爭期間中國家が極めて危険に當面した際、高度の協力があつたことは勿論であるしかし平時においては情勢は變るだらう、現行の合同參謀本部が平時資源の配分においても、戰爭計畫の立案乃至遂行において示したと同様に有効であると信じてはならない、國防豫算が緊縮されるに従ひ、また政策乃至戰略の大きな問題に於て

利害が相反するに伴つて、満場一致の取極めはますます到達困難となるだらう、しかして衝突する利害の眞只中で、以上述べた線に従つて米國軍隊を再組織すること不可能なるは明瞭である、われらの敵は降伏した、かくて余は議會が軍隊運営を再組織せしめるための手續を進めるやう要請するのである

△統合の理由

一般問題をさらにとやかく検討することは何等有益な目的とはならない、疑問の餘地なく統合の必要を證明する證據は十分である、單一國防省の設置を求める數多くの理由は、既に公開の論議や議會の委員會公聽會で明らかにされた、余にとつて統合の最も重要な理由は次の九項である

- 一、綜合的戰略計畫と統合的軍事計畫並びに軍事豫算を持たねばならぬ
- 二、供給及び勤務機能の統合によつて齎らさるべき經濟を悟るべきである
- 三、軍事部門と政府の他の部門との間の調整に最も適した組織的機構を採用すべきである
- 四、文官による軍事の統制のために、最も強力な方法を提供すべきである
- 五、空軍を陸海軍と同格に組織すべきである
- 六、陸海空共同作戰を訓練するための統合組織に對して、最も有利な骨組を作らねばならぬ
- 七、科學研究の制限された資源を組織的に配分しなければならぬ
- 八、遠隔基地の司令部は統一さるべきである
- 九、一貫せる且つ適當なる人事政策を樹立しなければならぬ

△軍隊の再組織

然し以上述べた條項を實行するやうに規定した如何なる法案も、統合を完成する終極的組織計畫を直ちに實現し得るものではない、それは單に統合された新省の最高部に關する一般的構成を示してゐるにすぎない、余は軍隊の再組織はつぎの如き廣汎な線に沿ふべきであることを勧告する

一、單一國務省を設置すべきこと、同省は武裝的

國防にたいして完全責任をもち、現在陸海軍兩省に包含されてゐる軍人及び文官によつて構成される

二、同省の首班は閣僚たる文官にして國防長官と呼ばれる、同長官の下に文官による次官一名、同じく文官による次官補數名が置かれる

三、國防省の中には調整された三つの部門がある

一つは陸軍、一つは海軍、他の一つは空軍である、各部門には夫々一名の次官補が置かれるが海軍は勿論、空母、水上基地空軍を保持することが出来る、それらは有効な艦隊作戰に極めて必要なものであることが證明されてゐる、しかして海兵隊は海軍の缺くべからざる一部として繼續さるべきである

四、次官及び次官補がどんな仕事を割當らるべきかは大統領及び國防長官が時に應じて決定する

五、大統領並びに國防長官は必要に應じて、軍人及び文官の中央調整的業務機關を設置する十分な權限を與へらるべきである、これらの機關のあるものは次官補の下におかれ、またあるものは中央業務機構として、そしてまたあるものは同省軍事指導者の意見を纏めるために、最高軍事首腦の間において組織せられるかも知れない、余はこの際これらの機關の正確な性質を特記し得ると信じない

六、國防省には一名の參謀長がおかれる、これと同時に同省構成の三部門、即ち陸海空軍のそれぞれに司令官がおかれる

七、參謀長並びに陸海空軍の司令官は一丸となつて、國防長官及び大統領に對する諮問機關を構成する、大統領、國務長官その他文官當局が三部門の司令官に對して基本的軍事戰略、政策乃至は豫算の分割等の重要問題に對して通告する事を妨げる何物もあつてはならない、さらに全省の重要地位は三軍から選拔した將校をもつてあてらるべきで、その結果、同省の意見が三軍の内どれか一つ或ひは二つによつて支配されることはないだらう、さらに用意を加へるならば、參謀長の椅子はすくなくとも新省の進化期間中は三軍の間の輪番制とすることが望ましい、參

謀長として奉仕する將校の服務期間は比較的短期たるべきで、二年乃至三年とし、しかし議會が戰爭狀態を宣言した場合でなければこの期間を超へてはならない

△眞の統合

軍隊の統合は多くの複雑と困難が伴ふところの長期事業として眺めなければならぬ、以上述べた性格を法制化することによつてわれわれは目標を與へられ、そして前進する最初の手段を與へられるだらう、軍人と文官が省内の指導権を目指して努力することにより、眞の統合が齎されるであらう、統合は組織の問題以上のものである、それは新しい觀點、新しい綱領、そして全省機構の中に新しいものの考へ方がゆき互ることを必要とするしかしながら平時における比較的閑暇時に、わが參謀と野戰軍司令官の熟練と經驗を活用して、われわれは直ちに最も有效な國防保全を達成すべく出發しなければならぬ、統合された省がひとたび設置されるならば、廣汎的國家保全計畫の設定に必要な他の措置は極めて容易に採られ得るだらう當初の計畫以上の大きな業績が國務省、陸軍省、海軍省の調整委員會の設置を通して一貫的、政治的、軍事的、政策の達成においてなされた、余はさきの議會教書において聯邦科學局の設置を提案した、同局の責任の中には國防及び國家保全に屬する基本的科學の増進と、調整に關する責任が含まれねばならぬ、政府の調整的計畫の發達の現れとして、廣汎な諜報組織が目下具體化してゐる、國家保全の廣汎且つ調整的計畫を確保するためにさらに措置を採ることの必要が明らかにあれば、余はその目的のために適當な勸告乃至必要な措置を講ずるであらう

△問題の明澄化

米國民はすべて、軍隊内乃至は上下兩院の委員會でなされた自由な討議によつて啓蒙され且つ満足してゐる、議會も、國民も、そして大統領も、その他の方法では與へられなかつただらうところのこれら討議による問題の明澄化によつて利益を享受した、著名なる先任將校、或ひは文官の或る

人々によつて猛烈な反對が表明されてゐるけれども、余はひとたび統合がわが國策として決定されるならば、統合を成功させるやうに最善を盡さないう將校乃至文官は、どの分野にも無いだらうと確信する、余はわれわれが最大困難な仕事を企圖してゐるとの十分な認識において、前述の勸告をなすものである、しかしこの仕事は完成された曉、われわれは平和と安全を達成するための國家計畫の分前を實行するのに、現在のそれに比し遙かに良く適應した軍事機關を持つたらうことを確信する

大西洋横斷日航定期空路開始

(ニュー・ヨーク二十一日) アメリカン・エアライнсでは十二月二十六日から史上最初の毎日一回といふ大西洋横斷定期航空輸送を開始する、現在米英兩國間の航空便は週五回である

X B 36 いよいよ出現

(ワシントン二十一日) 陸軍航空隊當局は二十日B 29より五十噸以上重い新超重爆撃機の試験飛行準備が間もなく完了する旨發表した、右爆撃機はテキサス州フォート・ワースでコンソリデーテッド・ヴァルティエー會社の手で組み立てられてゐる新爆撃機はX B 36 (Xは試作機の符號)と稱せられ、航空隊機關誌に發表された資料によれば、B 29との比較は

全長	X B 36	B 29
尾部の高さ	一六三呎	九九呎
	四六呎	二七呎

となつてゐる、全般的な外觀ではX B 36はB 29を大型にしたやうにも見えるが、重要な相異が一つある即ち主翼の後縁に六基の發動機を有し、反轉式プロペラを裝備してゐることだ

發表によれば新爆撃機の作戦半徑はB 29の一千六百哩に比し實に五千哩に達し、補助燃料槽をつけずとも東京からニュー・ヨークまで無着陸で飛翔し得る、最近B 29が行つた東京・グアム・ワシントンの長距離飛行は爆弾倉に補助燃料槽を積み込むことによつて完成されたのである

新爆撃機には過壓室設備があるから三萬呎以上の高々度飛行も可能で、前後部はB 29と同様トンネルで連結されてゐる、乗員は十七名である

昭和二十年十二月廿七日(木)
第 四 六 號

時事通信

海外電報

(46)

【目 次】

モスクワ會談公報	四七八
ス議長、バーンズと再度會談	四七八
印度聯盟緊急會議	四七八
會議派の優位揺がず	四七八
「國境のガンジー」、聯盟を非難	四七八
スペイン共和派動く	四七八
法王廳、新樞機官を任命	四七八
極東諮問委員會變質か	四七八
新西蘭、大國專制に反對	四七八
【西 亞】	
イラン叛亂益々擴大	四八〇
英埃同盟條約の修正を要求	四八〇
【歐 洲】	
スペイン民主化未だし	四八一
瑞西、洪政府を承認	四八一
佛大使、モロトフと會見	四八一
フランスの新兵力	四八一
【米 洲】	
米加國境委員會結成	四八一
議會閉會	四八一
ハワイを州に編入	四八一
陸軍新次官補任命	四八一
GM罷業に直接交渉勸告	四八一
罷業狀況發表	四八一
ゴム工業豫想	四八一
キルゴア慷慨	四八一
政治放送を禁止	四八一
墨外務省、米大使へ回答	四八一
【戦後處理】	
ヴァチカン日本代表機能停止	四八三
日本貿易を更に六ヶ月禁止	四八三
【特 輯】	
「二つの世界」建設の理念と施策	四八三
【資 料】	
UNESCOの機能と活動	四八八
佛蘭カリブ委員會に参加	四八八
(ワシントン二十日)國務省は二十日次の通り發表した	四八八
フランス、オランダ兩國政府は米英カリブ委員會に参加を求めた米英兩國の招請を受諾した、同委員會の名稱は適當に變更される筈で、適當な時期に關係四國政府によつて共同公報が發表されるであらう	四八八



モスクワ會談のコミュニケによれば、平和諸條約の締結についてはソヴェト政府の主張を骨子とした和協案が成立したとみることが出来るよう、ロンドンでの五ヶ國外相理事會で、ルーマニア、ブルガリア兩國との平和條約案につき、モロトフ外務人民委員が突如佛華兩國代表の退場を要求し、遂に會議決裂の原因を作つたが、今度モスクワ會談の協定ではこの點、はつきりモロトフ外務人民委員の主張が貫徹されてゐる、イタリア政府との平和條約案に、フランス政府を参加させてゐるのは、一見ソヴェト政府の譲歩のやうに見えるが、テヘラン會談以來スターリン元帥が再三指摘してゐるのは、國際聯合國の名において、風する馬牛も相及ばぬ諸小國が、歐洲の平和處理に參劃するのは可笑しいではないかといふ點だ、イタリア政府との平和條約案にフランス政府が一枚加はるのはこの意味でもつとも可笑しくない、更にフィン

ランド政府との交渉に米國政府が遠慮したあたり、今度の協定は仲々含蓄が深い、しかも二十一ヶ國の平和會議を開催するといふ點は、明かにバーンズ國務長官の持論が貫徹された譯で平和諸條約案起草

の手續に關する限り米英ソ三國はロンドン會議以來の懸案を大局的に片付けたと言へよう、二十一ヶ國のうちに白露共和國とウクライナ共和國とが初めて獨自の外交主權をもつて參加してゐる點も國際政局の今後を卜する上に重大な新出發と見るべきだらう、トルーマン大統領は米國外交の高點を歐洲から東亞に轉ずる方針で、バーンズ國務長官に對しても、歐洲については互讓策に出るやう訓令してゐると傳へられるが、歐洲の平和處理に關する協定だけではモスクワ會談の貸借對照表を作成することは出来ない、イラン問題、中國と朝鮮の問題、極東諮問委員會の權限等々、更に新時代における國際政府の推進力「原子力」の管理についてモスクワ會談が如何なる取極めに到達したか、あたかも氷山の如く公報に言及してゐないところに、より重大な問題が潜んでゐるのではなからうか

モスクワ會談公報

— 平和條約締結の手續を協定 —

(モスクワ二十五日)タス通信社は二十五日夜モスクワ會談に關する次の公報を發表した

「ソヴェト聯邦、合衆國並びに英國の外相會議において次の協定が成立した

ソヴェト聯邦、英國並びに合衆國の政府は、平和條約の準備に關する次の手續について意見一致し、佛華兩國政府の參加を要請した

一、外相理事會がイタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー、フィンランド各國との平和條約を起草するに當つては、ベルリン會議において採擇された各相理事會設置に關する協定(加國だけが起草に參割し、外相理事會が當該國に直接關係ある諸問題について、理事會の他の成員を招請しない限り且つ招請するまで、他の成員は參加しない

A、イタリア政府との平和條約は、英米ソ佛四國外相が起草に當る

B、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー各國との平和條約は、ソ米英三國外相が起草にあたる

C、フィンランドとの平和條約は、ソ英兩國外相が起草する

關係各國の外相代理はロンドンにおける外相理事會の第一回會議において到達された諒解の基礎に基き、主にロンドンにおいて事業を再開する

二、これ等平和條約草案の準備が完了するとともに、理事會はイタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー、並びにフィンランド各國との平和條約案を考慮する目的の下に會議を開催する、會議は外相理事會の成員五ヶ國並びに、相當の軍事力を以て歐洲の各敵國にたいし活潑に戰爭を遂行した國際聯合のすべての成員各國、即ち合衆國、ソヴェト聯邦、英國、中國、フランス、濠洲、ペルギー、白露ソヴェト社會主義共和國、ブラジル、ギリシャ、オランダ、印度、カナダ、ニュージランド、ノルウェー、ポーランド、ウクライナ、ソヴェト社會主義共和國、チェコスロヴァキア、エチオピア、ユーゴスラヴィア、南阿聯邦の各國

から成る會議は、一九四六年五月一日よりも遅からぬ日時に開催される」

ス議長、バーンズと再度會談

(モスクワ二十四日)スターリン議長は二十三日バーンズ國務長官及びモスクワ駐米國大使アヴリル・ハリマンと再度會見、モロトフ外務人民委員を混へて二時間に亘り意見の交換を行つた

印度聯盟緊急會議

(ロンドン二十四日)英國印度聯盟は二十四日緊急會議を開催、諸決議案と現下の印度情勢に關する二つの報告を討議することになった、決議案は俘虜の釋放と處理、インドネシア並びに佛印問題印度國民軍の公判、カルカッタにおける最近の發砲事件、英國における印度工作の促進等に關するものと傳へられるが、報告は印度の當面する主要問題、特に獨立を目指す國民會議派の英雄的立場の支持を強調するものといはれ、政治報告はシャルヴェンカル博士が朗讀し、組織報告はマネック・ヴァジフダールによつて朗讀されることになつてゐる

會議派の優位揺がず

(ニューデリー二十五日)印度中央立法會議々員選舉の現在までに判明した中間報告によれば、百二の議席のうち國民會議派は五十五を占めて壓倒的多數を示し、回教徒聯盟が二十七、無所屬五、歐洲人八、シーク教徒が二で、五議席が残されてゐるが、國民會議派の優位が揺がないことは既に確實である

「國境のガンジー」聯盟を非難

(ボンベイ二十四日)印度中央立法會議の選舉は國民會議派が二對一の割合で回教徒聯盟をリードしてゐるが、西北國境州で「國境のガンジー」といはれるアブヅール・カーン・ガファールは回教徒聯盟を非難して次ぎの如き聲明をベシヤワールにおいて發表した

回教徒聯盟は英帝國主義の所産で分割統治の古いスローガンをもてあそんでゐる、パキスタンと呼ぶこれら虚偽のスローガンは單に彼の主人の聲にすぎない、回教徒聯盟の政策は回教徒にとり自殺に等しい、聯盟が間もなくウオーターローの運命に陥ることは確かだ

時事通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

スペイン共和派動向

(メキシコ・シテイ二十五日) スペイン亡命政権首相ホセ・ヒラールは二十七日當地發パリに赴く旨を發表したが、パリではスペイン平和派各領袖と會同、亡命政権の再組織と、各派の大同團結を策するものとみられてゐる、元首相ファン・ネグリンは二十四日、米國よりロンドンに歸つたが、歸着早々新聞記者團との會見で「スペイン共和派の現在の見透しは四年來嘗つてない光明に満ちてゐる」と語つたと傳へられる、右は最近フランコ政権と聯合諸國の關係がとみに惡化したとの判斷に基くもので、メキシコ・シテイに四ヶ月前に成立した亡命政権はフランコ政府の倒壊後は、直ちに中間内閣として正式政府成立までの責任をとる用意ありと稱してゐる、亡命政権側では最近米國國務次官ディーン・アチソンと元首相ネグリン及び亡命政権外相フェルナンド・デ・ロス・リオスの會見に特に重大意義を付してゐる、なほロンドン電が「ニューズ・クロニクル」紙マドリッド電として報ずるところによればマドリッドより四十哩をはなれたクレドット及びグアダランマオ方面では有力なゲリラ部隊が活躍してをり、裝備も近代化されて政府軍も鎮壓に悩みつゝあるといはれる

法王廳、新樞機官を任命

(ヴァチカン・シテイ二十四日) ローマ法王ピオ十二世は二十四日夜恒例の降誕祭ラジオ放送を行つたが、その中で「全體主義は人類悲慘の根源」であると述べ、權力、富等による人工的創造の終末を希望した、法王廳は同時に新たに三十二名の新樞機官を任命したが、これで定員七十名全部が任命されたわけで、前例の殆んどない大英斷と解されてゐる、また樞機官總員のうちイタリア人がただ二十八名しかゐないことも注目され、四十二名ものイタリア人以外の樞機官が生れたことはローマ教會始つて以來の出来事である

極東諮問委員會變質か

(ワシントン二十五日) 當地當局筋の洩らす所によれば、二十六日訪日の途につく極東諮問委員會

はその呼稱から諮問の語を取り去つたといはれるこの變化は米國が日本管理政策の決定に聯合諸國の發言權増大を認める用意あることを示したものと云へよう、但し米國はソヴェト聯邦を含む聯合諸國に政策決定への參制は許しても、日本國內の政策遂行に關する限りは最高權威を保持することを主張してゐると傳へられる、それにしてもこれは委員會には純然たる推薦權しかないといふバーンズ國務長官の言明を覆したものだ、勿論米ソ兩國間で日本における政策遂行の方式化に關し意見の一致に到達したとは考へられないが、極東委員會出發前に大國間の協定が出来上がることが望まれてゐる

新西蘭、大國專制に反對

(ワシントン二十五日) ニュージーランド首相ピター・フレザーはトルーマン大統領並びにアチソン國務次官補を訪問會談した後、新聞記者團に對し次の通り語つた

「大國間の會談は大國專制を齎らす可能性があるこれはわれわれが目標として戰つて來たものと正反對だ、戰爭中には米英ソ三國の代表が會議することも必要だつたらうが、平和時代には却つて危険千萬だ、日本管理についてはいよいよ極東諮問委員會が決定的な發言權をもつべき時が來たやうだ、いまの所委員會は推薦權をもつだけでマツカーサー元帥が絶對權を有するが、諮問委員會に加つてゐないソヴェト聯邦は四國委員會をもつてこれに替へようとしてゐる、しかしニュージーランドは日本における實際の行政を米國に任せることに異論はない、自分個人に選ばれば最高行政官はやはりマツカーサー元帥だらう、ただ行政に關する命令だけは十一ヶ國共同のものにすべきで、一ヶ國が獨占してはならないと思ふ、自分はロンドンの國際聯合總會で二つの戦ひをやる、即ち安全保障理事會における五大國拒否權の廢止と、本部をニューヨーク州ハイパークに持つて來る案だ」

【西 亞】

イラン叛亂益々擴大

(テヘラン二十三日) ハキミ首相はソ聯を後楯とするイラン議會少數派の要求に押されて内閣改造を決意、手始めに二十日反動分子と目される内相カリ・フエジミを罷免したが、フエジミはハキミ首相の罷免措置を承服せず、二十一日の「ヴァジフエー」紙に聲明を發表して、「イラン憲法によれば辭職しない限り更迭は不可能だ」と強硬に主張、そのためイラン内閣は分裂の危機に直面するに至つた、以上の閣内紛争とは無關係にアゼルバイジャン州の革命運動は愈々激化し、同州の樞要都市アルデビルの政府軍守備隊は二十二日叛軍に降伏、レザエー市の陥落も既に時間の問題とみられるに至つてをり、更にセイド・ジャ議員の觀測ではカスピ海南岸のマザンデルラン州でも茲二週間に以内に革命勃發の氣運にあるといはれる

他方イラン軍厘謀本部は二十三日

テヘラン東南七十五哩のガラムサル地區に武装市民と赤軍部隊、戰軍隊の大集團が集結してゐるなどの情報に軍諜報機關からあつたと言明した

英埃同盟條約の修正を要求

(ロンドン二十一日) UP電報によればエジプト政府は二十日英國外務省に對し、一九三六年の英埃同盟條約の修正とアングロ・エジプト・スーダン問題の檢討を要求する通告を送つたと傳へられる、右通告においてエジプト政府は最早英國軍隊がエジプトに駐屯する軍事的必要なしと述べてゐる

【歐 洲】

スペイン民主化未だし

(ワシントン二十一日) 前駐スペイン大使ノーマン・アーマは二十一日の記者會見で、スペイン事情につき左の如く語つた
「スペインにおけるドイツ人所有資金を封鎖し、ドイツ大使館にあつた資金押収の仕事は可成りまく行つたものと考へる、一部ドイツ關係諸事業も

接收買却したが、その代金及び資材は賠償の一部に充當することになつてゐる、ナチ黨員はドイツに送還してゐるが、なほスペインに止つてゐるものは監理下におかれてゐる、ボツダム宣言中、スペインに關する部分の或るものは、スペインでは新聞紙に單に解說的に掲げられたにすぎない、然し米大使館のブレチンでは全文を印刷配付した、大使館ブレチンは九萬部を刷つてゐる、フランコ將軍が、その政權を聯合國側に受け入れられるやうに改革する努力については尙十分なものがあるとは云へない、最近のスペインの政策で變革らしいものは唯一つ、それはフアランへ黨から新聞監督權を取上げたことと、來る三月地方選舉を行ふことを決定したことだけである、フランコ政府は聯合國側のナチの諸組織を解散せしめる努力には協力してゐるが、目下スペインにあるドイツ人は一萬五千人位で、その内五千名位が「頑固」な者共で、これが送還の對象になるわけだ、スペイン國內ではいまの處は組織的なフランコ反對運動は見られない

瑞西、洪政府を承認、

(ベルリン二十三日) スイス政府はハンガリーの新聯立政府を二十一日承認した

佛大使、モロトフと會見

(モスクワ二十三日) モスクワ駐劄フランス大使ジョルジュ・カトルーは二十日クレムリン宮にモロトフ外務人民委員を訪問、ズデーテンランド國際管理案その他について意見を交換した

フランスの新兵力

(パリ二十二日) フランス情報相アンドレ・マルローの發表によればド・ゴール案によるフランスの近代化陸軍兵力は五十萬でこの外に二萬五千の將校を擁することになる、海軍は六萬五千が豫定されてゐる、陸軍の内譯は十萬五千の本國軍、北阿軍が十萬、ドイツ占領が十二萬、植民地及び極東軍十二萬、憲兵五萬五千である

【米 洲】

米加國境委員會結成

(ワシントン二十二日) 國務省は二十一日米加兩國の國境問題調査のため兩國政府が共同委員會を設立することとなつた旨發表した、委員會は米國務省、カナダ外務相代表をはじめ兩國の關稅その他關係政府機關の代表によつて構成されるが、委員會は共同で兩國政府に對し勸告を行ふこととならう、委員會の研究すべき主な事項次の通り

- 一、國境を通過する旅行者に對する手續の簡易化
- 一、國境近くにある飛行場に發着する旅客に對する關稅手續き
- 一、自動車旅行者の取締り
- 一、鐵道輸送貨物の取扱ひ
- 一、國境行政事務の統合

議會閉會

(ワシントン二十二日) 上下兩院は二十一日第七十九議會第一會期を終へて年末年始休會に入つた第二會期は明年一月十四日開會される筈である、議會は第一會期中數々の重要法案を可決したがその主なもの次の通り

- 一、總額六百六十億弗の一九四五—四六年度豫算
- 一、總額五百二十億弗の未使用軍事豫算の取消し
- 一、國債限度の三千億弗までの擴大
- 一、國際憲章の批准及び米國の國際聯合加入に關する細目規定の可決

一、アンラに對する米國割當資金の承認
一、ブレトン・ウッズ國際金融協定の承認
一方現在議會の懸案となつてゐる主な重要法案次の通り

- 一、最低賃金増額法案
- 一、餘剩船舶處分法案
- 一、軍事訓練法案
- 一、陸海空軍統合法案
- 一、原子力開發統制法案

ハワイを州に編入

(ワシントン二十二日) イツキーズ内務長官は二十二日ハワイ屬領の州編入につき要旨左の聲明を

發表した

戰爭のため議會におけるハワイの州編入審議は延期となつてゐたが、既にこれ以上これを延期する必要はなくなつたと考へる、ハワイの住民は同屬領が州に編入されることを希望してをりまた十分その資格あることを現實に立證した一方議會には既にハワイを州に編入する法案が提出されてゐるが、近く議會の特別委員會がハワイに赴いて實狀を調査することとなつてゐる

陸軍新次官補任命

(ワシントン二十二日) トルーマン大統領は二十二日ハワード・C・ピーターゼンを陸軍次官補に任命した、ピーターゼンは現在までバターソン陸軍長官の特別輔佐だつた

G M 罷業に直接交渉勸告

(ワシントン二十二日) ジェネラル・モーターズ社罷業調停のためトルーマン大統領により任命された實情調査委員會は二十二日會社側及び合同自動車労働組合側に對し、来る二十八日までに直接交渉により罷業解決を實現するよう勸告、もしそれまでになほ罷業が解決されない場合は委員會が實情調査に乘出す旨通告した、一方デトロイトでは會社、組合双方が来る二十六日から直接交渉を再開することに同意した

罷業狀況發表

(ワシントン二十三日) 勞働省は二十三日戰爭終戦後の米國産業における勞働罷業狀況を次の通り發表した

ジェネラル・モーターズ社における罷業をはじめ現在米國には相當の勞働不安の存在することは事實だが、全般的には大部分の工場は操業停止も或ひは大きな勞資間の争ひもなく順調に經營が行はれてゐる、さらに多くの會社はトルーマン大統領の賃金價格政策に従つて「困難なく」勞働者賃銀の引上げを行つた、日本降伏以後十二月二十一日までに發生した勞働罷業の件數は五百六十五、これに参加した勞働者數は百五十五萬、これによつて失はれた勞働日數は二千四百萬日であつた

ゴム工業豫想

(ワシントン二十三日) 米國ゴム會社々長ハーバート・スミスは二十三日、米國ゴム工業の明年における見通しにつき次の通り發表した

「明年の米國におけるゴム生産高は今次大戰前の最後の平和年度だつた一九三九年のそれを六六%方突破しよう、これを金額にすれば一九三九年の九億弗に對し明年の生産額は十五億弗とならう明年におけるゴム製品の主要なものは自動車タイヤとなるべく、その産額は八千萬個と豫想され、うち六千六百萬個が乗用車用タイヤとならう、明年米國のゴム消費高は戦前の年の殆んど二倍にも上るべく、即ち戦前の平均消費高五十四萬噸に對し、明年のそれは九十萬噸に上ることが豫想される、この消費のうち三分の二までが人造ゴムで賄はるべく、天然ゴム使用は三分の一にとどまるだらう

明年の世界ゴム需給は生産過多が豫想され、全世界のゴム消費高百四十萬噸に對し生産高は百九十九萬噸に達すると見込まれる」

キルゴア慷慨

(ワシントン二十二日) 上院ドイツ戦力調査委員長ウエストヴァー・ジニア選出民主黨議員キルゴアは米國の對獨政策の軟化を非難して二十二日次の通り言明した

ドイツの戦力を掃滅するといふわれわれの當初の目的は全く失はれた、米國軍政府官吏のうちには國務省の後楯を得てカルテル制度に同情的態度をとつてゐるものもあり、事實國務省はドイツ工業戰爭機構の復活を許すやうにボツダム協定の再定義を行つたのだ、但しこれには大統領の同意はなかつたと信ずる

政治放送を禁止

(メキシコシティ二十日) メキシコ内務省は二十日、全國の放送局が政治放送を行ふことを禁止する旨の新法令を發布した

墨外務省米大使へ回答

(メキシコ・シティ二十一日) 米國務省はメキシコへの武器密輸問題に關し調査するやうメツサー・スミス大使に指令したが、メキシコ外務次官は同大使に對して次の如く通告した

一、メキシコ政府はロンバルド・トレダーノの言明に關係を有するものでなく且つそれを支持するものでもない

二、政府は目下問題を明らかにすべく調査を進めてをり、調査の結果を米國大使館に報告する

【戦後處理】

ヴァチカンの日本代表機能停止

(ヴァチカン・シティ二十一日) ローマ法王廳は二十一日、ヴァチカン駐在日本代表は、日本の外交機能が聯合國によつて停止を命じられた結果として、正式な外交官としての機能は停止せしめられるが、今後當分ヴァチカンの賓客として、外交官待遇を與へらるべき旨を發表した

日本貿易を更に六ヶ月禁止

(ワシントン二十二日) 内外通商局は二十二日、日本の外國貿易に關し次の通り發表した

「國務、陸軍、海軍の三省は日本の民間人による貿易禁止をさらに少くとも六ヶ月間維持するに決定した、しかしして日本品の米國內における處分には米國商會社が當るであらう、陸軍省は日本品の取得及び輸送にあたり、その取得に關しては陸軍省が日本の關係政府機關に指令を與へることとならう、米國商會社は米國において容易に賣却し得るとき日本品のみを取扱ふべく、これがため同社は日本品の供給状態視察のため三名の専門家を日本に派遣しよう、商會社は日本品の賣却により得た資金を陸軍省に納入すべく、この資金は陸軍の主計總監に渡され、總監はこれを日本に供給すべき米國品の取得のために使用することとならう、これ等米國品は當分の間は、日本國民の最低生活を維持するに必要な食糧その他に限定されようが、やがて外國爲替が更に潤澤となつた場合には日本經濟を再建し、日本の平和産業を復興する上に必要な物資の購入も行はれるにいたるだらう」



「一つの世界」建設の

理念と施策

長谷川才次

聖アウグスチヌスは「神のもとにおける國家」(republica sub Deo)即ち全人類の國家を認め聖トーマス・アクイナスは個人が國家の一員たる如く、各國もまた全人類國家の一員であり、全人類の國家は神を首班とし、自然的通俗原理即ち自然法によつて支配されると主張したが、エルンスト・チーデルマン教授がウーレン法學會において「世界法の可能性」(Die Moeglichkeit eines Weltrechts)を論じてから、ここに半世紀、世界國家の觀念乃至世界法の理論が、國際聯合總會の開催を前に、世界政局の現實として取上げられるに至つた、勿論ローマは一日にして成らず、世界大戰終了後の世界主義的機運が、順風満帆「一つの世界」(One World)を建設すると考へるのは反動時代に國家主義がすべてだと思ひ込んだのと一般だが、少くとも今回の大戰に、大きな生産力を發揮して、實際に世界を支配してゐる米國に、世界國家の理念が極めて強く且つ眞剣に取上げられてゐることは事實だ

△幸福な世界の建設

いふまでもなく「一つの世界における最初の市民」は、共和黨の大立物故ウエーデル・ウィルキーであり、ハーバード大學の哲學教授ラルフ・バトン・ベリー氏も近業「One World in the Making」を「自ら一つの世界を発見して、米國の同胞に示してくれた」同人に獻じてゐる、教授の近業は世界國家の設計圖ではない、實際の設計は國際聯合の各機關に委ねるのが至當だからである、教授は一つの世界の原理を説いてゐるが、中世の教父が、自然的道德原理を、世界國家の基調としてゐるのに同じく教授もまた道德の原理を一つの世界の土臺石として取上げ、「物理的に統合された地球の上に、道義的に統一された人類」社會の建設を雄辯に主張してゐる、「世界的良心(world conscience)がなければ、國際的な各機構は何んの役にも立たない」から、教授は世界

的良心の育成に努める譯だが將來に對する希望を「先天的たると後天的たるとを問はず、人間本性の永遠の可塑性(perpetual plasticity)」に繋つてゐる、といつても教授はすべての人間が明日直に改宗するとは期待してゐない各、國政府は將來のよりよい時代には汚名を着せられるかも知れぬやうな手段でも今日訴へ得る手段あらゆる、手段によつて自國民の利益を擁護するであらう、各國が新たな國際機構に住み込むことが出来るやうになるまでは各國の生活を停止し政治を停止し自國民に對する責任を停止することは出来ない」従つて多幸な成果を上げるまで、各國とも偽善を避けねばならぬ「外交手段」に訴へ、同盟とか勢力圏とか權謀外交とか軍備とかいふ措置に出ても、自ら清しとして他國を非難してはならず、己の目の梁りを片付けるのが先決問題だとは教授の現實的主張である

教授は實體的事實、道德的基礎、政治的骨組、國際法、世界經濟、文化、教育並びに宗教の八章に分けて、正しい世界統合等を検討してゐる

現存の「一つの世界」は「正しくかつ幸福な一つの世界」とは言へない、正しく且つ幸福な「一つの世界」を建設するためには教授の言葉をその儘引用しよう——「人類がともに死んでしまはないためには、共に生活することを學ばねばならない」——一つの世界建設の理想は、「人の血と肉とによつて達成され、實體的社會的機構のうちに、具體化するべき目標」であり、道義は實踐さるべき藝術であり、共同の良心は堤防や工場と同じく作り上げられねばならない

△道義は政治的藝術

道義は先づ何よりも政治的な藝術である、輿論を一國內においても國際的にでも表現する藝術である、經濟の分野においても、ベリー教授は「道德的問題の道德的解決」を主張し、世界的經濟體制を確立するには

物資のために統率してゐる一切の社會が、力づくの奪取による戰鬪的方法を棄てて、すべてに行き亘るだけ生産して、交換によつても正しく分配する平和的方途をとらねばならない

文化の部面においても、世界的文化 (global culture) を建設するために、學藝の士も象牙の塔を出て、特權に伴ふ責任を果たさねばならず、宗教の分野においても「基督教團を通じ、さらに教團を越えてすべて善意の人々に及ぶ」「道義的連帶」を打ち樹てねばならない

ペリー教授の近業は要するに哲人の説く高遠の理想に過ぎないが、實際政治の部面から平和建設の具體案を頻りに提唱してゐるのが、前ミネソタ州知事ハロルド・スタツセン氏だ、トルーマン大統領がいはいゆる「産業上の抗争」解決に手古摺つてゐる現状で、スタツセン氏が次の大統領に選舉されるだらうとの觀測が、早くも米國政界に擡頭するに至つたが、氏はニミツツ提督の副官として太平洋作戦に参加、極く最近除隊になつたばかりだ、歸還早々十二月十七日シカゴにおける米國農民婦人協會の席上、「平和への飛び石」について次の通り述べてゐる

△二つの缺陥

「平和への途上において米國と世界とが直面する諸困難について、我々は現實的でなければならぬが、同時に樂觀的態度を持し、一瞬間たりとも「どこも出来ない」などと弱音を吐いてはならぬ米國の立場から見ても、平和の建設に絶対必要な要件は六ヶ條だが、此等六ヶ條を互に組合せれば、世界平和への過程における確乎たる飛び石とならう、六ヶ條とは

- 一、高度の工業生産
- 一、利益を上げる農業
- 一、勞働層に對し充分な報酬を與へる仕事
- 一、經營と資本とに對する相當の利潤
- 一、定安した通貨
- 一、すべてに對する個人の自由

だ、世界の平和には先づ米國に健全な經濟を確立することが必要條件である、米國人は國內において一致團結するとともに、全世界各國との間には信義を基礎に、善隣をして生活を続けねばならない、この基礎の上に共同の利益に奉仕し、正義を確立して秩序を維持する、世界政府の明確な機構が樹立される要あり、原子爆彈發見の結果、國際

聯合の憲章を基礎として、世界的な政府の發達を圖ることが喫緊の急務となつた、既に國際聯合組織が見事な滑べり出しを示したのだから、われわれはあくまで右組織の發展を推進せねばならぬ、これこそ前面に蔽ひかかる多少の暗雲に對する銀の裏打ちである」

スタツセン氏は十九日夜シンシナチにおける、米國法曹協會の第六十八回年次大會に臨み、「政治學における自由人の新たな回答」と題し、再び世界政府建設の過程を説いて曰く

「世界的水準における政府が不充分であつたため一世代の間に前後二回に亘る世界戦争が起り、全世界的な不景氣を誘致した、生産が最も必要とされてゐる際における、極端な産業上の抗争が持上つてをり、數百萬の住宅が不足してゐることが、米國內政上の缺陷の二つの顯著な實例である、勞働關係について外相回答を見出すことが刻下の急務である」

原子力の管理、眞に國際的な警察力の確立とその監督、依存諸民族の著實な進發、すべての人々に公正に原料物資を配分すること等々の、國際諸問題が先づ考慮されねばならぬ

世男各國の法制を研究し、各種法典を集大成して、特定な基本的人權を基調とする國際聯合法典を編纂する過程を決定せねばならない、以上の目的を實現するため、各國の最も卓越した法曹をもつて委員會を組織し、原子力時代の問題を處理出来るやうな、世界的水準の政府を樹立する方法を繼續的に研究することを提案する」

△國際法の確立

世界國家の建設には國際司法裁判所の設置が前提條件である、米國々務省の法律顧問グリーン・H・バックワース氏は、十九日同じく法曹協會の大會で「國際司法裁判所と國際法の法典化」と題し次の通り述べてゐる

「國際司法の過程特に桑港會議において設置された新たな國際裁判所は、全人類のために平和の祝福を確保する努力の上に、大きな役割を演ずるであらう、ちかく國際聯合總會並びに安全保障理事會の選舉により、國際法廷が設置される豫定だが、成立の曉には平和的手段により、正義と國際法の

原則に遵據し、平和の破綻に導く惧ある國際紛争並びに情勢を調整し、または處理するに役立つ國際聯合の主要機關の一つとしてその役割を演ずることとならう、しかし國際司法裁判所が最高度にその效用を發揮するには、加入國が善意を以て協力し各當事國間で解決出來ぬ司法的性質の一切の國際紛争を法廷に提起せねばならず、しかも迅速に紛争を提起せねばならない、國際法を國際協約の型で明示しようとの見地から、各種の努力が傾倒されてゐるが、これこそ國際法確立への端緒である、しかしながら國際法の法典化が、決して單純でないことを記憶せねばならない、國際法の發展は遅々たり、當初餘りに大膽なプログラムを作れば必ず失望に終るだらう、却つて特定の題目をよく選定して、漸進的法典化を企圖するならば必つや成果を収めるに違ひない、國際司法裁判所の判決は、該紛争の解決に關聯する國際法の諸規則を、公權的に敘述する上に多大の貢獻を致すであらう

今後國際法は成長し益々發展する、各國は國際法の法典を編纂し、必要が起るとともに右法典を賢明に發展させて行く機會を與へられよう、將來の如何なる必要にも應じ得るやうな法典を書き上げるものが出來ると期待してはならない、幾多の困難にも拘らず、滑り出しは好調である、如何なる事情があらうともこの事業を更に推進することを何ら阻まれてはならない

△我等はすべて兄弟

チーテルマン教授が歴史的講演において

「各國間のあらゆる確執の上に、人類團體といふ偉大な思想 (der grosse Gedanke der Menschengemeinschaft) が、依然として力を得、弘通し、働きのするとの信念を堅持せねばならない、古人が「われらはすべて兄弟に非ずや、一つの神われらすべてを造り給ひしに非ずや」といへる如くに」

と述べて以來、人類は二度の世界大戦と深刻な不景氣とを體驗してゐる、人類團體即ち一つの世界の構想が、澎湃として米國に起るに至つたことに不思議があらうか

太陽とともに古い問題

しかし理念は決して直に現實ではあり得ない、高遠な「一つの世界」の觀念を國際政局の現實に當てはめて考へるとき、幾多の困難が直に前面にクローズアップされる、第一に米國における「一つの世界」の理念と、スターリン元帥がソヴェト聯邦の國是とする一國社會主義の原則とを、如何にして調整するかだ、正義と人道とに基いた正しい「人類團體」を結成するとしても、民主主義の意義についてすら、米英兩國の主張とモロトフ外務人民委員の解釋とは遽に相容れないではないか、モロトフ外務人民委員が階級と搾取とがないソヴェト國家においてのみ、「人民の民主主義」が可能だと、革命記念日の演説において強硬に主張してゐるのに對し、米國の言論界は數百萬の共產黨員が、一億數千萬の國民を指導する統制は斷じて民主主義でないとの斷案を下だしてゐる、第二に世界國家の運営を嘗つて國際聯盟が然りしが如く主權平等の原則に立つ國際聯合に委ねることが出来るか、それとも米英ソ三大國が實權を握つて實力を行使するかの問題だ、トルーマン大統領の如きも、記者團會見においては國際聯合第一主義を闡明した直後、モスクワ會談の開催に同意せざるを得なかつたではないか、現實と理論とを如何にして調整するかといふ、太陽とともに古い問題が依然として「一つの世界」建設の途上に横はつてゐる譯だ

△打算的結婚

一例を米國の對華新政策にとらう、トルーマン大統領は十五日夜ホワイト・ハウスから聲明を發表し

合衆國政府は久しい間、國內事件の處理が主權國々民の責任だとの主義を堅持してきたが、現世紀の推移に徴すれば、世界いづれかの地點における平和の破綻が、全世界の平和を脅威することが明かとなつた

と前提し、經濟援助を代償として國共内戦の即時解決、故孫文先生の遺策に基く訓政期の以黨治國策揚棄、國民政府の改組を要求した、主權の平等と内政不干渉の理論は

世男平和維持の現實的要請の前に後退せざるを得なかつた譯である

「一つの世男」が打ち建てられ、「世男的水準」の統治形態が確立し、國際法廷が各國間の紛争を處理し得るに至るまで、理論と現實との「打算的結婚」が、國際政局を少くとも暫く支配して行くに違ひない

△輕視された道德律

以上現實政策の論據を闡明したのが、ブラーデン國務次官補の演説だ、同氏は十二月十八日エール大學において演説し、新時代の國際政治理論を詳細に説明してゐる、可成り長い演説だが、米國政府の國際政策を窺ふために次に詳述しよう

「現代の社會的不安の底に流れる原因は、果して何處に存するのだらうか、これ等の病弊を證明すると稱して、至る所歴史の解釋が提示されてゐるうち四説を取上げよう、これ等四説は何れも現時の窮狀の根本的原因の一斑に觸れてゐると考へられるからである

基本的原因はフランス革命並びに爾後一聯の運動によつて、古い君主政體が覆り、その結果本質的要素たる權威、即ち合法性 (legitimacy) を缺く政權が到來したためだと主張する一派がある、他の一派はまた富の不均等な分配と自由企業とに原因を求め、現代の社會が個人の發意に對し、あまりに廣汎な權限を許したため、社會全體の福祉が害はれるに至つたと主張する、さらに他の一派からみれば曾つて權意を受けてゐた、宗教上の諸原則道德律が漸次輕視されるに至つたところに、すべて現代の幾重もの困難の根本的原因が存するといふ、最後に所謂産業革命以來、科學と技術 (technology) との迅速な進歩を遂げたのに、技術的進歩に對處する新な政治上の原則と手續とで遅々として進展せず、相互の間に不均衡が起つた所に、困難の原因が胚胎するといふ考へ方がある

△禍亂の原因は？

以上の諸學説は何れも多少の眞理を含んでゐることを先づ認めよう、合法性を缺いた統治體制が歴史の場面を遮斷したことが、現代の社會不安の

一因となつてゐることは疑ひない、或る政府の權威が被治國民の間に、暗然裡に承認されてゐなければ、政府の確立する規約も出す法令も合法的だからではなく、寧ろ警察に對する恐怖の故に遵奉されるに過ぎない、かくして一方政府と他方被治國民との間に、緊迫した關係が出来、逐次尖鋭化して爆發するに至る、政府は自らの弱體を補ふために、世界輿論の大半が依然として承認してゐる、主權の無制限の權威を、假借なく行使する手段に訴へる結果とならう、内政部面においては反對派を一掃し、または癱痺させ、更に國內の地歩を強化するため隣邦と抗争し、速に且つ安價に軍事的勝利を得たいとの希望から、遂に侵略行動に出るに至る

第二に經濟的不均衡特に富の不制限な成長と集中とが、國內部面においても國際場裡にあつても平和並びに秩序と兩立しないとの理論には、支持が非常に多く殆ど一個の信條と化するに至つた、富を持つてゐる人々と、僅かに生きるための基本的な資力しか持つてゐない人々とが、平和と協調とのうちに、相並んで生仔出來ぬと彼等の主張である、しかし乍ら經濟的不均衡自體だけが、現代世界の禍亂の原因かどうかは少くとも疑問である

△要は生治實踐

富の集積とその結果としての權力の集中とが、本質的に且つ必要的に有害だといふことは出來ない、かかる集積と集中とが正義人道との原則に基いて活用される場合には、却て社會全體に利益を與へよう、權力と富との集中が社會全體を利益するためには、法律の權威によつて此等を抑へることが必要である

人類が宗教上の原則と道德律とを拋棄したといふ第三説には眞理が含まれてゐやう、しかし歴史の記錄に留められてゐるすべての時代を通じ、人類が全的に前者を實踐し、後者に從つたことはいないといつた方がより正確である、しかし忘れられた宗教上の諸原則や、棄てられた道德律を復活することが問題なのではない、これらの諸原則と戒律とは今日においても昨日と同様に、人間の魂のうちに依然内在してゐる、必要な事は人類が、獨り個人間の關係に於てだけでなく、個人が政府に

對する關係においても、各國政府相互間の關係において、これ等に遵據して生活を實踐することである

△王侯は地球よりも安定

第四説について論するならば、現代科學と技術の進歩の度合に比べて、政治的思辨が遅れてゐる結果、人類活動の全領域に亘つて、危険な不均衡状態を誘致するに至つたことは疑ひない、人類の科學的巧妙は、極めて進歩した段階に到達し、今や物理的物質の本當の核體をすら操作して人間の意思に従屬させることが出来るやうになつた、原素の轉位は數年前まで鍊金術の領域に屬してゐると考へられてゐたが、今や應用科學の分野に入り物質と精力、時間と空間とに關する人類の考へ方は根本的變革を遂げ實に昨日まで戰略を支配してゐた地理的概念は、既に今日舊套に歸するに至つた、ゲーテは曾つて「近き一切は既に遠し」(S. chon ist alle nahe fern)といつたが、人類は今やこの言葉を倒行してつた、しかるにも拘らず人類の政治的態度と行爲とは、邈たる古代は既に存在した所と、本質的には區別出来ない原則と概念とによつて依然として支配されてゐる、小さな富と微々たる權力とは、確立された法の公平な支配のもとに歸屬し、そのもとに秩序立つた平和な存在を享受してゐる、しかし偉大な權力の集中は、餘りにも屢々法律の腕よりのがれ、人類が實驗科學を通じて自然の暴政から異常な解放をかも知得た、世界において、無責任に行使されてしかも責任を問はれない有様だ、人類は空間と自然的な力との源泉に對する支配を確立したにも拘らず、政治的には依然として多くの場合鐵鎖につながれ人類の自由は各個人の肉面的良心に局限されてゐる、しかもこの領域すら主權の總計を動かす個人または集團に奉仕するに過ぎない宣傳によつて、たえず包圍攻撃を受けてゐる、科學の分野においては、人間の自由には自然の法則によつて課せられる以外の制限は全然ないが、政治的領域においては、人類の自然は最低級な徒輩の資産に委ねられてゐる、ガレリオ以前の時代においては、宇宙は固定した地球の周邊を回轉し、國家は王侯の周

邊を回轉した、ガレリオ以後の時代に及んで地球は彷徨ふ恒星の地歩を確保したが王侯は恐く地球よりも一層安定してゐるのであらう、依然人類社會の中心たる地位を維持した爾來二世紀半、米佛兩國の革命が、初めて政治的重心を王侯から國民自體に移したのである、全國民の主權が個人的主權にとつて代つた、人民の「不可侵の權限」が萬能な神權に代位し、政府の奴僕に過ぎなかつた人民が政府の主人公となるに至つた

しかしながら新たな政治的理論が實際に具體化する過程は遅々たり多少の例外はあるが、人民の不可侵の主權は依然として實現しない理想であり、人類努力の遠い目標たるに止つた

もし科學、の進歩を支配する論理が、政治的思想と過程とに適用出来るならば、確立された政治的原則の侵犯は最早起り得ないに違ひない、過去において神を信じないで神權を行使する元首といふことが馬鹿げた考へであつたのと同様、人民の主權を認めない政府が、人民の名において統治することは今日到底考へられない所である

△中立は無關心を意味せず

ここにおいて今日最も矢張り政治問題を取上げねばならない、若し國家の内外に對する主權が國家を構成する人民より専ら由來するとすれば、國內において輿論を蹂躪する政府が外交上において人民の主權を付託されたといひ得るかどうか、しかも假りに一步を譲つて、外交上の大權を付記されてゐると假定して、右政權が國際社會において絕對的主權を行使出来るが、それとも平等の基礎に立つてすべての國々のコモン・ローにその主權を從屬せねばならないからだ

偉大なブラジルの法曹ルイ・バルボサ氏は、一九四五年七月十四日ブエノス・アイレス大學における講演で次の通り述べてゐる

「法律を破壊する人々と法律を遵守する人々の間においては、中立は絶対に許すことが出来ない中立は無關心を意味せず不偏不黨を意味するが、法と不正との間に不偏不黨はあり得ない、暴力が成立法を傲然蹂躪する場合武器をとつて起つのは法に奉仕するゆゑである、輿論と良心とは法

と犯罪との中間に中立することを許さない、確立した法に對する武装叛逆に當面しては、中立と雖も棄權の形式をとり得ない、無關心の形式をとり得ない、沈黙の形式をとることが出来ない、若し犯人が法律の許す自由に満足せずに、叛亂を起こす場合には、法の重みとそれに基づく一切の結果の重壓を右個人の上に加へよ、國際社會による法の執行は干渉ではない、恰も法に對する無關心が中立でないと同斷である」



UNESCOの意義と機能

聯合國教育科學文化會議米國代表共和黨下院議員チエスター・アール・メロウは十八日ラジオを通じてUNESCO聯合國教育科學文化機構 (United Nations Educational Scientific and Cultural Organization) の意義に關し次通り演説した

△機構の構成

UNESCOの意義は時とともに重要性を増し遂には國際聯合機構の主要な礎石の一つにならうとしてゐる

UNESCOは總會 (Conference)、執行委員會 (Executive Board)、書記局 (Secretariat) を通じて活動する、立法機關ともいふべき總會は機構加盟各國の教育界、科學界、文化界の指導者に諮問して選定されたる各國五名宛の代表をもつて構成される

執行委員會は總會により加盟國指名の代表から選出された十八名の委員をもつて構成される、書記局は書記長並びに必要な局員をもつて構成される

UNESCOのなすべからざることと定められるのは次の通りである

- 一、本質的に加盟國の國內管理權に屬するとき問題への干渉は禁ぜられる
- 二、UNESCOは物質的救済復興のための基金を受領し使用しない
- 二、新聞、ラジオ、映畫の活動に對する管理權を持つてはならない、但し國際理解のためにこの

種總括的通信手段の使用を容易ならしめることが望まれる

四、學校々舎の建築は引受けない

五、現在既存國際機構によつて行はれてゐる思想資料並びに人材の交換を拘束せず、決してそれに干渉するやうなことはない

六、UNESCOは軍機に關する安全に關する問題には關係しない

△事業の種類

次にこの特殊機關が行ふと思はれることを分類的に列舉しよう、ここに擧げるのは多くの準備的な討議で一般の承認を得た活動事項の實例だ

一、ラジオ、映畫、印刷物を通じて、また直接學者教授、圖書館關係者、藝術家間で學界のみならず民間の思想、情報の自由交流を促進する

二、現在全國民の福祉のためなくてはならぬ科學及び技術に關する情報普及の促進

三、創造的な著作家、藝術家及び音樂家の國境を超越せる結合を奨励し、もつて彼等の世界的諒解を推進せしめる

四、戰爭の結果、學校、研究所、圖書館の再建及び再組織のための教育及び科學資源を失つた國民に對する援助を容易ならしめるため連絡機關を設置する

五、教育及び文化機關の不十分な國の情勢に關する研究及び報告

六、非自治國における教育機關改善援助のため、信託統治委員會と協力する

七、自由なる國民の發達に必要な教育目標規定のための協力的努力の援助

八、數ヶ國の必要及び希望に従ひ、成人教育計畫促進

九、教育及び文化の發達過程の史實的發表

十、一般的に教育、研究、科學の發達に對しては、あらゆる實際的援助を惜しまぬと同時に、新聞ラジオ、映畫、自由活動を援助する一方、何れの國においても教育、文化に關し壓迫、監視、強制を行はぬ

十一、國際聯合及びその關係機關を通じて、世界平和及び國際協力を支持するとき教育の發達を促進する

以上の活動事項は單に説明のために提示したのであつて、UNESCOの活動全般を現はすものではない

昭和二十年十二月廿八日(金)
第四七號

時事通信 海外電報

(47)

議會調查團極東へ

ビレネー半島の「ナチ・ドイツ縮刷版」にも漸く最後の日が訪れたやうだ、スペインのヒトラーを氣取つた鬪牛士の咩フランコの首の繩はぢりぢり咽喉に喰ひ入つてゐる、既にフランスのド・ゴール政權はフランコとの國交斷絶を公然と示唆してゐるが、米國務次官デイン・アチソンが六年振りでスペイン共和國最後の首相ホアン・ネグリン博士をもつて代表するスペイン共和派首腦と會見したことは、フランコの葬送曲を奏でたやうなものだ



フランコも必死だ、彼はスペインの獨裁體制に民主主義の迷彩を施そうと努める、まづ手始めは明年三月實施されるフランコ政權樹立以來最初の「民主主義的」市會議員選舉だ、この選舉で國內約九千の市會が改選されるが、市會議員の一部は家長のみ選舉資格者とする投票者によつて選ばれ一部は政府によつて指名される、フランコは手品師ではない、かかる選舉方法が民主主義的ならば、ナチス・ドイツも立派な民主主義國家ではないか

聯合國の外交重壓と併行し

て、内外スペイン共和派の攻撃も激化してゐる、メキシコ市に本據をおくスペイン「亡命」政府の暗躍もさることながら、アンダールシヤの山嶽地方、マドリッド東北方および西北方、ビレネーの山麓では共和派のバルチザン活動が猖獗を極めフランコ政權は終戦後フランスから遁入してきたドイツ軍兵士や、ゲシュタポ員を雇ひ入れて外人部隊を編成、汗だくで鎮壓に骨折つてゐるが、全然手にあまつてゐるやうだ

第二次世界大戦がファシスト侵略思想に對するデモクラシーの闘ひであるとすれば、ナチス・ドイツが粉碎された今日、たとへ二十四名の戦争犯罪人をニュールンベルグで裁判しようとも、フランコを野放しにしておく限り全く無意義だ、スペイン内亂におけるフランコその他ファランヘ黨一派の行動はナチ残虐行爲に倣ひに匹敵するのではないか、今日フランコの存在を必要とするものがゐるかどうか、世界の輿論に訊いてみるがよい

【目次】

UNO總會の展望	四九〇
軍事參謀委員會の役割	四九一
フラン貨大巾切下げ	四九一
米、好感をもつて迎ふ	四九一
ユーゴ・ブルガリア合邦案	四九一
オーストリアに新ナチ黨	四九一
芬銀行國有法案可決	四九一
レヴァント撤收の細目打合せ	四九一
イラン内相我を折る	四九一
【歐 洲】	
獨人民法廷設置	四九二
埃、南チロルの失地回復を要求	四九二
希、ユーゴ政府を承認	四九二
伊、復興省を廢止	四九二
【米 洲】	
革命事件の背景	四九三
ラテン・アメリカのファシズム	四九三
大統領、拒否權を發動	四九三
極東行きに警告	四九三
【特 轉】	
ニュールンベルグ裁判(三)	四九三

クエゼリンはじめ太平洋の各基地を視察の後日本に向ふが、永久的海軍基地の建設並びに歸還將兵の輸送問題等を研究することとならう、第二の視察團は下院農業委員から成り、團員は委員長W・モーゲン以下ハロルド・クレー、ジョン・フナガン、ロス・リズレー等も含むが、一行は主として養蠶並びにゴム栽培業の米國輸入が可能なりや否やを調査する筈である、調査團は明年一月五日米國を出發することとならう

UNO總會の展望

桑港會議で基礎を作り、その後準備委員會で技術的な準備を進めてゐたUNO（國際聯合機構）はいよいよ一九四六年一月十日からロンドンで山積する難問題を前に第一回總會を開くことになつた、總會には五十一ヶ國代表が全員出席する。

第一回總會は技術的な理由から二會期に分たれる、第一會期は一月十日に始まり、三週間乃至二ヶ月續く豫定で、ここではUNO運営機構が設置され、四月からは恐らく今度本部常設地に選ばれた米國で第二會期が始まるとみられる、原子爆彈問題のやうな大問題はロンドン會議の日程には上らないと思はれるが、これを希望する國家があれば問題を提出し得ないわけではない。

ロンドン會議は、恰度澤山の専門委員會が何週間もの間憲章の字句をひねくりまはしてゐた桑港會議と同じやうに、かなり退屈に感じられるかもしれない、第一回會議における主要な仕事の一つは安全保障理事會非常任理事國として六小國を選出することだ、常任理事國は米英ソ佛華の五大國と決定してゐる、UNOが確立した場合、世界平和の維持を本當の任務とするのは安全保障理事會で、總會ではない、第一回總會には地味な仕事如山ほどある、主として機關の設置と役員の選任ばかりだ。

この總會の準備は既に數ヶ月に亘つて行はれてゐた、この六月桑港會議の直後に第一回準備委員會が開催され、ロンドンにおける第一回總會を準備すべく、桑港會議執行委員會をそのままに十四ヶ國からなる執行委員會が任命された、ついで全加盟國五十一ヶ國をもつて構成される準備委員會がロンドンで開催され、百三十六頁に上る執行委員會の報告の審議に入つた、ここで多くの専門委員會を設けて討議完成した報告が一月十日からの總會にかけられるのである。

各加盟國は五名宛の代表を總會に送る、憲章の規定により五名を越えることは許されてゐないが各國とも五名以下といふことは考へられない、但し總會における投票権は一國一票とされてゐる、代表の氏名を發表したのは米國だけだが、その首

席代表がバーンズ國務長官である點からみれば、英ソ兩國もベヴィン外相、モントゴメリー外務人民委員等の大物を派遣するのではないかとみられてゐる。

軍事參謀委員會の役割

（ワシントン二十六日）國際聯合が本格的機能を開始する場合、その重要機關の一つとして安全保障理事會軍事參謀委員會を挙げなければならぬのは當地外交筋も指摘してゐるところだ、同委員會は世界戰略を立て、世界的にUNOが必要とする基地を決定し、UNO武裝兵力の構成をも定める、委員會は五大國代表から成り、恐らく米英ソ佛華五ヶ國の參謀總長を首席代表として定期的な會議を催し、その代理をもつて常任委員會を作ることにならう。

従つて、ワシントンの米英合同參謀本部は軍事參謀委員會に吸収されることになるわけだが、ワシントンには極く小規模なものとしてなんらかの米英連絡機關が残されるかもしれない、ただしこれはまだ決定してゐるわけではない、委員會ではソヴェト聯邦が世界戰略に關し米英兩國と同等の發言權をもつことが豫想される、かうした協力は戰爭中には遂に得られず、米英兩國のみの合同參謀本部が出来てゐたにすぎない。

軍事委員會が機能を開始すれば、第一に世界基地が問題となり、その基地を含む各國は治外法權地域設定を法制化しなければならぬまい、同時に委員會は武裝兵力の構成と組織を決定する必要がある、たとへば各國から部隊を出させるとか、あるひはある國にある土地の警備を任せるとかだ、さうなつても赤軍が北米や南米のUNO基地に駐屯するといふことは考へられない。

各國武裝兵力の配置、分擔、兵力、部隊および基地の維持費、費用の割當等も決定される必要がある、米英合同參謀本部の現状をみても、英國軍は東部から委託せられたインドネシア問題の軍事情勢を刻々報告してをり、アイゼンハワー元帥は參謀本部會議を定期的に開催してその豊富な經驗を生かしてゐる、こんなところにも軍事委員會の機能の一部が豫想されるのである。

フラン貨大巾切下げ

(パリ二十五日) フランス政府は二十五日夜、フラン貨を引下げ、米弗一九・一〇フラン、英磅四八〇フランとする旨発表した、従前は米弗五〇フラン、英磅二〇〇フランであつたが、闇市場においてでは弗二〇〇フラン以上、磅六〇〇フラン以上で、今回の思切つた大巾切下げはフランスの健全財政に資すること多大で、二十七日調印豫定のブレトン・ウツツ國際基金銀行協定を見越して、フランを弗、磅と正常關係におかうとするフランス政府の英斷であり、各方面で政府の決斷が賞讃されてゐる一方、今回の措置によつて國內インフレが助長されると見るものがあり、またその結果として外國貿易が伸長され、國內生産が刺激されて物價下落となると見る向もある、新換算率はクリスマス休日明けの二十六日、官報で公布と共に實施されるが、二十六日には議會でブレトン・ウツツ協定批准も要求される豫定である

米、好感をもつて迎ふ

(ワシントン二十六日) 財務長官ヴィンソンは二十五日フラン貨切下げに關して
フラン貨の引下げは絶対に必要で、それなくしてフランスの經濟的復興は望めない
と語り、同時にフランス藏相ルネ・ブレヴァン宛書翰中で、フランス政府が同國の通貨問題について、米國その他關係諸國に始終情報を提供し、意見を求めたことに感謝してゐる、フラン貨の換算率が、目下の國際金融情勢に對して不當であり、その切下げは米佛貿易に好影響を持つだらうとは米國一般財界の觀測である

ユーゴ・ブルガリア合邦案

(ニューヨーク二十五日) 「ニューヨーク・タイムズ」紙二十四日付ロンドン電によれば、ユーゴスラヴィアが共和制を採用した結果は、ブルガリアもまたその王政を清算して、ユーゴと合併し、黒海からアドリアチックに至る廣大な地域に一大共和國を建設する氣運が動きつつあるといはれる
ナトー將軍もその抗戦ゲリラ時代、同様な考へを

發表したことがあるが、實現の鍵はソ聯の意向にあり、ソ聯が同意を與へれば、その計畫は急速に實現するのではないかと見られてゐる

オーストリアに新ナチ黨

(ニューヨーク二十五日) 二十五日付「ヘラルド・トリビュン」紙のワイーン電によれば、曾つてオーストリア國民抗戰軍として奮闘した一部國民義勇軍は現在の政情に不満を抱き、チロール地方を中心として新たにファシスト黨を組織し、ナチのフューラー組織を模倣した新政綱を掲げて運動を始めてゐるといはれる、かれ等は各政黨の説得を聽入れず「言葉でなく行動を」のスローガンを掲げて、現在の各政黨に反對氣勢を擧げてをりその黨員も主として十七歳以上二十五歳までのものが多く、指導者は舊オーストリア帝政時代の將校、乃至はドイツ軍の將校で、形勢が憂慮されてゐる

芬、銀行國有法案可決

(ヘルシンキ二十六日) フィンランド議會は二十六日フィンランド銀行の國有法案を可決した、同法案は政府の提出になるもので、英佛兩國における中央銀行國有化の動きと並んで關心に價する

レヴァント撤收の細目打合せ

(ロンドン二十五日) 英佛兩國の軍事當局者はレヴァントから兩國軍隊の共同撤收を早期に實施すべく、その細目を取極めるため二十一日ベイルートにおいて會合した旨ロンドンで共同聲明が發表された

イラン内相我を折る

(テヘラン二十六日) イラン首相アブラヒム・ハキミが内閣改造の第一歩として内相カリ・フエジミを罷免したのに對し、フエジミは憲法を楯に自ら辭職を申し出ない限り更迭は不可能だと稱して強硬に居据つてゐたが、二十五日、國王アーメツドの要請で遂に我を折り、辭表を提出、閣内分裂の危機は危く回避された

【歐洲】

獨人民法廷設置

(ロンドン二十五日) ドイツ占領地域のドイツ人民事法廷は二十四日初めてナチ支配中ドイツ人の行つた犯罪を審問處斷する権限を賦與された

埃、南チロルの失地回復要求

(ウィーン二十五日) オーストリア政府は過般來イタリヤに對して南チロル地方の失地回復を要求してゐたが、二十二日夜正式に第二共和國への併合を要求する聲明を發表した

希、ユーゴ政府を承認

(アテネ二十五日) 米英兩國政府は二十二日ユーゴ新政府を承認したが、ギリシヤ政府も二十四日同政府を承認した

伊、復興省を廢止

(ローマ二十三日) イタリヤ政府は二十一日復興省を廢止し、貿易省を新設する旨發表した、これによりイタリヤの國際通商關係は政府の直接管理下におかれることとなるが、聯合國イタリヤ管理委員會は右措置を承認したといはれる

【米 洲】

革命事件の背景

(パナマ・シテイ二十五日) パナマの革命事件においてすくなくとも死者六名、負傷者八名を出した、政府聲明によれば革命事件は前大統領アルナルフォ・アリアスとその一黨によつて行はれたもので、少數の武装隊が眞夜コロン港の警察署を占領したものである、死者の中には警官一名も含まれ、同じく警官一名が負傷してゐる、政府當局はアリアスを逮捕すると共にその一黨の全國的逮捕を指令した、パナマ・シテイからは警察増強隊がコロン港に急派され、政府公報によれば情勢は完

全に政府の統制下に置かれたといはれる、一九四〇年から一九四一年までの大統領だつたアリアスは數ヶ月前に亡命先アルゼンチンから歸國したもので、歸國以來、米國がパナマを劣等國として取扱つてゐるとして米國攻撃の政治運動を展開してゐたもので、「パナマ人のパナマ」を叫んでゐた

ラテン・アメリカのフアシズム

(ロンドン二十五日) モスクワ放送はラテン・アメリカ諸國におけるフアシスト活動を指摘し、スペインのフランコ政權を打倒することによつて反動勢力を弱め、ラテン・アメリカの民主主義化を促進することが出来るだらうと述べてゐる

大統領拒否權を發動

(ワシントン二十四日) トルーマン大統領は二十三日、最近議會を通過して大統領の手許に廻附された聯邦職業紹介機關の州への返還を規定した法案を拒否する旨發表した、右は二十億弗の軍事豫算取消し法案の附屬法案として議會を通過したもののだが、大統領は豫算取消し法案には賛成だが、附屬法案に反對なることを明らかにし、職業紹介機關の各州への返還は一九四七年六月まで延期すべきだとしてゐる

極東行きに警告

(ワシントン二十五日) 商務省は去る十九日、極東地域における米國人に對する職場は非常に限られてをり、同方面に就職口を求めて渡航せんとする米國市民は豫め東京出發前に米國の商社に雇傭されるを必要とするとの警告を發した、右は最近、中國、朝鮮、フィリピン、蘭領印度、佛領印度支那、シヤム、マレー、日本の極東地域に職場を求めて渡航せんとしてゐる米國市民が激増しつつあるに鑑み發せられたものである、商務省の警告によれば極東で米國人に與へられる仕事は、祕密を要する仕事、商社の重要な地位、米國品の据付け及び操作、現地使用人の訓練等だが、その他の一般業務は殆んどすべて現地人の使用によつて充たされてゐることが特に指摘されてゐる



ニユールンベルグ裁判(三)

原子林二郎

△この日天気晴朗

一九三八年三月十一日、獨逸合邦、ナチ・ドイツの世界制覇を目指す實質的な第一歩十一月二十九日のニユールンベルグ裁判はやや平調に墮した法廷の雰囲気は二つのやまを描いた一つは「アンシユルス」の背後に潜む小兒病的な奸計、他はナチ強制收容所の戦慄を記録したニユース映畫の映寫だ、AP記者ウエス・ガラカーの電報をかりてお傳へしよう

「ナチ戦争裁判の同僚たる被告諸君から「日記や秘密文書等を聯合國に發見されるなんてなんといふ阿呆だ」とくさされてゐる肥つちよのゲーリングは、二十九日法廷で自分の秘密の電話記録を朗讀される破目となつた、このナチの素人ハムレット役者を捉へた良は、AP記者ダニエル・デリュースがベルリンの空軍省で發見した「アンシユルス」當時の彼の電話の速記録だ、それは最も猛烈な反ナチ作家ですら夢想だに出来ぬ途方もない國際裏切りの事實を曝露したもので、それによるとゲーリングはオーストリア宰相シュシュニツクに親ら最後通牒を手交した翌日、當時ロンドンにゐたリッペントロップを長距離電話に呼び出して、英國側に盗聴させるためにわざと「最後通牒を渡したなんて愚にもつかぬ噂話だよ」といひ放つて英國を油斷させようとしたものだ

リッペントロップ「どうかね、ベルリンの雰圍氣は？」

ゲーリング「至極和がだね、小鳥が囀つとるよ」米國側檢事がここまで朗讀すると、流石のゲーリングも堪り兼ねて腹を抱へて笑ひ出し、瘦せたナチ外交官のフォン・パーベンも狼のやうな顔を笑ひに綻ばせる」

この速記録でゲーリングの演出した茶番劇獨逸

合邦の一幕の詳細な事實が明みに出されたが、珍しくヘスは興味を覺えたものか、讀みさしの本を傍において朗讀に耳を澄ましてゐたといふ

△犯罪者を睨む「有罪」

同じ日法廷の明りが一瞬にして消えると、被告席の下にある柔かな螢光燈がフットライトのやうに浮きあがつた、シヤハトを除いて被告達の顔は一齊に映寫幕へ向けられる、そして胸の惡くなるやうな惱しい五十二分間が遅々として流れた、映寫幕にうつされた映畫はナチの殘虐行爲を生々しく記録したものだ、主人公は眼もくらめく拷問に責まれた男女の群だ、焼けただれて壊疽にかかつたやうに半ば觸體と化した體が瀕死の苦痛に歪みみるも無慘な不具となつた婦人が、ナチ強制收容所で飢餓に迫られて遂に人肉を食ふ破目に陥つた様を縷々として語り、男女の群が機關銃の火を浴びながら逃げまどひ、物凄しい屍體の山が觀衆の網膜をやきつける

被告のうちシヤハトは頑強に視線を逸らして、自らの犯罪記録に執拗に抵抗する、衛兵がシヤハトの肩を押して映寫幕へ向かせようとすると彼はヒステリックに

「嫌だ！ 胸が悪くなる！」

と叫んだ、ヘスは憑かれたやうに身を乗り出して瞳を凝じてゐる、ゲーリングの肥つた顔は充血して眞緒だ、カイテル元帥は掌で眼を蔽つて額の冷たい汗を拭く

映寫が終つた、判事達は閉廷を宣言することも忘れて、恐しい靜寂の中を夢遊病者の足取りで退席した、ハンス・フランクとアルツール・ザイスIIインクワルトは監房に戻つたとき、酷い嘔吐に苦しめられたといふ

「ニユース・ウィーク」誌のジエームス・オドネル記者は次の通り報じてゐる

「機甲擲弾兵としてポーランド、フランスをしてロシアの戦野にたたかつてきた二十七歳のドイツ国防軍復員兵士は語る「俺は故郷のニュールンベルグを目にした、到るところ教會と博物館の廢墟そしてアルブレヒト・デューラーの破壊された家だ、これは二十世紀が十五世紀に對して犯した犯罪だ、俺は憎伏した祖國をみた、俺は到るところにみた缺乏と荒廢を忘れることが出来ない、もしもナチ戦争犯罪人共が五錢玉の値打ほどの誠實さと勇氣を持つてゐるならば、彼等は全世界の前に立つて、われわれは有罪だ！われわれは有罪だ！と絶叫することであらうに」

△ヘスの狂氣爆彈

十一月三十日、この日の法廷は二つの波瀾に見舞はれた、ヘスが突如假病を告白して滿場を啞然たらしめたことだ、その當時の様子を「ニューズ・ウィーク」誌の十二月十日號は次のやうに報じてゐる

「十一月三十日ルドルフ・ヘスは二時間に亘つて被告席で尻をもちつかせてゐた、米英ソ三國の檢事團はヘスが自ら記憶を喪失したと稱するだけでは、精神病者と認めて裁判を免することが出来ない、交々起つて力説した、しかるにヘスの主治醫であるグンター・フォン・ロールシャイト博士はヘスが四ヶ年間記憶喪失症の犠牲となつてゐたと主張して譲らない、といふことはヘスが四年前にメツサーシュミット機を操縦してスコットランドへ飛んで以來異常だつたといふことを意味するやがて判事席は被告席の孤獨な住人に發言の機會を與へた

「滿延は電流のやうにビリビリ緊張する、ヘスは緩かに立ち上つて判事席の彼方に瞳を凝らす、そして突如口を衝いて出た言葉は――

余は裁判がもつと進行するまでいふ積りではなかつた、余の記憶は再び完全だ、余が記憶の喪失を装つたのは戰術的な理由による、實際は記憶集中力が多少鈍つてゐたに過ぎないのだ、從つて裁判の進行を注意し、自己を辯護し、證人に質問し訊問に答へる能力すら何等の影響を蒙つてゐない、余が假病を装つた事實をここに告白した理由は余の同志と一緒にありかれ等と共に

に裁きを受けたいからだ、余は余の行つた一切の行爲に對して完全な責任をとる

「ヘスの語尾が消えた瞬間水のやうな靜寂が訪れたが、やがて滿場は爆笑高笑の波にさらはれた、ヘスは子供のやうに微笑みながら着席した、聯合國の精神病理學者達はヘスの假病を最初から氣付いてゐたと主張する、彼の「同志達」はヘスの惡ふざけを耳にして大喜びだつたといふ」

一九四一年ヘスが英國に飛んだ時に、ナチの宣傳機關はヘスの眞の意圖を匿すために、ヘスの發狂説をばら撒いた、當時ゲッベルスは悪い方の足を酷使してまで、ヘスの發狂説を立證するために奔命したものだ、そしていまニュールンベルグでヘスは自ら狂氣を主張した、恐らくヘスにとつては現實の世界は狂氣の世界にほかならぬのであらう、ヘスの爆彈聲明の後で、ニュールンベルグではヘスの「英國訪問」の理由を説明する新説が流布されたといふ、曰く――、ヘスは英國王ジョージ六世を攫つてベルリンに歸り、ヒトラーと媾和會議を開かせる計畫だつた、ヒトラーはヘスの「脱走」を知ると、生れて初めて口あんぐりで物もいはなかつたといふ、これはゲーリングの話だ

△最初の證人出廷

第二の爆彈はニュールンベルグ裁判始まつて以來最初の證人が出廷したことだ、この米國側檢事團の「電撃證人」が證人臺に立つたとき、二十名の被告は誰一人微笑む者がなく、憎惡と恐怖の色が彼等の顔に暗く翳つた、證人は瘡ぎすの背の高いオーストリア人のエアウイン・ラホウゼン少將職業軍人でドイツ國防軍情報部の高級將校だ、戰爭中彼はナチ諜報機關の頭目ウイルヘルム・カナリス提督の幕僚を勤めてゐた、カナリスはナチの數々の陰謀を詳細に記録してゐたが、そのお蔭でナチは本年四月ダカウでカナリス提督をピアノの絃で緩かに絞殺したのだ、併し彼等はラホウゼンを手中から逃がした、そして彼はいまカナリスにかはつて復讐する番となつたのだ

ラホウゼンの證言によれば、カイテル元帥とリッペントロップは大量殺戮と政治暗殺に直接關り合つてゐたといふ、一九三九年九月リッペントロップはカイテル元帥と共にポーランドの知識階級

貴族、僧侶、遊撃隊員、共產主義者及びユダヤ人の勦滅を計畫した、またカイテルの幕僚は東部戦線において共產主義者乃至は知識階級出身と目されるあらゆる赤軍兵士、クリミヤ住民、回教徒、ユダヤ人を一人残らず殺戮するやう命令した、フランス海岸に奇襲上陸して捕虜となつた英國奇襲部隊員も後に殺害された、カイテルの殺人に對する興味はアンリー・ジロー將軍やマクシム・ウエガン將軍にまで擴大され、彼は兩者が北阿においてドイツ軍の脅威となるまで絶えずカナリスに兩者の暗殺を迫つたといふ

△陰謀と偽瞞と暗殺

陰謀と偽瞞と暗殺——これが世界支配を目指す三つの強力な武器だ、そしてこの三つの武器が集約的に使用されたのがチエコの解體であらう、十二月三日、米國檢事團から證據の山が提出されたいづれもチエコにたいするナチス・ドイツの背信と陰謀を曝露するヒトラーの設計圖だ、これらの證據でナチ強盜團がチエコスロヴァキア侵犯の二年前から、この東歐の兵器廠を掠奪する惡計を廻らしてゐることは明瞭となつた

主な證據の一つは一九三七年六月二十四日に作製されたドイツ軍最高司令部の作戰計畫で「かかる行動(といふのはチエコの強奪だ)を正當化するため、事前に政治的にも國際法上からも領ける事態を臆立てしておかねばならぬ」と述べて、舞臺裝置の必要を力説してゐる、それから一九三八年五月三十日——といふとあの恥づべきミュンヘン協定の四ヶ月前だ——ヒトラーは指令を發して近い將來軍事行動によつてチエコスロヴァキアを粉碎することは余の不易の決意であるとおほつばらに告白してゐるのだ

證據物件の一つとして提出された一九三八年八月二十五日付のドイツ軍參謀本部の要項(勿論「嚴秘」の印がボタンと押してあるやつだ)によると、ヒトラーはドイツがチエコを攻撃した場合英國とフランスとソ聯の三國がドイツに宣戦すると覺悟してゐたが、迅速にチエコを壓倒するドイツ軍の威力を當にして決行する覺悟だつたらしい

ところが英國とフランスとは周知のごとくミュンヘン協定でチエコをドイツに賣り飛ばし、ソ聯ひとりだけがやきもきしたといふわけだから、ヒトラーも惡運の強い男だ、また要項は米國が道義經濟の兩面から西歐諸強の對獨戰爭を直ちに援助すると豫想し、ドイツ軍はフランスの軍事行動を一切無視して、まづチエコに決定的打撃を與へ、しかる後鋒先を西方に向ける必要を強調してゐるといふ

要項によるとドイツがチエコを繞つて英佛ソ三國と交戦状態に入れば、必然的に二正面作戰となるが、ヒトラーはこの場合ベルギーの態度は疑はしいにしても、オランダ、ポーランド、イタリアスペイン、ハンガリー、日本の諸國は中立を持すであらうし、ポーランドの援助で、ソ聯は東プロイセン、バルト海岸及びベルリンに空襲を加へるだけで、地上作戰はバルト諸國だけに制限されるだらうと樂觀してゐたといはれる、そして實際にはヒトラーの樂觀通りに事が運んだであらう

△ドイツ版「一發の銃聲」

チエコ侵犯を正當化するために、ナチにとつてはいろんな「事件」の發生が必要だが、要項はいろんな「事件」を詳細に計畫してをり、また國際法を十三通り侵犯する場合を豫想して、一々辯解方法を構想してゐるから大したものだ、又ドイツ軍司令部の要項によると、ドイツはチエコが抵抗した場合、毒瓦斯の使用を考慮してゐたといふそれにはまづ「チエコが最初に毒瓦斯を使つたといふ證據」が必要だが、うまく見付からなかつた場合は、イタリアがエチオピアにやつたと同じやうに「正當な報復措置」といふ形で毒瓦斯を使ふ積りだつたらしい、もつとも現實には「ミュンヘンの裏切り」によつてドイツは無抵抗でチエコを解體してしまつたが、野蠻人扱ひにされたチエコ國民の方がたまらない

またドイツ軍司令部は「事件」挑發の手段としてチエコに空襲中、ブラーグの英國大使館を破壊し、戰爭中英國人がフランス人を殺害し、ドイツ飛行機のポーランド領空侵犯を提案してゐるが、

當時のドイツは盲蛇に怯じずの無鐵砲者だつたらしい、證據物件の一つであるドイツ外務省の備忘録によると、ヒトラー懐柔策としてハンガリーとポーランドにチエコの分け前を與へる計畫だつたさうだ、ドイツはズデーテン地方、ポーランドはテツシエン、ハンガリーはカルバート、ウクライナといふのが獅子の分前であつた

ナチのチエコ侵略計畫は「作戰綠號」と稱されてゐた、當時のドイツ軍參謀總長で戰爭犯罪裁判の被告の一人であるアルフレッド・ヨードル上級大將はヒトラーに宛てた覺書で

「作戰綠號」はチエコに「事件」を挑發することによつて實施される、「事件」はドイツの軍事干渉を可能とする

と述べ、ヒトラーはヨードルのブラーグ爆撃計畫を承認したといふ

かくの如くヒトラー一派のチエコ奪取は「アンシュルツス」同様、徹頭徹尾國際的裏切り行爲と陰謀、惡辣な挑發行動による帝國主義的野望の實現であり、この「無血の戰爭」行爲だけでも、ナチ戰爭犯罪人共は絞首刑に償する

△罪は被告達だけか

以上をもつてナチ戰爭犯罪に對する聯合國の告發第一條項「共同計畫または陰謀」の罪に關する擔當者たる米國側の論告と證據固めは終つた、今日までの経過によつて判斷するならば、ナチス・ドイツは歐洲の燒土と他の民族國家の荒廢の犠牲において自己の支配を確立しようと企圖したことは明瞭となつた、アリアン民族の優越が他の民族の殲滅と隷従のみによつて可能だと考へたところに、ヒトラー・ドイツの悲劇的錯誤がある、しかも他民族に對するドイツ民族の支配といふイデオロギーは、ドイツ獨占資本の世界市場制覇といふ帝國主義的觀念に直接結びつくものだ、そしていまドイツ獨占資本の二十使徒はニールンベルグで裁かれてゐるが、ナチス・ドイツの意圖したと恰度同じことを、日本獨占資本の選手たる軍閥、財閥官僚のファシスト的三位一體は東亞において完成しようと思つたのだ

東亞共榮圈といふ概念はナチの阿片たる歐洲新秩序の雙生兒にほかならず、それは東亞民族に對する大和民族の優位、日本獨占資本による東亞市場の完全支配といふ日本の軍事的「官僚的帝國主義」の目標であつたのだ、そして恥づべき自殺未遂者東條その他の日本戰爭犯罪人は世界輿論の裁きの前に立たされようとしてゐるが、果してこれらの戰爭犯罪人として指名逮捕された者のみが罪有りとなすべきであらうか

ニューヨークの新聞「PM」のニールンベルグ特派員ヴァイター・バーンスタインはこの問題についてドイツの場合を採り上げて十二月三日の同紙上で次の通り論じてゐるが、これはそのまま日本にも當て嵌まることだ

「聯合國は現在の國際戰爭犯罪裁判で特に被告達の罪を強調してゐるが、ドイツ國民の道義上の集團的罪が看過される危險が依然として存在する、ニールンベルグの法廷に提出されてゐる證據物件の種類と法廷の雰囲気からみれば、われわれは過去の世界、即ち既に行はれた惡行と既に微塵に碎かれた邪まな希望の世界に住んでをり、過去の事態に對して何等かの責任を負ふべき社會的潮流乃至はドイツ以外のあらゆる國の人々については軽く通過されてゐる様だ、そのためわれわれは再び歴史を作り得る諸力を検討せず、單に歴史を回顧するといふ表面上の效果を生んでゐる

「もしも提出された證據が過去の惡行を取扱つてゐるとすれば、僅少の人物の胸から除かれた以外決して粉碎されてゐない邪まな希望をも取扱つて然るべきだ、勿論殺人犯に若干の幫助者がみたくいふことは殺人犯の辯護にならず、被告達の罪を分つ者が他にゐるといふことは必ずしも平等に罪を分つといふことにはならない、それは外部の諸力が自己の目的に役立てるためにナチズムを支持しなかつたならば、被告共はもつと早く今日の被告席にひき据えられてゐたであらうし、いま墓の中で眠つてゐる數百萬の者が依然として生存してゐたであらうといふことだ

△残るファシズムの温床

「本裁判の性質からいつて被告共を海外にある彼

等の支持者と同情者の群から切り離し、被告達をドイツ國民全體から切り離す傾向がある、余の個人的意見だが、ジャツクソン首席検事はその記念碑的論告においてすら、かかる民に陥つてゐる様だ、彼はいふ

われわれはドイツ國民全體に罪を被せる意思が毛頭ないことをここではつきりして置かう、われわれはナチ黨が國民の壓倒的多數の意思表示によつて政權を握つたのでないことを知つてゐる、われわれは最も過激なナチ革命家と涯のない反動主義者と最も侵略的な軍國主義者との邪惡な綿盟によつてわかる事態が生じたことを知つてゐる

ジャツクソン検事の言葉はたしかに眞理である、ドイツ國民全體がドイツの犯罪に對して當然の罪を負ふべきでないし、またさうでなかつたことも事實だ、併し乍ら彼はまたナチが政權を掌握した場合、戰爭に勝つてゐる間はドイツ國民大衆の支持を受けてゐた事實を指摘すべきであつた、ジャツクソン検事の論告の行はれた日に法廷に居合せた少數のドイツ人記者は、彼の論告を太々的に書きたてたし、多くのドイツ人評論家は彼の論告を中心に論説を書いた、そして彼等は今日ドイツ國民の間にみられる最も危険な兆候、即ち盲目的に彼等の無辜を主張する傾向を助長してゐるのだ

「世界は二十名の被告の裁判によつて恕罪をかちうとは思つてゐないが、ドイツ國民はなほさら赦免を許されるとは思へない筈だ」

ドイツにおけるファシズムの根は断たれたが、芽は残つてゐる、日本における帝國主義は打倒された、だが温床は残つてゐる

△八十四の條約違背

十二月四日、告發第二項「平和に對する犯罪」を擔當する英國首席検事サー・ハートレー・シヨークロスの論告が行はれた、五時間に亘る滔々の熱辯だ、まづシヨークロスは二十名の被告が「ドイツを厚顔無恥な侵略行動に追ひやり、世界を驚くべき犠牲多い戰爭に投げ込んだ」事實を指摘し一八九九年のハーグ協約から一九三九年十月六日

のドイツ・ユーゴスラヴィア條約に至るまで實に二十六の條約、協定、誓約を破棄し泥土に踏み躪つた恐るべき背信を責め、ポーランド侵入から太平洋の戦まで九つの戰爭を挑發し遂行した罪を糾弾した

米國側の新聞電報ではシヨークロス検事の論告内容は殘念ながら詳細にわからない、米國のジャツクソン検事と英國検事の論告を比較検討して、戰爭犯罪に對する米英兩國の見方の相違、從つて國民性の開きを見出すのも随分興味あることであらう、但し米誌「タイム」の十二月十七日號によれば、「ジャツクソン検事にとつては獨波不可侵條約の有無に拘らず、ドイツのポーランド侵入は明白な犯罪だが、シヨークロス検事にとつてはナチ被告共は國際條約を破棄したが故に殺人、強盜脅迫、暴行の罪を犯したことになる」といふことだ

十二月五日、英國檢事團の論告と證據固めに入る、まづ先陣を承はつて英國檢事サー・デヴィッド・マックスウェル・ファイフが起ち、ナチが一九三三年から一九四一年までの九年間に八十四の國際協定を無視し、蹂躪した事實を指摘した

余は八十四のケースを一々説明する勞を取らぬ、そのうち特に十五の場合だけ採り上げるから、あとの六十九のケースは壁に掲げてある圖面を参照されたい

實際八十四の國際背信行爲を一々採り上げて説明していつたなら、ナチ被告は首を絞られる前に老衰病で大往生を遂げることになる

マックスウェル・ファイフ検事は特に「中立國領土の不侵犯」と「戰鬪行爲開始前の宣戰布告」を規定したハーグ協約を引用し、ナチが協定侵犯の罪を重ねた事實を示す例として、批評を加へず一九三八年のミュンヘン協定の數部分を朗讀した、また英國檢事團の提出した證據によれば、ドイツは歐洲戰勃發の數年前にすくなくとも七ヶ國の侵略を豫定してゐたことが曝露された、ドイツ空軍の記録文書には豫めポーランド、チェコスロヴァキア、ハンガリー、リトワニア、ラトヴィア、エストニア、オーストリアの七ヶ國に空軍基地の設定が計畫されてあつたといふ

△準備と計畫

興味ある挿話を一つ紹介しよう、十二月五日米國檢事團が「國際ギヤング行爲」の實例として提出した證據文書によると――

チエコ略奪の前日ヒトラーはチエコ大統領エミール・ハーハと外相フランチセク・チャヴロコフスキーを呼びつけて、まるで小學生みたいに怒鳴りつけた末に、「交渉の機はもう過ぎた、ドイツ軍は明日チエコの國境を越えるであらう」といひ棄てて室を跳び出す、後を引き受けたのがゲーリングだ、かれは「空を蔽ふドイツ飛行機は、僅か二時間でプラグの半ばを廢墟と化すぞ」と嚇したので、ハーハは心臓も縮み上るほど怯えてしまひ、後で醫者よ薬よといふ騒ぎであつたといふエピソードの二――ヘスの「記憶喪失」病の鑑定に立會つた聯合國軍の精神病理學者達は、ヘスが精神病理の職業を冒瀆したことだけでも絞首刑に價すると決定したといふ話

十二月六日の裁判で判明した新事實

☆ナチ戰爭挑發者共はポーランド攻撃開始の時期を最初一九三九年八月二十五日に決定したが、英國のポーランド援助誓約のため、ヒトラーは七日間考へ込んだ、ゲーリングの言葉――「總統は英國との戰爭を回避するために萬策を盡した」

☆一九三九年四月三日付ヒトラーの國防軍に對する祕密指令――「軍は九月一日以降何時にてもポーランドに侵攻する態勢をとれ」それから三週間後の四月二十八日ヒトラーは國會で白々しく誓約する、「ドイツはポーランドに對して如何なる行動をも採る意圖はない」

☆ムツソリーニに宛てたフランス政府の祕密電報の控へによると、フランスはイタリアに英佛伊波四國の媾和會議を開催するやう斡旋して呉れと頼んでゐる、電報の日付は九月二日、ドイツ軍がポーランド攻撃を始めた翌日だ

☆ヒトラーの愚弟ムツソリーニは八月十二日までドイツのポーランド侵寇計畫を知らないでゐた、初めて知つて愕然としたドゥーチエはイタリアが戰爭を開始するに十分な軍備を持つまで、二三年

間戰爭を延期して呉れと慌ててヒトラーに頼み込んだが、一蹴されたといふ

☆ドイツがソ聯の國境を破つて雪崩れ込んだ一九四一年六月二十二日から十ヶ月前に、ヒトラーは獨ソ國境に大軍の集結を開始した、ヒトラーはゲーリング、カイテル、レーダーの三陸海軍元帥に赤軍を殲滅し、その再起を阻止する計畫を打ち明けて、電撃戰でソ聯を粉碎し得る自信を披瀝したしかし彼はソ聯を米國以上の強敵とみて、ユーゴギリシヤ作戦が豫定より遅れたので、ヒトラーは大喜びでソ聯攻撃を四週間延期した

△甘い夢の皮算用

十二月七日の裁判で、リツベントロップが三國同盟締結の影の「功勞者」大島大使に對米開戰を勧めた事實が曝露された、一九四一年三月二日に行はれたリツベントロップと大島との會見記録によると、リツベントロップは

ドイツは米國が戰爭に介入しないことを希望してゐるが、さればといつて米國の參戰を特別に憂慮してゐる譯でもない、米國は萬一戰爭を始めた場合、本國と戰場との間に廣大な海洋の空間が横はる點からみても戰爭を開始するやうなことはあるまい

と述べて、日本の好戰慾を唆つたといふ

併し國際外交問題の權威と自稱するリツベントロップが如何に米國民の士氣と戰力を誤算したかは大島に語つた彼の次の言葉で明瞭だ

一、米軍の歐洲上陸は可能かも知れないが、アフリカは餘りにも遠く離れ過ぎてゐる

一、米國はハワイ以西に艦隊を進めたならば、日本海軍によつて殲滅されるから、ハワイよりさきへ艦隊をよく進め得まい

一、もしも米國が無暴にもハワイよりさきへ艦隊を進めたならば、それは樞軸に戰爭を早く終へさせる機會を與へるやうなものだ

一、戰爭は軍事的にも經濟的にも將又政治的にも既に勝つてゐる

一、日本による不意討の干涉は米國をして戰爭を回避させよう

一、たとへ米國が參戰しても、英國に米空軍基地を

時事通信

海外電報

電報編輯部

設置するといふ實際的な目的が残されてゐるだけだから、ドイツ空軍は優位を確保出来る

リツベントロップと大島とはかうした素人臭い子供だましの甘つちよろい観測から出發して、日獨兩國のファシスト獨裁が地球の全域に確立された場合の世界富源の山分けといふ甘い皮算用に耽つたといふ

そのほかに判明したこと

☆一九三九年十一月七日(ソ聯革命記念の日だ)西部戦線におけるドイツ軍の大攻勢の準備は全く完了してゐた、しかるにその日は雨模様で、気温が低く、鐵道輸送に困難を感じたので延期と決定した、それからヒトラーと幕僚共は三日目毎に攻勢の新时期を定めたが、そのつど天候その他の條件が思はしくなく延期となり、遂にヒトラーは辛棒し切れなくなつて、一九四〇年五月十日には矢が降つても決行することに定めたといはれる

☆ヒトラーは彼の性格に似合はずノルウェー攻撃を希望しなかつたが、レーダー、デーニッツの兩提督が英國の攻撃に對抗するためにもノルウェーの征服は絶対に必要だとして遂に説得した、ドイツがノルウェー攻撃を始めたときには、英國の艦船に偽装した艦船を使ひ、英國の軍旗を掲げ、英國側の不審訊問には英語のモールス記號で應答する手筈であつた

△感傷の場違ひ

十二月八日、ルドルフ・ヘスは「新たに回復した記憶」に頼つて、一九四一年五月英國に飛んだ「眞の理由」を説明する手記をニュールンベルグの監房から新聞記者團に發表した、それによるとヘスはソ聯に對するドイツの攻撃に英國の援助を得るためにではなく、英獨間の戦争を止めさせるために飛んだといふのだ、戦争の初期から總統は英國との和平を欲してゐたが、英國は面子を失ふのを惧れて和平に應じまいと考へてゐた、そこで總統の無二の親友でありナチ黨副總理でありかつ國務大臣である自分が自ら和平交渉に英國へ赴けば、チャーチルも面子を失はずに済むだらうとヘスは決心した、併し決行する決心が仲々つかなかつた、それでもドイツと英國の街々を爆撃で仆

れた人々の長い棺の列が續くの想像するにおよんで、遂に決意した、ひとは「余の考へを場違ひの感傷といふかも知れない」

彼はソ聯攻撃の殆んど一年ほど前から英國飛行を計畫し、一九四〇年六月以降數回に亘つてドイツを飛び立つたが、悪天候のためその都度引返し遂に一九四一年五月十日に成功したといふ、彼の「英國旅行」の眞因が彼の告白した通りかどうかは信用出来ない、ファシストといふ奴は遺言でまで嘘を吐く徒輩だからだ、併しヘスの英國行がチャーチルをして英國の勝利とドイツの弱點を確信させたことだけは事實だ、してみるとヘスの英國行が場違ひの感傷だつたのではなく、彼の英國行そのものが場違ひだつたといふことになる譯だ、その夜奇怪な探偵小説染みた事件が発生した、聯合國戦争犯罪裁判に關係する主だつた人達の宿舍であるグラント・ホテルの裏手で赤軍の一兵が何者かに狙撃されて瀕死の重傷を負つた、そのソ聯のMPは米軍の制服を着た者に射たれたといふ司法關係の本家本元でかかる不祥事件が起つたのは「侮辱」だといふので、直ちに司直の活動となつたが、遺憾ながら事件は迷宮に入つてゐる

△「住民をして飢死せしめよ」

十二月十日、米國側檢事シドニー・アルダーマンが法廷にヒトラーの「指令二十一號、バルバロッサ事件」と銘打つ證據文書を提出するに及んでナチの恐るべきソ聯侵略計畫の全貌が明るみに出された、アルダーマン檢事の論告をかい摘んで紹介しよう

まづヒトラーが一九四〇年十二月十八日にすでにソ聯攻撃を着想し、一九四一年五月十五日までに準備を完了すべきことを命令したことをつたへておかう、同年六月十一日には攻撃のあらゆる段階を盛り込んだ詳細な「時間表」が、ドイツ軍高級將校に配布された、さらにゲーリングの指揮下にソ聯のあらゆる戦力要因がカード索引式に記入され、詳細な占領地域の資源利用計畫が作成された、またゲーリングはソ聯の「原料を掠取し、一切の重要企業を接收する」ことを使命とする一組織をつくつた、計畫は「ソ聯から食糧そのほかあらゆる重要物資を剥ぎとり、ソ聯國民を飢死させ

るといふ極めて冷血なものであつた

他方ナチの「哲學者」ローゼンベルグはソ聯略奪に伴ふ政治計畫を一九四一年四月にでつち上げた、彼の備忘録によると

一、ウクライナを、ドイツと通謀する獨立國家とする

一、白ロシア領とする

一、所謂「民族地域」をドイツの完全な支配下に置く

一、バルト海をドイツの「内海」とする

一、バルト三國をドイツ領とし、ドイツ人を移住せしめ、バルト民族を放逐する

以上はアルグーマン検事が曝露したドイツのソ聯解體計畫だ、この恐るべき計畫はドイツ軍が後にソ聯領から撤退する際、市町村を焼き拂つて焦土と化し、無辜の住民を大量殺戮した鬼畜の所行と有機的關聯を持つてゐることは明瞭だ、帝國主義ドイツは野獸であつた、ソ聯に對する戦争は言ふまでもなくその他の戦争においても、ニュールンベルグで裁かれてゐる二十名の被告だけの罪ではない、ヒトラー一派の血腥い計畫を支持し、便乗して利腹を肥さうとしたドイツの一切の資本家ナチ黨員たる恥知らずの小市民共は全て罪を負はぬ限り、この世に正義はない、ファシストは野獸だ、野獸は殲滅しなければならない

△僕は愛國者だ

この日リツベントロップはニュールンベルグの監房でAP記者との會見を許された、嘗ての瀟灑な外交官もいまでは「シヤンパン行商人」といふよりは人狼のやうにみえたといふが、左に一問一答を掲げよう

問 英國との戦争をヒトラーの耳に吹き込んだのは貴下といふことになつてゐるが……

答 莫迦をいひ給ふな、常に英獨提携のために盡力し、ソ聯との戦争に反對してきたのは僕ではないか、僕は戦争中絶えず總統やドイツの敵に和平の觸手を伸ばしてきたのだ

問 併し貴下は一九三九年八月に英國はポーランドのために闘はぬといふ情報にヒトラーに與へて、彼を戦國にかり立てたではないか

答 そんな途方もない話があるものか、それは僕に對する中傷者の所業だ

問 貴下はヒトラーをいまだう思つてゐるか？

答 總統の生存中僕は總統に忠誠を誓つた、だから總統が逝つたからといつて、僕が總統を誹謗してよいものだらうか

問 ヒトラーを最後にみたのは？

答 四月二十三日總統官邸でだ、僕は總統は既にこの世にないと思ふ

問 ナチズムをどう思ふか？

答 僕は舊い黨員でないからナチズムの原則だけを問題にしてゐるわけだ、僕は一九三二年にナチ黨に加入した、僕はアドルフ・ヒトラーだけがドイツを混亂から救ひ得るものと確信した、總統が勞働者にしてやつたことや彼の個性は僕を磁石のやうに牽きつけた、僕は一種の愛國者だ、將來どうする積りか？

答 計畫はない、ただドイツ國民を大きな不幸と哀しみから救つてやれたらと思ふ

問 ドイツの敗因についてどう考へてゐるか？

答 敵の人的物的資源における優位とドイツの國內情勢のために敗れたのだ

リツベントロップは「愛國者」だといふ、しかりかれは帝國主義ドイツにとつては愛國者であらう恰度東條その他が帝國主義日本の愛國者たることを主張するやうにだ、しかしかれは世界の民衆にとつては恐るべき敵だ、かれはドイツが敗れたのは聯合國の物量に仆れたためだといふ、恰度日本の公然隠然たる戦争責任者共が日本が敗れたのは米國の物量に仆れたためだと考へてゐるやうに

戰史を繕いてみるがよい、不正な戰が今日までに勝つた例があるか、ナポレオンを氣取つたヒトラーがナポレオンのやうにスモレンスク街道上に敗慘の旅を續けなければならなかつたのは當然のことではないか、リツベントロップにとつては彼がドイツ國民に對して責任を感ずるのは戦争に敗れたからだといふ、しかし「敗戦責任」といふものは存在しない筈だ、あるのは「戦争責任」である戦争に勝つた負けるといふことは問題でない、世界の民衆に對して彼等が責任をとらねばならぬのは彼等が帝國主義戦争を始めたといふことだけだ

昭和二十年十二月廿九日(土)
第 四 八 號

時事通信

海外電報

(48)

モスクワ會談は旬日に亘る協議の後、第二次世界大戰後の戦後經營に關する重要諸件案を解決し平和の建設に劃期的な貢獻を致した、二十七日、米英ソ三國の首都で發表された公報は第一に日本占領についてマツカーサー將軍に「勸告」する米英ソ華四國理事會の設置、第二に朝鮮の臨時政權に關する協定、イタリヤ、ルーマニア、ブルガリヤ、ハンガリー、フィンランド各國との平和條約締結の手續並びに米英兩國政府がルーマニア、ブルガリヤ兩國政府を承認する場合の機構、最後に原子力管理委員會設置等々の廣範な分野に亘つてゐる、日本占領に關する四國の管理々事會は十一ヶ國代表からなる極東委員會のもとに運營される委員會の任務は日本政府が降伏條件を實施する場合に適用すべき政策、原則並びに標準を形成するにあり、ソヴェト政府も今度の委員會には參加を約束してゐる、勿論マツカーサー將軍は管理々事會に米國代表として出席し且つ委員長の役割を果すが、實際にも降伏條件並びに占領行政の實施ディレクティブの布告等についてはマツカーサー將軍は依然として「日本における聯合國の唯一の執行權威」である、ただ命令を出す場合にマツカーサー將軍があらかじめ管理々事會に相談し、或ひは豫告するといつてゐるだけで、日本管理機構は多少形式が變るといふ以外、略々現状を續けるとみて差支へはあるまい、ただ新しい點は、「政策の決定乃至その他の廣範な諸問題」について理事會の一員が最高司令官と意見が合はぬ場合、マツカーサー將軍が極東委員會で取極めが出来るまで命令を出すのを差控へるといふ一項だ、これも實際の運營に當つて、聯合國最高司令官の權限には何等の制肘をも加へるものではない、要するに日本管理の方式はかねて米國の主張せるバルカン方式を殆んどそのまま實現し、それにベルリン方式の拒否權を度の薄い形で混入したともいへよう、この場合極東委員會の重要性増大に鑑み豫想されるのは現在まで幾分輕視されてゐた同委員會構成員の質的向上であらう



然として「日本における聯合國の唯一の執行權威」である、ただ命令を出す場合にマツカーサー將軍があらかじめ管理々事會に相談し、或ひは豫告するといつてゐるだけで、日本管理機構は多少形式が變るといふ以外、略々現状を續けるとみて差支へはあるまい、ただ新しい點は、「政策の決定乃至その他の廣範な諸問題」について理事會の一員が最高司令官と意見が合はぬ場合、マツカーサー將軍が極東委員會で取極めが出来るまで命令を出すのを差控へるといふ一項だ、これも實際の運營に當つて、聯合國最高司令官の權限には何等の制肘をも加へるものではない、要するに日本管理の方式はかねて米國の主張せるバルカン方式を殆んどそのまま實現し、それにベルリン方式の拒否權を度の薄い形で混入したともいへよう、この場合極東委員會の重要性増大に鑑み豫想されるのは現在まで幾分輕視されてゐた同委員會構成員の質的向上であらう

【目次】

極東管理に新方式.....	五〇二
米佛經濟協定交渉始まる.....	〃
フランコ政權の引導近し.....	〃
米、英通條約を支持.....	五〇三
米大統領新年放送.....	〃
新補給本部長決る.....	〃
新海軍作戰部次長.....	〃
佛ブレトン・ウツツ協定批准.....	〃
オランダ代表英京入り.....	〃
ローレンス、印度に放送.....	〃
國民會議派六十年祭.....	〃
中國の對米輸出商品.....	〃
米英ソ全面的協調へ.....	五〇四
【戰後處理】	
日本人を釋放.....	五〇五
赤軍千島で演習.....	〃
【歐洲】	
洪、獨居留民を放逐.....	〃
白和軍も獨占領に参加.....	〃
希選舉に米國の視察團.....	〃
【米 洲】	
ATC大巾に削減.....	五〇六
太平洋漁業を政府補助.....	〃
デュトラ明春就任.....	〃
ペロンの競争相手現はる.....	〃
機嫌とり政策に非難轟々.....	〃
罷業と閉鎖の禁止令.....	〃
【特 輯】	
眞珠灣事件調査委員會公聽會(三).....	五〇七
【資 料】	
本部招來の意義.....	五一一
キース元帥逝去	
(ロンドン二十六日)英國コマンド部隊の創設者として知られる英國海軍元帥ローチャー・ブラヴンロウ・キース男は、昨年十月米國軍のレイテ島侵攻作戰に英國海軍觀戰武官として從軍中、侵攻第四日に米海軍の布いた煙幕に呼吸器を冒され加療中だつたが、遂に二十六日逝去した、行年七十三歳	

極東管理に新方式

モスクワ會談の成果

米國代表バーンズ國務長官と英國外相サー・アーネスト・ベヴィンは、二十六日夜、クレムリン宮の外務人民委員室において、モロトフ外務人民委員と最後の協議を重ね、會談は徹宵二十七日午前三時三十分に至つて漸く終了した、UPのモスクワ電報によれば、會談後バーンズ國務長官は記者團を引見し

今度の會談は非常に建設的であつた、單にいろいろの問題が片付いたからといふだけではなく三國代表間に友好關係が出来たので、他の諸問題も將來同じ精神で解決されることを期待していいと思ふからだ

と述べたとつたへられる、NBCのモスクワ特派員も

三國外相間に幾多の點について全的な合意が成立し、公報の内容から見れば樂觀して差支へない、公報は細目や翻譯の都合でまだ出ないが、間もなくモスクワ、ロンドン、ワシントンで同時に發表されよう

と述べてゐる

協定の内容に關し、ロイター並びにAP兩社の傳へるところを綜合すれば、次の通り

一、米英ソ華四國代表をもつて日本管理々事會を設置、理事會の議事については全會一致の原則をとる、但し日本管理に關する最後の決定權が管理々事會にあるか、マツカーサー將軍が依然保持するかは、まだ判明してゐない

一、朝鮮における米軍司令と赤軍の司令とは今後會議を遂げ、北鮮と南鮮とにおける軍政の調整を図る、將來朝鮮の南北を統合して、五ヶ年の期間をもつて、米英ソ華四國の信託統治理事會の管下に置く

一、原子力については、米英加三國が國際聯合總會に決議案を提出するが、ソヴェト政府も右決議案提出に参加する、更に佛華兩國に對しても決議参加を要請する

一、對華政策 Ⅱ 國共の内戦を停止し重慶政權のもとにおいて民主々義的な統合政權を樹立すること

とが必要であり、聯合各國は中國の内政不干渉政策を堅持する

米佛經濟協定交渉始まる

(ワシントン二十六日)フラン貨の切下げに伴ひ米佛政府間には一般的金融協定に到達のため、近くワシントンで兩國代表者の商議が開始されるものと信じられてゐるが、大體最近締結された米英兩國の金融貿易協定と同じ線に沿ふ協定が成立するものと解されてゐる、フランス側の首席代表には目下パリに歸還中のフランス大使ボネが當る筈で同大使は近くワシントンに歸任する豫定である

フランコ政權の引導近し

(ロンドン二十六日)英外務省スポークスマンは二十六日「英政府はフランス政府が若しスペイン問題に關して討議するため米英佛三國政府間の會議を召集するならば、これに参加する用意ある旨を佛政府に通告した」旨發表した、右はフランス政府が、過般米英兩國政府に對して、フランコ政權と三國との關係再檢討のため、國際會議を開くことの可否について照會を發したのに對する英政府の回答である

(ワシントン二十六日)米國政府はフランス政府に對して、フランコ政權に對する米英佛三國政府の關係を全面的に檢討するため、兩國政府と談合の用意ある旨をフランス政府に通告した旨二十六日發表した、國務次官ディーン・アチソンは二十六日の記者會見で、右回答は今週に入つて發表されたものであると言明してゐるので、三國會議を開催することになれば一月早々となる見込みである、フランス政府の米英兩國政府に對する覺書内容は未だ發表されてゐないが、フランコ政權との斷交を示唆し、スペイン亡命共和政府をスペイン臨時政府として承認することを提案したものと解されてゐる

(モスクワ二十六日)國際民主婦人聯盟は、モスクワに開催中の三國外相會議に對して、フランコ政權との斷交決定を慫慂する決議文を送達した旨モスクワ・ラジオは報じてゐる、同聯盟は先週パリに召集された國際婦人會議の結果結成されたもので、本部はパリにある

時事通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

米、英運條約を支持

(ワシントン二十七日) アチソン國務次官は二十六日新聞記者團會見で、國際問題につき次の通り述べた

今回英國とシヤム兩國間に成立した條約の調印は技術的問題で若干遅れてゐるやうだ、米國としてはその細目の點で若干賛成できぬ箇所もあるが大體において新條約の内容には満足である

米大統領新年放送

(キヤンサス・シテイミズリー州二十七日) トルーマン大統領はクリスマス休暇で目下故郷のキヤンサス・シテイ滞在中だが、二十六日新聞記者團と會見、新年早々施政方針に關する放送を行ふ豫定なる旨發表した、放送の主點は大統領の勸告した立法問題におかれることとならう

新補給本部長決る

(ワシントン二十七日) パターソン陸軍長官は二十六日さきに退役せるブレホン・ソマヴェル大將の後任としてルロイ・リニューツ中將を陸軍補給本部長に任命する旨發表した

新海軍作戰部次長

(ワシントン二十七日) 米國海軍省は二十六日フオレスト・P・シャーマン少將を海軍作戰部次長に任命する旨發表した、シャーマン提督は戰爭中現作戰部長ニミッツ元帥の下に太平洋艦隊參謀副長の職にあつた

佛、ブレトン・ウツツ協定批准

(パリ二十七日) フランス憲法議會は二十六日、滿場一致をもつてブレトン・ウツツ國際基金銀行協定の批准を可決した、なほ議會は最近成立した五億五千萬弗を米國輸入銀行から借入れる米佛借款協定の批准をも可決し、引續きフラン貨切下げ案を五〇六票對四四票で可決した、ブレヴァン藏相の言明によればフランス保有の金塊、外國爲替總額は戦前の三十八億弗から十八億弗に減少した

オランダ代表英京入り

(ロンドン二十七日) オランダ首相ウイルヘルム・

ルシエルメルホルンを首班とし、蘭領東印度總督ファン・モークを含むオランダ代表團の一行は二十六日ロンドン着、二十七日から東印度問題に關して英首相アトリー以下の英首腦者との協議を開始する

ローレンス、印度に放送

(ロンドン二十七日) 英政府筋の言明によれば、ローレンス印度事務相は新年に當りロンドンから印度國民に對し個人的メツセージを放送することになつたと傳へられる

國民會議派六十年祭

(ロンドン二十七日) ロンドンにおける印度國民會議派は、二十四日「獨立の家」において六十年祭を執行、ロンドンにおける凡ゆる印度人政治團體代表者が出席、國民會議派六十年の歴史と獨立を目指す國民鬭争の各段階について論議した、なほ印度聯盟並びに印度獨立協會は新年早々六十年祭を行ふ豫定である

中國の對米輸出商品

(サンフランシスコ二十七日) 中國との通商に従事してゐる約三百の米國商社により組織されてゐる米華通商評議會の地方委員長H・コリアーは二十二日中國政府から一九四六年中に中國が米國に輸出し得ると思はれる商品の推定額を示した報告を受けると發表した、この報告は中國の輸出商品が米國の對華借款の重要な要素をなすものであり、米國の輸入業者から中國政府に對して、その提供方を要請したものが、主要商品及びその輸出推定額次の通り

桐油	五五、〇〇〇千封度
豚毛	三、三〇〇〇
生糸	三、七〇〇〇
羊毛	一七、六〇〇〇
茶	六、六〇〇〇
豆	一一〇、〇〇〇〇
タンダステン	一、五〇〇噸
アンチモニー	二、四〇〇〇
錫	二〇〇〇

米英ソ全面的協調へ

Ⅱ モスクワ會談中間公報を繞る問題 Ⅱ

十二月十六日以来モスクワで開催されてゐた米英ソ三國外相の會談は二十四日夜中間公報を發表した後、スピリドノフカ宮で七時間に亘り會談を續行、最終公報の草稿を練つたが、二十七日午前二時にワシントン、ロンドン、モスクワの三首都で同時に發表される豫定といはれる、今回の會談では初め中間公報は發表しない豫定であつたが、二十五日のAP電報によれば、會談が降誕祭まで延引したためバーンズ國務長官が戦争終了後最初の降誕祭に平和愛好諸國民に贈物として中間公報を發表することを提案、ベヴィン、モロトフ兩外相が大喜びで賛成したものと傳へられ、同公報の一部は既に紹介されてゐるが、正文を重ねて次にお傳へしよう

△公報正文

「モスクワにおけるソヴェト聯邦、合衆國及び英國の外相會議は平和諸協定の準備手續に關し左の協定に到達し、同協定にフランス及び中國政府の參加を要請した

一、諸國との平和協定を起草するに際しては、ベルリン會議の調印國政府の成員のみが右平和協定起草を目的とする外相理事會に參加するを得、但し國際聯合の他の加盟國は當該國に直接關係する問題を決定するに當り參加を招請された場合、右の平和協定起草のための外相理事會に參加し得る
A、イタリアとの平和協定は英國、米國、ソ聯、フランスが起草する
B、ルーマニア、ブルガリア及びハンガリーとの平和協定はソ聯、米國及び英國が起草に當る
C、フィンランドとの平和協定はソ聯及び英國が起草に當る

關係各國の外相はロンドンにおける外相理事會の第一次會議において到達した諸協定を基礎としてロンドンにおいて直ちに事業を再開する

二、準備事業が完了し次第、外相理事會は會議を召集し、イタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー及びフィンランドとの平和協定案を討議

する、會議は歐洲諸敵國との戦争に積極的に參加した國際聯合の諸加盟國によつて構成される、即ち米國、ソ聯、英國、中國、フランス、濠洲、ベルギー、白ロシア、ブラジル、ギリシヤ、オランダ、カナダ、ニエーゼーランド、ノウルエー、ポーランド、ウクライナ、チエコスロヴァキア、エチオピア、ユーゴスラヴィア及び南阿聯邦の諸國である、會議は一九四六年五月一日までに開催されるものとする

三、會議の事業が完了し、イタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー及びフィンランドとの平和協定に調印する諸國政府、イタリアに關してはフランス政府により會議の勸告が檢討された後に最終の平和協定を起草する

四、平和協定の最終正文は會議に代表を出席せしめ且つ上記の諸敵國と交戦状態にあつた諸國政府によつて調印される、平和協定の正文は上記の敵國と交戦状態にあつた他の聯合國にも送附される
五、諸平和協定は關係國双方を経て直ちに效力を發生する

他の諸問題に關する會談は友好的精神をもつて續けられてをり、會談の事業に關する公報は一兩日中に發表される見込みである」

△ソ聯、更に三票獲得

AP、UP情報裏付けてゐるやうに、今回のモスクワ會議は極めて友好的な雰囲気の中に進められた様子で、前回のロンドン會議の如く卓を叩いて敦囑いた險惡な空氣は全くなかつたといはれAP記者ギルモアによれば「バーンズ國務長官はワシントンを發つ前にソ聯と折合ふやう訓令を受けた」といひ、UP記者シャビロによれば「ロンドン會議の誤解と疑惑の大部分は一掃された」といふ

事實中間公報に關する限り、問題が前回のロンドン會議で物分れとなつた種であるだけに、米英兩國がソ聯に對して全面的に譲歩したといふ感を深めざるを得ない、ソ聯はバルカン諸國との平和條件決定に直接戰國に參加しなかつた國は參加を除外することをロンドン會議で主張し、米英兩國の強硬な反對にあつたが、この要求は通つた、それはかなりか平和條約案を檢討する二十一ヶ國の會議にウクライナ、白ロシア兩共和國を參加せしめ

時事通信

海外電報

第三版 歐戰情報

るに成功して、貴重な三票を獲得した、恐らくモロトフ外務人民委員は完爾と笑つたことであらう

△問題の三大議案

問題はモスクワ會談の三大議案と目される原子力國際管理、極東管理、イランの三難件だ、AP電報によれば、スターリン議長はモスクワ會談關係者達をクレムリン宮に招待して、「原子力」のために乾杯の音頭をとつたといはれるが、このことは必ずしも原子力問題が圓滿に解決されたことを暗示するものではあるまい、その證據にAP、UP、ロイターの各通信社のモスクワ特派員はいづれも軌を一にして、モスクワ會談に過去の期待をかけることを戒め、「センセーショナルな発表はないだらう」と豫言してゐるのだ

UPワシントン記者ラルフ・ハインゼンは二十六日次の通り報じてゐる

「消息筋の見解では朝鮮の獨立問題がモスクワ會談に上提されるものとみられ、バーンズ長官はソ聯の信託統治案に反對して朝鮮の即時獨立を慫慂するやう訓令を受けてモスクワに旅立つたといふことだ、現在までのところモスクワ會談は何等の結論にも到達してゐないやうだが、米國の立場はカイロ宣言に基き自らの政府形態を選ぶため人民投票の實施を朝鮮に約束するにあるやうだ、しかるにソ聯は人民投票を行ふ前に一國の信託統治制を實施し、南部の豐饒な農業と北部の工業とを交流させるといふ案を持つてゐる」

以上は單に朝鮮だけの問題であり、その他日本管理問題、中國及び滿洲問題についても幾多の難關が伏在してをり、單に一回の外相會談でその悉くが解決され得ないことは常識でも判斷がつく筈だ、ただし問題は會談が以上の難件を解決まで持つて行く雰圍氣にあるかどうかだが、歐洲問題において米英兩國が譲歩したのは、極東問題におけるソ聯の和協的態度の代償とは考へられないだらうか、既に極東諮問委員會の性格變更説がUPから傳へられてゐるが、それはソ聯の面子を救ふ意味で結局ソ聯の協調的態度を示唆するものと考へられぬこともない

【戦後處理】

日本人を釋放

(ワシントン二十四日) 司法省は二十二日、日本人追放公聽會の勧告に基づき開戦以來ニュー・メキシコ、テキサス兩州の強制收容所に收容されてゐた約百四十名の日本人を數日中に釋放することとなつたと發表した、釋放される者はいづれも長年米國に在住した日本人である

赤軍千島で演習

(モスクワ二十六日) 赤軍機關紙「赤い星」が二十六日報するところによれば、赤軍部隊は目下惡天候を冒して千島列島で演習を行つてゐるといはれる

【歐洲】

洪、獨居留民を放逐

(ブダペスト二十六日) ハンガリー政府はドイツ居留民を悉く國外に放逐する旨の布告を二十四日發した

白和軍も獨占領に參加

(ブリュッセル二十六日) ベルギー陸相ムンデレエルは二十六日、來春早々オランダ、ベルギー兩國軍隊もドイツ占領に參加することにならうと發表した

希選舉に米國の視察團

(ワシントン二十六日) 近く行はれるギリシャ總選舉に當り、約六百名の米將兵がオブザーヴァとして同國に派遣されるが、これは歴史上劃期的な出來事である旨ワシントン官邊から發表された、發表當事者の名前は嚴秘に付されてゐるが、同人の言によれば、一國の選舉に他國人がオブザーヴァとして招請された事例は史上にまだない、招待されたのは米、英、佛、ソ聯で、米英佛は受諾したがソ聯は拒絕したといはれる、米代表團の團長は元國務次官補ヘンリー・F・グレイの豫定で、その下に五名乃至六名の輔佐官がおかれ、その中には米陸軍省推薦のハリ・J・マローニ少將も加はる筈である

【米 洲】

A T C 大巾に削減

(ワシントン二十五日) 米國陸軍省はつぎの通り發表した

陸軍空輸司令部の太平洋及び歐洲における兵力の六〇%以上が一月一日迄に復員となる、司令部の太平洋局は最盛時四萬一千の兵力を擁したものが十二月一日までに二萬六千となり、一月一日までには一萬七千となる筈である、一方歐洲局は最盛時一萬の兵力を擁したが十一月一日までに六千となり、一月一日までには三千六百となる筈である

太平洋漁業を政府補助

(ワシントン二十五日) 復興金融會社は二十二日太平洋水域で漁業を営む米國の民間會社に對する補助金支出を繼續する旨發表した、太平洋における漁業に對する政府の積極的援助計畫は既に日本の降伏前、戰時食糧局の勸告により決定されてゐたが、終戰後國務、内務兩省も「太平洋における漁業は米國の利益に最大の寄與をなす」との意見に一致、復興金融會社がその責任機關となるに決定したものである、金融會社の發表によれば、シヤトルの一漁業會社のトール船四隻、加工船一隻から成る漁業船隊組織計畫に補助金を與へる準備が進められつつあり、船一隻の費用は三百七十五萬弗以下にとどまるとみられるが、漁業の對象は蟹類及び水底魚類で、作業水域はベーリング海をはじめその他の太平洋水域とならう

デュトラ明春就任

(リオデジャネイロ二十五日) ブラジルの地方新聞が同國二大政黨の見解として報道するところによれば、過半の選舉で當選したエンリコ・デュトラは臨時憲法の規約に従つて明年一月ブラジル大統領に就任するだらうと傳へられる、デュトラが就任後の議會において恒久的憲法が決定されるわけだが、その原案は目下ホセ・リナレスを首班とする現在の中間政府によつて起草されてゐる、新議會が新憲法を決定した曉、一九三七年ゲツリオ・

ヴァルガスによつて制定された強權主義的所謂「新國家憲章」は完全に失効となるわけだ

ペロンの競争相手現はる

(ブエノスアイレス二十六日) 政治消息筋の觀測によれば、急進黨の指導者ホセ・タンボルニが明春二月二十四日の大統領選舉に民主主義戰線の候補者としてペロンと覇を爭ふことは確實だらうといはれる

機嫌とり政策に非難轟々

(ブエノスアイレス二十五日) アルゼンチン政府は「凡ての私的企業家は雇傭人に對する賞與年額を月俸の一ヶ月分とし、月俸一千ペソ(二百四十七弗)以下の収入のものに對しては俸給を一〇%乃至二五%即時引上げるやう」指令したが、政府今回の措置は來るべき大統領選舉戰に於る勞働層の支持を狙つた機嫌とり政策であるとして、轟々たる非難の聲が擧つてゐる、先づ同國の雇傭主團體たるアルゼンチン工業聯盟は殆ど満場一致をもつて政府命令を無視することを決議した、一方急進的大學生の一團は

政府命令は煽動政治家のやる手で、選舉戰を狙つてゐるものだ

と攻撃し指導的二朝刊新聞は

政府命令は國民經濟を混亂させるものであると非難してゐる、さらに商工會議所當局はつぎの如く聲明した

政府は選舉までは中立を維持すると約束してゐたのだが、今回の思ひ切つた命令はそれに違犯するものであり、私的企業家は今回の命令に應ずることは出来ない

罷業と閉鎖の禁止令

(カラカス二十五日) ヴェネズエラの第二十二議會は罷業及び工場閉鎖を禁止し、勞働爭議の平和的解決手續を規定せる法令を公布した



眞珠灣事件調査委員會

公聽 會(三)

小黒 大州

七日間に亘るマーシャル前參謀總長の證言は十二月二十一日付特輯で一部記述したが、同元帥の證言内容は大體において次の如く要約することが出来る。

一、日本軍は眞珠灣攻撃において大きな賭けをした、余は日本がそれをやるだらうとは考へてゐなかつた、他に採るべき手段がなかつたといふことが日本軍をしてハワイを攻撃せしめ且つ成功させた理由であつた、余は一九四一年おそく日本軍が潜水艦によるバナマ運河攻撃、或ひはシャトル乃至サンディエゴに對する空軍攻撃の方が眞珠灣を攻撃するよりも可能性があると考へてゐた、そして日本が行動を起すとすればその可能性のある攻撃方向は南方への進攻で、ウエーキ、グアム兩島の占領であると考へ、十一月二十七日余が發した警告において、十分に警戒措置を採つてゐるものと考へてゐたところのハワイは、上陸乃至攻撃をすべく餘りにも難攻不落であると考へてゐた。

△危険は最初の六時間

一、もし眞珠灣の米軍が警戒されてゐたならば、米軍は日本軍の攻撃を混亂に陥らしめ、目標から逸らさせ、損害を著しく軽減させる事が出来たであらう、陸軍及び海軍は一九四一年十二月七日、日本の攻撃を粉碎するに足るだけの十分な兵力を眞珠灣に擁してゐた、もし日本軍の攻撃が警戒深い守備隊によつて粉碎されてゐたならば、日本の侵略計畫は潰滅してゐたであらう、余は余の計畫の一切において常にハワイ空襲を防禦する飛行機及び砲を念頭に入れてゐた、余はP36を全米から全部ハワイ防衛に差しむけるべく計畫してゐた、余はハワイ陸軍司令官ウォルター・ショートに對し、ハワイにとつて危険な時は戦闘開始が分つてから最初の六時間であらうと警告し、眞の危険はサボタージュと空軍及び潜水艦による奇襲であらうと警告してゐた。

一、最後の警告が眞珠灣に到着した時は既に遅かつた、余は十二月七日朝參謀本部に赴き、米國の平和條件に對する日本側回答は同日午後一時に國務省に手交されることを知つたので、スターク海軍々令部長に對し、太平洋の諸司令官に警告するやう提案した、スターク總長はそれは諸司令官を迷惑させるとの意向で直ぐには承知しなかつたが、余が何とかして警告するやうあくまでも主張した結果、最後の警告が發せられることとなり、右警告は日本軍の爆弾が落ちてゐる最中に眞珠灣に到着した。

△よくない意圖

一、フィリピンは、飛行機及び軍需資材の入手に關して優先權を與へられてゐた、偵察その他の方法により日本軍が比島方面によくない意圖を示してゐることがわかつたからである、比島を強化することによつて、日本の參戰を防ぎ得るとわれわれは感じてゐたからだ、何となればもし日本軍が比島を奪取し得ない場合、どんなことになるかを日本は知らぬ筈がないからである。

註(一) 右に關聯して調査委員會はマーシャル參謀總長が故ルーズヴェルト大統領に與へた覺書を公表したが、右覺書はフィリピンに、日本軍のマレー、東部シベリアへの進撃を抑制するため、近代的地上軍裝備と兵員の増加並に空軍力の急速な建設を勧告してゐる、右覺書の日付はないが、おそらく一九四一年夏に書かれたものと推察されてゐる。

註(二) さらには一九四一年の防衛計畫に關する書類記録では、マーシャル參謀總長は一九四一年春ルーズヴェルト大統領に對し、ハワイのオアフ島は世界最強要塞の一つであると強調し、従つてハワイに對する大規模な攻撃は實行不可能であると指摘してゐる。

一、米國は日本軍の攻撃が開始される以前の米英加、乃至は米英蘭の軍事會談において戦争に入るやうな何等の公約もしなかつた

一、故ルーズヴェルト大統領は余に對して、麾下各軍に對する命令の中には各軍司令官が「歴然たる戦争行爲」(オヴァ・アクト・オブ・ウォア)を行ふことを避けるやうにとの命令を含むべしとの訓令を余に與へた

△一か八かの大冒険

一九四一年當時の海軍謀報部長セオドア・ウィルキンソン中將は十七日次の通り言明した

余は日本がハワイを攻撃するとは考へてゐなかつた、蓋しそのことは日本をして米國との全面的戦争に飛び込ませしめるものであり、日本がそんなことを希望してゐるとは信じられなかつたのである、ハワイが日本の目標になりそうだと考へ得なかつた、余は一九四一年十二月七日日本軍の攻撃に先立つて、眞珠灣周辺の米國艦隊の動き及び配置に關する日本の傍受電報を見たが、それは日本の一般的情報業務の一部にすぎないといふのが余の印象で、今こそそれが大きな意味を持つものであることを知つたが、當時はそれに特別の意味を持たせることは出来なかつた

ウィルキンソン中將はさらに、海軍謀報部が一九四一年十二月七日以前、日本聯合艦隊は九月二十五日人事異動を行つたこと、さらに十一月一日人員を増加して完全なる人的戦時配置を完了したと、日本商船隊が高射砲を備へつけたこと、十一月十五日艦隊が擴張され、十二月一日海軍の無電信號が變化されたこと等を知つたといふ調査委員會の記録を確認した後、つぎの諸事實を明らかにしてゐる

一、日本の電報を傍受する海軍の機關がマニラとハワイに設置されたが、ハワイの傍受局は海軍及び陸軍に關する問題だけしか解讀する施設が無かつた、これに反してマニラの傍受局は陸海電報は勿論、外交電報をも解讀する施設を持つてゐた

一、眞珠灣事件當時の太平洋艦隊司令長官ハズバ

ンド・キンメル提督がワシントンに對して、日本の外交活動に關する情報を提供するやう要請したといふことを余は最近まで知らなかつた、外交活動から歸納する日本側の意圖に關する限り、キンメル提督に報告すべき責任は海軍作戰計畫部にある

一、海軍の高級將校は傍受した外交電報により、眞珠灣攻撃約四時間前に日本が明らかに戦争をやらうとしてゐる意圖なることを知つた、しかし余はこの電報を南支那海における戰鬭行動なりと解釋した

以上の如きウィルキンソン中將の證言と同時に調査委員會は眞珠灣攻撃の六日前に、日本が間もなくタイ國へ進撃するかも知れぬことを謀報部が知つた旨の海軍記録を發表した、さらに一九四一年十一月十五日の海軍謀報部のレジメは、日米關係の危機が迫りつつあることを指摘してゐる、なほ海軍謀報部に關係する問題で調査委員會が十四日公表せる證據書類によれば、眞珠灣攻撃の六日前に海軍謀報部は、日本航空母艦すくなくとも四隻、恐らく六隻の行方を見失つたことを記録してゐる

△機會は五分と五分

ウィルキンソン中將は日本軍がハワイを攻撃するとは豫想出来なかつたと述べてゐるが、調査委員會の休會に先立ち、二十一日公聽會の證人席に立つた一九四一年當時の海軍作戰計畫部長リッチモンド・ケリー・ターナー提督の證言は、ウィルキンソン中將のそれとは正に對蹠的で、同提督は先づ眞珠灣に對する日本軍の攻撃は豫言不可能であつたといふ意見には同意出来ないと前提して次の通り指摘した

余は一九四一年十二月七日米國艦隊は戦争に對して用意してゐたものと信じてゐた、もし艦隊にしてワシントンが指令した如く、警戒してゐたならば、日本軍はあのやうな大損害を米艦隊の上に與へることは出来なかつたであらう、もし當時の太平洋艦隊司令長官ハズバンド・キンメル大將が十一月ワシントンから發せられた指

令の如く艦隊を展開してゐたならば、眞珠灣の損害は大いに減少されてゐたことであらうし、それに代つて日本艦隊に大損害を與へる絶好の機会があつたであらう

ターナー提督はさらに質問に答へてつぎの點を明らかにした

一九四一年米國艦隊は眞珠灣にあるよりも米西海岸にゐた方が安全だつたであらう、しかし米國の安全を防衛するにはハワイが適當な場所であつた、米國艦隊がハワイにあつた理由は艦隊自身の安全乃至は保障のためではなく、ハワイの保全、米國の保全がその理由であつた

さきにハル前國務長官は、對日牽制力としての艦隊のハワイ留置きを正當なりとしたことは、國務省全體の意見であると主張したが、ターナー提督はこの點に關して國務省の立場と一致してゐる譯だ、しかし海軍は、ハワイの艦隊司令部に刻々と警言を與へてゐた事實を特につぎのやうに強調してゐる

警言は十月十六日ハワイの艦隊司令部に送られた、そして眞珠灣攻撃の時まで警戒措置をとるに十分な警告が續けられてゐた、キンメル提督は「適當なる防禦展開を實施すべし」といふ十一月二十七日の命令に従はなかつた、太平洋艦隊は眞珠灣攻撃の當時、十分なる空軍と潜水艦の警戒裡に海上にあるべきであつたと余は信じてゐる

ターナー提督はまたつぎの諸事實を明らかにした
一、もし解讀した日本の暗號電報が十分に分析されてゐたならば、ワシントンは疑もなくハワイが日本爆彈の目標であることを知つたであらう
余個人としては一九四一年六月、日本との戦争は單に月日の問題であることを確信した

一、余もまたスターク軍令部總長も、ハワイのキンメル長官が日本外交電報を解讀する施設を持つてゐるものと信じてゐた、しかるに同長官がその施設を持つてゐなかつたといふ事實は、昨年海軍が眞珠灣事件調査をやつて始めて分つたものである、これは完全に誤解であつた

一、一九四一年十二月七日、スターク軍令部總長とマニラのハート・アジア艦隊司令長官との間

に通信が交換されたが、右によれば米英兩國は日本が眞珠灣を攻撃せば、英國艦隊の一部をしてマニラを基地とせしめる計畫であつた、さらに右書翰は、日本と戦争に入つた場合における一般的作戰計畫の一部をなす「作戰計畫第四十六號」を詳述し、戰闘が開始されれば、太平洋艦隊は日本軍の保持するカロリン群島に攻撃を集中し、トラツク島に基地を建設して「マレー障壁」に對する日本軍の補給線を惱ますと同時に、赤道以南に活動する英國艦隊を支援し、太平洋における聯合國領土を防衛する計畫であつた事實を明らかにしてゐる

一、余並にその他多數の海軍將校は、日本軍が大舉して眞珠灣を攻撃する機會は他と等半であると感じてゐた、米國海軍は二十五年間ハワイに對する攻撃の可能性を検討してきたのである

△日本資料統計の基礎

調査委員會が十八日公表したところによると、日本海軍諜報部は眞珠灣攻撃に先立つ數年間に亘り、ハワイ海軍基地に關する資料を蒐集してゐたこの資料は新聞雜誌、ラジオ放送及びホルルに立寄つた旅客や船員とのインタヴュー並びにハワイ駐在の日本領事の情報活動に基いてゐる、一九四五年十一月十七日付在東京マツカーサー司令部からの報告は、聯合軍占領以來日本人から蒐集した情報、特に前日本海軍諜報部將校トモ・タチバナに對する質問から得られた情報を提供してゐるが、右報告によれば眞珠灣に入港しつつある乃至は碇泊中の戰艦、巡洋艦、驅逐艦の數を告げる米國放送が一九四一年十一月六日、日本側に傍受されてゐる、マツカーサー報告は以上の如き統計算出方法が非常に長期に亘り日本側が使用してゐたと述べてゐる、さらに同じくマツカーサー司令部からの別種の報告によれば、日本潜水艦隊は一九四一年十一月十一日、ハワイ水域において攻撃開始の際脱出を企圖する如何なる米國軍艦をも攻撃すべしの命令を受けて、ハワイ水域に出撃したこ

とが明らかになつた、以上のマツカーサー報告は海軍諜報部長ウイルキンソン中將の證言に際し當然問題となつたが、同中將はこの問題に關してはつぎの通り述べてゐる

余は、それは日本が或る種の地方放送乃至は素人放送を傍受してゐたのだらうと思ふ、日本が米國の公式暗號電報を解讀してゐたと思はれないから、是が米國の暗號電報から情報を得てゐたのだと歸納すべき理由を知らない

△東の風、雨

調査委員會は十一日、海軍が眞珠灣事件の四日前、日本がその海外々交官に對して、「米國並びに英國との戦争が始らうとしてゐる、但しソ聯とではない」旨を通知する暗號電報を傍受したことを陸軍調査委員會の記録として發表した、この記録は「極秘」として陸軍調査委員會が保存してゐたものであるが、日本の右暗號電報は所謂「風」電報として米國によつて一九四一年十二月三日夜傍受されたものである、しかしこの電報の原文乃至そのコピーも現在陸軍省乃至海軍省の記録の中には發見されてゐない、日本の電報は「東の風、雨」で、その意味は「英國と戦争、米國と戦争、ソ聯と平和」といふ譯で、これを四日前に知つてゐたとしたなら眞珠灣の責任は極めて重大となる、然しこの問題に關聯する陸軍調査委員會の報告と同委員會判士長マイロン・クレマー少將の覺書とが矛盾してゐる、クレマー少將の覺書は海軍の證人が後に證言を修正したのを書きとめたものだといはれるが、報告と覺書はつぎの點において相異してゐる

一、日本が英國及び米國を攻撃しようとしてゐることは、三つの獨立した機關から早くも十二月一日にはつきりした情報が得られた。（報告肯定、覺書否定）

一、十二月三日陸軍諜報部は日本人が暗號書を焼いてゐるのを知り、これは戦争が切迫してゐることを意味するものと解釋した（報告肯定、覺書否定）

ヘンリー・クラウゼン中佐の手になる陸軍調査委員會の報告はまたつぎの如く指摘してゐる

ハワイ海軍區の諜報將校は國際的悶着を避けるために、眞珠灣事件の五日前一切の電話檢閲を中止するやう指令した、しかしハワイの聯邦檢察局（FBI）當局は、日本軍が攻撃する瞬間まで日本領事館の傍受をつづけ、これによつて同領事館が暗號書を焼いてゐることを知つたのである、海軍諜報部の傍受は日本軍が眞珠灣を攻撃するまで再開されなかつた

ともかく一度は傍受された日本の「風」電報は、現在陸海軍兩省のファイルの中に見出されないらしく、そのため、マーシャル參謀總長がその焼却を命じたのだとの噂も出た位だが、マーシャル總長はそんなことは絶対にないとして否定した

△南米を探る

一九四一年春ラテン・アメリカ諸國の日本外交使臣は、日米戦争の發生によりラテン・アメリカ諸國がどんな反響を示すかを打診せんとして、日米戦争の可能性を示唆してゐた、ラテン・アメリカ諸國の米國大使館から國務省へ到達した報告書類は、ペルー、ブラジル、ドミニカ諸共和國駐劄の日本公使がこれら各國の政府官吏にたいし、太平洋で戦争が勃發した場合におけるこれら各國の態度を質問した

一方パナマ駐劄の日本公使はコスタリカ、キューバ、コロンビア、ヴェネズエラ各國代表を招待して、日本は戦争に入るを餘儀なくされるだらうと述べ、これら各國のその場合における態度を質問したといはれる、然し記録によれば、これらの何れの場合においても日本外交使臣は、米洲各國は戦争の場合には共同戰線を展開する旨告げられたとつたへられる、なほさきにリチャードソン提督は、一九四〇年六月十八日、陸軍はハワイに警戒措置を命令し、空中哨戒を實施したが、同年の十二月にこれを止めたと言へたが、右の事情に關して調査委員會が受取つた證據によれば、米國陸軍は一九四〇年六月、日獨兩國が眞珠灣にたいする海軍攻撃と、パナマ運河のサポタージュを煙幕として、南米を攻撃する氣配が感ぜられたので、そ

それを恐れ直ちにハワイとパナマ運河に警戒を指令したが何事も起らなかったで、これを解除したものであることが明らかにされた

△牧師は語る

眞珠灣事件前に日本使臣と米國政府との斡旋役をやつてゐたと自稱するメソジスト派僧侶スタンレイ・ジョーンズ博士は「エーシア・アンド・アメリカ」誌上で次の如く書いてゐる

「日本の使節は平和を保持する最後の試みとして天皇に親電を送るやう、ルーズヴェルト大統領に説得してくれるやう余に依頼した、余は一九四一年十二月三日ルーズヴェルトにその要請を傳へた日本の使節はもし天皇が平和のために行動するならば、軍閥は屈服するだらうと主張した、大統領の親電は明らかに十二月五日發せられた、しかしジョゼフ・グルー大使の證言によればこの親電は配達されなかつた様子だ、日本使節のこの要請は彼らが戦争以外の解決策を發見せんとして必死の努力をなしたことを示してゐる、余は日本が大口を擁してゐるにも拘らず、土地が制限されてゐるために、或る種の領土を欲し、もし平和交渉で得られなければ武力によつてそれを獲得せんとするだらうと確信した、余は日本にニユーギニアを與へるやう提案した、余のこの提案に對して濠洲は同情を示し、ある種の米國高官も賛成であつた然るに中國大使は賛成しなかつた、明らかに中國大使は米國に參戰させようとして熱心であつた、もしこの提案が大膽に實行されてゐたとしたら日本を米國の側に引き入れることが出来たであらうと確信してゐる」

本部招來の意義

十二月二十日

ハリイ・ヤーネル提督



國際聯合本部——所謂世界首都が米國內に決定されたことは、過去數十年における米國の國民思想の劃期的變革を改めて明らかに示した

數十年前の米國は、外國の問題については餘り關心を持つてゐなかつた、米國人は海外の事件に

は面を背け、ジョージ・ワシントン最期の忠告を遵守して、外國の紛擾には出来るだけ介入を避けた、米國民の興味は寧ろ國內に向けられ、國內各部門の發達、國境内の豊富な自然資源開發、工場の建設及び鐵道敷設に集中されてゐた、彼等は以上の努力を援助する歐洲移民の到來を歓迎した、海外資本の流入さへも喜んだが他國の問題に關しては慎重にすべての責任を回避した、若い成長期にある國民にとつて全く自然な傾向であるかかる國內専心は、米國民の關心を内面的事象に集中せしめた、他國の問題に首をつつ込むやうなことは、たとへあつても極くまれで、國際關係は常に國內の問題に従屬するものと考へられてゐたのである

△青年米國の姿

未開拓の廣大な國土を有する青年期の國民は、このやうに自己中心、内包的になる傾向がある、彼等は事件を完全な世界全體の一部と看做さず、單に地域的な些細な問題に過ぎないと考へる、實際他國民が彼等の關心を得ようとすれば、この若い半開の國民はかかる努力を、無邪氣を利用しようとする狡猾なマキャヴェリ主義者の計畫であるとし、そこに獨立を危くする如き陰謀を嗅ぎつけようとする傾向があつた

青年期の國家未熟は結局、眞の洞察もなくあらゆる事象を狭い視野で見ようとする青年と變らな、この意味において青年期の國民は歴史の嬰兒にすぎないといへるが、米國も御多分に洩れず、その政治社會生活の形態に變化を示したのも極く最近のことだ、それ以前にも獨立戦争によつて米國の既成政府は覆つたが、米國の經濟はいささかも歴史の繼續性を斷ち切ることなく若返ることになつたのである

その結果は必然的に他國民の動機に對する疑心と共に孤立主義となつて現はれた、革命當初の米

國は神經質で、敏感で、常に自己保全に汲々としてゐた

△孤立主義の清算

技術が進歩し、空漠たる米大陸に人口が増加し米國民と他國民との交渉が次第に密接になると共に米國は狹量を脱した、これはいづれの國においても國民の成長と共にみられる共通の現象であるそのままでも國民の發達は行はれたであらうが、一九一四年にはドイツ人が、また一九四一年には日本人が弱小隣邦の權利を無視したことにより、促進せしめられた、米國は民主主義が全體主義侵略者を懲罰した兩戰爭に参加し、しかしして早急には忘れ得ぬ教訓を學び得たのである

孤立主義は消滅し、米國は世界的な頭腦をもつ國となつた、幼稚な神經質な敏感は聯合國の價值を完全に認めると同時に消え、代つて世界の全國民に貢獻する知識と文化の價值の認識が生れた

國際聯合本部を米國內に設置することは、米國民の興味を世界の事象に集中せしめるであらう、五十ヶ國に上る各主權國代表の滯米こそは各種各様の文明を表示するのみならず、各國民間の相互依存をも示すこととならう、如何に詰らぬものであらうと、討議に上つた事柄が公表されることは國際關係に關する一般の興味を喚起しよう

聯合國小數派の希望のやうに、本部が他の大陸に設置されたとしたら、米國まで送られるニューズは極く限られたものとなり、一般の關心を喚起することは出来ないにちがひない、恐らく昔ながらの國際外交が行はれてゐるのではないかとの疑惑が一般の熱をさますこともまづ避けられなかつただらう

他の大陸諸國は比較的國際交渉に馴れてゐるため、經驗上、協力の價值を知つてゐるが、米國には實際に外國代表をみるといふ餘計な刺戟が必要なのだ、平和の恒久的維持にかけられた人類の希望を荷ふ新國際機構は、平和の計畫を熱烈に希求する國におかれた場合、更によい星の下に活動することが出来る、實際の本部所在地が最後的に決定された時、國際聯合本部は米國民が爾後のUNOの事業を成功せしめるために喜んで最善を盡す

國民であることを知るにちがひあるまい

【今日の話題】

米歐連絡週航便

(ワシントン二十五日) アメリカン・エアラインズ航空會社當局はつぎの通り言明した
當航空會社は一月十五頃から、ニューヨークとアムステルダム、ベルリン間に週一回の定期航空を開始する豫定である、一方ニューヨークとコペンハーゲン、ストックホルム間の週航も開始することになつてをり、試案によればこれは二月一日から着手する豫定である

桑港⇌ホノルル間定期航空増設

(サンフランシスコ二十五日) パンアメリカン・ワールド・エアウェイズ航空會社は現在毎日ハワイ⇌ホノルル間の旅客輸送業務を實施してゐるが今回さらにC54輸送機をもつて週二回の急行旅客郵便業務を開始した、一方濠洲放送によれば、蘭印航空會社は濠洲並びにニュージランドと蘭印ソ聯、日本、中國をむすぶ大規模な航空路開設を計畫中といはれ、バタヴィアがその中心となる様子だ

大西洋横斷航空料金引下げ

(オツタワ二十五日) カナダ運輸省はつぎの通り發表した

カナダ政府の所有になるトランスアトランティック・エア・サーヴィスのモントリオール⇌ロンドン間大西洋横斷定期航空の旅客料金は、十二月二十五日から大巾に引下げられる、新料金によれば東航は現在の五百七十二弗にたいし、三百七十五弗となり、約二百弗の引下げとなるわけだ

英も世界航空に一役

(ロンドン二十五日) 英民間航空省當局は二十一日政府は三國營航空會社をして英國と歐洲大陸、南北米、英聯邦諸國、並びに極東との間に定期航空輸送業務をなさしめる計畫である旨發表した

昭和二十年十二月廿一日(月)
第四九號

時事通信

海外電報

(49)

未だ會つて進歩がかく速かなことはなかつた、未だ會つてかく全的な變形(メタモルフォーシス)が單一の世紀のなかに詰め込まれたことはない、技術的知識の魔法のランプをこすれば、聲に應じて科學が新しい世界を與へて呉れる十七年以前レーモンド・B・フォスデックが述べたところが、原子力の統御に由來する世界大戰後の新世界に一段と多くの眞理をもつて當てはまる國際政治の舊套を打開して「一つの世界」の構想を具體化し、科學の飛躍的進歩に歩調を合せることが、モスクワ會談から國際聯合總會へかけての新世界の課題ではなからうか、ジェームズ・ワツトの蒸氣機關が産業革命を惹き起して、封建的國家の對立から近代的資本主義國家群を生み出したと言得るならば、原子力の獨御が新たな産業と新たな科學とを結果して、超國家的な「一つの世界國家」を建設する原動力とならう、「新時代」誌においてソコロフがいみじくも道破した通り、國際政局が「原子力外交」によつて支配されるが如く、新たな世界機構は「原子力政治」の上に打ち樹てられ



ねばならない、科學の進歩に比べて政治的思辯が依然として遑たる古代の構想を一步も出でず、そこに現代の不安と焦燥とが萌ざすとは、ブラーデン國務次官補がエール大學での講演で指摘するところだが、ブライス卿も主著「アメリカン・ユモーンウェルス」において「米國の憲法の極く小部分が絶對的に新しく大半はマグナ・カルタとともに古い」と述べてゐる、しかし原子力に基く科學の革命は——ブラーデン國務次官補は、嘗て鍊金術の領域に屬してゐた原素の轉位が、應用科學の分野に入つたといふ——プラトン以來の太い政治思想や、ジャック・ボードン一流の主權絶對論を許さない、「一つの世界」の構想が最近頻りに米國で論議されるに至つた所以だ、しかし會つてハロルド・ラスキー教授が指摘した通り「人類の相互依存にも拘らず、各國民が統一した世界觀を抱くには至つてゐない、人種的憎惡、國民的猜疑、階級闘争、之等すべては樂觀の誤なることを強調する」

社告

本通信は十二月三十一日(月曜)付を以て年内は休刊、新年は七日(月曜)付から發行いたします

時事通信社

【目次】

三大國世界政策決定……………五一四

【特輯】

戦後の米國醫學界(下)……………五一九

【資料】

米國の戦時經濟……………五二二

新アルファベットの提唱

(ロンドン二十六日) 老文豪ジョージ・バーナー・ド・ショウ翁は過去において何度もアルファベット簡易化運動を起したことがあるが、二十五日また「タイムズ」紙上に寄稿して、政府に新アルファベット調査委員會の設置を要望した、翁の論旨次の通り

「新アルファベットは英語のどんな發音でも一筆で書けて、點も棒も要らないやうなものでなければならぬ、この案を採用すれば時間の節約で戦費ぐらゐは直ぐに取り返しがつく、たとへば爆弾 bomb」といふ字だが、最後のBは全く無意味で、まるで鐵砲 gun」といふ字を gun と綴るのと變らなや出鱈目の發音ちがひを表してゐる、bomb」といふ字を讀める程度に二十四回も書けば一分かかるが、B一つ省けば二五%の時間の節約だ、これはどんなに手間ひまが要らうが、新アルファベットを採用する理由として十分だらう、こんなことは教育當局に訴へてみた所で無駄なことだ、かれらは現在金科玉條とてはやされてゐるジョンソン博士の「綴綴論」には一指を染める勇氣もないのだ、自分は或る有名な社會教育家に向つて

小學生の發音の誤りを發見し驕正し得るやう小學校で喋る通りの發音式綴字法を奨励してみたらどうか

と提案してみた所「そんなことを提案しただけでも教育界から追放されるだらう」との答を得た」

三大國世界政策決定す

モスクワ公報全文發表

米國々務長官バーンズ、ソヴェト聯邦外務人民委員モロトフ、英國外相ベヴィンの三國代表は三國會議終了後、二十七日午前一時少し前（グリニチ標準時）迎賓館會議室において最終公式會議を開催、三國外相會議共同公報に正式調印した、二十八日午前一時、三國政府より同時に發表せられたる公報正文次の通り

ソヴェト社會主義共和國聯邦、聯合王國並びにアメリカ合衆國の外相は、クリミア會議において採擇され、ベルリン會議において確認せられたる三國外相間に定期的な會議を開催すべしとの決定に基き、一九四五年十二月十六日より十二月二十六日に至る期間、モスクワに會同せり、三國外相會議においては、情報提供及び探究を基礎として討議が行はれ、次の諸問題に關し意見の一致に到達せり

△ソヴェト社會主義共和國聯邦、聯合王國並びにアメリカ合衆國の外相會議に關する報告

一九四五年十二月十六日より十二月二十六日までモスクワにおいて、ソヴェト社會主義共和國聯邦、アメリカ合衆國並びに聯合王國の外相の間に行はれたる會議において、次の諸問題に關し意見の一致に到達せり

第一部 イタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー並びにフィンランドとの平和條約の準備
一九四五年十二月二十四日に發表せられたることとく、ソヴェト聯邦、聯合王國並びに合衆國の政府は、平和條約準備に關する手續きについて意見の一致に到達し、フランス及び中華民國の政府がこれを受諾することを要請せり

(一) 外相會議がイタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー、フィンランドとの平和諸條約を起草するに當つては、降伏條約調印國たる理事會參加國またはベルリン會議において採擇せられたる外相理事會設置に關する協定に基き調印國と看做さるる理事會參加國の外相これに

參照し、外相理事會が他の理事會成員をその國に直接關係ある諸問題について招請せざる限り且つ招請するまでは、他の成員は參加するを得ず、即ち

A、イタリアとの平和條約の條項は聯合王國、合衆國、ソヴェト聯邦並びにフランスの外相によつて起草せられ

B、ルーマニア、ブルガリア並びにハンガリーとの平和條約の條項はソヴェト聯邦、合衆國並びに聯合王國の外相によつて起草せられ

C、フィンランドとの平和條約の條項はソヴェト聯邦並に聯合王國の外相によつて起草せらる關係各國の外相代理はロンドンにおける外相理事會第一回全員會議において論ぜられたる諸問題に關し、到達せる諒解の基礎の上に即時ロンドンにおいて事業を再開す

(二) 以上すべての草案の準備が完了せる時、外相理事會はイタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー並びにフィンランドとの平和諸條約を審議する目的の會議を召集す、會議は外相理事會參加五ヶ國並びに相當なる軍事力をもつて歐洲の諸敵國に對し積極的に戰爭を遂行せる全國聯合加盟國即ちソヴェト社會主義共和國聯邦、聯合王國、アメリカ合衆國、中華民國、フランス、濠洲、ベルギー、白露ソヴェト社會主義共和國、ブラジル、カナダ、チエコスロヴァキア、エチオピア、ギリシヤ、印度、ニュージーランド、ノルウエー、ポーランド、南阿聯邦、ユゴスラヴィア、ウクライナ・ソヴェト社會主義共和國の各國より成る

(三) 會議の審議の結論を待ち、その提案を検討したる後、イタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー並びにフィンランドとの休戰條約調印國（フランスもイタリアとの平和條約のために休戰條約調印國と看做す）は平和諸條約の最後の文案を起草す

(四) かくて起草せられたる各平和條約の最後の文案は、當該敵國と戰爭状態にある會議出席國代表によつて調印せらる、ついで各平和條約の正文は當該敵國と戰爭状態にある他の聯合諸國に提示せらる

(五) 平和諸條約は、各休戰條約調印の聯合諸國(フランスはイタリアとの平和の場合休戰條約調印國と看做す)によつて批准せらるるや直ちに發效す、これら諸條約は當該敵國による批准を必要とす

第二部 極東委員會並びに聯合國日本管理々事會 A、極東委員會

極東諮問委員會に代るものとして極東委員會を設置することに意見の一致をみ、中華民國もこれに同意せり、極東委員會への委託條項次のこととし

一、委員會の設置 ここにソヴェト社會主義共和國聯邦、聯合王國、合衆國、中華民國、フランス、オランダ、カナダ、濠洲、ニュージーランド、印度、フィリピン聯邦の各國代表より成る極東委員會を設置す

二、機能

a、極東委員會の機能は

(一) 日本が降伏條件による自己の責務をそれに從つて遂行し得るとき政策、原則並びに基準を公式化し

(二) 參加國の要請ある場合、聯合國最高司令官の發したるいかなる命令をも、或ひは委員會の權限内にある政策決議に關聯し最高司令官のとりたるいかなる措置をもこれを檢討し

(三) 後段第五章第二條に規定せられたる表決手續きに從ひ關係諸國政府間において到達せる協定により委員會に附託せらるる他の諸問題を審議するにあり

b、委員會は軍事作戦行為に關しても領土調整に關しても提案することなし

c、委員會の活動は聯合國日本管理々事會が形成される事實より出發し、且つ米國政府より占領軍最高司令部に至る命令系統を含む日本の現存管理機構を尊重す

三、合衆國政府の機能

(一) 合衆國政府は委員會の政策決議に基きて命令を準備し、適當なる合衆國政府機關を通じてこれを最高司令官に傳達すべし、最高司令官は委員會の政策決議を表明する命令を實行する責任を有す

(三) 合衆國政府は、緊急諸問題が委員會の既に公式化する政策に含まれざるとき場合、委員會の手續きあるまで最高司令官に對し臨時命令を發するを得、ただし日本の國體または管理政體の基本的變革に關し或ひは日本政府全體の變更に關するいかなる命令も、極東委員會に諮問せる後その同意を得て發するものとす

(四) すべて發せられたる命令は委員會に提出するべし

四、他の協議方法

委員會の設置は極東問題に關する各國政府の他の協議方法に先行することなし

五、構成

(一) 極東委員會は本協定參加國各一名の代表をもつて構成す、委員會參加範圍は參加諸國同意の下に條件の許す限り、極東のまたは極東に領土を有する他の聯合諸國の代表を加へることにより擴大するを得、委員會は、事態の要請に從ひ、委員會參加國に非ざる聯合諸國に特に關係あるるとき諸問題に委員會が當面せる場合、これに關し當該國代表と十分かつ適當なる協議をなし得るやう規定を設くべし 委員會は全員一致投票に満たざるも決定を行ふを得、但し右決定は少くも合衆國、聯合國、ソヴェト社會主義共和國聯邦並びに中華民國の四國代表を含み全代表の過半数の同意あるを要す

六、所在地および組織

(一) 極東委員會はその本部をワシントンに置くべし、他の場所に合同することを望ましと思料する時と場合には、事態の要請に從ひ東京を含み他の場合に會同するを得、委員會は議長を通じ聯合國最高司令官との協議のために實行可能なるごとき取り極めをなすを得

(二) 委員會の各代表は軍事、非軍事双方の代表を含む適當なる隨員を隨伴するを得

(三) 委員會は事務局を組織し、必要なりと思料せらるるとき小委員會を任命し、その他の

方法をも取つてその組織と手続きとを完全ならしむべし

七、期間

極東委員會は、合衆國、聯合王國、ソヴェト社會主義共和國聯邦並びに中華民國の四國代表を含み少くとも全代表の過半数の賛成によりその意味の決定ありたる場合には機能を停止す、機能の停止に先立ち、委員會は移牒すべきこと適當なるごとき諸機能を、關係諸國政府を成員とする何らかの中間的または恒久的安全保障機構に移牒すべし

合衆國政府は四ヶ國を代表して第一章に明示せられたる他の諸國に委託條項を提示し、新たな基礎の上に委員會に参加するやうこれを招請することに協定を見たり

B、聯合國日本管理々事會

同時に聯合國日本管理々事會の設置に關し次の協定に到達、中華民國の同意を得たり

(一) 日本の降伏條件占領並びに管理の實行、更にそれを補足する諸命令の實行を目的としまたここに認められたる管理權の行使を目的として、聯合國最高司令官(またはその代理)を議長に頂き東京を所在地とする聯合國理事會を設置す

(二) 聯合國理事會の成員は議長兼米國代表たるべき聯合國最高司令官(またはその代理)ソヴェト社會主義共和國聯邦代表、中華民國代表、聯合王國、濠洲、ニュージールランド及び印度を同時に代表する代表の四名より成る

(三) 各代表は軍事非軍事顧問より成る適當なる隨員を有するを得

(四) 聯合國理事會の會議は二週一回より少きを得ず

(五) 最高司令官は日本の降伏條件、占領並びに管理、更にそれを補足する諸命令の實行のための一切の命令を布告すべし、すべての場合において決定は日本における聯合國の唯一の執行權威なる最高司令官の下に、その手を通じて實施せらる、最高司令官は重要問題に關する命令布告については事態の許す限り豫め理事會と協議し、これに諮問す、これらの

問題に關する最高司令官の決定は支配的なるべし

(六) 管理政體の變革、日本の國體における根本的變革並びに日本政府全體の變更に關する諸問題における極東委員會の政策決議の實行に關し、理事會代表が最高司令官(またはその代理)と意見を異にする場合には、最高司令官は極東委員會においてこれに關する意見の一致をみるまでは、當該問題に關する命令の布告を保留す

(七) 必要ある場合、最高司令官は他の聯合國の理事會代表との適當なる事前協議の後日本政府の個々の關係の更迭に關し、または個々の關係の辭職に伴ふ空職の充當に關する決定を行ふを得

第三部 朝鮮

一、獨立國家としての朝鮮の再建、民主々義諸原理に基く同國發達のための條件の創造並びに長期間に亘る日本の朝鮮支配の有害なる結果の可及的速かなる除去に關する見地より、朝鮮の産業交通並びに農業の發展と朝鮮人民の國民文化發達のために必要なる一切の措置をとるべき朝鮮臨時民主々義政府を樹立すべし

二、朝鮮臨時政府の成立を助けるために、適當なる準備工作の意味において、米國南鮮軍とソヴェト北鮮軍との代表よりなる共同委員會を設置す、委員會は朝鮮の民主々義諸黨並びに社會諸團體とその諸提案の準備において協議すべし、委員會により作成せられたる諸推薦案は共同委員會に代表を出席せしめる兩國政府による最後の決定に先立ち、ソヴェト社會主義共和國聯邦中華民國、聯合王國、並びに合衆國の政府に送達され、その審議に委ねらるべし

三、朝鮮人民の政治的經濟的社會的進歩、民主々義的自治政府の發達並びに朝鮮の國民的獨立を援助する(信託統治)ための諸措置をも決定するは、共同委員會において朝鮮臨時民主々義政府並びに朝鮮民主々義諸團體の參劃を得て行ふべき任務なるべし、共同委員會の諸提案は、朝鮮臨時民主々義政府と協議の後五ヶ年以内の期間、ソヴェト社會主義共和國聯邦、合衆國、聯

合王國並びに中華民國の四國による朝鮮信託統治に關する協定を作成すべき四國政府の共同審議に委ねらるべし

四、南鮮及び北鮮の双方に關係ある緊急問題の審議のため、しかして合衆國南鮮軍とソヴェト北鮮軍との間に行政的經濟的問題における恒久的協調を確立するため、朝鮮における合衆國並びにソヴェト兩國軍の代表者の會議を二週間以内に召集すべし

第四部 中華民國

三國外相は中國の情勢に關し意見を交換し、國民政府の下に統一ある民主主義的中國を生み國民政府のあらゆる部門に民主主義分子を廣く參加せしめ、内紛を停止せしめることの必要に關して意見一致せり、三者は中國の國內問題において非干涉政策を遵奉すべきことを再確認せり
モロトフ氏とバーンズ氏とは中國に在る米ソ兩國の武裝兵力に關して數回の會話を交はせり
モロトフ氏は赤軍による在滿日本軍部隊の武裝解除並びに送還は完了したるも中國政府の要請により赤軍の撤收は二月一日まで延期せられたる旨述べたり

バーンズ氏は、中國政府の要請により北支に米國軍があることを指摘、日本軍の武裝解除及び送還に關しては降伏條件の遂行における米國の重要責任ある旨述べたり、更に彼は、この責任が果され、または中國政府が米國軍の助力なく責任を遂行し得る状態になりたる場合には、米國軍が直ちに撤收せらるべきを言明せり

兩國外相は米ソ兩國軍をその任務及び責任の遂行と背馳することなく實行し得る限り早い時期に撤收することを望ましとする點において完全なる意見の一致をみたり

第五部 ルーマニア

三國政府はルーマニア政府の擴充に關し、一九四五年八月二十一日の書翰において國王ミハイルの求めたる助言を與ふる準備あり、國王に對しては國家農民黨及び自由黨各一名の黨員が政府に含まるべきことを助言すべし、後段に述

べる委員會は
A、彼らが眞に現政府に参加しをらざる黨派の代表的成員なること

B、彼らが適當なる人物にして政府と忠實に協力すべきこと
を確認すべし

三國政府はかくて改組せられたるルーマニア政府が、自由無干渉なる選舉が可及的速かに普遍的秘密投票の基盤の上に施行せらるる旨を宣言するやう注視す、すべての民主主義政黨並びに反ファツシヨ政黨はこの選舉に参加し、候補者を立てる權利を有すべし、改組せる政府は新聞、言論、宗教並びに結社の自由の認許に關して保證を與ふべし

A・Y・ヴィンスキー、アヴェリル・ハリマン並びにサー・A・クラーク・カーの三名は即時ブカレストに赴き、前述B項の任務に關して國王ミハイル並びに現政府閣僚と協議する委員會としての權限を賦與せらる

これら諸任務が完了し、必要な保證が得らるるや、現在既にソヴェト聯邦政府と外交關係を有するルーマニア政府は、直ちにアメリカ合衆國政府並びに聯合王國政府により承認せらるべし

第六部 ブルガリア

三國政府は、現在形成せられつつあるブルガリア祖國戰線政府に他の民主主義グループよりA、眞に現政府に参加しをらざる黨派の代表たる者

B、眞に適當する人物にして政府と忠實に協力する者

二名を代表として補充することの望ましき旨をブルガリア政府に傳へる使命をソヴェト聯邦政府が自ら引受くるものと諒解す

アメリカ合衆國並びに聯合王國の政府がこの友誼的助言のブルガリア政府により受諾せられ前述補充代表がその機關に含まれることを確認するや、合衆國政府並びに聯合王國政府は、現在既にソヴェト聯邦政府と外交關係を有するブルガリア政府を承認すべし

第七部 國際聯合により原子力管理委員會を設置する提案

原子力問題の討議は國際聯合總會により委員會を創設する問題におよべり、ソヴェト社會主義共和國聯邦、アメリカ合衆國並に聯合王國の外相は、原子力の發見より生ずる諸問題並びに關係諸問題を審議すべき委員會を國際聯合に設置すべしとする推薦案を、國際聯合總會に提出することに意見の一致を見たり、三者は他の安全保障理事會常任理事國たるフランスおよび中華民國がカナダと共に、三國に加つて、一九四六年一月の國際聯合第一回總會において次の決議案採擇の主導者たることを要請すべく意見一致せり

【決議案草案】

國際聯合總會はここに委員會を創設することを決議す、委員會は以下に定むる構成と權能を有し、原子力問題を審議す

一、委員會の設置

總會は後段第五條に定めたる委託條項の下にここに委員會を設置す

二、委員會と國際聯合諸機關との關係

A、委員會はその報告並びに推薦案を安全保障理事會に提出すべく、かかる報告並びに推薦案は安全保障理事會において公表さるべし

平和と安全のため、その他適當なりとみらるる場合には、安全保障理事會はこれらの報告を、總會、國際聯合各加盟國、並びに經濟社會理事會その他國際聯合機構内の諸機關に傳達するものとす

B、國際憲章に定められたる世界平和並びに安全の維持に關する安全保障理事會の主要任務に鑑み、安全保障理事會は安全に關係ある諸問題について委員會に指示を與ふべし、これら諸問題について委員會はその事業に關し安全保障理事會に説明する用意あるべし

三、委員會の構成

委員會は國際聯合安全保障理事會成員各國一名の代表をもつて構成す、委員會各國代表はその必要とすることき補助員を有するを得

四、手續規定

委員會はその必要なりと料するいかなる機關員をも有するを得べく、その手續規定に關する提案を安全保障理事會に提出すべし、安全保障理事會はこれを手續き問題として承認すべし

五、委員會委託條項

委員會は特に迅速に進行すべく、問題のあらゆる面を研究し、可能なる限りこれに關して時に隨ひ提案を行ふべし、特に委員會は

A、平和目的における基本的科學情報の交換をあらゆる國家の間に及ぼし

B、平和目的のための使用を保證するに必要なる程度において原子力を管理し

C、國家軍備より原子兵器その他大量的破壊に使用し得るすべての主要兵器を除外し

D、監察その他關係諸國を違反と回避行為の危險に對し保護すべき方法による效果的な防衛手段を得る

ために特殊諸提案を行ふべし

委員會の事業は個々の階梯において進めらるべきであつて、その一つ一つの完全なる遂行は次の段階に入る前に必要なる世界的信頼を廣らすべきものなり

TWA極東路線を擴張

(ワシントン二十七日)トランスコンチネンタル・ウエスタン・エアラインズ航空會社總裁ジャック・フライは、過般同社がフィリッピン・エアラインズ會社の株式を買收して比島の民間航空事業に進出する旨聲明したが、二十七日の新聞會見において、さらに同社は次の如く極東航空事業の擴張を計畫してゐる旨言明した

歐洲、近東を通じてコロンボで終る當社の大西洋橫斷東航飛行は東南アジア、比島、香港を経由して上海まで擴張されよう、右定期航空はいづつ開始されるかは今明言するわけにはゆかないが、コロンボから二つの路線に分れて東方に向ふ豫定である



戦後の米國醫學界(下)

武井武夫

トルーマン大統領は十一月十九日議會に對して社會保健計畫に關する教書を送つた、それは五ヶ條の提案を含み、提案の意義を相當詳細に説明した上、その法制化を慫慂したものだつた、大統領としては戦争中の科學動員が大きな成果を収めた經驗から、既に全國的科學研究機關の設置を提唱した位で、國家的機關乃至全國的計畫の威力を信じそれを國民保健の方面にも及ぼさうとしたにすぎなかつたに違ひないのだが、意外にも保健計畫の當事者たるべき醫師が眞向から反對したのだ

△A M A の傳統

米國醫學會A M A (American Medical Association)は全米の醫學界勢力を打つて一丸とした強力な組織だが、いかなる形態にせよ政府が醫療を統制するといふことには傳統的に大反對だ、一九三三年に當時の會長デイン・ルイスが全會員に對し醫學經濟に關して協會の政策と一致せぬやうな聲明をしてはならぬと警告した時以來、すべて「醫學社會主義」の臭味のあるものを敵とする戰が宣告されてゐるのである

だが今度のトルーマン教書に對するA M Aの集中攻撃は、その粘りづよい烈しさにおいて全く前例をみない位だ、いよいよ政府の醫療統制の野望が本格的な姿を現した、とA M A當局は斷言したわけである

シカゴ市パーマー・ハウスの金色燦然たる赤ビロード張りの舞踏室のひとつで、A M A十二萬五千名の醫師を代表する政策決定機關代議員會(House of Delegate)は大論争の陣容を布いた、平均年齢六十歳、地位と富を備へ相當な發言權を有する人々を集めた百七十名の代議員の中には、加盟州醫學協會の代表者、A M A十六の専門部門から各一名、陸海軍衛生部隊及び公共保健局から各一名の代表が含まれてゐる

激しい論争に彩られて議會そのままに行はれた

四日間の討議の後、全員一致した議論は次の通りだつた

誰が何と説かうとも、米國の醫學者はワグナー・マレー・デインゲル法案(トルーマン計畫の一部に相當する)が醫學の社會主義化でないなどとは斷じて信じない、この法案によれば、醫師全般並びにその醫療を受ける患者は直接政治的統制の下におかれ、私立病院及び公立病院を包括する醫療施設全體が、その經營の將來を合衆國政府機關の支拂ふ基金に依存することとなり、患者を看護する博愛的精神は永遠に歪められ、米國內の醫師は時計の番人と變らぬ制度の奴隸に墮し去るにちがひない

△社會主義化には絶對反對

今度A M A會長の任期が満了したシカゴ・ゴールド・ローストの泌尿科醫ヘルマン・L・クレツチマー博士が十二月三日シカゴにおける代議員會の開會を宣した瞬間から、トルーマン保健法案に對する非難は正式のものとなつた

クレツチマー博士は「患者及び醫師の統制」の反對の急先鋒として

常に醫學界内部から齎らされ、かつて外部から強制されたることなき幾多大いなる進歩の跡をみよ

と叫び、A M A新會長ローヂャー・L・リー博士は穩かに

醫學が長足の進歩を遂げると共に種々條件は變つてきてゐるが、必要なのは醫學上の諸問題における州及び合衆國政府の關心の増大といふ自然の進化であつて、革命ではない、余とてもわれわれの社會的な標準が變つて來たことは知つてゐる、しかしさうした諸條件は研究並びに諸變化の不斷の評価を一層重大ならしめるといふだけのことではなからうか

と述べてゐる、リー博士は當年六十四歳といふ古いハーヴァード出のボストンの名門で、風貌は十二月十七日號の「ニューズ・ウィーク」誌に出てゐる寫眞をみてもチャーチル前英國首相にそっくりといふ人物だ

代議員會第一日に突如姿を現して、政府統制反對論で人々をアツと言はしたのは歸還將兵局醫學部長ボール・R・ホーレー少將で

米國醫學界は自己の問題を解決するのに政府の指圖なんか必要としない

と凄じ權幕をしめしたが、それでもトルーマン大統領の保健計畫に直接觸れたわけではなかつた、しかしこのインディアナ州出身の軍醫さんは、最近議會がブラドレー大將の在郷軍人病院案を承認しないなら辭職するといつて脅したくらの熱血漢だけあつて

自分は今まで三十年間も政府のために働いてゐるが、民間醫學の政府統制なんかにはお目にかかりたくないといふべきことははつきり言つて退けてゐる

△問題の焦點

全體としてみればトルーマン保健計畫は過去においてAMAが反對し葬り去つたどの法案とも大して違つてゐない、大統領の五ヶ條の提案は本通信十一月二十二日號に資料として載つてゐるから参照して頂けばよく分るが、その要點だけここに書く

一、病院その他必要な施設の建造に對する合衆國政府の援助の強化

二、社會衛生事業、母子保健事業の擴張

三、醫學のための教育及び研究の増大

四、強制的健康保險制度

五、廢疾保險制度

だといへよう、代議員會の憤慨を沸騰點まで持つて行つたのは第四提案だ、トルーマン大統領は教書中提案第四條の説明の所で

これは醫療の社會主義化ではない

と斷つてゐるが、代議員會は強制的健康保險制度を醫療社會主義 (Socialized medicine) なりと斷定して、最終日の會議で「正式否認」を票決しその理由として次の五ヶ條を挙げた

一、この案は醫學上諸問題の解決が貧窮者のすべての苦勞の萬能藥 Panacea だといふ誤つた假定に基礎をおいてゐる

二、これは全般的社會主義化計畫の第一歩である

三、他國 (一例を挙げればニュージーランド) における經驗に徴すれば、強制的健康保險制度は醫療の質的低下を齎らす

四、極度に浪費的なるこの計畫は、米國全人口に對する課税を増加するにちがひない

五、現在二十四州で實施されてゐる醫師團體による任意前拂ひ制度 voluntary prepayment plan は、國民の負擔が遙かに少く健康保險案のすべての目的を果してをり、統制がないから最高級の醫療を施すことになる

△前拂ひ制度とは

第五條の主張を取り上げて、AMA代議員會は直ちに同會受託委員會 Board of Trustees 並びに醫療涉外理事會 Council on Medical Service and Public Relations に對して全國的基盤の上における任意的保健計畫に關する調査の即時着手を指令した

AMA渉外主席理事モリス・フィッツシュペイン博士の説明によれば、この公式承認の結果AMAは二十四州における醫療團體主催の非營利的健康保險組織四十七を統一合併することになるわけだ醫療團體主催の組織では一族一ヶ月平均一弗五十仙の負擔で、もう七十五仙出せば入院治療さへ出来る、ところが大統領の計畫によれば、最高醫療費は年俸三千六百弗のもので年額百四十四弗とられることになるのである

△輿論はどつちの味方か

AMAがその選んだ健康保險案 (各州独自の支出入會計を有する州單位制) を發表するや否や、忽ち同會は自家の筆法を奪はれて竹篋返しを喰ふことになつた、即ち「シカゴ・サン」紙は社説でかう喰つてかかつてゐる

これでは計畫ぢやない、まるでサクラだ、今までの經驗からみても任意健康保險は、ないよりはましだが金がかかりすぎる、非營利的に運營されたところでそんな制度は大概一弗ぐらゐの醫療に對して加入者に一弗五十仙の代金を拂はせる、費用減少の最善の方法は保險負擔を廣範圍に擴げることとそれには全國統一制を採るのが一番だ

問題は結局議會で決定されるほかないが、醫學界で殆んど絶對勢力をもつAMAが反對したのでは議會を通るにしろ通らないにしろ實施に相當の困難を伴ふにちがひない、トルーマン計畫の支持者と豫想されてゐるのはAFL及びCIOの兩労働組合、米國社會保健協會等だが、醫學會ではニューヨークのアーネスト・P・ボウス博士を會長とする醫師懇談會 the Physicians Forum ぐらゐのもので、新聞紙も大統領案を支持するのは極めて少いとみられてゐる

(完)

米國の戦後經濟

△米國經濟の七不思議

ハーヴァード大學教授、サムナー・スリツチャイ
「ニューヨーク・タイムズ・マガジン」誌

十一月二十五日

再轉換期にある米國を流れる傾向を見ると、われわれは政策に關し既に一般に認められた思想を變へなければならぬことを痛感する、日本の降伏後三ヶ月間にわれわれは特に顯著にして且つ重大な七つの現象をみた、即ち

- 一、消費購買が依然として高水準を維持したこと
- 二、所得となる支拂の減少が、少額にとどまつたこと
- 三、失業も少數にとどまつたこと
- 四、豫想以上に物資が不足してゐること
- 五、人手不足が依然として續いたこと
- 六、再轉換が急速に進んだこと
- 七、賃銀引上要求が熾烈化したこと

戰争の終結は小賣の賣上高には何等の影響をも與へなかつたかのごとくである、また政府の物資買上げが突然急激に減少したことも一般所得收入には殆んど影響しなかつた、たとへば本年七月の所得支拂ひは百四十四億弗だつたが、九月には百二十七億弗に減少したに過ぎない、特に注目すべ

きは俸給支拂額の減少が少額にとどまつたことであり、この減少は七月から九月までに五%に過ぎなかつた、さらに十月の俸給支拂額はむしろ増加が見込まれるので、結局九月の俸給支拂額が再轉換の全期間を通じて最低の記録となることが豫想される

しかし、なんといつても最大の驚異は失業者数が少いことであらう、しかし、失業をかく少數に喰ひとめ得た最大の要因は、いはゆる軍需産業即ち飛行機、戰車、銃砲、爆發物その他の兵器を生産してゐた再轉換が最も大規模に行はれる産業部門における失業が驚く程少い點にあらう

物資不足も豫想に反したものであり、多くの不足物資が次々と現はれてゐるが、特に衣類並びに住宅の不足が甚だしい、殆んどすべての人々が少くとも再轉換の期間だけは人手不足の現象などは殆んど現はれないだらうと豫想してゐたにも拘らず、現實には殆んどあらゆる社會においてあらゆる職業につき依然として人手不足に悩んでゐることが報ぜられてゐる、再轉換工作の進行も豫想以上に急速である、このことは失業と就業との數字が明瞭に物語つてをり、たとへば十月中の失業は九月に比して十三萬減少、これに對し就業は九月から十月にかけて六十二萬を増加した、かかる労働力の不足は如何にして招來されたのであらうかこれにたいする回答は大體つぎの三點に要約されよう

- 一、戰爭中愛國心により或ひは夫が軍隊に召集されたために就職した多くの人々が労働市場から引上げたこと
- 二、過去數年間にわたり繼續して大いに働いた人々のうちには新しい職業につく前に若干の休養をとらうとしてゐる者が多いこと、さらにかれ等は休養をとるに充分な貯金を蓄へてをり、また失業保險の恩恵にも浴し得る
- 一、多くの熟練労働者がいまだ依然として軍隊にゐること

要するに現在までのところ再轉換事業はむしろ圓滑に進んできた、しかし満足な就業の一般的水準を實現するためには、民間企業における就業を

現在の水準より三百萬あげなければなるまい

△米國經濟の將來

十一月三十日下院歳出委員會の發表した商務長官ヘンリー・ウオレスの報告

今後三ヶ年間に、米國の産業所得は戦前よりも増加しよう、しかしこれに反し、賃銀および俸給所得は若干減少しよう、即ちもし今後數年間完全就業が維持され、勢力の動員ができるだけ多くの方面にわたつて實際に行はれるならば、産業利潤は戦前の倍額にも達しよう、しかし現在のところでは完全就業の實現は望み薄である、一九四六年の賃銀俸給所得は四五年より減少して二百五十億弗程度となるべく、これに反し商社の純収入は四五年とほぼ同様、多分百億弗程度を維持しよう、産業活動が非常に減少することは充分見込まなければならぬが、一方では超過利得税その他諸税の撤廢が行はれた結果、同水準の純収入を維持することが可能とならう

一九四四年及び四五年において、米國の労働人口は最絶頂に達し、實に六千四百萬を數へたが、これは今後四年間に六千百萬乃至二百萬に減少しよう、一方一時一千二百萬に達した陸海兵力は四百萬に減少したと推定される、一九四六年に失業者數は約七百萬に上ると豫想されるが、これはその後三年間に四百五十萬乃至五百五十萬程度に減少しよう、一九四六年に失業者が増加する主要な原因は陸海軍の召集解除である

△米國の對外貿易

商務省内外通商局調査「ニューヨーク・タイムズ」紙十二月一日報道

米國の對外貿易は今後五ヶ年間に驚くべき伸張を示すべく、輸出のごときは一九四〇年の倍額にも達しよう、即ち、一九五〇年の輸出目標は百億弗の點におかれてゐる

米國今後の輸出貿易はその方法並びに輸出市場を全く一變するだらう、たとへば、從來米國品の市場だつた歐洲大陸諸國はその地位をソ聯に譲ることとならう、戦前米國の對ソ輸出額は輸出總額の一・五%に過ぎなかつたが、この率は今後二〇

%に増加しよう、一方中國は戦前において米國輸出總額の二・五%を入れるに過ぎなかつたが、これは今や一五乃至二〇%に増加することが期待されてゐる、中國は從來英國及び日本から仰いでゐた商品を今後は米國から輸入することにならう、英國及び中南米諸國も米國輸出貿易の有力な市場とならうが、しかしこれには今後約五年の時日を必要としよう、戦前の平常時において、英國は米國總輸出額の殆んど半ばを輸入し、また中南米は五分の一を輸入してゐた、あらゆる解放諸國は今や救済及び再建ために焦眉の急に迫られてゐる、米國がこれ等諸國に資本的援助を與へるならば、今後數年のうちには米國輸出貿易の非常に重要な市場とならう、もし米國が再建事業を援助し、同時に健全な世界經濟機構の確保に努力するならばこれら解放諸國は從來と同様、今後も依然として重大な地位を占めることとならう

米國の輸出貿易が今後増加するか否かに非常な影響を與へるものは、世界各國がその購買力を増加し得るか否かである、たとへば、米國が英國に對してその要求する五十億弗の借款を與へるならば、米國の對英輸出は大いに増加しよう、同様にその他の戦火に荒された諸國、なかんづく中國に對して、米國が借款その他の援助を與へるならば米國が世界最大の輸出國となるのを大いに助けるだらう

米國が輸出すべき商品は殆んどあらゆる種類のものを含むこととならう、しかし今後直ちに輸出すべきものは食糧及び衣類である、これに續いては工場再建用の機械、農業機械、藥品類、肥料、化學製品等が輸出されよう、木材及び建築資材も輸出されようが、これ等は米國自身も不足してゐるからその量は多額には上るまい、救済用資材に對する緊急需要が終ると共に、次第に自動車、ラジオ、寫眞機等のいはゆる贅澤品が輸出されるやうにならう

△インフレとデフレ

元ベルリン駐在商務官ダグラス・ミラー、十二

月二日ラジオ放送

本年八月、日本の降伏により戦争が終つたとき、米國內ではその將來の經濟に對する不安が存在した、一部の人はインフレとこれに伴ふ物價騰貴とを恐れたが、これに反し他の人々は産業の沈滞とデフレおよび失業とを心配した、今や後者の失業およびデフレに對する恐れは杞憂に過ぎなかつたことが明らかとなつた、米國の産業は大きな支出の削減を行はれずして戦時から平和時に再轉換し得る能力のあることを事實をもつて證明したのである、即ち、今頃までには米國は五百萬乃至一千萬の大失業者群をかかへなければならぬと豫想されてゐたのに對し、現實の失業者数はそれより遙かに少なく、目下失業してゐる者は僅か百五十萬程度に過ぎない、失業どころか勞働力不足が今や全國的な現象だ、かかる勞働力不足が招來された原因としては、青年が再び學校に歸りはじめたこと、老年勞働者が第一線から退いたこと、さらに軍需勞働者が戦時中に大きな貯金をこしらへて、休暇をとつてゐること等があげられよう

米國の大衆の購買力は旺盛であり、市場に出る商品を容易に消化してゐる、戦時中鬱積した耐久資材に對する需要が満たされるまでは相當の時間を必要としよう、一方米國の住宅不足は特に深刻である

物價管理局は基本的商品に對する價格統制は今後も維持、繼續されなければならぬとの見解をとつてゐる、しかし、この問題に對する最後の決定權は議會が握つてゐるのであり、明年六月三十日以後も物價管理局が價格統制を續けてゆけるかどうかは大いに疑問だ、現在賃銀引上げの要求が廣範圍にわたつて見られるが、かかる要求の裏づけをなすものは

一、戦争終結と共に一週四十時間制に復歸した勞働者の實質收入が減收したこと

二、一九四一年以來の生計費の昂騰が三〇%に達してゐること

にある、今後賃銀は多分昂騰すべく、低落するやうなことはまづあるまい、一方物價もまた低落よりは上昇の方向を辿るだらう、かくて全體的に見

て、米國の經濟はデフレよりインフレの方向を指してゐると見るべきだ

農務省は從來農家に與へられてゐた補助金を撤廢しつつある、これは農家が自力によつて基礎的な食糧品の生産費を維持せしめようとの目的からとられてゐるのだが、この結果直ちに豫想されるのはバター、ミルクその他重要食糧品の値上りである、工業の分野においても製品價格引上げの要求が起り、價格統制によつて縛られてゐる基礎的品目を除いては、現實に多くの商品に對する價格の引上げが行はれてゐる、今や聯邦政府官吏に對する俸給引上げ問題さへ論議されるに至つた有様である、かくてこれ等の力強い諸傾向は米國全體をより高き物價水準におし進めつつあり、これに對して物價管理局並びに何等の組織をも持たない消費者階級が、俸給引上げの恩恵に浴さない定額所得階級のために勝目のない防戦を戦つてゐるといふことができよう、多分これから一年位たつと、生計費の昂騰に對する不満の聲が各方面から聞かれるやうにならうが、しかしその時には物價昂騰の傾向を逆轉させるには遅すぎよう

いかなる國の經濟も常に調整作用を受けてゐる換言すれば、物價は常に上昇か乃至は下降かのいづれかの傾向を辿る、米國においては現在たまたま物價は上昇の傾向にある、綜合的に見て、米國の物價が上昇することは海外諸國に好影響を與へるといふことができよう、即ちこのことは弗の購買力が低落することを意味し、従つて米國と他國との物價を調整、他國の通貨と米弗との不均衡を是正し、更に米國における潤澤な資金と低利子とは米國資本の對外投資を誘致すべく、引いては餘剩食糧の對外輸出を旺盛ならしめ、結局米國の經濟と他國經濟との關係を一層緊密化するに役立つであらう

△米國財政情況

商務省統計局十二月十四日發表

聯邦政府及び州ならびに地方政府の負ふいはゆる公債總額は一九四五年六月三十日現在で、二千七百五十億弗に上つた、この額は一九四四年同日に比し五百七十億弗、二六%の増、また米國の再軍備計畫が開始された一九四〇年同日に比すれば二千二百二十億弗、三三六%の増加である、一九四五年の右公債額二千七百五十億弗のうち、聯邦政府の國債額は二千五百九十億弗、州の公債二十四億弗、そのほか地方機關の公債百四十二億弗であつた

國民所得は戰爭中記録的な増加を示したが、なほ且つその額並びに率共に、公債の増加には及ばなかつた、即ち、一九四二年以來國民所得額と公債額との開きは加速度的に増加し、一九四二年においては公債額は國民所得推定額の七六%だつたのにたいし、これが一九四五年になると、内外通商局の推定の國民所得額一千五百七十億弗より、公債額の方が七五%多いといふやうな状態になつた、勿論今次世界戰爭遂行のための經濟的負擔は聯邦政府の肩にかかつたので、この結果公債における國債の額は支配的なものとなつた

國庫收入は一九四〇年の五十億弗から、一九四五年の四百六十億弗にまで増加したが、これに對し國庫支出は一九四〇年の九十億弗から四五年の一千億弗にまで激増した、かかる支出の激増が戰費に基づくことはいふまでもなく、例へば一九四一年の戰費は總支出の五〇%に過ぎなかつたのに對し、一九四五年には九〇%となつた、戰時中の赤字財政に關しては、第一次大戰においては總支出のうち收入によつて賄はれたのは三〇%に過ぎなかつたのにたいし、今次大戰ではこの率は四二%に上つた、しかもなほ總支出の五八%までが赤字だつたのであり、一九四〇年以來の國債の激増がかくして招來されたのである

△十一月の經濟概況

UP通信社記者アルブ・グレゴリー十二月十七日報道

米國は目下再轉換の渦中にあり、勞働爭議の頻發に悩まされてゐることは事實だが、就業は現實に上昇線を辿つてゐる、即ち、本年十一月の就業

者数は昨年同期に比し現實に上位にある、しかしこの反面には失業者数も昨年十一月の二倍に達してゐる事實を見逃してはならない、十一月の失業者数は十月に比し四十萬を増加した

十一月中、勞働罷業で失はれた勞働日数は約七百萬日と推定される、これは一九四四年十一月米國の軍需生産が最高頂に達した當時における罷業による喪失勞働日數七十八萬九千日と對照さるべきである、十一月中には炭坑罷業の終熄によつて多くの炭坑夫が就業したが、十二月に入ると罷業勞働者の数は増加した、十一月中の就業者總数は五千五百五十四萬だつた、これに對し失業者数は百五十八萬、これは十月中の百五十四萬並びに前年十一月の六十八萬に對比さるべきである、工業勞働者の週平均賃銀に關する最新の數字は本年九月のものであるが、同月の賃銀は四十弗八十八仙だつた、これに對し前月たる八月は四十一弗七十五仙、また戰時の時間外勞働割増金の多かつた前年の九月は四十六弗二十四仙だつた

十一月の小賣物價指數は前月十日と變りなく一二八・九にとどまつたが、これを前年同月に比すれば二・四ポイント高である、これに對し農產物價は相當上昇した、即ち十一月の農產物價指數は十月に比し六ポイントをはね上つて二〇・五となり前年同月に比すれば九ポイントの上昇である

工業活動は石炭罷業の終熄に伴ひ製鐵工場が操業を開始したためその指數は前月より九ポイントを上昇して一六九となつた、これは日本降伏後、工業活動指數が毎月低下して行つた事實に徴し、特に注目さるべきである、但し、前年同月の二三二に比較すれば相當の低下である

野球最高殊勳選手

(セントルイス二十六日)スポーツ週刊誌「ナショナル・スポーツ」は一九四五年度野球最高殊勳選手として同年度世界選手權チーム「デトロイト・タイガース」の投手ハル・ニューハウザーを推薦した